

世界文化遺産（10 地域）

地域番号	003	協議会名	日光市多言語解説整備支援事業検討協議会	
解説文番号	スポット名（タイトル）		中国語 文字数	想定媒体
003-022	二荒山神社		415	看板
003-023	神苑		90	看板
003-041	拝殿と本殿		265	看板
003-044	日光二荒山神社中宮祠		590	看板
003-050	登拝門		270	看板
地域番号	006	協議会名	南砺市多言語解説整備推進協議会	
解説文番号	スポット名（タイトル）		中国語 文字数	想定媒体
006-001	南砺市		430	WEB/パンフ
006-002	五箇山 - ユネスコ世界遺産		770	WEB/パンフ
006-003	相倉合掌造り集落		675	WEB/パンフ
006-004	菅沼合掌造り集落		330	WEB/パンフ
006-005	五箇山の合掌造り家屋		430	WEB/パンフ
006-006	五箇山の養蚕		215	WEB/パンフ
006-007	五箇山の和紙づくり		430	WEB/パンフ
006-008	五箇山の塩硝生産		670	WEB/パンフ
006-009	村上家		275	WEB/パンフ
006-010	岩瀬家		355	WEB/パンフ
006-011	羽馬家		195	WEB/パンフ
006-012	相倉民俗館		255	WEB/パンフ
006-013	相倉伝統産業館		250	WEB/パンフ
006-014	南砺と加賀藩		420	WEB/パンフ
006-015	白山宮		390	WEB/パンフ
006-016	流刑小屋		320	WEB/パンフ
006-017	城端曳山祭		935	WEB/パンフ
006-018	城端曳山会館		310	WEB/パンフ
006-019	福野夜高祭		485	WEB/パンフ
006-020	棟方志功記念館 愛染苑		610	WEB/パンフ
地域番号	007	協議会名	一般社団法人富士五湖観光連盟	
解説文番号	スポット名（タイトル）		中国語 文字数	想定媒体
007-001	世界文化遺産「富士山」・全体概要		1095	パンフ

007-002	富士箱根伊豆国立公園（富士山地域）・全体概要	660	パンフ
007-003	富士五湖・全体概要	910	パンフ
007-004	山中湖・全体概要	460	パンフ
007-005	河口湖・全体概要	445	パンフ
007-006	西湖・全体概要	585	パンフ
007-007	精進湖・全体概要	515	パンフ
007-008	本栖湖・全体概要	505	パンフ
007-009	富士山・撮影スポット	780	パンフ
007-010	天上山公園・全体概要	855	パンフ
007-011	山中湖ダイヤモンド富士・全体概要	475	パンフ
007-012	石割神社・全体概要	415	パンフ
007-013	山中湖花の都公園・全体概要	375	パンフ
007-014	河口浅間神社・全体概要	540	パンフ
007-015	紅葉台・全体概要	520	パンフ
007-016	鳴沢溶岩樹型・全体概要	455	パンフ
007-017	本栖湖千円札富士山展望地・全体概要	475	パンフ
007-018	吉田口登山道・登山道の歴史 各合目に点在する富士講遺跡	1015	パンフ
007-019	北口本宮富士浅間神社・全体概要	680	パンフ
007-020	さまざまな開山祭・開山祭	415	パンフ
007-021	吉田の火祭り・すすき祭り・お祭概要	430	パンフ
007-022	金鳥居・全体概要	515	パンフ
007-023	富士御室浅間神社・全体概要	695	パンフ
007-024	御師住宅旧外川家・全体概要	930	パンフ
007-025	船津胎内樹型・全体概要	610	パンフ
007-026	スバルライン五合目・五合目全体概要・ お中道・御庭・奥庭	830	パンフ
007-027	小御岳神社・全体概要	450	パンフ
007-028	鳴沢氷穴・全体概要	350	パンフ
007-029	富嶽風穴・全体概要	300	パンフ
007-030	西湖蝙蝠穴及びコウモリ・全体概要	310	パンフ
007-031	富士山の森	850	パンフ
007-032	忍野八海・全体概要	385	パンフ
007-033	東圓寺・全体概要	480	パンフ
007-034	浅間神社（忍草）・全体概要	390	パンフ
007-035	月江寺エリア・全体概要	600	パンフ
007-036	ハタオリマチ・全体概要	710	パンフ
007-037	吉田のうどん・料理	405	パンフ

007-038	ほうとう・料理		420	パンフ
007-039	忍野そば・料理		290	パンフ
007-040	周遊バスで楽しめる富士五湖・全体概要		395	パンフ
地域番号	010	協議会名	真言宗総本山 東寺（教王護国寺）	
解説文番号	スポット名（タイトル）		中国語 文字数	想定媒体
010-001	東寺 概略		510	デジタルサイネージ
010-002	金堂		325	デジタルサイネージ
010-003	金堂の構造		280	デジタルサイネージ
010-004	薬師如来像		285	デジタルサイネージ
010-005	日光菩薩と月光菩薩		200	デジタルサイネージ
010-006	十二神将		165	デジタルサイネージ
010-007	講堂		280	デジタルサイネージ
010-008	講堂の構造		175	デジタルサイネージ
010-009	講堂内部：立体曼荼羅		250	デジタルサイネージ
010-010	五重塔		320	デジタルサイネージ
010-011	五重塔の構造		190	デジタルサイネージ
010-012	五重塔に祀られている仏		195	デジタルサイネージ
010-013	御影堂		250	デジタルサイネージ
010-014	御影堂の構造		210	デジタルサイネージ
010-015	弘法大師空海坐像		280	デジタルサイネージ
010-016	観智院		290	デジタルサイネージ
010-017	観智院の構造		225	デジタルサイネージ
010-018	五大虚空蔵菩薩と愛染明王		265	デジタルサイネージ
010-019	夜叉神堂		170	デジタルサイネージ
010-020	修行大師像		210	デジタルサイネージ
010-021	灌頂院		205	デジタルサイネージ
010-022	小子房		310	デジタルサイネージ
010-023	食堂		290	デジタルサイネージ
010-024	空海の立体曼荼羅	①概要	260	デジタルサイネージ
		②五智如来	70	
		③五大菩薩	120	
		④五大明王	160	
		⑤四天王	110	
		⑥梵天と帝釈天	130	
010-025	宝蔵		340	デジタルサイネージ
地域番号	011	協議会名	宗教法人 醍醐寺	
解説文番号	スポット名（タイトル）		中国語	想定媒体

		文字数	
011-001	醍醐寺	785	WEB
011-002	三宝院 (国宝)	420	WEB
011-003	霊宝館	860	WEB
011-004	上醍醐	535	WEB
011-005	下醍醐 金堂 (国宝)	650	WEB
011-006	五重塔 (国宝)	365	WEB
011-007	清瀧宮本殿 (重要文化財)	610	WEB
011-008	不動堂	235	WEB
011-009	祖師堂	175	WEB
011-010	観音堂	345	WEB
011-011	弁天堂	330	WEB
011-012	西大門 (仁王門)	340	WEB
011-013	真如三昧耶堂	175	WEB
011-014	三宝院 玄関	250	WEB
011-015	三宝院 葵の間 (重要文化財)	200	WEB
011-016	三宝院 秋草の間と勅使の間 (重要文化財)	300	WEB
011-017	三宝院 唐門 (国宝)	165	WEB
011-018	三宝院 表書門	260	WEB
011-019	三宝院 藤戸石	260	WEB
011-020	三宝院 亀島と鶴島	310	WEB
011-021	三宝院 賀茂の三石	95	WEB
011-022	三宝院 太閤しだれ桜	260	WEB
011-023	三宝院 純浄観 (重要文化財)	115	WEB
011-024	三宝院 奥宸殿 (重要文化財)	170	WEB
011-025	三宝院 本堂 (重要文化財)	265	WEB
地域番号	012	協議会名	総本山 仁和寺
解説文番号	スポット名 (タイトル)	中国語 文字数	想定媒体
012-001	金堂 (国宝)	330	デジタルサイネージ
012-002	五重塔 (重要文化財)	145	デジタルサイネージ
012-003	二王門 (重要文化財)	300	デジタルサイネージ
012-004	御影堂 (重要文化財)	290	デジタルサイネージ
012-005	観音堂 (重要文化財)	190	デジタルサイネージ
012-006	経蔵 (重要文化財)	290	デジタルサイネージ
012-007	中門 (重要文化財)	230	デジタルサイネージ
012-008	九所明神本殿・左右殿	320	デジタルサイネージ
012-009	本坊表門 (重要文化財)	60	デジタルサイネージ
012-010	茶室・遼廓亭 (重要文化財)	290	デジタルサイネージ

012-011	茶室・飛瀟亭（重要文化財）	245	デジタルサイネージ
012-012	宸殿	320	デジタルサイネージ
012-013	北庭・南庭	140	デジタルサイネージ
012-014	御室八十八ヶ所霊場	420	デジタルサイネージ
012-015	御室桜	170	デジタルサイネージ
012-016	御室流華道	205	デジタルサイネージ
012-017	阿弥陀如来坐像（国宝）	365	デジタルサイネージ
012-018	多聞天立像（重要文化財）	340	デジタルサイネージ
012-019	文殊菩薩座像（重要文化財）	370	デジタルサイネージ
012-020	吉祥天立像（重要文化財）	280	デジタルサイネージ
012-021	持国天立像	235	デジタルサイネージ
012-022	愛染明王坐像（重要文化財）	315	デジタルサイネージ
012-023	顕證坐像	335	デジタルサイネージ
012-024	宇多法皇像	270	デジタルサイネージ
012-025	覚深法親王像	305	デジタルサイネージ
012-026	黒書院	280	デジタルサイネージ
012-027	白書院	200	デジタルサイネージ
012-028	霊明殿	490	デジタルサイネージ
012-029	勅使門	235	デジタルサイネージ
012-030	弘法大師（霊宝館）	270	デジタルサイネージ
012-031	不動明王坐像	270	デジタルサイネージ
012-032	童子経本尊坐像	180	デジタルサイネージ
012-033	観音菩薩坐像	200	デジタルサイネージ
012-034	観賢大僧正坐像	230	デジタルサイネージ
012-035	多宝塔	274	デジタルサイネージ
012-036	徳川家光	260	デジタルサイネージ
012-037	御室版両部曼荼羅	335	デジタルサイネージ
012-038	霊宝館の四天王	340	デジタルサイネージ
012-039	御室会館	290	デジタルサイネージ
地域番号	014	協議会名	栴尾山 高山寺
解説文番号	スポット名（タイトル）	中国語 文字数	想定媒体
014-001	高山寺の開祖・明恵について	855	パンフ
014-002	高山寺の開祖・明恵について	1355	WEB
014-003	高山寺	460	看板
014-004	石水院	450	看板
014-005	金堂（本堂）	285	看板
014-006	開山堂	185	WEB
014-007	明恵上人樹上座禅像（樹上で座禅する明恵の絵画）	230	WEB
014-008	仏眼仏母像（仏眼仏母の像）	160	WEB
014-009	華嚴宗祖師絵伝（華嚴宗の宗祖の挿絵入りの伝記）	200	WEB
014-010	善妙神像	200	WEB
014-011	鳥獣人物戯画（戯れる動物を描いた巻物）	365	WEB
014-012	篆隸万象名義	180	WEB

014-013	木彫りの狗児	135	WEB
014-014	勅額	140	WEB
014-015	阿留辺幾夜宇和	170	WEB
014-016	白光神像	120	WEB
014-017	善財童子像	150	WEB
014-018	御廟	155	看板
014-019	春日明神社	335	WEB
014-020	明恵の瞑想の場所	290	WEB
014-021	収蔵庫	205	WEB
014-022	茶園	340	WEB
014-023	仏足石	205	WEB
014-024	高山寺の姉妹教会	280	WEB
014-025	茶室「遺香庵」	180	WEB
014-026	富岡鉄斎の作品	155	WEB
地域番号	028	協議会名	広島市
解説文番号	スポット名 (タイトル)	中国語 文字数	想定媒体
028-001	原爆ドーム	565	WEB (ピースツーリズム)
028-002	広島平和記念資料館	785	WEB (ピースツーリズム)
028-003	峠三吉詩碑	475	WEB (ピースツーリズム)
028-004	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館	725	WEB (ピースツーリズム)
028-005	広島アンデルセン	540	WEB (ピースツーリズム)
028-006	福屋八丁堀本店	385	WEB (ピースツーリズム)
028-007	縮景園	730	WEB (ピースツーリズム)
028-008	広島県立美術館	425	WEB (ピースツーリズム)
028-009	世界平和記念聖堂 (聖母被昇天聖堂)	665	WEB (ピースツーリズム)
028-010	広島城	775	WEB (ピースツーリズム)
028-011	ひろしま美術館	435	WEB (ピースツーリズム)
028-012	イトマント・ブランデン詩碑	470	WEB (ピースツーリズム)
028-013	栗原貞子詩碑	400	WEB (ピースツーリズム)
028-014	Mazda Zoom-Zoom スタジアム	1110	WEB (ピースツーリズム)

028-015	山陽文徳殿（記念堂）		400	WEB (ピースツーリズム)
028-016	多間院と鐘楼		415	WEB (ピースツーリズム)
028-017	広島市現代美術館		475	WEB (ピースツーリズム)
028-018	広島陸軍被服支廠		365	WEB (ピースツーリズム)
028-019	原爆ドーム		405	WEB (EXPLORE)
028-020	広島平和記念資料館		505	WEB (EXPLORE)
028-021	平和記念公園		490	WEB (EXPLORE)
028-022	巖島神社		455	WEB (EXPLORE)
028-023	広島市環境局中工場		555	WEB (EXPLORE)
028-024	フラワーフェスティバル		485	WEB (EXPLORE)
028-025	縮景園		465	WEB (EXPLORE)
028-026	とうろう流し		400	WEB (EXPLORE)
028-027	広島神楽		395	WEB (EXPLORE)
028-028	広島城		485	WEB (EXPLORE)
028-029	広島お好み焼		545	WEB (EXPLORE)
028-030	広島のお土産		415	WEB (EXPLORE)
028-031	広島のお土産		500	WEB (EXPLORE)
028-032	広島の地酒		505	WEB (EXPLORE)
028-033	おりづるタワー		540	WEB (EXPLORE)
028-034	袋町小学校		790	WEB (ピースツーリズム)
028-035	本川小学校		735	WEB (ピースツーリズム)
028-036	お好み焼き体験 OKOSTA-オコスタ-		535	WEB (EXPLORE)
地域番号	033	協議会名	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 保存活用実行委員会	
解説文番号	スポット名 (タイトル)		中国語 文字数	想定媒体
033-001	長崎のキリシタン文化の歴史		230	看板/パンフ
033-002	世界文化遺産： 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産		1135	看板/パンフ
033-003	長崎を中心とするキリシタン関連年表		1920	看板/パンフ
033-004	潜伏の時代 & 信徒発見		1520	看板/パンフ
033-005	長崎奉行所旧蔵潜伏キリシタン関係遺物について		660	看板/パンフ
033-006	キリシタンの受難のはじまり： 豊臣秀吉から徳川幕府初期まで		940	看板/パンフ
033-007	長崎奉行が受けたキリシタン根絶の特命		765	看板/パンフ
033-008	島原の乱とポルトガル船の来航禁止		810	看板/パンフ
033-009	沈黙の 260 年： 禁教下で信仰を密かに守り続けた潜伏キリシタン		445	看板/パンフ

033-010	キリスト教信仰の継承	1070	看板／パンフ	
033-011	信徒発見：「サンタ・マリアの御像はどこ？」	875	看板／パンフ	
033-012	最後の大検挙： 「浦上四番崩れ」と長崎各地でのキリシタン弾圧	1445	看板／パンフ	
033-013	キリスト教の解禁：信教の自由獲得へ	1040	看板／パンフ	
033-014	かくれキリシタン： 潜伏キリシタンの信仰形態を守りつづける人々	980	看板／パンフ	
033-015	外海の出津集落	870	パンフ	
033-016	外海の大野集落	865	パンフ	
033-017	平戸の聖地と集落・平戸のキリスト教	980	ビデオナレーション	
033-018	平戸の聖地と集落・春日集落とキリスト教	745	ビデオナレーション	
033-019	平戸の聖地と集落・春日集落	860	ビデオナレーション	
033-020	平戸のキリスト教関連遺産を巡る おすすめドライブコース	410	パンフ	
033-021	キリスト教の伝来と繁栄の時代 潜伏キリシタン集落の風景や伝統文化に触れる	1745	パンフ	
033-022	平戸の世界遺産を巡る・平戸周遊マップ	1010	パンフ	
033-023	平戸の世界遺産を巡る・平戸周遊マップ・その他	320	パンフ	
033-024	春日集落案内所 かたりな展示品	①オテペンシャ	225	看板
		②お札	290	
		③まぶり（おまぶり）	170	
		④お掛け絵「受胎告知」	380	
033-025	頭ヶ島に移住した潜伏キリシタン	200	看板	
033-026	潜伏キリシタンのカトリックへの復帰	375	看板	
033-027	頭ヶ島教会堂	610	看板	
033-028	頭ヶ島の開拓指導者：前田儀太夫	480	看板	
033-029	みどころ：高島&黒島	390	パンフ	
033-030	みどころ：高島&黒島	675	パンフ	
033-031	黒島の文化的景観	185	パンフ	
033-032	マップ解説	500	パンフ	
033-033	黒島の特産品	410	パンフ	
033-034	黒島の集落	1185	パンフ	
033-035	世界文化遺産の12の構成資産	320	パンフ	
033-036	潜伏キリシタンの共同体の維持・拡大	1050	パンフ	
033-037	黒島の集落	670	パンフ	
033-038	命懸けの告白と潜伏の終わり	580	パンフ	
033-039	黒島の歴史のみどころ	705	パンフ	
033-040	黒島の歴史のみどころ	145	パンフ	
033-041	黒島体験ガイド	500	パンフ	
033-042	おらしょ物語：日本におけるキリスト教の歴史	380	WEB	
033-043	平戸、長崎、有馬にキリスト教が広まる	270	WEB	
033-044	有馬がキリスト教宣教の拠点として栄える	410	WEB	
033-045	四人の天正遣欧使節がローマ教皇に謁見する	260	WEB	
033-046	新たな信仰を広めるための組織づくり	440	WEB	
033-047	禁教令と島原・天草一揆の勃発	580	WEB	

033-048	仏教への改宗を強要されても 多くの潜伏キリシタンは信仰を維持する	740	WEB
033-049	禁教と密かな信仰の継承	345	WEB
033-050	五島列島に潜伏キリシタンの集落が形成される	355	WEB
033-051	開国を機に始まったカトリックの宣教と新たな教会堂の建設	410	WEB
033-052	禁教下で起こった『信徒発見』	400	WEB
033-053	禁教令の撤廃とカトリックの復興	305	WEB
033-054	和洋折衷の教会堂	330	WEB
地域番号	035	協議会名	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」世界遺産登録 20周年記念事業実行委員会
解説文番号	スポット名 (タイトル)	中国語 文字数	想定媒体
035-028	陵墓・玉陵 (たまうどうん) 概要	890	看板
035-029	尚王朝の栄華	960	看板
035-030	王家の石棺と琉球の葬法	610	看板
035-031	東の御番所、西の御番所	340	看板
035-032	玉陵碑	345	看板
035-033	識名園 (しきなえん) : 琉球庭園	620	パンフ
035-034	正門	165	看板
035-035	育徳泉 (いくとくせん)	320	パンフ
035-036	御殿 (うどうん)	440	パンフ
035-037	石橋と庭園の特徴	625	パンフ
035-038	奉公人用の住居	270	パンフ
035-039	園比屋武御嶽石門 (そのひゃんうたきいしもん)	340	看板/パンフ
035-040	ガイドンス施設展示 (年表)	2030	パンフ

<简体字>

南砺市

南砺市位于本州岛中部近日本海一侧，地处富山县西南角山区。2004 年，该地区周边的八座城镇（城端町、平村、上平村、利贺村、井波町、井口村、福野町、福光町）合并，形成如今的南砺市。

城市以北，砺波平原舒张着它的身躯；向南眺望，山地与森林尽展地主之谊。紧邻岐阜县北侧的南砺，西有金泽市坐镇，正南有白川乡与高山市雄踞，可谓四方通衢之地。

南砺的气候大致温和宜人，夏暑适度，冬寒鲜少降至冰点以下，但积雪量却颇大。以山地及周边尤甚，可见深度 3 米以上的积雪。

若从东京出发，直通南砺的最佳方案莫过于搭乘北陆新干线。若是在新高冈站换乘地方线路 JR 城端线，则可进一步深入南砺腹地。亦或乘坐“世界遗产巴士”，直接探访五箇山或白川乡。倘若自京都或大阪出发，则推荐您乘坐前往金泽站方向的 JR 特急

“Thunderbird”号，方便快捷，不失为优选。金泽站前，开往五箇山或井波的巴士更是比比皆是。此外，由于各目的地间相距较远，且公共交通有限，若想访觅更多南砺僻地，最佳交通方式便是租车。

<繁体字>

南礪市

位於本州島中部近日本海側的南礪市，地處富山縣西南角山區。該地區周邊的八座城鎮（城端町、平村、上平村、利賀村、井波町、井口村、福野町、福光町），於 2004 年合併，形成如今的南礪市。

緊鄰岐阜縣北側的南礪，西有金澤市坐鎮，正南有白川鄉與高山市雄踞，北看礪波平原舒張著它的身軀；南望山地與森林盡展地主之誼。可謂四通八達之地。

南礪的氣候大致溫和舒適，夏暑適度，冬寒鮮少降至冰點以下，但積雪量卻頗大。以山地及周邊尤甚，積雪深度可達 3 公尺以上。

搭乘北陸新幹線，應是從東京出發直通南礪的最佳方案。若是在新高岡站換乘地方線路 JR 城端線，則可進一步深入南礪腹地。亦或乘坐「世界遺產巴士」，直接探訪五箇山或白川鄉。倘若自京都或大阪出發，則推薦您乘坐前往金澤站方向的 JR 特急

「Thunderbird」號，方便快捷，可謂不二之選。金澤站前，開往五箇山或井波的巴士數量更是眾多。此外，由於各目的地間相距較遠，且公共交通有限，若想探訪更多南礪僻地，最佳交通方式則是租車。

<日本語仮訳>

南砺市

南砺市は、本州の中部日本海側にある富山県の南西の角の山岳地域に位置します。2004年に周辺の8つの町村（城端町、平村、上平村、利賀村、井波町、井口村、福野町、福光町）が合併し、現在の南砺市となりました。

市の北部には砺波平野が広がり、南部は主に山岳&森林地帯です。岐阜県のすぐ北にある南砺の西には金沢市、真南には白川郷や高山市が控えているため、南砺はそういった周辺地域にも足を伸ばしやすい場所です。

南砺の気候はおおむね穏やかで、夏は適度に暑く、冬は気温が氷点下に下がることはめったにありませんが、積雪量は多めです。特に山岳部やその周辺では3mを超える積雪が見られます。

東京から南砺へ直行するための一番の方法は、北陸新幹線に乗ることです。新高岡駅でローカル線のJR城端線に乗り換えれば、南砺地域のさらに奥へとたどり着けます。もしくは、「世界遺産バス」に乗れば、直接五箇山や白川郷を訪れることができます。京都や大阪からは、金沢駅行きのJR特急サンダーバードに乗ると良いでしょう。金沢駅からは、五箇山や井波へ運行するバスが数多く運航しています。南砺の中でもよりのどかな地域を見て回る場合は、それぞれの目的地の距離がかなり離れている場合がある上に、公共交通機関も限られているため、レンタカーを借りるのが最善策です。

<简体字>

联合国教科文组织（UNESCO）世界遗产名录之五箇山

作为 UNESCO 世界遗产，五箇山名至实归地成为南砺市最受瞩目的名胜之一。它位于众山环抱下的僻静溪谷中，其显著的特征有二——群峦叠嶂的地形，以及横贯其间、汇入日本海的庄川。受交通所限，这片与世隔绝的土地孕育出独特的文化，并世代传承至今。

包括著名的相仓村落及菅沼村落在内，五箇山拥有多达 40 座村庄。相仓、菅沼两村落因传统的“合掌造民居”而闻名，并相继被录入 UNESCO 世界遗产名录。陡峭的构造及茅草苫制的屋顶彰显这类民居的独特。包括附近的白川乡村落在内，这片区域曾拥有至少 1850 栋合掌造建筑，而留存至今的则不足 200 栋。如今在相仓及菅沼，仍有居民生活于传统合掌造民居中。部分民居还可提供住宿服务，着实是可遇难求的“世界遗产住宿”体验。

1995 年，五箇山与毗邻的岐阜县白川乡荻町地区，一同被列入 UNESCO 世界遗产名录，成为全日本第六件世界遗产。其后，更获得《米其林绿色指南日本 2009（法语版）》的最高评价——三星级。在柏林举办的第 19 届 UNESCO 世界遗产委员会上，五箇山及荻町地区以其卓越之姿，被认定为需保存、保护的日本文化遗产，并被正式列入名录。白川乡的荻町，以及位于南砺市五箇山的相仓、菅沼等三座村落共同构成“白川乡、五箇山合掌造村落”，并携手以世界遗产之衔载入史册。

这些村落具备了文化遗产六要素之其二：一，重要时代的代表建筑；二，濒临消亡的传统村落。

此地因如霞似锦的春樱享负盛名，而夏季，群山与稻田被染上亮丽鲜活的翠绿。秋季为众山迎来红黄如火的红叶，摇身化作最受青睐的一季。待到冬季，深达 2 至 3 米的积雪将覆盖整片五箇山地区。合掌造民居家家户户堆积起的纯白积雪，将五箇山村落的难忘之景深深印入众人内心。与游客众多的白川乡相比，五箇山原汁原味的山村风景则更显至纯至朴，至简至美。

<繁体字>

聯合國教科文組織（UNESCO）世界遺產名錄之五箇山

五箇山作為 UNESCO 世界遺產，理所當然地成為南礪市最受矚目的名勝之一。其顯著的特徵有二——群巒疊嶂的地形，以及橫貫其間、匯入日本海的莊川。它位於眾山環抱下的僻靜溪谷中，受交通所限，這片與世隔絕的土地孕育出獨特的文化，並世代傳承至今。

五箇山擁有多達 40 座村莊，其中包括著名的相倉村落及菅沼村落。相倉、菅沼兩村落因傳統的「合掌造民居」而聞名，並相繼被錄入 UNESCO 世界遺產名錄。陡峭的結構及茅草苫制的屋頂彰顯這類民居的別緻。包括附近的白川鄉村落在內，這片區域曾擁有至少 1850 棟合掌造建築，而留存至今的則不足 200 棟。如今在相倉及菅沼，仍有居民生活於傳統合掌造民居中。部分民居還可提供住宿服務，這樣的「世界遺產住宿」體驗著實不容錯過。

五箇山與鄰近的岐阜縣的白川鄉荻町地區，於 1995 年被一同列入 UNESCO 世界遺產名錄，成為全日本第六件世界遺產。其後，更獲得《米其林綠色指南日本 2009（法語版）》三星級，即最高評價。在柏林舉辦的第 19 屆 UNESCO 世界遺產委員會上，五箇山及荻町地區以其無與倫比之姿，被認定為需保存、保護的日本文化遺產，並被正式列入名錄。「白川鄉、五箇山合掌造村落」由白川鄉的荻町，以及位於南礪市五箇山的相倉、菅沼等三座村落共同構成，並以世界遺產之名共同載入史冊。

這些村落具備了文化遺產六要素之其二：一，重要時代的代表建築；二，瀕臨消亡的傳統村落。

此地因爭相綻放的春櫻聞名遐邇，而夏季，群山與稻田被抹上鮮艷亮麗的翠綠。秋季為眾山迎來紅黃交織的紅葉，搖身化作最具人氣的一個季節。待到冬季，整片五箇山地區將被深達 2 至 3 公尺的積雪所覆蓋。合掌造民居每家每戶堆積起的純白積雪，將五箇山村落的難忘之景深深印入眾人內心。與遊客絡繹不絕的白川鄉相比，五箇山的山村風景則更顯質樸純粹。

<日本語仮訳>

五箇山 - ユネスコ世界遺産

南砺市で最も注目すべき場所のひとつは、山に囲まれた地形とそこを横断して日本海へと注ぐ庄川を特徴とする、五箇山のユネスコ世界遺産です。五箇山は、山々に囲まれた人里離れた溪谷にあります。交通の便も限られていたことから、この隔絶した地域で育まれた独自の文化は、今日まで何世代にもわたって継承されてきました。

五箇山には 40 ほどの集落があり、その中には、ユネスコ世界遺産に指定されている急勾配な構造と茅葺き屋根を特徴とする、伝統的な合掌造りの家屋で有名な相倉集落および菅沼集落が含まれます。近くにある白川郷集落を含むこれらの地域には、かつては少なくとも 1,850 軒の合掌造りの建物がありましたが、現在残っているのは 200 軒未満となっています。相倉と菅沼には、今でも伝統的な合掌造りの家屋で生活している人たちがいます。一部の家屋は宿泊もでき、「世界遺産に泊まる」という貴重な体験ができます。

五箇山は、隣接する岐阜県にある白川郷の荻町地区とともに、1995 年にユネスコ世界遺産に指定され、日本で 6 番目の世界遺産となりました。さらには、『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン 2009 (フランス語版)』で、最高峰の三つ星を獲得しました。どちらの地域も、保存と保護が必要な日本の優れた文化遺産として認められ、ベルリンで開催された第 19 回ユネスコ世界遺産委員会において正式に指定されました。白川郷にある荻町、さらに南砺市の五箇山にある相倉および菅沼を含む 3 つの歴史的集落で構成される「白川郷・五箇山の合掌造り集落」という名のもと、世界遺産として記載されることになりました。

これらの集落は、重要な時代を代表する建造物が存在すること、及び消滅の危機にある伝統的集落であることなど、文化遺産と見なされる 6 つの要件のうちの 2 つを満たしていました。

この地域は春に咲く桜が有名ですが、夏には山々や稲田が鮮やかな緑へと変わります。秋も周囲の山々の葉が燃えるような赤や黄色へと紅葉することから、人気の季節です。一方、冬には五箇山エリアは 2~3 メートルの積雪量があります。合掌造りの家々に降り積もる真っ白な雪は、五箇山の集落の忘れられない光景となるはずです。多くの観光客が訪れる白川郷に比べ、五箇山のほうが、より素朴な山村の原風景をみることができます。

<简体字>

相仓合掌造村落

五箇山地区坐拥两座 UNESCO 世界遗产村落，相仓合掌造村落便是其一。不仅是合掌造民居，包括田野、石墙、雪持林（雪崩防护林）等村落景致，均是日本境内其他地区未曾有的珍稀景观。相较于另一座世遗村，相仓规模较大，共拥有 20 栋传统合掌造民居，大都建于约 100 至 200 年前，最古老的可追溯至 17 世纪。如今，这些合掌造民居，一部分仍为当地居民日常起居所用，另一部分则被改建成博物馆、店铺、旅馆民宿等设施。

相仓地处山谷，众山环抱，位于庄川西岸附近。蔓延至村落后方的日本七叶树、山毛榉、粗齿蒙古栎等树木，成为村庄抵御雪崩的一道屏障。这里也曾种植桑树用以制丝，而杂交构树（属于桑科）则常被应用于和纸制造。然而时迁世异，养蚕、和纸制造、硝石生产等产业逐渐衰颓，耕地也随之转型为水田。而远离村落之处，尚种有为草苫所用的青茅等其他植物。

除保存完好的 20 栋合掌造民居外，相仓还有多座值得瞩目的传统建筑，包括改造后的二层合掌造民居、未被归类于合掌造的木造建筑，以及板造或土造的货仓、寺院、神社、道场（念佛的修行场）等宗教建筑。壮美的大自然同样令这片土地远近驰名，无论何时来访，此地皆盈溢着季节之趣，而冬日尤其令人惊叹，届时被白雪覆盖的别致民居，与灯火映射下的冬景交相辉映，美不胜收。

相仓的建筑物大多相距颇近，十分适宜步行参观。登至附近的高坡，寻得最佳角度，村落全景便可一览无余。村落有如相仓民俗馆、相仓传统产业馆之类的诸多看点，甚至不乏被改造为礼品商店和住宿设施的合掌造民居。此外，在和纸作坊里，游客不仅可轻松体验此传统工艺，更能一探五箇山和纸产业的历史兴衰。

<繁体字>

相倉合掌造村落

共有兩座 UNESCO 世界遺產村落位於五箇山地區，而相倉合掌造村落便是其一。不僅是合掌造民居，包括田野、石牆、雪持林（雪崩防護林）等村落景緻，均是日本境內其他地區未曾有的獨特景觀。相倉共擁有 20 棟傳統合掌造民居，相較於另一座世遺村規模更大，大多建於約 100 至 200 年前，其中最古老的可追溯至 17 世紀。如今，這些合掌造民居，一部分仍為當地居民日常所居住，另一部分則被改建成博物館、店鋪、旅館民宿等設施。

相倉位於莊川西岸附近，地處山谷，群山擁簇。日本七葉樹、山毛櫸、粗齒蒙古櫟等樹木蔓延至村落後方，成為村莊抵禦雪崩的一道屏障。這裡也曾種植桑樹用以製絲，而雜交構樹（屬於桑科）則常被應用於和紙製造。然而隨著歲月流逝，養蠶、和紙製造、硝石生產等產業逐漸衰頹，耕地也隨之轉型為水田。而為草苫所用的青茅等其他植物，尚被種植於遠離村落之處。

除保存完好的 20 棟合掌造民居外，相倉還有多座引人注目的傳統建築，包括改造後的二層合掌造民居、未被歸類於合掌造的木造建築，以及板造或土造的貨倉、寺院、神社、道場（念佛的修行場）等宗教建築。除此之外，壯美的大自然同樣令這片土地聞名遐邇，此地四季各異其趣，無論何時來訪皆是美景。而冬日尤為令人驚嘆，屆時被白雪覆蓋的別緻民居，與燈火映射下的冬景相映成輝，美到令人屏息。

相倉的建築物大多相距不遠，十分適宜步行參觀。登至附近的高坡，尋得最佳角度，便可將村落全景盡收眼底。村落不僅有如相倉民俗館、相倉傳統產業館之類的諸多看點，甚至不乏被改造為禮品商店和住宿設施的合掌造民居。此外，在和紙作坊裡，遊客不僅可輕鬆體驗此傳統工藝，更能學習五箇山和紙產業的古往今來。

<日本語仮訳>

相倉合掌造り集落

相倉合掌造り集落は、五箇山にある 2 つのユネスコ世界遺産のひとつです。合掌造りの家屋だけでなく、田畑、石垣、雪持林も含めた集落景観は、国内の他の地域にはない、貴重な景観です。相倉は 2 つある集落の大きい方で、ここには伝統的な合掌造りの家が 20 棟あります。そのほとんどはおよそ 100 年から 200 年前に建てられたものですが、最も古いものは、17 世紀まで遡ります。現在、これら合掌造り家屋は、地元の人たちが今でも住んでいるものもあれば、博物館、店舗、観光客向けの宿泊施設に変わっているものもあります。

相倉は、庄川の西岸近くの山に囲まれた谷間に位置します。トチノキ、ブナ、ミズナラといった樹木が集落の背後に伸び、雪崩から集落を守る役割を果たしています。かつては絹の生産を目的としたクワが栽培されており、クワの一種で和紙の製造に使われるコウゾも収穫されていました。しかし年月とともに養蚕、和紙製造、塩硝生産は衰退し、農地は稲田へと変わっていきました。茅葺きに使われるカリヤス（小茅）などの他の植物は、集落から離れた場所で栽培されていました。

保存された 20 棟の合掌造り家屋のほか、相倉には注目すべき伝統的建築物が複数あります。これらは、2 階建てに改造された合掌造り家屋、合掌造りには分類されない木造建築物、板張りおよび土で造った蔵、寺院、神社、道場（念仏の修行場）などの宗教的建築物といったカテゴリーに分けられます。この地域は壮大な自然で知られ、どの季節に訪れてもそれぞれの良さを楽しめますが、魅力的な家屋が雪で覆われ灯りで照らされる冬は、特に見事です。

相倉は、建物の大半が互いに近距離に位置しているため、徒歩で巡りやすい場所です。近くの坂を上ると、集落のパノラマビューを堪能できる見晴らしポイントが見つかります。相倉民俗館や相倉伝統産業館など、集落の中には多くの見どころがあります。さらに、土産物店や宿泊施設として利用されている合掌造り家屋もあります。その他、和紙づくりのワークショップでは、手軽にこの伝統工芸の体験ができるだけでなく、五箇山和紙産業についての歴史を学ぶことができます。

<簡体字>

菅沼合掌造村落

五箇山地区坐拥两座被列入 UNESCO 世界遗产的合掌造村落，菅沼即为其中之一。菅沼的规模较相仓小，仅保有 12 栋传统建筑，其中 9 栋为合掌造民居，采用独特的建造方式，屋顶均以茅草苫成。菅沼坐落于庄川河湾处的河岸阶地上，被郁郁葱葱的山林所掩映。而山毛榉、粗齿蒙古栎等种类繁多的树木，则有助于保护该地区免受雪崩。

菅沼合掌造民居，大多建于江户时代（1603-1867）末期至大正时代（1912-1926）间，至今仍为当地居民居住。而现存最古老的合掌造建筑，正以五箇山民俗馆之名向公众开放。在此不仅可学习传统的生活方式，还能深入了解和纸生产、养蚕、硝石制造等地域产业。若想进一步了解火药原料——硝石的生产制造，造访与五箇山民俗馆相邻的“硝石馆”亦是不错的选择。

<繁体字>

菅沼合掌造村落

共有兩座被列入 UNESCO 世界遺產的合掌造村落位於五箇山地區，菅沼即為其中之一。菅沼的規模較相倉小，僅保有 12 棟傳統建築，其中 9 棟為合掌造民居，建造方式極其特殊，屋頂均以茅草苫成。菅沼坐落於莊川河灣處的河岸階地上，被蒼鬱繁茂的山林所掩映。而山毛櫸、粗齒蒙古櫟等種類繁多的樹木，則有助於保護該地區免受雪崩。

菅沼合掌造民居，大多建於江戶時代（1603-1867）末期至大正時代（1912-1926）間，至今仍為當地居民居住。而面向公眾開放的五箇山民俗館，則是現存最古老的合掌造建築。在此不僅可學習傳統的生活方式，還能深入了解和紙生產、養蠶、硝石製造等地域產業。若想進一步了解火藥原料——硝石的生產製造，造訪與五箇山民俗館相鄰的「硝石館」亦不失為優選。

<日本語仮訳>

菅沼合掌造り集落

菅沼は、ユネスコ世界遺産に指定された2つの五箇山の合掌造り集落のうちのひとつです。規模は相倉より菅沼の方が小さく、伝統的建築物はわずか12棟で、そのうち9棟が独特な建築方法と茅葺き屋根を持つ合掌造りの家屋です。この集落は庄川が曲がった部分の河岸段丘にあり、緑豊かな山の木々に囲まれています。ブナやモンゴリナラといった多くの種類の樹木が、この地域を雪崩から守るのに役立っています。

ここにある合掌造り家屋のほとんどは、江戸時代（1603-1867）の終わりから大正時代（1912-1926）の間に建てられたもので、今でも地元住民の家屋として使われています。一方、最も古い合掌造りの建築物は現在五箇山民俗館として公開されており、伝統的な生活様式を学べるばかりでなく、和紙生産や養蚕、塩硝製造など、この地域の産業について奥深く知ることができます。火薬の原料である塩硝の製造についてさらに詳しく知りたい場合は、五箇山民俗館に隣接する「塩硝の館」に立ち寄ると良いでしょう。

<简体字>

五箇山合掌造民居

五箇山最广为人知的，莫过于相仓、菅沼两座世界遗产级村落，它们以传统的合掌造民居闻名遐迩。“合掌造”即“宛若祈祷之手的建筑”，硬山式草苫屋顶如祈祷的双手般弯曲相合，正应其义，成为合掌造样式的象征。该建筑样式的发展顺应了当地特有的环境、气候及产业。五箇山地域多雪，房屋正是依托于这种带角度的陡峭屋顶，方可承受积雪的重量。而屋顶内侧的阁楼则极适于丝绸生产。合掌造民居不使用钉子筑造，取而代之的是采用绳索等天然材料维持建筑物强度。

五箇山与白川乡的合掌造民居，乍看之下或许相差无几，但它们却映射出迥异的地域特征。与毗邻的岐阜县白川乡相比，五箇山的降雪量更丰沛，故而建有陡峭屋顶的合掌造民居的数量也更为显著。白川乡以横向放置的材料铺设屋顶。而五箇山的合掌造结构中，茅草并非横向放置，而是截面向下，从而形成边缘呈弧形的“悬山顶”。此外，五箇山民居的玄关位于悬山顶端侧下方，为“妻入”样式；而白川乡民居为“平入”样式，屋脊沿建筑物长边延伸，玄关则与屋脊平行而建。

<繁体字>

五箇山合掌造民居

相倉、菅沼兩座世界遺產級村落，於五箇山最具盛名，它們以傳統的合掌造民居聞名遐邇。「合掌造」即「貌似祈禱之手的建築」，硬山式草苫屋頂如祈禱的雙手般彎曲相合，恰如其義，成為合掌造樣式的象徵。該建築樣式的發展順應了當地特有的環境、氣候及產業。五箇山地域多雪，房屋正是依托於這種帶角度的陡峭屋頂，方可承受積雪的重量。而屋頂內側的閣樓則非常適於絲綢生產。合掌造民居不使用釘子築造，取而代之的是採用繩索等天然材料維持建築物強度。

五箇山與白川鄉的合掌造民居，乍看之下或許大同小異，但它們卻映射出大相徑庭的地域特徵。與鄰近的岐阜縣白川鄉相比，五箇山的降雪量更豐沛，故而建有陡峭屋頂的合掌造民居的數量也更為繁多。白川鄉以橫向放置的材料鋪設屋頂。而五箇山的合掌造結構中，茅草則並非橫向放置，而是截面向下，故而形成邊緣呈弧形的「懸山頂」。此外，五箇山民居的玄關位於懸山頂端側下方，為「妻入」樣式；而白川鄉民居的屋脊沿建築物長邊延伸，玄關則與屋脊平行而建，為「平入」樣式。

<日本語仮訳>

五箇山の合掌造り家屋

五箇山は、伝統的な合掌造り家屋がある相倉と菅沼という、世界遺産となっている 2 つの集落で最もよく知られています。「合掌造り」という言葉は、文字通り「祈りを捧げる手のように建てられた」と訳され、この様式を象徴する茅葺きの切妻屋根が、祈りのような姿勢で曲げられた両手に似ている様子を説明しています。この建築様式は、この地域固有の環境、気候、産業に応じて発展しました。雪の多い五箇山では、このような角度の付いた急勾配の屋根によって雪の重量に対応できます。さらに屋根の内側の屋根裏スペースは、絹の生産に適しています。合掌造り家屋は釘を使わずに建てられており、その代わりに縄や自然の材料を使って建物の強度を保っています。

一見、五箇山と白川郷の合掌造り家屋は同じように見えるかもしれませんが、それぞれの地域の特徴を反映した違いがあります。五箇山の合掌造り家屋は、隣接する岐阜県の白川郷よりも降雪量が多いため、急勾配な屋根を持つものが多くなっています。五箇山の合掌造りでは、茅の切断面が横向きではなく下向きに配置された結果、端が丸みを帯びた切妻となっています。一方で白川郷では、横向きの材料を使って屋根が葺かれています。もうひとつの構造上の違いとして、五箇山の家屋は、出入口が切妻の端側の下にあることを意味する「妻入り」様式に分類され、これに対して白川郷の家屋は、建物の長辺に沿った屋根の棟に平行して出入口がある「平入り」様式に区分されます。

<简体字>

五箇山之养蚕史

养蚕——即丝绸生产，始于 16 世纪前，于江户时代（1603-1867）之后成为五箇山地区的支柱产业。五箇山合掌造民居乃多层构造，通风良好且采光充足，为养殖幼蚕提供了绝佳环境。民居附近更植有作为饲料供幼蚕食用的桑树。

五箇山地区生产的生丝被运往“城端镇”，并在“加贺藩”的护佑下制成丝绸制品。由于五箇山不适于种植水稻，养蚕便成为支付地租最重要的收入来源之一。二战后，随着经济发展及化学纤维的普及，该地区的养蚕业也江河日下。

<繁体字>

五箇山之養蠶史

始於 16 世紀前的養蠶（即絲綢生產），於江戶時代（1603-1867）之後成為五箇山地區的主要產業。五箇山合掌造民居乃多層構造，通風良好且採光充足，為養殖幼蠶提供了絕佳環境。民居附近更植有作為飼餌供幼蠶食用的桑樹。

五箇山地區生產的生絲被運往「城端鎮」，並在「加賀藩」的護佑下製成絲綢製品。由於五箇山不適用於種植水稻，養蠶便成為支付地租最重要的收入來源之一。第二次世界大戰後，由於經濟發展及化學纖維的普及，該地區的養蠶業也日漸衰退。

<日本語仮訳>

五箇山の養蚕

養蚕、つまり絹の生産は、16世紀以前に始まり、江戸時代（1603-1867）以後に五箇山の主要産業となりました。五箇山の合掌造り家屋は、複数階層構造であったこと、そして風通しがよく光もよく差し込んだことから、蚕の幼虫を育てるには最適な環境でした。蚕の幼虫の餌となる桑は、近隣で育てられていました。

五箇山で生産された生糸は城端の町に運ばれ、加賀藩の保護のもとで絹織物が生産されました。五箇山は稲作には向いていなかったため、養蚕は地租を支払うための最も重要な収入源のひとつでした。第二次世界大戦後、経済発展と化学繊維の普及によって、この地域での養蚕は衰退していきま

した。

<简体字>

五箇山之和纸制造

发祥于五箇山地区的传统手抄和纸——五箇山和纸，与八尾和纸、蛭谷纸等产于富山县的和纸一并，统称为越中和纸。此种和纸是在杂交构树（属于桑科）的韧皮纤维中，混入从锦葵科植物黄蜀葵中提取的黏液制作而成。这种独特的配方赋予了五箇山和纸美丽的外观与柔韧的触感。而杂交构树韧皮相互交织的纤维则孕育出其持久耐用的特性。

江户时代（1603-1867），该地正值加贺藩统治之下，五箇山和纸因其庇护而蓬勃发展，专为加贺藩主制造、贡奉，并多用于加贺藩发行的纸币。加贺藩统治时期，纸张交易成为一项重要产业。五箇山和纸主要于冬季生产，而暖阳普照之时，当地则以大型合掌造民居内的丝绸和硝石制造为主业。时至今日，这种和纸仍被视为高品质素材，深得画家、版画家等艺术家钟爱，甚至被广泛应用于灯笼、和伞等商品的制作。

如今，游客可在“五箇山和纸故里”等观光设施内驻足，了解独特的手工和纸；也可加入和纸作坊，切身体验妙趣横生的和纸制物。仅需约 20 分钟，一件简易的小玩意便大功告成。

<繁体字>

五箇山之和紙製造

五箇山和紙起源於五箇山地區的傳統手抄和紙，與八尾和紙、蛭谷紙等產於富山縣的和紙一起，被統稱為越中和紙。此種和紙是在雜交構樹（属于桑科）的韌皮纖維中，混入從錦葵科植物黃蜀葵中提取的黏液製作而成。五箇山和紙美麗的外觀與柔韌的觸感均是得益於這種獨特的配方。而雜交構樹韌皮相互交織的纖維則賦予了其持久耐用的特性。

江戶時代（1603-1867）的該地處於加賀藩統治之下，五箇山和紙因其庇護而蓬勃發展，專為加賀藩主製造、貢奉，並多用於加賀藩發行的紙幣。加賀藩統治時期，紙張交易成為一項重要產業。五箇山和紙主要於冬季生產，而天氣回暖之時，當地則以大型合掌造民居內的絲綢和硝石製造為主業。時至今日，這種和紙仍被視為高品質素材，深受畫家、版畫家等藝術家青睞，乃至於被廣泛應用於燈籠、和傘等商品的製作。

如今，在「五箇山和紙故里」等觀光設施內，遊客可駐足了解獨特的手工和紙；也可加入和紙作坊，切身體驗趣味無窮的和紙製物。僅需約 20 分鐘，一件簡易的小物件便大功告成。

<日本語仮訳>

五箇山の和紙づくり

五箇山和紙は、五箇山地域を発祥とする伝統的な手漉き和紙です。八尾和紙や蛭谷紙など、富山県で作られる和紙の総称である越中和紙の一種です。この和紙は、コウゾとして知られるクワの一種の靱皮に、アオイ科のトロロアオイから抽出した粘液を混ぜて作られます。この独特な配合によって、五箇山和紙は美しい見た目としなやかな感触が得られます。また、コウゾの靱皮の絡み合った繊維によって、丈夫で長持ちする紙が生まれます。

五箇山和紙は、江戸時代（1603-1867）に当地を治めていた加賀藩の庇護の下で発展し、加賀藩主のためだけに製造され、献上されていました。そして多くの場合、藩が発行する紙幣に使われました。加賀藩が支配していた頃は、紙の交易が重要な産業となっていました。五箇山和紙は主に冬季に製造され、暖かい時期には、大型の合掌造り家屋の中で絹や塩硝が作られていました。今日でも、この和紙は高品質素材とされ、木版画家や画家といった芸術家が愛用し、さらには提灯や和傘といった商品の製造にも使われています。

現在、「五箇山 和紙の里」などの観光客向けの施設では、この独特な和紙について学ぶとともに、ワークショップに参加して和紙づくりを直接体験することができます。所要時間 20 分ほどで、簡単なものが作れます。

<简体字>

五箇山之硝石生产史

五箇山地区主要的传统产业之一是生产火药不可或缺的原料——硝石（钾硝石）。硝石产业在加贺藩的治理下持续长达三百余年，而自 1543 年火器传入后更是突飞猛进。加贺藩历年大量购入硝石，用以加强防御，甚至向将军（幕府时期统治日本的军事领导人）隐瞒该地区硝石的生产状况。当时的五箇山未开发之地居多，百步九折，道阻难行，是秘密生产硝石的理想之地。

五箇山地区的合掌造民居通常设有地炉，地炉之下挖掘出最深 2 米的洞穴，即为硝石生产点。将稻草、土壤、蒿草、蚕沙等混合后的原料放入洞穴，发酵约五年。发酵过程中需用地炉保温，使洞穴内的原料与空气接触，每年重新混合一次，以追加新材料。随着时间推移，硝酸钙通过细菌的硝化作用在土壤中生成。为了从土壤中提取硝酸钾，将土壤与水混合，通过煮沸将已溶解了硝酸钙的水浓缩，并向浓缩液中添加草木灰以去除杂质。此时，草木灰中的碳酸钾与浓缩液中的硝酸钙发生反应，生成硝酸钾与碳酸钙。碳酸钙不溶于水而沉淀。之后过滤清液、再次煮沸浓缩，冷却后即可获得粗糙的硝石结晶。硝石结晶被加贺藩集中购入，并运往位于金泽的加贺藩仓库。随着 1871 年幕藩体制被废止，加贺藩对硝石的收购亦成为历史。而明治时代（1868-1912）自智利进口廉价硝石，进一步导致当地产量的节节衰减。

如今，名为“硝石馆”的菅沼村硝石资料馆，在五箇山迎接着各位游客的到来。该资料馆位于一座经过修复的合掌造（屋顶陡峭并以草苫成的民居）建筑内，用以向游客展示硝石生产中所使用的原料及道具，更可详细了解葡萄牙火器与火药传入日本后的生产史。

<繁体字>

五箇山之硝石生產史

硝石（鉀硝石）是生產火藥不可或缺的原料，同時也是五箇山地區主要的傳統產業之一。在加賀藩的治理下，其產業持續長達三百餘年，而自 1543 年火器傳入後尤為突飛猛進。加賀藩年年大批購入硝石，用以加強防禦，甚至向將軍（幕府時期統治日本的軍事領導人）隱瞞該地區硝石的生產狀況。當時的五箇山未開發之地居多，百步九折，道阻難行，是秘密生產硝石的理想之地。

五箇山地區的合掌造民居通常設有地爐，地爐之下挖掘出最深 2 公尺的洞穴，即為硝石生產點。將稻草、土壤、蒿草、蠶沙等混合後的原料置入洞穴，發酵約五年時間。發酵過程中需用地爐保溫，使洞穴內的原料與空氣接觸，每年重新混合一次，以追加新材料。隨著時間推移，透過細菌的硝化作用，硝酸鈣逐漸在土壤中生成。為了從土壤中提取硝酸鉀，將土壤與水混合，透過煮沸將已溶解了硝酸鈣的水濃縮，並向濃縮液中添加草木灰以去除雜質。此時，草木灰中的碳酸鉀與濃縮液中的硝酸鈣發生反應，生成硝酸鉀與碳酸鈣。碳酸鈣不溶於水，因而發生沉澱。之後過濾清液、再次煮沸濃縮，冷卻後即可獲得粗糙的硝石結晶。硝石結晶被加賀藩集中購入，並運往位於金澤的加賀藩倉庫。1871 年，幕藩體制被廢止，加賀藩對硝石的收購亦成為往事。而明治時代（1868-1912），隨著廉價硝石自智利進口，更導致當地產量的進一步衰減。

如今，名為「硝石館」的菅沼村硝石資料館，在五箇山迎接著各位遊客的到來。該資料館位於一座經過修復的合掌造（屋頂陡峭並以草苫成的民居）建築內，用以向遊客展示硝石生產中所使用的原料及道具，還可以深入了解葡萄牙火器與火藥傳入日本後的生產史。

<日本語仮訳>

五箇山の塩硝生産

五箇山地域での主要な伝統的産業のうちの一つが、火薬に欠かせない原料である塩硝（硝酸カリウム）の生産です。塩硝産業は、加賀藩が五箇山を治めていた 300 年間以上にわたって行われ、1543 年の鉄砲伝来以後、飛躍的に成長しました。毎年大量に塩硝を買い上げていた加賀藩の防御を強固なものにするため、この地域での塩硝の生産は将軍（日本を統治していた軍の指導者）にさえも秘密にされていました。五箇山は大半が未開の地であり、たどり着くのが難しい地域だったため、秘密裏に塩硝を生産するのに理想的な場所でした。

塩硝は、五箇山地域の合掌造りの家に一般的に備わっている囲炉裏の下に掘られた、最長 2m の深さの穴の中で作られました。藁、土、ヨモギ、蚕糞などの原料を混ぜてその穴に入れ、約 5 年間発酵させます。囲炉裏を使用して発酵中の原料を温かく保ち、穴の中の原料を空気に触れさせ、追加の材料を加えるために年に一度混ぜ返しが行われました。時を経るうちに、細菌による硝化作用を通して土壌中に硝酸カルシウムが生成されます。土壌から硝酸カリウムを抽出するには、水と土壌を混ぜ合わせ、硝酸カルシウムが溶け出したその水を煮詰めて濃縮させます。その濃縮液に草木の灰を加え、不純物を取り除きます。灰に含まれる炭酸カリウムが濃縮液の中の硝酸カルシウムと反応して、硝酸カリウムと炭酸カルシウムが生成されます。炭酸カルシウムは不溶性のため、水の中で沈殿します。その後上澄み液を濾過し、さらに煮詰めて濃縮させ、冷やすと粗い塩硝の結晶が得られます。集めた塩硝の結晶は加賀藩に売られ、金沢にある加賀藩の倉庫へと運ばれました。1871 年に藩が廃止されたことにより、加賀藩による塩硝の買い上げは行われなくなりました。さらに明治時代（1868-1912）にチリから安価な塩硝が輸入されるようになり、この地域での生産量は減っていきました。

現在では、塩硝の館としても知られる菅沼村の塩硝資料館が五箇山への旅行客を迎えています。この資料館は、塩硝生産で使われた原料や道具を展示するために改修された合掌造り（急勾配の藁ぶき屋根の家）の建物内にあります。訪問客は、元々ポルトガルから伝来した鉄砲と火薬の日本での生産の歴史についてもより詳しく学ぶことができます。

<简体字>

村上宅

位于五箇山的村上家宅，是该地区最古老的合掌造民居（陡坡草苫顶民居）之一。建于 17 世纪下半叶的民居，保存状态良好，现已被指定为“重要文化财”，并成为此地独特的合掌造建筑之典范。村上家宅共设四层，最上层曾专用于五箇山的支柱产业之一——丝绸生产。而养蚕及和纸制造所使用的各类工具，则展出于二层及三层。游客可随心所欲地参观房屋的一至三层，甚至能够遇见居住于此的村上家居民。您可围坐在传统的地炉旁，倾听令人兴致盎然的趣话，亦或欣赏一首民谣或一段当地舞蹈。民谣中所使用的打击乐器“编木”，以绳系薄木板制成，可谓别具一格。此外，您还可在此购买各种礼物及纪念品。

<繁体字>

村上宅

村上家宅位於五箇山，是該地區最古老的合掌造民居（陡坡草苫頂民居）之一。民居建於 17 世紀後半，保存狀態良好，現已被指定為「重要文化財」，並成為此地獨特的合掌造建築之典範。村上家宅共設四層，最上層曾專用於五箇山的主要產業之一——絲綢生產。而養蠶及和紙製造所使用的各類工具，則於二層及三層展出。遊客可盡情參觀房屋的一至三層，甚至能夠遇見居住於此的村上家居民。您可圍坐在傳統的地爐旁，傾聽津津有味的趣話，亦或欣賞一首民謠或一段當地舞蹈。民謠中所使用的打擊樂器「編木」，以繩繫薄木板製成，可謂獨樹一幟。此外，您還可在此購買各種禮物及紀念品。

<日本語仮訳>

村上家

五箇山にある村上家住宅は、この地域で最も古い合掌造り家屋（急勾配の茅葺き屋根を持つ家屋）のひとつです。17世紀後半に建てられた保存状態の良いこの家屋は、今では重要文化財に指定されており、この地域独特の合掌造り建築の代表例となっています。村上家住宅は4階建てで、上層階は五箇山の主要産業のひとつである絹の生産専用でした。現在、養蚕や和紙づくりに使われたさまざまな道具類が、2階と3階に展示されています。来訪者は3階まで見て回ることができ、この家屋に暮らす村上家の住人に会うこともできます。伝統的な囲炉裏を囲んで興味深い話を聞いたり、木の薄板をひもで繋いだ打楽器である「ささら」を使った民謡や地元の踊りを見学したりすることができます。また、贈り物やお土産を購入することもできます。

<简体字>

岩濑宅

岩濑家宅——五箇山地区现存之合掌造（陡坡草苫顶民居）民居中最具规模的建筑。岩濑家宅约建于 300 年前，正面长 26.4 米、纵深 12.7 米、高 14.4 米，共五层，通常为亲族数代共居。1985 年被指定为“重要文化财”的该民居，因其保留以木梁为中心的构造，一如建造之初，故被誉为合掌造建筑之典范。此外，客厅采用的“书院造”典型样式，常见于上级武士的宅邸。建筑物左侧，巨大的榉木梁依然原封不动地保留了建筑最初的样貌，而对侧的“书院造”屋内，则装饰着工艺精美、细节生动的井波雕刻。井波雕刻是井波（属今南砺市）周边制作的传统木雕手工艺品。与绝大多数合掌造建筑一样，岩濑家宅同样完全不使用金属建材及钉子，而是采用天然粘合剂、强韧的爬墙虎或稻草绳来搭建木材。作为草苫屋顶材料的青茅，则是日本原产禾本科植物，每 25 年需更换一次。

<繁体字>

岩瀨宅

五箇山地區現存之合掌造（陡坡草苫頂民居）民居中規模最大的建築，就是岩瀨家宅。其大約建於 300 年前，正面長 26.4 公尺、縱深 12.7 公尺、高 14.4 公尺，共五層，通常為親族數代共居。該民居於 1985 年被指定為「重要文化財」，因其保留以木樑為中心的構造，仍維持著建造之初的樣貌，故被譽為合掌造建築之典範。此外，客廳採用的「書院造」典型樣式，常見於上級武士的宅邸。建築物左側，巨大的檜木樑依然保留著建築最初的樣貌，一如往昔歲月。而對側的「書院造」屋內，則裝飾著巧奪天工、細節生動的井波雕刻——即井波（屬今南礪市）周邊製作的傳統木雕手工藝品。與絕大多數合掌造建築一般，岩瀨家宅同樣完全不使用金屬建材及釘子，取而代之的是採用天然粘合劑、堅韌的爬牆虎或稻草繩來搭建木材。作為草苫屋頂材料的青茅，則為日本原產禾本科植物，每 25 年需更換一次。

<日本語仮訳>

岩瀬家

岩瀬家住宅は、現存する合掌造り（急勾配の茅葺き屋根を持つ家屋）の家屋としては五箇山地区で最大級のものです。約 300 年前に建造されたこの建物は、間口 26.4m、奥行き 12.7m、高さ 14.4m の 5 階建ての家屋で、通常は数世代の親族が同居していました。1958 年に重要文化財に指定されたこの家屋は、建設当時の木の梁を中心とする構造が残っているため、合掌造り建築の代表例と言えます。さらに、客間は書院造と呼ばれる上級武士の屋敷に典型的に見られる様式で建てられています。建物の左側には大きなケヤキ材の梁が建築当時の姿のまま残っており、反対側にある書院造の部屋には細部まで美しく仕上げられた井波彫刻の装飾が施されています。井波彫刻は井波（現在は南砺市の一部）周辺で作られる伝統的な木彫りの手工芸品です。ほとんどの合掌造り建築と同様に、岩瀬家住宅も金属の建材や釘は一切使用せず、天然素材の接着剤、強靱なツタや藁縄で木材を組み上げて建てられています。茅葺きの屋根にはカリヤスという日本原産のイネ科植物の一種が使われており、25 年に 1 度葺き替えが行われます。

<简体字>

羽马宅

羽马家宅最初建于五箇山下游的大岛村落，1769 年火灾后迁至现址。房屋的建筑结构几乎未曾改动，也未进行任何现代化改造，因而成为旧合掌造建筑（陡坡草苫顶民居）的珍贵典范。在五箇山地区的合掌造中，羽马宅规模较小，其结构保留了大型化前的合掌造所具备的普遍特征。该民居被指定为国家级“重要文化财”，设有四间保存良好的房间，但一般不对外开放。不过，羽马宅时常会开窗换气，那时便可自外部一窥其内貌。

<繁体字>

羽馬宅

最初建於五箇山下游大島村落的羽馬家宅，於 1769 年火災後遷至現址。房屋的建築結構幾乎原封不動，也未進行任何現代化改造，故而成為舊合掌造建築（陡坡草苫頂民居）的寶貴範例。羽馬宅在五箇山地區的合掌造中規模較小，其結構保留了大型化前的合掌造所具備的普遍特徵。該民居設有四間保存良好的房間，但一般不面向公眾開放。不過，羽馬宅時常會開窗換氣，那時便可自外部一窺其內貌。它已被指定為國家級「重要文化財」。

<日本語仮訳>

羽馬家

羽馬家住宅は元々、五箇山の下流にある大島という集落に建てられていましたが、1769年に火災があった後、現在の場所に移築されました。構造部分がほぼ改修されず近代化もされていないため、古い合掌造り建築（急勾配の茅葺き屋根を持つ家屋）の貴重な例となっています。羽馬家住宅はまた、五箇山地区の合掌造りの中では小さい部類に入り、その構造は合掌造り建築が大型化する以前に一般的だった特徴を残しています。4つの部屋を持つ保存状態の良いこの家屋は国の重要文化財に指定されており、一般には公開されていません。ただし、換気のために窓が開かれていることがよくあり、その際には外から内部を垣間見ることができます。

<简体字>

相仓民俗馆

相仓乃是合掌造（陡坡草苫顶民居）之乡，建有两座乡土博物馆，其中相仓民俗馆位于传统合掌造民居中，一户姓尾崎的人家曾居住于此。该馆以乡土生活为主题，向前来参访的游客提供丰富而充实的展览。馆内不仅有当地历史的讲解，更通过服装、农具等各类日用品的展示，聚焦江户时代（1603-1867）五箇山居民的生活。五箇山远离其他村落，地形复杂、往来不便，却因长期自给自足而兴旺，由此发展出独一无二的传统文化。博物馆以独具魅力的展览，生动诠释了五箇山传统文化的一部分。而在二楼，您还可更深入地了解合掌造民居的独特构造。

<繁体字>

相倉民俗館

被譽為合掌造（陡坡草苫頂民居）之鄉的相倉，建有兩座鄉土博物館，其中相倉民俗館位於傳統合掌造民居中，一戶姓尾崎的人家曾居住於此。該館以鄉土生活為主題，向前來參訪的遊客提供豐富多彩的展覽。館內不僅有當地歷史的講解，更透過服裝、農具等各類日用品的展示，聚焦江戶時代（1603-1867）五箇山居民的生活。五箇山遠離其他村落，地形複雜、往來不便，卻因長期自給自足而興旺，由此發展出獨特的傳統文化。二樓，您還可更深入地了解合掌造民居的獨特構造。博物館以別具一格的展覽，將五箇山傳統文化的一部分講解得栩栩如生。

<日本語仮訳>

相倉民俗館

合掌造り（急勾配の茅葺き屋根の家屋）の里、相倉には2つの郷土博物館があり、この相倉民俗館では、かつて尾崎家住宅として使われていた伝統的な合掌造り建築の中で郷土の暮らしに関する充実した展示を見学できます。館内では地域の歴史が紹介されており、衣服や農具など様々な日用品の展示を通じて江戸時代（1603-1867）の五箇山の人々の暮らしに光を当てています。五箇山は他の集落から離れた場所にあり、地形的にも人の行き来が難しかったため、長い間自給自足で栄え、その中で独自の伝統文化が発展してきました。この博物館では、魅力的な展示でそのような伝統文化の一部を生き生きと紹介しています。2階では、合掌造り家屋の独特な構造についてさらに深く学ぶことができます。

<简体字>

相仓传统产业馆

位于合掌造（陡坡草苫顶民居）之乡——相仓的相仓传统产业馆内，陈列着五箇山的主要产业信息及实物资料。五箇山的部分产业曾处于加贺藩庇护之下，诸如和纸生产、养蚕、硝石制造等产业均在其列。相仓拥有两座乡土博物馆，其中的相仓传统产业馆位于传统合掌造民居内，一户姓中谷的人家曾在此居住。游客可于此近距离观察各产业所使用的工具及设备。正是这些产业，为相仓村的生活提供了支持。该博物馆更介绍了以《筑子节》为代表的五箇山传统音乐与民谣，且村内传承的乐器、歌词及其他音乐的各种相关展品均陈列于馆中。

<繁体字>

相倉傳統產業館

相倉傳統產業館位於合掌造（陡坡草苫頂民居）之鄉——相倉，館內陳列著五箇山的主要產業信息及實物資料。五箇山的部分產業曾處於加賀藩庇護之下，如和紙生產、養蠶、硝石製造等產業均在其列。共有兩座鄉土博物館位於相倉，其中的相倉傳統產業館位於傳統合掌造民居內，一戶姓中谷的人家曾在此居住。遊客可於此近距離觀察各產業所使用的工具及設備，而相倉村的生活便利便受惠於這些產業。該博物館更介紹了以《築子節》為代表的五箇山傳統音樂與民謠，且村內傳承的樂器、歌詞及其他音樂的各種相關展品均陳列於館中。

<日本語仮訳>

相倉伝統産業館

合掌造り（急勾配の茅葺き屋根の家屋）の里、相倉にある相倉伝統産業館では、五箇山の主要な産業に関する情報と現物資料を紹介しています。五箇山の産業の一部は加賀藩によって保護されていました。和紙生産、養蚕、塩硝製造などがその例です。相倉には2つの郷土博物館がありますが、この相倉伝統産業館では、旧中谷家住宅の伝統的な合掌造り建築の中で、村の暮らしを支えた各産業で使われていた道具や器具を間近に見ることができます。また、この博物館では『こきりこ節』をはじめとする五箇山の伝統的な音楽や民謡も紹介しており、村に伝わる楽器、歌詞、その他の音楽に関わる様々な品々が展示されています。

<简体字>

南砺与加贺藩

加贺藩常被称作金泽藩，是江户时代（1603-1867）所置藩地之一，今富山县东西部以及石川县的大部分地区皆曾在其治下。当时，评估土地价值的标准为“石高”系统，而此系统是以“石（每石 150 千克）”作为米的计量单位。纵观德川幕府时代，根据石高 100 万石以上的大米年产量，前田家统治下的加贺藩可谓诸藩之最。

今南砺市所辖城端、井波、井口、福光、福野、五箇山、利贺等大部分地区，都曾被归于加贺藩领内。而其中的部分地区，在产业及工艺方面更是与加贺藩有着密不可分的联系。城端高级丝绸制品乃是加贺藩特产，曾于关西（含现京都）及东京等地获得广泛需求，其所使用的丝线即产于五箇山及福光地区。五箇山地区更通过高品质和纸及硝石生产，为加贺藩做出了贡献，其中，硝石是火药的必需之物，而火药也加强了加贺藩地区的防御。五箇山地区还拥有一项特殊职能——即加贺藩流放地。这里地势险峻，进出异常艰难，尤其冬季来临时，五箇山有时甚至处于完全孤立状态，被视为流放罪犯的理想之地。

<繁体字>

南礪與加賀藩

加賀藩是江戶時代（1603-1867）所置藩地之一，以「金澤藩」之稱聞名於世，今富山縣東西部以及石川縣的大部分地區皆曾在其治下。當時，評估土地價值的標準為「石高」系統，而此系統是以「石（每石 150 千克）」作為米的計量單位。縱觀德川幕府時代，根據石高 100 萬石以上的大米年產量，前田家統治下的加賀藩堪稱最具規模。

今南礪市所轄大部分地區（含城端、井波、井口、福光、福野、五箇山、利賀等），都曾被歸於加賀藩領內。而其中的部分地區，在產業及工藝方面更是與加賀藩息息相關。城端高級絲綢製品乃是加賀藩特產，曾於關西地區（含今日京都）及東京等地獲得廣泛需求，其所使用的絲線正是產自五箇山及福光地區。此外，五箇山地區更通過高品質和紙及硝石生產，為加賀藩做出了貢獻，其中，硝石是火藥不可或缺的成分，而火藥也加強了加賀藩地區的防禦。五箇山地區還擁有一項特殊職能——即加賀藩流放地。這裡地勢險峻，難以出入，尤其冬季來臨時，五箇山有時甚至處於完全孤立狀態，被視為流放罪犯的最優之選。

<日本語仮訳>

南砺と加賀藩

金沢藩としても知られる加賀藩は、江戸時代（1603-1867）に置かれていた藩の一つで、現在の富山県の東部と西部の大部分と、現在の石川県のほとんどを支配下におさめていました。この時代、土地の価値は石高というシステムによって決められており、石高は米の量である石（各 150 キロ）という単位で表されていました。前田家が治めていた加賀藩は、石高 100 万石以上と査定された米の年間生産量により、徳川幕府の中でも最大の藩と見なされていました。

城端、井波、井口、福光、福野、五箇山、利賀といった地域を含む現在の南砺のほとんどは、加賀藩の領地でした。これらの地域の一部は、産業および工芸という点で加賀藩との間に強いつながりを持っていました。五箇山や福光で生産された絹糸で作られた城端の高品質な絹織物は加賀藩の特産品で、現在の京都を含む関西地方や東京などの地域で大きな需要がありました。五箇山地域は、高品質な和紙や、加賀藩の防御を強固にした火薬に欠かせない材料である塩硝によって、加賀藩に貢献しました。また五箇山地域は、加賀藩における追放者が送られる流刑地としても機能していました。五箇山はその地形の険しさにより出入りが非常に困難で、特に冬には孤立状態となってしまうこともあり、犯罪者を送り込むのに理想的な場所だったのです。

<简体字>

白山宫

白山宫神社历史悠久，位于五箇山上梨地区，始建于奈良时代（710-794）初期。其初建原址为岐阜县人形山，并于 1125 年迁至现址。如今的正殿则重建于 1502 年，为富山县最古老的木造建筑，被指定为国家级“重要文化财”。正殿位于“鞘堂”内，这种草苫顶建筑可保护正殿不受当地恶劣气候的侵害。鞘堂的屋顶、结构与当地合掌造（陡坡草苫顶民居）建筑极为相似。

正殿通常不向公众开放，仅在秋季“筑子祭”上，方得以一览其庐山真面目。为庆丰收，于每年 9 月 25、26 两日举办的“筑子祭”上，将演奏以具有悠久历史《筑子节》为首的各种五箇山民谣。此传统技艺在五箇山代代传承，其最显著的特征，便是演奏以绳系木质薄板的打击乐器“编木”等当地民俗乐器。

正殿内供奉的御神体每 33 年仅向公众开放一次。最近一次公开为 2019 年 5 月，为期两天。白山宫境内多硕木环绕、绿茵葱葱，最适宜游客悠然徜徉其中，沉心静气、修养身心。

<繁体字>

白山宮

位於五箇山上梨地區的白山宮神社，始建於奈良時代（710-794）初期，可謂歷史悠久。其初建原址為岐阜縣人形山，並於 1125 年遷至現址。如今的正殿則重建於 1502 年，為富山縣最古老的木造建築，被指定為國家級「重要文化財」。正殿位於「鞘堂」內，鞘堂的屋頂、結構近似於當地合掌造（陡坡草苫頂民居）建築。這種草苫頂建築可保護正殿，不受當地惡劣氣候的侵害。

正殿通常不向公眾開放，僅在秋季「築子祭」上，方得以一窺其真容。每年 9 月 25、26 兩日，為慶祝豐收將舉辦「築子祭」。屆時將演奏以具有悠久歷史《築子節》為首的各種五箇山民謠。此傳統技藝在五箇山世代相傳，其最顯著的特徵，便是演奏以繩繫木質薄板的打擊樂器「編木」等當地民俗樂器。

正殿內供奉的御神體每 33 年僅向公眾開放一次。最近一次公開為 2019 年 5 月，為期兩天。白山宮境內多巨木環繞、青草如茵，最適宜遊客愜意遊覽其中，以修養並放鬆身心。

<日本語仮訳>

白山宮

五箇山の上梨にある白山宮は、奈良時代（710-794）初期からの長い歴史を持つ神社です。当初岐阜県の人形山に建立されましたが、1125年に現在の場所に移築されました。現在の本殿は1502年に再建されたもので、富山県で最古の木造建築物であり、国の重要文化財に指定されています。本殿は鞘堂と呼ばれる茅葺き屋根の建物の中にあり、この地域の厳しい気候から守っています。鞘堂の屋根と構造は、この地域の合掌造り（急勾配の茅葺き屋根の家屋）建築に似ています。

本殿は普段は一般公開されていませんが、秋に開催されるこきりこ祭りの開催中に限り拝観できます。毎年9月25日と26日に開かれるこの祭りでは、豊作を祝うために、長い歴史を持つ『こきりこ節』をはじめとする五箇山の様々な民謡が演奏されます。この伝統芸能は五箇山に代々伝えられてきたもので、木の薄板をひもで繋いだ打楽器である「ささら」などの土着の民俗楽器を演奏するのが特徴です。

本殿に祀られている御神体は33年に1度だけ一般に公開されます。最近の一般公開は2019年の5月で、2日間公開されました。境内は多くの大木と豊かな緑に囲まれており、心休まる散策の場となっています。

<简体字>

流放小屋

南砺市五箇山地区，位处深山、地势险峻，每至冬季常伴大雪封山。五箇山因地处偏远，而成为庄川东岸地区最理想的流放地，并于江户时代（1603-1867）充当着加贺藩流放地的角色。

供流罪之人居住的小屋被称为“流放小屋”，五箇山曾有过许多流放小屋。草苫顶的狭小房间内，仅设有厕所与配送食物的小孔等最低限度的生活设施。五箇山现存的唯一一所流放小屋，原建于 18 世纪，遭大雪压毁后，于 1965 年复原。为严格隔离流放者，流放小屋被建在未设桥梁的庄川的偏远处，行人往来困难重重。若要过河或运送物品，则必须借助绳索及运输工具。自 1667 年起的两百多年间，这里共接纳了约 150 名流放犯。如今通过配送食物的洞口，游客便可窥视其内部，一名武士装扮的人偶正端坐于屋内。

<繁体字>

流放小屋

位處深山、地勢險峻的南礪市五箇山地區，每至冬季，常伴大雪封山。由於地處偏遠，五箇山因而成為莊川東岸地區最理想的流放地，並於江戶時代（1603-1867）充當著加賀藩流放地的角色。

五箇山曾有過許多供流罪之人居住的小屋，被稱為「流放小屋」。草苫頂的狹小房間裡，只設有廁所與配送食物的小孔等最低限度的生活設施。五箇山現存的唯一一所流放小屋，原建於 18 世紀，遭大雪壓毀後，於 1965 年復原。流放小屋被建在未設橋樑的莊川的偏遠處，以嚴格隔離流放者，行人往來也因此困難重重。若要過河或運送物品，則必須藉助繩索及運輸工具。自 1667 年起的兩百多年間，這裡共收容了約 150 名流放犯。如今，若是透過配送食物的洞口窺視其內部，便可見到一名武士裝扮的人偶在屋內正襟而坐。

<日本語仮訳>

流刑小屋

南砺市の五箇山地域は地形的に険しい山奥にあり、冬になると豪雪に閉ざされるという特徴があります。五箇山は辺鄙な場所にあることから、庄川の東岸にあたる地域は罪人を追放する場所として理想的な条件を備えており、江戸時代（1603-1867）には加賀藩の流刑地として利用されていました。

流刑を受けた人が暮らす小屋は「流刑小屋」と呼ばれ、五箇山にはかつて多くの流刑小屋がありました。茅葺き屋根の小さな小屋には、便所と食べ物を差し入れる小さな穴など、最低限の生活設備のみが設けられていました。五箇山で現在見ることができる唯一の流刑小屋は、18世紀に建てられた小屋が雪で倒壊した後、1965年に復元されたものです。流刑を受けた人々を厳重に隔離するため、流刑小屋は橋のない庄川のはずれに建てられており、人の行き来は非常に困難でした。川を越えて人や物を運搬するには、縄と運搬具を使う必要がありました。1667年から200年以上の間に、約150人がこの地に追放されて来ました。現在、流刑小屋を訪れると食事を受け渡す穴から中を覗き見ることができます。中には武士の格好をした人形が座っています。

<简体字>

城端曳山祭

城端曳山祭是南砺市城端町于每年5月4日、5日举办的祭典。祭典上最引人注目之处，当属游行队伍中的六辆载有神像的巨型曳山（日本祭典时使用的一种神轿）。该庆典作为“日本之山、鉾、屋台行事”之一，被联合国教科文组织录入为非物质文化遗产。

1559年，福光的净土真宗派寺庙善德寺迁至该地区，城端町也随之设立。此后不久，围绕着善德寺，市场及其他业务于周边应运而生，城端则逐渐发展为“门前町（于寺庙、神社等宗教建筑周边形成的市街、村落）”。1693年，城端人口突破3000人，成为一座名副其实的城市。江户时代（1603-1867年），在加贺藩的庇护下，城端的丝绸产业极度发达，高品质丝绸的销售甚至扩展至京都及今东京等其他地区。这些城市间的文化交流，也令城端的文学作品、学问、艺术等成为新的焦点。

举办城端曳山祭的城端神明宫，1574年由邻村搬迁至此。这座神社的庆典始于1685年。18世纪初期，城端遭到经济衰退的冲击，为使经济恢复，当地居民开始举办庆典祭祀神灵，以此祈祷好运，昔日的神明宫庆典则逐渐演化为如今的城端曳山祭。1717年的庆典首度采用神舆、伞铙（用于招天神之物）、舞狮等形式。而曳山载神像项目则于数年后于1724年被引入庆典。19世纪上半叶，庵歌与庵屋台（以京都祇园艺伎招待顾客时使用的御茶屋为蓝本设计的花车）被相继编入庆典。端歌于江户（今东京）地区曾风靡一时，而在庵歌中不难窥得端歌所带来的影响。以竹笛与三味线（日本传统三弦乐器）演奏庵歌的演奏者们，与庵屋台一同游行。随着愈加精致的新雕像、装饰相继问世，曳山也愈加豪华绚丽。

祭典活动始于5月4日的前夜。六尊守护神像在山宿（公开展示用房屋）展出，分别为尧帝、惠比寿、大黑天、布袋和尚、关羽与周仓，以及寿星等。5月5日清晨，神像从山宿移出至曳山之上。游行队伍以狮子舞为开路先锋，可镇压恶灵的剑车饰以长幡，紧随其后。接着是八辆伞车、四神旗（四方四神之旗）、三座神舆并列前行。之后，曳山与演奏着庵歌的庵屋台压轴登场，结束游行。夜间，曳山上不可胜数的灯笼将祭典的气氛推向最高潮。

由当地工匠制作的曳山，可高达6米，由男性们牵引着巨轮，掌控方向，在城端的街道上巡游。车轮由榉木制成，碾过道路时会发出独特的嘎吱声。此声音独一无二，拥有祓除邪祟的力量，且唯有城端曳山祭上方可听到。

<繁体字>

城端曳山祭

每年5月4日、5日，南礪市城端町將會舉辦祭典，名為城端曳山祭。祭典上最引人注目之處，莫過於遊行隊伍中的六輛載有神像的巨型曳山（日本祭典時使用的一種神轎）。該慶典作為「日本之山、鉾、屋台行事」之一，被聯合國教科文組織錄入為非物質文化遺產。

福光的淨土真宗派寺廟善德寺於1559年遷至該地區，城端町也隨之設立。此後不久，圍繞著善德寺，市場及其他業務於周邊應運而生，城端則逐漸發展為「門前町（於寺廟、神社等宗教建築周邊形成的市街、聚落）」。1693年，城端人口突破3000人，成為一座名副其實的城市。江戶時代（1603-1867年），在加賀藩的庇護下，城端的絲綢產業高度發達，高品質絲綢的銷售甚至擴展至京都及今東京等其他地區。這些城市間的文化交流，也令城端的文學作品、學問、藝術等更受萬眾矚目。

城端曳山祭於城端神明宮舉辦。這座神社於1574年由鄰村搬遷至此，而慶典則始於1685年。18世紀初期，城端遭到經濟衰退的衝擊，為使經濟恢復，當地居民開始舉辦慶典祭祀神靈，以此祈禱好運，昔日的神明宮慶典則逐漸演化為如今的城端曳山祭。1717年的慶典初次採用神輿、傘鋒（用以招天神）、舞獅等形式。而曳山載神像項目則於數年後的1724年被引入慶典。19世紀前半，庵歌與庵屋台（以京都祇園藝伎招待顧客時使用的御茶屋為藍本設計的花車）也被相繼編入慶典。端歌於江戶（今東京）地區曾風靡一時，而在庵歌中不難窺得端歌所帶來的影響。以竹笛與三味線（日本傳統三弦樂器）演奏庵歌的演奏者們，與庵屋台一同遊行。隨著愈加巧奪天工的新雕像、裝飾相繼問世，曳山也愈加精緻華麗。

祭典活動始於5月4日的前夜。屆時，六尊守護神像於山宿（公開展示用房屋）展出，分別為堯帝、惠比壽、大黑天、布袋和尚、關羽與周倉，以及壽星等。而5月5日清晨，神像從山宿移出至曳山之上。遊行隊伍以獅子舞為開路先鋒，可鎮壓惡靈的劍車飾以長幡，緊隨其後。接著是八輛傘車、四神旗（四方四神之旗）、三座神輿並列前行。而壓軸登場的則是曳山與演奏著庵歌的庵屋台，遊行也於此落下帷幕。夜間，曳山上比比皆是的燈籠將祭典的氣氛推向最高潮。

曳山由當地工匠製作，高達6公尺，由男性們牽引著巨輪，操縱方向，在城端的街道上巡遊。車輪由櫟木製成，碾過道路時會發出獨特的嘎吱聲。此聲音擁有祓除邪祟的力量，且唯有城端曳山祭上方可聽到，可謂絕無僅有。

<日本語仮訳>

城端曳山祭

城端曳山祭は、南砺市の一部である城端町で毎年5月4日と5日に行われている祭りで、御神像を運ぶ大きな6基の曳山が通りを巡行するのが目玉となっています。この祭りは、「日本の山・鉾・屋台行事」のひとつとして、ユネスコの無形文化遺産に登録されています。

城端町は福光の浄土真宗の寺院、善徳寺が1559年にその地域に移転した後に開町しました。その後まもなく、善徳寺の周辺で市場やその他の事業が立ち上げられ、城端はやがて門前町（有力な寺院・神社の周辺に形成された町のこと）となりました。1693年には、城端の人口は3千人以上に達し、立派な町となりました。江戸時代（1603-1867）には、加賀藩の庇護の下で城端の絹織物業が発達し、高品質な絹の販売は京都や現在の東京などの他地域へと広がりました。これらの都市間では文化交流も行われ、城端の文芸作品、学問、芸術にも新たな焦点が当てられるようになりました。

城端曳山祭は1574年に近くの村から移築された城端神明宮で行われます。この神社での祭りは1685年に始まりましたが、現在の形式になったのは、城端が不景気にあえいでいた18世紀初期のことです。経済を回復させるため、城端の人々は幸運を祈願して、神を祀るための祭りを開き始めたのです。1717年の祭りで神輿、傘鉾（天から神霊を招くもの）、獅子舞が取り入れられました。数年後の1724年には、御神像を運ぶ曳山が祭りに加わりました。1800年代前半に、庵唄と庵屋台（京都の祇園で芸者がお客を楽しませたお茶屋などに使われる建築様式で設計された山車）が祭りに組み込まれました。庵唄には、当時江戸（現在の東京）で人気があった端唄の影響が見られます。庵屋台は竹笛と三味線（3本の弦を持つ伝統的和楽器）で庵唄を演奏する奏者たちと一緒に練り歩きます。新たな彫像や装飾の制作にも力が入られ、曳山もより豪華絢爛になりました。

祭礼行事は5月4日の宵祭に、堯王、恵比須、大黒天、布袋、関羽と周倉、寿老の6体の守護神像が山宿（一般公開の役目を与えられた家）に展示されることから始まります。5月5日の早朝、御神像がそれぞれの山宿から曳山に移されます。行列は獅子舞が先導し、悪霊を鎮めるために使われる、縦に長い旗が取り付けられた剣鉾がその後ろに続きます。次に8本の傘鉾、四神旗（方位とそれに対応する星座を司る神である4神の旗）、3基の神輿が並びます。その後、曳山と庵唄を奏でる庵屋台が続いて、行列を締めくくります。夜間には、曳山に灯る無数の提灯が雰囲気盛り上げます。

地元の職人によって作られた曳山は6mの高さにそびえ、大きな車輪を導いて方向転換を行う男衆の手により、城端の通りを曳き回されます。車輪はケヤキでできており、通りを進む時に特徴的なさしみ音を立てます。これは城端曳山祭ならではの音であり、悪霊を払うと言われています。

<简体字>

城端曳山会馆

城端曳山会馆，是以曳山祭历史为主的特别资料馆。曳山祭于每年5月4日、5日举办，祭典游行队伍中的各种曳山及雕像，正是该会馆的主展内容。一同设立的还有城端曳山祭其他相关资料展示区，而该展示区改建自一座名为“藏回廊”的仓库。

主展厅内可近距离观赏美轮美奂的曳山。曳山收纳于设有湿度管理的巨型玻璃箱内，厅内灯光明暗交替，每隔数分钟便可体验一次夜间祭典之美。每座曳山或金或艳，色彩纷呈，而精美的井波雕刻——南砺市近郊井波地区的传统木工艺，更为它们增添华丽。该馆还展示了演奏者所乘坐的庵屋台，其设计采用御茶屋（京都祇园艺伎招待顾客的建筑）等常用的豪华建筑样式，祭典中演奏者们则于此演奏竹笛或三味线（日本传统三弦乐器）。

<繁体字>

城端曳山會館

以曳山祭歷史為主的城端曳山會館，是一座特別資料館。曳山祭於每年 5 月 4 日、5 日舉辦，祭典遊行隊伍中的各種曳山及雕像，正是該會館的主展內容。城端曳山祭其他相關資料展示區也一同被設立，該展示區則改建自一座名為「藏迴廊」的倉庫。

精美絕倫的曳山在主展廳內，可供近距離觀賞。曳山收納於設有濕度管理的巨型玻璃箱內，廳內燈光明暗交替，每隔數分鐘便可體驗一次夜間祭典之美。每座曳山或金或艷，五彩繽紛，而南礪市近郊井波地區的傳統木工藝——栩栩如生的井波雕刻，更為它們的華麗之姿錦上添花。該館還展示了演奏者所乘坐的庵屋台，其設計採用御茶屋（京都祇園藝伎招待顧客的建築）等常用的豪華建築樣式，演奏者們於祭典上，在御茶屋演奏竹笛或三味線（日本傳統三弦樂器）。

<日本語仮訳>

城端曳山会館

城端曳山会館は、毎年5月4日、5日に行われる曳山祭の歴史に特化した資料館で、例祭の行列に参加するさまざまな曳山や彫像が主に展示されています。併設されている、蔵回廊と呼ばれる蔵を改修したエリアでは、城端曳山祭に関連する資料その他が展示されています。

主展示室では、装飾に富んだ曳山を間近で眺めることができます。曳山は湿度管理された大きなガラスケースに収められており、数分ごとに照明が暗くなり夜間の祭りの様子を体感できるようになっています。それぞれの曳山は金や鮮やかな色で彩られており、南砺市近郊の井波の伝統的な木工芸である、華やかな井波彫刻が施されているものもあります。お茶屋（京都の祇園で、芸者がお客を楽しませた建物）などに使われる豪華な建築様式で設計された、竹笛や三味線（3本の弦を持つ伝統的和楽器）を演奏する奏者たちを乗せる庵屋台も展示されています。

<简体字>

福野夜高祭

夜间祭典福野夜高祭，是福野神明社每年春季祭祀中的一环。该神社建于江户时代（1602-1867）初期的 1652 年。建立之初，由日本最为崇高的神社——伊势神宫（三重县伊势市）的守护神分灵至此，进行供奉。相传这位神灵于夜间降临，因此灯笼被高高挂起，点亮道路，照临四方，既是为神指引路标，更表达对神的尊崇之意——夜高祭正是起源于这种迎神仪式。每年 5 月 1 日和 2 日，南砺市福野地区皆会举办夜高祭。祭典首日夜间，行灯（大型纸灯笼）队伍会于福野的街道上游行，夜高祭故以“夜高行灯游行”之名广为人知。

游行始于日落时分，一直持续至深夜，太鼓声、笛声响彻云霄，参加者们一次又一次地高声齐喊“Yo-i-a-sa! Yo-i-a-sa! ”，放声歌唱传统民歌《夜高节》。约 20 台尺寸不一的山车于福野游行，其中七台为高达 6.5 米的大行灯。这些大型纸制行灯来自福野的七个特定地区，而祭典首日也是这一辆辆曳山（饰有装饰的山车）的艺术竞技之时。第二日深夜，众曳山在街道上云集，展开一场又一场激烈的“拉合”（相互拉扯曳山）大战，将祭典推向高潮。祭典结束后的 5 月 3 日，来自四个不同地区的曳山将在市中心巡行，随后前往神明社。

<繁体字>

福野夜高祭

福野神明社每年春季祭祀中，都會有夜間祭典福野夜高祭的環節。這座神社建於1652年，即江戶時代（1602-1867）初期。建立之初，由日本最為崇高的神社——伊勢神宮（三重縣伊勢市）的守護神分靈至此，進行供奉。相傳這位神靈於夜間降臨，因此燈籠被高高掛起，用以照亮道路，既是為神指引方向，更表達對神的敬意——夜高祭正是起源於這種迎神儀式。每年5月1日和2日，南礪市福野地區皆會舉辦夜高祭。祭典首日夜間，行燈（大型紙燈籠）隊伍會於福野的街道上遊行，夜高祭因而以「夜高行燈遊行」之名揚名天下。

遊行始於日落時分，一直持續至深夜，太鼓聲、笛聲震耳欲聾，參加者們一次又一次地高聲齊喊「Yo-i-a-sa! Yo-i-a-sa!」，放聲歌唱傳統民歌《夜高節》。約20台尺寸各異的藝閣於福野遊行，其中七台為高達6.5公尺的大行燈。這些大型紙製行燈來自福野的七個特定地區，而祭典首日，這一輛輛曳山（飾有裝飾的藝閣）便會在藝術上一分高下。隔日深夜，眾曳山匯聚在街道上，展開一場又一場激烈的「拉合（相互拉扯曳山）」大戰，將祭典推至高潮。祭典結束後的5月3日，來自四個不同地區的曳山將在市中心巡行，隨後會向著神明社進發。

<日本語仮訳>

福野夜高祭

福野夜高祭は、福野神明社の春の例祭の一環で行われる夜祭りです。この神社は、江戸時代（1603-1867）初期の1652年に建てられました。建立時には、日本における最も神聖な神社である伊勢神宮（三重県伊勢市）の守護神が分霊され、ここに祀られました。この神は夜に到着したと言われていたため、道しるべのため、そして神への敬意を示すため、提灯で通りが照らされました。こうして神を迎え入れたことに、この祭りの起源があります。今では毎年5月1日と2日に南砺市の福野地域周辺で行われています。この祭りは、1日目の夜に行燈（大きな紙の提灯）の行列が福野の通りを練り歩くことから、夜高行燈行列としても知られています。

行列は日没から深夜まで続き、太鼓を叩く音や笛の音が響き渡り、また祭りの参加者は何度も「ヨイアサ！ヨイアサ！」と掛け声を出し合ったり、伝統的な民謡である夜高節を歌ったりします。約20の様々な大きさの山車が福野を練り回り、うち7つは6.5メートルもの高さの大打燈です。これらの大きな紙の行燈は、福野の特定の7地区のもので、祭りの1日目には、各曳山がそれぞれの芸術性を競います。2日目の深夜になると街の大通りに曳山が集まり、「引合い」と呼ばれる激しい戦いが繰り広げられ、祭りはクライマックスを迎えます。祭りの後の5月3日には、4つの異なる地区からの曳山が市の中心部を巡行し、その後神明社に向かいます。

<简体字>

栋方志功纪念馆 爱染苑

栋方志功（1903-1975）是日本 20 世纪最具影响力的代表性艺术家之一。他致力于木版画艺术，而绘画、陶艺及书法方面也不乏造诣，甚至与民艺运动同样渊源颇深。出生于青森的栋方，成年后不久便前往东京追寻绘画之道，为躲避战败前的东京空袭，1945 年举家疏散至南砺市福光地区。返回东京前，他曾在富山县度过七年时光。虽然短暂，却为富山县带来了巨大影响。为纪念其一生及其作品，后人于福光建立栋方志功纪念馆。他的作品，在大都会艺术博物馆及纽约现代美术馆等世界顶尖艺术馆内均有展出。1956 年威尼斯的双年展大奖、1970 年日本政府授予的文化勋章等等，无不映射出其职业生涯的光辉业绩。

栋方的版画，师从平塚运一，被归入木版画类。他的作品多数受到自身修行的禅宗影响，描绘灵感多来自宗教主题、自然以及日本民间传说。

从大型版画到书画，各式各样的作品在栋方志功纪念馆的二层建筑物中均有展出。除纪念馆外，还有栋方故居“鲤雨画斋”，以及由传统日本民居改建而成的民艺馆“青花堂”。

匠人之手孕育而出的工具及作品，精美而实用，民艺运动便是以此为中心兴起的风潮，与栋方也有着千丝万缕的联系。民艺倡导者柳宗悦，曾在自己创办的东京民艺馆内展示其作品，以此支援栋方，是对其产生巨大影响的人物之一。

栋方故居“鲤雨画斋”位于纪念馆与“青花堂”对面。故居内可供参观，室内门墙及洗手间均绘有天女、菩萨等，透过这些作品，人们仿佛能够听见栋方的一呼一吸。

<繁體字>

棟方志功紀念館 愛染苑

日本 20 世紀最具影響力的代表性藝術家之一——棟方志功（1903-1975），除了曾致力於木版畫藝術，在繪畫、陶藝及書法方面也深有造詣。此外，與民藝運動同樣淵源頗深。棟方生於青森，成年後不久便前往東京，追尋繪畫之道。1945 年，為躲避戰敗前的東京空襲，棟方舉家疏散至南礪市福光地區。返回東京前的七年時光，他則在富山縣度過。雖然短暫，卻為富山縣帶來了巨大影響。為紀念其生涯及其作品，後人於福光建立棟方志功紀念館。他的作品，在大都會藝術博物館及紐約現代美術館等世界頂尖藝術館內均有展出。1956 年威尼斯的雙年展大獎、1970 年日本政府授予的文化勳章等等，皆是其職業生涯光輝業績的最佳佐證。

棟方的版畫師從平塚運一，被歸入木版畫類。他的作品多數受到自身修行的禪宗影響，以宗教主題、自然以及日本民間傳說為靈感進行描繪。

從大型版畫到書畫，各式各樣的作品在棟方志功紀念館的二層建築物中均有展出。除紀念館外，還有棟方故居「鯉雨畫齋」，以及由傳統日本民居改建而成的民藝館「青花堂」。

匠人之手孕育而出的工具及作品，美麗而實用，民藝運動便是以此為中心興起的風潮，與棟方也有著密不可分的聯繫。對棟方產生巨大影響的人物之一、民藝倡導者柳宗悅，曾在自己創辦的東京民藝館內展示其作品，以此支援棟方。

棟方故居「鯉雨畫齋」位於紀念館和「青花堂」對面。故居內可供參觀，室內門牆及洗手間均繪有天女、菩薩等，透過這些作品，棟方的呼吸仿佛近在耳邊。

<日本語仮訳>

棟方志功記念館 愛染苑

棟方志功（1903–1975）は、20 世紀で最も影響力の大きかった日本を代表する芸術家の 1 人です。彼は木版画を専門としましたが、絵画、陶芸、及び書道の作品もあり、民芸運動とも深いつながりがありました。青森に生まれた棟方は、成人後間もなく絵画の道を極めようと上京しますが、終戦間近の東京を襲った空襲を避けるため、1945 年に家族とともに南砺市の福光に疎開しました。東京に戻るまで富山県に住んでいたのは約 7 年という短い期間でしたが、棟方は富山にも大きな影響をもたらし、その人生と作品を記念して、福光に記念館が建てられました。棟方の作品は、メトロポリタン美術館やニューヨーク近代美術館など、世界一流の美術館に展示されています。彼のキャリアにおいて特に重要な業績として、1956 年のヴェネツィア・ビエンナーレでグランプリを受賞したことや、1970 年に日本政府から文化勲章を授与されたことなどが挙げられます。

棟方の版画は、彼が師と仰いだ平塚運一から学んだ技術である木版画に分類されます。彼の作品の多くは彼自身も修行した禅宗の影響を受けており、宗教的なモチーフや自然および日本の民間伝承に着想を得たテーマで描かれています。

2 階建ての棟方志功記念館には、大型の版画から書画まで、さまざまな作品が展示されています。記念館に加え、棟方がかつて住居としていた「鯉雨画斎（りうがさい）」や、伝統的な日本家屋を改築した民藝館「青花堂（しょうげどう）」もあります。

民芸運動は、職人の手から生まれた美しく実用的な道具や作品を中心に興った運動で、棟方とも関わりがありました。民芸の提唱者であった柳宗悦は、自身が創建した東京の民芸館に棟方の作品を展示することで彼の支援を行った、棟方に大きな影響を与えた人物の一人です。

棟方の旧居「鯉雨画斎」は、記念館と「青花堂」の向かいにあります。旧居内は見学も可能で、室内の扉や壁、さらに厠に描かれた天女や菩薩など、棟方の息づかいが聞こえてくるような作品も見ることができます。

<简体字>

富士山孕育的历史与文化

富士山海拔 3776 米，是日本第一高峰，也是最受日本人崇拜的灵山。它自诞生以来，已经有 1 万多年的历史。其标志性的圆锥形山峰高耸入云，傲视天下。从地质学上看，富士山属于年轻的活火山，最近一次发生于 864 年的贞观大喷发，在一瞬间改变了该地区的地形与地貌，同时也造就了富士五湖及其青木原树海脚下的广袤大地。因此，人们对富士山不可估测的威力既恐惧又敬畏。自古以来，富士山始终被人们尊崇为一座能保佑众生的灵山。有遗迹考证，远在绳文时代（公元前 10000-300 年），富士山就已经是人们敬爱的对象。日本现存最早、编纂于 7 世纪的和歌集《万叶集》中也收录了赞美富士山的和歌。

自 12 世纪起，富士山进入火山休眠期。一个以在严修苦行中开悟得道为教义的佛教宗派“修验道”，开始将这座灵山作为信徒们修行的道场，并成为最先创立富士山信仰的先驱者。修验道之后，各种传播富士山信仰的流派如雨后春笋般涌现，其中包括创建于 17 世纪的“富士讲”。每年夏天，数千名“富士讲”朝圣者汇聚富士山，给当地的“宿坊”（专为神社斋主作祈祷的“御师”的住所）、神社寺院，甚至行李搬运工创造了商业机会，继而带动了当地经济的发展。时至今日，在富士山依旧能看到“富士讲”朝圣者们一边诵经一边登山的景象。

江户时代（1603-1868），富士山是“浮世绘”最热门的题材。葛饰北斋、歌川广重等浮世绘大师，以刻画不同角度的富士山景色的作品而一举成名。他们的作品还远渡重洋最终流传到了欧洲。葛饰北斋的代表作《富岳三十六景》中，有一副名叫《神奈川冲浪里》的作品，描绘了此处海上波涛滔天、彼处富士巍峨屹立的景象，堪称是当时日本艺术作品的颠峰之作。

随着现代化进程加速、大众旅游业不断发展，富士山愈发闻名遐迩。1895 年，英国人哈里·斯图尔特·惠特沃斯（Harry Stewart Whitworth）在精进湖对岸、能将富士山英姿尽收眼底的地方，营建了一家西洋式酒店，并称此地为“东方瑞士”。1964 年，通往富士山五合目（海拔 2305 米）的收费公路及公共巴士开通运营，人们因此可以更为轻松地征服海拔 3776 米的富士山顶峰，进而吸引了全日本乃至全世界数百万的登山爱好者。

2013 年，联合国教科文组织将富士山作为“信仰的对象与艺术的源泉”列入世界遗产名录，其中包括彰显富士山对日本的历史文化带来深远影响的 25 处景观。以此为契机，游客们开始尝试去发现富士山脚的原野及其周边地区的魅力：或寻访过去每年夏季朝圣者蜂拥而至的神社和宿坊，或在富士五湖上悠然泛舟、垂钓……在能望见富士山的地方渡过的时光，与攀顶的艰苦一样，将成为一段终生难忘的记忆。

<繁體字>

富士山孕育的歷史與文化

富士山海拔 3776 公尺，是日本第一高峰，亦是最受日本人崇拜的靈山，至今已經有 1 萬多年的歷史。圓錐形山峰高聳入雲，傲視天下。從地質學上看，富士山屬於年輕的活火山，最近的一次發生於 864 年的貞觀大噴發，在一瞬間改變了該地區的地形地貌，同時也造就了富士五湖及其青木原樹海腳下的遼闊大地。因此，人們對富士山不可估測的威力既恐懼又敬畏。自古以來，富士山始終被人們尊崇為一座能保佑眾生的靈山。有遺跡考證，遠在繩文時代（西元前 10000-300 年），人們就已經開始敬愛富士山。日本現存最早、編纂於 7 世紀的和歌集《萬葉集》中也收錄了讚美富士山的和歌。

自 12 世紀起，富士山進入火山休眠期。一個以在嚴修苦行中開悟得道為教義的佛教宗派「修驗道」，開始將這座靈山作為信徒們修行的道場，亦成為最先創立富士山信仰的先驅者。之後，各種傳播富士山信仰的流派如雨後春筍般湧現，其中包括創建於 17 世紀的「富士講」。每年夏天，數千名「富士講」朝聖者彙聚富士山，給當地的「宿坊」（專為神社齋主作祈禱的「御師」的住所）、神社寺院，甚至行李搬運工創造了商業機會，繼而帶動了當地經濟的發展。時至今日，在富士山依舊能看到「富士講」朝聖者們一邊誦經一邊登山的景象。

江戶時代（1603-1868），富士山是「浮世繪」最熱門的題材。葛飾北齋、歌川廣重等浮世繪大師，從不同角度展現富士山景色而一舉成名。最終他們的作品還遠渡重洋流傳到了歐洲。葛飾北齋的代表作《富嶽三十六景》中，有一副名叫《神奈川衝浪裡》的作品，描繪了此處海上波濤滔天、彼處富士巍峨屹立的景象，堪稱當時日本藝術作品的巔峰之作。

隨著現代化進程加速、旅遊業不斷發展，富士山愈發聞名遐邇。1895 年，英國人哈利·史都華·惠特沃斯（Harry Stewart Whitworth）在精進湖對岸、能將富士山英姿盡收眼底的地方，營建了一家西洋式酒店，並將此地區取名為「東方瑞士」。1964 年，通往富士山五合目（海拔 2305 公尺）的收費公路及公共巴士開通運作，人們因此可以更輕鬆地征服海拔 3776 公尺的富士山頂峰，進而吸引了全日本乃至全世界數百萬的登山愛好者。

2013 年，聯合國教科文組織將富士山作為「信仰的對象與藝術的源泉」列入世界遺產名錄，包括彰顯富士山對日本的歷史文化帶來深遠影響的 25 處景觀。以此為契機，遊客們開始嘗試去發現富士山腳的原野及其周邊地區的魅力：或尋訪過去每年夏季朝聖者蜂擁而至的神社和宿坊，或在富士五湖上悠然泛舟、垂釣……在能望見富士山的地方渡過的時光，與攀頂的艱苦一樣，將成為一段終生難忘的記憶。

<日本語仮訳>

歴史と文化における富士山

富士山は日本で最も標高が高く、最も崇拝されている山です。高さ 3,776m で、生まれてから 1 万年経つ、その円錐形の容姿が象徴的な富士山は周辺を見下ろすようにそびえ立っています。地質学的には富士山はまだ若い活火山です。最近では 864 年の貞観大噴火がこの地域全体の地形を変えてしまい、富士五湖と青木ヶ原樹海の下に広がる大地の双方を生み出しました。そのため富士山の破壊力に対して人々は恐怖と畏敬の念を抱きましたが、それでも富士山は長きにわたって守護と庇護を与えてくれるものと考えられています。縄文時代 (紀元前 10,000-300) から富士山が崇拝されていたことを示す遺跡も残っており、7 世紀に編纂された日本に現存する最古の和歌集、万葉集にも富士山を称える和歌が納められています。

火山活動は 12 世紀までに鎮静化し、富士山は厳しい身体的訓練が悟りへの道だと考えていた仏教の宗派、修験道の修験者の修行の場として使われるようになっていました。これらは、17 世紀に成立した富士山を信仰する民間信仰のひとつ、富士講信仰の先駆けでした。何千という富士講巡礼者が毎夏富士山に押し寄せ、宿、精神的指導者や荷役労働者などの現地の経済の繁栄を支えていました。今日でも富士山の斜面を読経しながら登山する富士講巡礼者を見ることができます。

江戸時代 (1603-1868) には、浮世絵の人氣が高まり、富士山は人氣の高い題材でした。北斎や広重などの浮世絵師は、あらゆる方向から富士山の姿を描いて大成功を収め、これらの作品は最終的にはヨーロッパへと渡ります。葛飾北斎の『神奈川沖浪裏』は、その時代の日本芸術の作品の中で最も有名な作品と言えるでしょう。この作品は実際には『富嶽三十六景』のうちの 1 枚で、波の中央に富士山の遠景が描かれています。

富士山は、近代化と世俗的な観光の発達によりさらに有名になりました。1895 年、イギリス生まれのハリー・スチュワート・ホイットウォーズは、精進湖の向こう側に富士山を一望できる西洋式のホテルを開業し、この地を「東洋のスイス」と名付けました。1964 年には富士山五合目 (標高 2,305m) への有料道路とバス便が開通し、全国、そして世界中から集まる何百万人という登山者がその技能のレベルを問わず標高 3,776m の山頂に登頂できるようになりました。

2013 年、ユネスコは富士山を「信仰の対象と芸術の源泉」として世界遺産に登録しました。登録対象となったのは、日本の歴史と文化における富士山の大きな影響力を示す 25 の構成資産です。ユネスコの認定を受け、来訪者は富士山の裾野やその周辺地域の魅力を再発見し始めました。かつては毎年夏になると巡礼者であふれかえった神社や住居に行ってみたり、富士五湖でのカヌー漕ぎや釣りをしたりしてみるなど、富士山の見えるところで過ごす時間は、山頂への苦しい登山と同様に思い出に残るでしょう。

<简体字>

富士箱根伊豆国立公园

1931年，日本颁布《自然公园法》，旨在保护“日本优美的自然风景区”。5年后的1936年，富士箱根伊豆国立公园被指定为日本第一家国立公园。因园内随处皆可眺望秀丽的富士山，又毗邻东京都市圈，故人们蜂拥而至。目前，富士箱根伊豆国立公园每年接待游客超出1亿人次，是日本来访人数最多的国立公园。

富士箱根伊豆国立公园主要由富士五湖、青木原树海及其逶迤连绵的群山组成，其中富士山区域面积最大。公园内无数的自然散步道，适合想轻松观景、自由漫步的亲子；众多古迹名胜，能满足游客对这块土地的历史和文化的求知欲；而经验丰富的徒步爱好者，可在此尝试新的挑战。无论男女老幼，皆得其乐。

富士山著名的吉田登山道，从五合目延伸至山顶。神社、酒店以及昔日富士五湖的朝圣者下榻的宿坊（专为神社斋主作祈祷的“御师”的住所），均分布在富士山脚下的广阔原野上，并由步行道相连。这些步行道，既有陡峭的山路，也有平坦的大道，既有蜿蜒于茂林中的，也有穿越于平野的，更有紧贴峭壁悬崖的……目及之处，皆是美不胜收的风景。此外，见证数世纪前朝圣者登拜的石碑，亦随处可见。

由于海拔较高，公园内的空气格外清凉，因此这里也是人们进行户外活动的理想场所。在富士五湖上，可以尽情享受皮划艇、立式桨板（SUP）或风帆冲浪等水上运动的乐趣。不过，有些湖泊为了保持水域安静，禁止摩托艇及其他引擎驱动的船只下水。

无论游客置身公园何处，都能将富士山美丽雄姿尽收眼底。高耸入云的富士山，仿佛近在咫尺、触手可及。能在如此壮观的景色中尽情享受大自然风情的地方，日本国内独此一处。

<繁体字>

富士箱根伊豆國立公園

1931 年，日本頒布《自然公園法》，其宗旨是保護「日本優美的自然風景區」。5 年後的 1936 年，富士箱根伊豆國立公園被指定為日本第一家國立公園。因園內隨處皆可眺望秀麗的富士山，又毗鄰東京都市圈，故人們蜂擁而至。目前，富士箱根伊豆國立公園每年接待遊客超出 1 億人次，是日本來訪人數最多的國立公園。

富士箱根伊豆國立公園主要由富士五湖、青木原樹海及其連綿不絕的群山組成，其中富士山區域面積最大。公園內無數的自然步道，適合想輕鬆觀景、自由漫步的親子；眾多古跡名勝，能滿足遊客對這塊土地的歷史和文化的求知欲；而經驗豐富的徒步愛好者，可在此嘗試新的挑戰。無論男女老幼，皆得其樂。

富士山著名的吉田登山道，從五合目延伸至山頂。神社、酒店以及昔日富士五湖的朝聖者下榻的宿坊（專為神社齋主作祈禱的「御師」的住所），均分佈在富士山腳下的廣闊原野上，並由步道相連。這些步道，既有陡峭的山路，也有平坦的大道，既有蜿蜒於茂林中的，也有穿越於平野的，更有緊貼峭壁懸崖的……目及之處，皆是美不勝收的風景。而隨處可見的石碑亦見證了數世紀前朝聖者的朝拜。

由於海拔較高，公園內的空氣格外清涼，因此這裡也是人們進行戶外活動的理想場所。在富士五湖上，可以盡情享受獨木舟、立式劃槳（SUP）或風帆衝浪等水上運動的樂趣。不過，有些湖泊為了保持水域安靜，禁止水上摩托車及其他引擎驅動的船隻下水。

無論遊客置身公園何處，都能將富士山美麗雄姿盡收眼底。高聳入雲的富士山，彷彿近在咫尺、觸手可及。能在如此壯觀的景色中盡情享受大自然風情的地方，日本國內獨此一處。

<日本語仮訳>

富士箱根伊豆国立公園

富士箱根伊豆国立公園は、「日本の優れた自然の風景地」を保護することを目的とした自然公園法が初めて通過したわずか 5 年後の 1936 年に指定されました。つまり富士箱根伊豆国立公園は国内で最も古い国立公園のひとつです。また、いたるところから秀麗な富士山が眺望でき、首都圏に近いこともあって、今日では年間訪問客は 1 億人以上にのぼり、日本一来訪者の多い国立公園でもあります。

富士五湖、青木ヶ原樹海と印象的な山で構成されているこの公園の中では、富士山エリアが最大です。このエリアには自然の遊歩道や歴史的史跡がたくさんあります。そのため、子供でも楽しめる美しい景色を眺めながらの散策を手軽に楽しみたい家族連れから、新たな挑戦を求める経験豊かなハイカーまで、誰でも何かしら楽しむことができます。

有名な吉田登山道は、五合目から山頂に向かって伸びています。富士山の裾野にも、神社、ホテル、また富士五湖で巡礼者の宿として使われていた建物などに通じる遊歩道が張り巡らされています。急峻な山道のような遊歩道もあれば、より平坦な遊歩道もあります。深い林の中をくねくねと巡る遊歩道もあれば、よりひらけた場所を通る遊歩道もあります。森林限界に沿った遊歩道もあり、眼下には息を呑む景色が広がります。何世紀も前に巡礼者が訪れたことを示す石碑があちこちに見られます。

標高が高いため、公園内の空気は新鮮でひんやりしています。そのため、よりアクティブなアウトドアレクリエーションを楽しむのにぴったりです。富士五湖では、カヌー、SUP ボーディングやウィンドサーフィンなどのウォータースポーツを楽しむことができます。一部の湖では穏やかな環境を守るため、ジェットスキーやその他のエンジン駆動の船の使用は禁止されています。

訪問者はどこを巡っても富士山を常に見ることができます。堂々とそびえ立つようでありながら、まるで手に触れられるかのように近くに感じることができるのです。国内には、このような壮観な景色の中で大自然を満喫できる場所はここしかありません。

<简体字>

富士五湖

数世纪以来，富士山周围的湖泊一直是倍受青睐的观光胜地，但“富士五湖”这个名称并不古老。1927年，堀内良平（日本政治家、企业家）在应征报社举办的“日本最美风景比赛”时首创此名。从此，富士五湖迈出了成为现代化观光旅游胜地的第一步。

富士五湖位于富士山北侧，呈弧形排列。自西向东分别是本栖湖、精进湖、西湖、河口湖和山中湖。其中山中湖最大，离富士山最近。该地区由多次火山爆发形成，故地貌年龄比较年轻。

最西边的三个湖泊，过去曾是一个名为“古划（chan）之海”的巨大湖泊。4500年前，熔岩流阻断划海，形成的第一个堰塞湖即是本栖湖。据编纂于901年的正史《日本三代实录》记载，864年的贞观大喷发令“泥土与岩石消融”后，“流入”未被熔岩流完全吞噬的划海。贞观大喷发不仅造就了青木原树海脚下的广袤大地，继后又分离出了今天的精进湖与西湖。鉴于本栖湖、精进湖和西湖的水位几乎一样，地质学家推断，三个湖的地下水脉至今依然相通。几个世纪中的数次喷发，堵截了富士山东北面的河流，改变了河流的流向，形成了现在的河口湖和山中湖。

富士五湖各具特色。

山中湖最大，离富士山最近，深受水上运动爱好者的青睐。由于该湖海拔最高，每年10月中旬至2月末，可以看到“钻石富士”奇景，因此游客络绎不绝。

河口湖海拔最低，是五湖中唯一有湖中岛——鹈岛的湖泊。春樱、夏荷、秋枫、冬雪，四季美景与湖泊、富士山交相辉映，全年游人如织。

西湖靠近富士山北侧的山地，是徒步爱好者的天堂。此外，在静谧湖畔露营或垂钓，亦人气颇高。

精进湖是五湖之中最小的湖，湖岸有一家富士五湖中最早的西式酒店。北岸的著名景观“抱子富士”闻名遐迩（因富士山后拥寄生火山——大室山的景观仿佛母亲拥抱孩子而得名）。这里也是拍摄“富士倒影”的最佳取景地。

本栖湖是富士五湖中最深，也是距离富士山最远的湖泊，备受露营者的推崇。此湖也是日元千元纸币背面富士倒影图案的拍摄地。本栖湖宛如点缀于五湖之中的一颗晶莹剔透的蓝宝石，与富士山争相媲美。

从富士五湖的任何一个湖泊都能欣赏到独一无二的富士山美景，它们也是摄影家争相

采风的灵感源泉之地。此外，富士五湖的夏天和冬季均会举办烟花大会，绽放的烟花，既温柔了岁月，也抚慰了人心。

<繁体字>

富士五湖

數世紀以來，富士山周圍的湖泊一直是倍受青睞的觀光勝地，但「富士五湖」這個名稱並不古老。1927 年，堀內良平（日本政治家暨企業家）在應徵報社舉辦的「日本最美風景比賽」時首創此名。從此，富士五湖邁出了成為現代化觀光旅遊勝地的第一步。

富士五湖位於富士山北側，呈弧形排列。自西向東分別是本栖湖、精進湖、西湖、河口湖和山中湖。其中山中湖最大，離富士山最近。該地區由多次火山爆發形成，故地貌年齡比較年輕。

最西邊的三個湖泊，過去曾是一個名為「古剗之海」的巨大湖泊。4500 年前，岩漿阻斷古剗之海，形成的第一個堰塞湖即是本栖湖。據編纂於 901 年的正史《日本三代實錄》記載，864 年的貞觀大噴發令「泥土與岩石消融」後，「流入」未被岩漿完全吞噬的剗海。貞觀大噴發不僅造就了青木原樹海腳下的遼闊大地，繼後又分離出了今天的精進湖與西湖。鑒於本栖湖、精進湖和西湖的水位幾乎一樣，地質學家推斷，三個湖的地下水脈至今依然相通。幾個世紀中的數次噴發，堵截了富士山東北面的河流，改變了河流的流向，形成了現在的河口湖和山中湖。

富士五湖各具特色。

山中湖最大，離富士山最近，深受水上運動愛好者的青睞。由於該湖海拔最高，每年 10 月中旬至 2 月末，可以看到「鑽石富士」奇景，因此遊客絡繹不絕。

河口湖海拔最低，是五湖中唯一有湖中島——鷓之島的湖泊。春櫻、夏荷、秋楓、冬雪，四季美景與湖泊、富士山交相輝映，全年遊人如織。

西湖靠近富士山北側的山地，是徒步愛好者的天堂。此外，在靜謐湖畔露營或垂釣也相當受歡迎。

精進湖是五湖之中最小的湖，湖岸有一家富士五湖中最早的西式酒店。北岸的「抱子富士」聞名遐邇（因富士山後擁寄生火山——大室山的景觀彷彿母親擁抱孩子而得名）。這裡也是拍攝「富士倒影」的最佳取景地。

本栖湖是富士五湖中最深，也是距離富士山最遠的湖泊，備受露營者的推崇。此湖也是日元千元紙幣背面富士倒影圖案的拍攝地。本栖湖宛如點綴於五湖之中的一顆晶瑩剔透的藍寶石，與富士山爭相媲美。

從富士五湖的任何一個湖泊都能欣賞到獨一無二的富士山美景，它們也是攝影家爭相

采風的靈感源泉之地。此外，富士五湖的夏天和冬季均會舉辦花火大會，綻放的煙花，既溫柔了歲月，也撫慰了人心。

<日本語仮訳>

富士五湖

「富士五湖」という名前は比較的新しいものです。富士山周辺の湖は何世紀にもわたって人気の観光名所となっていました。この名称が初めて付けられたのは、1927年に起業家で政治家だった堀内良平が新聞社の日本で最も美しい景色を選ぶコンテストに応募した時でした。ある意味では、この名前が付いたことで完全に近代化された観光地としての富士五湖がスタートしたのです。

湖自体は富士山の北側を背にして弧を描くように並んでいます。富士五湖は、西から東に本栖湖、精進湖、西湖、河口湖、山中湖の順に並び、山中湖は他の4つの湖よりも大きく、また富士山に最も近い場所に位置しています。ただしこの地形は比較的新しいもので、度重なる火山活動により形作られたものです。

最も西側にある3つの湖は、かつては古剝の海というひとつの大きな水域でした。本栖湖は、4,500年前に溶岩流により剝の海から最初に切り離された湖です。901年に編纂された正史、日本三代実録には864年の貞観大噴火で「土と岩が溶け」、残った剝の海に「流れ込んでいった」様子が記述されています。この噴火は青木ヶ原樹海の下の大池を生み出しただけでなく、今日の精進湖と西湖を分断しました。地質学者は、本栖湖、精進湖と西湖は水位がまったく同じであることから、地下では今なおつながっていると考えています。何世紀もの間繰り返された噴火はまた、富士山の北東側の河川を堰き止め、流れを変え、河口湖と山中湖を現在の形に作り上げたのです。

五湖にはそれぞれ独自の特色があります。

山中湖は、最も大きく、また富士山に最も近く、水のスポーツ愛好家に人気のある湖です。さらに、最も標高の高い湖でもあり、10月中旬から2月末まで長期間「ダイヤモンド富士」を見られることで人気です。

河口湖は標高が最も低く、これらの湖で唯一の島、うの島があります。また、季節毎に桜や花、紅葉等と湖、富士山を一度に楽しめる場所として人気です。

西湖は北側にある山地に近いので、素晴らしいハイキングを体験できます。静かな雰囲気の中キャンプや釣りを楽しめる湖としても人気です。

最も小さい湖、精進湖の湖岸には、富士五湖の中で最初に西洋式のホテルが建てられました。北岸からの寄生火山の大室山を抱いた「子抱き富士」の景色が有名で、「逆さ富士」撮影スポットとしても人気です。

本栖湖は富士五湖の中で最も深く、最も遠く離れているため、キャンパーに人気があります。千円札の裏面に描かれている逆さ富士の撮影地でもあり、五湖の中で一番の透明度を誇る瑠璃色と富士山のコラボレーションが美しい湖です。

もちろん、富士五湖のどの湖からでもそれぞれ独特の富士山の景色を楽しむことができるため、写真家の中で人気のスポットとなっています。また、富士五湖の夏と冬を彩る花火大会も見る人の心を和ませます。

<简体字>

山中湖——离富士山最近的湖泊

山中湖，其形如鲸，是富士五湖中最大、离富士山最近、海拔最高、水深最浅的湖泊。它海拔近 1000 米，夏季凉爽宜人。

山中湖村距离东京仅 90 分钟车程，交通便利，旅游业极其发达，自古以来就是夏季避暑疗养的胜地。湖泊周边有众多餐厅和酒店，还有供环湖骑行的自行车道。

引人入胜的风景与优美的自然环境，吸引了众多高中和大学的运动俱乐部来此集训。这里还被选为 2020 年东京奥运会自行车公路赛的举办地。

天鹅与球藻

夏季到访山中湖，不妨体验一下帆船、滑水及其它水上活动。此外，这里一年四季都可看到优雅戏水的天鹅，还可垂钓黑鲈鱼和公鱼。

1959 年，山中湖里又有了新发现——富士球藻。球藻是一种圆形绿藻，状似天鹅绒，生长在寒冷的静水区，原本只在如芬兰或北海道等北欧和日本北部才能见到。现在，“富士球藻”被视为栖息于山中湖、河口湖和西湖的独特品种。

钻石富士

“钻石富士”——太阳刚好落在富士山平坦的山顶上，宛如钻石般熠熠生辉。这一景象很难遇见，故被称为奇景。但如果 10 月下旬至 2 月中旬造访山中湖村，就有机会成为该奇景的见证人。

<繁体字>

山中湖——離富士山最近的湖泊

山中湖，其形如鯨，是富士五湖中最大、離富士山最近、海拔最高、水深最淺的湖泊。海拔 1000 公尺高，夏季涼爽宜人。

山中湖村距離東京僅 90 分鐘車程，交通便利，旅遊業極其發達，自古以來就是夏季避暑靜養的勝地。湖泊周邊有眾多餐廳和酒店，還有環湖自行車道。

引人入勝的風景與優美的自然環境，吸引了眾多高中和大學的體育校隊及社團來此集訓。這裡還被選為 2020 年東京奧運會自行車公路賽的舉辦地。

天鵝與球藻

夏季到訪山中湖，不妨體驗一下帆船、滑水及其它水上活動。此外，這裡一年四季都可看到優雅戲水的天鵝，還可垂釣黑鱸魚和公魚。

1959 年，山中湖裡又有了新發現——富士球藻。球藻是一種圓形綠藻，形似天鵝絨，生長在寒冷的靜水區，原本只在如芬蘭或北海道等北歐和日本北部才能見到。現在，「富士球藻」被視為棲息於山中湖、河口湖和西湖的獨特品種。

鑽石富士

「鑽石富士」——太陽剛好落在富士山平坦的山頂上，宛如鑽石般熠熠生輝，難得一見。但如果 10 月下旬至 2 月中旬造訪山中湖村，就有機會成為該奇景的見證人。

<日本語仮訳>

富士山に最も近い湖、山中湖

山中湖は富士五湖の中で最大で、富士山に最も近い湖です。他の 4 つの湖よりも若干高い標高 1,000m 弱に位置し、夏でも涼しく心地よい場所です。五湖の中で水深が最も浅く、特徴的なクジラのような形をしています。

山中湖村は東京から車でわずか 90 分の距離にあり、簡単にアクセスできます。村には観光業が深く根ざしており、昔から夏の避暑や保養に訪れる場所です。山中湖の周辺には多くのレストランやホテルがあり、湖岸をほぼ一周するようにサイクリングロードが整備されています。

魅力的な景色や美しい自然環境を求めて、多くの高校や大学の運動部が村でトレーニング合宿をするために集まってきました。2020 年の東京オリンピックの自転車ロードレース競技の開催地としても選ばれました。

白鳥とマリモ

夏に山中湖を訪れると、セーリングやウエイクボード、その他のウォータースポーツを楽しむことができます。この湖には優雅なハクチョウが 1 年中生息しており、ブラックバスやワカサギを釣ることができます。

1959 年には山中湖が新発見の舞台となりました。フジマリモです。マリモはビロードのような丸い藻で、冷たい静水域でよく成長します。通常フィンランドや北海道など、北欧や北日本で見られるものですが、「フジマリモ」は今では山中湖、および河口湖と西湖に分布する別種として認められています。

ダイヤモンド富士

「ダイヤモンド富士」は、ちょうど太陽が富士山の平らな山頂に沈んで宝石のように輝く、わずかな時間だけ見られる現象です。山中湖村では、この有名な景色を毎年 10 月下旬から 2 月中旬にかけて見ることができます。

<簡体字>

河口湖——博物馆与画廊的圣地

河口湖与山中湖一样，湖水较浅，最深处仅 14.5 米，也是水上运动的胜地。

河口湖，寓意“河川之口”，有 6 条以上溪流汇入这里。东北面的湖畔坐落着众多美术馆、博物馆和画廊，均可乘坐巴士抵达。富士五湖上唯一的一座桥梁——河口湖大桥，将北面的产屋崎与南面的河口湖香草馆相连。

河口湖呈东西走向，北岸众多地方均可眺望富士山美景。数世纪以来，产屋崎一直是观赏“富士倒影”的最佳地点之一，但唯有湖面平静如镜时，才能映照出富士山的身影，奇妙又壮观。此地还建有摄影家冈田红阳、俳句诗人松尾芭蕉、作家中村星湖等为当地带来不朽声誉的艺术家的纪念碑。

历史与民间传承

在河口湖的东北部有一座河口浅间神社，是 864 年贞观大喷发后为镇安富士山而建。河口湖的南部，被火山喷发形成的岩浆岩覆盖。神社之所以选择此地建立，或许就是为了躲避日后火山活动时的熔岩流。

鸕鷀嶋神社也值得注目，它位于富士五湖中唯一的湖中岛“鸕鷀岛”之上。这座神社里供奉着掌管音乐、水与爱的女神“辩才天女”，她也经常出现于附近其他神社的民间传说中。

<繁体字>

河口湖——博物館與畫廊的聖地

河口湖與山中湖一樣，湖水甚淺，最深處僅 14.5 公尺，也是水上運動的勝地。

河口湖，寓意「河川之口」，有 6 條以上溪流匯入。東北面的湖畔坐落著眾多美術館、博物館和畫廊，均可乘坐巴士直達。富士五湖上唯一的一座橋樑——河口湖大橋，將北面的產屋崎與南面的河口湖香草館相連。

河口湖呈東西走向，北岸眾多地方均可眺望富士山美景。數世紀以來，產屋崎一直是觀賞「富士倒影」的最佳地點之一，但唯有湖面浪平如鏡時，才能映照出富士山既奇妙又壯觀的身影。此地還立有攝影家岡田紅陽、俳句詩人松尾芭蕉、作家中村星湖等為當地帶來不朽聲譽的藝術家的紀念碑。

歷史與民間傳承

河口淺間神社位於河口湖的東北部，是 864 年貞觀大噴發後為鎮安富士山而建。河口湖的南部，被火山噴發形成的岩漿岩覆蓋。神社之所以選擇此地，是為了躲避日後火山活動時的岩漿。

另一著名的鸕鷀嶋神社，位於富士五湖中唯一的湖中島「鵜之島」上。這座神社裡供奉著掌管音樂、水與愛的弁財天女神，她也經常出現於附近其他神社的民間傳說中。

<日本語仮訳>

河口湖 - 博物館とギャラリー

河口湖の水深は、最深部が 14.5m と、ほとんど山中湖と同じくらい浅い湖であり、ウォータースポーツの名所でもあります。この湖の名前は「河川の口」という意味で、河口湖には 6 本以上の溪流が流れ込んでいます。特に河口湖の北東の湖岸には美術館・博物館や画廊が数多くあり、これらはすべてバスで行くことができます。富士五湖唯一の橋、河口湖大橋は、北側の産屋ヶ崎と、南側の河口湖八ヶ岳館を結んでいます。

この湖は東西に広がっているため、富士山を北岸に沿って多数の地点から眺めを楽しむことができます。産屋ヶ崎は何世紀にもわたって、水面が穏やかな時には富士山が湖面に反射することにより生まれる非常に美しい「逆さ富士」を見るのに最適な場所の 1 つとして有名です。この地域には、写真家の岡田紅陽、俳諧師の芭蕉、それに作家の中村星湖など、この地域に不朽の名声を与えた芸術家たちの記念碑が数多く建てられています。

歴史と民間伝承

河口湖の北東には 864 年の貞観大噴火後に富士山を鎮めるために建立された河口浅間神社があります。この神社の場所は、河口湖の南側には当時の噴火による火成岩が広がっていることから、おそらくその後の火山活動による溶岩流を避けるべく選ばれたのでしょう。

もうひとつ注目に値する神社は、鷺鷥嶋神社です。この神社は富士五湖唯一の島、河口湖のほぼ中心に位置するうの島にあります。この神社は、時にこの付近のその他の神社の民間伝承に現れることもある音楽、水と愛の女神、弁財天様を祀っています。

<简体字>

西湖——少女之湖

西湖又称“少女之湖”。湖面看似清澈而平静，有些地方却深达 70 米。昔日的划海在 864 年贞观大喷发时几乎被熔岩流全部掩埋，西湖是其残存的部分。有历史学家认为，之所以叫“西湖”，是因为日语里“西”字与划海的“划”字谐音。

贞观大喷发还造就了青木原树海脚下的广袤大地。如今西湖的西北岸有一片茂密无际的“树海”，与清冽平静的湖水交相辉映。透过茂密的树梢，可眺望远处直插云霄的富士山。西湖北部的十二岳和节刀岳徒步路线沿途，因海拔高且视野开阔，可以纵览周边全景。从西湖去这两座山，交通都很方便。

国鳟回归

近年来，西湖成了红鲑的一个亚种、日本原生鱼“国鳟”（black kokanee）的保护中心。1935 年，数千粒国鳟鱼卵从日本北部的秋田县田泽湖（当时唯一知名的国鳟栖息地）被采集投放进西湖。然而，为国鳟营造新家园的项目似乎以失败告终，且很快从人们的记忆中消退。之后，因在田泽湖兴建水电站，导致湖水中的 pH 值（氢离子浓度）发生变化，最终 1948 年国鳟也随之“灭绝”。

但是，2010 年西湖中重新发现了国鳟的踪迹，当时在科学界引起了极大轰动。这种鱼偏好在水深、低温的环境里繁殖，而西湖被发现正是符合这些条件的理想栖息地。之后科学家们经调查得知，由于这种鱼不及湖里的红鲑鱼鲜美，当地民众在过去数十年间，每每钓到都会将其放归湖中。而垂钓者并不知道，它就是被视为早已“灭绝”的国鳟。

<繁体字>

西湖——少女之湖

西湖又稱「少女之湖」。貌似清澈而平靜的湖面，有些地方深達 70 公尺。昔日的剡海在 864 年貞觀大噴發時幾乎被熔岩全部掩埋，西湖是其殘存的部分。有歷史學家認為，之所以叫「西湖」，是因為日語裡「西」字與剡海的「剡」字諧音。

貞觀大噴發還造就了青木原樹海腳下的遼闊大地。如今西湖的西北岸有一片森林茂盛無際的「樹海」，與冰冷平靜的湖水互相輝映。透過茂密的樹梢，可眺望遠處直達雲霄的富士山。西湖北部的十二嶽和節刀嶽登山步道路沿途，因海拔高且視野開闊，可以縱覽周邊全景。從西湖去這兩座山，交通都很方便。

國鱒回歸

近年來，西湖成了紅鮭的一個亞種、日本原生魚「國鱒」（blackk okanee）的保護中心。1935 年，數千粒國鱒魚卵從日本北部的秋田縣田澤湖（當時唯一知名的國鱒棲息地）被採集投放進西湖。然而，在多次嘗試為國鱒建立新的棲息地均宣告失敗後，外界很快就淡忘了此事。之後，因在田澤湖興建水電站，導致湖水中的 pH 值（氫離子濃度）發生變化，最終 1948 年國鱒亦隨之「滅絕」。

但 2010 年在西湖重新發現了國鱒的蹤跡，當時在科學界引起了極大轟動。這種魚偏好在水深且低溫的地方繁殖，而西湖被發現正是符合這些條件的理想棲息地。經科學家們調查得知，由於這種魚不及湖裡釣到的紅鮭魚美味，當地民眾在過去數十年間，每當釣到都會將其放歸湖中。但垂釣者並不知道，它就是被視為早已「滅絕」的國鱒。

<日本語仮訳>

西湖 - 乙女の湖

西湖は、「乙女の湖」として知られています。透明かつ穏やかな湖で、場所によっては水深が 70 メートルあります。西湖は、古代の水域、剡の海が 864 年の貞観大噴火の溶岩流で埋め尽くされた際に残った部分です。一部の歴史学者は、西湖という名称は剡の海の「せ」にちなんだものとしています。

この時の噴火により青木ヶ原樹海の下の大池が生まれました。現在の西湖の北西岸一帯からは、冷たく穏やかな湖水の向こうに側に深遠な「樹海」が広がり、その梢の上に目をやると富士山がそびえ立っている景色を見ることができます。西湖の北側にある十二ヶ岳と節刀ヶ岳ハイキングコースは標高が高く見晴らしが良いポイントから全景を見渡すことができ、西湖はこれら 2 つの山へのアクセスに便利です。

クニマスの帰還

近年、西湖はクニマス、英名で black kokanee としても知られるベニマスの一種の保護への取り組みの中心地となっています。1935 年、当時唯一知られていたクニマスの生息地、日本北部にある秋田県の田沢湖から数千というクニマスの卵が西湖に移されました。新たなクニマスの生息地を作る試みは失敗したように思われ、その後すぐに忘れ去られました。1948 年までには、田沢湖のクニマスは水力発電所の新設に関連した水素イオン濃度の変動により絶滅しました。

しかし、2010 年の西湖でのクニマスの発見は、科学界に衝撃を与えました。西湖が、水温が低く深い場所での繁殖を好むクニマスの理想的な生息地であったことが判明したのです。その後、科学者はこの湖で同様に釣れるヒメマスほど美味しくないことから、地元民が過去数十年間にわたってクニマスを釣っては湖に返していたことを突き止めました。釣り人にこの魚が絶滅したとされる事実を誰も知らせていなかったと考えられます。

<简体字>

精进湖——“东方瑞士”

精进湖是富士五湖中最小的湖泊，表面积只有 0.5 平方公里，且湖水极浅，蓄水量只有西湖的十分之一。尽管如此，凭其清澈透明的湖水、静谧安详的环境及其蜿蜒曲折的湖岸，精进湖依然是该地区最让人难忘的一道风景。更由于湖畔的开发利用相对缓慢，大部分景观并未遭受人工建筑的影响，一直保持着原生状态。

日落时分，摄影师齐聚湖岸争相抢拍被夕阳染红的“赤富士”（红色富士），又或山顶冠雪的“红富士”（粉色富士）。从附近的全景观景台上，能将此番美景尽收眼底。即便山路再艰辛，也绝对不枉此行。

精进湖还有一道著名的风景——“抱子富士”。从湖泊北岸远眺，富士山后拥大室山的景观，仿佛母亲拥抱着孩子。大室山是由富士山脚斜坡火山喷发形成的熔岩渣锥，所以它的确是富士山的“孩子”。

备受外国人推崇的观光胜地

1895 年，英国人哈里·斯图尔特·惠特沃斯（Harry Stewart Whitworth）（后加入日本国籍）被精进湖的美景震撼，遂在此创建了一家能把优美湖景一览无遗的西式酒店，并为此地命名“东方瑞士”。不久，该酒店成为富士五湖周边地区第一个面向外国人的观光胜地。

精进湖静谧的环境深受垂钓爱好者的青睐。春天可以钓到鲫鱼，秋天则是让美食家垂涎三尺的公鱼。

<繁体字>

精進湖——「東方瑞士」

精進湖是富士五湖中最小的湖泊，面積只有 0.5 平方公里，且湖水極淺，蓄水量只有西湖的十分之一。儘管如此，仰仗其清澈透明的湖水、靜謐安詳的環境及其蜿蜒曲折的湖岸，精進湖同樣是該地區最讓人難忘的一道風景。更由於湖畔的開發利用相對緩慢，大部分景觀並未遭受人工建築的影響，一直保持著原生狀態。

日落時分，攝影師齊聚湖岸爭相搶拍被夕陽染紅的「赤富士」（紅色富士），亦或山頂冠雪的「紅富士」（粉色富士）。從觀景臺上，能將此番美景盡收眼底。即便山路再艱辛，也絕對不枉此行。

精進湖還有一道著名的風景——「抱子富士」。從湖泊北岸遠眺，富士山後擁大室山的景觀，仿佛母親擁抱孩子。大室山是由富士山腳斜坡火山噴發形成的熔岩渣錐，所以它的確是富士山的「孩子」。

備受外國人推崇的觀光勝地

1895 年，英國人哈利·史都華·惠特沃斯（Harry Stewart Whitworth）（後加入日本國籍）被精進湖的美景震撼，遂在此創建了一家能把優美湖景一覽無遺的西式酒店，並為這塊地區命名「東方瑞士」。不久，該酒店成為富士五湖周邊地區第一個針對外國人的觀光勝地。

精進湖靜謐的環境，深受垂釣愛好者的青睞。春天可以釣到鯽魚，秋天是讓美食家垂涎三尺的公魚。

<日本語仮訳>

精進湖:「東洋のスイス」

精進湖は、富士五湖の中で最も小さい湖です。その表面積はわずか 0.5 平方 km で、また水深も非常に浅いため、その貯水量は西湖のわずか 10 分の 1 です。それでもなお、精進湖の非常に透明度の高い水、のどかな環境と入り組んだ湖岸線により、この湖の景色はこの地域で最も思い出に残るもののひとつとなっています。湖畔の開発ペースが比較的ゆっくりとしたものだったおかげで、風景のほとんどが元の状態で残っており、人工建築物によって景観が壊されているということもありません。

夕暮れ時になると、夕日に染まる「赤富士」、また、山頂が冠雪している時には「紅富士」をカメラに収めようとしてこの湖の岸辺にカメラマンが集まってきます。近くのパノラマ台からは、ハイキングの苦しさを味わうに十分値する景色を楽しむことができます。

精進湖からの景色で最も有名なもののひとつに「子抱き富士」があります。北岸から富士山を見ると、小さく、より近い大室山を富士山がまるで母親が子どもを抱きしめているかのように見えます。富士山の麓の斜面の側噴火により生まれた噴石丘だということからも、ある意味では、大室は本当に富士山の「子ども」なのです。

外国人に人気の観光地

1895 年、後に日本に帰化したイギリス人男性ハリー・スチュワート・ホイットウォーズは、精進湖の美しさに魅せられて湖の景色を見渡せる西欧風のホテルを開業しました。ホイットウォーズはこの地域を「東洋のスイス」と呼び、彼のホテルは富士五湖周辺初の外国人向けの観光名所となりました。

穏やかな環境の精進湖は、釣り愛好家の中で特に人気の湖です。春にはフナが釣れますが、秋からはグルメお気に入りのワカサギを釣ることができます。

<简体字>

本栖湖——古老的湖泊

本栖湖最深处达 120 米，相当于西湖的 2 倍、其它三个湖泊的 8 倍。与西湖一样，本栖湖之名也与划海有关，有传说认为“栖”与“划”在日语中意思相近，“本栖”就是“原本属于划海”的意思。尽管本栖湖在较为早期就从划海中分离出来，因其水位与西湖和精进湖基本持平，故地质学者认为这三个湖底相互连通。

驻扎在本栖湖的“MOGURAN”号观光船颇为有名，其外形虽如潜艇，但并不能潜水，不过可以在下层甲板透过观察窗窥探水下世界。因为它“不潜水”，所以被命名为“MOGURAN”（不潜水的日语发音）。

深受国民爱戴的风景

本栖湖在富士五湖中最为偏远，也最为静谧安详，因此其湖岸是徒步爱好者与露营者的天堂。东岸有可租赁露营用品以及皮划艇、帆板冲浪和站立划水板等水上运动用具的店铺。为了维护自然的风声和浪声，本栖湖禁止引擎动力船下水。

从湖泊眺望西北方，可将富士山英姿一览无余，很多视角完全没有人工建筑的干扰。其中最广为人知的一幕风景，当属印在 2004 年版日元千元纸币及 1984 年版五千元纸币上的图案。其原案出自一位终生追随富士山的著名摄影师——冈田红阳（1895-1972）的作品。富士山至今仍然是唯一出现在日本货币上的自然风景。

<繁体字>

本栖湖——古老的湖泊

本栖湖最深處達 120 公尺，相當於西湖的 2 倍、其它三個湖泊的 8 倍。與西湖一樣，本栖湖之名也與剡海有關，其一說法，因日語裡的「栖」與「剡」意思相近，本栖即「元剡」之意，故取此名。儘管本栖湖最早從剡海分離出來，但其水位與西湖和精進湖持平，地質學者因此認為，這三個湖底相互連通。

本栖湖有一位「居民」——「MOGURAN」號觀光船，其外形雖如潛艇，但並不能潛水，不過可以在下層甲板透過觀察窗窺探水下世界。因為它「不潛水」，所以被命名為「MOGURAN」（不潛水的日語發音）。

深受國民愛戴的風景

本栖湖在富士五湖中最為偏遠，也最為靜謐安詳，因此其湖岸是徒步愛好者與露營者的天堂。東岸有可租賃露營用品、獨木舟、風浪板及立式劃槳等水上運動用具的店鋪。為了保持自然的風聲和浪聲，本栖湖禁止引擎動力船下水。

從湖泊眺望西北方，很多視角，視線內沒有任何人工建築，可一覽富士山英姿。最知名的當屬 2004 年版日元千元紙幣及 1984 年版五千元紙幣上的富士山，其原案出自一位終生追隨富士山的著名攝影師——岡田紅陽（1895-1972）的作品。時至今日，富士山仍然是唯一出現在日本貨幣上的自然風景。

<日本語仮訳>

本栖湖: 古の湖

本栖湖の湖底の最深部は 120m であり、これは西湖のほぼ 2 倍の深さに相当し、残り 3 つの湖と比べると 8 倍の深さです。西湖と同様、本栖湖の名称も剱の海に関係しているとされており、本栖湖という名前は「元の剱 (せ)」という意味だとする説もあります。本栖湖が比較的早い段階で剱の海から切り離されたことは明らかですが、その水位は西湖と精進湖とまったく同じであり、地質学者はこれらの 3 つの湖は地下で繋がっていると考えています。

本栖湖を「住处」とするもののひとつとして、遊覧船の「もぐらん」が知られています。その外観は潜水艦風で、1 階には水中を観察できるのぞき窓がありますが、実際には潜水しません。この船が文字通り「潜らない」ため、その名前が「もぐらん」となっているのです。

国民に愛される風景

本栖湖は、富士五湖の中で最も人里離れたところに位置しているため、その湖岸は、安らぎと静けさを求めるハイキングやキャンプを楽しむ人々の間で人気です。東岸には、キャンプ用品やカヌー、ウインドサーフィン用ボードや SUP 用具などのウォータースポーツ用品をレンタルできる店舗もあります。自然のままの風や波の音を守るため、本栖湖では動力船の乗り入れが禁止されています。

この湖からは、富士山の絶景を北西から眺めることができます。多くの場合、人工的な建物はまったく視界に入りません。最もよく知られる景色のひとつは、2004 年にデザインされた千円札に描かれているものです。また 1984 年のデザインの五千円札にも使われています。この図柄は一生を富士山の撮影に捧げた岡田紅陽 (1895-1972) の写真に基づいたものです。今日に至るまで、日本の通貨に描かれている自然の風景は富士山のみです。

<简体字>

富士五湖摄影指南

在富士五湖的任何一处，视线都能近距离且清晰地捕捉到富士山，有些地点尤其受到摄影家的青睐。

忠灵塔附近：这里位于富士吉田市附近的一座山丘，可同时将这座五层佛塔、樱花、红叶（四季各异）和富士山纳入取景框。这道瑰丽的日式风景，以前鲜为人知，但如今深受全世界摄影师的喜爱。

交通：从下吉田火车站步行 20 分钟即可到达。或从富士山世界遗产环线巴士的忠灵塔入口站（离河口湖火车站 15 分钟）步行 15 分钟也可到达。还有一条路线是从新仓富士浅间神社攀登 398 级石阶而至。

长池亲水公园：位处山中湖北岸。这里是拍摄著名胜景“湖上富士”之地。而太阳落入富士山顶后呈现的“钻石富士”奇景，一年之中仅在各种条件都具备的时候才能看见。

交通：从河口湖火车站换乘富士吉田—忍野—山中湖环游巴士，在长池亲水公园前巴士站下车（50 分钟）。

山中湖全景观景台：位于离三国山徒步路线起点大约 30 分钟处。正如其名，从这里能把近处的芒草原野、宽广的山中湖、高耸的富士山尽收眼底。天气晴朗时，还可望见北边的南阿尔卑斯山。

交通：乘坐富士吉田—忍野—山中湖环游巴士（F 线），在三国山徒步路线入口下车（50 分钟），再步行 30 分钟。如选择自驾，请于平野交叉路口处往小山町方向、沿 730 号县道（山北山中湖线）行驶 15 分钟即可抵达。

二十曲峠：坐落于忍野村的山地上，可以隔着稻田眺望优雅安详的富士山。这个景点比这里介绍的其它景点的交通更为艰辛一些，但深受徒步爱好者的喜爱。

交通：在富士山火车站换乘富士急行巴士，到天狗社巴士站下车（40 分钟），再步行 40 分钟。

大石公园：位于河口湖北岸。每年春夏，摄影家们可以拍摄到近处鲜花怒放的花坛与巍峨而立的富士山隔湖相望的绚烂景色。此外，还可将富士五湖中唯一的湖中岛“鹈岛”纳入取景框。

交通：从河口湖火车站乘坐红线巴士，在 20 号巴士站河口湖自然生活馆下车（25 分钟）。

<繁体字>

富士五湖攝影指南

在富士五湖的任何一處，都能近距離且清晰地捕捉到富士山，其中有部分地點尤其受到攝影家的青睞。

忠靈塔：位於富士吉田市附近的一座山丘上，可同時將五層佛塔、櫻花、紅葉（四季各異）和富士山納入取景框。這道瑰麗的日式風景，以前鮮為人知，但如今深受全世界攝影師的喜愛。

交通：從下吉田火車站步行 20 分鐘即可到達。或從富士山世界遺產環線巴士的忠靈塔入口站（離河口湖火車站 15 分鐘）步行 15 分鐘也可到達。還有一條路線是從新倉富士淺間神社攀登 398 級石階而至。

長池親水公園：位處山中湖北岸。這裡是拍攝有名的「湖上富士山」之地。而太陽落入富士山頂後呈現的「鑽石富士」奇景，僅在一年之中各種條件都滿足的時候才可看見。

交通：從河口湖火車站換乘富士吉田—忍野—山中湖環遊巴士，在長池親水公園前巴士站下車（50 分鐘）。

山中湖全景觀景台：位於離三國山徒步路起點大約 30 分鐘處。如其名，從這裡能把近處的芒草原野、寬廣的山中湖、高聳遠處的富士山盡收眼底。天氣晴朗時，還可望見北邊的南阿爾卑斯山。

交通：乘坐富士吉田—忍野—山中湖環遊巴士（F 線），在三國山徒步路入口下車（50 分鐘），再步行 30 分鐘。如選擇自駕，請於平野交叉路口處往小山町方向、沿 730 號縣道（山北山中湖線）行駛 15 分鐘即可抵達。

二十曲峠：坐落於忍野村的山地上，可以隔著稻田眺望優雅安詳的富士山。這個景點比這裡介紹的其它景點的路程更艱難，不過深受徒步愛好者的喜愛。

交通：在富士山火車站換乘富士急行巴士，到天狗社巴士站下車（40 分鐘），再步行 40 分鐘。

大石公園：位於河口湖北岸。每年春夏可以捕捉到無比精美的景色——近處的花壇鮮花怒放，隔著碧波蕩漾的湖面，遠處的富士山巍峨而立。此外，還可將富士五湖中唯一的湖中島——鵜之島納入取景框。

交通：從河口湖火車站乘坐紅線巴士，在 20 號巴士站河口湖自然生活館下車（25 分鐘）。

<日本語仮訳>

写真家向け富士五湖ガイド

富士山は、富士五湖地域のほどこからでもはっきりと、驚くほど近く見えますが、その中でも一部の場所は写真家には特に魅力的な場所となっています。

富士吉田市の**忠霊塔**の近くには、この5重の仏塔、桜の花や紅葉（季節によって異なります）と富士山を同じ構図の中に収めて撮影できる丘があります。この非常に美しい日本的な風景は、最近まであまり知られていませんでしたが、今日では世界中の写真家を魅了しています。

アクセス方法: 忠霊塔は下吉田駅から歩いて20分、富士山世界遺産ループバスの忠霊塔入口停留所（河口湖駅から15分）から歩いて15分。新倉富士浅間神社から398段の階段を上る。

長池親水公園は、山中湖の北岸に沿って伸びる公園で、ここは有名な「湖越しの富士山」の構図で撮れるスポットです。山頂の背後に太陽が沈む「ダイヤモンド富士」は、1年の中で条件が揃った時のみ見ることができます。

アクセス方法: 河口湖駅から富士吉田・忍野・山中湖周遊バスに乗り、長池親水公園前バス停留所（50分）。

山中湖の**パノラマ台**は、三国山ハイキングコース沿いにあり、出発地点から約30分のところにあります。その名前が示す通り、ここからの景色には手前のススキの野原、眼下に広がる広大な山中湖、その先にそびえ立つ富士山がすべて含まれます。晴れた日なら北方向に南アルプスが望めます。

アクセス方法: 富士吉田・忍野・山中湖周遊バス（Fライン）に乗り、三国山ハイキングコース入口で下車（50分）し、その後30分ハイキング。もしくは、車の場合には、平野交差点で小山町方向に曲がり、県道730号線（山北山中湖線）を15分。

忍野村の山地にある**二十曲峠**では、水田の向こうにのどかな富士山の姿を望むことができます。このスポットは、ここで紹介している他のスポットよりもアクセスが困難ですが、ハイカーの間では人気です。

アクセス方法: 富士山駅から天狗社停留所まで富士急行バスに乗って移動（40分）後、さらにハイキング40分。

春や夏に河口湖の北岸にある**大石公園**を訪れる写真家は、鮮やかに咲き誇る花壇を手前に、そして波の向こうに見える富士山の姿を撮影することができます。富士五湖唯一の島、うの島も構図に収めることができます。

アクセス方法: 河口湖駅からレッドラインバスに乗り、20 番停留所、河口湖自然生活館で下車
(25 分)

<简体字>

天上山公园

天上山公园是富士五湖地区最受欢迎的观光地之一，每天要接待数千名游客。公园位于河口湖东面、海拔 1104 米的天上山的山顶附近。公园里有一座三层高的瞭望台，在此可将高高耸立于南方的富士山及其周边 360 度全景一览无遗。

徒步路线从山麓开始，只需 40 到 50 分钟左右即可到达天上山公园。途中，夏天（7 月中旬至 8 月）绣球花盛开，秋季红叶烂漫，风景十分秀美。大部分游客会选择乘坐富士山全景缆车，缆车沿着被葱郁茂盛的森林覆盖的山坡爬升，到达海拔 1075 米的公园只需 3 分钟，上下海拔之差为 219 米。

“咔嚓咔嚓山”

“咔嚓咔嚓山”是缆车和公园的主题，它源自日本的一则民间故事，讲述一只聪明的兔子帮助被邪恶的山狸欺负的农夫。故事中，兔子用打火石和火镰取火后，点燃山狸背的木柴。山狸听到木柴燃烧时发出的咔嚓咔嚓声，问兔子是什么声响。兔子假装糊涂回答说，一定是“咔嚓咔嚓山”的声音。最后，山狸被烧成重伤才发现自己受骗。著名小说家太宰治（1909-1948）著有现代版《咔嚓咔嚓山》，其故事的舞台就是天上山。

公园内从色彩绚丽、形态各异的塑像，到售卖土特产与小吃的“山狸茶屋”，都取材于这个民间故事，甚至还有一座名副其实的“兔子神社”。此外，公园还有以富士山为背景悬吊于心形框架下的“天上钟”、投掷小陶盘穿过绳环的“素陶投掷”等景点。登上 7 米高的“武田信玄战国广场绝景瞭望台”，更可将富士山的绝景尽收眼底。

全年无休的活动

天上山公园，全年都会举办各种特别活动。风和日暖的季节，瑜伽教练会在富士山守望的瞭望台带领破晓晨练。天寒地冻的日子，会有烟花表演和一种叫“炬燵”的赏富士活动。游客坐进瞭望台上的日式暖被炉里，犹如在自家客厅一样，一边品尝甜甜的蜜桔，一边欣赏富士山美景。

缆车上看到的景色会因季节而异。夏天植被绿意盈盈，秋天红枫如火似霞，冬天四野洁白无垠。天气晴朗时，很多游客会坐缆车上山，再徒步穿越茂密的森林下山。从缆车山顶站徒步 10 分钟左右即可抵达天上山顶。喜欢冒险的徒步爱好者则可以挑战位于东北部

三峠山上大约 3 小时的路线。

<繁体字>

天上山公園

天上山公園是富士五湖地區最受歡迎的觀光地之一，每天接待數千名遊客。公園位於河口湖東面、海拔 1104 公尺的天上山的山頂。公園裡有一座三層高的瞭望台，在此可一覽聳立於南方的富士山及其 360 度全景。

徒步路線從山麓開始，約 40 到 50 分鐘左右即可到達天上山公園。途中，夏天（7 月中旬至 8 月）繡球花盛開，秋季紅楓爛漫，十分值得觀賞。然而大部分遊客還是會乘坐富士山全景纜車，纜車沿著蔥鬱茂盛的山坡爬升，到達海拔 1075 公尺的公園只需 3 分鐘，上下海拔之差為 219 公尺。

「卡奇卡奇山」

「卡奇卡奇山」裡有纜車和公園，主題源自日本的一個民間故事，講述一隻聰明的兔子幫助被壞狸貓欺負的農夫。故事中，兔子用打火石和火鏟取火後，點燃狸貓背的木柴。狸貓聽到木柴燃燒時發出的卡奇卡奇聲，問兔子是什麼聲響。兔子假裝糊塗回答說，一定是「卡奇卡奇山」的聲音。最後，狸貓被燒成重傷才發現自己受騙。著名小說家太宰治（1909-1948）著有現代版《卡奇卡奇山》，其故事的舞臺就是天上山。

公園內隨處可見的色彩絢麗、形態各異的塑像，包括販賣土特產與小吃的「狸貓茶屋」，均取材於這個民間故事。公園裡還有一座「兔子神社」，是一座名副其實的神社。此外，如以富士山為背景、懸吊於心形框架下的「天上鐘」、投擲小陶盤穿過繩環的「素陶投擲」，園內景點目不暇接。登上 7 公尺高的「武田信玄戰國廣場絕景瞭望台」，更可將富士山的絕景一覽無遺。

全年無休的活動

天上山公園，全年都會舉辦特別活動。風和日麗的季節，瑜伽教練會在富士山守望的瞭望台帶領晨練。天寒地凍的日子，會有煙花表演和一種叫「炬燵」的賞富士活動，遊客坐進瞭望台上的日式暖被爐裡，猶如在自家客廳一樣，一邊品嚐甜甜的蜜桔，一邊欣賞富士山美景。

纜車上看到的景色會因季節而異。夏天綠意盈盈，秋天楓葉如火似霞，冬天四野潔白無垠。天氣晴朗時，很多遊客會坐纜車上山，再徒步穿越茂密的森林下山。從纜車山頂站

徒步 10 分鐘左右即可抵達天上山頂。對於喜歡冒險的登山愛好者，推薦挑戰大約 3 小時的東北部三峠山路線。

<日本語仮訳>

天上山公園

天上山公園は、毎日数千人という観光客が訪れる富士五湖エリアの中で最も人気のある観光スポットのひとつです。河口湖の東、標高 1,104m の天上山の山頂近くにあるこの公園には 3 階建ての展望台があり、ここからは南方向の富士山を含む 360 度の景色が楽しめます。

麓からのハイキングコースも整備されており、夏（7 月中旬から 8 月）にはあじさいの群生を、秋は紅葉を楽しみながら 40～50 分程度のウォーキングで天上山公園まで登ることもできます。ただ、来訪者の大半は富士山パノラマロープウェイに乗ります。このロープウェイは、森林に覆われた斜面を上り、標高 1,075m にあるこの公園までの標高差 219m の距離をわずか 3 分間で移動します。

「カチカチ山」

このロープウェイと公園のテーマは、「カチカチ山」という、性悪タヌキに悪さをされた農夫を助けにやってきたウサギが出てくる日本の民話をもとにしたものです。この物語のある場面で、ウサギはタヌキが背負っていた木の一部に火をつけようと、火打ち石と鋼を使います。タヌキが燃えさかる木から聞こえるカチカチという音に気づいたとき、ウサギは「カチカチ山」の音に違いないとほめます。タヌキは、ひどい火傷を負って初めて騙されたことに気づきます。有名な小説家、太宰治（1909-1948）が現代風書き直した「カチカチ山」では、物語の舞台が具体的に天上山となっています。

公園内のいたるところに、カラフルな像から土産物や軽食を販売している「たぬき茶屋」まで、この民話を題材にしたさまざまなものがあります。この公園にはうさぎ神社という本物の神社まであります。他にも富士山を背景にハート型の枠から下がる天上の鐘や、小さな陶器製の皿を投げてロープの輪をくぐらせる技術を試すことができる「かわらけ投げ」のスポットなどもあります。富士山を何にも遮られることなく見たいという来訪者は、7メートルの高さの「武田信玄の戦国広場絶景やぐら」に登ると良いでしょう。

年中楽しめるアトラクション

天上山公園は 1 年を通じて特別なイベントを開催しています。温かい季節には、ヨガインストラクターが、富士山が見守る展望台での夜明けのヨガクラスを開催します。冬には、花火や展望デッキでのこたつを呼び物としたイベントなどが開催されます。来訪者は温かいこたつの毛布の下に座り、まるで自宅の居間でくつろいでいるかのように富士山を見ながらみかんを食べることができます。

ロープウェイからの景色は、夏の緑豊かな景色から、秋の金色や赤色に染まった紅葉、そして冬に積もる一面の白い雪など、季節ごとに変わります。天気の良いければ、来訪者の多くはロープウェイを使って上り、帰りには森の中をハイキングして下山します。天上山の頂上は、ロープウェイの山頂駅から徒歩 10 分のところにあり、冒険好きなハイカーであれば、北東にある三ツ峠山に向かって約 3 時間のハイキ

ングに挑むこともできます。

<簡体字>

钻石富士

钻石富士——那是太阳从富士山顶的正后方升起或落下时短短的一瞬显现的奇景。太阳在富士山独特优美的轮廓的衬托下，宛如一颗钻石，熠熠生辉。成千上万的摄影师及摄影爱好者，都力求捕捉钻石富士那美妙的一刻。但若要成功，必须做好规划，要有足够的耐心，并有绝好的天气配合。

夜空里的钻石

因地轴的倾斜，太阳从地平线升起和落下的地点每天都会有少许变化，所以每天能看见钻石富士的地点也不尽相同。山中湖位于富士山东北侧，从 10 月中旬至 2 月末的每个傍晚在湖畔的某个地方有机会看到，如长池亲水公园、平野湖畔、山中湖交流广场 KIRARA 都是最为热门的观赏地点。湖面平静无波时，还可以拍摄到令众人心驰神往的“双钻富士”——富士山与落日双双映照于湖面的奇景。

晨曦中的宝石

晨曦中的钻石富士多在早上 7 点 40 分前后出现。若想捕捉，必须按日出时间在富士山西侧守候。位于富士五湖最西面的本栖湖，有几个非常不错的观赏地点。如果是元旦，特别推荐位于海拔 1485 米处、龙岳山山顶前的瞭望台。

此外，山中湖周围还有众多旅游设施。拍完照后，可以泡温泉暖身解乏，或者留宿一晚，尽情享受大自然的馈赠。

<繁体字>

鑽石富士

鑽石富士——太陽從富士山頂的正後方升起或落下時的瞬間，太陽在富士山獨特優美輪廓的襯托下，宛如一顆寶石，熠熠生輝。成千上萬的攝影師及攝影愛好者，都費盡心思的想捕捉鑽石富士那美妙的一刻，但若要成功，必須做好規劃，有足夠的耐心，並有絕好的天氣配合。

夜空裡的鑽石

因地軸的傾斜，太陽從地平線升起和落下的地點每天都會有些許變化，所以每天能看見鑽石富士的地點也不盡相同。山中湖位於富士山東北側，從 10 月中旬至 2 月末的每個傍晚在湖畔的某個地方有機會看到，如長池親水公園、平野湖畔、山中湖交流廣場 KIRARA 都是最為熱門的觀賞地點。湖面平靜無波時，還可以拍攝到令眾人心馳神往的「雙鑽富士」——富士山與落日雙雙映照於湖面的奇景。

晨曦中的寶石

晨曦中的鑽石富士多在早上 7 點 40 分前後出現。若想捕捉，必須按日出時間在富士山西側守候。位於富士五湖最西面的本栖湖，有幾個非常不錯的觀賞地點。如果是元旦，特別推薦位於海拔 1485 公尺處、龍嶽山山頂前的瞭望台。

此外，山中湖周圍還有眾多觀光設施。拍完照後，可以泡泡溫泉，或者留宿一晚，盡情享受大自然的饋贈。

<日本語仮訳>

ダイヤモンド富士

ダイヤモンド富士とは、富士山山頂のちょうど向こう側に太陽が昇る、あるいは沈む景色のことです。ほんの僅かな間、富士山の象徴的なシルエットの上に太陽が宝石のように光り輝きます。アマチュアもプロもこぞって、何千人という熱心な写真家がこのダイヤモンド富士をカメラに収めようとしますが、それには計画性と忍耐、そして天気の協力も欠かせません。

夜のダイヤモンド

地軸の傾きにより、太陽が地平線上で昇ったり沈んだりする場所は毎日少しずつ変わるため、ダイヤモンド富士が見られる角度も変わってきます。山中湖は富士山の北東に位置しているため、10 月半ばから 2 月の終わりまでの期間、湖岸に沿って毎夕どこかにダイヤモンド富士が見られる可能性のあるスポットが出現します。長池親水公園や平野湖畔、山中湖交流プラザきらは、人気の鑑賞スポットです。湖面が穏やかな場合には、誰もが待ち望む富士山と日没が湖に反射する「ダブルダイヤモンド富士」を撮影できることもあります。

朝の宝石

朝にダイヤモンド富士を見るには、日の出に合わせて富士山の西側で待機しなければなりません。富士五湖の中で最も西に位置する本栖湖には、ふさわしいスポットがいくつかあります。1 月 1 日には、標高 1,485 メートルの龍ヶ岳の山頂の少し手前にある展望台が絶好のスポットとなります。ダイヤモンド富士は午前 7 時 40 分前後に現れます。

なお、山中湖周辺には観光施設も沢山あります。撮影後に温泉施設で体を温めたり、宿に一泊してゆっくり自然を満喫してみたりするのも良いかもしれません。

<简体字>

石割神社

石割山海拔 1413 米，石割神社位于其八合目、1143 米高处。“石割”之名，源自神社里一块有裂缝的巨石。据编纂于 8 世纪的《古事记》记载，太阳神——天照大神曾一度藏身于洞穴内，让世界陷入一片黑暗。传说这块巨石即是天照大神用来堵住洞口的“天之岩户”。这座神社将裂开后形如汉字“石”的大岩石作为神体供奉，实属罕见。据说这块巨石有开运、消灾、驱鬼和延命长寿的神效，而从石缝里渗出的水被视为神水，可治疗眼疾和皮肤病。

据传，能三次穿过巨石狭缝的人会获得好运，而作恶之人则会被夹在石缝间。如果有兴趣验证这个传说，请先穿过位于石割山徒步路线入口的巴士站和登山口停车场附近的鸟居（日本神社牌坊），再攀爬著名的 403 级石阶，即能到达神社。

漫步石割山

石割山上的森林植被并不茂密，站在山顶眺望四周，正面是富士山和平尾山，左手远方是南阿尔卑斯山，目及之处山峦起伏连绵、风光秀美。徒步路线从停车场出发，穿过石割山山顶和平尾山后再返回，大约需要 3 小时。

<繁体字>

石割神社

石割神社位於海拔 1413 公尺的石割山的八合目、1143 公尺高處。「石割」之名，源自神社裡一塊有裂縫的巨石。據編纂於 8 世紀的《古事記》記載，太陽神——天照大神曾短暫藏身於洞穴內，讓世界陷入一片黑暗。而這塊巨石即是傳說中天照大神用來堵住洞口的「天之岩戶」。這座神社將裂開後形如漢字「石」的大岩石作為神體供奉，實屬罕見。據說這塊巨石有開運、消災、驅鬼和延命長壽的神效。而從石縫裡滲出的水被視為神水，據稱可治療眼疾和皮膚病。

傳說能三次穿過巨石狹縫的人會獲得好運，而作惡之人則會被夾在石縫間。如果有興趣驗證這個傳說，請先穿過位於石割山徒步路線入口的巴士站和登山口停車場附近的鳥居（日本神社牌坊），再攀爬著名的 403 級石階，即能到達神社。

漫步石割山

石割山上的森林植被並不茂密，站在山頂眺望四周，正面是富士山和平尾山，左手遠方是南阿爾卑斯山，山巒起伏連綿、山色秀美。登山步道從停車場出發，穿過石割山山頂和平尾山後再返回，大約需要 3 小時。

<日本語仮訳>

石割神社

石割神社は、標高 1,413m の石割山の八合目、海拔 1,143m の地点に立っています。この「石割」という名前は、この神社の奥にある、割れ目の入った巨岩にちなんでいます。8 世紀に編纂された『古事記』には、太陽の神である天照大神がかつて一時的に洞窟に身を隠した際、世界が真っ暗闇になったと記されています。天照大神がこの巨大な岩を使って洞窟の入り口を閉じたという言い伝えが残る、「天の岩戸」伝説の地です。漢字の「石」の字の形に割れた大岩を御神体とする珍しい神社で、開運・厄除・追儼・長寿息災のご利益があります。また石の割れ目からしみ出る水は霊水として眼病、皮膚病に効くともいわれています。

この巨岩の狭い隙間を 3 回通り抜けると幸運が訪れると言い伝えられていますが、隙間を通り抜けるのにふさわしくない悪いことをした人は、岩に挟まれてしまうとされています。この伝説を試してみるには、石割山ハイキングコース入口バス停と登山口駐車場の近くの鳥居をくぐったところからスタートする、有名な 403 段の階段を上り、まず神社までたどり着く必要があります。

石割山ハイキング

石割山の森林は密生していないため、その山頂からは正面に富士山と平尾山、左手には遠くに南アルプスなど、美しい山々の眺望が楽しめます。駐車場から石割山山頂、平尾山を縦走し、また駐車場へと戻ってくるハイキングには約 3 時間かかります。

<簡体字>

花之都公园

辽阔天空下群芳争艳的花田、园内随处可眺望西 20 公里外的富士山，这些都是花之都公园的魅力所在。若 12 月至 1 月之间造访此地，有机会看到太阳缓缓隐身于富士山后的那瞬、被誉为“钻石富士”的奇观。

花之都公园位于海拔约 1000 米的地方，由于气温较低，因此开花时间较毗邻的东京迟一个月左右。一年之中最早盛开的是 4 月下旬的郁金香，其后粉蝶花、满天星、罂粟、向日葵等各种花朵的花期接踵而至。9 月，园内会举办收获祭（丰收节），10 月至 11 月初则是赏枫的最佳时节。冬天，公园每晚会举行一种名为“照亮幻想”的灯光秀活动，每个周末还有烟花表演。

公园东侧有一座四季温室“花之穹顶 FURARA”、一挂瀑布，还有一处熔岩树型地下观察体验区。所谓“熔岩树型”，是指熔岩流过森林时，部分树木在公园地下的岩浆岩上留下的树形空洞。营建公园时发现的这些空洞被原封不动地保存下来，供游客参观。

<繁体字>

花之都公園

花之都公園的魅力在於，您可以在公園任何地方欣賞遼闊天空下群芳爭豔的花田和眺望西邊 20 公里外的富士山。若 12 月至 1 月之間造訪此地，有機會看到太陽緩緩隱身於富士山後的那一瞬間、被譽為「鑽石富士」的奇觀。

花之都公園位於海拔約 1000 公尺的地方，氣候較寒冷導致開花時間較毗鄰的東京慢一個月左右。4 月下旬的鬱金香之後，粉蝶花、滿天星、罌粟花、向日葵等花朵也接踵而至。9 月，園內會舉辦收穫祭（豐年祭），10 月至 11 月初則是賞楓的最佳時節。冬天，公園每晚會舉行一種名為「照亮幻想」的燈光秀活動，每個週末還有煙花表演。

公園東側有一座四季溫室「花之穹頂 FURARA」、一掛瀑布，還有一處熔岩樹型地下觀察體驗區。所謂「熔岩樹型」，是指岩漿過森林時，部分樹木在公園地下的岩漿岩上留下的樹形空洞。這些空洞在公園動工時被發現，原封不動地保存下來供遊客參觀。

<日本語仮訳>

花の都公園

花の都公園の魅力は、大きく広い空の下に咲き誇る花畑と、西に 20km のところにある富士山を園内のどこからでも眺められる、というシンプルなものです。12 月から 1 月に訪れると、富士山の頂上の向こうに太陽が沈むときに見える、有名な「ダイヤモンド富士」の景色を期待できます。

この公園は標高 1000 メートル弱のところであり、その冷涼な気候のため、開花する時期が近郊の東京より 1 ヶ月ほど遅いのが特徴です。1 年の中で最初に咲く花は、4 月後半に咲くチューリップです。そして、ネモフィラ、かすみ草、ポピー、ひまわりなど様々な花が続きます。9 月には収穫祭が開催され、紅葉は 10 月から 11 月初頭まで楽しむことができます。冬になるとこの公園では毎晩ファンタジウムというイルミネーションイベントでライトアップされ、毎週末には花火も上がります。

この公園の東の端には、全天候型温室フローラルドームふらら、滝、そして溶岩樹型地下観察体験ゾーンがあります。溶岩樹型は樹木が溶岩流に飲み込まれた際にこの公園の地下にある火成岩に開いた空洞です。これらはこの公園の建設中に発見され、来訪者が直接見ることができるようにそのまま保存されています。

<簡体字>

河口浅间神社

河口浅间神社是名为“富士山信仰的对象与艺术源泉”的世界文化遗产的一部分。这座神社于 864 年贞观大喷发后为镇安火山女神“浅间明神”而建。在大喷发的 1 个多世纪以前，原来供奉富士山的浅间神社曾经位处富士山南侧。864 年大喷发时神社遭到严重破坏，于是朝廷下令在北侧修建新的神社。选择能眺望富士山的河口湖对岸位置，是为了日后如若火山喷发，神社也可免遭劫难。

河口浅间神社的参道（参拜道）两旁巨杉参天，非常有名。神社里还有七株树龄超过 1200 年的古杉树，被奉为神木。它们在神社建立之前就挺立于此。

19 世纪初叶，与其它浅间神社一样，河口浅间神社开始供奉山神“大山祇命”的女儿——花神“木花咲耶姬命”。而花神之孙“鸕鹚草葺不合尊”则被供奉于产屋崎的附属神社。每年 4 月 25 日，这两座神社会庆祝“孙见日”（探孙日），举行探孙仪式，将供奉有木花开耶姬命牌位的神轿抬赴产屋崎探望其孙。

稚儿舞

河口浅间神社为“割拜殿”建筑式样，即两座主殿在同一屋顶下，中间由一个“土间”（夯土房间）隔开。这个房间是神社用于表演传统舞蹈“稚儿舞”的舞台。

稚儿舞是一种祭祀活动，由当地 7 岁至 12 岁的女孩，身穿传统服饰翩翩起舞。这种舞蹈，会在每年 4 月 25 日的“孙见”仪式前及 7 月 28 日的“太太御神乐祭”（又名“孙见祭”）上表演。

<繁体字>

河口淺間神社

河口淺間神社是世界文化遺產「富士山信仰的對象與藝術源泉」的一部分。這座神社於 864 年貞觀大噴發後為鎮安火山女神——淺間明神而建。在大噴發的 1 個多世紀以前，原來供奉富士山的淺間神社曾經位處富士山南側，864 年大噴發時神社遭到嚴重破壞，於是朝廷下令在北側、隔河口湖能眺望富士山的位置修建新神社。選址的理由在於萬一日後火山噴發，神社也可免遭損害。

河口淺間神社的參道（參拜道）兩旁巨杉參天，也非常有名。神社裡還有七株樹齡超過 1200 年的古杉樹，被奉為神木，它們在神社建立此處之前，就挺立於此。

19 世紀初葉，與其它淺間神社一樣，河口淺間神社開始供奉山神大山祇命的女兒——花神木花咲耶姬命。而花神之孫——鸕鷀草葺不合尊則被供奉於產屋崎的枝社。每年 4 月 25 日，這兩座神社會慶祝「孫見日」（探孫日），舉行探孫儀式，將供奉有木花開耶姬命牌位的神轎抬赴產屋崎探望其孫。

稚兒舞

河口淺間神社為「割拜殿」建築式樣，即兩座主殿在同一屋頂下，中間由一個「土間」（三和土地面的房間）隔開，而這個房間就是用於表演傳統舞蹈「稚兒舞」的舞臺。

稚兒舞是一種祭祀活動，由當地 7 歲至 12 歲的女孩，身穿傳統服飾翩翩起舞。這種舞蹈，會在每年 4 月 25 日的「孫見」儀式前及 7 月 28 日的「太太御神樂祭」（又名「孫見祭」）上表演。

<日本語仮訳>

河口浅間神社

富士山信仰の対象と芸術の源泉の構成資産の一部として世界文化遺産に登録されている河口浅間神社は、864年の貞観大噴火の後、浅間（あさま/せんげん）明神として知られる火山の女神を鎮めるために建立されました。富士山に捧げられた浅間神社は、その1世紀以上前には富士山の南側に存在していましたが、864年の大噴火の際に激しく破壊されたため、朝廷が新しい神社を北側に建立するよう命令したのでした。河口湖を挟んで富士山を望む場所が選ばれたのは、その後に噴火があった場合もこの神社を守れるようにという理由もありました。

河口浅間神社は、杉並木の参道でも有名です。また、この神社の境内にはこの神社が建立される前から立っている、樹齢1,200年を超える御神木の七本の杉があります。

19世紀初頭、河口浅間神社は、その他の浅間神社と同様に山の神、大山祇命の娘である花の女神、木花咲耶姫命を祀るようになりました。この花の女神の孫、鷓鴣草葺不合尊（ウガヤフキアエズノミコト）は、産屋ヶ崎の末社に祀られています。これら2つの神社では、4月25日の「孫見の日」を祝い、この祭りでは木花咲耶姫命が鎮座する神輿で産屋ヶ崎の孫を訪ねるという儀式が行われます。

稚児の舞

河口浅間神社の建物は割拝殿形式です。浅間神社に特有の2棟の本殿が同じ屋根の下に設けられた土間で分けられています。この神社では、この土間が伝統的な稚児の舞の舞台として使われています。

稚児の舞は、伝統的な衣装を身に着けた地元の7歳から12歳までの女兒が舞を奉納する儀式です。この舞は、毎年4月25日の「孫見」の儀式の前と、7月28日の太々御神楽祭の2回上演されます。

<簡体字>

红叶台、三湖台与足和田山：从东海自然步道上眺望富士山

东海自然步道，是一条从东京延伸至大阪、全长 1697 公里的长距离步道。步道经过很多地形，包括很多段路线。其中西湖南面山丘上的路线最短，景色也最为怡人，且道路平坦，适合全家出行。这段步道途径海拔 1164 米的红叶台和 1202 米的三湖台，徒步往返海拔 1355 米的足和田山的山顶，需要 90 分钟左右。

登坡

从红叶台入口处徒步 10 分钟左右，即能看到第一个景点——万叶歌碑。这块石碑上刻有现存最古老、成书于 8 世纪的和歌集《万叶集》中收录的赞美富士山的诗文。

第二个景点便是徒步 20 分钟即可到达的红叶台。红叶台瞭望休憩驿站屋顶有瞭望露台，从这里可以将广袤的青木原树海，及其身后的宏伟富士山一览无余。在这个高度眺望，还可欣赏到广袤森林与周边群山交织的光影，并清晰地认识到这种火山地区的独特地貌，正是发生于 864 年的那场贞观大喷发的熔岩造就。

再往上走 20 分钟左右，是第三个景点——三湖台。“三湖台”实际只能看见西湖和本栖湖两个湖泊。从这里继续步行 1 小时左右，便是和田山的山顶。这里有一个独特的瞭望台，由圆木搭建而成。该瞭望台是徒步路线上海拔最高的地方，站在此处，眼底景色壮丽秀美，绝不会辜负攀山的辛劳。

<繁体字>

紅葉台、三湖台與足和田山：從東海自然步道上眺望富士山

東海自然步道，是一條從東京延伸至大阪、途經各種地形、包括多段路線。全長 1697 公里的長距離步道。其中，西湖南面山丘上的路線最短，景色也最為怡人，且十分易於步行，最適合一家老小全員出行。此段步道途徑海拔 1164 公尺的紅葉台和 1202 公尺的三湖台，徒步往返海拔 1355 公尺的足和田山的山頂，需要 90 分鐘左右。

爬坡

從紅葉台的入口徒步 10 分鐘左右，即能看到第一個景點——萬葉歌碑。這塊石碑上刻有現存最古老、成書於 8 世紀的和歌集《萬葉集》中收錄的讚美富士山的詩文。

第二個景點便是徒步 20 分鐘即可到達的紅葉台。紅葉台瞭望休息站屋頂有個瞭望台，從這裡可以一覽遼闊的青木原樹海，及其身後的宏偉富士山。在此還可眺望遼闊的森林與周邊群山交織光影，其火山區的獨特地貌能令人親身感受到，是 864 年的貞觀大噴發造就了眼前這份景致。

再往上走 20 分鐘左右，就是第三個景點——三湖台。雖然它名叫「三湖台」，但實際上只能看見西湖和本栖湖兩個湖泊。從這裡繼續步行 1 小時左右，便是和田山的山頂。這裡有一個由圓木搭建而成的獨特瞭望台，是徒步路線上海拔最高的地方，眼前的景色壯麗秀美，絕對不負此行。

<日本語仮訳>

紅葉台、三湖台と足和田山：東海自然歩道から望む富士山

東海自然歩道は、東京から大阪まで全長が 1,697km ある長距離歩道です。あらゆる種類の地形を通りますが、西湖の南の丘に行くコースは短く、景色もよく、また歩きやすいので、家族連れでのお出かけにも最適なコースです。ハイキングは 1,164m 地点の紅葉台と 1,202m 地点の三湖台を通ります。標高 1,355m の足和田山の山頂までの往復のハイキングの所要時間は約 90 分です。

斜面を登る

最初の見どころは、紅葉台の入り口から 10 分ほどの場所にある万葉歌碑です。この石碑には、現存する中で最も古い、8 世紀に編纂された和歌集である『万葉集』に収録された富士山への讃歌が刻まれています。

次の目的地は、徒歩 20 分のところにある紅葉台です。紅葉台展望レストハウスの屋上にある展望デッキからは、青木ヶ原樹海越しに壮大な富士山の全景を見ることができます。この高さから見た一面に広がる森の景色は、その周囲の山々とはっきりとしたコントラストを織りなし、その元の姿が 864 年の貞観大噴火で流れ出した溶岩だったことが良くわかります。

三湖台は、ハイキングコースを約 20 分歩いたところにあります。その名前にもかかわらず、実際には西湖と本栖湖の 2 つの湖しか見られません。そこから 1 時間ほど進むと足和田山の山頂があり、そこには丸太でできた独特の展望台があります。この展望台はハイキングコースで最も標高が高い位置にあり、ここからの景色は登ってくるだけの価値があります。

<简体字>

鸣泽熔岩树型

864 年贞观大喷发时，古代森林被熔岩流吞噬，并在后来形成的岩浆岩中留下了树形空洞，这就是“熔岩树型”。鸣泽发现了 12 处毗邻的树形空洞，数目之多在全球亦十分罕见。其中一处直径长达 5 米，可以想像在一改地貌的大喷发前，这里应该伫立了一株巨大的古木。鸣泽的熔岩树型是被日本政府指定的特别天然纪念物。

并不是所有的熔岩流都会形成树形空洞，必须满足一定的条件。熔岩中的硅酸含量需达到 50~51% 左右，且熔岩流经过的地面坡度必须为 3%，以保证熔岩流速度不快不慢。此外，要留下空洞，熔岩流还不能过厚。鸣泽的熔岩树形空洞仿佛一口井，透过它能清晰看到 4 米之下此地的昔日地貌。而青木原树海的其它地区，有的地方熔岩流厚度甚至达到 100 多米。

森林中的喷气孔（熔岩流的喷气孔）

所谓“熔岩流喷气孔”，是指被锁在熔岩流中的水分蒸发时急剧膨胀，水蒸气喷出表面时在冷却的熔岩上留下的特殊痕迹。1993 年的地质勘察发现了鸣泽地区的熔岩流喷气孔。鸣泽喷气孔群的数量在全球范围亦极为可观，它们大多常见于熔岩层冷却断裂后生成的矮“崖”斜坡上。

<繁体字>

鳴澤熔岩樹型

864 年貞觀大噴發時，古森林被岩漿吞噬，部分樹木在熔岩冷卻後形成的岩漿岩中留下樹形的空洞，這就是「熔岩樹型」。鳴澤發現了 12 處毗鄰的樹形空洞，數目之多在全球亦十分罕見。其中一個直徑達 5 公尺，可以想像在大噴發前，這裡應該佇立了一株巨大的古木。鳴澤的熔岩樹型是被日本政府指定的特別天然紀念物。

並不是所有的岩漿都會形成樹形空洞，必須滿足一定的條件。首先熔岩中的矽酸含量需要達到 50~51% 左右；其次岩漿經過的地面坡度必須是 3%，以保證熔岩流速度適中；再次，要留下空洞，岩漿就不能過厚。鳴澤熔岩樹形空洞彷彿一口井，透過它能清晰看到 4 公尺之下的昔日地貌。而青木原樹海等其它地區，也有的地方熔岩流厚度達 100 多公尺。

森林中的噴氣孔（熔岩流的噴氣孔）

所謂「熔岩流噴氣孔」是指被鎖在岩漿中的水分蒸發後急劇膨脹，水蒸氣噴出表面時在冷卻凝固的熔岩上留下的特殊痕跡。1993 年，地質勘察發現了鳴澤地區的熔岩流噴氣孔。鳴澤的噴氣孔群，其數量在全球亦極為可觀。它們大多常見於熔岩層冷卻、斷裂後生成的低「崖」斜坡上。

<日本語仮訳>

鳴沢溶岩樹型

この樹型は、864 年の貞観大噴火で古代の森が溶岩流に飲み込まれたことにより火成岩にできた空洞です。鳴沢は、互いに近接しあう樹型の数が合計 12 箇所という、世界的な標準から見ても非常に多いという点が特徴的です。その一部は直径が 5m もあり、噴火が風景を一変させる前は、古く巨大な木だったことがわかります。鳴沢の溶岩樹型は、国の特別天然記念物に指定されています。

溶岩流が必ず樹型を形作るというのではなく、溶岩樹型の形成にぴったりの条件を満たしている必要があります。溶岩のケイ酸含有量が 50～51%と比較的高く、溶岩の動きが遅すぎず、また速くなりすぎないために表面勾配が約 3%でなければなりません。また、溶岩流は空洞が残る程度の浅さである必要があります。鳴沢では、元の地表がわずか 4m 下に見える、まるで井戸のような空洞の中を見下ろすことができます。青木ヶ原樹海の他の地域では溶岩流の深さが 100m 以上になっている場所もあります。

森の中のスパイラル (溶岩流の噴気孔)

1993 年の地質学調査ではこの地域に溶岩スパイラルも発見されました。溶岩スパイラルは、溶岩流の中に閉じ込められた水分が、水蒸気になって急速に膨張して表面で爆発し、冷えた溶岩に特徴的な跡を残したものです。鳴沢には、世界的な基準でも非常に多いスパイラル群があり、その多くは溶岩層が冷えて裂けることで生じた低い「崖」の斜面に簡単に見ることができます。

<簡体字>

千元纸币上的富士山风景——冈田红阳的代表作

日本目前流通的千元纸币和 1984 年版的五千元纸币上，均印有富士山图案——湖泊周围密林山丘环绕，富士巍然屹立在湖泊彼岸。该图是根据日本著名摄影家冈田红阳（1895-1972）的作品《湖畔之春》（1935 年拍摄于本栖湖湖畔）雕刻而成。

冈田红阳，新潟县人，是日本山脉摄影领域的先驱者。他终其一生都在用相机记录富士山及其周围景色，特别喜欢用“富士子”这一女性化的名字来称呼富士山。冈田经常走访富士五湖地区寻找令他痴迷的富士山的新面貌，他漫步于森林和群山中的身影逐渐被当地人熟知，並相互建立了深厚的友谊。

2004 年，富士山附近的忍野村建造了一座冈田红阳写真美术馆，这里是 21 岁时的冈田对富士山一见倾心的地方。从忍野八海远眺富士山的照片，也是冈田摄影作品中获得最高赞誉的作品之一。

探寻冈田的足迹

现在仍能看到因冈田的摄影作品《湖畔之春》而声名鹊起的这道风景。它位于本栖湖的西北方向，从公路出发徒步 30 分钟左右即可到达。这条长约 1 公里的山路崎岖险峻，且需要攀爬几处陡峭的悬崖。但在艰苦跋涉后，迎来的将是一道富士山最美的风景。

<繁体字>

千元紙幣上的富士山風景——岡田紅陽的代表作

日本目前流通的千元紙幣和 1984 年版的五千元紙幣上，均印有富士山圖案——湖泊周圍密林山丘環繞，富士巍然屹立在湖泊彼岸。該圖案是根據日本著名攝影家岡田紅陽（1895-1972）的作品《湖畔之春》（1935 年拍攝於本栖湖湖畔）雕刻而成。

岡田紅陽，新潟縣人，是日本山脈攝影領域的先驅者。他終其一生都在用相機記錄富士山及其周圍的景色，特別喜歡用「富士子」這一女性化的名字來稱呼富士山。岡田經常去富士五湖地區尋找令他癡迷的富士山的新面貌。他漫步於森林和群山中的身影在當地家喻戶曉，並與眾多當地人建立了深厚的友誼。

2004 年，在富士山附近的忍野村建造了一座岡田紅陽寫真美術館，這裡是 21 歲的岡田對富士山一見傾心的地方。從忍野八海遠眺富士山的照片，也是岡田攝影作品中獲得最高讚譽的作品之一。

探尋岡田的足跡

現在仍可看到因岡田的攝影作品《湖畔之春》而聲名鵲起的風景。它位於本栖湖的西北，從公路開始徒步 30 分鐘左右即可到達。這條 1 公里左右長的山路崎嶇險峻，且需要攀爬幾處陡峭的懸崖。不過在艱苦跋涉後，迎來的將是一道富士山最美的風景。

<日本語仮訳>

千円札に採用された富士山の風景 - 岡田紅陽の有名な写真

日本の千円札の現行のデザインと、1984 年の五千円札のデザインには、森林に覆われた丘に囲まれた湖越しの富士山の姿があしらわれています。これは、高名な写真家、岡田紅陽（1895-1972）が 1935 年に本栖湖を撮影した「湖畔の春」という題名の写真を彫刻したものです。

新潟県に生まれた岡田は、日本の山岳写真における先駆者でした。岡田は「富士子」という女性の名前で呼んでいた富士山が特に気に入っており、富士山とその周囲をカメラで記録することがライフワークになりました。岡田は富士五湖地域に頻繁に訪れ、愛して止まなかった被写体の新しい顔を探し求めて森や丘を散策する姿は地元の人々の間でも有名になり、岡田は彼らの多くと仲良くなりました。

岡田紅陽写真美術館は、岡田が 21 歳の時に初めて富士山に心を奪われた、富士山近くの忍野村に 2004 年に開設されました。遠くに富士山を望む忍野八海の写真は、最も高い評価を受けている岡田作品の一部です。

岡田の足跡をたどる

岡田の「湖畔の春」の写真により不朽の名声を得た風景は、今日でも見ることができます。この地点は、本栖湖の北西にあり、道路から始まる 1km のハイキングの所要時間は約 30 分です。この登山道は、険しく、急峻な崖を数カ所登る必要がありますが、その見返りとして目にできる富士山の姿は最も美しいもののひとつです。

<简体字>

吉田登山道

始于吉田口的这段登山道，自古就是“富士讲”朝圣者登拜的热门路线。时至今日，这里仍是从富士山北侧登顶时人气最旺的徒步路线。多数登山者或会乘坐富士斯巴鲁线巴士到达五合目（海拔 2305 米）后再徒步登顶。但如果对历史悠久且人迹罕至的登山道感兴趣，建议挑战吉田登山道的后半段，即从登山道起点至北口本宫富士浅间神社之间的一段路程。该路段闲适静谧、植被丰茂，且沿途有众多有趣的景点。

中之茶屋：结界

从北口本宫富士浅间神社步行 1 个多小时，即可抵达第一个中转驿站——中之茶屋。该茶屋位处神社与吉田登山道原本的起点“马返”（参考下文）的正中间，附近的山涧溪流曾被比作传说中将此生与来世隔开的三途川。

一到周末，茶屋会供应团子、“吉田乌冬”等当地有名的美食。周边还有众多数世纪以来“富士讲”朝圣者建造的石碑，其中大多都是纪念比如某某第 33 次登顶成功，成为“领先于人”的“先达”。先达被当地的“富士讲”信徒视为精神导师和登山向导，备受尊敬。

马返：进山

沿登山道继续徒步 1 小时，即会抵达第二家茶屋——以日本杜鹃花闻名的“大石茶屋”。再继续往前 30 分钟，就是“马返”，即“马折返的地方”。马返海拔高 1450 米，从这里起，富士山的山坡植被从萋萋芳草变成茂密树林，且坡度骤然陡峭，马也无法继续前行。从此往上，所有的物资都只能靠人力搬运。

马返的石鸟居两侧立有猴子的雕像。猴子虽被认为是富士山的使者，山里却没有猴子栖息。但传说远古时，富士山从浓雾中现身于世的那一年正值庚申年（猴年）。人们相信，在庚申年攀登富士山会特别吉祥，因此每逢庚申年，众多的朝圣者皆会攀登富士山（下一个庚申年是 2040 年）。

鸟居前方是“禊所”（神社的净身池）遗址，朝圣者在登山之前，在这里洁净身体，洗去俗世尘埃。这座木制建筑，历经多年的风霜雨雪，早已破败不堪，最终在距今约 60 年前轰然倒塌，唯有几根石柱依旧矗立在原地。

吉田登山道另有多个名胜景点位于海拔较低的地方。直到 1872 年以前，女性都被禁止登顶富士山，只能从远处遥拜。二合目（1700 米）处的纪念碑，即是当时女性可攀登的最高点。徒步者会从小室浅间神社迁至湖畔之前的原址穿过。每年 4 月中下旬至 5 月上旬，这条登山道沿途会被绚烂的富士樱和三叶杜鹃装点得五彩斑斓。

从马返至五合目，总共需要 3 至 4 个小时。若不赶时间、希望轻松悠闲地漫步，推荐乘坐巴士至五合目，再徒步下山至北口本宫富士浅间神社。这段舒缓平坦的路线，大致须 5 至 6 个小时。

<繁体字>

吉田登山道

始於吉田口的這段登山道，自古就是「富士講」朝聖者登拜的熱門路線。時至今日，這裡仍是從富士山北側登頂時人氣最旺的登山路線。多數登山者或會乘坐富士斯巴魯線巴士到達五合目（海拔 2305 公尺）後再徒步登頂。但如果對歷史悠久且人跡罕至的登山道感興趣，建議挑戰吉田登山道的後半段，即從登山道起點至北口本宮富士淺間神社之間的一段路程。該路段閒適靜謐、植被豐茂，且沿途有眾多有趣的景點。

中之茶屋：結界

從北口本宮富士淺間神社步行 1 個多小時，即可抵達第一個中轉驛站——中之茶屋。該茶屋位處神社與吉田登山道原本的起點「馬返」（參考下文）的正中間，附近的山澗溪流曾被比作傳說中將此生與來世隔開的三途川。

一到週末，茶屋會供應團子（麻糬丸子）、「吉田烏龍麵」等當地有名的美食。周邊還有眾多數世紀以來「富士講」朝聖者建造的石碑，其中大多都是紀念比如某某第三十三次登頂成功，成為「領先於人」的「先達」。先達被當地的「富士講」信徒視為精神導師和登山嚮導，備受尊敬。

馬返：進山

沿登山道繼續徒步 1 小時，即會到達第二家茶屋「大石茶屋」，以日本杜鵑花聞名。再繼續往前 30 分鐘，就是「馬返」，即「馬折返的地方」。馬返海拔 1450 公尺，從這裡開始富士山的山坡植被從萋萋芳草變成茂密樹林，且坡度驟然陡峭，馬也無法繼續前行。從此往上，所有的物資都只能靠人力搬運。

馬返的石鳥居兩側，立有富士山的使者猴子的雕像。富士山裡並沒有猴子棲息，但傳說，遠古時富士山從濃霧中現身於世的那一年正值庚申年（猴年）。人們相信在庚申年攀登富士山會特別吉祥，因此每逢庚申年，眾多的朝聖者皆會攀登富士山（下一個庚申年是 2040 年）。

鳥居前方是「禊所」（神社的淨身池）遺址，朝聖者在登山之前，在此潔身以洗去俗世塵埃。這座木製建築，歷經多年的風霜雨雪，早已破敗不堪，最終在 60 年前倒塌，唯有幾根石柱依舊矗立在原地。

吉田登山道的低海拔處也有多個名勝景點。直到 1872 年以前，女性都被禁止登頂富士山，只能從遠處遙拜。二合目（1700 公尺）處的紀念碑，即是當時女性可攀登的最高點。徒步愛好者可從小室淺間神社遷至湖畔之前的原址穿過。每年 4 月中下旬至 5 月上旬，這條登山步道沿途會被絢爛的富士櫻和三葉杜鵑裝點得五彩斑斕。

從馬返至五合目，總共需要 3 至 4 個小時。若不趕時間、希望輕鬆悠閒地漫步，推薦乘坐巴士至五合目，再徒步下山至北口本宮富士淺間神社。這段舒緩平坦的路線，大致需 5 至 6 個小時。

<日本語仮訳>

吉田登山道

古来の富士講登山は、吉田口からのルートは隆盛を極めた登山道でした。いまなお、富士山の北側への登頂に最も人気のあるハイキングルートです。登山者の大半は、富士スバルラインバスで登山道の五合目（標高 2,305m）まで行き、その後山頂に向かって登ります。知られざる、歴史ある登山道に興味がある方にオススメなのは、登山道の起点から北口本宮富士浅間神社に延びるこの登山道の下半分です。のどかで緑豊かなこのコースには、興味深いポイントが点在しています。

中の茶屋：境界

北口本宮富士浅間神社から 1 時間強歩いたところにある最初の中継地点が中の茶屋です。中の茶屋は、神社と登山の本来の開始地点である馬返し（下記参照）との中間に位置するため、その近くに流れる沢はかつてこの世とあの世とを分ける伝説上の三途の川に例えられていました。

この茶屋では週末になると団子や、「吉田のうどん」という有名なご当地グルメを提供しています。ここには、富士講巡礼者が過去数世紀にわたって建てた石碑が多数あります。これらの多くは、誰かが 33 回目の登頂の達成し、文字通り「先頭を行く者」という意味の「先達」になったことを記念するものです。先達は、現地の富士講から精神的指導者と山岳ガイドの双方として尊敬されていました。

馬返し：入山

次の茶屋、大石茶屋は、もう 1 時間登山道を登ったところにあり、レンゲツツジで有名です。その後 30 分歩くと、「馬が引き返してしまう場所」、馬返しです。海拔 1,450m 地点にあり、ここからは富士山の草深い斜面が密林に取って代われ、また傾斜も馬には急峻すぎるものになってしまうのです。馬返しから上は、すべてを手で運ぶ必要がありました。

馬返しの石鳥居の両側には富士山の使いとされるサルの像があります。富士山にはサルが生息していませんが、伝説では富士山が大昔霧の中から世界に姿を表し誕生したのが庚申（かのえさる）の年だったと言われています。庚申の年に富士山に登山することは、特に縁起が良いことだとされており、その年になると巡礼者の多くが富士山に登ります。（次の庚申の年は 2040 年です。）

鳥居のすぐ先には巡礼者が真剣に登山を始める前に俗世間の痕跡を一切残さないように体を清めた、「禊所」の跡があります。この木造建築物は、長年風雨にさらされて老朽化したため約 60 年前に崩壊しましたが、かつてその建物があった場所には石柱が残っています。

その他多数の名所が吉田登山道の低いエリアに沿って存在しています。1872 年まで女性は富士山に登頂することは正式に許されておらず、遠くから崇拜しなければなりませんでした。二合目（1,700m）の記念碑が、当時女性が登ることのできた最高地点を標しています。ハイカーは、小室浅間神社が湖畔に遷宮する前に存在していたところを通り過ぎます。このルートは、4 月の後半から 5 月

の前半までフジザクラとミツバツツジで彩られます。

馬返しから五合目までの所要時間を合計すると、3～4 時間となります。時間が長くかかってもいいから、もっと手軽にハイキングがしたいという人には、五合目までバスに乗り、北口本宮富士浅間神社まで徒歩で下山するという、所要時間 5～6 時間の快適なルートもあります。

<简体字>

北口本宫富士浅间神社

北口本宫富士浅间神社，位于通往富士山顶的吉田登山道北口。数世纪以来，众多朝圣者从江户（现东京）来此登顶，而大多数人皆选择此座神社为登山起点。

神社的起源可追溯至 110 年，因传说中的王子日本武尊东征时，登上附近的山丘遥拜富士山，故于 788 年在现址建立神社。17 至 18 世纪，“富士讲”信仰飞速发展普及，大批朝圣者从江户蜂拥至此，神社的大部分建筑均于当时修建。

参道（参拜道路）两侧，巨大古松参天而立，前方是挂有“三国第一山”牌匾的雄伟鸟居。此处“三国”指日本、中国和印度，因为远古时代的日本认为世界由这三个国家组成。这座鸟居不仅是神社的入口，也是富士山的大门。神社里还建有徐福纪念碑，传说徐福是公元前 3 世纪由秦始皇派遣来此寻找长生不老药的使者。

三座本殿

神社内与现在的本殿（主殿）并肩矗立的是两座旧本殿。

最古老的本殿于 1223 年由镰仓幕府第二代掌权者北条义时（1163-1224）建造。1561 年，大名武田信玄（1521-1573）将该本殿捐赠给神社。在丰臣秀吉用武力统一全国后不到 10 年的 1594 年，秀吉间接资助兴建了另一座更新更大的本殿。而神社最宏伟壮观的本殿则是 1615 年由德川家康将军（1543-1616）的家臣捐建。德川家执政的江户时代（1603-1868），为日本带来了长期的和平与稳定。三座本殿均被日本政府指定为重要文化财。

此座神社另一罕见之处，是在神社建筑的后方供奉着日本象征繁荣兴旺的惠比寿神和大黑天神。参拜这座神社时必须背向富士山，这也是作为浅间神社较为独特的参拜方法。而选择在此处供奉两位神明，或许是为了让它们永远面朝富士山。

<繁体字>

北口本宮富士淺間神社

北口本宮富士淺間神社，位於通往富士山頂的吉田登山步道北口。數世紀以來，眾多朝聖者從江戶（現東京）來此登頂，而大多數人皆選擇此座神社為登山起點。

神社的起源可追溯至 110 年，因傳說中的王子日本武尊東征時，登上附近的山丘遙拜富士山，故於 788 年在現址建立神社。17 至 18 世紀，「富士講」信仰飛速發展普及，大批朝聖者從江戶蜂擁至此，神社的大部分建築均於當時修建。

參道（參拜道路）兩側，巨大古松參天而立，前方是掛有「三國第一山」牌匾的雄偉鳥居。此處「三國」指日本、中國和印度，因為遠古時代的日本認為世界由這三個國家組成。這座鳥居不僅是神社的入口，也是富士山的大門。神社裡還建有徐福紀念碑，傳說徐福是西元前 3 世紀由秦始皇派遣來此尋找長生不老藥的使者。

三座本殿

神社內與現在的本殿（主殿）並肩矗立的是兩座舊本殿。

最古老的本殿於 1223 年由鎌倉幕府第二代掌權者北條義時（1163-1224）建造。1561 年，大名武田信玄（1521-1573）將該本殿寄贈予神社。在豐臣秀吉用武力統一全國後不到 10 年的 1594 年，他間接資助興建了另一座更新更大的本殿。而神社最宏偉壯觀的本殿則是 1615 年由德川家康將軍（1543-1616）的家臣捐建。德川家執政的江戶時代（1603-1868），為日本帶來了長期的和平與穩定。三座本殿均被日本政府指定為重要文化財。

此座神社還有一大非比尋常之處，在神社建築後方，供奉著日本象徵繁榮興旺的惠比壽神和大黑天神。參拜時必須背向富士山，這也是這座神社較為獨特的參拜方法。之所以選擇在此處供奉兩位神明，或許是為了讓它們永遠面朝富士山。

<日本語仮訳>

北口本宮富士浅間神社

北口本宮富士浅間神社は、富士山の山頂につながる吉田登山道の北口にある本宮です。この神社は、何世紀にもわたり江戸（現在の東京）からの巡礼者の大半が登山を開始した地点です。

この神社の起源は、伝説の王子、日本武尊が東征の際に近隣の丘に登り富士山に敬意を表した110年にさかのぼり、788年に現在の地に建立されました。17～18世紀には、富士講信仰が爆発的に普及し、江戸からこの神社を目指す新たな巡礼者の波が押し寄せるようになりました。この神社の建築物の大半はこの時代にさかのぼるものです。

巨大な松の古木が立ち並ぶ参道の向こうには、「三国第一山」と書かれた額を掲げる堂々たる鳥居があります。この「三国」とは、日本、中国とインドのことで、古代の日本が信じていた世界はこの3つの国のみから成るものでした。この鳥居は、神社への入り口であるだけでなく、富士山への入り口でもあります。そして、境内には紀元前3世紀に不死薬を求めて来麓したと伝えられる始皇帝の使者である徐福の碑が建てられています。

3棟の本殿

現在の本殿に並んで、境内にはかつての本殿2棟が建っています。最古のものは、1223年に鎌倉幕府の第2代執権、北条義時(1163-1224)によって建てられました。1561年には、この本殿は大名、武田信玄(1521-1573)から神社に寄贈されました。それより新しく広い本殿が、豊臣秀吉が武力によって全国を統一してから10年も経たないうちに秀吉の間接的な資金援助を受けて1594年に建立されました。最も大きく広い本殿は、その御代が江戸時代(1603-1868)の平和と安定をもたらした、将軍徳川家康(1543-1616)の家臣が1615年に寄進したものです。これらはいずれも国指定重要文化財です。

この神社のもうひとつの珍しい特徴は、建物の裏の奥まったところに日本の繁栄の神、恵比寿と大黒天を祀っていることです。この祠で祈るためには、参拝者は背中を富士山に向ける必要があります。これは浅間神社としては珍しい参拝方法です。この場所は、2柱の神様が永遠に富士山に相對するよう選ばれたのかもしれませんが。

<简体字>

富士山“开山”仪式

每年 7 月，为了迎接富士山登山季，人们要举办名为“开山”或“开山祭”的仪式。其目的在于庆祝数九寒冬的结束，同时也为未来两个月攀登富士山的两万多名登山者祈祷平安。

北口本宫富士浅间神社：吉田登山道开道仪式

通往富士山顶的吉田登山道，在其起点处有一道门，北口本宫富士浅间神社别具一格的“开道”仪式就在此举行。6 月 30 日夜晚，神官（祭司）率领众人，穿过垂挂在拜殿前的白茅草环，由参拜者扮演的神力超群的“手力男命”，用大木槌将绑在登山道大门两端的绳子砸断，神主（主祭）穿过大门，其他祭司和“富士讲”朝圣者紧随其后，新一季的富士山开山仪式籍此完成。次日早晨在本殿前还会举行一次典礼。

小御岳神社：天狗下山

小御岳神社的祭神仪式虽与北口本宫富士浅间神社的极为相似，但这里负责开山的不是神明，而是两只住在山上、身长翅膀且法力高强的天狗。自古以来，天狗就是小御岳神社的家眷。它们用巨斧将绑在鸟居之间的绳子砍断，以此宣告富士山正式开山。

<繁体字>

富士山「開山」儀式

每年 7 月，為了迎接富士山登山季，人們要舉辦名為「開山」或「開山祭」的儀式。其目的在於慶祝寒冬的結束，同時也為未來兩個月攀登富士山的兩萬多名登山者祈禱平安。

北口本宮富士淺間神社：吉田登山步道開道儀式

通往富士山頂的吉田登山步道，在其起點處有一道門，北口本宮富士淺間神社別具一格的「開道」儀式就在此舉行。6 月 30 日夜晚，神官（祭司）率領眾人，穿越垂掛在拜殿前的白茅草環，由參拜者扮演的神力超群的「手力男命」，用大木槌將綁在登山道大門兩端的繩子砸斷，神主（主祭）穿過大門，其他祭司和「富士講」朝聖者緊隨其後，新一季的富士山開山儀式自此完成。次日早晨在本殿前還會舉行一次典禮。

小御嶽神社：天狗下山

小御嶽神社的祭神儀式雖與北口本宮富士淺間神社的極為相似，但這裏負責開山的不是神明，而是兩隻住在山上、身長翅膀且法力高強的天狗。自古以來，天狗就是小御嶽神社的家眷。它們用巨斧將綁在鳥居之間的繩子砍斷，以此宣告富士山正式開山。

<日本語仮訳>

富士山の「山開き」

7月に始まる富士山の登山シーズンは、双方とも「山開き」を意味する、お山開き、または開山祭として知られる儀式で始まります。両儀式は凍てつく危険な冬の終わりを祝い、その後2カ月にわたり富士登山する20,000人以上の登山者の安全を祈願するものです。

北口本宮富士浅間神社：吉田登山道のお道開き

北口本宮富士浅間神社での式典は、頂上へ通じる吉田登山道の始点となっている門で開催されます。特別な「お道開き」神事は6月30日の夜に開催されます。神官が率いる一行が、拝殿の前に吊るされているチガヤ製の特別な茅の輪をくぐると、怪力で知られる神、手力男命の扮装を身に着けた参拝者が重い木槌で登山道の門の端から端まで張られた儀式用の縄を叩き切ります。神主がその門を通り、それに他の神官や富士講巡礼者が続き、新しいシーズンの山開きが執り行われたことが宣言されます。翌朝にはさらに本殿前でも式典が行われます。

小御岳神社：山から下りてきた天狗

小御岳神社の神事は北口本宮富士浅間神社での式典と似ていますが、ここでは神ではなく、山に住み強力な霊力を持つと言われる翼を持つ生き物である天狗2匹が行います。天狗は小御岳神社の昔からの眷属であり、天狗が鳥居の間に張られた縄を巨大な斧で切ることで富士山の山開きをします。

<簡体字>

吉田火祭

吉田火祭是指，每年 8 月 26 日和 27 日，由北口本宫富士浅间神社和诹访神社共同举办的秋季祭祀活动。这一远近闻名的“封山”仪式，宣告每年登山季结束。

第一天（8 月 26 日），人们将大约 80 支 3 米高的巨型火把立于富士吉田市内各处。当夜幕降临时，人们奏起神圣的神乐，点燃火把，整个街道即化为火的海洋。

富士山御影

火祭期间，人们会举抬两座神輿（供有神牌位的轿子）在市内巡游。其中一座名叫“御影”，上面安置了用鲜艳的红漆涂装的木制富士山模型，重达 1 吨。巡游途中停下休息时，会将神轿向地面撞击三次。附近的几家神社，也都有各自极富特色的富士山造型神輿。这一传统的起源已无从稽考，但在御影的内侧刻有“造于 1704 年”的字样。

芒草祭

芒草祭是指，神輿在御旅所（节庆期间安放神輿之处）停留一晚后，8 月 27 日下午还驾神社时举行的祭祀活动。参拜者们手持缠着白纸带的芒草玉串（献神用的芒草树枝），紧随回銮神社的神輿后方，在神社内的“高天原”（众神居住之地）周围绕行数周。

<繁体字>

吉田火祭

吉田火祭是指由北口本宮富士淺間神社和諏訪神社共同舉辦的秋季祭祀活動，時間是每年的 8 月 26 日和 27 日。這項廣為人知的「封山」儀式意味著登山季已正式結束。

活動首日（8 月 26 日），當地居民會將大約 80 支、高達 3 公尺的巨型火把立於富士吉田市內各處。當夜幕降臨時，當地居民會演奏神聖的傳統樂曲並點燃火把，大街小巷瞬間化為火海。

富士山御影

火祭期間，當地居民會抬兩座神輿（神轎）在市內巡遊。其中一座叫「御影」，轎上是塗了鮮紅油漆的木製富士山模型，重達 1 公噸。巡遊途中停下休息時，會將神輿向地面撞擊三次。當地有好幾家神社也都有以富士山為造型所打造出極具特色的神輿。這項傳統的起源已無從稽考，但在御影的內側刻有「造於 1704 年」的字樣。

芒草祭

芒草祭是指神輿在御旅所（節慶期間安放神轎之處）停留一晚後，8 月 27 日下午返回神社時舉行的祭祀活動。參拜者手持纏著白紙帶的芒草玉串（供神用的芒草樹枝），緊跟在回神社的神輿後方，在神社內的「高天原」（眾神居住之地）周圍繞行數周。

<日本語仮訳>

吉田の火祭り

吉田の火祭りは、北口本宮富士浅間神社と諏訪神社が 8 月 26 日と 27 日に共同で開催する秋祭りです。登山シーズンの終わりを告げる「お山じまい」の祭りとして知られています。

1 日目には、長さが 3m にもおよぶ松明が約 80 本、富士吉田市内の町中に立てられます。夜の帳が下りると、神聖な神楽の演奏が始まり、松明が点火され、一面が火の海になります。

富士山の御影

火祭りの間、2 基の神輿が町中を巡行します。そのうち 1 基は、つややかな赤い漆で仕上げた重さ 1 トンの木製の富士山型です。「御影」として知られるこの神輿は、途中の休みで止まったときに地面に 3 回打ち付けられます。この地域のその他のいくつかの神社にも特徴的な富士山型の神輿があります。この伝統の起源ははっきりしていませんが、御影の内側には 1704 年の作と記されています。

すすき祭り

すすき祭りは、神輿が一夜を過ごした御旅所から神社に戻る 8 月 27 日の午後に開催されます。白い紙帯で清められたすすきの玉串を持った参詣者が神社へ還幸する神輿の後に続き、神社の境内にある高天原と呼ばれるエリアの周りを何度か回ります。

<简体字>

金鸟居

金鸟居离富士山火车站仅数分钟之遥，在鸟居的两根大立柱之间，能将富士山英姿一览无余。它是一座传统的神社鸟居，以此区分外面的俗世和以富士山山顶为中心的神域。从江户远道而来的“富士讲”（富士山岳信仰中最有名的组织）信徒在前往富士山顶的途中，要经过 8 座鸟居，金鸟居是第一座，因此也被称为“第一鸟居”。

结界之前

金鸟居最初是 1788 年由“富士讲”信徒所建。因金鸟居采用铜片包裹木柱的结构，古时亦称为“唐铜鸟居”。唐铜是指采用中国唐朝传入日本的冶炼技术生产的金属，即青铜。久而久之，“唐铜鸟居”被误读成如今的金鸟居。最初的鸟居因两次暴风而倒塌，分别于 1831 年和 1878 年重建。1942 年，重建的鸟居因被征为战争物资而遭拆除。1957 年，新建了现在的金鸟居。据历史学家考证，新鸟居的位置比最早的鸟居向富士山靠近了 30 米左右，其大立柱采用混凝土结构，外面包裹铜片。

鸟居前方的道路两侧散布着几十家“宿坊”（专为神社斋主作祈祷的“御师”的住所），这些宿坊过去主要由“富士讲”信仰的导师“御师”负责经营。“富士讲”的各分会都与各自的御师住宅有着紧密的关系。登顶富士山的前夜，朝圣者会在御师住宅留宿一晚。至今，仍有五间御师宿坊可提供住宿。

<繁体字>

金鳥居

金鳥居離富士山火車站僅數分鐘的距離，站在鳥居前即可將富士山的美景盡收眼底。它是一座傳統的神社鳥居，以此區分外面的俗世和以富士山山頂為中心的神聖領域。從江戶遠道而來的「富士講」（富士山嶽信仰中最有名的組織）信徒在前往富士山頂的途中，要經過 8 座鳥居，金鳥居是第一座，因此也被稱為「第一鳥居」。

結界之前

金鳥居最初是 1788 年由「富士講」信徒所建。因金鳥居採用銅片包裹木柱的結構，古時亦稱為「唐銅鳥居」。唐銅是指採用中國唐朝傳入日本的冶煉技術所生產的金屬，即青銅。久而久之，「唐銅鳥居」被誤讀成如今的金鳥居。最初建造的鳥居曾遭遇兩次暴風而倒塌，分別於 1831 年和 1878 年重建。1942 年，重建後的鳥居因被征為戰爭物資遭拆除，而目前所看到的金鳥居是於 1957 年再度重建。據歷史學家考證，新鳥居的位置比最早的鳥居向富士山靠近了 30 公尺左右，其大立柱採用混凝土結構，外面包裹銅片。

鳥居前方的道路兩側散佈著幾十家「宿坊」（專為神社齋主作祈禱的「御師」的住所），這些宿坊過去主要由「富士講」信仰的導師「御師」負責營運。「富士講」的各分會與各自的御師住宅都有著緊密的關係，而攀登富士山的前一晚，朝聖者可以選擇在御師住宅住上一晚。至今，仍有五間御師宿坊提供住宿。

<日本語仮訳>

金鳥居

富士山をその柱の間に見ることができる金鳥居は、富士山駅からわずか数分の場所に位置しています。これは、外の俗界と富士山山頂を中心とする霊界から切り離す境界を示す伝統的な神社の鳥居です。また、この鳥居は、江戸から来た富士講信者が富士山の山頂に行くまでに通った8基の鳥居の中の1基目だったため、「一の鳥居」としても知られていました。

境界の先

金鳥居は元々1788年に富士講信者によって建てられました。木製の柱が銅板で包まれていたこの金鳥居は、古くは「唐銅鳥居」と呼ばれていました。唐銅とは、唐（中国）から製法が伝わった金属ということで青銅のことを表しています。後に「唐銅鳥居」が訛って金鳥居になったとされています。最初に建てられた鳥居は2回暴風で倒れ、1831年と1878年に再建されました。再建された鳥居は、戦争のための材料として徴用される1942年まで立っていました。現在の金鳥居は1957年に完成したものです。現在のものは、歴史学者が古い鳥居があった場所としている位置よりも30メートルほど富士山に近く、銅張りのコンクリート製になっています。

鳥居の先の道沿いには、「御師」と呼ばれた富士講信仰の指導者がかつて運営していた宿坊（御師住宅）が何十軒と建ち並んでいました。富士講の講はそれぞれ、富士山の山頂へと出発する前夜に巡礼者が宿泊する御師住宅とのつながりを持っていました。今でも5つの御師宿坊が来訪者を受け入れています。

<简体字>

富士御室浅间神社

富士御室浅间神社又称“本来神社（本宫）”，建于 699 年，位于吉田登山道二合目（海拔 1700 米）附近，是富士山麓一带最古老的神社。958 年，为方便本地民众参拜，在约 15 公里开外的河口湖南岸又修建了一座分神社——“乡间神社（里宫）”。

修行者一直都参拜本宫，而从 17 世纪开始，大量的“富士讲”朝圣者加入到参拜队伍。然而随着 1964 年富士斯巴鲁线的开通，人们可乘车直达五合目后，参拜者数量开始急剧减少。1973 年时，虽已极少有人到本宫参拜，但为了保护本宫免遭损坏以及预防火灾，人们将本宫迁至里宫附近。如今，只有日渐衰败的拜殿仍旧留存在富士山麓。

精致建筑

富士御室浅间神社与当地的大名有着密不可分的关系。16 世纪，附近的甲斐国（今山梨县）的国主武田信玄（1521-1573）曾到此参拜。现存里宫的主殿是江户时代（1603-1868）初期（1612 年）德川家的家臣捐建，采用唐破风（日本传统弓形建筑装饰）和桧皮葺（用扁柏树皮铺的屋顶，多用于宫殿、神社等高级建筑），呈典型的安土桃山时代（1568-1600）神社建筑风格。

这座神社的朝向独特而罕见，朝拜时参拜者背向富士山顶。据考，这是由于被视为神祇的富士山每日下山后会镇坐于神社内。

鸟居旁的神像比其它神社的小很多。据传，这些神像因与鹤岛祭祀的辩才天女调情而受到惩罚，被富士山缩小了。

流镝马：骑射

每年 4 月 29 日，富士御室浅间神社会举办骑射比武活动——“流镝马”。这一传统赛事，可追溯至镰仓幕府第一代将军源赖朝（1147-1199）当政时期，他鼓励麾下的武士将其作为一种娱乐。以前浅间神社的骑射比赛是在山中的“马场”举行，现在的举办地已换成神社旁边的公园。

<繁体字>

富士御室淺間神社

位於吉田登山道二合目（海拔 1700 公尺）附近的富士御室淺間神社又稱「本來神社（本宮）」，是富士山麓一帶最古老的神社，建於 699 年。為方便本地民眾參拜，958 年在約 15 公里外的河口湖南岸又修建了一座分社——「鄉間神社（裡宮）」。

信眾以往都是參拜本宮，而從 17 世紀開始，大量的「富士講」朝聖者陸續加入到參拜隊伍。然而，隨著 1964 年富士斯巴魯線的開通，遊客可搭車直達五合目，其後參拜者數量便大幅減少。1973 年時，雖已極少有人到本宮參拜，但為了保護本宮免遭損壞和預防火災，當地居民將本宮遷至裡宮附近。如今，只有日漸衰敗的拜殿仍留存在富士山麓。

精緻建築

富士御室淺間神社與當地的大名（日本封建時代對一個較大地域領主的稱呼）有著密不可分的關係。16 世紀，附近的甲斐國（今山梨縣）的地主-武田信玄（1521-1573）曾到此參拜。現存裡宮的主殿是江戶時代（1603-1868）初期（1612 年）德川家的家臣捐建，採用唐破風（日本傳統弓形建築裝飾）和檜皮葺（用扁柏樹皮鋪的屋頂，多用於宮殿、神社等高級建築），神社外觀完全呈現安土桃山時代（1568-1600）的風格。

這座神社所面向的方位相當罕見，設計成參拜者在朝拜時是背向富士山頂。據考，這是由於被視為神祇的富士山每日下山後會端坐於神社內。

鳥居旁的神像比其它神社的小許多。據傳，這些神像因與鵜島祭祀的辯才女神調情而受到懲罰，被富士山縮小了。

流鏑馬：騎射

每年 4 月 29 日，富士御室淺間神社會舉辦騎射比武活動——「流鏑馬」。這一傳統賽事，可追溯至鎌倉幕府第一代源賴朝將軍（1147-1199）當政時期，他鼓勵麾下的武士將其作為一種娛樂。以前淺間神社的騎射比賽是在山中的「馬場」舉行，現在的舉辦地則是神社旁邊的公園。

<日本語仮訳>

富士御室浅間神社

富士大室浅間神社は、富士山の裾野にある神社の中で最古の神社です。699年に吉田登山道の2合目（標高1700メートル）付近に建立されました。958年には、地元の参拝者が参拝しやすいよう、15kmほど離れた河口湖の南岸に別宮が建設されました。これらふたつの社は、それぞれ「本来の神社（本宮）」と「里の神社（里宮）」として知られるようになりました。

修行者は引き続き本宮を参拝していましたが、17世紀からは富士講巡礼者の波がこれに加わるようになりました。しかしながら、1964年に富士スバルラインが開通し五合目まで直接行けるようになると、参拝者数は大幅に減少しました。ほとんど参拝されることのなくなった本宮を損壊や火事から守るため、本宮は1973年に里宮の近くに移設されました。崩壊しつつある拝殿だけは今も富士山の麓に残っています。

見事な建造物

この神社は、この地の大名と密接な繋がりがあります。16世紀には、近隣の甲斐の国の当主だった武田信玄（1521-1573）が参拝していました。今なお現存する里宮の本殿は、江戸時代（1603-1868）が始まった直後の1612年に徳川家の家臣が寄進したもので、唐破風と桧皮の屋根板という安土桃山時代（1568-1600）の神社建築様式を特徴としています。

浅間神社にしては珍しく、参拝者は富士山の山頂を背にして参拝するような向きに建てられています。これは、富士山が毎日神社まで下山し、神社の中に鎮座すると考えられていたからです。

鳥居の側にある像は、他の神社に見られるものよりずっと小さいものです。伝説によると、これらの像は、うの島に祀られている弁財天と睦み合ったため、その罰として富士山が小さくしてしまったということです。

流鏝馬：騎射

4月29日には、この神社は流鏝馬として知られる馬上から矢を射るイベントを開催します。今日の流鏝馬の伝統は、配下の侍たちの娯楽に流鏝馬を奨励した、初代鎌倉幕府将軍の源頼朝（1147-1199）の時代にさかのぼります。この神社の流鏝馬奉納は、以前は山の中の馬場と呼ばれていた場所で行われていましたが、現在は神社そばの公園で行われています。

<简体字>

御师住宅（旧外川家住宅）

18 世纪和 19 世纪是“富士讲”信仰的鼎盛期，每年夏天有数以千计的朝圣者参加登顶富士山的仪式（登拜）。绝大多数“富士讲”分会每年都会派一支小分队参加登拜仪式。首先，他们要抵达“御师”经营的宿坊（专为神社斋主作祈祷的“御师”的住所）后留宿一晚。宿坊专为“富士讲”信徒而设，御师不仅给与朝圣者信仰指导，还提供登山必需的物资和装备。

鼎盛期，富士吉田一带的御师住宅曾一度多达 86 家，现在仅有几家还能住宿。外川家将世代经营传承至今的御师住宅改建为一座博物馆，不再提供住宿，而是致力于向人们详尽展示过去“富士讲”朝圣者参加登拜时如何做登山准备。

袈裟和登山准备

御师住宅沿街道两侧并排而立，每一家都门面窄小，且纵深狭长，这样可以在街道两边开设尽可能多的御师住宅。每家御师住宅的前院，都有石碑和为了袈裟（洁净身体去除邪祟）而引入的富士山泉的水渠。御师住宅有多扇大门，最宽阔的大门供达官贵人、对“富士讲”信仰有重大贡献的客人以及御师专用。

不同的住宅，其内部布局差异很大。比如，外川御师住宅就分为两大区域，一个是带厨房和用餐区的主屋，另一个是后来在场地后方扩建的里屋。每天有 20 至 30 人住宿，需要很多餐具、寝具及其它日用品，“富士讲”以其独特的传统方式满足这些需求。“富士讲”的分会会向特定的御师住宅捐赠必需品，而且为了表示虔诚，每个分会都会努力捐赠以求超过其它分会。此外，由于登拜都会提前规划，因而御师住宅的员工会将住宅中的各种餐具和用具依次轮换使用，以便每个分会的人都可以使用该分会捐赠的餐具用餐。为了长期保持这种关系，淡季时，御师会去江户等地，到“富士讲”信徒的家中拜访。

在外川御师住宅中，里屋是最神圣的地方。在一间名叫“御神前之间”的房间，御师会向朝圣者们讲解信仰和登拜时的应做事项。御师代替朝圣者向富士山祈祷，在此期间，被叫作“先达”的朝圣者代表会率领其他朝圣者一起诵读体现“富士讲”教义的经文。现在，旧外川家住宅还通过播放这些仪式的录音，再现旧时代特有的神秘氛围。

朝圣者住在里屋，可尽情享受艰辛登拜之旅开始前的最后一个舒适之夜。在夏天的登拜旺季，由于住宿的客人很多，有些人只能睡在走廊上，因而也算不上真正的“舒适”，

只是相比登拜而言，“还算舒适”而已。

承载着历史的文物

外川家御师住宅的主屋建于 1768 年，已被日本政府指定为重要文化财，而里屋是大约于 100 年后的 1860 年左右扩建。关于这家住宅，除了进行必要的维护和修复以外，基本上保留了招待朝圣者时期的原貌。这里收藏了包括食行身禄（1671-1733）的雕像等众多珍贵文物（食行身禄通过传播其教义使“富士讲”信仰在一般民众中得到广泛传播而备受崇拜），还展示了朝圣者登拜时所穿的白色“行衣”。“富士讲”认为，富士山是现世彼岸的灵界，同样的“行衣”也用于包裹尸骨。信徒为了纪念登拜，在通往山顶沿途的神社或参拜点，都会请人为自己的行衣盖上御朱印（日本的神社和寺庙授予参拜者的一种参拜证明）。

御师住宅（小佐野家住宅）

如想进一步了解御师住宅，推荐前去参观过去由小佐野家经营的御师住宅（在富士山博物馆内，依原样复原）。对比小佐野家住宅与旧外川家住宅，能够清楚了解到，在“富士讲”信仰的宏伟架构中，不同的御师门派是如何维系并发扬自家独特的传统。

<繁体字>

御師住宅（舊外川家住宅）

18、19 世紀是「富士講」信仰最為興盛的時期，每年夏天有數以千計的朝聖者為參加儀式（登拜）而攀登富士山頂。絕大多數的「富士講」分會每年都會派一支小分隊參加登拜儀式。首先，他們會先在由「御師」運營的宿坊（專為神社齋主作祈禱的「御師」的住所）留宿一晚。宿坊專為「富士講」信徒而設，御師不僅教導朝聖者參拜的禮儀，還提供登山必需的物資和裝備。

全盛時期，富士吉田一帶的御師住宅曾一度多達 86 家，現在僅有幾家還有提供住宿。外川家將代代經營傳承至今的御師住宅改建為博物館，不再提供住宿，而是致力於向「富士講」的朝聖者詳盡地展示過去在參加登拜時如何做足登山準備。

祓禊和登山準備

御師住宅沿街道兩側比鄰而立，每戶的門面都相當窄小，且縱深狹長，如此一來就可以在街道兩旁建造更多的住宅。每家御師住宅的前院都有石碑和為了祓禊（（C×´T一`），潔淨身體以除不祥的一種祭祀）而引入富士山泉的水渠。御師住宅有多扇大門，最寬闊的大門是專為社經地位崇高、對「富士講」信仰有重大貢獻的來賓以及御師專用。

不同的住宅，其內部設計差異甚大。比如，外川御師住宅就分為兩大區域，一個是設有廚房以及用餐區的主屋，另一個是後來在場地後方擴建的裡屋。「富士講」的分會為了表示虔誠，會向特定的御師住宅捐贈必需品，而且每個分會為超過其他分會都會努力捐贈。由於每天都有 20 至 30 人住宿，因此需要很多餐具、寢具及其他日常用品，這項「富士講」自古以來的傳統剛好滿足這些需求。此外，由於登拜都會提前規劃，因而御師住宅的員工會輪換使用住宅中的各項餐具和用品，以便每個分會的人都可以使用該分會捐贈的餐具。為了長期保持這種關係，淡季時，御師會前往江戶等地，到「富士講」信徒的家中拜訪。

在外川御師住宅中，裡屋是最神聖的地方。在一間名叫「御神前之間」的房間，御師會教導朝聖者們參拜禮儀和登拜時的注意事項。御師代替朝聖者向富士山祈禱，在此期間，名叫「先達」的朝聖者代表會率領其他朝聖者一起朗誦「富士講」教義的經文。來到舊外川家住宅仍可以聽到儀式過程中的錄音，營造唯有現代才能體驗到的神秘氛圍。

朝聖者會被安排住在裡屋，在迎接登拜的艱辛之旅前可盡情享受夜晚的美好。在夏天的登拜旺季，由於住宿的遊客相當多，有些人只能睡在走廊上，因而也算不上真正的「舒

適」，只是相比登拜行程而言，「還算舒適」而已。

承載著歷史的文物

外川家御師住宅的主屋建於 1768 年，已被日本政府指定為重要文化財，而裡屋是大約於 100 年後於 1860 年左右擴建。關於這家住宅，除進行必要的維護和修復以外，基本保留了招待朝聖者時期的原貌。這裡收藏了包括食行身祿（1671-1733）的雕像等眾多珍貴文物（食行身祿通過傳播其教義使「富士講」信仰在一般民眾中得到廣泛傳播而備受崇拜），還展示了朝聖者登拜時所穿的白色「行衣」。由於「富士講」認為富士山是現世彼岸的靈界，因此早期也穿上了用於包裹大體的「行衣」。信徒為了記錄登拜次數，在通往山頂沿途的神社或參拜點，會請人為自己的行衣蓋上御朱印（日本的神社和寺廟授予參拜者的一種參拜證明）。

御師住宅（小佐野家住宅）

如想進一步瞭解御師住宅，推薦前去參觀過去由小佐野家運營的御師住宅（在富士山博物館內，依原貌修復）。對比小佐野家住宅與舊外川家住宅，能夠清楚瞭解到在「富士講」信仰的宏偉架構中，不同的御師門派是如何維繫並發揚自家獨特的傳統。

<日本語仮訳>

御師住宅（旧外川家住宅）

18 世紀と 19 世紀の富士講信仰の最盛期には、毎夏何千人という巡礼者が儀式として富士山への登頂（登拝）に訪れており、富士講の講の大半が、小規模のグループを毎年送り込んでいました。その最初の立ち寄り先が、巡礼者に信仰の指導や、登山に必要な物や装備を提供していた、「御師」が運営していた富士講信者のための宿坊（御師住宅）でした。

一時は 86 軒もの御師住宅が富士吉田にありましたが、現在宿泊できるものはほんのわずかです。外川家は、宿泊を提供する代わりに、先祖が運営していた御師住宅を博物館に作り変え、かつて登拝する富士講の巡礼者がどのように旅支度をしていたのかが詳しくわかる展示を行っています。

襖と旅支度

御師住宅は、できるだけ多くの数の御師住宅が隣接できるよう、目抜き通り沿いの間口が狭く細長い敷地に建てられていました。それぞれの御師住宅の前庭には石碑と、襖に使うために富士山の水が引かれた水路がありました。また、御師住宅にはいくつかの入り口があり、最も広いものは、位の高い役人、信仰に関する偉大な業績のある来客や、御師専用となっていました。

入り口の奥は、宿によってそのレイアウトが異なっていました。たとえば外川御師住宅は、台所や食堂があった主屋と、後に敷地の裏に増築された裏座敷の 2 つのセクションに分かれていました。毎日 20～30 人を泊めるには非常に多くの食器、寝具やその他の品々を要しましたが、講は、所定の御師住宅に必要な物品を寄付しており、それぞれが他の講よりもっと多くの寄付を行って信心深さを示そうとするという、富士講独自の伝統によりこの需要を満たしていました。登拝は予め計画されていたため、必ず各グループにはそのグループが提供した食器類で食事を提供できるようにスタッフは家中の様々な食器や様々な用具をローテーションして使っていました。こうした長期的な関係を保つために、御師はオフシーズンになると江戸などに出向き、富士講信者の家を訪問していました。

裏座敷は外川御師住宅の信仰の中心となっており、「御神前の間」という部屋では、御師が巡礼者に信仰と登拝する際に行うべき事について説きました。また御師は、巡礼者に代わって富士山に対して祈りを捧げ、またその間「先達」と呼ばれていた巡礼者の代表は率先してその他の巡礼者と一緒に富士講の教義を表現した念仏を唱えました。これらの儀式の録音が旧外川家住宅で流されており、この時代ならではの神秘的な雰囲気再現しています。

巡礼者は裏座敷に宿泊し、厳しい登拝に出発する前の最後の快適な夜を楽しみました。ただ、快適と言っても、夏の登拝の最盛期には、非常に多くの宿泊客が滞在したため、その一部には廊下で寝なければならない者もあり、実際には「少なくとも比較的快適だった」というべきでしょう。

過去を伝える遺物

国の重要文化財に指定されている外川家の御師住宅の主屋は 1768 年に建築され、裏座敷は、その約 1 世紀後の 1860 年ごろに増築されました。この住宅は、必要な保守や修復以外には、巡礼者をもてなしていた時代そのまま維持されており、ここには、その教えが富士講信仰を一般に広めたことにより崇拝されている食行身禄 (1671-1733) の像をはじめとする多くの貴重な遺物が収蔵されています。また、巡礼者が登拝時にまとっていた白い「行衣」も展示されています。富士山を現世の先にある霊的な領域だと考えていた富士講では、同じ行衣を亡骸を包むのにも使っていました。信者は自分の登拝を記録できるよう山頂への道すがらの神社や参拝ポイントで各自の行衣に御朱印を押してもらっていました。

御師住宅（小佐野家住宅）

御師住宅についてもっと知りたい方には、ふじさんミュージアムの敷地内にそのまま復元されている、小佐野家がかつて運営していた御師住宅にも行ってみることをお勧めします。この住宅と旧外川家住宅を比較すると、富士講信仰という広い枠組みの中、それぞれの御師一族がいかにして独自の伝統を維持してきたのかがわかります。

<简体字>

船津胎内树型

所谓“熔岩树型”是指，火山喷发流出的熔岩流过森林时，部分树木在熔岩冷却后形成的岩石中留下树形的空洞。船津胎内树型保留了多棵树木同时倒下的形态，进而形成了一条圆形的长通道。行走在这条通道中，能看到熔岩冷却后形成的波浪状洞壁，还会有“牛奶”般的水滴从头顶上方的钟乳石滴落下来。于是，“富士讲”的朝圣者认为这条通道穿行在富士山的胎内（体内），穿越通道就犹如重生，遂将其命名为“胎内”通道。

过去曾有这样一种传统，参拜者穿上及膝的特制草鞋，穿过通道，籍此净化身心。通道里尊奉着自古以来与山有密切关系的大日如来、慈悲为怀的观音菩萨等供人参拜的小佛像。从通道出来后，朝圣者会饮用一种古时婴儿食用的海藻汤。产自这条通道的土特产在江户（现东京）及关东地区谓为珍贵。以前，孕妇会将束和服长袖的带子放在胎内“牛奶”中浸泡后系在身上，并点燃在通道里尚未燃尽的蜡烛，以祈求生产顺利。

时至今日，游客仍可像过去的朝圣者一样在船津胎内穿行，不同的是，通道内已改用电灯照明，并提供头盔以确保安全。无户室浅间神社位于熔岩树型上方，这里有许多“富士讲”朝圣者修建的石碑，目的是歌颂虔诚的信仰或纪念成功登顶。

吉田胎内树型

在距离船津胎内树型东南面不到 1 公里的地方，有一处名叫“吉田胎内”的胎内树型群。该树型在 1892 年一经发现后，遂被当时的“富士讲”信徒奉为圣地。如今，其入口尚可见，但只有每年 4 月 29 日吉田胎内祭举办期间才可穿行，其他时间均不对外开放。

<繁体字>

船津胎内樹型

所謂「熔岩樹型」是指火山噴發出的岩漿經過森林時，部分樹木在岩漿冷卻後形成的岩石中留下的樹形空洞。船津胎内樹型保留了多棵樹木同時倒下的形態，進而形成了一條圓形的長通道。行走在這條通道中，能看到岩漿冷卻後形成的波浪狀洞壁，還會有「牛奶」般的水滴從頭頂上方的鐘乳石滴落下來。「富士講」的朝聖者認為這條通道穿行在富士山的胎内（體内），穿越通道就猶如重生，遂將其命名為「胎内」通道。

過去曾有這樣一項傳統，參拜者穿上及膝的特製草鞋，穿過通道，藉此淨化身心。通道裡供奉著自古以來與山有密切關係的大日如來、慈悲為懷的觀世音菩薩等小佛像。從通道出來後，朝聖者會飲用一種古時嬰兒食用的海藻湯，是產自於這條通道的當地特產，在江戶（現東京）及關東地區謂為珍貴。以前，孕婦會把固定和服的帶子放在胎内「牛奶」中浸泡後繫在身上，並點燃在通道内尚未燃盡的蠟燭，以祈求生產順利。

時至今日，遊客仍可像過去的朝聖者一樣在船津胎内穿行，不同的是，通道内已改用電燈照明，並提供頭盔以確保安全。無戶室淺間神社位於熔岩樹型上方，這裡有許多「富士講」朝聖者修建的石碑，目的是歌頌虔誠的信仰或紀念成功登頂的事蹟。

吉田胎内樹型

在距離船津胎内樹型東南面不到 1 公里的地方，有一處名叫「吉田胎内」的胎内樹型群。該樹型在 1892 年經發現後，遂被當時的「富士講」信徒奉為聖地。如今，其入口尚可見，但只有每年 4 月 29 日吉田胎内祭舉辦期間才可通行，其他時間均不對外開放。

<日本語仮訳>

船津胎内樹型

火山噴火により溶岩が森の中を通り抜けたとき、一部の樹木は溶岩が冷えた後で石の中に空洞としてその形を残しました。これらは「溶岩樹型」として知られています。船津胎内樹型は、一緒に倒れた複数の樹木の形がそのまま維持され、円形の長いトンネルを作り出したものです。溶岩の冷却時に付いた波状の壁と、頭上の鍾乳石から垂れ落ちる「ミルク」のような雫から、富士講巡礼者はこのトンネルを富士山の胎内を通過することだと考えていました。その中を這いぐることで、生まれ変われると考えられており、そのトンネルに文字通り「胎内」という名前をつけたのでした。

参拝者は膝までの長さの特別なわらじを履き、トンネルを巡って身を清めるのが伝統でした。トンネルの中には参拝用に昔から山と関わりのある大日如来や、慈悲の菩薩である観音などの小さな仏像が内部に設えられていました。このトンネルから出た後、巡礼者は、昔から乳児に飲ませていた海藻のスープを飲んでいました。このトンネルからの土産物は江戸（現在の東京）やその周辺の関東地方では珍重されました。妊婦は胎内の「ミルク」に浸したたすきを身に着け、トンネルの中で使ったろうそくの未使用部分を安産のおまじないとして燃やしていました。

今日でも来訪者は船津胎内をかつての巡礼者と同様に這いぐることができますが、照明が電気になり、安全対策としてヘルメットが手渡されます。溶岩樹型の上に建立された無戸室浅間神社には、信仰心と登頂の成功を讃えた、富士講巡礼者が建てた石碑がいくつもあります。

吉田胎内樹型

南東に 1km 弱のところには吉田胎内と呼ばれるもうひとつの胎内樹型群があります。1892 年に発見された吉田胎内樹型は、当時なお存続していた富士講信者によってすぐに霊地とみなされました。その入口は見えていますが、中を這いぐることができるのは吉田胎内祭が行われる毎年 4 月 29 日のみで、その日以外は非公開です。

<简体字>

五合目与富士斯巴鲁线周边漫步

御中道是一条为修行者设计的特殊登山道，环绕富士山五合目一周。御中道下方是森林，上方则是火山岩山体，宛如另一个世界。“富士讲”信仰认为，上方是与现世相对的极乐净土。

令人遗憾的是，由于富士山西侧的“大泽塌方”仍在持续，御中道不再能完整走完一圈。塌方区域从山顶开始，长度超过 2 公里，宽度也在过去数百年间扩大至约 500 米，形成了一条无法通过的峡谷。不过，现在仍有部分御中道对徒步者开放。

两庭：御庭和奥庭

御庭巴士站是富士斯巴鲁线终点五合目站的前一站。从御庭站去御中道比较方便，御庭登山道和奥庭登山道都在其徒步范围内。

奥庭徒步路线以御庭巴士站为起点，背朝富士山向西北延伸。起初是一段下坡路，两边长满落叶松、杜鹃花和越橘，坡底则是一家土特产店，营业时间因季节而异。经过小店后，登山道穿过奥庭的低洼地，通向对面的瞭望台。在台上回望，洼地对面正是多姿多彩的富士山。

奥庭风大，有些落叶松几乎横向成长，该区域也因此诡异现象而被称为“天狗”的庭院。在日本神话中，天狗是一种躲在高山里的凶猛生物，半鸟半兽，法力高强。因此，这里不仅有用于祭祀天狗的红色鸟居，登山路旁还有天狗纪念碑。

从停车场到奥庭瞭望台，徒步往返约需 45 分钟。

御庭登山道的起点位于御庭巴士站南侧，需要穿过马路，入口处立有路标。从这里首先必须攀爬一段位处山腹地带的台阶，大约半小时后即可到达御中道登山路线（海拔 2,400 米）入口。向西则可到大泽塌方，但该路线耗时数小时，若装备不全请不要尝试。沿着御中道向东的线路则较为轻松，步行约一个小时便可到达富士斯巴鲁线的五合目终点站。

与奥庭线不同，御庭线靠近富士山的森林边缘。山体多为岩浆岩和“碎石坡”，树木稀少但景色壮观，落叶松和白桦稀稀落落，盛开的杜鹃点缀其间。因无树木阻挡视线，登山者可仰望山顶，抑或北望群山，天晴时甚至能看到远处的南阿尔卑斯山。登山道还穿过数个森林茂密的深谷。这里曾是山腹处岩浆留下的副喷火口，游客能真切感受到富士山的

雄伟和火山喷发的威力。

<繁体字>

五合目與富士斯巴魯線周邊漫步

御中道是一條專為修行者設計的登山道，剛好可以環繞富士山五合目一圈。御中道下方是森林，上方則是火山岩山體，宛如另一個世界。「富士講」信仰認為，上方是與現世相對的極樂淨土。

令人遺憾的是，由於富士山西側的「大澤塌方」仍在持續，御中道不再是完整的一圈。塌方區域從山頂開始，長度超過 2 公里，寬度也在過去數百年間擴大至約 500 公尺，形成了一條無法跨越的峽谷。儘管如此，至今仍有部分御中道對徒步者開放。

兩庭：御庭和奧庭

御庭巴士站是富士斯巴魯線終點——五合目站的前一站。從御庭站前往御中道比較方便，御庭登山道和奧庭登山道都在其徒步範圍內。

奧庭徒步路線以御庭巴士站為起點，背朝富士山向西北延伸。起初是一段下坡路，兩邊長滿落葉松、杜鵑花和越橘，坡底則是一家當地特產店，營業時間因季節而異。經過小店後，登山道穿過奧庭的低窪地，通向對面的瞭望台。在台上遼望四周，窪地對面正是多姿多彩的富士山。

奧庭風大，落葉松幾乎長成橫線，該區域也因此詭異現象而被稱為「天狗」的庭院。在日本神話中，天狗是一種躲在高山裡的兇猛生物，半鳥半獸，法力高強。因此，這裡不僅有用於祭祀天狗的紅色鳥居，登山路旁還有紀念碑。

從停車場到奧庭瞭望台，徒步往返約需 45 分鐘。

御庭登山道的起點位於御庭巴士站南側的馬路對面，入口處立有路標。從這裡首先需要攀爬一段位處山腹地帶的台階，大約半小時後即可到達御中道登山路線（海拔 2400 公尺）的入口。向西則可到大澤塌方，但該路線需耗時數小時，若裝備不全請勿輕易嘗試。沿著御中道向東的路線則較為輕鬆，步行約一個小時便可到達富士斯巴魯線的五合目終點站。

與奧庭線不同，御庭線靠近富士山的森林邊緣。山體多為岩漿岩和「碎石坡」，在這裡可以看到稀稀落落的落葉松和白樺，還有盛開的杜鵑點綴其間。由於樹木稀少，因此可以仰望山頂，抑或北望群山，天晴時甚至能看到遠處的南阿爾卑斯山。登山道還穿過數個森林茂密的深谷。這裡曾是火山岩漿流出山腹時留下的副噴火口，人們能深刻感受到富士山

的雄偉和火山噴發的威力。

<日本語仮訳>

五合目と富士スバルライン周辺のハイキング

御中道は、富士山五合目を一周する修行者のための特別な登山道でした。ここから上は、森林に覆われた斜面から別世界のような火山岩のある風景へと変わり、富士講信仰では現世の向こうに待っている極楽浄土が現れたものだと考えられていました。

残念なことに、御中道は現在も富士山西側で進行中の山崩れ、「大沢崩れ」のために完全に一周することができなくなりました。この浸食谷は、山頂から 2km 以上にわたって延び、またその幅は過去数百年で 500m ほどに広がり、通り抜けることのできない谷になっています。しかし御中道の一部は今でもハイカーに解放されています。

二つの庭：御庭と奥庭

御庭バス停は、富士スバルライン五合目ターミナルのひとつ手前にあり、御中道へのアクセスに便利です。このバス停は、御庭登山道と奥庭登山道の双方から徒歩圏内に位置しています。

奥庭ハイキングコースは、御庭バス停を起点として富士山から離れる北西方向に進みます。最初の部分は、カラマツ、シャクナゲやコケモモが生え並ぶ日陰になった下り坂です。斜面の麓には、土産物店が 1 軒あり、その営業時間は季節によって異なります。店を通り過ぎると、奥庭の窪地を通り抜け、反対側の展望台へと繋がっている登山道が開けます。振り返ると窪地の向こうに非常に表情豊かな富士山の姿を見ることができます。

奥庭のこのエリアでは風が強く、カラマツの木の中にはほぼ水平に成長したものもあります。この不気味な現象こそが、このエリアを天狗の庭と言わしめた所以なのかもしれません。天狗は、獰猛で体の一部が鳥である強力な霊力を持った神話上の生き物で、しばしば高い山にいるものとされています。ここには赤い鳥居があり、登山道沿いには天狗を描いた記念碑もあります。

駐車場から奥庭の展望台へのハイキングの往復の所要時間は約 45 分です。

御庭登山道の起点は、道の反対側の南にあります。ここが御中道コース（標高 2,400m）へとつながる山腹に据え付けられた階段を 30 分間上るコースの始点で、わかりやすい標識があります。冒険好きのハイカーは、西へと進んで大沢崩れを見に行くこともできますが、そのコースには数時間かかるため、しっかりと装備できていない方にはお勧めしません。若干楽なほうのコースは、御中道に沿って東に向かい 1 時間ほどハイキングした先にある、富士スバルライン五合目バスターミナルへと行くコースです。

奥庭コースとは異なり、御庭コースは富士山の森林限界の近くに位置しています。火成岩と「がれ場」には、花を付けたシャクナゲが点在する間にカラマツやシラカバのみがまばらに生えています。木がほとんどないため、山頂を望む景色やそれと反対の北向きの景色の双方ともに壮観で、晴れた日には遠く南アルプスまでを見ることができます。この登山道は森林の生い茂る深い谷を数カ所通ります。ここはかつて山腹を流れ落ちた溶岩が残した側火口です。これらからは富士山の壮大さと火山の噴火の荘

厳な威力をまざまざと見せつけられます。

<简体字>

小御岳神社

小御岳神社位于富士斯巴鲁线的五合目终点站附近，藏身于餐馆和土特产店后方。它所在的小平原曾是小御岳山的山顶，14000 年前被富士山喷出的熔岩流夷平。小御岳神社供奉磐长姬，她的妹妹是富士山周边各神社供奉的木花咲耶姬。

五合目周边区域被称为“天狗的庭院”。在日本神话中，天狗是一种半鸟半兽、灵力强大的凶猛动物，时常出现在远离村庄的山里。每年夏天，两只天狗会以神社家眷的身份举行正式的开山仪式。据传，神社里面的大斧就是天狗所赠。参拜者可以尝试举起大斧，但除了偶尔到来的相扑选手，能举起者寥寥无几。

中之宫

《富士山真景之图》是 1847 年为“富士讲”朝圣者制作的附有插图的登山指南。在这本书中，小御岳神社是富士山北侧圣地中比较重要的据点。通往山顶的吉田登山道和曾经环富士山一周的御中道交汇于五合目。因此，“富士讲”朝圣者将五合目的小御岳神社称为“中之宫”。朝圣者可以通过购买雕版印刷的证书或者带编号的登山杖，以及在衣服上盖御朱印（日本的神社和寺庙授予参拜者的一种参拜证明）的方式，获得参拜的重要“证明”。

<繁体字>

小御嶽神社

小御嶽神社位於富士斯巴魯線的五合目終點站附近，藏身於餐館和當地特產店後方。其所在的小平原曾是小御嶽山的山頂，早在 1 萬 4 千年前被富士山所噴發的岩漿夷為平地。小御嶽神社供奉磐長姬，她的妹妹是富士山周邊各神社供奉的木花咲耶姬。

五合目周邊區域被稱為「天狗的庭院」。在日本神話中，天狗是一種半鳥半獸、靈力強大的兇猛動物，時常會出現在遠離村莊的山裡。每年夏天，兩隻天狗會以神社家眷的身份舉行正式的開山儀式。據傳，神社裡面的大斧就是天狗所贈。參拜者可以嘗試舉起大斧，但除了偶爾到來的相撲選手，能舉起者寥寥無幾。

中之宮

《富士山真景之圖》是 1847 年為「富士講」朝聖者製作的插圖式登山指南。在這本書中，小御嶽神社是富士山北側聖地中比較重要的據點。通往山頂的吉田登山道和曾經環繞富士山一周的御中道交匯於五合目，因此「富士講」朝聖者將五合目的小御嶽神社稱為「中之宮」。朝聖者可以透過購買雕版印刷的證書或者帶編號的登山杖，以及在衣服上蓋御朱印（日本的神社和寺廟授予參拜者的一種參拜證明）的方式，獲得參拜的重要「證明」。

<日本語仮訳>

小御嶽神社

小御嶽神社は、富士スバルラインの五合目ターミナル周辺のレストランや土産物店の後ろに隠れるように建っています。この小さな平原は、実は 14,000 年前から富士山を生み出した溶岩流にそのほとんどを飲み込まれてしまった小御岳山の山頂です。小御岳神社は、富士山周辺の様々な神社に祀られている木花咲耶姫の姉、磐長姫を祀っています。

五合目周辺のエリアは、「天狗の庭」として知られています。天狗は、獰猛で体の一部が鳥である強力な霊力を持った神話上の生き物で、しばしば人里離れた山にいるものとされています。毎夏、2 匹の天狗が神社の眷属として正式な山開きの儀式を行います。伝説によると、境内にある巨大な斧は天狗が贈ったものだと言われています。参拝者は自由に持ち上げてみることはできますが、たまに来る力士を除いて、ほとんどの人は持ち上げられません。

中の宮

富士講巡礼者向けに 1847 年に用意された挿絵付きのガイドブックである『富士山真景之図』には、富士山北壁に数ある聖地の中でも小御嶽神社が重要な拠点だったことが記されています。五合目は、頂上へとつながる吉田登山道が、かつて富士山を一周していた道である御中道と交わるため、富士講巡礼者は小御岳神社を「中の宮」と呼んでいました。この神社は、彼らの参拝の「証明」に重要な役割を果たしました。巡礼者は、木版印刷された証明書や番号入りの杖を購入したり、さらには衣服に御朱印を押してもらうこともできました。

<簡体字>

鸣泽冰穴

鸣泽冰穴是一个陡峭的垂直岩洞，通往青木原树海地下 21 米处的岩层。该洞穴在地质学上备受关注，其成因是熔岩流冷却过程中，内部的天然气气泡破裂并排出气体后留下巨大空洞。主洞还分离出很多分支竖洞，但多数还没测绘出来，其中一个名为“地狱穴”，尤其令人毛骨悚然。

冰穴大体分为两层，上下各是一个“圆环”状洞穴。如果从地面进入洞中，徒步绕两个“圆环”一周需 10 至 15 分钟。路线全长约 150 米，包括 91 级下行石阶和 101 级上行石阶，最狭窄的地方只有 91 厘米。建议在入口处借用头盔，还要注意路面结冰时会很滑。

冰穴最深处气温常年保持在零度以下。当地居民曾认为此地危险而不敢靠近，但从 20 世纪初开始，人们开始将之作为天然冰箱，在此保存冰块和种子。路线沿途随处可见闪闪发光的“冰壁”和表面冻结的钟乳石。

<繁体字>

鳴澤冰穴

鳴澤冰穴是一個陡峭的垂直岩洞，通往青木原樹海地下 21 公尺處的岩層。該洞穴在地質學上備受關注，其成因是岩漿冷卻過程中，內部的天然氣氣泡破裂並排出氣體後留下巨大空洞。主洞還分離出很多分支小豎洞，但多數還沒測繪出來，其中包括令人不禁寒毛顫慄的「地獄穴」。

冰穴大致上分為兩層，上下各是一個「圓環」狀洞穴。如果從地面進入洞中，徒步繞兩個「圓環」一周需 10 至 15 分鐘。路線全長約 150 公尺，包括 91 階的下行石階和 101 階的上行石階，最狹窄的地方只有 91 公分。建議在入口處借用頭盔，當路面結冰時得當心滑倒。

冰穴最深處的氣溫常年保持在攝氏零度以下。當地居民曾認為此地危險而不敢靠近，但自 20 世紀初起，人們開始將之作為天然冰箱，在此保存冰塊和種子。沿途隨處可見閃閃發光的「冰壁」和表面凍結的鐘乳石。

<日本語仮訳>

鳴沢氷穴

鳴沢氷穴は、青木ヶ原樹海の地下 21m の岩へと続く急峻な竪穴型の洞窟です。地質学的にも関心の高いこの洞窟は、溶岩流の中の大規模なガスの気泡が弾け、冷え固まる過程でできた壁が崩れずに残ったことで形成されました。メインの経路から分岐する小さな立杭の多くは、特に不吉な感じのする「地獄穴」と呼ばれる穴をはじめとして、未だに調査されていません。

この洞穴は二重に重なる「輪っか」で構成されています。この環状に一周するルートの地上からの長さは約 150m で、10～15 分で歩くことができます。階段の段数は、下りは 91 段、そして上りは 101 段あり、氷で通路が滑りやすくなることがあります。天井の最も低い箇所はわずか 91cm なので、入り口でヘルメットを借りることをお勧めします。

氷穴の最深部の気温は一年中氷点下に保たれています。昔から地元の住民たちは危険だとして近寄らないようにしていましたが、20 世紀初頭からは天然の冷凍庫として氷や種子の保存に使われてきました。経路に沿って、キラキラと光る「氷の壁」や表面が凍りついた鍾乳石が見られます。

<简体字>

富岳风穴

富岳风穴是一个长条形熔岩洞穴，位于青木原树海地下，东海自然步道旁。洞穴长 201 米，除了通往岩层的最初几级台阶外，其余路段均较平缓，即使小朋友也可安全行走，往返仅需 15 分钟。岩洞顶部虽整体较高，但有些地方仍需注意碰头。

洞穴中还有各种地质景观，其中包括“熔岩棚”。其成因是熔岩流还未完全凝固时，洞壁像壁纸一样卷起剥落后掉至底部。

恒温 3°C 的洞穴最深处摆放着一组已经废弃不用的储物架，当地民众直到 20 世纪中期仍在将其当做天然冰箱，在此存放种子、谷物和蚕。首都民众会在夏天来此求购冰块，用来冷敷退热。将蚕放在洞穴内保存，可一年四季产生生丝。因为只要将蚕搬出寒冷处，它们就会认为春天来了，并开始吐丝作茧。

<繁体字>

富嶽風穴

富嶽風穴是一個長條形熔岩洞穴，位於青木原樹海地下，東海自然步道旁。洞穴長 201 公尺，除了通往岩層的最初幾階臺階外，其餘路段均較平緩，即使小朋友也可安全行走，往返只需 15 分鐘。雖然岩洞頂部整體較高，但有些地方仍需留意不要撞到頭部。

洞穴中有各種地質景觀，其中包括「熔岩棚」，其成因是岩漿尚未完全凝固時，洞壁像壁紙一樣卷起剝落並掉至底部。

恆溫攝氏 3 度的洞穴內，最深處擺放著一組已經廢棄不用的儲物架，當地民眾直到 20 世紀中期仍將此地做為天然冰箱，在此存放種子、穀物和蠶。首都民眾會在夏天來此求購冰塊，用來冰敷退燒。將蠶放在洞穴內保存，可一年四季生產生絲。因為只要將蠶搬出寒冷處，它們就會認為春天來了，並開始吐絲作繭。

<日本語仮訳>

富岳風穴

富岳風穴は、青木ヶ原樹海の地下にある地下通路で、東海自然歩道のすぐ側にあります。岩へと続く最初の数歩はさておいて、傾斜は比較的ゆるやかで、子どもでもこの長さ 201m の洞窟を安全に歩き、15 分で戻ってくることができます。天井は比較的高いですが、一部、頭上に気をつけるべき箇所があります。

案内標識には、マグマがまだ固まり切っていない段階で洞穴の壁面が壁紙のように丸まりながら底部へと剥がれ落ちた「溶岩棚」などを含む、地質学的な見どころが記されています。

気温が 3℃で安定しているこの洞窟の最深部には、種や穀物、蚕用の棚が一式設えられています。これらの棚はもう使われていませんが、20 世紀半ばまでは天然の冷蔵庫としての役目を果たしていました。夏には、この洞窟の中に貯蔵された氷が首都から買いに来た人々に販売されたり、熱さましに使われたりしていました。蚕を洞窟内に保管することで、1 年中絹糸を生産することが可能になります。蚕を冷たい場所から動かすと、春が来たと思い込み、糸を吐いて繭を作り始めるからです。

<简体字>

西湖蝙蝠穴

西湖蝙蝠穴位于青木原树海地下，宛如异世空间。熔岩快速流经此处时，洞穴表层冷却凝固后，内层仍在流动，因此形成一个长 350 米的空洞。洞内有多条分岔路，非常适合探险。

与同样位于青木原地下的鸣泽冰穴和富岳风穴不同，西湖蝙蝠穴冬暖夏凉，适合冬眠，故每年冬天，会有四种蝙蝠来此冬眠。由于栖息地受到人类入侵，当地蝙蝠曾一度濒临灭绝。之后，洞穴深处被列为特别保护区，蝙蝠数量现已逐渐恢复。

西湖蝙蝠穴的探险时间一般为 20 至 30 分钟，但具体时间因人而异，主要取决于各人观赏熔岩钟乳石和绳状熔岩床等景观所花费的时间。沿路有些地方需要匍匐而行，因此建议佩戴入口处提供的头盔。白天这里很少会出现蝙蝠，因此即使不喜欢动物，也可以安心游览。

<繁体字>

西湖蝙蝠穴

西湖蝙蝠穴位於青木原樹海地下，宛如異世空間。岩漿快速流經此處時，即便洞穴表層冷卻凝固，但內層仍在流動，因此形成一個長 350 公尺且多條分岔路的空洞，非常適合探險。

與同樣位於青木原地下的鳴澤冰穴和富嶽風穴不同，西湖蝙蝠穴內冬暖夏涼，相當適合冬眠。每年冬天，都會有四種蝙蝠來此冬眠。由於棲息地受到人類入侵，當地蝙蝠曾一度瀕臨絕種。隨後，洞穴深處被列為動物保護區，蝙蝠數量現已逐漸恢復。

西湖蝙蝠穴的探險時間一般為 20 至 30 分鐘，但具體時間因人而異，主要取決於觀賞鐘乳石和繩狀熔岩床等景觀所花費的時間。沿路有些地方需要匍匐而行，因此建議佩戴入口處提供的頭盔。由於白天這裡很少會出現蝙蝠，因此即使不喜歡動物，也可以安心遊覽。

<日本語仮訳>

西湖コウモリ穴

西湖コウモリ穴は、青木ヶ原樹海の地下に広がる異世界のような雰囲気のある洞窟です。この洞窟は、内側は固まらないまま急速に流れる溶岩流の表面の層が冷える過程で、内面に穴が残ったことで形成されました。その結果、複数の分岐路のある長さ 350m の探検にふさわしい洞穴が出来上がったのです。

冬の間、ここでは 4 種類のコウモリが冬眠します。同じく青木ヶ原の地下に広がる鳴沢氷穴や富岳風穴とは異なり、西湖コウモリ穴は、夏は涼しく冬は暖かいため、冬眠に最適な場所となっています。コウモリの生息地への人間の侵入により、コウモリは一時絶滅の危機にさらされましたが、この洞窟の奥に特別保護区が作られたことで、今ではその個体数が回復しつつあります。

西湖コウモリ穴の探検の所要時間は、溶岩鍾乳石や縄状溶岩床などの観察にどれだけ時間をかけるかによって異なりますが、20～30 分です。経路によっては腹ばいになって進む必要があるため、入り口に用意されたヘルメットをお使いになることをお勧めします。幸運なのか不幸なのかはあなたが動物好きかどうかにもよりますが、日中にコウモリと出くわすことはめったにありません。

<简体字>

富士山的森林

富士山北侧是青木原树海。这片广袤的原始森林，绝大部分尚未遭砍伐，未受人类活动的影响。虽然这片森林只有 1000 年左右的历史，却曾经是一派原始森林风光。今天，富士山区域内依旧留存了它的部分面貌。

宁静的树海

864 年的贞观大喷发整体上改变了该地区的地形，熔岩流堰塞水道，形成了西湖和精进湖，还将名为划（chan）海的古代大湖基本掩埋。如果从空中俯瞰，就可以看出这里是由熔岩奔流形成的地貌。

熔岩流凝固后形成了 30 平方公里的岩盘，其上方覆盖的森林广袤且平坦，因而得名“树海”。岩盘形成已有 1000 年，但其上方土层仍然土薄地瘦。这里的岩浆岩为多孔型，只有坚韧的植物才能生长，它们以裸露的根紧紧抓住长满苔藓的地面。这里生长的树木大多是日本铁杉、落叶松和扁柏等常绿针叶树。

熔岩层的“垄”和裂痕让这里仿如另一个世界，景色壮美无比。岩浆岩能吸声降噪，会让林中漫步静谧异常。传言指南针会在此失灵，但事实并非如此。冷却后的熔岩确实有一定的磁性，但只要不把指南针直接放在地面上，就不会受到熔岩的磁性的影响。尽管如此，考虑到森林的广袤和路标不清，请一定不要偏离登山道。不过，部分旅行社有树海探险旅行团，在导游的带领下，不仅可以放心游览，还可以了解更多知识，旅程将格外愉快。

原始林：过去的记忆

864 年贞观大喷发的熔岩流并非从山顶溢出，而是从山的侧面横向喷出。富士山北麓的部分森林被称为原始林，仍然保持着古时候的模样。火山喷发时，它们由于所处地点高于喷发点，或者被断崖阻隔，抑或熔岩流被突出物阻挡而得以保存下来。

新森林与老森林初看几乎没有什么差异，但可以通过土层厚度进行分辨。踏入老森林时能感觉到脚底下厚约数厘米的土壤，而新森林几乎只有裸露着的岩浆岩。生长的树木种类也不尽相同，新森林多为山毛榉和水榿等落叶树，中间点缀着日光冷杉等常绿树。而原始林更加多样，海拔较高、气温较低处多是茁壮的日本铁杉和白叶冷杉等树木。

原始林区大多离登山道的主道不远，但同其它林区一样，需小心迷路。大室山背面的

山毛榉林距离本栖风穴较近，较容易抵达。

<繁体字>

富士山的森林

富士山北側是青木原樹海。這片茂密的原始森林，幾乎未遭砍伐，未受人類活動的影響。雖然現存的這片森林僅有約一千年的歷史，但在過去這裡曾是一片原始森林，今天，富士山區域內依舊留存了它的部分面貌。

寧靜的樹海

該地區的地形因歷經 864 年的貞觀大噴後整體發生了巨變，岩漿堰塞水道，形成了西湖和精進湖，還幾乎掩埋了名為剗海的古代大湖。如果從空中俯瞰，就可以看出這裡曾有岩漿奔流過的痕跡。

岩漿凝固後形成了 30 平方公里的岩盤，其上方覆蓋的森林茂密且平坦，因而得名「樹海」。岩盤形成已有一千年，但其上方土層仍土薄地瘦。這裡的岩漿岩呈多孔型，只有堅韌的植物才能生長，它們以裸露的根緊緊抓住長滿苔蘚的地面。這裡生長的樹木大多是日本鐵杉、落葉松和扁柏等常綠針葉樹。

熔岩層的「壟」和裂痕讓這裡宛如夢幻仙境，景色壯美無比。岩漿岩能吸聲降噪，即使在林中漫步仍然靜謐無比。傳言指南針會在此失靈，但事實並非如此。冷卻後的岩漿確實有一定的磁性，但只要不把指南針直接放在地面上，就不會受到磁性的影響。儘管如此，考慮到森林的廣袤以及路況複雜，遊賞時請遵循登山路線。不過，部分旅行社有樹海探險旅行團，在導遊的帶領下，不僅可以放心遊覽，還可以瞭解更多知識，旅程將格外愉快。

原始林：過去的記憶

貞觀大噴發生於 864 年，當時的岩漿並非從山頂溢出，而是從山的側面橫向噴出。富士山北麓的部分森林被稱為原始林，仍保有原始的樣貌。火山噴發時，由於所處地點高於噴發點，或者被斷崖阻隔，抑或岩漿被突出物阻擋而得以保存下來。

新生長的森林與原始森林乍看之下幾乎沒有什麼差異，但可以透過地層厚度進行分辨。踏入原始森林時能感覺到腳底下厚約數公分的土壤，而新生長的森林幾乎只有裸露著的岩漿岩。生長的樹木種類也不盡相同，新生長的森林多為山毛櫸和水檜等落葉樹，中間點綴著日光冷杉等常綠樹。然而，原始森林則是更加多樣，由於海拔較高、氣溫較低，大多是茁壯的日本鐵杉和白葉冷杉等。

原始森林區大多離登山道的主道不遠，但同其它林區一樣，需注意路線標示牌。大室山背面的山毛櫸林距離本栖風穴較近，較容易抵達。

<日本語仮訳>

富士山の森林

富士山の北側には、その大半が伐採など人間の手がはいていない手つかずの森、青木ヶ原樹海があります。この森林の歴史はまだ 1,000 年程度で、かつてここには原始林と呼ばれる風景が広がっており、その一部は今でも富士山の一部に残っています。

静かな海

樹海は、864 年の貞観大噴火による溶岩流で形成された 30 平方 km の大地を覆っています。この噴火が、この地域全体の地形を変えてしまったのです。溶岩流は水路を塞ぎ、後に西湖と精進湖となったふたつの独立した部分のみを残して、剝（せ）の海として知られる広大な古代湖の大半を埋め尽くしました。このエリアを上から見ると、当初の環境に溶岩が流れ込むことによりできたことがすぐにわかります。この「樹海」という名前は、この森林の規模だけではなく全体が平坦であることにも由来します。

岩盤が形成されてから 1,000 年経った今でもこの森の土壌の層は未だに薄く、養分も不十分です。この火成岩は非常に多孔質で、丈夫な植物のみが露出した根を苔の生えた地面に絡みつけることで成長できるため、ここに生える木の大半はコメツガ、カラマツやヒノキなどの常緑針葉樹です。

溶岩層の「うね」や破裂跡は、この景観に別世界のような美しさをもたらし、火成岩は音を聞こえにくくさせる性質があるため、森林の散策を驚くほど静かなものにします。方位磁石が誤作動するという噂は真実ではありません。冷えた溶岩にはある程度の磁気特性がありますが、方位磁石を直接地面に置かない限り、その磁力は方位磁石に影響を及ぼすほど強くはありません。とはいえ、この森の広大さとはっきりとした目印がないことを考えると、登山道から外れないようにすることが重要です。なお、樹海探索ツアーを営んでいる業者もあるので、ガイドと一緒に挑戦すれば、安心はもちろんのこと、理解も深まり、楽しさも格段に増すことは間違いありません。

原始林：過去の記憶

864 年の貞観大噴火は、マグマが山頂から溢れ出す代わりに山の側面から噴出する側噴火でした。富士山北麓には未だに古代の姿そのままの原始林だと考えられている森林が所々見られます。これらのエリアは原始林と呼ばれ、噴火場所より上にあつた、もしくは断崖または岩の露頭が溶岩を遮蔽したことにより残存しています。

新しい森と古い森にほとんど差はありませんが、その違いとしてひとつの決め手になるのは、土壌があまりない火成岩だらけの他の場所とは異なり、古い森を歩くと厚さ数センチを超える土壌が足元に感じられることです。また、生えている樹木の種類も異なります。原始林は、ウラジロモミなどの常緑樹が点在する中にブナやミズナラなどの落葉樹がより多く見られる新しい森と比較すると、一様ではありません。山をさらに高く登ったところにある気温の低い原始林では、ツガやシラビソなどが生い茂っています。

原始林エリアの多くは登山道の本道からほど近いところにありますが、森の他の区域と同様に、迷わないように気をつけましょう。本栖風穴からほど近い大室山の裏手のブナの群生地は、比較的アクセスしやすい場所にあります。

<简体字>

忍野八海

按照传统，“富士讲”的朝圣者在攀登富士山之前，会在数日内依次前往富士五湖和三个山泉池洁净身体，这些地方总称为“内八海”。19世纪中叶，为了把登山准备时间缩短至一天，一位名叫大寄友右卫门的信徒将附近的忍野水域改造成八个神圣的“湖”，也就是“忍野八海”。湖水引自富士山的地下水，被认为与内八海一样具有洁净功能。八个池塘依照占星术，呈北极星与北斗七星状排列。由于到访新“忍野八海”的人越来越多，原本贫困的村庄开始富裕起来。

温馨提示，位于村庄中央、周边有餐厅和土特产店的池塘为后来修建，不属于忍野八海。

八大龙王

忍野八海的每一个池塘都有刻着和歌的石碑，分别供奉着法华经中出现的八大龙王，其对应如下：

- 1.出口池：难陀龙王
- 2.釜池：跋难陀龙王
- 3.底拔池：娑加罗龙王
- 4.铍子池：和脩吉龙王
- 5.涌池：德叉迦龙王
- 6.浊池：阿那婆达多龙王
- 7.镜池：摩那斯龙王
- 8.菖蒲池：优钵罗龙王

<繁体字>

忍野八海

按照傳統，「富士講」的朝聖者在攀登富士山之前，會在數日內依次前往富士五湖和三個山泉池潔淨身體，這些地方總稱為「內八海」。19世紀中葉，為了把登山準備時間縮短至一天，一位名叫大寄友右衛門的信徒將附近的忍野水域改造成八個神聖的「湖」，也就是「忍野八海」。湖水引自富士山的地下水，被認為與內八海一樣具有潔淨功能。八個池塘依照占星術，呈北極星與北斗七星狀排列。由於到訪新「忍野八海」的人越來越多，原本貧困的村莊開始富裕起來。

溫馨提示，村莊內有餐廳和當地特產店，而附近的池塘是後來修建的，並不屬於忍野八海。

八大龍王

忍野八海的每一個池塘都有刻著和歌的石碑，分別供奉著法華經中出現的八大龍王，其對應如下：

- 1.出口池：難陀龍王
- 2.釜池：跋難陀龍王
- 3.底拔池：娑加羅龍王
- 4.銚子池：和脩吉龍王
- 5.湧池：德叉迦龍王
- 6.濁池：阿那婆達多龍王
- 7.鏡池：摩那斯龍王
- 8.菖蒲池：優鉢羅龍王

<日本語仮訳>

忍野八海

従来、富士講の巡礼者は、富士山に登る前に「内八海」と総称される富士五湖と 3 つの湧水池のひとつひとつで数日間かけて身を清めました。19 世紀半ばには、大寄友右衛門という信者の先達が、近くの忍野の水域を 8 つの神聖な「湖」になるよう形を変えることでその準備期間を 1 日に短縮するというプロジェクトを立ち上げました。これらの湖には富士山の伏流水が流れ込んでいるため、内八海と同様に清めることができると考えられていました。この新しい「忍野八海」を訪れる人が増えたおかげで、貧富に苦しんでいた村が潤うことにもなりました。八つの池は占星術に基づき北極星と北斗七星の形を表しています。

レストランや土産物店に囲まれたこの村の中央に位置する池は、さらに後になって造られたもので、忍野八海のひとつに数えられてはいませんのでご注意ください。

八大竜王

忍野八海の池のひとつひとつには和歌が刻まれ、法華経に登場する八大竜王のひとつを祀った石碑があります。池とそれぞれの池に関連する竜王の一覧は以下の通りです。

1. 出口池：難陀竜王
2. お釜池：跋難陀竜王
3. 底抜池：娑加羅竜王
4. 銚子池：和脩吉竜王
5. 湧池：徳叉迦竜王
6. 濁池：阿那婆達多竜王
7. 鏡池：摩那斯竜王
8. 菖蒲池：優鉢羅竜王

<简体字>

东圆寺

东圆寺的历史可追溯至 9 世纪初，当时的著名僧人空海（圆寂后被追赠“弘法大师”谥号）巡锡东国（现日本关东地区）时，在富士山东北部发现了一股神圣泉水，便在此修建东圆寺，以祭祀自古以来与山岳关系深厚的密教本尊——大日如来。1711 年，东圆寺迁至现址，最近一次重建是 1865 年。

如今，东圆寺供奉的本尊（主佛）是欢迎悟道信众抵达极乐净土的阿弥陀佛，两侧则是观音菩萨和大势至菩萨。寺内还有一尊制作于 1317 年的木制观音像，原本被供奉于附近的忍草浅间神社，与神社内的女神木花咲耶姬之像出自同一位雕刻家之手。数世纪以来，日本神道和佛教间一直维持着一种神佛习合（互相融合）的关系，东圆寺也在漫长的历史岁月里与忍草浅间神社建立了紧密的联系。直到明治政府下达神佛分离令、试图清除佛教对神道的影响后，这段关系才宣告结束。

到了 19 世纪，东圆寺负责监督忍野八海的开发，以供“富士讲”朝圣者攀登富士山之前洁净身体时使用。当时，“富士讲”信仰传播广泛，幕府曾不得不限制民众进入富士山。而东圆寺是唯一可为朝圣者通行颁发许可的佛教寺院。由于朝圣者的不断涌入，这个贫困的村庄再次焕发生机。

<繁体字>

東圓寺

東圓寺的歷史可追溯至 9 世紀初，當時的著名僧人空海（圓寂後被追贈「弘法大師」諡號）巡錫東國（現日本關東地區）時，在富士山東北部發現了一股神聖泉水，便在此修建東圓寺，以祭祀自古以來與山嶽關係深厚的密教本尊——大日如來。1711 年，東圓寺遷至現址，最後一次重建是 1865 年。

如今，東圓寺供奉的本尊（主佛）是歡迎悟道信眾抵達極樂淨土的阿彌陀佛，兩側則是觀音菩薩和大勢至菩薩。寺內還有一尊製作於 1317 年的木制觀音像，原本被供奉於附近的忍草淺間神社，與神社內的女神木花咲耶姬之像出自同一位雕刻家之手。數世紀以來，日本神道和佛教間一直維持著一種神佛習合（互相融合）的關係，東圓寺也在漫長的歷史歲月裡與忍草淺間神社建立了緊密的聯繫。直到明治政府下達神佛分離令、試圖清除佛教對神道的影響後，這段關係才宣告結束。

到了 19 世紀，東圓寺負責監督供「富士講」朝聖者攀登富士山之前潔淨身體的忍野八海的開發。當時的「富士講」信仰相當興盛，幕府曾不得不限制民眾進入富士山，而東圓寺是唯一可為朝聖者通行頒發許可的佛教寺院。由於朝聖者的不斷湧入，這個貧困的村莊再次煥發生機。

<日本語仮訳>

東円寺

東円寺の歴史は9世紀初頭、有名な僧で、死後は弘法大師として知られるようになった空海が日本の東国巡錫に出たときに遡ります。富士山の北東部に神聖な泉を発見した空海は、昔より山との関わりが深い密教の本尊、大日如来を祀る寺を建立しました。1711年に現在の所在地に移され、最も近年では1865年に再建されました。

現在の本尊は、悟りを開いた信者を極楽浄土に歓迎する阿弥陀仏で、両脇に観音菩薩と勢至菩薩が配されています。この寺には、1317年に作られたもう1体の木造観音像があります。この観音像は、当初は近くにある忍草浅間神社に祀られていたもので、この神社の女神、木花咲耶姫の像と同じ彫刻家が彫ったものです。神道と仏教は数世紀にわたって神仏習合関係にあり、東円寺は、忍草浅間神社との緊密な関係をその歴史の大半において共有していました。この関係は、政府が神道から仏教の影響をすべて取り除くことを試みた明治時代まで続きました。

19世紀になると、この寺は、富士講巡礼者が富士山に登る前の禊に使った忍野八海の開発を監督しました。富士講信仰は、幕府が富士山への入山を規制せざるを得ないほどに大いに普及しました。東円寺は、巡礼者への通行を許可することができた唯一の仏教寺院でした。そしてその結果として絶え間なく訪れる巡礼者がこの貧困にあえぐ村の再活性化に一役買いました。

<簡体字>

忍草浅间神社

浅间神社位于忍野村忍草区域，始建于 807 年，1186 年迁至现址。1193 年，镰仓幕府将军源赖朝（1147-1199）将北至鸟居地峠的领地授予神社。如今，神社与 19 世纪由信徒开发的忍野八海关系密切。

神社界内有很多古老的红豆杉树，树干周长达 1.4 米至 3.7 米。其中还有“夫妻红豆杉”。

三神像

该神社的镇社之宝是三尊可追溯至 1315 年的木制雕像，已被日本政府指定为重要文化财。其中一尊是女性木制雕像，被认为是如今浅间神社供奉的女神“木花咲耶姬”。研究人员认为，这三尊雕像，雕刻的是古代传说《竹取物语》中的三位登场人物：辉夜姬（辉夜公主）和两名求婚者，因为当地传说“木花咲耶姬”就是辉夜姬。《竹取物语》里的辉夜姬是一位绝世美女，求婚者络绎不绝，深情的皇帝也是其中之一。但辉夜姬拒绝了所有求婚者，最后留下不死药返回月亮，而悲痛的皇帝下令在离天最近的富士山顶烧毁不死药。据此，“富士”之名或源自日语谐音词“不死”之说开始流传。

<繁体字>

忍草淺間神社

建於 807 年的淺間神社位於忍野村忍草區域，於 1186 年遷至現址。1193 年，鎌倉幕府的源賴朝將軍（1147-1199）授予神社領地，範圍擴至鳥居地峠。如今，神社與 19 世紀由信徒開發的忍野八海有著密切的關係。

神社境內有許多歷史悠久的紅豆杉樹，樹幹周長達 1.4 公尺至 3.7 公尺，其中還有「夫妻紅豆杉」。

三神像

該神社的鎮社之寶共有三尊，這些木制雕像可追溯至 1315 年，已被日本政府指定為重要文化財。其中一尊是女性木制雕像，被認為是如今淺間神社供奉的女神「木花咲耶姬」。研究人員認為，這三尊雕像所雕刻的是古代傳說《竹取物語》中的三位登場人物：輝夜姬（輝夜公主）和兩名求婚者，因為當地傳說「木花咲耶姬」就是輝夜姬。《竹取物語》裡的輝夜姬被譽為絕世美女，其追求者絡繹不絕，即便是深情的皇帝也是其中之一。最終輝夜姬拒絕了所有求婚者，僅留下不死藥便返回月球了。傷心欲絕的皇帝隨即下令在離天最近的富士山頂燒毀不死藥。據此，「富士」之名是源自日語諧音詞「不死」的傳說流傳開來。

<日本語仮訳>

忍草浅間神社

忍野村の忍草にある浅間神社は 807 年に建立され、1186 年に現在の所在地に遷宮しました。1193 年に、鎌倉幕府の将軍、源頼朝（1147-1199）がこの神社に北の鳥居地峠に至るまでの社領を与えました。今日ではこの神社は、19 世紀に氏子が開発した忍野八海と密接な関係にあります。

イチイの古木がこの神社の境内に多数生い茂っています。これらの木々の外周は、1.4～3.7m で、その中には「夫婦イチイ」となっているものもあります。

三神像

この神社の社宝には、国指定重要文化財である 1315 年に遡る 3 体の木像があります。ひとつは、今では浅間神社の女神、木花咲耶姫の像だと考えられている女性の木像です。研究者たちは、これらの三神像は、古来よりある『竹取物語』のかぐや姫と、2 名の求婚者を表現すべく彫られたものだと考えています。現地では木花咲耶姫はかぐや姫という伝説があります。『竹取物語』では、かぐや姫は絶え間なく求婚者から求愛され続けていた絶世の美女で、この求婚者の中には完全にかぐや姫の虜になってしまった帝も含まれていました。これらの求婚者をすべて拒否したかぐや姫は、最後には不死の薬だけを残して月に戻ってしまいます。悲しんだ帝は、この薬を天に最も近い山という理由で富士山の頂上で燃やすように命じました。この話から、富士山の「富士」は日本語の「不死」に由来すると言い伝えられるようになりました。

<簡体字>

月江寺周边

月江寺地区是位于富士吉田市中心地带的“不夜城”，在漫长的岁月中，一直人气居高不下。江户时代（1603-1868），该地区因纺织工业进入鼎盛期，并一直持续到 20 世纪 20 年代中期至 50 年代中期，当地的商人和企业家都会聚集于此接待客人或庆祝商业上的成功。随着 70 年代至 80 年代纺织品贸易的国际化，经营情况和从业人员随之发生变化，月江寺地区的活力也开始衰退。即便如此，这里至今仍是富士五湖地区首屈一指的娱乐街。富士吉田市正在与餐饮及其他企业开展合作，完善多语言的标识、菜单及宣传册，致力于将月江寺地区打造成为海外和国内游客皆可轻松享乐的场所，为当地重新注入活力。

新世界干杯通（新世界干杯大街）

新世界大街曾经是西里区域的狭窄后街，位于月江寺火车站东南。20 世纪 50 年代至 70 年代，这里曾热闹非凡，通宵乐声不断、人声鼎沸、觥筹交错。但随着月江寺地区的整体萧条，这条小街的客流量也逐渐减少。

2016 年，市政府重新开发这条小街，将其改名为“新世界干杯大街”，并将餐饮店和酒吧的铺面租赁给新的经营者。20 世纪 50 年代的招牌装点着新潮时尚的店铺，虽饱经风霜却韵味犹存。

该地区还有多条与新世界干杯大街相似的旧街，如百万大街、子之神大街等，均保留着旧日风情。此外，还有多条餐馆、面店和酒吧林立的街道，其中不乏从战后繁荣期经营至今的老店。

附近的小旅馆颇受年轻外国游客的青睐，街市、音乐节等活动也为月江寺地区增添了活力。

<繁体字>

月江寺周邊

月江寺地區是位於富士吉田市中心地區的「不夜城」，在漫長的歲月中，人氣始終居高不下。江戶時代（1603-1868），該地區因紡織工業進入全盛期，一直持續到 20 世紀的 20 年代至 50 年代中期。當時的商人和企業家都會聚集於此接待貴賓或慶祝商業上的成功。70 年代至 80 年代，紡織行業受到貿易國際化衝擊，經營情況和勞工生活隨之發生變化，月江寺地區的活力也逐漸衰退。即便如此，這裡至今仍然是富士五湖地區首屈一指的夜生活區。富士吉田市正在與餐飲及其他企業展開合作，完善多語言的標識、功能表及宣傳冊，致力於將月江寺地區打造成為海內外遊客皆可輕鬆享樂的場所，試圖為當地重新注入活力。

新世界乾杯通（新世界乾杯大街）

新世界大街曾經是西裡區域中狹窄的後街，位於月江寺火車站東南方。20 世紀 50 年代至 70 年代，這裡一度熱鬧非凡、人聲鼎沸、觥籌交錯。但隨著月江寺地區的整體狀況不佳，這條小街的客流量也逐漸減少。

2016 年，市政府重新開發這條小街，將其改名為「新世界乾杯大街」，並將餐飲店和酒吧的店面租賃給新的經營者。20 世紀 50 年代的招牌裝點著新潮時尚的店鋪，雖飽經風霜，卻韻味猶存。

該地區還有多條與新世界乾杯大街相似的舊街，如百萬大街、子之神大街等，均保留著舊日風情。此外，還有多條餐館、麵店和酒吧櫛比鱗次的街道，其中不乏從戰後繁榮期經營至今的老店。

附近的小旅館頗受年輕外國遊客的青睞，文青市集、音樂節等活動也為月江寺地區增添許多活力。

<日本語仮訳>

月江寺界隈

富士吉田の中心地にある月江寺地区は、長年にわたり人気のある歓楽街でした。ここには、江戸時代（1603-1868）の織物にけん引された最盛期から、それまでになく賑わった 1920 年代半ばから 1950 年代半ばまで、地元の商人や事業家が顧客の接待や、商いの成功を祝うのに集まりました。1970 年代から 1980 年代にかけての国際化のあおりを受けた繊維業界は、その経済状況と従事者も変化し、月江寺地区の活気は衰退してしまいましたが、ここは今日でも富士五湖地区随一の歓楽街として残っています。現在富士吉田市は料理店主やその他の事業主と協力して、多言語対応の案内表示、メニュー、およびパンフレットが揃った、海外からの客も国内からの客もストレスフリーにナイトライフを楽しめる観光地として、月江寺地域の再活性化を図っています。

新世界乾杯通り

新世界通りは、月江寺駅の南東、西裏地域の裏通りの奥にある細い通りでした。1950 年代から 1970 年代まで続いた戦後のにぎやかな時代には、ここは特に活気のある区域で、毎晩のように音楽や飲み騒ぐ人々で溢れかえっていました。しかし、月江寺地区全体が衰退し始めたのにつれて、この通りを訪れる人の数も減ってしまいました。

2016 年、正式な名称を「新世界乾杯通り」に変えることから再活性化プロジェクトが始まりました。富士吉田市は、料理店やバーの店舗を新しい事業者に賃貸し始め、風化して味わい深くなった 1950 年代の看板が、おしゃれで新しい店舗の外装を飾っています。

この地区には、ミリオン通りや子の神通りなど、新世界乾杯通りに似た、古き良き時代の雰囲気漂う通りもあります。他にもレストラン、麺料理店やバーが並ぶ通りがあり、中には戦後栄えた時期から同じ経営者が経営している店舗もあります。

この近くのゲストハウスには、比較的若い外国人観光客が宿泊しており、ストリートマーケットや、ミュージックフェスティバルなどのイベントが月江寺の活性化に一役買っています。

<简体字>

机织町：纺织之城

一千多年来，富士吉田市一直是纺织业中心，也是具有纺织传统的“机织町”（纺织城）。据《延喜式》（编撰于 10 世纪的法律和仪典规定书籍）记载，因为气候和海拔的关系，该地区难以种植大米，而当时向土地领主缴纳的租税均为大米，所以富士吉田地区便以丝绸代缴税金。

江户时代的繁荣

数百年的战争结束后，日本在江户时代（1603-1868）迎来和平时期，首都江户（现东京）的商人和工匠们逐渐富裕起来，形成了中产阶级。但在 17 世纪中期，政府下达禁奢令，禁止穿戴华丽的服饰来炫耀财富，规定中产阶级只能穿茶色或者灰色等暗色衣服。即使如此，中产阶级还是发现了一个漏洞，那就是法律并没有对里衬进行限制，因此色彩鲜艳且设计优雅的里衬需求大增。染色师用富士山中清泉染成的富士吉田绸缎，色泽鲜艳，更是受到江户民众的追捧，纺织工业也因此繁荣。

即使在江户时代结束以后，富士吉田仍然一直是纺织工业的中心。20 世纪 50 年代至 70 年代，日本迎来了“经济增长奇迹”时期，市场需求空前高涨。据说当时的纺织机只要“咔嚓”一声，就可带来一万日元的收入，趣词“咔嚓万经济”也应运而生。

品牌巨擘

后来，富士吉田从公认的原材料供应商，华丽转身为消费品牌巨擘。很多纺织企业会在每个月的第三个周六举办“工厂开放日”活动，来访者可以在此期间参观生产中的纺织机器。各家企业还与设计师和学生合作，研发推出名目繁多的独家产品，从包书皮到床上用品，应有尽有。

2016 年，富士吉田市举办了首届“机织町节”。如今，这个活动已成为每年秋季的固定活动，活动中有展览、音乐表演和特邀嘉宾公开座谈会等多种项目。当地工匠与商人也齐心协力通过这些活动项目积极推广富士吉田的纺织品。活动主会场在小室浅间神社和本町大街，富士吉田市的工厂和店铺均会参加。

<繁体字>

機織町：紡織之城

一千多年來，富士吉田市一直是紡織業中心，也是具有紡織傳統的「機織町」（紡織城）。據《延喜式》（編撰於 10 世紀的法律和儀典規則書籍）記載，因為氣候和海拔的關係，該地區難以種植大米，而當時向土地領主繳納的租稅均為大米，所以富士吉田地區便以絲綢代繳稅金。

江戶時代的繁榮

數百年的戰爭結束後，日本在江戶時代（1603-1868）迎來了長久的和平，首都江戶（現東京）的商人和工匠們逐漸富裕起來，形成了中產階層。他們喜歡穿著華麗的衣服炫耀財富，但在 17 世紀中期，政府下達禁奢令，規定中產階層只能穿褐色或者灰色等暗色衣服。即使如此，他們還是發現了法律並沒有對內裡進行限制，因此色彩鮮豔且設計優雅的內裡需求大增。染坊師傅用富士山中的清泉染就的富士吉田綢緞，色澤鮮豔，相當受到江戶民眾的喜愛，紡織工業也因此繁榮。

即使在江戶時代結束以後，富士吉田仍然一直是紡織工業的重心。20 世紀 50 年代至 70 年代，日本迎來了「經濟增長奇跡」時期，市場需求空前高漲。據說當時的紡織機只要「喀嚓」一聲，就可帶來一萬日元的收入，而「喀嚓萬經濟」一詞也應運而生。

品牌巨擘

後來，富士吉田從公認的原材料供應商，華麗轉身為消費品牌巨擘。很多紡織企業會在每個月的第三個週六舉辦「工廠開放日」活動，來訪者可以在此期間參觀生產中的紡織機器。各家企業還與設計師、學生們合作，研發推出名目繁多的獨家產品，從書套到寢具用品，可說是應有盡有。

2016 年，富士吉田市舉辦了首屆「機織町節」。如今，這個活動已成為每年秋季的固定活動，期間會舉行展覽、音樂表演和特邀嘉賓公開座談會等多項活動。透過活動，當地工匠與商人齊心協力，致力為富士吉田的紡織品做宣傳。活動主會場在小室淺間神社和本町大街，富士吉田市的工廠和店鋪均會參加。

<日本語仮訳>

ハタオリマチ：織物の町

富士吉田市は、1000 年を超える織物生産の中心地、「ハタオリマチ」としての伝統を持つ町です。10 世紀に編纂された法律や行事について定めた「延喜式」には、この地域の気候や標高の高さにより一般的に年貢として納められていた米の生産が難しかったため、税金を絹で支払うよう記載されています。

江戸時代の繁栄

数世紀続いた戦いの後、江戸時代（1603-1868）は日本に平和をもたらし、首都江戸では商人や職人からなる裕福な中産階級が台頭しました。この中産階級は、17 世紀中頃に奢侈禁止令が施行されるまで、派手な服装などでその富を表現しようとしていました。法律で衣服の色は茶色や灰色のようなくすんだ色に限定されていましたが、江戸の人々は裏地がその法律で規制されていなかったという抜け道を見つけ、カラフルで優美な裏地の需要が急上昇しました。染め物師が富士山のきれいな湧水を使って鮮やかな色に染め上げた富士吉田の絹は特に珍重され、織物産業も繁栄しました。

富士吉田は江戸時代が終わった後も、長きにわたり繊維産業の中心地でした。1950 年代から 1970 年代の日本の「奇跡の経済成長」は、需要をかつてないほどに押し上げます。この時代、織機を**ガチャ**とするだけで 1 万円儲かると言われ、「ガチャマン景気」という面白い言葉が生まれました。

大手ブランド

富士吉田はその後、定評ある原材料の供給元から大手消費者ブランドへとその姿を変えます。織物製造会社の多くは「オープンファクトリー」を毎月第 3 土曜日に開催しており、ここでは来訪者が稼働中の織機を見学することができます。また、デザイナーや学生とのコラボレーションによって、ブックカバーから寝具まで、ここでしか手に入らない多様な特産品を生み出しました。

富士吉田市は、2016 年に第 1 回の**ハタオリマチフェスティバル**を開催します。今では毎秋開催されるようになったこのイベントでは、展示、音楽の演奏や特別ゲストを迎えたパネルディスカッションなどにより、職人と商人が協力して富士吉田の織物をプロモーションしています。メイン会場は小室浅間神社と本町通りですが、富士吉田中の工場や店舗がこのイベントに参加しています。

<簡体字>

吉田乌冬

吉田乌冬是富士吉田的知名美食。由于气候和海拔原因，该地区难以种植大米，因而小麦成为主要农作物，面条也成为当地主食。吉田乌冬使用的面条是当地名产，比一般的乌冬面略硬。现在吉田市内约有 50 家吉田乌冬专卖店，一些当地孩子还会在高中加入专门研究吉田乌冬的社团。

吉田乌冬的汤底多用味噌（日本大酱）和酱油调味，配菜多为卷心菜和肉类或其他一些食材。每家乌冬店都会有自己的特色菜单，因此在富士吉田逗留期间，不妨多尝试几家。有些乌冬店至今按照传统食谱使用马肉，而不是现在常用的猪肉。每家乌冬店都会提供独家秘制的佐料“SURIDANE”，以芝麻粉和辣椒混合而成，口味香辣。

吉田的大部分乌冬店都只在中午营业。这一传统要追溯至 20 世纪初，当时纺织业是富士吉田的主要产业，为了保证女性能专注机织，当时由男性负责为家人和购买布料的客人提供乌冬。后来，有些乌冬很受欢迎的家庭便把住宅改建成乌冬店，这也是为何传统的吉田乌冬店外观看起来都像私人住宅的原因。

<繁体字>

吉田烏龍麵

吉田烏龍麵是富士吉田的知名美食。由於氣候和海拔原因，該地區難以種植大米，因而小麥成為主要農作物，麵條也順勢成為當地主食。吉田烏龍麵使用的麵條是當地名產，口感比一般的烏龍麵略硬。現在吉田市內約有 50 家吉田烏龍麵專賣店，一些當地孩子還會在高中就加入專門研究吉田烏龍麵的社團。

吉田烏龍麵的湯底多用味噌（日本大醬）和醬油調味，配料多為高麗菜和肉類或其他食材。每家烏龍麵店都會有自己的獨家配方，因此在富士吉田逗留的期間，不妨多嘗試幾家。有些烏龍麵店至今仍按照傳統食譜使用馬肉，而不是現在常見的豬肉。每家烏龍麵店都會提供獨家秘制的調味料「SURIDANE」，以芝麻粉和辣椒混合而成，口味香辣。

吉田地區內大多數的烏龍麵店都只在中午營業。這一傳統要追溯至 20 世紀初，當時紡織業是富士吉田的主要產業，為了讓女性能專注機織，當時是由男性負責為家人和購買布料的客人提供烏龍麵。後來，一些烏龍麵很受歡迎的人家便把自家改建成烏龍麵店，這也是為什麼傳統的吉田烏龍麵店外觀看起來都像私人住宅的理由。

<日本語仮訳>

吉田のうどん

吉田のうどんは、富士吉田の名物料理です。この地域の気候と標高のせいで米の栽培が難しかったため、小麦が主要作物となり、自然と麺類が主食になったのです。吉田のうどんに使われる麺はこの地域の名物で、一般的なうどんの麺よりも固いのが特徴です。高校で吉田のうどん部に入部する子どももいますし、市内には吉田のうどん専門のうどん店が約 50 軒あります。

通常、吉田のうどんは、味噌と醤油で味付けされた温かいつゆにキャベツ、肉やその他の具材を乗せて供されます。うどん店はそれぞれが独自のメニューを提供しているため、富士吉田を訪れたら滞在中にいくつかの店を試してみるのがおすすめです。一部のうどん店では、より「今風」の豚肉ではなく馬肉を用いる伝統的なレシピで提供しています。各うどん店では、すりごまと唐辛子を混ぜ合わせて作る自家製の辛味の効いた薬味「すりだね」を誇りにしています。

吉田のうどん店のほとんどは、お昼だけ営業しており、これは 20 世紀初めに富士吉田の主要産業が織物産業だった時代にさかのぼる伝統です。女性が機織り作業に集中できるよう、家族で食べたり街から来た生地の買付人に提供したりするためのうどんを、当時は男性が調理していました。その後、うどんが人気となった家庭が自宅をうどん店に改装しました。これこそが、昔ながらの吉田のうどん店が外からは個人宅のように見える理由なのです。

<简体字>

饅飩

饅飩是一种用小麦粉制成的面条，又粗又宽，常配以蔬菜汤食用。与日本其他面食不同，制作饅飩时无需先用水煮，生面经过揉胚、刀切和晾干后可直接与其它蔬菜一起烹煮。制作汤底时，南瓜的甜味非常重要，通常还会加入胡萝卜、卷心菜、红薯和肉类等。

这道美食的起源已无从稽考。有一种说法是，平安时代（794-1185）的《枕草子》和其它记录中曾提及一种名为“Hakutaku”的小麦制成的面食，它后来被读作“Houtou”，也就是饅飩。但是，“Hakutaku”是与赤豆一起食用的，与富士五湖地区吃的饅飩没有明确的关联。该地区因为难以种植大米，所以不得不种植小麦。直到几十年前，这里的家家户户都有饅飩专用砧板，经常用来制作饅飩。

有另一种民间说法认为，“饅飩”一词与武田信玄（1521-1573）有关，传说他曾用自己的“宝刀”（日语发音与饅飩相同）为部下切面胚做面条。虽然信玄军据信可能在前线吃过饅飩，很多饅飩店也挂着信玄军旗，但这个故事很有可能纯属杜撰。

<繁体字>

饅飩

饅飩是一種用小麥粉製成的麵條，又粗又寬，常搭配蔬菜湯一起享用，與日本其他麵食不同。製作饅飩時不需先用水煮，麵團經過搓揉、刀切和晾乾後可直接與其它蔬菜一起烹煮。製作湯底時，南瓜甜味非常重要，通常還會加入胡蘿蔔、高麗菜、紅番薯和肉類等。

這道美食的起源已無從稽考。據傳，平安時代（794-1185）的《枕草子》和其它記錄中曾提及一種名為「Hakutaku」的小麥製成的麵食，它後來被讀作「Houtou」，也就是饅飩。但是，「Hakutaku」是與紅豆一起食用的，與富士五湖地區吃的饅飩沒有明確的關聯。該地區因為難以種植大米，所以不得不種植小麥。數十年前，家家戶戶都備有專門製作饅飩的砧板，經常製作饅飩。

有另一種民間說法認為，「饅飩」一詞與武田信玄（1521-1573）有關，傳說他曾用自己的「寶刀」（日語中與饅飩發音相同）為部下切麵糰做麵條。雖然謠傳信玄軍可能在軍營中吃過饅飩，很多饅飩店也掛著信玄軍旗，但這個故事很有可能純屬虛構。

<日本語仮訳>

ほうとう

ほうとうは、小麦粉でできた太く幅広の麺で、野菜のだし汁に入れて提供されます。日本のその他の麺とは異なり、ほうとうは湯通しされません。生地をこね、乾燥させ、切った麺は、他の食材と一緒に煮込まれます。かぼちゃが甘くコクのあるだしの重要な材料で、その他にも通常ニンジン、キャベツ、サツマイモや肉などが通常一緒に鍋に加えられます。

この料理の起源ははっきりしていません。平安時代（794-1185）の『枕草子』やその他の記録には、「はくたく」という小麦で作った練り物について言及されており、これが後になって「ほうとう」と読まれるようになったとされています。しかし、はくたくは、小豆と一緒に食べられたもののようで、富士五湖地域で食べられるほうとうとの明確なつながりはありません。この地域では米の栽培が非常に難しかったため、小麦が必要に迫られて使われたのでしょう。数十年前までは、各家庭にほうとう用のまな板があり、よく使われていました。

ある民間語源説では、「ほうとう」という言葉は武田信玄（1521-1573）が自軍のために生地を切って麺を作るのに自らの「宝刀」を使ったという話に結びつけられています。信玄軍が陣中でほうとうを食べていたともされており、ほうとう店の多くには信玄の軍旗を掲げていますが、名前との繋がりは作り話である可能性が高いようです。

<簡体字>

忍野荞麦面

忍野荞麦面是忍野村特有的一种面条。这里气候严寒，连小麦也无法生长，因此当地农民改种荞麦，并以此为原料制作荞麦面来代替乌冬。夏末秋初，成片盛开的荞麦花映衬着远处的巍巍富士，成为当地最具代表性的美景之一。

当地人认为，荞麦面胚的独特风味很大程度上有赖于富士山清澈的泉水。当地村民认为，忍野荞麦面从另一方面体现了长久以来，村落与源于富士山雨雪的泉水溪流之间的深厚渊源。

荞麦面是忍野的传统家常美食，对于很多当地人来说，也是难以忘怀的家乡味。忍野村共有 12 家忍野荞麦面店，各家均以独家技法烹饪荞麦面，配以传承多年的蘸汤，以及姜葱、芝麻等佐料。此外，烤味噌也是很受欢迎的配料。

<繁体字>

忍野蕎麥麵

忍野蕎麥麵是忍野村特有的一種麵條。這裡氣候嚴寒，甚至不適合小麥生長，因此當地農民改種蕎麥，並以此為原料製作蕎麥麵來代替烏龍麵。夏末秋初，成片盛開的蕎麥花映襯著聳立於遠處的富士，成為當地最具代表性的美景之一。

當地人認為，蕎麥麵團的獨特風味有很大程度上仰賴於富士山清澈的泉水。製作忍野蕎麥麵採用的水是富士山上的雨雪融化、彙聚而成的泉水，當地村民認為該道料理體現出村落與富士山的溪流之間有著深厚的淵源。

蕎麥麵是忍野的傳統家常美食，對於很多當地人來說，亦是難以忘懷的家鄉味。忍野村共有 12 家忍野蕎麥麵店，各家均以獨家技法烹飪蕎麥麵，配以傳承多年的醬汁，以及薑蔥、芝麻等佐料。此外，烤味噌是頗有人氣的配料。

<日本語仮訳>

忍野そば

忍野村には忍野そばという独特の麺料理があります。この場所の気候は小麦の栽培にさえ寒すぎるため、農家は小麦の代わりに蕎麦を栽培し、それを使ってうどんの代わりに蕎麦を作るようになったのです。夏の終わりから秋の始めにかけては、そばの花が咲き誇る畑の向こうに見える富士山の景色はこの村を代表する魅力のひとつです。

地元の人々は、富士山のきれいな湧水を使うことが、生地にしっかりとした風味を与えるのに非常に重要だと考えています。忍野そばは、長年にわたる村と富士山の雪や雨を水源とする泉や溪流とのつながりを表す、もうひとつの表現手段だと村の人たちは考えています。

そばは忍野の伝統的な家庭料理で、地元の人々の多くにとって、今でも懐かしい家庭の味です。忍野村には 12 軒ほどの忍野そば店があり、そのそれぞれが独自の調理法や長年変わることのないレシピで作ったつけ汁と薬味を添えたそばを提供しています。また、焼き味噌も人気のトッピングです。

<簡体字>

乘坐巴士游富士五湖

富士五湖地区有多条巴士线路。河口湖火车站始发的巴士线路分为红、绿、蓝三条，能满足游客的不同需求。

红色线路：每小时 4 班，从河口湖大桥南端至北侧的河口湖自然生活馆，沿河口湖湖岸行驶。14 号至 17 号巴士站间的东北湖岸上有河口湖八音盒之森美术馆、久保田一竹美术馆等多座美术馆和博物馆。

绿色线路：每小时 2 班，沿河口湖南岸向西行驶，途经富士御室浅间神社、西湖周边和宁静的青木原树海。在 45 号站下车后可前往西湖蝙蝠穴，51 号站下车后可前往富岳风穴。

蓝色线路：每小时 1 班，经过西湖后，沿着精进湖蜿蜒的北岸向西行驶，最后到达本栖湖。86 号站是抱子富士观景点，前往全景观景台只需从 88 号巴士站步行一小段。

富士吉田—忍野—山中湖环游巴士：从河口湖火车站向东穿过忍野地区，途经忍野八海，周游山中湖。

富士山世界遗产环线巴士：经过御师住宅和河口浅间神社等历史遗迹时，车内会播放景点介绍，全程约 70 分钟。

<繁体字>

乘坐巴士遊富士五湖

富士五湖地區有多條巴士路線。從河口湖火車站出發的巴士路線分為紅、綠、藍三條，能滿足遊客的旅遊需求。

紅色路線：每小時 4 班，從河口湖大橋南端至北側的河口湖自然生活館，沿河口湖湖岸行駛。14 號至 17 號巴士站間的東北湖岸上有河口湖音樂盒之森美術館、久保田一竹美術館等多座美術館和博物館。

綠色路線：每小時 2 班，沿河口湖南岸向西行駛，途經富士御室淺間神社、西湖周邊和寧靜的青木原樹海。在 45 號站下車後可前往西湖蝙蝠穴，51 號站下車後可前往富嶽風穴。

藍色路線：每小時 1 班，經過西湖後，沿著精進湖蜿蜒的北岸向西行駛，最後到達本栖湖。86 號站是孢子富士觀景點，前往觀景台則要從 88 號巴士站步行一小段。

富士吉田－忍野－山中湖環遊巴士：從河口湖火車站向東穿過忍野地區，途經忍野八海，周遊山中湖。

富士山世界遺產環遊巴士：經過御師住宅和河口淺間神社等歷史遺跡時，車內會播放景點介紹，全程約 70 分鐘。

<日本語仮訳>

バスによる富士五湖観光

富士五湖地域には多様なバス路線網が用意されています。河口湖駅から出発する 3 色に分けられたバス路線は、観光客のニーズに合うよう設定されています。

レッドラインは、河口湖大橋の南端から北側の河口湖自然生活館まで、河口湖の湖岸に沿うように走っています。14 番から 17 番停留所までの北東の湖岸に沿った路線には、オルゴールを展示している河口湖オルゴールの森美術館や、久保田一竹美術館など複数の博物館・美術館があります。レッドラインバスは、1 時間に 4 本運行しています。

1 時間に 2 本運行している**グリーンライン**は、河口湖の南岸に沿って西方向に走り、富士御室浅間神社を通り過ぎ、西湖の周囲を通り、のどかな青木ヶ原樹海を通り抜けます。西湖コウモリ穴へは 45 番停留所で、富岳風穴へは 51 番停留所でそれぞれバスを下車します。

ブルーラインは、本栖湖に戻る前に西湖を通り過ぎて精進湖の曲がりくねった北岸をたどってさらに西へと向かいます。86 番停留所は子抱き富士ビューポイントで、パノラマ台は 88 番停留所から徒歩わずかかところにあります。ブルーラインバスは 1 時間に 1 本運行しています。

富士吉田・忍野・山中湖周遊バスは、河口湖駅から東に向かい、忍野エリアを通り抜け、忍野八海を通り、山中湖を周遊するバスです。

最後に、**富士山世界遺産ループバス**は、御師住宅や河口浅間神社などの史跡を通りながら音声ガイドで解説を聞くことができる、70 分間のコースです。

<简体字>

醍醐寺

广阔的佛教寺院醍醐寺坐落在京都市东南方，由圣宝（832-909，圆寂后以“理源大师”之名广为人知）于 874 年创建。寺院与日本皇室拥有千年以上的深厚渊源，在历代天皇的眷顾下蓬勃发展。醍醐寺作为佛教总本山之一而闻名，对于日本人而言，更是文化价值不菲的古刹。由于醍醐寺是真言宗醍醐派的总本山，故亦成为知名的“西国三十三所观音灵场”中最重要的朝拜圣地，同时更是平安时代传承至今的修验道当山派（融合佛教与山岳宗教两种信仰）的本山。

灵宝馆收藏的 75537 件国宝及 430 件重要文化财，因具有极高的历史价值，于 1994 年被选为联合国教科文组织的世界遗产。醍醐寺之名源于表现山泉水滋味的日语“醍醐味”，意为“本质纯粹”。

空海（774-835，圆寂后以“弘法大师”之名广为人知）曾确立真言密教，是日本最知名的僧侣，而圣宝大师即是其徒孙。日本的真言宗是传承至今的两大密教宗派之一（另一宗派则为藏传佛教），源自大乘（摩诃衍那）佛教衍生出的金刚乘教。据说，圣宝大师经佛陀指引来到圣水涌出之地，日后即在此处创建了醍醐寺。圣宝亦是修验道的开山始祖。

醍醐寺由三宝院、下醍醐、上醍醐三大区块构成，范围覆盖整座笠取山。山脚下的三宝院是醍醐寺历代住持的住处；另有下醍醐，该区域寺院众多、佛堂林立，构成醍醐寺的主要建筑群。下醍醐下方还有京都最古老的建筑“五重塔”，其附近是 1935 年落成的灵宝馆。灵宝馆内收藏寺宝，数千件贵重文书、佛像、画作等大量国宝会在常设展及不同时间的特别展中展出。上醍醐则坐落于笠取山山顶，由圣宝大师于 9 世纪开创。

醍醐寺有幸受醍醐、朱雀、村上三名笃信佛教的天皇眷顾，曾于 897 年至 967 年间被开发和扩建。然而 16 世纪时因遭遇应仁之乱及天灾，寺院大半被毁坏。不过日后丰臣秀吉（1537-1598）终结战国时代并一统天下，从武将晋升至关白的他大举翻修及改建醍醐寺，造就出今日所见之模样。

<繁体字>

醍醐寺

坐落在京都市東南方的醍醐寺，於 874 年由聖寶（832-909，圓寂後以「理源大師」之名廣為人知）創建，是占地甚廣的佛教寺院。寺院與日本皇室擁有千年以上的深厚交情，受歷代天皇的照應而繁盛昌隆。醍醐寺作為佛教總本山之一而聞名於世，對於日本人而言，更是文化價值不菲的古剎。由於醍醐寺是真言宗醍醐派的總本山，故亦成為知名的「西國三十三所觀音靈場」中最受重視的靈場，同時更是平安時代傳承至今的修驗道當山派（融合佛教與山岳宗教兩種信仰）的本山。

靈寶館收藏的 75537 件國寶及 430 件重要文化財，歷史價值極高，於 1994 年獲選為聯合國教科文組織的世界遺產。「醍醐寺」之名源自表現山泉水滋味的日語「醍醐味」，意為「本質純粹」。

空海（774-835，圓寂後以「弘法大師」之名廣為人知）曾確立真言密教，是日本最知名的僧侶，而聖寶大師即是其徒孫。日本的真言宗是傳承至今的兩大密教宗派之一（另一宗派則為藏傳佛教），源自大乘（摩訶衍那）佛教衍生出的金剛乘教。傳說中聖寶大師經佛陀指引來到聖水湧出之地，日後即在該處創建了醍醐寺。聖寶亦是修驗道的開山始祖。

醍醐寺由三寶院、下醍醐、上醍醐三大區塊組成，範疇涵蓋整座笠取山。山腳下的三寶院，是醍醐寺歷代住持的住所；另有下醍醐，該區域寺院眾多、佛堂林立，構成醍醐寺的主要建築群。下醍醐下方還有京都最古老的建築「五重塔」。其附近是 1935 年落成的靈寶館。館中內藏寺寶，依時節會舉辦不同的常設展及特別展，展品包括數千件貴重文書、佛像、畫作等大量國寶。上醍醐則位於笠取山山頂，由聖寶大師於 9 世紀開創。

醍醐寺有幸受醍醐、朱雀、村上三名篤信佛教的天皇照應，曾於 897 年至 967 年間被開發、擴建。然而 16 世紀時因逢應仁之亂及天災，寺院大半遭毀壞。不過日後豐臣秀吉（1537-1598）終結戰國時代並一統天下，從武將晉升至關白的他大舉翻修及改建醍醐寺，造就出今日所見的模樣。

<日本語仮訳>

醍醐寺

醍醐寺は、京都市の南東部にある広大な仏教寺院です。874年に聖宝（832-909、死後理源大師として知られる）によって創建されました。代々の天皇の庇護の下で繁栄を遂げた、1000年以上にわたり皇室とのゆかりを持つ名刹です。世界的にも仏教の本拠地として知られ、日本人にとっても文化的な価値の高い寺として位置づけられています。醍醐寺は真言宗醍醐派の総本山であり、名高い西国三十三所観音霊場の中でも最も重要な霊場とされています。同時に、平安時代から続く仏教と山岳宗教の習合である修験道当山派の本山でもあります。

霊宝館には75,537点の国宝、430点の重要文化財が収蔵されており、その価値ある歴史に鑑み1994年にユネスコの世界遺産に登録されました。醍醐寺の名称は、山の泉の水の味を表現する言葉であった、純粋な本質を意味する日本語の「醍醐味」に由来します。

聖宝大師は、真言密教を確立した日本で最も有名な僧である空海（774-835、死後、弘法大師として知られる）の孫弟子です。日本における真言宗は、大乘（マハヤナ）仏教から派生した金剛乗教にルーツを持つ、今なお残る密教の2つの宗派のうちのひとつです（もうひとつはチベット仏教）。伝説によると、聖宝大師は仏によって聖なる水が湧き出る場所に導かれ、そこに醍醐寺を建立したと言われています。聖宝は修験道の祖でもあります。

三宝院、下醍醐、上醍醐の3つの区画から成る醍醐寺は、笠取山全体を寺域としています。山の麓にあるのは、醍醐寺の歴代の座主が居住する三宝院と、醍醐寺の主要な建造物群を成す寺院やお堂が立ち並ぶ下醍醐です。下醍醐の下方には、京都の最も古い建造物である五重塔があります。近くにある1935年に落成した霊宝館には寺宝が収蔵されており、何千点もの貴重な文書や仏像、絵画を含む非常に数多くの国宝が常設展や季節ごとの特別展で展示されています。笠取山の頂上には、上醍醐と呼ばれる聖宝大師が9世紀に開創した場所があります。

醍醐寺は敬虔な仏教徒だった醍醐、朱雀、村上の3人の天皇の庇護のもと、897年から967年の間に開発、拡張されました。16世紀に入り応仁の乱や自然災害などで寺の大部分は荒廃してしまいましたが、戦国時代を終結させ天下を統一した武将であり後に関白となった豊臣秀吉(1537-1598)によって、現在の姿に大々的に修復&改築されました。

<简体字>

三宝院（国宝）

三宝院由醍醐寺第 14 代住持胜觉僧正（1057-1129）于 1115 年兴建，供住持起居之用。目前的建筑是当时作为 16 世纪修复计划的一环，由丰臣秀吉（1537-1598）于 1598 年重建而成。超过半数的建筑后来均被日本政府指定为“重要文化财”。“三宝院”之名源于梵文“triratna”的日文译名“三宝”，意指佛教概念“佛、法、僧”。

三宝院内建筑林立，庭园面积超过 5000 平方米。其中的表书院是桃山时代（1568-1600）建筑及装饰风格的典型代表。拉门上的画作饰以金箔，与早前流行的质朴韵味迥然不同。

三宝院庭园是日本国家特别史迹，亦是特别名胜。庭园的设计独具匠心，可通过最佳的视觉效果于室内欣赏到绝美外景。1598 年，丰臣秀吉举办了赫赫有名的赏樱盛会“醍醐花宴”，其后他借此机会，亲自设计并改建了三宝院。时至今日，三宝院依然是颇具人气的赏花之地，而庭园中的石块、池塘、瀑布、青苔等共同构成的自然风景，充满了日本园艺设计的传统元素。

<繁体字>

三寶院（國寶）

1115年，醍醐寺第14代住持勝覺僧正（1057-1129）興建三寶院，供住持起居之用。目前的建築是當時作為16世紀修復計劃的一環，由豐臣秀吉（1537-1598）於1598年重建而成。大半建築日後均被日本政府指定為「重要文化財」。「三寶院」的名稱取自梵文「triratna」的日文譯名「三寶」，意指佛教概念「佛、法、僧」。

三寶院由多棟建築及廣達5000平方公尺的庭園構成。以表書院為例，其桃山時代（1568-1600）的建築樣式及裝潢風格，便頗為典型。拉門上的畫作飾以金箔，與早前流行的質樸韻味迥然不同。

三寶院庭園是日本國家特別史跡，亦是特別名勝。庭園的設計獨具匠心，可透過最佳的視覺效果於室內欣賞到絕美外景。1598年，豐臣秀吉舉辦了赫赫有名的賞櫻盛會「醍醐花宴」，其後他藉此機會，親自設計並改建了三寶院。時至今日，三寶院依然是熱門的賞花景點，而庭園中的石塊、池塘、瀑布、青苔等共同刻畫出的大自然風景，充滿了日本園藝設計的傳統元素。

<日本語仮訳>

三宝院（国宝）

三宝院は醍醐寺の14代座主、勝覚僧正(1057-1129)によって1115年に住職用の住居として建てられました。現在の建物は、豊臣秀吉(1537-1598)による16世紀の大改修の一環として1598年に再建されたもので、その建造物の大半が国の重要文化財に指定されています。「三宝院」という名前はサンスクリット語の「triratna」の日本語訳である「三宝」に由来し、これは「仏・法・僧」を指す仏教の概念です。

三宝院は、複数の建物と5,000平方メートルを超える庭園から成ります。表書院は、桃山時代(1568-1600)の建築と装飾の典型的な例です。襖絵は金箔で装飾されていますが、これはそれ以前の時代に好まれていた、より地味な装飾品とは一線を画しています。

国の特別史跡・特別名勝として両方に指定された庭である三宝院庭園は、内側から眺めたときに最も視覚的な効果が発揮できるよう設計されています。1598年、桜の季節に有名な大宴会「醍醐の花見」を開催し、その機会に三宝院を改装した豊臣秀吉が自ら設計したものです。今日でも花見の人気スポットであり、庭園には理想化された自然の世界を表現する石、池、滝、苔など、日本の園芸デザインの伝統的な要素が見受けられます。

<简体字>

灵宝馆

位于下醍醐境内的灵宝馆是一座博物馆，兴建于 1935 年，专门用于收藏寺内的 7 万余件国宝及其他宝物。其藏品规模宏大，曾于世界各地的大型展览中展出，向世人传递日本佛教美术及其文化之精髓。灵宝馆会于每年春秋两季各举办一次特别展，由馆内专家及知名博物馆的“学艺员”（类似策展人）指导，极具参观价值。

木造金箔的药师三尊坐像堪称醍醐寺最大型的国宝，亦是常设展示的亮点之一。本尊药师如来的两侧安放日光菩萨与月光菩萨。药师如来能治病除苦，因此佛教一经传入日本，对药师如来的信仰便迅速普及开来。本尊造于 913 年，被视作京都最古老的佛像，采用平安时代（794-1185）中期的贞观样式，将药师如来的慈悲之心再现于世人眼前。佛像的细腻衣褶与魁梧身材对比鲜明，令人印象深刻。佛像原本位于山顶之上的药师堂，后为避免干燥环境对其造成影响，由人工搬运至灵宝馆，目前一年四季皆可瞻仰。

在常设展示的佛像中，更为重要的当属五大明王木像。佛像本位于上醍醐五大堂，后移入灵宝馆。在佛教艺术中，明王常身具多臂，手持武器或动物，面露怒容，呈现佛陀智慧及慈悲，镇压诸般邪恶欲望。雕像为等身尺寸，采用单块扁柏木雕刻而成，具备平安时代（794-1185）初期特征，不过衣褶的表现手法却较为公式化，因此亦或许出自于 11 世纪。其动作激昂却不失平衡，灵动中富有生气。这组“重要文化财”以其独特罕见的纤细肢体而闻名遐迩。真言宗中，明王的地位举足轻重，仅次于佛陀及菩萨。

各明王分别代表着不同的美德、恩惠和基本方位。其中，不动明王坐镇中央，手持麻绳与宝剑，周围则环绕着军荼利明王（南）、大威德明王（西）、金刚夜叉明王（北）、降三世明王（东）。大威德明王是平安时代（794-1185）的作品，其他的则是江户时代（1603-1867）初期的产物。

于灵宝馆盛开的“醍醐大垂枝樱”身干挺拔，树龄高达 180 年。馆内还植有超过 40 株樱花树，据推断，其中有着 100 年树龄的染井吉野樱在京都同品种中，堪称最古老的巨树。虽在 2018 年的台风中严重受损，不过日后依旧能刚毅矗立，继续绽放着迷人花朵。

<繁体字>

靈寶館

靈寶館是位於下醍醐境內的博物館，興建於1935年，專門用於收藏超過7萬件國寶及其他寶物。其收藏品規模宏大，曾於世界各國的大型展覽中展出，向世人傳遞日本佛教美術及文化的精髓。靈寶館會於每年春秋兩季各辦一次特別展，由館內專家及知名博物館的「學藝員（類似策展人）」指導，相當值得一觀。

木造金箔的藥師三尊坐像是醍醐寺最大型的國寶，亦是常設展示的焦點之一。本尊藥師如來的兩側安放著日光菩薩與月光菩薩。藥師如來能治病除苦，因此佛教一經傳入日本，對藥師如來的信仰便迅速普及開來。本尊造於913年，被視作京都最古老的佛像，採用平安時代（794-1185）中期的貞觀樣式，將藥師如來的慈悲之心復現於世人面前。佛像的細膩衣褶與魁梧身材形成鮮明對比，令人印象深刻。佛像原本位於山頂上的藥師堂，後為避免乾燥環境對其造成影響，以人工搬運方式移至靈寶館，目前一年四季皆可參觀。

更為重要的常設展示佛像，非五大明王的木像莫屬。佛像本位於上醍醐五大堂，後移至靈寶館。佛教藝術中，明王常身具多臂，手持武器或動物，面露怒容，呈現佛陀智慧及慈悲，鎮壓諸般邪念惡慾。雕像為等身尺寸，採用單塊檜木雕刻而成，具備平安時代（794-1185）初期特徵，不過衣褶的表現手法較制式化，因此亦可能是11世紀的產物。其動作激昂卻不失均衡，靈動中富有生氣。這組重要文化財以其獨特少見的纖細肢體而聞名於世。真言宗中，明王的地位不可估量，僅次於佛陀及菩薩。

各明王分別代表著不同的美德、恩惠和基本方位。坐鎮中央的雕像——不動明王，手持麻繩與寶劍。周圍則環繞著軍荼利明王（南）、大威德明王（西）、金剛夜叉明王（北）、降三世明王（東）。大威德明王是平安時代（794-1185）的產物，其他的則出自江戶時代（1603-1867）初期。

於靈寶館盛開的「醍醐大垂枝櫻」身幹挺拔，樹齡高達180年。館內還有超過40株櫻花樹。據推測，有著100年樹齡的染井吉野櫻是京都同品種中最古老的巨樹。雖然2018年的颱風對其造成過莫大創傷，不過日後卻依舊剛毅矗立，繼續綻放著迷人花朵。

<日本語仮訳>

霊宝館

下醍醐の境内にある博物館である霊宝館は、7 万点を超える国宝をはじめとする寺宝を収蔵する目的で 1935 年に建設されました。その壮大な収蔵物は世界各地の重要な展覧会でも展示されており、日本の仏教美術や文化の本質を伝えています。春と秋の年 2 回、霊宝館の専門家と有名な博物館の学芸員のチームが監修した特別展が開催され、見応えのある展示となっています。

醍醐寺の最も大きな国宝であり常設展示の目玉とされているのは、木造金箔の薬師三尊坐像です。本尊の薬師如来の両脇には、日光菩薩と月光菩薩がそれぞれ配置されています。病気を癒し、苦しみを除く薬師如来への信仰は、仏教が日本に紹介された直後から広まりました。913 年に制作された本尊は京都における最も古い仏像とされ、平安時代（794-1185）中期の貞観様式で薬師如来の慈悲の心を視覚的に再現しています。衣文線の繊細な彫りと力強い体つきとのダイナミックなコントラストも印象的です。元々安置されていた山の頂上の薬師堂から、乾燥から守るため人の手のみで霊宝館に移設され、年間を通して拝観できるようになりました。

さらに重要な常設展示の仏像の中に、五大明王の木像があります。これらは、上醍醐の五大堂から霊宝館に移されました。複数の腕で武器や動物を持つ姿で表現されることの多い明王は、邪悪な欲望を鎮めるべく仏の知恵と慈悲を怒りの形で表現しています。ヒノキの木をくり抜いて作られたこの実物大の彫像には平安時代（794-1185）初期の特徴が見られますが、より定型化された衣文線から 11 世紀のものである可能性もあります。激しい動きを表現しているにもかかわらず、調和の取れたダイナミックな流動性を実現しています。一連の重要文化財は、その細い手足の独特の表現方法で有名です。真言宗では、明王は仏陀、菩薩に次ぐ 3 番目に重要な仏と考えられています。

各明王は美德、恩恵、基本方位を表しています。中央を守る像は、縄と剣を持ち座っている不動明王です。その周りを、軍荼利明王（南）、大威徳明王（西）、金剛夜叉明王（北）、降三世明王（東）が囲んでいます。大威徳明王像は平安時代（794-1185）の作で、他の像は江戸時代（1603-1867）初期の作とされています。

霊宝館で咲き誇る「醍醐大しだれ桜」は、樹齢 180 年の大木です。霊宝館にはこの他にも 40 本以上の桜があります。推定樹齢 100 年のソメイヨシノはソメイヨシノとしては京都最古の大木です。2018 年の台風で大きな傷を受けましたが、その後も懸命に花を付けています。

<简体字>

上醍醐

醍醐寺境内首座寺院位于上醍醐，由圣宝于 9 世纪时兴建。进入笠取山山脚的寺院境内，沿着杉林步道登向山顶，即可抵达上醍醐。上醍醐入口有一股涌泉，据说是灵水之源，传说中，圣宝正是因该泉而选择此地作为创寺之地。灵水别名“醍醐水”，至今仍可供人饮用。

回顾平安时代（794-1185）开山之时所建的建筑，除了如今被指定为“国宝”的药师堂之外，还有诸多“重要文化财”。日后虽有不少建筑被烧毁或移迁别处，但从山顶的全景俯览图、起初的寺院布局，以及传说中的灵泉中，无不传递出原始遗迹的深厚底蕴，可谓无与伦比。

醍醐寺内供奉着另一尊远近闻名的菩萨——如意轮观音，位于如意轮堂内。如今的如意轮堂，与供奉理源大师坐像的开山堂一道，均由丰臣秀吉于 1606 年重建所成。

1940 年，五大堂重建完成，成为年代最新的佛堂之一。圣宝理源大师最初供奉的五大明王即是佛堂的象征。原本安置于药师堂及五大堂的雕像，目前可在灵宝馆参拜。

“奥之院”是位于上醍醐最深处的圣地，该地紧邻苦行僧修炼的洞穴，右侧则是山崖，参观者穿过开山堂右方的三座鸟居即可抵达。修验道的修行者为了开悟而在此修身，正视内心的烦恼杂念。例如在一种名为“窥视”（日文：覗き）的苦行中，修行者会在同伴的协助下，将自己悬吊于悬崖峭壁，以磨炼身心。

<繁体字>

上醍醐

醍醐寺境內首座寺院位於上醍醐，由聖寶於9世紀時興建。進入笠取山山腳的寺院境內，沿著杉林步道登上山頂，即可抵達上醍醐。上醍醐入口有一股湧泉，傳說是靈水之源，聖寶因而選擇此處作為創寺之地。靈水別名「醍醐水」，至今仍可供人飲用。

回顧平安時代（794-1185）開山之時所造的建築，除了如今被指定為「國寶」的藥師堂之外，還有許多「重要文化財」。雖日後有不少建築遭焚毀或移遷他處，但從山頂的全景俯覽圖、當初的寺院布局，以及傳說中的靈泉中，無不傳遞出原始遺跡的深沉底蘊，可謂無與倫比。

醍醐寺內奉祀著另一尊廣為人知的菩薩——如意輪觀音，位於如意輪堂內。如今的如意輪堂，與供奉理源大師坐像的開山堂一起，均是由豐臣秀吉於1606年重建而成。

1940年，五大堂重建完成，成為年代最新的佛堂之一。聖寶理源大師最初供奉的五大明王即是佛堂的象徵。原本安置於藥師堂及五大堂的雕像，目前可在靈寶館參拜。

可供參觀的「奧之院」是位於上醍醐最深處的聖地，該地緊鄰苦行僧修煉的洞窟，而右側則是山崖，穿過開山堂右方的三座鳥居即可抵達。修驗道的修行者為了開悟而在此修身，正視內心的煩惱雜念。例如在一種名為「窺視（日文：覗き）」的苦行中，修行者會在同伴的協助下，將自己懸吊於險峻斷崖，以磨鍊身心。

<日本語仮訳>

上醍醐

上醍醐は、9世紀に聖宝によって創建された最初の寺があった場所で、笠取山の麓の境内から杉林の並木道を登った山頂に位置しています。上醍醐の入り口には霊水の源と考えられている泉があり、言い伝えによるとこの泉があったために聖宝はここを開創の地に選んだとされています。醍醐水と呼ばれるこの霊水は、今でも飲むことができます。

開山時の平安時代（794-1185）に遡る建造物の中には、国宝に指定されている薬師堂があり、上醍醐内のその他多くの建物も重要文化財に指定されています。火災で焼失してしまったり移築されたものもありますが、山頂からのパノラマビューや当初の寺の配置、伝説の霊泉などから、比類のない原始の遺産を感じ取ることができます。

如意輪堂は、醍醐寺が祀るもうひとつの菩薩として知られる如意輪観音を奉安した建物で、理源大師坐像のある開山堂とともに、1606年に豊臣秀吉によって再建されました。

現在の五大堂は1940年に再建された最も新しい御堂のひとつですが、この建物は聖宝理源大師が元々奉納した五大明王を象徴するものです。かつて薬師堂と五大堂に安置されていた像は現在、霊宝館で参拝することができます。

来訪者がアクセスできる上醍醐の最も奥にある聖地は、苦行のための洞窟の隣に位置する奥の院で、右側には崖があり、開山堂右手の三重の鳥居を抜けたところにあります。ここで、修験道の行者は悟りに近づくために内なる苦悩とさらに向き合い、たとえば「覗き」の苦行では、仲間の行者によって険しい崖から吊り下げられます。

<简体字>

下醍醐

金堂 (国宝)

金堂是下醍醐的主佛堂，被日本政府指定为国宝。该建筑最初建于 926 年，在之后的 600 年间曾遭两次焚毁。尤其在应仁之乱最为严重的 1470 年，整座佛堂几乎被付之一炬。日后丰臣秀吉实施大幅改筑，金堂作为其中一环，由纪州（和歌山县）汤浅的满愿寺迁筑至此。

金堂的迁筑事例实属罕见。该建筑最初建于平安时代（794-1185），进入镰仓时代（1185-1333）后，曾在纪州被修复，最后于桃山时代（1568-1600）重建。正因其历经 3 个不同的时代，方使如今的金堂展现出各时期建筑特色于一身的样貌。

金堂内药师如来坐镇中央，日光菩萨与月光菩萨随侍两侧，另有随金堂一同迁入的四大天王守护神像。四大天王像精雕细琢，充满男性力量之美，据说造于镰仓时代（1185-1333）初期，然而持国天王与增长天王或许是后来增设的雕像。整件作品流露出平安时代（794-1185）的沉稳风格，据学者推测，作者应来自于以奈良为主要活动中心的禅宗工坊。

醍醐寺的僧侣会在金堂内举行诵经等惯常的佛教活动，其中最知名的仪式非每年 2 月 23 日举办的“五大力尊仁王会”（另有耳熟能详的别名“五大力”）莫属，其历史可追溯至 907 年。仪式前，逾千名的全体僧侣将在佛堂祈祷求愿，而这一过程会持续一周。普通民众亦可参与该项仪式前的法会，一同祈祷。“五大力”的一大亮点是“举年糕”比赛，参赛者需举起巨大“镜饼”（日本年糕的一种），最持久者胜出。在五大明王的庇佑下，男女需各举起 150 公斤及 90 公斤的镜饼，奉献一己之力，以祈求无病消灾、身体安康。

<繁体字>

下醍醐

金堂（國寶）

金堂是下醍醐的主要佛堂，被日本政府指定為國寶。該建築最早於 926 年落成，之後的 600 年間曾遭兩次焚毀。尤其於應仁之亂中的 1470 年，整座佛堂幾乎付之一炬。日後豐臣秀吉實施大幅改建，金堂作為其中一環，由紀州（和歌山縣）湯淺的滿願寺遷築至此。

金堂的遷築事例實屬罕見，依據其遷築遺跡可回溯至建造之初的平安時代（794-1185）、修復時紀州時期的鎌倉時代（1185-1333），以及重建時的桃山時代（1568-1600）。正因曾歷經 3 個不同時代，方使如今的金堂展現出各時期建築特色於一身的樣貌。

金堂內供奉藥師如來坐像，日光菩薩與月光菩薩隨侍左右，另有隨金堂一同遷入的四大天王守護神像。四大天王像雕工精緻，饒富男性力量之美，據信造於鎌倉時代（1185-1333）初期，然而持國天王與增長天王有可能是後來增設的雕像。整件作品流露出平安時代（794-1185）的穩重風格，據學者推測，作者應來自於以奈良為主要活動中心的禪宗工坊。

金堂內，醍醐寺的僧侶會舉行誦經等慣常的佛教活動，其中最知名的儀式當屬每年 2 月 23 日舉辦的「五大力尊仁王會」（另有耳熟能詳的別名「五大力」），其歷史可追溯至 907 年。儀式前，逾千名的全體僧侶將花費一整週的時間，在佛堂祈禱求願。一般民眾亦可參加該項儀式前的法會，一同祈禱。「五大力」的一大亮點是「舉年糕」比賽，參賽者需舉起巨大「鏡餅（日本年糕的一種）」，最持久者勝出。在五大明王的庇護下，男女需各舉起 150 公斤及 90 公斤的鏡餅，奉獻一己之力，以祈求無病消災、身體健康。

<日本語仮訳>

下醍醐

金堂（国宝）

金堂は下醍醐の中心なお堂であり、国宝に指定されている建物です。もともと 926 年に建てられましたが、創建後 600 年の間に 2 回焼失しています。特に応仁の乱の最中の 1470 年にはお堂のほとんどが壊滅的な被害を受けてしまいました。現在の金堂は豊臣秀吉によって進められた大改修の一環として、紀州(和歌山県)湯浅の満願寺から移築されました。

その異例の移築の痕跡は、建築当初の平安時代（794-1185）、修復が行われた紀州にあった時期の鎌倉時代（1185-1333）、そして再建された桃山時代（1568-1600）という、異なる 3 つの時代の建築様式の要素が混在する形で残っています。

金堂には日光菩薩と月光菩薩を両脇に配した薬師如来三尊坐像が安置されています。さらに、金堂移築時に同時に移された四天王像も安置されています。この四天王像はその細やかで精緻な彫りや、特に力強く男らしさがみなぎる守護神としての姿から鎌倉時代（1185-1333）初期のものとされていますが、持国天と増長天は後年追加されたものである可能性があります。作者は奈良を中心に活動していた禅宗の工房に属していたと考えられ、平安時代（794-1185）の作風を残した穏やかな風情が特徴です。

金堂では醍醐寺の僧による読経など通常の仏教行事が営まれますが、中でも最も有名なのが毎年 2 月 23 日に行われ「五大力さん」として親しまれている、907 年まで遡る歴史を持つ「五大力尊仁王会」です。この行事に先駆けて一週間、のべ 1000 人以上の全僧侶が堂で祈祷、祈願を行います。この前行法要には一般の方も参列し、祈りに参加することができます。「五大力さん」の目玉行事が、男女がそれぞれ巨大な餅を持ち上げ時間を競う「餅上げ」です。五大明王の靈験を授かり男性は 150 キロ、女性は 90 キロの餅を抱えてその力を奉納し、無病息災、身体堅固を祈ります。

<简体字>

五重塔（国宝）

国宝五重塔是京都现存最古老的木造建筑。936 年，朱雀天皇为其父醍醐天皇祈祷冥福，着手兴建五重塔，历经 15 年竣工。此塔高 38 米，而塔顶 13 米的相轮（塔顶上方的金属部分）约占全塔高度的三分之一，尽显平安时代（794-1185）佛塔的庄严氛围。塔的底层内部墙壁绘有被指定为国宝的壁画。

壁画之一的“两界曼荼罗”在真言宗中广为人知，以图解形式描绘了金刚界与胎藏界的型态。金刚界诠释永恒不变的宇宙法则，胎藏界则诠释佛性的原动力。二者结合即为两界曼荼罗，象征日本密教形而上学的重要阶段。

另一幅壁画描绘的是真言宗祖师“真言八祖”。真言宗的一大特征，便是由师父亲自向弟子传授始祖创立本教的由来及其教义。这幅绘制于佛塔中央的壁画，大大提升了寺院的整体价值。两幅壁画弥足珍贵，是 10 世纪平安时代佛教的代表画作，同时亦象征着密教的重要教义。

<繁体字>

五重塔（國寶）

國寶五重塔是京都現存最為悠久的木造建築。936 年，朱雀天皇為其父醍醐天皇祈禱冥福，著手興建五重塔，歷經 15 年竣工。該塔塔高 38 公尺，其中塔頂 13 公尺的相輪（塔頂上方的金屬部分），約占全塔高度的三分之一，盡顯平安時代（794-1185）佛塔的莊嚴肅穆。塔的首層內部牆壁繪有被指定為國寶的壁畫。

壁畫之一的「兩界曼荼羅」在真言宗中廣為人知，以圖解形式描繪了金剛界與胎藏界的型態。金剛界示範永恆不變的宇宙原則，胎藏界則示範佛性的原動力。兩者結合即成兩界曼荼羅，象徵日本密教形上學的重要階段。

另一幅壁畫的主題則是真言宗祖師「真言八祖」。真言宗的一大特徵，便是由師父親自向弟子傳授始祖創立本教的由來及其教義。此壁畫繪製於佛塔中心，令寺院整體價值大為提升。兩幅彌足珍貴的壁畫，是 10 世紀平安時代的佛教代表畫作，同時亦象徵著密教的重要教義。

<日本語仮訳>

五重塔（国宝）

国宝である五重塔は、現存する京都で最も古い木造建築物です。936年に朱雀天皇が父の醍醐天皇の冥福を祈り五重塔建設に着手し、15年後に完成しました。塔の高さは38メートルで、その約3分の1にあたる13メートルを塔の頂部である相輪が占めており、平安時代（794-1185）の塔らしい荘厳な印象を与えています。初層内部には国宝に指定されている壁画が描かれています。

壁画のうちの一つは真言宗の最も有名な曼荼羅である、金剛界と胎蔵界を図式化した両界曼荼羅です。金剛界は変わることのない宇宙の原則を示し、胎蔵界は仏性の原動力を示しています。この二つを組み合わせた両界曼荼羅は、日本における密教の形而上学的に重要な段階を象徴するものです。

もう一つの壁画は真言宗の祖師を描いた真言八祖です。始祖とその教えを直接師から弟子へと伝える方法は、真言宗の重要な特徴です。塔の中心にこの壁画が描かれていることで寺の価値が高められており、2つの壁画はどちらも平安時代である10世紀にさかのぼる珍しい仏教絵画を代表すると同時に、密教の重要な教えを象徴しています。

<简体字>

清泷宫本殿（重要文化财）

清泷宫本殿是一座“镇守社”（祭祀镇守之神的神社），供奉醍醐寺总镇守清泷权现与真言宗密教的佛陀。目前的建筑于 1517 年落成，建于被烧毁的原建筑之上。清泷宫本殿的对面是朝拜本殿的清泷宫“拜殿”（一般信众参拜的建筑），兴建于 16 世纪后半叶。本殿与拜殿各自独立的建筑式样源自神道教的传统。为避免俗人擅闯神明居住的圣域，故另建拜殿。全日本的神社几乎皆遵循这一做法。

本殿的镇守神清泷权现，是空海（774-836）从中国传入日本的守护神。她是海与雨的造物主——印度的袈伽罗龙王之第三龙女。当她前往中国，在空海的传法师傅惠果居住的青龙寺守护密教之时，巧遇空海，于是便与空海一同东渡日本。据说空海入定（静坐修行）后，圣宝开创上醍醐，并立下在此广传密教之愿，清泷权现便降临此山，镇守寺院。清泷权现在中国时名为“青龙”，后改为加上三点水的“清泷”，意指其渡海飞来。另一方面，“权现”字面意为“化身”，表示发祥于海外的神或佛以暂时的姿态“转世”为日本的神祇。因此近代以前的日本佛教会将国外传入的教义与本土信仰融合，试图使佛教的佛性与神道的神性合二为一。

每年 4 月 1 日至 21 日是“清泷权现樱花会”，期间会举办各式法会及盛典。其中，祭祀神祇的樱花盛典渊远流长，重现了太阁丰臣秀吉（让权后的秀吉）举办樱花盛宴时的场景，是春日京都值得一观的活动之一。届时身穿传统服饰的一列长队会于寺内缓步游行，其场面之壮观，吸引着全国众多游客纷至沓来。

<繁体字>

清瀧宮本殿（重要文化財）

清瀧宮本殿是一座「鎮守社（祭祀鎮守之神的神社）」，供奉醍醐寺總鎮守清瀧權現與真言宗密教的佛陀。目前的建築是於原建築焚毀後的1517年重建而成。清瀧宮本殿的對面是朝拜本殿的清瀧宮「拜殿（一般信眾參拜的建築）」，興建於16世紀後半。本殿與拜殿各自獨立的建築樣式來自神道教的傳統。為避免俗人擅闖神明棲身的聖域，故另興建拜殿。日本全國幾乎所有神社皆採取這種做法。

本殿的鎮守神清瀧權現，是空海（774-836）從中國傳入日本的守護神。祂是海與雨的造物主——印度的袞伽羅龍王之第三龍女。當祂前往中國，在空海的傳法師傳惠果居住的青龍寺守護密教時，巧遇空海，便與空海一同東渡日本。據說空海入定（靜坐修行）後，聖寶開創上醍醐，並立下在此廣傳密教之願，清瀧權現因而降臨此山，鎮守寺院。清瀧權現尚在中國時名為「青龍」，後改為加上三點水的「清瀧」，意指其渡海飛來。另一方面，「權現」字面意思為「化身」，表示發祥於海外的神或佛以暫時的姿態「轉世」為日本的神祇。因此近代以前的日本佛教會將國外傳入的教義與本土信仰融合，試圖使佛教的佛性與神道的神性合二為一。

每年4月1日至21日是「清瀧權現櫻花會」，期間會舉辦各種法會及祭典。其中，祭祀神祇的櫻花祭典淵遠流長，重現了太閤豐臣秀吉（讓權後的秀吉）舉辦櫻花盛宴時的場景，是春日京都值得一看的活動之一。屆時身穿傳統服飾的一列長隊會於寺內緩步行進，其場面之壯觀，吸引著全國眾多觀光客接踵而至。

<日本語仮訳>

清瀧宮本殿（重要文化財）

清瀧宮本殿は、醍醐寺の総鎮守清瀧権現(せいりゅうごんげん)と真言密教の仏を祀る鎮守社です。現在の建物は最初の建物が焼失した後、1517年に建てられました。清瀧宮本殿の向かいには、16世紀後半に建てられた本殿を拝する清瀧宮拝殿があります。本殿と拝殿が分けて建てられるのは神道の伝統に則ったもので、神の住まいを聖域とし簡単に入れないようにするために別途拝殿が建てられています。日本全国のほとんどの神社でこの方式が採択されています。

鎮守である清瀧権現は、空海（774-836）によって中国から日本に伝来しました。海や雨の創造主であるインドの娑伽羅龍王の第三女の清瀧権現は、中国に行き、空海の師匠恵果の住む青龍寺で密教を守護していたところ、空海と遭遇し、彼とともに日本に渡ったとされています。空海入定後に、聖宝が上醍醐の地に於いて密教弘通の請願を立てたので、この山上に飛来して鎮座したといわれています。なお、清瀧権現は中国にいた頃、「青龍」という名でしたが、この名に水を加えて清瀧の文字で示すことになった理由は、海を渡って飛来したためとされています。一方、「権現」は文字通りの意味は「化身」であり、日本の神々が仮の姿として「転生」した、海外発祥の神または仏を意味します。したがって近代以前の日本の仏教は、海外から取り入れた教えを土着信仰と調和させ、仏教の神性と神道の神性（神）を融合しようとするものでした。

毎年4月1日から21日にかけての清瀧権現桜会の期間には、様々な法要や祭りが開催されます。太閤秀吉が行った由緒ある桜の宴を再現し催される神を祀ったこの桜の祭りは、伝統的な衣装をまとった一行の長い行列が境内を練り歩く、全国から多くの観光客を集める壮大な行事で、京都の春の見どころのひとつです。

<简体字>

不动堂

不动堂位于散布着众多厅堂的下醍醐，造型小巧，供奉五大明王。除供奉明王之外，不动堂亦是焚烧护摩的坛场，以祈求世界和平与繁荣。其名取自五大明王中最为重要、位于正中央的“不动明王”。

不动明王本是起源于印度的古老神明，也是日本佛教中的守护神，更是山岳信仰的诸神之一。醍醐寺因与修验道关系密切，故不动明王的存在便随处可见。堂前举行的焚烧护摩仪式相当知名，熊熊烈火营造出的壮观景象，以及僧侣们浑厚有力的祈祷幻生出的神秘之音——这些皆堪称非凡体验。仪式上，还时常可见信众专注聆听之姿。

<繁体字>

不動堂

不動堂位於散布著眾多廳堂的下醍醐，造型小巧，供奉五大明王。除祭祀明王之外，不動堂亦是焚燒護摩的壇場，以祈求世界和平與繁榮。其名取自五大明王中地位最為重要、位於正中央的「不動明王」。

不動明王本是起源於印度的古老神明，不過在日本佛教中，祂不僅是守護神，更在山岳信仰的神祇中占有一席之地。醍醐寺因與修驗道關係緊密，故不動明王的存在便隨處可見。堂前舉行的焚燒護摩儀式相當知名，熊熊烈火營造出的壯觀景象；僧侶們渾厚有力的祈禱幻生出神秘之音——這些都可謂非凡體驗。儀式上，還時常可見信眾專注的聆聽之姿。

<日本語仮訳>

不動堂

不動堂は、数々の堂宇が点在する下醍醐にある、五大明王を祀る小さなお堂です。ここは明王を祀る場所であるだけでなく、世界の平和や繁栄などを祈願するための護摩が焚かれる場所でもあります。建物は五大明王の中で最も重要で中央に配されている不動明王にちなんで名付けられました。

不動明王はインドを起源とする古来の神であるにもかかわらず、日本の仏教における守護神であるばかりでなく、山岳信仰の神のひとつとしての地位を確立しました。醍醐寺ではその修験道との結びつきから、不動明王が数多く見られます。堂前で焚かれる護摩は、視覚的に見事な火のスペクタクルとして、また、僧侶が行う力強い祈祷による神秘的なサウンドが体験できる行事として知られており、信者たちがしばしば耳を傾ける姿が見られます。

<简体字>

祖师堂

祖师堂由义演准后于 1605 年创建，他是彼时醍醐寺的住持，亦是 16 世纪大改筑工程的核心人物。堂内供奉着空海大师与开创醍醐寺的圣宝大师，两位伟大僧人的雕像便安置于此。

祖师堂原本作为真言宗寺院中最重要的佛堂之一，是僧尼修行生活的主要场所，醍醐寺的祖师堂也不例外。每年 6 月 15 日，祖师堂会举行“降诞会”，以纪念醍醐寺开山始祖圣宝之师——空海的诞辰日。

<繁体字>

祖師堂

祖師堂由義演准后於 1605 年創建，他是當時醍醐寺的住持，亦是 16 世紀大改建工程的核心人物。堂內供奉空海與開創醍醐寺的聖寶，兩位偉大僧人的雕像便安放於此。

祖師堂本是真言宗寺院中最重要的佛堂之一，也是僧尼修行生活的主要場所，醍醐寺的祖師堂亦不例外。每年 6 月 15 日，祖師堂會舉行「降誕會」，以紀念醍醐寺開山始祖聖寶之師——空海的誕辰日。

<日本語仮訳>

祖師堂

祖師堂は、当時の醍醐寺の座主であり、16 世紀の大改修の中心的人物であった義演准后によって 1605 年に建てられました。このお堂は空海と醍醐寺を開創した聖宝を祀ったもので、偉大な二人の僧の像が安置されています。

本来、祖師堂は真言宗の寺では最も重要な堂のうちのひとつで、僧や尼らの修行生活において中心的な役割を果たす場所です。醍醐寺の祖師堂も例外ではありません。醍醐寺開祖である聖宝の師にあたる空海の誕生日である、6 月 15 日に降誕会が営まれます。

<简体字>

观音堂

下醍醐的观音堂本以“大讲堂”之名闻名，然而收藏观音像的上醍醐准胝堂于 2008 年因雷击而遭焚毁，故本尊观音像被移至大讲堂，后得名“观音堂”。

观音像造于 1798 年，仅于每年 5 月公开，为期一周。由于宗教缘故及对神佛的敬畏，大多数日本寺院及神社对开启神龛帷幕皆有严格限制，观音堂亦是如此。另外，供奉有神圣雕像的神社通常门扉紧闭，“开扉式”即是为纪念神社难得打开正殿大门而举行的仪式。

堂内供奉多尊雕像，包括真言宗教义中占有中心地位的二佛。一是阿弥陀佛如来，他拥有无量光和无量寿，同时是净土宗及日莲宗的本尊。这尊阿弥陀佛如来像造于平安时代（794-1185）后期。二是大日如来，他是真言宗密教本尊，亦是宇宙化身。

观音堂是知名的“西国三十三所观音灵场”中第 11 处朝拜圣地，可在此获得准胝观音的御朱印。

<繁体字>

觀音堂

下醍醐的觀音堂本以「大講堂」之名為人所知，然而收藏觀音像的上醍醐准胝堂於2008年遭雷擊燒燬，本尊觀音像因而被移至新堂，其後獲「觀音堂」之名。

觀音像造於1798年，僅於每年5月公開，為期一週。由於宗教原因及對神佛的敬畏，大多數日本寺院及神社對開啟神龕帷幕皆有嚴格限制，觀音堂亦是其中一例。另外，供奉神聖雕像的神社通常門扉緊閉，「開扉式」即是為紀念神社難得打開正殿大門而舉行的儀式。

堂內供奉多尊雕像，包括真言宗教義中佔有中心地位的二佛。一是阿彌陀佛如來，祂擁有無量光及無量壽，同時是淨土宗和日蓮宗的本尊。這尊阿彌陀佛如來像造於平安時代（794-1185）後期。二是大日如來，祂是真言宗密教本尊，亦是宇宙化身。

觀音堂是知名的「西國三十三所觀音靈場」中第 11 處巡禮聖地，來客可在此獲得准胝觀音的御朱印。

<日本語仮訳>

観音堂

下醍醐の観音堂は元々大講堂として知られていましたが、2008 年に観音像が収蔵されていた上醍醐の准胝堂が落雷により焼失した際、本尊である観音像がこのお堂に移されたため、それ以来観音堂と呼ばれるようになりました。

1798 年に造られたこの観音像は、毎年 5 月に 1 週間だけ公開されます。厨子のとばりの開放は、宗教上の理由や神仏への敬意を表するため日本の多くの寺院や神社において厳しく制限されており、これもその一例です。ご開扉式は、神聖な像を収めた神社の扉の開放を記念して行われます。

お堂には、真言宗の教えの中心である 2 つの仏を含む複数の像が祀られています。ひとつめは、量り知れない光あるいは生命を持つ仏陀である阿弥陀如来です。阿弥陀如来は、浄土宗や日蓮宗の本尊でもあります。この阿弥陀如来像は平安時代（794-1185）後期に造られたものです。もうひとつは、真言密教の本尊であり宇宙そのものとされている大日如来です。

観音堂は、有名な西国三十三所観音霊場のうちの第 11 番札所でもあり、ここで准胝観音のご朱印が受けられます。

<简体字>

辩天堂

辩天堂供奉艺术与知识女神“辩才天”。辩才天是来自印度教及道教等其他宗教的福德众神“七福神”中唯一的女神，备受世人爱戴。七神可带来各异的恩德与财运，17 世纪后便以目前形象为人所知。辩才天源自与智慧、音乐、艺术相关的印度教女神，通常以弹奏琵琶的形象现身。

辩天堂建于 1930 年，以纪念醍醐天皇逝世满千年。该堂不向公众开放，仅可通过格栅欣赏内部祭坛，不过即便如此，辩天堂仍是醍醐寺中最知名的拍照景点之一。辩天堂采用朱红色的木材，在白墙的衬托之下，充满日本神道教的经典元素，可为信众消灾解厄。半圆拱桥下是鲤鱼池，坐落于树林之中，氛围庄严肃穆。尤其入秋后，枫叶与银杏叶红黄交映，更具魅力。不妨来古时高僧的起居处“寿庵”一边饮茶一边欣赏辩天堂，定能享受片刻的幸福时光。

<繁体字>

辯天堂

辯天堂供奉藝術與知識女神「辯才天」。辯才天是來自印度教及道教等其他宗教的福德眾神「七福神」中唯一的女神，備受世人喜愛。七神可招來各異的恩德與財運，17世紀後便以目前形象為人所知。辯才天源自與智慧、音樂、藝術相關的印度教女神，一般常以彈奏琵琶的模樣現身。

辯天堂建於 1930 年，以紀念醍醐天皇逝世滿千年。此堂不向公眾開放，只能透過格柵觀賞內部祭壇，不過即便如此，辯天堂仍是醍醐寺中最受推崇的拍照景點之一。辯天堂採用朱紅色的木材，在白牆的襯托之下，充滿了日本神道教的經典元素，可為世人消災解厄。半圓拱橋下是鯉魚池，坐落樹林之間，氛圍莊嚴肅穆。尤其入秋後，楓葉與銀杏葉紅黃交映，更加動人美麗。不妨來古時高僧的起居處「壽庵」一邊飲茶一邊欣賞辯天堂，必然能享受片刻的幸福時光。

<日本語仮訳>

弁天堂

弁天堂には芸術と知識の女神である弁財天が祀られています。弁財天は、ヒンドゥー教や道教をはじめとした他の宗教に由来する福德の神の集まりである、有名な七福神の中の唯一の女性神として人気があります。七人の神にはそれぞれ異なる徳やご利益があり、17世紀以来現在の形で知られるようになりました。弁財天は知恵、音楽、芸術に関連するヒンドゥー教の女神に由来しており、通常琵琶を演奏している姿で描かれます。

弁天堂は、醍醐天皇一千年御忌を記念して1930年に建てられました。一般公開はされておらず格子を通して内側の祭壇が見えるだけであるにも関わらず、弁天堂は醍醐寺の中でも最も写真映えのするスポットのひとつとして有名です。白壁に朱色の木材といった、日本の神道の典型的な要素を持つ弁天堂は、災厄を追い払うと信じられています。反り橋のかかる鯉が泳ぐ池が中心にあり、木々に囲まれているこの場所は、荘厳な雰囲気にも包まれています。特にカエデやイチョウの葉が黄色や赤に色づく秋が人気です。かつて高僧の宿舎であった「寿庵」でお茶をしながら弁天堂を眺めるのも、また至福のひとつに違いありません。

<简体字>

西大门

西大门位于醍醐寺主要寺院群“下醍醐”入口，收藏两尊仁王像。现存的门由丰臣秀吉（1537-1598）之子丰臣秀赖（1593-1615）于1605年重建而成。

两尊仁王像分立于大门两侧，作为东亚佛教寺院入口的守护神而广为人知。雕像于1134年落成，流露出平安时代沉稳庄重的雕刻风格，被指定为日本的“重要文化财”。而雕像不怒自威的握拳姿态及壮硕的肌肉线条，则是镰仓时代以后常见的仁王像特征。

两位仁王中，一王张口，另一王闭口，这一极具象征意义的举动相当耐人寻味。此种源自古印度文化中的音节“阿”与“吽”，象征宇宙的始与终、生与死，被纳入真言宗的信仰中。其实这与基督教中表示神性的希腊字母“阿耳法”和“敖默加”亦极为相似。

两尊雕像最早设置于已不复存在的南大门，日后才改迁至西大门。

<繁体字>

西大門

西大門位於醍醐寺主要寺院群「下醍醐」入口，收藏兩尊仁王像。現存的門是由豐臣秀吉（1537-1598）之子豐臣秀賴（1593-1615）於 1605 年重建而成。

兩尊仁王像分立於大門左右，氣勢威嚴，是知名東亞寺院入口守護神。雕像於 1134 年落成，被指定為日本的「重要文化財」，保有平安時代流行的穩重風格。而雕像不怒自威的握拳姿態及壯碩的肌肉線條，則是鎌倉時代後常見的仁王像特徵。

「一仁王張口，另一仁王閉口」——這一極具象征性的舉動相當耐人尋味。此種源自古印度文化中的音節「阿」與「吽」，象徵宇宙的始與終、生與死，隨即被納入真言宗的信仰中。其實這與基督教中示範神性的希臘字母「阿耳法」和「敖默加」亦極為相似。

兩尊雕像最早設置於已不復存在的南大門，日後才遷至西大門。

<日本語仮訳>

西大門

西大門は、醍醐寺の主要な伽藍である下醍醐の入り口にあり、仁王像 2 体を収蔵している門です。現在の門は 1605 年に豊臣秀吉(1537-1598)の息子である豊臣秀頼 (1593-1615) によって再建されたものです。

門の両側には、東アジアの仏教寺院の入り口を守る神として知られる、重要文化財に指定されている二体の仁王像が安置されています。1134 年に制作されたこれらの像は、平安時代の穏やかな彫刻様式の特徴を有しています。ちなみに、怒りがみなぎる握り拳や強調された筋肉表現は、鎌倉時代以降の仁王像によく見られます。

仁王の一人は開け、もう一人は閉じているという象徴的な口の動きも興味深い特徴です。これは、古代インドの文化の起源とする「阿(あ)」と「吽(うん)」という音節を示すものであり、宇宙の最初と最後、生と死を象徴するものとして真言宗に取り入れられました。これは、キリスト教における神性を示すためにギリシャ文字のアルファとオメガが使われることに非常に似ています。

これらの尊像は、現存しない南大門から移されたものです。

<簡体字>

真如三昧耶堂

真如三昧耶堂作为下醍醐区域内最新的佛堂之一，于 1997 年落成并举行请佛仪式。此处原是法华三昧堂，顺应朱雀天皇（923-952，在位期间 930-946）的意愿于 10 世纪 40 年代创建，后在应仁之乱最为严重的 1470 年被焚毁，成为当今佛堂的前身。

真如三昧耶堂内，本尊释迦牟尼涅槃佛像，刻画出其圆寂的姿态。世界各派佛教正典中皆有此教义与佛像的印迹。

<繁体字>

真如三昧耶堂

真如三昧耶堂作為下醍醐區域內最新的佛堂之一，於 1997 年落成並舉行請佛儀式。此處本是法華三昧堂，順應朱雀天皇（923-952，在位期間 930-946）的意願於 940 年代創建，後在應仁之亂中的 1470 年被燒燬，成為目前佛堂的前身。

真如三昧耶堂內，本尊釋迦牟尼涅槃佛像，刻畫出其圓寂的姿態。全球各派佛教正典中皆保有此教義與佛像的印跡。

<日本語仮訳>

真如三昧耶堂

真如三昧耶堂は下醍醐の境内の最も新しいお堂の一つで、1997 年に献堂されました。もとは朱雀天皇（923-952、在位 930-946）の願いにより 940 年代に創建され、応仁の乱の最中の 1470 年に焼失した法華三昧堂を前身とする堂です。

本尊は、釈迦が入滅する様子を仏像としてあらわした涅槃仏像です。この教えと仏像は世界中のさまざまな仏教正典の中に見られます。

<简体字>

三宝院

玄关

三宝院拥有两处玄关，作为醍醐寺历代住持居住的僧坊，被日本政府指定为“重要文化财”。由小玄关进入的小居室被称为“竹之间”，由大玄关进入的大居室则被称为“富岳之间”。富岳之间的隔壁是等候室，名为“日、月、海之间”。

各居室内皆有屏风装饰，绘以竹、樱、时令风景、富士山等景致。“日、月、海之间”的画作绘于 1997 年，出自现代风景画家滨田泰介（1932-）的手笔，用以纪念 1998 年三宝院庭园筑庭 400 周年。醍醐寺所收藏的画作展现出寺院多彩的历史与权力，尤以三宝院 10 世纪创建以来的作品最为显著。

<繁体字>

三寶院

玄關

三寶院擁有兩處玄關，作為醍醐寺歷代住持居住的僧坊，被日本政府指定為「重要文化財」。由小玄關進入的小居室稱之為「竹之間」，由大玄關進入的大居室則稱「富嶽之間」。富嶽之間的隔壁是等候室，名為「日、月、海之間」。

各居室內皆飾有屏風，描繪竹、櫻、時令風景、富士山等景致。「日、月、海之間」的畫作繪於 1997 年，出自現代風景畫家濱田泰介（1932-）的手筆，用以紀念 1998 年三寶院庭園築庭 400 週年。醍醐寺所收藏的畫作展現出寺院多彩的歷史與權力，尤以三寶院 10 世紀創建以來的作品最為顯著。

<日本語仮訳>

三宝院

玄関

三宝院は醍醐寺の歴代座主が居住する坊で、重要文化財に指定されている玄関2つを持つ建物です。小玄関から入る小さな部屋は、竹の間と呼ばれます。大玄関から入る大きな部屋は「富嶽の間」と呼ばれています。富嶽の間の隣には、待合室である日・月・海の間があります。

各部屋には、竹、桜、季節の風景、富士山が描かれた屏風が飾られています。日・月・海の間は、1998年の三宝院庭園築庭400周年を記念して、1997年に現代風景画家である浜田泰介（1932-）によって描かれました。醍醐寺が収蔵する絵、特に三宝院創建時代の10世紀から現在に至るまでの間に収集されたものは、醍醐寺の歴史の豊かさと勢力の両方を示しています。

<简体字>

葵之间（重要文化财）

紧邻三宝院的入口，依次分布着三间接待室，而葵之间即是距离入口最近且面积最大的一间。因为距离入口最近，故地位亦最低，称之为“下段”。其地板高度实则也略低于其余两间。房间名称取自拉门上描绘的“葵祭”。葵祭与祇园祭、时代祭并列京都三大祭典。拉门画出自于石田幽汀（1721-1786）的手笔，目前已严重褪色。画中描绘皇室使节与护卫从下鸭神社经上贺茂神社列队朝北而行，气氛庄严却不失蓬勃生气。

<繁体字>

葵之間（重要文化財）

緊鄰三寶院的入口，依次分佈著三間接待室，而葵之間即是距離入口最近且面積最大的一間。由於離入口最近，因此地位亦最低，稱之為「下段」。其地板高度實際上也比其餘兩間稍低一些。房間名稱取自拉門上描繪的「葵祭」。葵祭與祇園祭、時代祭並列京都三大祭典。拉門畫出自於石田幽汀（1721-1786）的手筆，目前已褪色不少。畫中描繪皇室使節與護衛從下鴨神社經上賀茂神社朝北而行，氣氛莊嚴卻不失蓬勃生氣。

<日本語仮訳>

葵の間（重要文化財）

葵の間は、三宝院の入り口近くにある 3 つの隣接する応接室のうち最初で最大の部屋です。入り口に最も近い部屋であるため位が最も低く、下段と呼ばれています。実際、床は他の 2 つの部屋の床よりもわずかに低くなっています。部屋の名前は、部屋の内装を成す襖に描かれた葵祭りに由来します。葵祭は、祇園祭、時代祭と並ぶ京都三大祭のひとつです。これらの絵画は石田幽汀(1721-1786)によるものです。現在はかなり色あせていますが、下鴨神社から上賀茂神社を経て北へ向かう皇室の使節と護衛の、荘厳でありながら活気のある行列を描いています。

<简体字>

“秋草之间”与“敕使之间”（重要文化财）

距三宝院玄关最近的三个接待室中，“秋草之间”和“敕使之间”分别为第二、第三间居室。两间居室的建筑样式为标准的传统风格，地位高的房间地板亦越高，面积却越小。

“秋草之间”是第二间居室，面积为 15 叠（1 叠约为 1.6 平方米），得名于古时日本画及诗歌的常见主题——“秋日七草”。

距玄关最远的敕使之间面积最小（10 叠），其地位和地板高度亦属最高。房间的拉门画皆出自于长谷川等伯一派画家的手笔。“敕使之间”的拉门画“竹林花鸟图”，以春日风光为主题，乃日本画的传统题材。当时为表现竹林肃穆氛围而使用的银色颜料虽已氧化发黑，却仍能感受其设计之洗练，不愧是用来恭迎敕使的绝佳之选。

<繁体字>

「秋草之間」與「敕使之間」（重要文化財）

離三寶院玄關最近的三個接待室之中，「秋草之間」和「敕使之間」分屬第二、第三間居室。兩間居室的建築樣式為標準的傳統風格，地位高的房間地板亦越高，面積卻越小。

「秋草之間」是第二間居室，面積為 15 疊（1 疊約為 1.6 平方公尺），得名於古時日本畫及詩歌的常見主題——「秋日七草」。

離玄關最遠的敕使之間面積最小（10 疊），其地位和地板高度亦屬最高。房間的拉門畫皆是出自於長谷川等伯一派畫家的手筆。「敕使之間」的拉門畫「竹林花鳥圖」，以描寫春日風光為主題，是日本畫的傳統題材。當時為表現竹林肅穆氛圍而使用的銀色顏料雖已氧化發黑，但仍能感受其構圖之洗練，是用來恭迎敕使的絕佳之選。

<日本語仮訳>

秋草の間と勅使の間（重要文化財）

秋草の間と勅使の間は、三宝院の玄関近くにある3つの応接の間のうち、2番目と3番目の部屋です。伝統的な建築様式の標準的な様式に従い、部屋の位が上がるにつれて床が高くなるとともに、部屋の大きさは小さくなります。

2番目の部屋である秋草の間は、15畳あり、昔から日本画や詩歌のテーマとされている秋の七草から名付けられました。

玄関から最も遠いのが勅使の間で、最も小さく（10畳）、位も床の高さも最も高い部屋です。どちらの部屋の襖絵も長谷川等伯一派の画家が描いたものです。勅使の間の襖絵は春をテーマとする日本画の伝統的な題材である竹林花鳥図です。竹林を荘厳な雰囲気表現するために使われた銀の顔料が黒く酸化してしまっていますが、勅使を迎えるのにふさわしい洗練されたデザインとなっています。

<简体字>

唐门 (国宝)

被指定为国宝的唐门，作为进入三宝院的大门，专供朝廷使者通过。唐门建于 1599 年，于 2010 年被修复。

整扇门涂以黑漆，并饰有 4 枚贴金箔的蒔绘（漆工技法之一，在还未干燥的漆表面撒上金、银粉）风格纹章，即皇室专用的 16 瓣菊花纹和桐花纹各 2 枚。

桐花纹原本是皇室纹章，后因丰臣秀吉（1537-1598）而成为丰臣家的专属家纹。

<繁体字>

唐門（國寶）

被指定為國寶的唐門，作為進入三寶院的大門，專供朝廷使者使用。唐門建於 1599 年，於 2010 年被修復。

整扇門塗以黑漆，並飾有 4 枚貼金箔的蒔繪（漆工技法之一，在還未乾燥的漆表面撒上金、銀粉）風格紋章，即皇室專用的 16 瓣菊花紋和桐花紋各 2 枚。

桐花紋原本是皇室紋章，日後因豐臣秀吉（1537-1598）而成為豐臣家專用的家紋。

<日本語仮訳>

唐門（国宝）

国宝に指定されている唐門は、朝廷からの使者が三宝院に入るために使用する門です。1599 年に建てられ、2010 年に修復されました。

門は黒漆で覆われ、金箔張りの蒔絵風の紋章 4 つで装飾されています。皇室専用の 16 枚の花弁を持つ菊と、桐がそれぞれ 2 つずつ配されています。

桐も元々皇室の紋章でしたが、のちに豊臣秀吉（1537-1598）によって豊臣家の家紋となりました。

<简体字>

表书院

以表书院著称的三宝院，其主要客室由 3 个房间构成：下层房间可用作舞台；中层及上层房间高出一阶，使观众更易欣赏到舞台上的演出。舞台曾上演由 14 世纪发展而来的日本古典歌舞剧“能剧”，同时还时常在其间穿插喜剧“狂言”。

上层的拉门绘有日本画的常见主题——四季变幻的柳树。中层房间的拉门则绘有山峦景致。两个房间的拉门画作者皆不详，可能出自擅长大自然写实描写的长谷川等伯（1539-1610）派门下画家手笔。下层房间的孔雀画，则是由知名动植物画家石田幽汀（1721-1786）所作。

表书院的 3 个房间皆被日本政府指定为国宝。

<繁体字>

表書院

以表書院著稱的三寶院，其主要客室由 3 個房間構成：下層房間可用作舞台；中層及上層房間高出一階，便於觀眾更易欣賞到舞台上的演出。舞台曾上演由 14 世紀發展而來的日本古典歌舞劇「能劇」，同時還時常在其間穿插喜劇「狂言」。

上層的拉門繪有四季變幻的柳樹，這是日本畫的常見主題。中層房間的拉門則繪有山巒景致。兩個房間的拉門畫作者皆不詳，據信應是出自擅長大自然寫實描寫的長谷川等伯（1539-1610）派門下畫家手筆。下層房間的孔雀畫，則是由知名動植物畫家石田幽汀（1721-1786）創作。

表書院的 3 個房間皆被日本政府指定為國寶。

<日本語仮訳>

表書院

表書院として知られる三宝院のメインの客間は、3つの部屋で構成されており、下段の部屋は舞台として使用できるようになっています。中段と上段は一段高くなっており、観客が舞台の演技をより見やすいように設えられています。この舞台では、14世紀から発展してきた日本の古典舞踊である能と、能の合間にしばしば行われる喜劇である狂言が演じられていました。

上段の襖には、日本画の題材となることの多い四季折々の柳が描かれています。中段の間の襖には山々が描かれています。どちらの部屋の襖絵も原作者は不明ですが、自然の詳細な描写に長けた長谷川等伯（1539-1610）派で修業した画家によるものと考えられています。下段の間の孔雀の絵は、動植物画で有名な石田幽汀（1721-1786）によるものです。

表書院の各間は国宝に指定されています。

<简体字>

藤户石

藤户是知名的 12 世纪战场，藤户石被传为当时战争的象征而留存至今。作为具有胜利之意的藤户石，在彼时的大名（日本封建时代的领主）間赫赫有名，最终落入丰臣秀吉（1537-1598）之手。其最初被安置于京都聚乐第的庭园。秀吉于 1598 年醍醐寺举办的赏花活动结束后，命人将藤户石移放至三宝院中在建的庭园。日后藤户石便成为庭园中的“主石”。

细观庭园布局，藤户石也可用佛教观点另作解释。藤户石夹于两块较小的石块之间，三个石块组合可视为西方三圣。西方三圣由阿弥陀佛及其他两位菩萨组成，三者从天而降，展现出迎接信众进入极乐净土之姿。

<繁体字>

藤戶石

藤戶是知名的 12 世紀戰場，藤戶石被傳為當時戰爭的象徵而保留於世。作為具有勝利之意的藤戶石，在當時的大名（日本封建時代的領主）中廣為人知，最終落入豐臣秀吉（1537-1598）之手。其起初被安放於京都聚樂第的庭園。秀吉於 1598 年醍醐寺舉辦的賞花活動結束後，命人將藤戶石移放至三寶院中在建的庭園。日後藤戶石便成為庭園中的「主石」。

細觀庭園佈局，藤戶石也可用佛教觀點另作解釋。藤戶石夾在兩塊較小的石頭之間，三塊石頭合稱西方三聖。西方三聖由阿彌陀佛及其他兩位菩薩組成，三者從天而降，展現出迎接信眾進入極樂淨土之姿。

<日本語仮訳>

藤戸石

藤戸は有名な 12 世紀の戦場であり、藤戸石はその戦の象徴として取り寄せられたと伝えられています。勝利に結びつく価値ある石として大名の間で有名となり、最終的には豊臣秀吉（1537-1598）の手に渡り、当初は京都の聚楽第の庭に置かれていました。秀吉は、1598 年に醍醐寺で行われた有名な花見のあと、藤戸石を三宝院に建設中であった庭に持ち込むよう命じました。こうして藤戸石は庭園の「主石」として取り入れられました。

藤戸石は、庭園内の配置に基づいて仏教的にも解釈されます。藤戸石は 2 つの小さな石に挟まれており、これら 3 つの石は合わせて阿弥陀三尊とみなされます。阿弥陀三尊とは、阿弥陀と 2 人の菩薩が天界から降り、信者を極楽浄土に迎え入れる様子を示すものです。

<简体字>

龟岛与鹤岛

鹤与龟在东亚是象征长寿的吉祥之物，三宝院池中的二岛便以此命名。龟岛形似乌龟，右侧的大石宛若头部，另一侧的石块则若尾巴。一株据说树龄超过 500 年的五叶松，构成龟甲的形状。龟岛呈现稳重静谧的氛围，相较之下，鹤岛则充满动感。松树根周围铺有平坦石块，可比作展翅欲飞的双翼，而优雅的石桥则如同仙鹤伸长的脖颈。动静皆宜的庭园极富活力，不禁唤起观者的悲喜之情。丰臣秀吉在援建庭园的同时，亦参与了庭院的设计工作，当他在赏花盛宴不久后的 1598 年离世之际，或许心中也漾起了相同的情绪。他生前雇用了多达 300 人造庭，其后又历经 27 年方才竣工，当时最知名的园艺师贤庭亦参与其中。贤庭技艺卓越，日后被后阳成天皇称颂为“天下第一”。

<繁体字>

龜島與鶴島

鶴與龜在東亞地區是長壽的吉祥象徵，三寶院池中的二島便以這兩種動物命名。龜島形似烏龜，右側的大石宛若頭部，另一側的石頭則若尾巴。其中有一株據信樹齡超過 500 年的五葉松，其形狀有如龜甲一般。龜島呈現穩重靜謐的氛圍，相較之下，鶴島則充滿動感。松樹根周遭鋪有平坦石塊，可比作展翅欲飛的雙翼，而優雅的石橋就如同仙鶴伸長的脖頸。動靜皆宜的庭園活力十足，不禁喚起觀者的悲喜之情。豐臣秀吉在援建庭園的同時，亦參與了庭院的設計工作，當他在賞花盛宴不久後的 1598 年離世之時，或許心中也漾起了相同的情緒。他生前僱用了多達 300 人造庭，甚至彼時最知名的園藝師賢庭亦參與其中，不過還是歷經 27 年方才竣工。賢庭技術超群，日後甚至被後陽成天皇稱頌為「天下第一」。

<日本語仮訳>

亀島と鶴島

鶴と亀は東アジア全域で長寿を象徴する縁起の良い動物です。三宝院の池には、鶴島と亀島という 2 つの島にその名が使われています。亀島は亀に似た姿で、右にある大きな石が亀の首を、反対の石が亀の尻尾を表しています。樹齢 500 年以上と言われる五葉松が亀の甲羅を形作っています。亀島は穏やかな静けさを表すと言われています。対照的に、鶴島は動的な動きを表しています。松の付け根の周りに並ぶ平らな石は、飛び立とうとする鶴の翼に例えられ、優雅な石橋が鶴の伸びた首に例えられます。静と動の並置は庭のダイナミズムを強調し、見る人に人生の喜びと悲しみの情を呼び起こします。庭の設計も担当したパトロン豊臣秀吉も、豪華な花見の宴直後の 1598 年に亡くなる際、そのような感情を持ったのかもしれませんが。彼が亡くなるまで 300 人もの労働者が雇われ、その完成には同時代の最も有名な作庭家である賢庭が関わり、さらに 27 年かかりました。賢庭はのちに後陽成帝より、「天下一」と称えられた人物です。

<简体字>

贺茂三石

枯山水庭园中有三石，人称“贺茂三石”。三块石头通过知名园艺师贤庭的巧妙配置，演绎出京都贺茂川流水的三种样态。左侧石块为水流湍急之势，中间石块为水流停滞之姿，右侧石块则呈现激流飞溅之景。

<繁体字>

賀茂三石

枯山水庭園中有三石，人稱「賀茂三石」。三塊石頭的配置是知名園藝師——賢庭的傑作，演繹京都賀茂川流水的三種樣態。左側石頭為湍急水勢，中間石頭為水流停滯，右側石頭則呈現激流飛濺之景。

<日本語仮訳>

賀茂の三石

枯山水の庭に配された 3 つの石は、「賀茂の三石」と呼ばれています。これらの石は作庭家である賢庭の卓越した石の配置を示すもので、京都を流れる賀茂川の流れの三様を表現しています。左の石は川の流れの早いさま、中央の石は川の淀んださま、右の石は川の水が割れて碎け散るさまを表しています。

<简体字>

太阁垂枝樱

三宝院入口的太阁垂枝樱，是同品种樱花的完美象征。16 世纪，丰臣秀吉（1537-1598）决意修复寺院的最大因由，据说便是醉心于醍醐寺的樱花之美。

1598 年春天，丰成秀吉从京城周边搜集超过 700 种樱花，举办赏花盛宴，同时借此重新翻修三宝院。为感谢其对醍醐寺的诸多贡献，如今寺院会于每年 4 月的第二个星期日举办“丰太阁花见行列”。

水彩画家奥村土牛（1889-1990）以用色鲜艳而闻名。在其作品《醍醐》中，这株垂枝樱亦有展露。该作品颇负盛名，也曾用作邮票图案。2004 年，全球首株克隆樱花树被种植于院内垂枝樱附近。

<繁体字>

太閤垂枝櫻

三寶院入口的太閤垂枝櫻，是同品種櫻花的完美象徵。16 世紀，豐臣秀吉（1537-1598）決意修復寺院的最大理由，據說便是癡迷於醍醐寺的櫻花之美。

1598 年春天，豐成秀吉從京城周遭蒐集超過 700 種櫻花，舉辦賞花盛宴，同時藉此重新翻修三寶院。為感謝其對醍醐寺的卓越貢獻，如今寺院會於每年 4 月的第二個星期日舉辦「豐太閤花見行列」。

水彩畫家奧村土牛（1889-1990）以用色鮮豔而知名。在其作品《醍醐》中，這株垂枝櫻亦有出現。該作品頗負盛名，也曾用作郵票圖案。2004 年，全球首株複製櫻花樹被種植於院內垂枝櫻附近。

<日本語仮訳>

太閤しだれ桜

三宝院の入り口にある太閤しだれ桜は、その品種を象徴する木です。豊臣秀吉（1537-1598）が16世紀に寺を修復することを決めた理由が、醍醐寺の桜の美しさだったと言われています。

1598年の春、秀吉は畿内から700種類以上の桜を集め大規模な花見を開催し、その機会に合わせて三宝院を改装しました。醍醐寺への秀吉の貢献をたたえ、毎年4月の第2日曜日に「豊太閤花見行列」が開催されます。

このしだれ桜は、色あざやかな水彩画で知られる奥村土牛（1889-1990）の作品「醍醐」に描かれました。この作品は非常に有名で、切手の絵柄にもなりました。枝垂れ桜の近くには、2004年に植えられた世界初のクローン桜の木があります。

<簡体字>

纯净观（重要文化财）

纯净观原本为 1598 年丰臣秀吉（1537-1598）举办赏花盛典时于山腰所建，日后才迁筑至三宝院，成为三宝院内的建筑。

纯净观的拉门绘有樱花及红叶，出自现代风景画家滨田泰介（1932- ）的手笔，创作于 1989 年。

<繁体字>

純淨觀（重要文化財）

純淨觀是三寶院內的建築，原是 1598 年豐臣秀吉（1537-1598）為舉辦賞花盛典而於山腰所建，日後才被遷築至三寶院。

純淨觀的拉門繪有櫻花及紅葉，出自現代風景畫家濱田泰介（1932- ）的手筆，創作於 1989 年。

<日本語仮訳>

純浄観（重要文化財）

純浄観は三宝院内の建物です。元々豊臣秀吉（1537-1598）が1598年に花見を開催した際に山腹に建てられものが、後に三宝院に移されました。

襖には、現代風景画家である浜田泰介（1932- ）によって桜と紅葉の絵が描かれています。この絵は1989年に描かれたものです。

<简体字>

奥宸殿（重要文化财）

奥宸殿建于江户时代（1603-1867）初期。建筑中设有“二叠台”，专供地位高贵之人就坐，还设有“武者隐”，供随扈之人在此等候。

代表着奥宸殿主要特征的棚架——“醍醐棚”，棚架间错落有致，彰显出桃山时代（1568-1600）“书院造”住宅样式的重要元素。醍醐棚与修学院离宫的“霞棚”、桂离宫的“桂棚”合称“天下三大名棚”。

<繁体字>

奥宸殿（重要文化財）

奥宸殿建於江戸時代（1603-1867）初期。建築中設有專供地位高貴之人的就坐之處「二疊台」，以及隨扈等待之處「武者隠」。

代表著奥宸殿主要特徵的棚架——「醍醐棚」，棚架間錯落有致，彰顯出桃山時代（1568-1600）「書院造」住宅樣式的重要元素。醍醐棚與修學院離宮的「霞棚」、桂離宮的「桂棚」合稱「天下三大名棚」。

<日本語仮訳>

奥宸殿（重要文化財）

奥宸殿は、江戸時代（1603-1867）初期に建設されました。身分の高い人物が座る場所（二畳台）と護衛が待つ場所（武者隠し）が配されています。

主な特徴は、「醍醐棚」と呼ばれる段違いに取り付けた違い棚で、桃山時代（1568-1600）に発展した書院造りの重要な要素です。この棚は、修学院離宮の「霞棚」、桂離宮の「桂棚」とともに、「天下の三大名棚」と称されています。

<简体字>

本堂（重要文化财）

本堂又称弥勒堂，堂内本尊弥勒菩萨像表情极为逼真，由日本史上最知名的佛像制作师之一——快庆（12 世纪后半叶-13 世纪初）于 1192 年创作，后被指定为“重要文化财”。快庆的雕刻作品外型优雅、比例精致，是镰仓时代日本佛教美术中注重写实风格的典范。雕像高 112 厘米，整体镶满金箔，为快庆的代表之作。弥勒菩萨像的左侧立有 1665 年创作的圣宝像，右侧则是 1667 年创作的空海像。

本堂后方是护摩堂，专用于举办焚烧护摩仪式。焚烧护摩源自古印度，真言宗与修验道也皆举行该仪式。信众相信通过仪式，可烧除凡尘俗欲，根绝人生痛苦之源。

<繁体字>

本堂（重要文化財）

本堂亦稱彌勒堂，堂內本尊彌勒菩薩像表情極為逼真，被指定為「重要文化財」，是日本歷史上最知名的佛像製作師之一——快慶（12 世紀後半-13 世紀初）1192 年的作品。快慶的雕刻作品外型優雅、比例精緻，是鎌倉時代日本佛教美術中注重寫實風格的代表。雕像高 112 公分，整體鑲滿金箔，為快慶的典型之作。彌勒菩薩像的左側立有 1665 年創作的聖寶像，右側則是 1667 年創作的空海像。

本堂後方是護摩堂，專用於舉辦焚燒護摩儀式。焚燒護摩源自古印度，真言宗與修驗道皆保留此一傳統。信眾相信透過儀式，可燒除凡塵俗慾，根絕人生痛苦之源。

<日本語仮訳>

本堂（重要文化財）

弥勒堂とも称される本堂には、日本の歴史上最も有名な仏師のひとりである快慶（12世紀後半-13世紀初頭）が1192年に彫ったとされる、非常に印象的でリアルな表情の弥勒菩薩像（重要文化財）が本尊として安置されています。快慶の彫刻は優雅なデザインと精緻なプロポーションを特徴とし、鎌倉時代の日本の仏教美術においてリアリズムに重点を置いたものでした。高さ112cmのこの像は、快慶の作品の典型的なもので、全体に金箔が施されています。弥勒菩薩像の左脇には1665年作の聖宝像があり、右脇には1667年作の空海の像があります。

本堂の後ろには、護摩焚きの儀式に使用される護摩堂があります。古代インドに起源を持つ護摩焚きは、真言宗と修験道の両方で行われる儀式です。信者は、人生の苦しみの根源である欲望を火が滅すると信じています。

<簡体字>

金堂（国宝）

金堂（本堂）于古时为天皇的覲见室，亦是国家仪式大典的会场，虽为仁和寺的祈祷房，但那优美弯斜的屋檐设计，却无声透露出它其实源自京都中心的京都御所。除金堂外，仁和寺在 17 世纪初也被赐予京都御所的其他数栋建筑。皇室与仁和寺间，拥有长达千年以上的深厚交情。金堂作为重要建筑而备受赞誉，它的存在，印证御所建筑历史已逾千年，于 1953 年被指定为国宝。

金堂供奉众多佛像，坐鎮正中的金色阿弥陀佛像为本尊，散发沉稳光辉。其身后的大片壁画绘有西方净土，向信众传达极乐意象。依据佛法，东西南北四方各有净土，掌管四方的佛陀各尽其职。而阿弥陀佛，便是其中掌管西方极乐净土的佛陀。

金堂又名本堂，于联合国教科文组织登录的世界遗产——“古都京都的文化财”仁和寺中，伫然耸立。

<繁体字>

金堂（國寶）

金堂（本堂）於古時是天皇的觀見室，也是國家儀式大典的會場，其雖為仁和寺的祈禱房，但屋簷優美的傾斜設計，卻默默透露出它其實源自京都中心的京都御所。除金堂外，仁和寺在 17 世紀初亦獲賜京都御所的其他數棟建築。皇室與仁和寺間，擁有長達千年以上的深厚淵源。金堂作為重要建築而備受稱讚，它的存在，印證御所建築歷史已逾千年，於 1953 年被日本政府指定為國寶。

金堂供奉眾多佛像，位於中心的金色阿彌陀佛像為本尊，散發沉穩光輝，坐鎮堂內。其身後的大片壁畫繪有西方淨土，向信徒傳達極樂意象。根據佛法，東西南北四方各有淨土，四方亦各有負責掌管的佛陀。而阿彌陀佛，便是其中掌管西方極樂淨土的佛陀。

金堂又名本堂，佇然聳立於聯合國教科文組織登錄的世界遺產——「古都京都的文化財」仁和寺中。

<日本語仮訳>

金堂（国宝）

金堂（本堂）は、かつて天皇の謁見室として、また国家的な儀式の会場として使用されていた。仁和寺では祈祷の場として使われているが、優美な傾斜を描く屋根は、この建物がもともとは京都中心部の京都御所の中にあつたものであることを忍ばせる。金堂を含むいくつかの建物が京都御所の中にあつたものだが、1600 年代に仁和寺に下賜されたものである。皇室と仁和寺の深い結びつきは千年以上に及ぶ。また、千年以上もの歴史を持つ御所建築の歴史を伝える重要な建物としての評価が高く、1953 年に国宝に指定されている。

金堂の堂内には様々な仏像が並ぶが、その中心には金色の阿弥陀如来の像が本尊として祀られており、穏やかな輝きをまとって空間を支配している。その背後には西方浄土の壁画が広がり、極楽のイメージを信徒に伝えている。東西南北 4 つの方角にはそれぞれ浄土があり、そのそれぞれに 4 つの方位を司る仏陀がいるとされている。阿弥陀如来はそのうちの西方極楽浄土を司っている仏陀である。

本堂はまたの名を金堂といい、仁和寺の中心にある。その仁和寺は「古都京都の文化財」としてユネスコの世界遺産に登録されている。

<簡体字>

五重塔（重要文化財）

塔内实际上仅 1 楼设有房间，2 楼至 5 楼间连通为一体，由塔的斗拱及屋檐构成 5 层楼的视觉效果。

塔的 1 楼收藏众多障壁画（绘于拉门、屏风上的画作）及佛像。大日如来像坐镇于中央立柱前，旁侧则有镇守四方之佛护驾。佛法中，大日如来是普照宇宙的佛陀，世间万物万象皆是他的“形”与“业”。

<繁体字>

五重塔（重要文化財）

塔內實際上僅 1 樓設有房間，2 樓至 5 樓間連通為一體，由塔的鬥拱及屋簷構成 5 層樓的視覺效果。

塔的 1 樓收藏眾多障壁畫（繪於拉門、屏風上的畫作）及佛像。中央樑柱前坐鎮大日如來像，其旁側則有鎮守四方之佛護駕。佛法中，大日如來是普照宇宙的佛陀，世間萬物及一切現象皆是祂的「形體」與「成就」。

<日本語仮訳>

五重塔（重要文化財）

この建物には実際には 1 階にしか部屋は存在せず、2 階から 5 階までは吹抜けで、5 層に見えるのは、組物と軒がそのように見せているからである。

この塔の 1 階部分にはたくさんの障壁画や仏像が収められている。中央の柱の前には大日如来像が鎮座し、その脇は四方を護る仏で固められている。大日如来は宇宙にあまねく存在する仏陀であり、この世のすべての物質と現象は大日如来の“すがた”“はたらき”である、とされている。

<簡体字>

二王门（重要文化財）

正气凛然的二王门（守护神之门）是仁和寺的入口。寺院的历史最早可上溯至 9 世纪，然而在应仁之乱（1467-1477）中，仁和寺几乎被付之一炬，而二王门则是之後大规模重建时的建筑。其修复工程甚为宏大，历经漫长岁月方才完工。气势磅礴的二王门与知恩院、南禅寺并列「京都三大门」，深受世人崇拜。

二王门不单是迎接信众入寺的入口，更可驱赶恶灵、盗贼与佛敌，而立于大门两端的哼哈二将，便是身负重任的守护神“二王”。两名守护神身形健壮魁梧，不怒自威。许多佛教寺院的门口皆由他们负责庇护。两者虽形貌相似，但却极易区分：哈将军张口，哼将军闭口。哈将军仿佛正以“哈”声呐喊，哼将军则似在“哼”声低吟。

<繁体字>

二王門（重要文化財）

正氣凜然的二王門（守護神之門）是仁和寺的入口。寺院的歷史最早可追溯至 9 世紀，然而在應仁之亂（1467-1477）中，仁和寺幾乎被付之一炬，二王門是後來大規模重建時的產物。修復工程極為浩大，歷經長久歲月才得以完竣。氣勢磅礴的二王門與知恩院、南禪寺並列「京都三大門」，深受崇敬。

二王門不單是迎接信徒入寺的入口，更可驅趕惡靈、盜賊、佛敵，而立於大門兩側的哼哈二將，便是身負此大任的守護神「二王」。兩名守護神身形精壯魁梧，不怒自威。許多佛教寺院的門口皆有祂們負責保衛。雖然兩者形貌相似，但區別方法其實甚為容易：哈將軍張口，哼將軍閉口。哈將軍彷彿正發出「哈」聲吶喊，哼將軍則似在低吟「哼」聲一般。

<日本語仮訳>

二王門（重要文化財）

堂々たる威容を示す二王門（守護神の門）は仁和寺の入り口である。仁和寺そのものの歴史は9世紀にまで遡るが、この二王門は、応仁の乱（1467-1477）で寺の大部分が焼失したことを受けて行われた大規模な再建事業の際に建てられたものである。長い歴史の間に広範囲にわたる修理や保存修復の工事が行われてきた。人々はこの二王門の壮大な姿に敬意を表して、知恩院、南禅寺の門と並ぶ「京都三大門」のひとつとして崇めている。

二王門は、信徒を寺に迎え入れるだけでなく、悪霊や盗賊、仏敵を退散させるという役割をも担っている。その役割を果たすのが、門の左右両側に立つ吽形と阿形の守護神「二王」である。険しい表情をした、筋骨隆々のこの2人の守護神の像は、多くの仏教寺院の門に設置されている。互いに似通った外見をしているものの、この2体を見分けるのは簡単だ。阿形は口を開いており、吽形は口を閉じている。阿形の口からは「あ」という叫び声が聞こえてくるようだし、吽形は「ん」と唸り声をあげているように見える。

<簡体字>

御影堂（重要文化財）

御影堂曾坐落于京都御所内，当时人称清凉殿，在庆长年间（1596-1615）是天皇休憩、迎宾之所。之后被赐予仁和寺，改名为御影堂，供祈祷所用，并供奉弘法大师像为本尊。

佛僧弘法大师（774-835）亦称空海^{*}，作为真言宗的开山祖师而名闻天下。因生前丰功伟绩，圆寂后被朝廷追加“弘法大师”谥号。第 59 代宇多天皇（867-931）退位后皈依真言宗，法号为“宽平法皇”，成为仁和寺的初代门迹。如今，仁和寺为真言宗御室派的总本山。

※平安时代（794-1185），日本为学习中国佛教文化，派“遣唐使”前往中国唐朝，使节中包含 8 名僧侣，被称为“入唐八家”，空海即是其中 1 人。

<繁体字>

御影堂（重要文化財）

御影堂曾經位於京都御所內，當時人稱清涼殿，在慶長年間（1596-1615）是天皇休憩、迎賓的場所。之後被賜予仁和寺，改名為御影堂，供祈禱所用，並供奉弘法大師像為本尊。

佛僧弘法大師（774-835）亦稱空海^{*}，作為真言宗的開山祖師而聞名天下。因貢獻甚多，圓寂後被朝廷追加「弘法大師」諡號。第 59 代宇多天皇（867-931）退位後皈依真言宗，法號為「寬平法皇」，成為仁和寺的初代門跡。如今，仁和寺為真言宗御室派的總本山。

※平安時代（794-1185）的日本為向中國學習佛教文化，派「遣唐使」前往中國唐朝，使節中包含 8 名僧侶，人稱「入唐八家」，空海即是其中 1 人。

<日本語仮訳>

御影堂（重要文化財）

御影堂は、かつては京都御所の中にあり、御所では清涼殿と呼ばれていた。その清涼殿は、慶長年間（1596-1615）には天皇が休息をとり、来訪者を迎え入れる場所として使われていた。仁和寺に下賜され御影堂になってからは、祈祷の場として使われるようになり、弘法大師の像がその本尊として祀られるようになった。

弘法大師（774-835）は空海[※]の名で呼ばれた仏僧であり、真言宗の創設者として知られている。没後、朝廷は空海の偉業を称え、弘法大師の称号を授けた。第 59 代宇多天皇（867-931）は退位後、真言宗の僧侶となって寛平法皇を名乗り、仁和寺の初代門跡となった。現在、仁和寺は真言宗の一派である御室派の総本山である。

※日本平安時代(794-1185)に、中国の仏教を学ぶため、日本から中国唐朝に派遣された「遣唐使」のなかに、僧侶が 8 人おり、「入唐八家」と呼ばれ、空海はその中の 1 人である。

<簡体字>

观音堂（重要文化財）

观音堂之名，源自于堂中慈悲为怀的观音菩萨像本尊。观音菩萨在此化身象征大慈大悲的千手观音之姿。千手不仅遍护众生，不同的手更可救济各方苦难。无论世人有何索求，千手观音皆有求必应。

耐人寻味的是，千手观音并非堂中唯一一座观音像，而是用佛教绘画绘制的 33 尊观音共奉一堂，以拯救遭遇不同灾难的世人。观音堂还供奉其他诸神，如“风神”“雷神”，另有仁和寺历代重要高僧的塑像。

<繁体字>

觀音堂（重要文化財）

觀音堂得名於堂中本尊——慈悲為懷的觀音菩薩像。觀音菩薩在此化身象徵大慈大悲的千手觀音之姿。祂的千手不僅可護佑眾生，不同的手更可救濟八方苦難。無論世人有何需求，千手觀音皆有求必應。

耐人尋味的是，千手觀音並非堂中唯一的觀音像，而是用佛教繪畫繪製的 33 尊觀音共奉一堂，以拯救遭受不同災障的世人。觀音堂亦供奉其他各種神佛，如風之神「風神」、雷之神「雷神」，另有仁和寺歷史中佔有重要地位的僧侶像。

<日本語仮訳>

観音堂（重要文化財）

観音堂の名前は、その本尊である慈悲の菩薩、観音菩薩像に由来している。ここでは、無限の慈悲の深さを象徴する千手観音の姿で現れている。助けを必要とするすべての人々を助けることができるように数多くの手があるだけでなく、それぞれの手は異なるタイプの救済をもたらすことができる。この観音はあらゆる人々の様々なニーズに対応できるのである。

興味深いことに、この像はこの堂の唯一の観音像ではない。観音堂には 33 体の観音像が仏画で描かれており、異なる苦しみを持つ人々をすべて救済することができるように態勢を整えている。観音堂には他にも様々な神像が収められており、風の神である風神、雷の神である雷神や、仁和寺の過去の重要な僧侶たちの像もある。

<簡体字>

经藏（重要文化财）

收藏 768 个佛经收纳箱的藏经阁（日语称为经藏）与一般书阁不尽相似，其内设有一台八角形旋转书架，且 8 面各有 96 层抽屉。此外观不只是依循佛教自然界法则“法轮常转”（“法”即是释迦牟尼生前所言，意为经典记述的教诲）的理念设计，实际上由于藏经阁书架收藏佛经，也能如字面意思般展现“法之回转”。据说转动书架者可造善业，更有可能在来生超脱生死轮回，真正得以解脱。

然而，近年来藏经阁书架却无任何转动的痕迹。另外，藏经阁建于禅宗广受青睐的江户时代（1603-1868），整体风格与仁和寺其他建筑略有不同。隶属真言宗的仁和寺并非禅寺，却因禅宗盛行，不难看出寺院风格亦深受其影响。

<繁体字>

經藏（重要文化財）

收藏 768 個佛經收納箱的藏經閣（日語稱為經藏）與一般書閣不同。其當中設有一台八角形旋轉書架，且 8 面各有 96 層抽屜。此外觀不只是依循佛教自然界法則「法輪常轉」（「法」即是釋迦牟尼生前所言，意為經典記述的教誨）的理念設計，實際上藏經閣書架由於收藏佛經，也能如字面意思般展現「法輪常轉」。據說轉動書架者可造善業，更有可能在來生超脫生死輪迴，達到真正解脫。

然而，近年來藏經閣書架卻無轉動的痕跡。另外，藏經閣於禪宗廣受青睞的江戶時代（1603-1868）所建，其整體風格與仁和寺其他建築也略有不同。隸屬真言宗的仁和寺從非禪寺，卻因禪宗盛行，不難看出寺院風格亦深受其影響。

<日本語仮訳>

経蔵（重要文化財）

経蔵には 768 個の経箱が収められているが、一般的な書庫とは似ても似つかないものである。この建物には、八角形の形をした回転する書棚があり、その 8 つの面にはそれぞれ 96 の引き出しが付いている。これは、仏教における自然界の法則、「法輪の回転」という考え方（「法」とは、釈迦牟尼の生前の言葉であり、経典に記録された教えのことを意味する）を参照しているだけではない。実際、経典を収めたこの経蔵の書棚は、文字通り「法の回転」を行うことができるのである。回転させることにより、それを行う者に良いカルマ（業）を生み出し、来世における地上界への転生のサイクルを抜け出す可能性を高めると信じられている。

しかし、それにもかかわらず、この書蔵はここ数年間、回転された形跡がない。また、建築様式も仁和寺の他の建物とは少々異なるように感じられる。経蔵の建物自体は禅宗が広く親しまれていた江戸時代（1603-1868）に建てられたものである。仁和寺が禅寺であったことは一度もないにもかかわらず、禅宗の人気が高かったため、真言宗の寺院にも禅寺の建築様式の影響をはっきりと見て取ることができる。

<簡体字>

中门（重要文化財）

二王门是进入仁和寺全寺的入口，而中门则是通往神域的入口，在仁和寺中更加举足轻重。其中，五重塔及观音堂等建筑皆位于中门内，甚至连僧侣的住处，在一段时期中也位于中门内。二王门到中门之间的区域较为一般，为僧俗敞开。

门的左右两侧立有四大天王中的二王。四大天王是天下的守护神，专门对抗邪魔歪道，统率异界生灵大军，守护佛陀教诲。每名天王护持方位各异。中门的四大天王之一是广目天王，他能洞察万物，镇守西方。另一天王则是持国天王，身为东之王，负责护持东方。

<繁体字>

中門（重要文化財）

二王門是進入仁和寺全寺的入口，而中門則是通往神域的入口，在仁和寺中更加舉足輕重。其中，五重塔及觀音堂等建築皆位於中門內，甚至連僧侶的住處，也曾於一段時期是中門內的一部分。二王門到中門前之間的區域較為一般，為僧俗敞開。

門的左右兩側立有四大天王中的二王。四大天王是天下的守護神，專對抗邪魔歪道，統率異界生靈大軍，守護佛陀教誨。每名天王護持方位各異。中門的四大天王之一是廣目天王，祂能洞察萬物，鎮守西方。另一天王則是持國天王，身為東之王的祂負責護持東方。

<日本語仮訳>

中門（重要文化財）

仁和寺の中でもより重要性が高い神域への入り口となるのが中門である。二王門が仁和寺の伽藍全体への入り口であるのに対して、五重塔や観音堂などはすべて中門の内側に位置している。一期は、僧たちの住居もこの中門の内側にあった。二王門から中門の前までのエリアはより一般的な、普通の人々にも僧侶にも開かれた空間である。

門の左右には四天王のうちの 2 体の像が立っている。四天王は世界の守護神であり、悪と戦い、超自然的な生き物たちの軍勢を率いて仏陀の教えを守っている。四天王はそれぞれに守るべき方角を持っている。中門にいる四天王の一人は広目天であり、すべてを見通す力を持ち、西の方角に睨みをきかせている。もう一人は持国天で、東の王であり、東の方角を護っている。

<簡体字>

九所明神本殿与左右殿

若初次见到九所明神的 3 殿，可能会以为是典型的佛教建筑，然而此 3 殿实为日本原生宗教——神道教的礼拜场地。佛教自 6 世纪传入日本后，便与神道（为与外来宗教区别而衍生的用语）不断交流至今。跨入近代前，神道教与佛教早已共存共荣超越千年。诸多佛教寺院中皆有神道教的神殿，并被视为寺院的土地神。

一般而言，祭祀神道神祇的神殿应与佛教寺院风格迥异，惟九所明神本殿和左右两殿却与周围寺院别无二致。不过当中供奉的并非佛陀，而是神道教之神，与日本列岛其他重要神社无异。本殿祭祀八幡三神：武士守护神“八幡”、其母“神功皇后”，以及女神“比卖神”。左右殿则祭祀其他神祇。九所明神的相关记载最早出自 1212 年的皇室记录，而目前的建筑建于 17 世纪初。

<繁体字>

九所明神本殿與左右殿

若初次見到九所明神的 3 殿，可能會認為是典型的佛教建築，然而其實此 3 殿是日本原生宗教——神道教的禮拜場地。佛教自 6 世紀傳入日本後，便與神道（為與外來宗教區別而衍生的用語）不斷交流至今。邁入近代前，神道教與佛教早已共存共榮超過千年時光。許多佛教寺院中皆有神道教的神殿，並被視為寺院的土地神。

一般而言，祭祀神道神祇的神殿特徵應異於佛教寺院，惟九所明神的本殿與左右 2 殿卻同周遭寺院如出一轍。不過當中供奉的並非佛陀，而是神道教之神，與日本列島其他重要神社無異。本殿祭祀八幡三神：武士守護神「八幡」、其母「神功皇后」，以及女神「比賣神」。左右殿則祭祀其他神祇。九所明神的相關記載最早出自 1212 年的皇室記錄，而如今的建築於 17 世紀初建成。

<日本語仮訳>

九所明神本殿・左右殿

九所明神を構成している 3 つの建物を初めて見た人は、典型的な仏教建築のような印象を受けるかもしれないが、実際にはこれらの建物は、今日では神道として知られる日本の土着の信仰の礼拝をおこなう場として機能している。仏教と神道（外来の宗教と区別するために使われるようになった用語である）は、6 世紀に仏教が日本に伝来して以来、互いに交流を続けてきた。近代が到来する以前の千年以上にわたって、神道と仏教の信仰は共存しながら発展していた。神道の神殿は仏教寺院の中に建てられ、実際に寺の土地神として位置づけられることも多い。

一般に、神道の神を祀る神殿の建築的な特徴は仏教寺院とは区別できるものだが、九所明神の本殿と 2 つの左右殿は周囲の寺院建築と区別がつかない。それにもかかわらず、ここに祀られているのは仏陀ではなく、日本列島全体における重要な神社と同じく、神道の神である。本殿の中には八幡三神の像が祀られている。すなわち、武士の守護神である八幡と、その母親である神功皇后、そして女神である比売神の三神である。左右殿にはその他の神の像が祀られている。九所明神についての最も古い記述は 1212 年の皇室の記録に出てくるが、現在の建物は 17 世紀初頭に建てられたものである。

番号 NO : 012-009

<簡体字>

本坊表门（重要文化財）

本坊表门与仁和寺境内大多数建筑相同，均来自京都御所，曾幸免于 1887 年的火灾，
现被列为重要文化財。

番号 NO : 012-009

<繁体字>

本坊表門（重要文化財）

本坊表門與仁和寺境內大多數建築無異，亦來自京都御所，曾倖免於 1887 年的祝融之災，現被指定為重要文化財。

番号 NO : 012-009

<日本語仮訳>

本坊表門（重要文化財）

本坊表門は、境内にある建物の多くと同様、元来は京都の御所にあったものである。1887年の大火を逃れたこの門は、重要文化財に指定されている。

<简体字>

茶室辽廓亭（重要文化财）

本坊表门内侧坐落着两间茶室，均被指定为“重要文化财”，辽廓亭便是其中一间。

辽廓亭同样由外地迁至仁和寺，但并非京都御所的建筑，而是江户时代（1603-1868）定居京都的知名画家——尾形光琳（1658-1716）※的宅邸。该建筑设计之初虽多用于个人居住，却不乏茶室的诸多特点。例如名为“躡口”的低矮入口，进出时需俯身低头，因此即使身份地位不同的人共赴茶会，也能营造平等友好的氛围。辽廓亭通常虽不对外开放，但可通过预约方式组团参观。参观时可在建筑外围远观其构造特征，庭园内青苔遍地，树桩星罗棋布，静谧祥和，尤其适于在此闲庭漫步。

※尾形光琳：日本美学象征——“琳派”集大成者中的代表人物。

<繁体字>

茶室遼廓亭（重要文化財）

本坊表門內側坐落著兩間茶室，均被指定為「重要文化財」，遼廓亭便是其中一間。

遼廓亭亦由他地遷至仁和寺，但並非是京都御所的建築，而是江戶時代（1603-1868）定居京都的知名畫家——尾形光琳（1658-1716）^{*}的宅邸。該建築設計之初雖多用於個人居住，卻不乏茶室的諸多特點。例如名為「躡口」的低矮入口，進出時需低首屈膝，因此即使身份地位不同的人一齊參加茶會時，亦能建立平等友好的氛圍。遼廓亭通常雖不對外開放，但可透過預約方式集體參觀。參觀時可在建築外圍欣賞其構造特徵，庭園內青苔遍地生長，樹樁星羅棋布，靜謐祥和，不妨在此閑庭漫步。

^{*}尾形光琳：日本美學象徵——「琳派」集大成者中的代表人物。

<日本語仮訳>

茶室・遼廓亭（重要文化財）

遼廓亭は本坊表門の内側にある 2 つの茶室のうちのひとつである。2 つの茶室はいずれも重要文化財に指定されている。

遼廓亭もまた他の場所から仁和寺に移築された建物のひとつだが、他の移築建築と異なり、京都御所からの移築ではない。江戸時代（1603-1868）に京都に暮らした有名な絵師である尾形光琳（1658-1716）[※]の居宅にあったものである。個人邸宅の一部として設計されたにもかかわらず、この建物は茶室としての数多くの要件を満たしている。例えば、躡り口と呼ばれる戸口は、屈まないと通ることができない。これにより、様々な異なる社会階層の人々が参加する茶席において、平等で友好的な雰囲気が生み出される。この建物は通常は一般公開されていないが、事前予約により団体での見学が可能である。建物の建築的な特徴を外側から学び、苔と木の切り株が数多くある静かな庭園を散策することができる。

※ 尾形光琳：日本の美の象徴とも言われる「琳派」を大成させた代表的な人物。

<簡体字>

茶室飞涛亭（重要文化财）

仁和寺第 28 代住持是日本第 119 代天皇光格天皇（1771-1840）的同父异母兄长，而茶室飞涛亭即是专门为光格天皇而建。不同于辽廓亭，飞涛亭的入口建造为常规高度，称为“贵人口”（贵人用的出入口），便于天皇进出，无需弯腰。而辽廓亭的入口高度只有其一半，因此任何人进出茶室时皆需俯身低头，谦卑之心油然而生。飞涛亭通常不对外开放，但团体可预约参观。漫步于“苔之海”庭园，能全观茶室整体之美。除了欣赏茶室的附属庭园外，也可由此远眺仁和寺优美的北庭，风光明媚，别有一番韵味。

<繁体字>

茶室飛濤亭（重要文化財）

仁和寺第 28 代住持是日本第 119 代天皇光格天皇（1771-1840）的同父異母兄長，而茶室飛濤亭即是專門為光格天皇而建。與遼廓亭不同，飛濤亭的入口高度正常，稱為「貴人口」（貴人用的出入口）。而遼廓亭的入口高度只有前者一半，因此任何人進出茶室時皆需低首屈膝，進而心生謙卑。飛濤亭的入口則設計為普通高度，便於天皇進出，無需彎腰。飛濤亭通常不對外開放，但團體可預約參觀。漫步於「苔之海」庭園，能欣賞到茶室的整體之美。除了欣賞茶室的附屬庭園外，亦可由此遠眺仁和寺優美的北庭，明媚風光，更有一番韻味。

<日本語仮訳>

茶室・飛濤亭（重要文化財）

第 119 代天皇である光格天皇（1771-1840）のために茶室・飛濤亭を造った（仁和寺の 28 代目の住職は光格天皇の義理の兄弟であった）。遼廓亭とは異なり、飛濤亭の戸口は通常の高さがあり、「貴人口（貴人用の出入口）」と呼ばれている。半分の高さしかない遼廓亭の戸口は、中に入る者すべてがかがんだ姿勢にならなければならず、茶室に入る際に謙虚な気持ちを引き起こす。一方の飛濤亭には通常の高さの戸口が与えられ、天皇が茶室に入る際にかがむ必要がない。この建物は通常は一般公開されていないが、団体は事前に見学予約することができ、「苔の海」と呼ばれることもある庭園を散策したり、外側から茶室の建物を見学したりすることができる。茶室には付属の庭園があるが、ここからは仁和寺の美しい北庭も眺めることができ、風光明媚な雰囲気さをさらに高めている。

<簡体字>

宸殿

宸殿最初座落在京都御所，于 17 世纪中叶迁筑至仁和寺。然而原本的建筑在 1887 年因火灾付之一炬，目前的建筑重建于 1914 年。重建的宸殿忠实还原御所的建筑风格，比如，采用“桧皮葺”（以扁柏树皮铺设的屋顶）的歇山式结构屋脊，令人联想到京都御所中承办国家大典的场地紫宸殿。宸殿内有 3 个房间，各房间的拉门上皆描绘着原在泉（1849-1916）的画作。原在泉是日本画原派的第 4 代画家，该流派创立于江户时代（1603-1868）后期，是皇室御用的画师团体，以在御所的拉门及日用器具上作画而颇负盛名。重建的宸殿原则上力求重现皇室建筑的原始风貌，因此原在泉绘制的拉门画也仿效了当时的样式。画中描绘古典的日本四季风情，可见早春芍药、秋日野鸭等代表性日本元素。

<繁体字>

宸殿

宸殿最初座落在京都御所，於 17 世紀中葉遷築仁和寺。然而原本的建築在 1887 年因祝融之災而付之一炬，目前的建築於 1914 年重建而成。宸殿的重建亦忠實於御所的建築風格，比方採用「檜皮葺」（以檜木樹皮鋪設的屋頂）的歇山式結構屋脊，令人聯想到京都御所中承辦國家大典的場地紫宸殿。宸殿內有房屋 3 間，各房間的拉門上皆繪有原在泉（1849-1916）的畫作。原在泉是日本畫原派的第 4 代畫家，該流派創設於江戶時代（1603-1868）後期，亦是皇室御用的畫家團體，以在御所的拉門及日用器具上作畫而頗負盛名。重建的宸殿基本上力求重現皇室建築的原始風貌，因此原在泉繪製的拉門畫也仿效了當時的樣式。畫中描繪有古典的日本四季風情，呈現出早春芍藥、秋日野鴨等典型的日本象徵。

<日本語仮訳>

宸殿

宸殿は、元々は京都御所にあった建物を 17 世紀半ばに仁和寺に移築したもののだが、その本来の建物は 1887 年の火事で焼失してしまった。現在の建物は 1914 年に再建された。再建は、御所の建築様式に忠実に従っている。例えば、ヒノキの樹皮を使った檜皮葺きの入母屋屋根は、特に京都御所で国家行事を行う際に使われる紫宸殿の建築様式を思わせる。宸殿には 3 つの部屋があり、そのそれぞれに原在泉（1849-1916）による襖絵がある。原在泉は日本画の原派 4 代目の絵師である。原派は江戸時代（1603-1868）の後期に創設された流派であり、皇室お抱えの絵師集団として、御所の襖や調度品に絵を描いたことで知られている。再建された宸殿は基本的には元の皇室建物の再現であるため、原在泉はその様式に沿って襖絵を描いた。襖には古典的な日本の四季が描かれていて、早春の芍薬や秋の鴨などの典型的な日本のモチーフを見ることができる。

<簡体字>

北庭与南庭

北庭与南庭分别位于宸殿的北与南，两座庭园风格迥异，相映成趣。北庭有涌水池塘，四周环绕散步小径与假山。绿意盎然的假山脚下是茶室飞涛亭，五重塔耸立于其后。

而南庭风格则与北庭截然不同，纯粹却风情万种。在樱树、杉树、松树等草木映衬下，枯山水庭园中的白砂与砾石纹更显优雅动人。

<繁体字>

北庭與南庭

北庭與南庭分別位於宸殿的北與南，兩座庭園呈迥異對比，相映成趣。北庭有湧水池塘，四周環繞散步小道與假山。綠意盎然的假山腳下是茶室飛濤亭，五重塔於其後聳立。

而南庭風格則與北庭截然不同，純粹卻風情萬種。櫻樹、杉樹、松樹等草木掩映下，枯山水庭園中的白砂與礫石紋更顯優雅動人。

<日本語仮訳>

北庭・南庭

北庭と南庭は、宸殿の北と南にそれぞれ位置しているが、互いに著しく対照的な庭園である。北庭には湧き水を使った池があり、その周囲には遊歩道と築山（人工の小さな丘）がある。緑豊かな築山のふもとに茶室の飛濤亭があり、さらにその背後には五重塔がある。

一方、南庭は、全く異なる性質の庭園である。シンプルだが魅力的なこの庭は、目付の跡も美しい白砂と砂利の石庭を取り囲むように、桜や杉、松などの木々が植えられている。

<簡体字>

御室八十八所灵场

仁和寺的建筑多为后续迁入，御室八十八所灵场也不例外。灵场全长 3 公里，访遍全程约需 2 小时，其路线原型来自知名的“四国遍路”——巡拜四国岛（日本四大岛之一）外围 88 处寺院的宏大行程。

仁和寺的巡拜路线是微缩的四国遍路。参拜者须登上寺院后方海拔 236 米的成就山，巡拜 88 处名为“札所”的小祠堂，并在札所收集小型护身符。如能走完全程并成功集齐所有护身符，即相当于“结愿”，相传可获得与参拜完四国遍路（总距离约 400 倍）同等的福报。在得知四国灵场极度拥挤的情形后，仁和寺第 29 代住持于 1827 年开设了此灵场。他将四国遍路灵场的砂砾带回寺院，撒在成就山的登山路线上，随后便开始建造 88 札所。

“OMURO88”（参加费用：300 日元／人）可直接参加，无需提前申请。参加者可寻访祠堂，收集有神佛保佑的御朱印（印章）等，相当值得留念。相关详情请查看寺院官网（http://www.ninnaji.jp/hallowed_ground/）。

<繁体字>

御室八十八所靈場

仁和寺的諸多建築是後續遷入，御室八十八所靈場也不例外。靈場全長 3 公里，訪遍全程約需 2 小時，其路線原型來自知名的「四國遍路」——巡拜四國島（日本四大島之一）外圍 88 處寺院的宏大行程。

仁和寺的巡拜路線是四國遍路的微型版本。參拜者須登上寺院後方海拔 236 公尺的成就山，巡拜 88 處名為「札所」的小祠堂，並在札所收集小型護身符。如能走完全程並成功集滿所有護身符，則等於「結願」，據信可獲得與參拜完四國遍路（總距離約 400 倍）同等的福報。仁和寺第 29 代住持得知四國靈場極度擁擠的情況後，於 1827 年開設了此靈場。他將四國遍路靈場的砂礫帶回寺院，撒在成就山的登山路線上，其後即開始建設 88 札所。

「OMURO88」（參加費用：300 日圓／人）無需事先申請，可直接參加。參加者可尋訪祠堂，收集有神佛保佑的御朱印（印章）等，相當值得留念。相關詳情請查看寺院官網（http://www.ninnaji.jp/hallowed_ground/）。

<日本語仮訳>

御室八十八ヶ所霊場

仁和寺の中には、もともとは寺の一部ではなかった部分も数多くあるが、御室八十八ヶ所霊場もその一つである。この霊場そのものは全長 3 キロメートル、所要時間 2 時間のウォーキングコースであり、有名な四国のお遍路をベースとしている。四国のお遍路は、日本列島の主要 4 島のひとつである四国の外周に位置する 88 の寺院を巡礼するコースである。

仁和寺にあるのはそのミニチュアバージョンであり、寺の背後にある標高 236 メートルの成就山を登りながら、88 の「札所」と呼ばれる小さな祠を巡るコースである。札所では小さな護符（お札）を集める。そのすべてを手に入れ、コースを踏破することを「結願」と呼び、四国の遍路（距離にして 400 倍ある）を踏破したのと同じご利益が得られる、とされている。この霊場は 1827 年に、四国の霊場が混雑をきわめていることを知った仁和寺の 29 代住職が開いたものである。四国遍路の霊場の砂を持ち帰り、成就山のルートにその砂を撒き、その後に 88 の札所の建設を開始した。

「OMURO88」（参加費：300 円／人）は事前の申し込みがなくても参加でき、祠を巡りながらご利益がある御朱印（スタンプ）を集めるなど、思い出に残る体験イベントとして用意されている。詳細は、寺院の公式サイト（http://www.ninnaji.jp/hallowed_ground/）にて。

番号 NO : 012-015

<簡体字>

御室櫻

此树名为御室櫻，花期偏晚，因仁和寺而名声远扬，亦是不少和歌的主题，1924年被指定为日本的国家名胜。

不同于其他櫻花，御室櫻花朵硕大，且香气甜美。仁和寺赏櫻在江户时代（1603-1868）便已向一般民众开放，因此御室櫻自古以来素有“庶民之櫻”的美誉，备受喜爱。

御室櫻几乎全年皆不对外开放，唯有 4 月中旬的赏櫻时节可进入参观。

<繁体字>

御室櫻

此樹名為御室櫻，花期偏晚，因仁和寺而廣為人知，亦是不少和歌的主題，1924年獲指定為日本的國家名勝。

不同於其他櫻花，御室櫻花朵碩大，且香氣甜美。仁和寺賞櫻在江戶時代（1603-1868）便已向一般民眾開放，因此御室櫻自古以來素有「庶民之櫻」的地位，廣受喜愛。

雖然御室櫻幾乎全年皆不對外開放，但在4月中旬的賞櫻時節可進入參觀。

<日本語仮訳>

御室桜

これらの木々は御室桜である。遅咲きの桜で、仁和寺の桜として広く知られており、数多くの和歌にも詠まれた。また、1924年には、国の名勝に指定されている。

御室桜は他の桜より花が大きく、その香りも甘いことが特徴。江戸時代（1603-1868）には、仁和寺が桜を広く一般の人々にも公開したことで、古くから庶民の桜として親しまれてきた。年間を通じてほとんどの時期は立ち入り禁止となっているが、通常は4月中旬ごろとなる花見の季節には一般公開される。

<簡体字>

御室流花道

仁和寺是日本花道流派御室流的据点，该流派得名虽仅有约短短 70 年，然而它早已在仁和寺传承了数世纪有余。众多中世纪的知名花道家皆与仁和寺有渊源，因此仁和寺的花道传统堪称正统。

不过仁和寺的正统派之中，也存在不少变化。基本上，插花时遵照“传统”方式便可。所谓“传统方式”，是指将花材组合出最能展现枝叶原始之美的造型。但即使不想依循传统习惯，而以自我风格表现亦无不可。正因作风兼容并蓄，御室流方能盛行至今。

<繁体字>

御室流花道

仁和寺是日本花道流派御室流的據點，該流派得名雖只有約短短 70 年，卻早已在仁和寺傳承了數世紀有餘。許多中世紀的知名花道家皆與仁和寺有淵源，因此仁和寺的花道傳統堪稱正統。

不過仁和寺的正統派之中，亦存在不少變化。基本上，插花時遵照「傳統」方式便可。所謂「傳統方式」，是指將花材擺放出最能展現枝葉原始之美的造型。但即便不想依循傳統習慣，而以自我風格表達亦無不可。正因作風兼容並蓄，御室流方能盛行至今。

<日本語仮訳>

御室流華道

仁和寺は生花の御室流の拠点である。御室流という名前がつけられたのは約 70 年前と最近のことだが、御室流の生け花は何世紀にもわたって仁和寺で実践されてきた。中世の時代には、有名な華道家の多くが仁和寺と関係があり、そのため、仁和寺での生花の伝統はオーソドックスな傾向がある。

しかし、仁和寺の正統派の中にも多くのバリエーションが存在する。花を活けるときは、「伝統的」なスタイルにしたがって活ければよい。この「伝統的なスタイル」では、植物が自然の中にある姿を模倣するために、どの花をどの角度に置くかが決められている。しかしながら、伝統的な慣習から離れて、自分の好みにしたがって花を活けることも許されている。このような柔軟性が、御室派が今日まで繁栄し続けることができた理由である。

<簡体字>

阿弥陀佛如来坐像（国宝）

该木雕坐像为阿弥陀佛如来，即西方净土的佛陀。佛像问世于 888 年，是仁和寺的本尊。作为日本最古老的阿弥陀佛如来像，他视线低垂，轮廓优雅，端庄稳重。阿弥陀佛超脱了生死轮回，赐予众生投胎西方净土（极乐世界）的机会。从佛像双手摆放的位置即可断定该佛像为阿弥陀佛如来像。只见佛像双手拇指与食指相触构成圆形，并放于盘坐的膝上、腹前，该冥想坐姿几乎不会出现于阿弥陀佛如来以外的佛像身上。

这尊阿弥陀佛如来像以整木雕成，体现出平安时代（794-1185）正是日本雕刻崛起进化的原点，因而获得高度赞誉。此阿弥陀佛像更具超出宗教范畴的重要内涵——象征佛像的日本化。佛教于 6 世纪经中国传入日本，同时雕刻技术也随其一并传入。奈良时代（710-794）盛行的脱胎漆器工艺便是一例。然而日本历经多年才得以脱离前述中国佛像的范例，确立独自风格。

<繁体字>

阿彌陀佛如來坐像（國寶）

此木雕坐像為阿彌陀佛如來，亦是西方淨土的佛陀。佛像於 888 年問世，是仁和寺的本尊。作為日本最古老的阿彌陀佛如來像，祂眼神低垂，輪廓優雅，盡顯莊重。阿彌陀佛超脫了生死輪迴，賜予眾生投胎西方淨土（極樂世界）的機會。從佛像雙手擺放的位置即可判斷該佛像為阿彌陀佛如來像。只見佛像雙手拇指與食指相接構成圓形，並放於禪坐的膝上、腹前，呈現該冥想坐姿的幾乎只有阿彌陀佛如來像。

整尊阿彌陀佛如來像以單塊木頭雕成，反映出平安時代（794-1185）正是日本雕刻崛起進化的原點，因而獲得高度讚譽。此阿彌陀佛像更具超出宗教範疇的重要意涵——象徵佛像的日本化。佛教於 6 世紀經中國傳入日本，同時雕刻技術亦隨其一併傳入。奈良時代（710-794）盛行的脫胎漆器工藝便是一例。然而日本歷經多年方才脫離前述中國佛像的範例，確立獨自風格。

<日本語仮訳>

阿弥陀如来坐像（国宝）

この坐像は阿弥陀如来であり、西方浄土の仏陀である。888年に仁和寺の本尊としてつくられた。

この像は日本における最古の阿弥陀如来像であり、下向きの目線やなめらかな木彫りの曲線が穏やかな存在感を示している。阿弥陀は、死と生の永遠のサイクルから抜け出して、西方浄土（または極楽）での転生を与えてくれる存在である。この像はその手の位置から阿弥陀如来像と同定することができる。両手の親指と人差し指が円を形作っており、その両手は座った姿勢の仏陀の膝の上、腹の前に置かれているが、この瞑想のポーズをとるのはほぼ阿弥陀如来像のみである。

一木造りでつくられているこの阿弥陀如来像は、平安時代（794-1185）の間に進化を続けた日本彫刻というジャンルの出発点を示すものとして、高く評価されている。この阿弥陀像は、より宗教からは離れた意味でも重要性である。この像は、仏像の日本化の始まりを示す重要な作例なのである。仏教が中国を経由して日本に伝わったのは6世紀。同時に大陸の彫刻技術も日本に伝来した。その一例が、奈良時代（710-794）に盛行された脱活乾漆造という技法。しかしながら、日本の仏像が大陸の前例を離れて独自のスタイルを持つようになるには、しばらくの時間を要した。

<簡体字>

多闻天王立像（重要文化財）

多闻天王在四大天王中最为强大。每位天王皆负责管理天下不同方位，保护当地不受邪恶侵犯。四大天王之一的多闻天王像，不怒自威。这种神态是平安时代（794-1185）佛像的特征。多闻天王左手持满足众生意愿的如意宝珠，右手持戟。宝珠代表多闻天王的能
力，可完成毫不空泛的实际愿望；戟则象征多闻天王致力于守护佛教的强烈意志，能铲奸除恶。

与阿弥陀佛如来像相同，此雕像也采用整木雕成，而仁和寺的其他佛像则采用 10 世纪后半叶日本广为流行的拼木方式雕成。多闻天王虽独自一尊，凛凛气势却丝毫不减。他或许曾经与其他 3 位天王同处仁和寺本堂，担当西方净土佛陀——阿弥陀佛如来的护法神。除了护持北方的多闻天王外，当时应还供奉着护持东方的持国天王、护持南方的增长天王，以及护持西方的广目天王。

<繁体字>

多聞天王立像（重要文化財）

四大天王中，屬多聞天王最為強大。每位天王皆負責管理天下不同地點，保護當地不受邪惡侵犯。代表四大天王之一的多聞天王像，不怒自威。此種神態是平安時代（794-1185）佛像的特徵。多聞天王左手持滿足眾生意願的如意寶珠，右手持戟。寶珠象徵多聞天王的能力，可完成毫不空泛的實際願望；戟則象徵多聞天王致力於守護佛教的強烈意志，能鏟除惡。

與阿彌陀佛如來像相同，此雕像亦採用單塊木頭雕成，而仁和寺的其他佛像則採用 10 世紀後半葉日本廣為流行的木材拼接方式雕成。多聞天王獨自一尊，已足以氣勢凜凜，不過祂或許曾經與其他 3 位天王同處仁和寺本堂，擔當西方淨土佛陀——阿彌陀佛如來的護法神。除了護持北方的多聞天王外，當時應亦供奉有護持東方的持國天王、護持南方的增長天王，以及護持西方的廣目天王。

<日本語仮訳>

多聞天立像（重要文化財）

多聞天は四天王の中でも最も力が強いとされる。四天王は世界の中でそれぞれ受け持ちの場所があり、そこを悪の影響から守っている。四天王の一人である多聞天をかたどったこの像からは、静かな怒りが伝わってくる。これは平安時代（794～1185年）の仏像の特徴である。多聞天は願いを叶える宝珠（如意宝珠）を左手に持ち、戟（中国風の矛槍）を右手に持っている。宝珠は、実利的な願いを叶えることができるという多聞天の能力を象徴しており、戟は悪を退け、仏教を守ろうとする多聞天の強い意思を象徴している。

阿弥陀如来像と同じく、この像の胴体は一木造りで、10世紀の後半から日本で広く行われるようになった寄せ木造りの様式でつくられた仁和寺の他の仏像とは、その点で異なっている。この像は、一体だけでも堂々とした力強さを放っているが、かつては西方浄土の仏陀である阿弥陀如来の脇侍、四天王の一体として、仁和寺の本堂に祀られていた可能性がある。北の方位の守り神である多聞天とともに祀られていたのは、東を守る持国天、南を守る増長天、そして西を守る広目天であろう。

<簡体字>

文殊菩萨坐像（重要文化财）

文殊菩萨盘腿而坐，面容祥和，右手持宝剑，是智慧的化身。他通常以驾狮形像出现，不过，寺内供奉的文殊菩萨却无坐骑。他手中的剑并非普通武器，而是与镶满宝石、名为“金刚杵”的法器渊源较深。金刚杵象征佛陀大智大慧，用宝剑破除世俗的愚痴妄想。而常与文殊菩萨像相伴的雄狮，在佛教中则譬喻佛教力量，以及宣说佛法时的震撼响亮之声。

此文殊菩萨像的左手原本持有其他物品，据推测应是书写于莲花茎或椰叶上的佛经《梵经》，但早已不知去向。与仁和寺其他多尊佛像相同，文殊菩萨像也被指定为“重要文化财”，是日本佛教美术发展中备受瞩目的存在。有观点认为其衣着风格较显尘俗，反映出中国宋朝（960-1279）文化的深刻影响。但其他部位的表现手法中，却呈现不同时代及地域传统。如双眼采用更早期的雕刻技法，与流行使用水晶及玻璃眼珠的宋朝雕刻有所不同。

<繁体字>

文殊菩薩坐像（重要文化財）

文殊菩薩是智慧的化身，祂盤腿而坐，面容祥和，右手持寶劍。文殊菩薩通常多以駕獅形像出現，不過，寺內供奉的文殊菩薩卻無坐騎。祂手中的劍並非普通武器，倒與鑲滿寶石、名為「金剛杵」的法器淵源較深。金剛杵象徵佛陀大智大慧，用寶劍破除世俗的愚癡妄想。寺中的文殊菩薩像雖未有獅子相伴，但獅子在佛教中亦譬喻佛教力量，以及宣說佛法時的震撼響亮之聲。

此文殊菩薩像的左手原本持有其他物品，據信應是書寫於蓮花莖或椰葉上的佛經《梵經》，但早已不知去向。無異於仁和寺其他多尊佛像，文殊菩薩像亦獲指定為「重要文化財」，是日本佛教美術發展中備受矚目的存在。雖有觀點認為其衣著風格較顯塵俗，不過亦反映其深受中國宋朝（960-1279）文化的影響。但其他部位的表現手法中，卻呈現不同時代及地域傳統。如雙眼採用更早期的雕刻技法，與流行使用水晶及玻璃眼珠的宋朝雕刻有所區別。

<日本語仮訳>

文殊菩薩座像（重要文化財）

文殊菩薩は知恵を擬人化した存在で、足を組み、穏やかな表情を浮かべ、右手には宝剣を持って
いる。文殊菩薩はここでは単体で祀られているが、通常は獅子の上に座った姿で描かれる。手にしてい
る剣は普通の武器ではない。これはむしろ、ヴァジュラと呼ばれる宝石を散りばめた法具と関連がある。
ヴァジュラは幻想や妄想を宝剣で絶つ仏の智慧を象徴している。仁和寺の像にはないが、獅子は仏
教の力や仏法の唸るような力強い声を象徴している。

この文殊菩薩は、かつては左手にも何かを持っていた。それは蓮の花の茎か、椰子の葉に書かれた
経典、「梵経」だと考えられているが、それはすでに失われて久しい。仁和寺の他のいくつかの仏像と同
じく、この像も重要文化財に指定されており、日本の仏教美術の発展に光を当てる存在である。やや
世俗的な表現であるかはさておき、文殊菩薩が纏う着物は、中国の宋代（960-1279）からの影
響を強く示唆している。しかしながら、その他の部分については、異なる時代や地域の伝統が現れてい
る。例えば、目の部分にはより古い時代の彫刻技法が見てとれ、水晶やガラスの目を多用した宋代の
彫刻とは一線を画している。

<簡体字>

吉祥天女立像（重要文化財）

此吉祥天女立像造于平安时代（794-1185），据说雕像落成时，外表比现在更加栩栩如生，色彩鲜活亮丽。平安时代的雕像多具双性特征，此雕像也有此倾向，但研究认为吉祥天女应为女神。因此自古以来，吉祥天女便是美丽之神，并有多子多福、家门兴旺之寓意。与此同时，她也逐渐成为代表幸运与财富等更为普遍的祭祀对象。

正如前述，吉祥天女左手持如意宝珠，象征赐予众生恩惠的力量。此能力固然令崇敬吉祥天女的信众感恩，但在佛教中，清心寡欲、超脱凡尘方为修行之重。广施恩惠的能力是吉祥天女的核心特质，因此无论身处何时何地，她皆以手持如意宝珠的形象示人。

<繁体字>

吉祥天女立像（重要文化財）

此吉祥天女立像造於平安時代（794-1185），據信雕像落成時，外表應不似現在，而是更加栩栩如生，色彩鮮活亮麗。平安時代的雕像多具雙性特徵，此雕像亦有此傾向，但研究認為吉祥天女應為女神。因此自古以來，世人就將吉祥天女視作美麗之神及象征多子多福、家門興旺之神來敬仰。與此同時，祂也逐漸成為代表幸運、財富等更為普遍的祈願對象。

正如前述，吉祥天女左手持如意寶珠，象徵賜予眾生恩惠的力量。此一能力固然令崇敬吉祥天女的信眾感恩，但在佛教中，清心寡欲、超脫現世塵俗方為修行之本。廣施恩惠的能力是吉祥天女的核心特質，因此無論在何時何地，吉祥天女皆以手持如意寶珠的形象示人。

<日本語仮訳>

吉祥天立像（重要文化財）

この吉祥天立像がつくられたのは平安時代（794-1185）であり、その当時は、生き生きとした、まるで本物のような見た目のこの像に、鮮やかな装飾的な色彩がほどこされていたものと思われる。平安時代の像にはよくある傾向として、この像もやや両性具有的な印象があるが、吉祥天は女神であると考えられている。したがって、人々は古くから吉祥天を多産や美の神として崇拝してきたが、それと同時に、幸運や富など、より一般的な祈りの対象ともなってきた。

それにふさわしく、吉祥天が左手に持っている如意宝珠は、吉祥天が実利をもたらす能力を持っていることを示している。この能力は、吉祥天を崇拝する人々にとってはありがたいもののようにも思えるが、仏教では、現世での願望を超越することに重きを置いている。実利をもたらす能力は吉祥天の属性の中心的なものなので、如意宝珠はいつの時代のどの像でも、吉祥天の標準的な持物となっている。

<簡体字>

持国天王立像

持国天王身为四大天王之一，是护持东方的守护神。他挥舞宝剑，神态坚定，守护天下、佛法、信众的豪迈气概表露无遗。他手中的剑并非寻常兵器，而与前端分岔的法器“金刚杵”倒是颇有渊源。金刚杵象征佛法神力，可破除世俗的愚痴妄想。持国天王傲然而立，凌驾于痛苦不堪的恶鬼之上，以示其战胜蛊惑信众的邪魔歪道。雕像表现手法充满暴力及斗争的威慑感，以现代观点视之，或许略显压迫。然而在文字尚未普及的年代，此方式可通过具体造型向无法理解佛教教义的信众阐述佛法及其力量，可谓举足轻重。

<繁体字>

持國天王立像

持國天王身為四大天王之一，是護持東方的守護神。祂揮舞大劍，神態堅定，守護天下、佛法、信眾，氣概表露無遺。祂手中的劍並非一般武器，倒與前端分岔的法器「金剛杵」頗有淵源。金剛杵象徵佛教力量，可破除世俗的愚癡妄想。凌駕於痛苦不堪的惡鬼之上，持國天王傲然而立，展現其戰勝蠱惑信眾的邪魔歪道。雕像表現手法充滿暴力及鬥爭的威懾感，以現代觀點視之，或許略顯壓迫。然而在文字尚未普及的年代，對無法理解佛教教義的信眾而言，此方式可透過具體造型闡述佛法及其力量，可謂舉足輕重。

<日本語仮訳>

持国天立像

四天王の一人である持国天は、東方を護る守護神である。剣を振りかざし不動の表情をたたえるその姿には、世界および仏法や仏教徒の守護神としての役割が強くにじみ出ている。剣はただの武器ではなく、ヴァジュラと呼ばれる先がいつかに分かれた法具と関連がある。ヴァジュラは、現世における幻想や妄想を絶つ仏教の力を象徴している。持国天は、悶え苦しんでいる邪鬼の上に勝ち誇ったような様子で立っているが、これもまた、信者を惑わせる悪の影響に打ち勝つことができる持国天の能力を象徴している。暴力や戦いの脅威がふんだんに込められたこのような表現は、現代の視点からすると高圧的な感じを受けるかもしれない。しかし、文字が浸透する以前は、このような外見で仏教の教えやその実践の力を伝えることが、自分では字を読むことができず、仏教の教義を理解することができない信徒たちにとって極めて重要なことだったのである。

<簡体字>

爱染明王坐像（重要文化财）

这尊爱染明王像为坐像，满脸通红，尖牙外露，头冠造型为中国神兽狮头，且身具六臂，各持不同佛教法器，象征其拥有各式各样的力量。爱染明王身为佛教五大明王之一，是拥有愤怒面容的赤红神祇，时常帮助深陷情爱烦恼的信众大彻大悟。爱染明王像常以双臂、四臂、六臂的形像出现，最常见的当属六臂。他手握寓意征服的莲花蕾，以及破除愚痴妄想的金刚杵等法器。此雕像造于平安时代（794-1185），被指定为“重要文化财”。躯干与头部为整木雕成，手脚则是另外拼接。这也是所谓“寄木造”工艺技术初期的代表作品之一。爱染明王是真言宗等密宗中相当重要的神祇。仁和寺为真言宗御室派本山，爱染明王雕像尤为古老，越发成为了解平安时代佛教的重要佛像。

<繁体字>

愛染明王坐像（重要文化財）

此愛染明王像為坐像，滿臉通紅，尖牙外露。祂的頭冠造型為中國神獸獅頭，且身具六臂，各持不同佛教法器，象徵愛染明王擁有各式各樣的神力。愛染明王身為佛教五大明王之一，是擁有憤怒面容的赤紅神祇，時常幫助深陷情愛煩惱的信眾大徹大悟。愛染明王像常以雙臂、四臂、六臂的形像出現，最常見的當屬六臂。祂手握象徵征服之意的蓮花蕾，以及破除愚癡妄想的金剛杵等法器。此雕像造於平安時代（794-1185），獲指定為「重要文化財」。其軀幹與頭部為單塊木頭雕成，手腳則是另外拼接。這也是所謂「寄木造」工藝技術初期的作品範例之一。愛染明王是真言宗等密宗中相當重要的神祇。仁和寺為真言宗御室派本山，其愛染明王雕像尤為古老，越發成為理解平安時代佛教的重要佛像。

<日本語仮訳>

愛染明王坐像（重要文化財）

この愛染明王像は坐像であり、真っ赤な顔で歯を獠猛にむき出している。中国の神獣である獅子の頭部をかたどった頭飾りを身につけ、6本の腕があり、そのそれぞれが様々な仏教の法具を持っている。これは愛染明王がたくさんの力を持っていることの象徴である。愛染明王は仏教における五大明王の一人であり、憤怒の相を持つ真っ赤な神として、多くの場合、愛欲の苦しみに悩む信徒の煩惱を悟りへと昇華させる。愛染明王の像は、2本腕、4本腕、そして6本腕で描かれることがあり、6本腕の姿が最も一般的である。その手には、征服を象徴する蓮の花の蕾や、幻想を断ち切る法具であるヴァジュラなどを持っている。この像は平安時代（794-1185）につくられたもので、重要文化財に指定されている。胴体と頭部は一木造りで、手足は別に彫ったものを取り付けている。寄せ木造りと呼ばれる新しい造形手法の初期の作例である。愛染明王は真言宗などの密教における重要な神である。仁和寺は真言宗御室派の本山だが、この像は愛染明王の彫像としては特に古いものであり、平安時代の仏教について理解するうえで、ますます貴重な仏像となっている。

<簡体字>

显证坐像

此雕像刻画的是仁和寺近代历史中最重要的人物之一——17 世纪的僧侣显证（1597-1678），雕像于其圆寂后落成，也是一座纪念碑。应仁之乱（1467-1477）期间，仁和寺大半被焚毁，之后长年荒废。1634 年，德川家光（1604-1651）造访京都，当时他应允了觉深入道（1588-1648）申请重建的请求并给予资金援助。不过新建筑的设计与重建的原动力实则来自显证。他的日记保存至今，其中详细记载了建筑设计以及他指挥重建过程中的独特决策。由于重建计划大幅延迟，他甚至在日记中对无法完成重建表示了担忧。不过他的担忧不无道理，觉深入道于 1634 年便已成功募得所需资金，却直至 1640 年才开工，最终于 1646 年方才完工。此时新建的寺院布局，与当今并无多大差异。

<繁体字>

顯證坐像

此雕像刻畫的是仁和寺近世歷史中最重要的人物之一——17 世紀的僧侶顯證（1597-1678），雕像於其圓寂後落成，亦是一座紀念碑。應仁之亂（1467-1477）期間，仁和寺大半被焚毀，其後長年荒廢。1634 年，德川家光（1604-1651）造訪京都，當時他應允了覺深入道（1588-1648）申請重建寺院的請求並給予資金援助。不過新建築的設計與重建的原動力實則來自顯證。他的日記保存至今，其中詳細記載了建築設計以及他指揮重建過程中的獨特決策。由於重建計劃大幅推遲，他甚至在日記中記述了對無法完成重建的擔憂。不過他的擔憂不無道理，覺深入道於 1634 年便已成功募得所需資金，卻直至 1640 年才開工，最終於 1646 年方才完工。此時新建的寺院佈局，與當今並無甚大差別。

<日本語仮訳>

顕證坐像

この像は、近世における仁和寺の歴史における最重要人物の一人である17世紀の僧、顕證の死後につくられた肖像彫刻で、顕證の記念碑としての機能も果たしている。応仁の乱（1467-1477）の際に仁和寺はその大部分が焼かれ、その後も長年にわたって荒廃した状態のままだった。1634年に徳川家光（1604-1651）が京都を訪れた際、覺深入道（1588-1648）が資金の提供と再建の許可を求め、これが受け入れられた。しかし、新たな建物の設計と建築の原動力となったのは顕證（1597-1678）であった。彼の日記は今日まで残されており、そこには設計やその他の意思決定における彼の監督ぶりの詳細が書き記されている。この日記には、計画があまりにも遅れてしまっているために、再建が不可能に終わってしまうのではないかという懸念までが記されている。彼の懸念にはもったもな部分もあった。1634年に（覺深）入道が必要な資金は確保していたものの、建物の建設は1640年になるまで開始されず、ようやく完成したのは1646年になってからだったからである。このときにつくられた伽藍配置は、現在にいたるまで概ね変わっていない。

<簡体字>

宇多法皇像

日本第 59 代天皇宇多天皇（867-931）被刻画为单手持刀的僧侣形象。虽然僧侣持刀看似矛盾，不过宇多天皇所持的刀并非武器，而当属法器。此刀与不动智慧之王——真言宗佛教核心不动明王所持的刀相同。刀斩的不是血肉，而是蛊惑修佛之人的一切愚痴妄想。由于宇多天皇手持此刀，后世常将他与不动明王相比，可看出宇多天皇退位后笃信佛教的虔诚心。

宇多天皇遵循当时风气，退位后便出家为僧。虽时有退位天皇最终未能做到不忘初心，一心向佛，然而宇多天皇却始终如一，潜心礼佛。他继承亡父遗志，于 888 年建立仁和寺，并在退位时立誓，成为寺院的第一代门迹（皇族僧侣）。

<繁体字>

宇多法皇像

日本第 59 代天皇宇多天皇（867-931）被刻畫為單手持刀的僧侶形象。雖然僧侶持刀看似矛盾，不過宇多天皇所持的刀並非武器，當屬法器。此刀與不動智慧之王——真言宗佛教核心不動明王所持的刀為同種。刀斬的不是血肉，而是蠱惑修佛之人的一切愚癡妄想。由於宇多天皇持此刀，後世常將其與不動明王相比，可看出宇多天皇退位後篤信佛教的虔誠心。

宇多天皇遵從當時風氣，退位後便出家為僧。雖也有退位天皇最終未能做到不忘初心，一心向佛，然而宇多天皇卻始終如一，潛心佛法。他繼承亡父遺志，於 888 年建立仁和寺，並在退位時立誓，成為寺院的初代門跡（皇族僧侶）。

<日本語仮訳>

宇多法皇像

59 代目の宇多天皇（867-931）は、ここでは僧侶として描かれている。片手に刀を持っている。僧侶が刀を持っているのは矛盾しているように感じられるかもしれないが、ここで宇多天皇が持っている刀は、武器ではなく法具だ。不動の知恵の王であり、真言仏教の中心である不動明王が振るう刀と同じ種類のものだ。この刀は肉ではなく、悟りへの道から人を迷わす妄想を絶ち切るためにある。宇多天皇がこの刀を持っていることで、観るものは不動明王になぞらえることになり、宇多天皇の退位後の仏教に対する信心深さを伝えている。

宇多天皇の生きた時代の慣習通り、彼は天皇の地位から退位した後、仏道に入った。退位した天皇たちは、信仰の誓い通りに献身的でない場合もあったが、宇多天皇は人生を通して一心に信仰を続けた。彼は亡き父の遺志を継いで 888 年に仁和寺を設立し、退位時に誓いを立て、寺の初代の門跡（皇室の僧）となった。

<簡体字>

觉深法亲王像

此为觉深入道亲王（1588-1648）的雕像。觉深的祖先实为皇族，他于 13 岁便出家皈依佛门，成为仁和寺僧侣。当时，仁和寺因应仁之乱（1467-1477）而被烧毁，尚处于荒废状态。觉深决意帮助仁和寺重拾昔日荣光，因此当幕府将军德川家光（1604-1651）于 1634 年造访京都时，他便申请觐见，并诚意相求，从而获得了资金援助及重建许可。其实家光之父德川秀忠早于 17 年前便承诺援助仁和寺，尔后家光又应允支持重建。重建工程比计划晚了数年，直至 1640 年方才正式开工。不过 6 年后，仁和寺便恢复了完整样貌。其后寺院虽又遭逢数次火灾，但主体建筑的基本布局，至今保留了 17 世纪中叶时重建的样貌。

<繁体字>

覺深法親王像

此為覺深入道親王（1588-1648）的雕像。覺深的祖先實為皇族，他於 13 歲便出家，成為仁和寺僧侶。當時，仁和寺因應仁之亂（1467-1477）而遭祝融之災，尚處於荒廢狀態。覺深決意幫助仁和寺重拾昔日榮光，因此當幕府將軍德川家光（1604-1651）於 1634 年造訪京都時，他便申請謁見，並請求對方給予資金援助及重建許可，且獲得批准。其實家光之父德川秀忠早於 17 年前便承諾援助仁和寺，爾後家光又約定支持重建。重建工程比計劃晚了數年，直至 1640 年方才正式開工。不過 6 年後，仁和寺便恢復了完整樣貌。其後寺院雖又遭逢數次火災，但其主體建築的基本佈局，與前述 17 世紀中葉時的重建結果並無太大出入。

<日本語仮訳>

覚深法親王像

この像は覚深入道親王（1588-1648）の像である。覚深は皇族を先祖に持つ僧侶であり、13歳のときに出家して仁和寺の僧となった。当時、仁和寺はまだ応仁の乱（1467-1477）による火災で荒廃したままの状態であった。そしてその後も長年にわたって荒れ果てた状態が続いていたのである。覚深は仁和寺にかつての栄華を取り戻す決意をし、当時の将軍であった徳川家光（1604-1651）が 1634 年に京都を訪れた際に面会を願い出て、資金援助と再建の許可を嘆願した。覚深の願いは聞き入れられた。家光の父である徳川秀忠が、この 17 年前に仁和寺に対して後援の印を授けていたのだが、家光は仁和寺の再建を支援することを約束したのである。再建のプロセスには数年の遅れが生じ、本格的に再建が始まったのは 1640 年になってからであった。しかし、その 6 年後には仁和寺は再び完全な姿に戻ることができた。それ以後、さらに複数の火災に見舞われたが、17 世紀半ばのこの再建時につくられた基本的な伽藍配置は、今日まで変わっていない。

<簡体字>

黑书院

黑书院属复合式建筑，由京都东部的门迹寺院——莲华光院迁移至此，同时融合了其他建筑特征。除正殿外，东西两侧亦有建筑。屋顶为传统歇山式结构，从建筑中心部向外倾斜延伸，建筑周围则有架起的廊道环绕。

建筑内设 6 个房间，由于建筑本身囊括多种风格元素，因此房间设计亦各有千秋。西北角房间的天花板为特殊的格栅设计，“床之间”（壁龛）中布置画卷、花卉等诸多名为“座敷饰”（和室装饰）的饰物。

黑书院虽充满丰富多样的设计元素，但整体样式却仍与白书院及宸殿相同，因而视觉观感整体统一。黑书院与前述两院以走廊相连，展现建筑风格的连贯性，也无形中体现出 3 栋建筑皆为举办仪式大典的场地。

<繁体字>

黑書院

黑書院屬複合式建築，由京都東部的門跡寺院——蓮華光院的建築遷移於此，同時結合其他建築特徵組合而成。除正殿外，東西兩側亦有建築。屋頂從建築中心部向外傾斜延伸，為傳統歇山式結構，建築周圍則有架起的廊道環繞。

建築內設房屋 6 間，由於其本身囊括多種建築風格元素，因此房間設計亦各有不同之處。西北角房間的天花板為特殊的格柵設計，「床之間」（凹間）中更佈置畫作、花朵等諸多名為「座敷飾」（和室裝飾）的飾物。

黑書院雖充滿豐富多樣的設計元素，但整體樣式卻仍與白書院及宸殿相同，因而保有視覺上的統一性。黑書院與前述兩院以走廊相連，展現建築風格的連續性，亦無形中闡明 3 棟建築皆為舉辦儀式大典的場地。

<日本語仮訳>

黒書院

黒書院は複合的な建物である。京都の東部にある門跡寺院の蓮華光院を移築した建築に、その他の建築的な特徴が組み合わされている。本殿のほか、東と西にも棟がある。屋根が建物の中心部から外側に向かって傾斜して伸びる伝統的な入母屋造りで、建物の周囲を高床の通路（縁側）が取り巻いている。

建物の中には6つの部屋があるが、建物自体が複数の建築物の要素の寄せ集めなので、すべての部屋が同じというわけではない。北西の角の部屋には特別な組み天井や、絵画や花などを飾る凹み（床の間）などの「座敷飾り」と呼ばれる装飾的な特徴がある。

このように様々なデザイン要素を組み合わせているにもかかわらず、この建物は全体としては、白書院や宸殿と同じ建築様式で視覚的な統一感がある。黒書院はこの2つの建物と廊下でつながっており、その建築的な連続性は、これらの建物が儀式の場としての役割を共有していることを物語っている。

<簡体字>

白书院

白书院位于御殿内，是举办仪式大典的场所，常与宸殿共用，或代其使用。建筑内有6个房间，其中3间朝东，另3间面西。东西两侧山墙屋檐较深，便于遮阴，因此夏季仍可保持凉爽，足见其建筑风格特征与宸殿有异曲同工之妙。

无壁的廊道环绕建筑，歇山式的宽阔屋顶延展于其上，营造出建筑内外空间相连的效果。细看其他建筑特征，也能发现处处皆融为一体。比如支撑屋檐的横梁延伸至屋架的设计，使屋檐仿佛框起四周风景，化作一幅画卷。

<繁体字>

白書院

白書院位於御殿內，是舉辦儀式大典的場所，常與宸殿並用，或代其使用。建築內有房屋 6 間，其中 3 間朝東，另 3 間面西。東西兩側山牆屋簷較深，便於遮陰，因此夏季仍可保持涼爽，足見其建築風格特徵與宸殿有相通之處。

無壁的廊道環繞建築，而歇山式的廣闊屋頂於其上綿延，營造出建築內外空間相連的效果。細看其他建築特徵，亦能發現處處皆融為一體。比如支撐屋簷的橫梁延伸至屋架的設計，使屋簷彷彿框起四周風景，化作一幅畫。

<日本語仮訳>

白書院

白書院は御殿内に建立され、儀式用の空間として、宸殿と同時に、あるいはそのかわりとして使われている。6つの部屋があり、そのうちの3部屋は東に面して開き、残り3部屋は西に面している。東面と西面の壁は深い庇の陰になっており、夏でも建物の中は涼しく保たれる。建築的特徴は宸殿との共通点が見てとれる。

入母屋造りの広い屋根は、建物を取り巻くように続いている壁のない縁側の上に大きく伸び、建物の内側と外側に空間的な連続性を生み出している。その他の建築的特徴に目を向けても、随所に内と外の融合を感じることができる。例えば、庇を支える水平の梁は建物の小屋組まで伸び、あたかも庇が周囲の風景を取り囲んでいるかのような感じさせる。

<簡体字>

灵明殿

灵明殿座落在宸殿的东北方，专用于供奉牌位，屋脊上饰有宝珠。该殿落成于 1911 年，用以安置仁和寺的下属寺院喜多院本尊——医药之神药师如来坐像。建筑屋顶为“桧皮葺”（以扁柏树皮铺设的屋顶）设计，搭配错落有致的唐草纹图案，别具一格。唐草纹图案是京都名匠龟冈末吉（1865-1922）偏爱且常用的设计，因其善于融合古典日本建筑特征与现代设计要素而闻名于世。

灵明殿是一座牌位堂，安放各种雕像，本尊药师如来坐镇中心。据说药师如来是空海（774-835）从中国传入日本的佛陀。空海是真言宗（仁和寺亦隶属于该宗派）的创始者，他曾作为遣唐使，远赴长安青龙寺修习密宗。这尊药师如来也有“秘佛”之称，因拥有强大的超自然力量，长年深藏，且不说普通信徒，就连大半僧侣都难得一见。不过到了 1986 年，仁和寺允许学者对雕像进行科学调查，雕像的准确制作年代就此水落石出。经调查发现，此雕像并非以往推测的那般年代久远，而是空海从中国带回的雕像遭 1101 年火灾焚毁后，重新雕塑的复制品。该复制品于 1103 年完工，即如今所见的雕像。该雕像于 1990 年被指定为日本国宝，包含台座在内仅 22 厘米高，是日本最小的国宝佛像。

<繁体字>

靈明殿

靈明殿座落在宸殿的東北方，專用於供奉牌位，屋脊上飾有寶珠。該殿於 1911 年落成，用以安置仁和寺的下屬寺院喜多院本尊——醫藥之神藥師如來坐像。建築屋頂為「檜皮葺」（以檜木樹皮鋪設的屋頂）設計，搭配錯落有致的唐草紋圖案，獨具一格。唐草紋圖案是京都名匠龜岡末吉（1865-1922）偏愛且常用的設計，因其善於融合古典日本建築特徵與現代設計要素而廣為人知。

靈明殿是一座牌位堂，安放各種雕像，本尊藥師如來坐像坐鎮中心。據信藥師如來是空海（774-835）從中國傳入日本的佛陀。空海是真言宗（仁和寺亦隸屬於該宗派）的創始者，身為遣唐使的他，曾遠赴長安青龍寺修習密宗。這尊藥師如來亦有「秘佛」之稱，因擁有強大的超自然力量，長年深藏，且不說普通信徒，就連大半僧侶都難得一見。不過到了 1986 年，仁和寺允許學者針對雕像進行科學調查，雕像的準確製作年代就此水落石出。經調查發現，此雕像並非以往推測的那般年代久遠，而是空海從中國帶回的雕像遭 1101 年火災焚毀後，重新雕塑的複製品。該複製品於 1103 年完工，即如今所見的雕像。該雕像於 1990 年獲指定為日本國寶，包含台座在內僅 22 公分高，是日本最小的國寶佛像。

<日本語仮訳>

霊明殿

位牌を祀る場として宸殿の北東側に位置する霊明殿の屋根の上には、宝珠が飾られている。この建物は 1911 年に、仁和寺の末寺の喜多院の本尊であった医薬の神、薬師如来坐像を安置するために建てられた。この建物は、檜皮葺きの屋根と、繰り返し使われている唐草文様との組み合わせが独特である。唐草文様は、京都の職人、亀岡末吉（1865-1922）が好んでよく用いたデザインである。亀岡は古典的な日本の建築の特徴に現代的なデザインの要素を融合させたことで知られている。

位牌堂であるこの建物には、様々な像が並ぶ中心に薬師如来坐像が安置され、本尊となっている。薬師如来は、空海（774-835）が中国から日本にもたらしたと考えられていた。空海は仁和寺が属する真言宗の創始者であり、遣唐使として長安の青龍寺で密教を学んだ。この薬師如来は「秘仏」と呼ばれ、超自然的な力が非常に強いため、一般の信徒はもちろん、ほとんどの僧侶もそれを見ることはできないように隠されてきた。しかし、1986 年に仁和寺はこの像の科学的な調査を許可し、その正確な制作年代が特定された。この調査により、この像は従来考えられていたほど古いものではなく、実際、1101 年に火事によって焼失した空海の像の複製であるということが明らかになった。代わりの像が 1103 年に完成したが、それがこの像だったのである。1990 年に国宝に指定された。その高さは台座も含めて僅か 22 センチと、日本最小の国宝仏像である。

<簡体字>

敕使门

敕使门是南庭入口，然而由于仅对天皇及其信使开放，大多时间皆门扉紧闭。原门于1887 年被付之一炬，后经京都名匠龟冈末吉（1865-1922）设计，1913 年建成目前的新门。

此门混合日本及中国元素，屋顶为“桧皮葺”（以扁柏树皮铺设的屋顶）设计，四脚门下方则是唐朝博风板（唐破风）式样，特色鲜明。博风板中刻着以大自然为主题的精美镂空及浮雕，搭配凤凰（象征复活与重生的生物）尾羽与唐草纹牡丹图案。敕使门虽专为皇室来访而建，但每年 10 月，附近福王子神社的祭典列队也会通过此门。

<繁体字>

敕使門

敕使門是南庭入口，然而由於僅對天皇及其信使開放，大多時間皆大門深鎖。原門於 1887 年因祝融之災而付之一炬，後經京都名匠龜岡末吉（1865-1922）設計，目前的新門於 1913 年落成。

此門混合日本及中國元素，其屋頂為「檜皮葺」（以檜木樹皮鋪設的屋頂）設計，四腳門下方則是唐朝博風板（唐破風）式樣，獨具特色。博風板中刻有以大自然為主題的華美鏤空及浮雕，搭配鳳凰（象徵復活與重生的生物）尾羽與唐草紋牡丹圖案。敕使門雖專為皇室來訪而建，但每年 10 月，附近福王子神社的祭典列隊亦會通過此門。

<日本語仮訳>

勅使門

勅使門は南庭への入り口にある門であるが、天皇またはその使いの者のみが通る門なので、滅多に開かれることはない。当初の門は 1887 年の火災で焼失してしまい、現在の門は 1913 年に京都の職人、亀岡末吉（1865-1922）の設計により建てられたものである。

この門には日本的な要素と中国的な要素が混在しており、檜皮葺きの屋根や、四脚門の下層部分を形成する唐代の様式の破風（唐破風）が特徴的である。破風には、自然をテーマにした非常に装飾的な透かし細工やレリーフ彫刻が施されており、鳳凰（復活と再生を象徴する生き物）の尾羽根や牡丹唐草文が組み合わせられたデザインがあしらわれている。この門は皇室の訪問のみのためにつくられたものだが、毎年 10 月には近くの福王子神社の祭礼の行列もこの門を通る。

<簡体字>

弘法大师（灵宝馆）

仁和寺的灵宝馆内收藏着弘法大师（774-835）的肖像画。画中的大师静坐于榻榻米上，凝神沉思，眺望远处。他一手持象征佛教智慧传播力的金刚杵法器，另一手则握佛珠。弘法大师生前人称“空海”，在日本佛教界举足轻重，圆寂后被赐予“弘法大师”的谥号，意为“伟大的佛法导师”。他是最早远渡中国，并直接在当地向佛教高僧修习佛法的日本僧侣之一。学成回国后，更是带回大量书卷、画作等，为后来自身创设的千年密教宗派——真言宗——奠定了基石。空海圆寂后，成为世间尊崇的对象，诸多雕刻、画作皆以他的肖像为主题。不过，这幅空海的肖像画通常不对外展出。

<繁体字>

弘法大師（靈寶館）

弘法大師（774-835）的肖像畫收藏於仁和寺的靈寶館內。畫中的弘法大師靜坐於榻榻米上，凝神沉思，望向遠處。他一手持象徵佛教智慧傳播力的金剛杵法器，另一手則握佛珠。弘法大師生前人稱「空海」，在日本佛教中佔有舉足輕重的地位，圓寂後獲賜「弘法大師」的諡號，意為「佛法的偉大導師」。他是最早遠渡中國，並直接在當地向佛教高僧修習佛法的日本僧侶之一。學成回國後，更是帶回大量書卷、畫作等，一舉奠定其後來自身創設的千年密教宗派——真言宗的基石。空海圓寂後，成為世間尊崇的對象，諸多雕刻、畫作皆以他的肖像為主題。不過，空海的這幅肖像畫通常不對外展出。

<日本語仮訳>

弘法大師（靈宝館）

仁和寺の靈宝館には、弘法大師（774-835）の肖像画が収められている。この肖像画は畳の上座り、思慮深い表情で視線を外に向けている。片手にヴァジュラと呼ばれる法具を持っている。これは仏教の智慧の浸透力を象徴する法具である。もう一方の手には数珠を握っている。生前、弘法大師は空海と呼ばれていた。弘法大師という名前は死後につけられた尊称であり、「仏教の法の偉大な教師」という意味がある。日本の仏教における弘法大師の重要性は、いくら強調しても強調しすぎるということはない。彼は初めて中国に渡り、その地で仏教の高僧から直接の教えを受けた日本の僧侶のうちの一人である。日本に帰国するとき、空海は数多くの書物や本、絵画などを持ち帰り、それが、空海が創設しその後 1000 年以上続くこととなる密教の一派、真言宗の基礎となった。空海の死後、自らも崇拜の対象となり、彫刻としても絵画としても、その肖像が数多くつくられるようになった。なお、空海のこの肖像画は常時展示していません。

<簡体字>

不动明王坐像

不动明王（无可撼动的守护神）盘腿稳坐，面容狰狞、怒目圆睁。不动明王在五大明王中最为强大和重要，其力量不仅来源于五大明王之一的身份，更因他同时是宇宙佛陀、万物中心——大日如来的化身。不动明王表情凶狠，手中的鞭与剑极具震慑力，而各种武器则分别代表不同含义。剑与握柄分岔的法器“金刚杵”渊源深远，象征佛教的教诲与传播力，从而破除扰乱信众顿悟的一切愚痴妄想。鞭则象征引导不信者立地成佛。至于不动明王的凶恶神色，是因信众妄想背离救济正道，有所欺瞒，他才面露正义之怒。不动明王面恶心善，除仁和寺隶属的真言宗外，于其他许多宗派也举足轻重。

<繁体字>

不動明王坐像

不動明王（毫不動搖的守護神）盤腿而坐，面容猙獰、怒目圓睜。不動明王在五大明王中最為強大和重要，其力量來源不只因祂五大明王之一的身份，更因祂同時是宇宙佛陀、萬物中心——大日如來的化身。不動明王表情凶狠，其手中的鞭與劍亦極駭人，而諸般武器皆具意義。劍與握柄分岔的法器「金剛杵」有其淵源，象徵佛教的教誨與傳播力，更能破除擾亂信眾頓悟的一切愚癡妄想。鞭則象徵引導不信者步入佛門。至於不動明王的兇惡神色，是因信眾妄想背離救濟正道，有所欺瞞，祂才面露正義之怒。不動明王面噤心善，除仁和寺隸屬的真言宗外，祂在其他許多宗派中亦舉足輕重。

<日本語仮訳>

不動明王坐像

不動明王（動かない守護神）は足を組み、恐ろしげな表情を浮かべてこちらを睨みつけている。

不動明王は五大明王の中でも最も力が強く、最も重要な明王である。その力はおそらく、不動明王が五大明王のうちの一であるだけでなく、大日如来の化身でもあるということからきているのであろう。

大日如来は宇宙の仏陀であり、万物の中心となる存在である。不動明王の表情は恐ろしいが、その手に持った鞭と剣もまた恐ろしい。これらの武器には目的がある。剣は、柄のところで先が複数に分かれたヴァジュラと呼ばれる法具と関連があり、仏教の教えの浸透力や、信者が悟りに到達することを邪魔する妄想を絶つ力を象徴している。鞭は、不信心者を仏教の教えに導くことを象徴している。不動明王の表情には、信者を救済の道から踏み外させようとする欺瞞に対する正義の怒りが表れている。

実際、その恐ろしげな外見にもかかわらず、不動明王は実際には善良な神であり、仁和寺が属している真言宗において重要な神であるだけでなく、他の多くの宗派においても重要な神と位置付けられている。

<簡体字>

童子经本尊坐像

童子是日本佛教中儿童的守护神。由于过去儿童的死亡率居高不下，因此在日本早期佛教流行期间，童子广受信崇。近代医疗技术尚未成熟前，儿童平安长大成人的机率远低于现代。若有神祇能助儿童安然成长，为人父母肯定欣然信之。该雕像曾经色彩鲜艳，相传象征着儿童的幸福，然而历经数世纪洗礼，如今已黯淡褪色。世人通常会在子女生病，或望其安然成长时祈拜童子，求取保佑。

<繁体字>

童子經本尊坐像

在日本佛教中，童子是兒童的守護神。日本早期佛教流行期間，兒童的死亡率居高不下，因此童子廣受奉祀。近代醫療技術尚未成熟前，兒童平安長大成人的機率遠比現代低。可見若有神祇能助兒童安然成長，為人父母肯定喜不自勝。此雕像曾經斑斕鮮豔，據信應是象徵兒童的幸福，然而時經好幾世紀，目前早已黯淡褪色。世人通常會在子女生病，或望其安然長大時向童子祈禱，求賜保庇。

<日本語仮訳>

童子経本尊坐像

童子は子供を守る神である。初期の日本の仏教においては盛んに信仰された。なぜなら、歴史的に、子供の死亡率が高かったからである。近代的な医療が発明される以前は、子供が無事に成長して成人を迎える可能性ははるかに低かった。それだけに、両親にとって子供の成長と成人を助けてくれる神の存在は間違いなく喜ばれたのである。この像にはかつては鮮やかな彩色が施されていた。それはおそらく子供の幸福との関係性を強調することが目的だったのだろうが、何世紀もの時を経て退色してしまった。人々は、特に自分の子供が病気になった時に、あるいはただ単に無事に成長してほしいという願いを込めて、子供の守護を求めて童子に祈りを捧げるのである。

<簡体字>

观音菩萨坐像

大慈大悲的女神观音，常化作千姿百态。在此处，她身披纯白衣裳，头戴配饰，以白衣观音之貌受人供奉。与仁和寺其他历史遗产或文化财的寺宝不同，该雕像于 1974 年赠与仁和寺，距今不久。雕像风格也明显有别于观音堂的观音像、仁和寺其他观音像。11 世纪，日本与中国的雕刻传统分道扬镳，继而造就两种截然不同的风格，在此雕像上可见一斑。但从雕像的彩色涂料与身披的真布白衣，依然能发现中国传统雕刻的元素。

<繁体字>

觀音菩薩坐像

觀音是無限慈悲的女神，常化作各種形象。祂在此身披純白衣裳，頭戴配飾，以白衣觀音之姿受人奉祀。異於仁和寺其他歷史遺產或文化財的寺寶，此雕像於 1974 年贈與仁和寺，距今不久。雕像風格與觀音堂的觀音像、仁和寺其他觀音像亦明顯有別。11 世紀，日本與中國的雕刻傳統分道揚鑣，繼而造就兩種截然不同的風格，在此雕像上可見一斑。但從雕像的彩色漆料與身披的真布白衣，亦可一窺中國傳統雕刻的縮影。

<日本語仮訳>

観音菩薩坐像

無限の慈悲の女神である観音は、様々な姿で描写される。ここでは、純白の衣と頭飾りを身に纏う白衣観音の姿で祀られている。この像は歴史遺産や文化財になっている仁和寺の他の寺宝と異なり、1974年と最近になって寄贈されたものである。この像の様式は、観音堂の観音像など、仁和寺にある他の観音像とははっきりと区別することができる。日本と中国の彫刻の伝統は11世紀頃から別々の道をたどるようになるが、その分裂が2つの全く異なる伝統を生み出していることが、この像にはっきりと見てとることができる。とはいうものの、この白衣観音像には、像が纏っている装飾に本物の布を使っている点や、彩色の顔料など、中国の彫刻の伝統の要素も見られる。

<簡体字>

观贤大僧正坐像

真言宗僧侣观贤（854-925）于 900 年就任仁和寺住持，从此开启了身为僧侣的光辉生涯。而后 25 年间，观贤在东寺、醍醐寺（同为京都）、金刚峰寺（和歌山）等众多名刹担任领头人物。因此他不仅是仁和寺，更是平安时代（794-1185）推进真言宗整体发展的重要人物。观贤最大的功绩，是在真言宗创始者空海（774-835）圆寂后，恳请天皇为其追加“弘法大师”的谥号。此外，他也是将空海于 806 年从中国带回的佛经移至东寺藏经阁，以及创建奈良般若寺的重要人物。

<繁体字>

觀賢大僧正坐像

觀賢（854-925）是真言宗僧侶，於 900 年成為仁和寺住持，從此開啟了身為僧侶的光輝生涯。其後 25 年間，觀賢在東寺、醍醐寺（同為京都）、金剛峰寺（和歌山）等眾多知名寺院擔任領頭人物。因此他不僅是仁和寺，更是平安時代（794-1185）推進真言宗整體發展的重要人物。觀賢最大的功績，是在真言宗創始者空海（774-835）圓寂後，懇請天皇為其追加「弘法大師」的諡號。此外，他也是將空海於 806 年從中國帶回的佛經移至東寺藏經閣，以及創設奈良般若寺的重要人物。

<日本語仮訳>

観賢大僧正坐像

観賢（854-925）は真言宗の僧であり、900年に仁和寺の住職になった。それがこの僧侶の輝かしいキャリアの出発点となった。その後の25年間にわたって、観賢は、東寺、醍醐寺（ともに京都）、金剛峰寺（和歌山）など、数多くの著名な寺院で指導的な役割を果たした。これにより、観賢は仁和寺だけでなく、平安時代（794-1185）における真言宗全体の発展における重要人物となった。彼の最も大きな功績は、真言宗の創始者である空海（774-835）の死後、「弘法大師」という尊称を与えるように天皇に請願したことである。また、空海が806年に中国から持ち帰った経典を東寺の経蔵に移す事業や、奈良の般若寺の創設などにおいても中心的な役割を果たした。

<簡体字>

多宝塔

一同坐落于仁和寺的多宝塔与五重塔，虽都是重要的祈祷场地，但却大不相同。五重塔供奉佛陀释迦如来，而多宝塔则供奉未来佛中的多宝如来。五重塔的基坛下方多次埋入释迦如来的遗骨碎片等遗物，使信众能感受到佛陀的存在。然而由于多宝如来属未来佛，尚未降临俗世，故并无遗物可藏。为此，多宝塔建筑风格参照佛教主要佛经之一——《法华经》中与多宝如来相关的记载而设计，即多宝如来在此化身为塔，现身于佛陀及其弟子面前。根据《法华经》内容，多宝如来多居住在无限遥远的宝净国，于名为“宝塔”的塔内生活。多宝如来在真言宗中举足轻重，因此在与真言宗相关的寺院中通常可见多宝塔。

<繁体字>

多寶塔

多寶塔雖與同樣位於仁和寺的五重塔毫不相似，不過亦是重要的祈禱場地。五重塔供奉佛陀釋迦如來，而多寶塔則供奉未來佛中的多寶如來。五重塔的基壇下方多次埋入釋迦如來的遺骨碎片等遺物，使信眾能感受到佛陀的存在。然而由於多寶如來屬未來佛，尚未來到俗世，故並無遺物可供收藏。為此，多寶塔建築風格則參照佛教主要佛經之一——

《法華經》中針對多寶如來的相關記述而設計，即多寶如來在此化身為塔，現身於佛陀及其弟子面前。根據《法華經》內容，多寶如來多居住在無限遙遠的寶淨國，於名為「寶塔」的塔內生活。多寶如來在真言宗中舉足輕重，因此多寶塔常見於與真言宗相關的寺院。

<日本語仮訳>

多宝塔

多宝塔は、同じく仁和寺にある五重塔とは似ても似つかないが、それでも重要な祈祷の場として機能している建物である。五重塔は仏陀（日本では釈迦如来と呼ばれる）を祀っているものだが、多宝塔には未来の仏陀の一人である多宝如来が祀られている。五重塔にはしばしば、釈迦（仏陀）の骨の断片などの遺物とその基壇の下に埋められていて、仏陀の存在が感じられるようになっているが、多宝如来はこの地上にまだ現れていないので、この建物にもその遺物を収めることはできない。そのかわりに、この建物のデザインは仏教の中心的な経典のひとつである法華経における多宝如来に関する記述をベースにしている。すなわち、塔の形で仏陀とその弟子たちの前に姿を現す、というものである。実際、法華経によると、多宝如来は無限の彼方にある宝浄国に住んでおり、そこでは「宝塔」と呼ばれる塔の中で暮らしている、とされることが多い。多宝如来は真言宗においては特に重要で、したがって多宝塔は真言宗と関連のある寺院に主に見られる建物である。

<簡体字>

德川家光

德川家光（1604-1651）是德川家族第 3 代将军。昔日日本曾处于群雄割据的分裂状态，在德川家光的治世之下，日本四大岛中三岛统一，就此建立政治体制国家。应仁之乱（1467-1477）时仁和寺毁于火灾，由于家光批准了日后的重建工程，因而在仁和寺历史中占有重要地位。

根据史实，家光于 1634 年造访京都时，仁和寺僧侣觉深申请谒见，并请求支援重建仁和寺。觉深与一般僧侣不同，是皇室直系子孙。若非觉深，恐怕再无他人能筹集到 1640 年至 1646 年间所需的重建资金。目前仁和寺境内大多数建筑，皆是在家光的援助下，于此次重建时落成。

<繁体字>

德川家光

德川家光（1604-1651）是德川家族第 3 代將軍。昔日日本曾處於群雄割據的分裂狀態，在德川家光的治世之下，日本四大島中三島統一，就此確立政治體制國家。應仁之亂（1467-1477）時仁和寺毀於祝融之災，由於家光批准了日後的重建工程，因而在仁和寺歷史中佔有重要地位。

根據史實，家光於 1634 年造訪京都時，仁和寺僧侶覺深申請謁見，並請求支援重建仁和寺。不同於一般僧侶，覺深是皇室直系子孫。若非覺深，恐怕亦無人能籌措 1640 年至 1646 年間所需的重建資金。目前仁和寺境內大多數建築，皆是透過家光的援助於此次重建時落成。

<日本語仮訳>

徳川家光

徳川家光（1604-1651）は徳川家の第3代将軍であり、その治世のもとで日本は群雄割拠の分裂した国から、列島の4つの主な島のうちの3島を統一した政治体制の国へと変わった。家光は、応仁の乱（1467-1477）の際の火災で破壊された仁和寺の再建を許可したという点で、仁和寺の歴史においても重要な役割を果たした。

史実によると、家光が1634年に京都を訪れた際、仁和寺の僧の覚深が将軍に謁見を願い出て、仁和寺の再建を請願した。覚深は、多くの僧侶とは異なる特別な立場にあった。彼は皇室の直系の子孫だったのだ。彼がいなければ、1640年から1646年にかけて行われることになる再建に必要な資金は調達できなかったかもしれない。今日、仁和寺の境内に立っている建物の大半はこの再建時に、家光の後援を受けて建てられたものである。

<簡体字>

御室版两部曼荼罗

此木片实为 300 张一组的其中之一，整组 300 张拼出了将佛教宇宙视觉化后的地图“曼荼罗”。此“地图”并非一般认知中的地图，而是概念性的指南，表现佛教世界真理中，具有重要意义的神佛关系，以及与周围现象的关联性。此版本于 1869 年完成，不过图案本身的历史却更为悠久，应是参考僧侣空海（774-835）于 806 年从中国带回日本的两幅曼荼罗。两幅曼荼罗皆来自空海在中国学习密宗时的祖师惠果，分别为金刚界曼荼罗和胎藏界曼荼罗，合称“两部曼荼罗”（两界曼荼罗），当中描绘出相异中仍息息相关的佛教宇宙观。金刚界曼荼罗显示佛教较为抽象的一面，而胎藏界曼荼罗则指导神佛于世间的形象及活动。空海带回的曼荼罗原本绘于丝绸之上，而 1869 年雕刻的本作品则是于木板上复刻前者图案而成。

<繁体字>

御室版兩部曼荼羅

此木片實為 300 張一組的其中之一，若湊齊 300 張，即可拼出將佛教宇宙視覺化後的地圖「曼荼羅」。此「地圖」並非一般認知中的地圖，而是概念性的指南，表現佛教世界真理中，具有重要意義的神佛之間的關係，以及與周遭現象的關聯性。此版本於 1869 年完成，不過圖案本身的歷史卻更為悠久，應是參考僧侶空海（774-835）於 806 年從中國帶回日本的兩幅曼荼羅。兩幅曼荼羅皆來自空海在中國學習密宗時的祖師惠果，分別為金剛界曼荼羅和胎藏界曼荼羅，合稱「兩部曼荼羅」（兩界曼荼羅），當中描繪出相異中仍息息相關的佛教宇宙觀。金剛界曼荼羅顯示佛教較為抽象的一面，而胎藏界曼荼羅則指導神佛於世間的形象及活動。空海帶回的曼荼羅原本繪於絲綢之上，而 1869 年雕刻的本作品則是於木板上複製前者圖案而成。

<日本語仮訳>

御室版両部曼荼羅

これは 300 枚でひと組となるもののうちの 1 枚で、すべてを組み合わせると、「曼荼羅」と呼ばれる仏教の宇宙を視覚的に表現した地図ができあがる。これらの地図は文字どおりの地図ではなく、仏教的な世界の理解において中心的な意味を持つ神々がそれぞれ互いにどのような関係にあり、また周囲の現象とどのような関係にあるのかを示した、概念的なガイドである。この版は 1869 年につくられたものだが、図柄自体はそれよりもはるかに古いもので、僧の空海（774-835）が 806 年に中国から日本に持ち帰った 2 つの曼荼羅をもとにしている。2 つの曼荼羅は、いずれも空海が中国で密教を学んだ際の師匠の恵果によるものだが、それぞれに異なるものの互いに関連し合った仏教的宇宙観が描き出されている。すなわち、金剛界曼荼羅と胎蔵（界）曼荼羅である。これを合わせて両部曼荼羅（両界曼荼羅）と呼んでいる。金剛界曼荼羅が仏教のより抽象的な側面の地図として機能しているのに対し、胎蔵曼荼羅は神々が地上界においてどのような姿で現れ、どのように活動するのかを示している。空海が持ち帰ったオリジナルは絹に描かれていたが、1869 年に彫られたこの版は木版でその図像を複製したものである。

<簡体字>

灵宝馆四大天王

灵宝馆的建造目的之一，是为了收藏仁和寺自 9 世纪末开创以来历代相传的珍贵艺术品、佛像等宝物。持国天王与广目天王铜塑雕像于馆前威武而立。此二王为护持四方位的佛教守护者——四大天王中的两位，其身份可通过持物判断：持剑者为护持东方的持国天王，而持毛笔与卷轴者则是护持西方的广目天王。

两座雕像直至近年才纳入馆中收藏。灵宝馆本有阿弥陀佛如来（西方净土佛陀）、多闻天王（护持北方的守护神）、增长天王（护持南方的守护神），唯缺持国天王与广目天王。通常，阿弥陀佛如来有四大天王随侍在侧，因此灵宝馆负责人便全新订制另外二王的雕像，然后安放于灵宝馆入口处，阿弥陀佛如来的护法神四大天王就此到齐，可保护建筑不受诸恶侵犯。据说雕像应是出自 20 世纪前半的日本知名建筑家兼设计师——片冈安的手笔。

〈繁体字〉

靈寶館四大天王

靈寶館的建造目的之一，是為了收藏仁和寺於 9 世紀末開創以來歷代相傳的珍貴美術品、佛像等文物。靈寶館前，持國天王與廣目天王銅塑雕像凜然而立。此二王為護持四方位的佛教守護者——四大天王中的兩位，其身份可透過持物判斷：護持東方的持國天王持劍，而護持西方的廣目天王則持毛筆與捲軸。

兩座雕像直至近年才納入館中收藏。靈寶館本有阿彌陀佛如來（西方淨土佛陀）、多聞天王（護持北方的守護神）、增長天王（護持南方的守護神），唯缺持國天王與廣目天王。一般而言，阿彌陀佛如來常有四大天王隨侍在側，因此靈寶館負責人便全新訂製其餘二王的雕像。其後雕像設於靈寶館入口處，阿彌陀佛如來的護法神四大天王就此到齊，可保護建築不受諸惡侵犯。據信雕像應是出自 20 世紀前半的日本知名建築家兼設計師——片岡安的手筆。

<日本語仮訳>

霊宝館の四天王

持国天と広目天の像が霊宝館の前に飾られている。霊宝館は 9 世紀末の仁和寺の開創以来この寺に伝えられてきた貴重な美術品や仏像などを収蔵することをその目的のひとつとして建てられた。銅板でつくられたこれらの像は、4 つの方位を守護する仏教の守護者である四天王の 2 人を表している。神像は、その持物によって何の像であるかを特定することができる。東方を護る持国天は剣を持ち、西方を護る広目天は筆と巻物を持っている。

これらの像が霊宝館の収蔵品に加わったのは比較的最近のことである。霊宝館には従来、阿弥陀如来（西方浄土の仏陀）、多聞天（北方を護る守護神）、増長天（南方を護る守護神）の像が収められていたが、広目天と持国天はなかった。阿弥陀如来は四天王の 4 人すべてを脇侍としてつき従えていることが多いので、霊宝館の担当者は四天王のうち欠けていた 2 つの像の制作を新たに依頼することにした。そうして完成した像が現在では霊宝館の入り口に飾られており、これで阿弥陀如来の従者としての四天王がすべて揃うとともに、建物自体を悪の影響から守る役割も果たしている。持国天と広目天の像は、20 世紀の前半に日本で活躍した建築家で設計者の片岡安の作であると考えられている。

<簡体字>

御室会馆

仁和寺的御室会馆落成于 1978 年，建设初衷旨在促进青少年的身心健康发展。之后会馆功能不断变化，曾作为外宾的住宿设施、学术研讨会及会议的会场等。目前则作为住宿设施，为所有希望留宿仁和寺的访客提供住宿。

如能在御室会馆住上一晚，即可体验白天无法感受的寺院生活。比如可在寺院不对外开放的时段体验佛前礼拜、诵经，一睹仁和寺僧侣的日常生活。佛教禁止杀生，因此供应的饭菜皆为“精进料理”（素斋）。不过除了素斋以外，御室会馆也提供各种丰盛美味的日式传统料理，让访客享受与留宿其他佛教寺院的不同体验。此外，1 楼大厅设有礼品商店，汇集了琳琅满目的仁和寺原创商品、京都特产美食、知名点心等，在此购物乐趣无穷。

<繁体字>

御室會館

仁和寺的御室會館於 1978 年落成，建設初衷旨在促進青少年的身心健康發展。之後會館功能不斷變化，曾用於國外來訪者的住宿設施、學術研討會及會議的會場等。目前則用作住宿設施，為所有希望留宿仁和寺的來訪者提供住宿。

如能在御室會館住上一晚，即可體驗白天無法感受的寺院生活。比如可在寺院不對外開放的時段體驗佛前禮拜、誦經，一窺仁和寺僧侶的日常生活。佛教禁止殺生，因此供應的飯菜皆為「精進料理」（素食）。不過除了素食以外，御室會館亦提供多樣滋味豐富的日式傳統料理，讓來訪者享受與留宿其他佛教寺院的不同體驗。此外，1 樓大廳設有伴手禮商店，仁和寺原創商品、京都特產美食、知名點心等一應俱全，可在此盡享購物的樂趣。

<日本語仮訳>

御室会館

御室会館は 1978 年に青少年の心身の健全な育成を促進するための施設として建設された。仁和寺における同会館の機能は、以降大きく変化してきた。これまで、海外からの訪問者のための宿泊施設として、また研究シンポジウムや会議の会場など、様々な用途に使われてきた。現在では、仁和寺に宿泊を希望するすべての訪問者のための宿泊施設として使われている。

御室会館に宿泊すると、昼間の訪問者が体験することのできない寺の生活の一面を体験することができる。例えば、寺が一般公開されない時間帯に行われるお勤めに参拝することができ、仁和寺で暮らす僧侶たちの日常を垣間見ることができる。仏教では殺生を禁じているので、一般に精進料理（菜食）を旨とする。しかし、この会館では菜食以外も含めた、風味豊かな日本の伝統的な料理が幅広く提供され、他の仏教寺院の宿坊とは違った宿泊体験が楽しめる。また、1 階ロビーには、仁和寺オリジナル商品、京都特産の食品・銘菓などを取り揃えているお土産売店も併設され、記念品の買い物の楽しみも提供している。

<简体字>

高山寺开山祖师——明惠

明惠（1173-1232）毕生对佛教思想、艺术、茶文化贡献良多，名扬四海。他 8 岁时痛失双亲，进而倾心佛教。翌年，他皈依距高山寺现址不远的真言密宗名刹神护寺，其后更赴当时颇负盛名的奈良东大寺潜心修习华严宗。他毕生努力钻研真言密宗及华严宗，之后更将教义纳入自身的密宗信仰。明惠推陈出新的教义，为华严宗在日本的推广开辟了新路。

明惠曾长年寻觅如何展现对佛法的敬畏之心，最终决定跪拜于他视为母亲的佛眼佛母菩萨像前，并割下自身单耳的一部分。他认为通过丑化自己端庄的容貌，更能远离一切俗世烦恼。

明惠的信仰，反映出他对当时佛教与神道原生神祇的推崇及二者的融合。他尤其崇奉奈良春日大社的神祇春日大明神。明惠曾一心向往去佛教的发祥地印度巡拜，但为了恪守神道戒律而放弃了这一长久以来的愿望。春日大明神对明惠影响深远，即便时至今日，亦能从高山寺境内的春日明神神社窥知一二。

明惠不仅在宗教思想方面贡献卓越，在茶文化方面也被视为日本的茶叶栽培之父。他把禅师荣西（1141-1215）从中国留学归国时带回的茶籽，播种于高山寺附近的农田，从此，茶叶栽培由高山寺推广至全国，直至今日，寺院境内仍可采摘茶叶。

明惠热爱艺术，广纳贤才，使得高山寺文人墨客云集。这种浓厚的文化氛围，至今仍在寺中代代相传的无数珍宝中生生不息。明惠本身表现能力亦相当优秀，从他长达 40 余年创作的《梦记》便可见一斑。作品内容详尽且广泛，与现代文化更具关联性，颇受国际瞩目。

明惠亦是相当热忱的人道主义者，特别关怀因战火而失去亲人的困苦遗孀，她们中的多数也因此成为了明惠的门生或支持者。1221 年发生承久之乱，京都朝廷军向镰仓幕府军举兵后败北，死伤无数，造成朝廷一方出现众多遗孀。她们在明惠的援助下隐匿寺中，并接受明惠宣说佛法。其后明惠更为她们建造尼庵善妙寺。寺名源自中国传说中的女子“善妙”，据说她曾为保护华严宗僧侣而化身为龙。

明惠年近 60 岁时，在最亲近的弟子与信徒照看中圆寂。其中一名弟子日后为其著书立传，书中可见他深得众人爱戴，英杰形象至今千古未变。

<繁体字>

高山寺開山祖師——明惠

明惠（1173-1232）畢生因對佛教思想、藝術、茶文化貢獻良多而廣為人知。他 8 歲時失去父母，進而傾心佛教。第二年，他皈依距高山寺現址不遠的真言密宗名剎神護寺，其後更赴當時頗負盛名的奈良東大寺潛心修習華嚴宗。他畢生努力鑽研真言密宗及華嚴宗，之後更將教義納入自身的密宗信仰。明惠推陳出新的教義，為華嚴宗在日本的推廣開闢了新路。

明惠曾長年尋找如何才能展現對佛法的敬畏之心，最終決定跪拜於他視為母親的佛眼佛母菩薩像前，並割下自身單耳的一部分。他認為透過醜化自己端莊的容貌，更能遠離一切俗世煩惱。

明惠的信仰，反映出他對當時佛教與神道原生神祇的推崇及二者的融合。他尤其崇奉奈良春日大社的神祇春日大明神。明惠曾一心嚮往去佛教的發祥地印度巡拜，但為了恪守神道戒律而放棄了這一長久以來的願望。春日大明神對明惠影響深遠，即便今日，亦能從高山寺境內的春日明神社窺知一二。

明惠不僅在宗教思想方面功績卓越，在茶文化方面也被視為日本的茶葉栽培之父。他把禪師榮西（1141-1215）從中國留學歸國時帶回的茶籽，播種於高山寺附近的農田，從此，茶葉栽培由高山寺推廣至全國，直至今日，寺院境內仍可採摘茶葉。

明惠熱愛藝術，廣納賢才，使得高山寺文人墨客雲集。這種濃厚的文化氛圍，至今仍在寺中代代相傳的無數珍寶中生生不息。明惠本身表現能力亦相當優秀，從他長達 40 餘年創作的《夢記》便可見一斑。作品內容詳盡且廣泛，與現代文化更具關聯性，頗受國際矚目。

明惠亦是一位熱忱的人道主義者，尤其關懷因戰火而失去親人的困苦遺孀，她們中的多數也因此成為了明惠的門生或支持者。1221 年發生承久之亂，京都朝廷軍向鎌倉幕府軍舉兵後敗北，死傷無數，造成朝廷一方出現眾多遺孀。她們在明惠的援助下隱匿寺中，並接受明惠宣說佛法。其後明惠更為她們建造尼庵善妙寺。寺名源自中國傳說中的女子「善妙」，據說她曾為保護華嚴宗僧侶而化身為龍。

明惠年近 60 歲時，在最親近的弟子與信徒照看中圓寂。其中一名弟子日後為其著書立傳，書中可見他深得眾人愛戴，英傑形象至今未變。

<日本語仮訳>

高山寺の開祖・明恵について

明恵(1173-1232)は仏教思想、芸術、茶に対する貢献で広く知られる。彼の仏教への傾倒は、8歳で両親を亡くしたことに端を発する。翌年、彼は高山寺の現在地近くにある真言密教の寺院・神護寺に入った。その後、当時、最も重要な寺院の一つであった奈良の東大寺で華嚴宗(中国語: Huayan; Flower Garland)を学んだ。彼は生涯にわたり、真言密教と華嚴宗を修行し、のちにその教えを自らの密教信仰に取り入れた。彼の革新的な教えは、日本に華嚴宗を広めるきっかけとなった。

明恵は何年もかけて、仏教の教えに対する彼の畏敬の念を示すに相応しい方法を見出そうとした。やがて彼が母親像としていた菩薩の仏眼仏母の像の前にひざまずいて片耳の一部を切り落とすに至った。端正な容姿がこのように醜くなることによって、彼は煩惱からさらに遠かろうとした。

明恵の信仰は、当時の仏教と神道の土着の神々の崇拝と習合が反映されている。彼は特に奈良の春日大社の祭神である春日大明神に傾倒していた。彼の崇敬の念は非常に強く、仏教の発祥の地であるインドを巡礼するという長年の願いを、その計画に対する神の戒めに従ってあきらめた。春日大明神の明恵に対する影響は、高山寺境内に佇む春日明神神社に今なお感じ取ることができる。

明恵の功績は宗教思想にとどまらなかった。日本における茶の栽培の父とされている。明恵は、中国留学から帰国した禅師栄西(1141-1215)から茶の種の包みを授かり、高山寺近くの畑に種をまいた。高山寺から茶の栽培が全国に広まり、現在も高山寺境内では茶が収穫されている。

明恵は芸術を愛し、高山寺に著名な芸術家や知識人を集めた。彼が醸成した豊かな環境は、寺に伝わる多くの宝物の中に生き続けている。明恵自身の表現力は、約40年間綴られた夢記にも表れている。その細やかで広範な記述と現代との関連性は、国際的な関心を集めている。

明恵は篤い人道主義者でもあった。彼は特に戦乱での未亡人の窮状を懸念し、その多くが彼の門下生や支持者となった。多くの血が流れた1221年の承久の乱で、京都の朝廷軍が鎌倉幕府軍に拳兵し敗れると、朝廷に近い女性の多くが未亡人となった。その女性たちが寺を訪れると、明恵は彼らを匿い、仏教を説いた。その後彼は彼女らのために尼寺・善妙寺を建てた。この施設は華嚴宗の僧侶を守護するために龍に姿を変えた中国の伝説の女性、善妙(中国語: Shanmiao)にちなんで名付けられた。

明恵は60歳近くで最も親しい門下生や信者に囲まれて亡くなった。ある者はその後師について著述し、その作中の彼の姿は今日まで続くイメージ通り、人望のある英雄として描写されている。

<简体字>

高山寺开山祖师——明惠

高山寺开山祖师——僧侣明惠（1173-1232）对后世影响深远，其范围远超出寺院境内。他革新佛教思想、推广茶叶栽培、援助战争遗孀，创作出至今仍备受瞩目的《梦记》等，诸多功绩，不胜枚举。

高山寺于 1206 年奉天皇之命而建。如今来到这里，可瞻仰明惠的遗产，回顾这位 13 世纪的僧侣一生留下的不朽功绩。

多元信念

明惠在 8 岁时痛失双亲，其后即在高山寺现址附近的神护寺出家为僧。他将佛眼佛母（据信是众佛之母的菩萨）与释迦如来（佛教始祖，是具有历史意义的佛陀）分别视作自己的母亲与父亲。二者对明惠而言举足轻重，是让他下定决心献身佛教的存在。之后明惠进入华严宗最重要的寺院——奈良东大寺修行。

明惠用尽一生钻研真言密宗与华严宗。他不仅将传统教义与自己深远的信念结合，更加入了从前隐晦不清的光明真言，创造出独一无二的教义，为日本华严宗的推广做出巨大贡献。

明惠的教义属于当时盛行的“神佛习合”，即融合佛教与神道原生神祇崇拜。两种信仰长期关系密切且兴盛，直到明治维新后，日本政府于 1868 年颁布“神佛分离令”才彼此分离。明惠尤为奉祀奈良春日大社中四神合一的春日大明神，而由于信仰虔诚，他更是果决放弃了长年以来的梦想——巡拜佛教发祥地印度。春日大明神如今仍被供奉于高山寺境内的春日明神社。

割耳献身

明惠花费多年寻寻觅觅，望能具体展现对佛教的敬畏之心。24 岁时，他跪坐于自己视为母亲的佛眼佛母菩萨像前，割下自身单耳的一部分。他认为通过丑化自己端庄的容貌，更能远离一切尘俗烦恼。

茶文化之源

荣西（1141-1215）是日本著名禅师，亦是日本现存最早茶文化书籍《吃茶养生记》的作者。他于南宋时代留学中国，归国后曾赠送明惠茶树种子。明惠将茶籽植于高山寺附

近的良好田，对日本的茶树栽培贡献巨大，其相关技术更推广至距高山寺东南方约 30 公里处的宇治，使之成为日本屈指可数的知名茶叶产地。

日本茶文化传统中，明惠首开先河，功绩过人，至今依然受日本茶界称道，高山寺亦因此颇得尊敬。目前高山寺仍保留着小型茶园，于每年 5 月可采收头茶。

敬重女性

明惠极为关心贫困之人，尤其关怀受苦的女性，其中不少人后来更成为他的弟子及支持者。

1221 年爆发承久之乱，京都的朝廷军出兵征讨镰仓幕府军，最后却战败，伤亡惨重。之后，许多战争遗孀来寻求明惠帮助。明惠收留她们后并为其宣讲佛法，最后更为她们建造尼庵善妙寺。

善妙寺之名源自中国传说中的女性“善妙”，她为了庇佑僧侣而化身为龙。明惠本着善妙的精神，致力援助女性。

艺术与万象

明惠热爱艺术，广纳贤才，使得高山寺文人墨客云集。浓厚的文化氛围，至今仍在寺中代代相传的无数珍宝中生生不息。其中最知名的当数描绘拟人化动物的绘卷藏品——《鸟兽人物戏画》。

明惠亦特别亲近大自然，从进入神护寺的童年时期起，便喜爱在京都山峦中打禅。在一幅肖像画中，只见一树分为两杈，明惠于其上冥想，野生动物环绕四周。特别是对小狗的喜爱，从他所珍爱的小狗木雕上，一眼便知。

宏篇巨著——《梦记》

近数十年来，明惠细致入微的著作《梦记》使其知名度上升，即使跨出日本佛教界亦广为人知。

明惠记录自己的梦境长达 40 年之久，同时，梦境亦对他的教义影响深远。《梦记》主旨强调专心致志、保护自然、充实自身。无论是否为宗教学者，《梦记》都是不可多得的珍贵资料，因此备受世人关注。

<繁体字>

高山寺開山祖師——明惠

高山寺開山祖師——僧侶明惠（1173-1232）對後世影響深遠，其範圍遠超出寺院境內。他革新佛教思想、推廣茶葉栽培、援助戰爭遺孀，創作出至今仍備受矚目的《夢記》等，諸多功績，數不勝數。

高山寺於 1206 年奉天皇之命而建。如今來到這裡，可瞻仰明惠的遺產，回顧這位 13 世紀的僧侶一生留下的不朽功績。

多元化信念

明惠在 8 歲時失去父母，其後即在高山寺現址附近的神護寺出家為僧。他將佛眼佛母（據信是眾佛之母的菩薩）與釋迦如來（佛教始祖，是具有歷史意義的佛陀）分別視作自己的母親與父親。二者對明惠而言舉足輕重，是讓他下定決心獻身佛教的存在。之後明惠進入華嚴宗最重要的寺院——奈良東大寺修行。

明惠一生都在鑽研真言密宗與華嚴宗。他不僅將傳統教義與自己深遠的信念結合，更加入了從前隱晦不清的光明真言，創造出獨一無二的教義，為日本華嚴宗的推廣做出巨大貢獻。

明惠的教義屬於當時盛行的「神佛習合」，即融合佛教與神道原生神祇崇拜。兩種信仰長期發展興盛，關係密切，直到明治維新後，日本政府於 1868 年頒布「神佛分離令」才彼此分離。明惠尤為奉祀奈良春日大社中四神合一的春日大明神，而由於信仰虔誠，他更是果斷放棄了長年以來的夢想——巡拜佛教發祥地印度。春日大明神如今仍被供奉於高山寺境內的春日明神社。

割耳獻身

明惠曾花費多年尋尋覓覓，希望能找到具體展現對佛教的敬畏之心。24 歲時，他跪坐於自己視為母親的佛眼佛母菩薩像前，割下自身單耳的一部分。他認為透過醜化自己端莊的容貌，更能遠離一切塵俗煩惱。

茶文化之源

日本著名禪師榮西（1141-1215）是日本現存最早茶文化書籍《喫茶養生記》的作者。他於南宋時代留學中國，回國後曾贈送明惠茶樹種子。明惠將茶籽植於高山寺附近的農田，

對日本的茶樹栽培貢獻巨大，其相關技術更推廣至距高山寺東南方約 30 公里處的宇治，使之成為日本屈指可數的知名茶葉產地。

日本茶文化傳統中，明惠首開先河，功績卓越，至今依然受日本茶界稱道，高山寺亦因此頗得尊敬。目前高山寺仍保留有小型茶園，於每年 5 月可採收頭茶。

敬重女性

明惠極為憐憫貧困之人，尤其關懷受苦的女性，其中不少人後來更成為他的弟子及支持者。

1221 年爆發承久之亂，京都的朝廷軍舉兵征討鎌倉幕府軍，最後卻戰敗，傷亡慘重。之後，許多戰爭遺孀來尋求明惠幫助。明惠收留她們後並為其宣講佛法，最後更為她們建造尼庵善妙寺。

善妙寺名稱由來源自中國傳說中的女性「善妙」，她為了保庇僧侶而化身為龍。明惠本著善妙的精神，致力援助女性。

藝術、動物、自然

明惠熱愛藝術，廣納賢才，使得高山寺文人墨客雲集。濃厚的文化氛圍，至今仍在寺中代代相傳的無數珍寶中生生不息。其中最知名的當數描繪擬人化動物的繪卷藏品——《鳥獸人物戲畫》。

明惠亦特別熱愛大自然，從進入神護寺的童年時期起，便喜愛在京都山巒中打禪。在一幅肖像畫中，只見一樹分為兩杈，明惠於其上冥想，野生動物環繞四周。特別是對小狗的喜愛，從他所珍愛的小狗木雕上，一眼便知。

宏篇巨著——《夢記》

近數十年來，明惠細緻入微的著作《夢記》使其知名度上升，即使跨出日本佛教界亦廣為人知。

明惠記錄自己的夢境長達 40 年之久，同時，夢境亦對他的教義影響深遠。《夢記》主旨強調專心致志、保護自然、充實自身。無論是否為宗教學者，《夢記》都是不可多得的珍貴資料，因此備受世人關注。

<日本語仮訳>

高山寺の開祖・明恵について

高山寺の開祖で僧侶の明恵(1173-1232)の影響は、境内をはるかに越えて広がっていった。仏教思想への新たなアプローチ、日本における茶の栽培の普及、戦乱での未亡人への支援、そして今なお幅広い関心を集めている夢記など、さまざまな業績を残している。

明恵の遺産は、1206年に天皇の命を受けて建立した高山寺に見ることができる。高山寺では、訪問者は今日もなおその業績が生き続けている、13世紀の僧侶の人生を振り返ることができる。

明恵の多様な信念

明恵は8歳で両親を亡くし、その後まもなく現在の高山寺の近くにある神護寺で僧侶に向けての修行を始めた。仏眼仏母(すべての仏の母と考えられる菩薩)と釈迦如来(歴史的な仏で仏教の創始者)をそれぞれ母親像、父親像とするようになった。この二つは明恵の生涯における重要な存在として、彼の仏教修行に対する傾倒を強固なものとした。彼は後に華嚴宗(中国語: Huayan; Flower Garland)の最も重要な寺院である奈良の東大寺で修行をした。

明恵は生涯を通して真言密教と華嚴宗の修行を続けた。彼はこれらの伝統を彼自身の深遠な信念に結びつけ、それ以前は不明確だった光明真言も重んじた。彼独自の教えは、日本における華嚴宗の普及に多く貢献している。

明恵の教えは、当時仏教と神道の土着の神々崇拝との間で盛んになった神仏習合に従ったものであった。二つの伝統の密接な関係は明治維新後の1868年に分離令が出されるまでかなり広まっていた。明恵は特に奈良の春日大社に祀られている四神を合わせた春日大明神を奉った。彼の信仰は非常に厚く、春日大明神は彼の念願である仏教の発祥の地・インド巡礼を思いとどまらせた。春日大明神は現在も高山寺境内に春日明神神社として祀られている。

耳の一部を切り落とす：献身の行為

明恵は何年もかけて、仏教の教えに対する畏敬の念を示す相応しい方法を見出そうとした。24歳の時、母親像と捉えていた菩薩である仏眼仏母の像の前にひざまずいて片耳の一部を切り落とすことにした。彼の端正な容姿をこのように醜くすることは、煩惱からさらに遠ざかろうとする彼なりの方法であった。

茶文化の種

明恵は南宋時代の中国への留学から帰国した有力な禅師・栄西(1141-1215)から茶の種を授かった。栄西は、日本に現存する最初の茶に関する書籍である『喫茶養生記』を著した人物である。明恵は高山寺近くの畑に種を植え、日本における茶の栽培の発展に貢献した。そのノウハウは高山寺から南東に約30キロ離れた宇治に広がり、宇治は日本有数の茶の産地となった。

日本各地の茶の生産者は、明恵の日本における茶の伝統に対する先駆的な貢献を称え、高山寺に対する敬意を表し続けている。現在も高山寺には小さな茶畑があり、毎年 5 月には初摘みの新茶が収穫されている。

女性の尊重

明恵は困窮している人々を深くいたわった。彼は、特に苦しんでいる女性の窮状を心配し、多くが彼の門下生や支持者になった。

京都の朝廷軍が鎌倉幕府軍に対して討伐の兵を挙げ、結果敗れて多くの血が流れた 1221 年の承久の乱の後、明恵の支援を求め多くの未亡人が彼のもとを訪れた。彼は彼女らを引き取って仏教を説き、最終的に善妙寺という尼寺を建てた。

善妙寺の名は、僧侶を守護するために龍に姿を変えたという中国の伝説の女性・善明(中国語：Shanmiao)に因む。明恵は善妙の精神をもって、女性を支援した。

芸術、動物、自然

明恵は芸術を愛し、高山寺に偉大な芸術家や知識人を集めた。彼が醸成した豊かな環境は、高山寺に伝わる多くの宝物の中に生き続けている。中でも最も有名なものは、擬人化された動物を描いた絵巻物のコレクション、鳥獣人物戯画である。

明恵は自然界をこよなく愛した。神護寺にいた幼少期から、彼は京都の山々を背景に外での瞑想を楽しんだ。ある肖像画には、野生動物に囲まれ、二股に分かれた木で瞑想している姿が描かれている。特に犬への愛着は、彼が大切にしていたと伝えられている子犬の木彫りに表れている。

膨大な著作、夢記

ここ数十年、明恵は細やかに綴られた夢記により、日本の仏教界以外でも広く知られるようになった。

明恵は約 40 年にわたり自らの夢を記録し、その夢は彼の教えに大きな影響を与えた。心を込めること、自然保護、個人の充実感に重きを置いたこの夢記は、宗教学者にとっても非宗教学者にとっても貴重な資料となっており、世界中の人々の関心を集めている。

<简体字>

高山寺

京都北部的山峡地区高雄，自古以来便是许多僧侣刻苦修行的场所。8 世纪时此地曾建寺院，不过于 12 世纪时废寺。颇负影响力的明惠（1173-1232）于 1206 年受天皇之命重建寺院，佛教亦因此再度兴盛。高山寺正如其名，是“高山上的寺院”——引用自华严宗重要经典《华严经》其中一节。寺院名的一般日文念法为“KouzANJI”，而正式念法应为“KousANJI”。

明惠对佛教研究及修行不遗余力，高山寺因此以“学问之寺”为人所知。他亦爱好艺术，时常邀请知名艺术家及有识之士至高山寺，造就了浓厚的文化氛围。从美术及文学创作欣欣向荣的平安时代（794-1185），到佛教新思想在日本广为流传的镰仓时代（1185-1333），明惠酝酿的文化环境传承不息，并留下无数宝物。许多寺院中的画作、雕像、文书幸免于 16 世纪的火灾，保存至今状态仍相当完好。

明惠亦是推广日本茶的知名人物。他曾于高山寺附近种茶，寺院目前继续保留小块茶园，每年收获茶叶。日本茶界至今仍非常尊敬明惠，感谢他对茶文化传统做出的重要贡献。

1994 年，高山寺被列入世界文化遗产。

<繁体字>

高山寺

高雄位於京都北部的山峽地區，自古以來便是僧侶刻苦修行之地。8 世紀時此地曾建寺院，不過於 12 世紀時廢寺。頗負影響力的明惠（1173-1232）於 1206 年受天皇之命重建寺院，佛教亦因此再度興盛。高山寺正如其名，是「高山上的寺院」——引用自華嚴宗重要經典《華嚴經》其中一節。寺院名的一般日文念法為「Kouzanji」，而正式念法應為「Kousanji」。

明惠用盡一生研究及修行佛教，高山寺因此以「學問之寺」廣為人知。他亦愛好藝術，時常邀請知名藝術家及有識之士至高山寺，造就了濃厚的文化氛圍。從美術及文學創作欣欣向榮的平安時代（794-1185），到佛教新思想在日本廣為流傳的鎌倉時代（1185-1333），明惠醞釀的文化環境傳承不息，並留下無數寶物。許多寺院中的畫作、雕像、文書倖免於 16 世紀的祝融之災，保存至今狀態仍相當完好。

明惠亦是推廣日本茶的知名人物。他曾將茶樹種於高山寺附近，寺院目前仍保留小塊茶園，每年收穫茶葉。日本茶界至今仍非常尊敬明惠，感謝他對茶文化傳統做出的重要貢獻。

1994 年，高山寺獲登錄為世界文化遺產。

<日本語仮訳>

高山寺

京都北部の山間の地域である高雄は、古くから苦行生活との縁が深い場所だった。8 世紀には寺院がこの地で建立されたが、12 世紀には廃寺となった。有力僧だった明恵(1173-1232)に天皇が寺院を建立するよう指示した 1206 年に、仏教が本格的に再興された。「高い山の寺院」という高山寺の名称は、華嚴宗の重要な経典である華嚴経の一節に由来する。寺院の読みは「こうざんじ」が一般的だが、正式な読みは「こうさんじ」である。

明恵の仏教の研究と修行に対する献身により、高山寺は学問の寺として知られるようになった。彼は芸術愛好家でもあり、著名な芸術家や知識人をたびたび寺院に招いた。彼が醸成したその豊かな環境は、美術や文学が隆盛した平安時代(794-1185)から、新しい仏教思想が日本に伝播した鎌倉時代(1185-1333)に至るまで受け継がれてきた、多くの宝物に息づいている。寺院にある絵画、彫像、および文書の多くは、16 世紀の壊滅的な火災という難を逃れ、良好な状態で保存されている。

明恵は日本で茶を普及させたことでも有名である。彼は高山寺近くで茶を栽培していたが、寺では現在も毎年小さな地所で茶を収穫している。全国の茶の生産者は、日本の茶の伝統において重要な役割を果たした明恵に、今日にいたるまで敬意を表している。

高山寺は、1994 年に世界文化遺産に登録された。

<简体字>

石水院

石水院是知名赏枫胜地，亦是高山寺保留至今的唯一一座与开山祖师明惠（1173-1232）同一时期的建筑。其屋顶为单层歇山式设计，是镰仓时代（1185-1333）建筑的特色。目前石水院是高山寺寺院活动的中心，同时也收藏许多举世闻名的艺术作品。

西侧入口附近立有一尊小型木雕菩萨像，名为善财童子（梵语：Sudhana）。善财童子曾四处修行以求开悟，是明惠非常尊敬的榜样。如今所见的善财童子像是复制品，重现过去明惠住处中摆设的雕像。

石水院南侧挂有天皇下令建寺的御笔匾额，并题有《华严经》其中一节，为高山寺之名的由来。隔着木柱及格子状的挡雨板望去，南侧的向山与清泷川仿佛置于画框之中，动人景致化作一幅风景画。

石水院曾经位于高山寺金堂（本堂）的东侧，起初为保管经文而建。1228年，建筑遭洪水破坏，其后利用朝廷用地内的住宅重建。重建后的石水院奉祀春日大明神及住吉明神，两者皆是对明惠举足轻重的神道神祇。当时神道教与佛教间界线宽松，互为融合，不少说法认为神道教众神即是佛教众神的化身。

1889年，石水院迁筑至目前所在地。

<繁体字>

石水院

知名賞楓勝地石水院，是高山寺保留至今的唯一一座與開山祖師明惠（1173-1232）同一時期的建築。其單層歇山式屋頂設計是鎌倉時代（1185-1333）建築的特色。目前，石水院作為高山寺寺院活動的中心，收藏眾多舉世聞名的藝術作品。

西側入口附近有一尊小型木雕菩薩像，名為善財童子（梵語：Sudhana）。善財童子曾四處修行以求開悟，是明惠非常尊敬的榜樣。如今所見的善財童子像是複製品，重現過去明惠住處中擺設的雕像。

石水院南側掛有天皇下令建寺的御筆匾額，上面題有《華嚴經》其中一節，為高山寺之名的由來。隔著木柱及格子狀的擋雨板望去，南側的向山與清瀧川彷彿置於畫框之中，動人景緻化作一幅風景畫。

石水院曾經位於高山寺金堂（本堂）東側，原本為保管經文而建。1228年，建築遭洪水破壞，其後利用朝廷用地內的住宅重建。重建後的石水院奉祀春日大明神及住吉明神，兩者皆是對明惠舉足輕重的神道神祇。當時神道教與佛教間界線寬鬆，互為融合，不少說法認為神道教眾神即是佛教眾神的化身。

1889年，石水院遷築至目前所在地。

<日本語仮訳>

石水院

紅葉狩りの名勝地として知られる石水院は、開祖明恵(1173-1232)の時代から高山寺に残る唯一の建物である。その一重入母屋造は鎌倉時代(1185-1333)の建築の代表的なものである。現在、石水院は寺院の活動の中心であり、最も有名な芸術作品が多く収蔵されている。

西の入り口の近くには、菩薩である善財童子(サンスクリット語 : Sudhana)の小さな木像がある。明恵は、善財童子の悟りをひらくまでの旅を敬愛していた。この像は明恵が自身の住まいに置いていたとされる像を再現したものである。

石水院の南には、高山寺の名称の由来となった華嚴経の一節を含む、寺院の創建を命じた勅額が掲げられている。南側の向山と清滝川の眺めは、木製の柱と格子状の雨戸により、額縁のように切り取られている。

石水院はもともと経文を保管するために造られたもので、高山寺の本堂・金堂の東に位置していた。1228年の洪水で当初の建物は破壊されたが、かつて朝廷の敷地内にあった住居を使って後に再建された。再建後の石水院には、明恵にとって特に重要な神道の神であった春日大明神・住吉明神が祀られた。当時、神道と仏教は緩やかに統合されており、神道の神々は仏教の神々の化身として解釈されることが多かった。

1889年に石水院は現在の場所に移築された。

<简体字>

金堂

金堂是对寺院主要拜殿的一种称呼，一般会供奉本尊。高山寺的金堂奉祀释迦如来，他是佛教的开山祖师，亦是历史上赫赫有名的佛陀。高山寺的开山祖师明惠（1173-1232）在 8 岁痛失双亲后，便将释迦如来视作父亲。

最初的金堂于 1219 年竣工，此时距高山寺创建已有 13 年。通过一幅绘有寺院布局的古地图，可见当初的金堂构造精巧，座落于多栋建筑物之间。据说当时金堂收藏许多宝物，其中不乏雕刻名匠运庆（1150-1223）的作品。然而 1547 年高山寺遭逢火灾，金堂被焚为灰烬，寺内大半建筑亦未能幸免于难。

1634 年，京都仁和寺的建筑迁至高山寺原金堂的旧址，并改建为今日所能见到的金堂。

<繁体字>

金堂

金堂是針對寺院主要拜殿的一種稱呼，一般會奉祀本尊。高山寺的金堂奉祀佛教的開山祖師釋迦如來，祂亦是歷史上赫赫有名的佛陀。高山寺的開山祖師明惠（1173-1232）在 8 歲失去父母後，便將釋迦如來視作父親。

最初的金堂建成於 1219 年，此時距高山寺創建已有 13 年。透過一幅繪有寺院佈局的古地圖，可見當初的金堂構造精巧，座落於多棟建築物之間。據信當時金堂收藏許多寶物，其中不乏雕刻名匠運慶（1150-1223）的作品。然而 1547 年高山寺遭逢祝融之災，金堂被焚為灰燼，寺內大半建築亦未能倖免於難。

1634 年，京都仁和寺的建築遷至高山寺原金堂的舊址，並改建為今日所能見到的金堂。

<日本語仮訳>

金堂

金堂は寺院の主要な拝殿に対する一つの呼び方で、通常、本尊を安置している。高山寺の金堂には、仏教の開祖であり歴史に残る仏である釈迦如来が祀られている。8歳で両親を亡くした後、高山寺を開山した明恵(1173-1232)は、釈迦如来を父親像として捉えるようになった。

元々の金堂は、高山寺が創建されて13年後の1219年に竣工した。寺院の見取り図を示す古地図によると、最初の金堂は精巧な構造で、複数の建物に囲まれていたという。彫刻の名人、運慶(1150-1223)の作品をはじめ、宝物が多数所蔵されていたという。しかし、1547年の火災で建造物全体が焼失し、境内の建物の大半も焼失した。

1634年に京都の仁和寺の建物を高山寺に移築・改装し、今日私たちが目にする金堂が建造された。新しい建物はかつての建物と同じ場所に建っている。

<簡体字>

开山堂

开山堂是高山寺开山祖师明惠（1173-1232）的祠堂，座落于禅堂院遗址之上，明惠晚年曾居于禅堂院并在此圆寂。原始建筑于室町时代（1336-1573）被烧毁，其后于江户时代（1603-1867）重建。堂中奉祀手持念珠的明惠木雕坐像。该雕像当初安放于连接十三重塔及禅堂院的长廊中，其中，十三重塔为明惠圆寂后所建。祠堂每年会在明惠忌日当天（1月19日）举行相关法事。

<繁体字>

開山堂

開山堂座落於禪堂院遺址之上，是高山寺開山祖師明惠（1173-1232）的祠堂，明惠晚年曾居住並圓寂於此。原始建築於室町時代（1336-1573）遭燒毀，其後於江戶時代（1603-1867）重建。堂中奉祀手持念珠的明惠木雕坐像。該雕像原本安放於連接十三重塔及禪堂院的長廊中，其中，十三重塔為明惠圓寂後所建。祠堂每年會在明惠忌日當天（1月19日）舉行相關法事。

<日本語仮訳>

開山堂

開祖の堂である開山堂は、高山寺の開祖、明恵(1173-1232)が晩年を過ごし、最期を迎えた禅堂院跡に建てられている。建物は室町時代(1336-1573)に焼失したが、その後、江戸時代(1603-1867)に再建された。開山堂には念珠を持つ明恵の木製の坐像が祀られている。この作品は、明恵の没後に建立された十三重塔と禅堂院とを結ぶ渡り廊下に当初安置されていたものである。明恵の命日である1月19日には、ここで毎年法要が行われている。

<简体字>

明惠上人树上坐禅像（明惠树上坐禅之画）

高山寺附近的楞伽山上，曾有一株名为“绳床树”的老松，分为两杈，明惠（1173-1232）生前经常于其上打坐。目前该地立有一座小石塔以兹纪念。

明惠的肖像画中，此作品最为有名。画中树干折曲为二，明惠静坐其上，四周有藤蔓、小鸟、岩石、树木、松鼠环绕，尽显安稳持重。此作品绘制于 13 世纪，作者是明惠的随从惠日房成忍，意在表现明惠崇敬自然、喜爱动物的一面。

画作原稿被指定为日本国宝，现藏于京都国立博物馆，石水院展示的版本为复制品。

<繁体字>

明惠上人樹上坐禪像（明惠於樹上坐禪之畫）

高山寺附近的楞伽山上曾有一株名為「繩床樹」的老松，分為兩杈，明惠（1173-1232）生前經常於其上打坐。目前該地立有一座小石塔以茲紀念。

該作品在明惠的肖像畫中最為著名。畫中樹幹折曲為二，明惠靜坐其上，四周有藤蔓、小鳥、岩石、樹木、松鼠環繞，盡顯安穩持重。該作品創作於 13 世紀，作者是明惠的隨從惠日房成忍，意在表現明惠崇敬自然、喜愛動物的一面。

畫作原稿獲指定為日本國寶，現藏於京都國立博物館，石水院展示的版本為複製品。

<日本語仮訳>

明恵上人樹上坐禅像（樹上で座禅する明恵の絵画）

明恵(1173-1232)は、高山寺近くの楞伽山にあった二股に分かれた松の木の上でしばしば坐禅をしていた。この木には「縄床樹」という名があった。現在、その場所には小さな石塔が佇んでいる。

最も有名な明恵のこの肖像画は、曲がった木の幹で坐禅している姿が描かれている。彼は、藤、小鳥、岩、木、リスに囲まれ穏やかに座っている。この絵は明恵の自然への崇敬と動物への愛を表現している。彼の従者の恵日房成忍の作とされ、13世紀のものである。

国宝である原本は、京都国立博物館に所蔵されている。石水院に展示されているものは複製である。

<簡体字>

佛眼佛母像（佛眼佛母菩萨画像）

佛眼佛母（梵语：Buddhalocana）菩萨是过去、现在、未来一切佛陀之母。她身穿白衣，头戴狮冠，静坐于莲花上。画像上方为明惠（1173-1232）亲手题写的赞词。明惠少时父母双亡，自此便将佛眼佛母视作母亲。24岁那年，他更跪坐于佛眼佛母像前，自行割下部分右耳，以表达修行佛法的虔诚信念。

<繁体字>

佛眼佛母像（佛眼佛母菩薩畫像）

佛眼佛母（梵語：Buddhalocana）菩薩是過去、現在、未來一切佛陀之母。祂身穿白衣，頭戴獅冠，靜坐於蓮花之上。畫像上方有明惠（1173-1232）親手題寫的讚詞。明惠少時父母雙亡，自此便將佛眼佛母視作母親。24歲時，為表達對佛法的虔誠信念，他跪坐於佛眼佛母像前，自行割下部分右耳。

<日本語仮訳>

仏眼仏母像（仏眼仏母の像）

仏眼仏母(サンスクリット語 : Buddhalocana)は、過去・現在・未来のすべての仏の母とされる菩薩である。白衣に獅子冠を戴き、蓮の上に座す姿が描かれている。上部には明恵(1173-1232)の筆による賛が入っている。少年の頃に両親を亡くした明恵は、仏眼仏母を母親像として捉えていた。24歳の時、彼は仏道への信心から仏眼仏母像の前にひざまずいて自ら右耳の一部を切り落とした。

<简体字>

华严宗祖师绘传（华严宗祖师之插画传记）

《华严宗祖师绘传》是镰仓时代（1185-1333）的绘卷作品，共有 7 部。当中记录两名新罗僧侣——义湘（韩语：Uisang）与元晓（韩语：Weonhyo）将华严宗传入朝鲜的游记。

绘卷用色鲜艳、刻画细腻，使内容更加活泼生动。故事大纲以北宋的《宋高僧传》为创作蓝本，其中有一段广为人知的情节，描述中国女子善妙向义湘表白心意，之后甚至化身为龙，一路护卫他从海上平安返回朝鲜。

<繁体字>

華嚴宗祖師繪傳（華嚴宗祖師之插畫傳記）

《華嚴宗祖師繪傳》是鎌倉時代（1185-1333）的繪卷作品，共有 7 部。當中記錄兩名新羅僧侶——義湘（韓語：Uisang）與元曉（韓語：Weonhyo）將華嚴宗傳入朝鮮的遊記。

繪卷用色鮮豔、刻畫細膩，使內容更加活潑生動。故事內容以北宋的《宋高僧傳》為創作藍本，其中一段情節廣為人知：中國女子善妙向義湘表白心意，其後甚至化身為龍，一路護衛他從海上平安返回朝鮮。

<日本語仮訳>

華嚴宗祖師絵伝（華嚴宗の宗祖の挿絵入りの伝記）

華嚴宗祖師絵伝は、鎌倉時代(1185-1333)の七巻の絵巻物である。巻物は、華嚴宗(中国語 : Huayan; Flower Garland)を朝鮮に伝えた二人の新羅の僧・義湘 (韓国語 : Uisang)と元暁(韓国語 : Weonhyo)の紀行を記録したものである。

鮮やかな色彩と細部描写が、物語に生き生きとした表情を与えている。北宋で編まれた『宋高僧伝』をもとにストーリーが構成されており、義湘に愛を告白し、その後、中国から朝鮮に帰国する海路で彼を守るために龍に姿を変えた中国人女性の善妙 (中国語 : Shanmiao) を描いた場面が広く知られている。

<简体字>

善妙神像

善妙神是佛教华严宗的护法神。传说中，善妙原是一名中国女子，她爱上了将华严宗教义传入朝鲜的僧人义湘（韩语：Uisang）。义湘虽无法回应善妙的心意，但在从中国归返朝鲜的途中仍希望善妙能够同入佛门。最终善妙顿悟，化身为龙，护卫义湘搭乘的船只一路平安回到朝鲜。

明惠曾创建尼庵“善妙寺”奉祀善妙，寺内尼姑皆为 13 世纪上半叶因战争而失去配偶的遗孀。此善妙神的小雕像于 1225 年供奉于高山寺。

<繁体字>

善妙神像

善妙神是佛教華嚴宗的護法神。傳說中，善妙原是一名中國女子，她愛上了將華嚴宗教義傳入朝鮮的僧人義湘（韓語：Uisang）。義湘雖無法回應善妙的心意，但在從中國歸返朝鮮的途中仍希望善妙能夠同入佛門。最終善妙頓悟，化身為龍，護衛義湘搭乘的船隻一路平安回到朝鮮。

明惠曾創建尼庵「善妙寺」奉祀善妙，寺內尼姑皆為 13 世紀上半葉因戰爭而失去配偶的遺孀。此善妙神的小雕像於 1225 年供奉於高山寺。

<日本語仮訳>

善妙神像

善妙神は、仏教の華嚴宗(中国語 : Huayan; Flower Garland)における守護神である。伝説によると、善妙(中国語 : Shanmiao)という中国人の女性が、華嚴の教えを朝鮮に伝えた僧・義湘(韓国語 : Uisang)に恋をした。彼は彼女の気持ちに応えることができなかったが、中国から朝鮮への帰航の途に着く前に善妙に仏教を奉ずるように求め、彼女の信仰が目覚めることとなった。その後、善妙は龍に姿を変え、義湘の船を守り彼を朝鮮へ安全に帰還させたという。

明恵は、13 世紀前半の戦乱で夫を亡くした女性の尼寺として、善妙を祀る善妙寺を建立した。この善妙神の小像は 1225 年に高山寺に安置された。

<简体字>

鸟兽人物戏画（描绘动物嬉戏情景之绘卷）

《鸟兽人物戏画》是创作于 12 至 13 世纪的 4 部绘卷，亦是日本最具代表性的艺术作品之一，其黑白画中描绘众多拟人化动物，对后世影响深远。画中含任何注解，且作者不详，部分内容更已遗失。据说作者可能是画家兼僧侣的鸟羽僧正（1053-1140），然而并无相关可信证据佐证。

第一卷：甲卷

甲卷描绘各种动物入浴、备餐、参加法会的场景。卷中动物有兔子、青蛙、狐狸等，其中兔蛙逐猴以及兔子骑鹿的画面相当有名。前往高山寺境内的石水院，可欣赏该画卷的复制品。

第二卷：乙卷

卷中描绘牛、鸡、狗等家畜，龙与“奇美拉”等神话动物，以及象、豹等非日本原生动物之间彼此互动的画面。

第三卷：丙卷

此卷前半为人物风俗画，后半描绘拟人化动物，卷中可见青蛙与猴子共拉牛车的场景。

第四卷：丁卷

此卷为人物讽刺画，描绘赌博、竞赛、上朝议政等画面。

<繁体字>

鳥獸人物戲畫（描繪動物嬉戲情景之繪卷）

《鳥獸人物戲畫》是創作於 12 至 13 世紀的 4 部繪卷，亦是日本最具代表性的藝術作品之一，其黑白畫採用拟人化的方式描繪眾多動物，對後世影響深遠。畫中不含任何註解，且作者不詳，部分內容更已遺失。據信作者應是畫家兼僧侶的鳥羽僧正（1053-1140），但並無相關可信證據佐證。

第一卷：甲

甲卷描繪各種動物入浴、備餐、參加法會的場景。卷中動物有兔子、青蛙、狐狸等，其中兔蛙逐猴以及兔子騎鹿的畫面相當有名。高山寺境內的石水院展示有該畫卷的複製品。

第二卷：乙

卷中描繪牛、雞、狗等家畜，龍與「喀邁拉」等神話動物，以及象、豹等非日本原生動物之間彼此互動的畫面。

第三卷：丙

此卷前半為人物風俗畫，後半描繪擬人化動物，青蛙與猴子共拉牛車的情景躍然於紙上。

第四卷：丁

此卷為人物諷刺畫，描繪賭博、競賽、上朝議政等畫面。

<日本語仮訳>

鳥獣人物戯画（戯れる動物を描いた巻物）

「鳥獣人物戯画」は、12～13世紀に描かれた4巻の絵巻物で、日本の代表的な芸術作品の1つである。擬人化された動物を描いた白黒の絵画は、多大な影響を与えてきた。説明文はなく、作者も不明で、一部が紛失している。絵師であり僧侶でもある鳥羽僧正(1053-1140)の作品とする説もあるが、確証はない。

第一巻、甲

第一巻は、入浴したり、食事の支度をしたり、法要に参列する様々な生き物が描かれている。動物にはウサギ、カエル、キツネが含まれる。ウサギとカエルが猿を追いかける場面や、ウサギが鹿に乗る場面などが有名である。高山寺境内の石水院にその複製が展示されている。

第二巻、乙

牛、鶏、犬などの家畜、龍やキメラのような神話上の生物、象や豹など日本原産ではない動物を組み合わせた場面が描かれている。

第三巻、丙

この巻の前半は人物風俗画である。後半は擬人化された動物を描いている。ある場面では、牛車を引くカエルと猿が描かれている。

第四巻、丁

この巻は博打、勝負事、朝廷訪問など、人間の風刺画を特徴としている。

<简体字>

篆隶万象名义

《篆隶万象名义》是日本现存最古老的汉字辞典。高山寺所收藏的文本编纂于 830 年至 1114 年间，是现存唯一的手抄本，对研究者而言更是极为珍贵的资料。辞典由真言密宗开山祖师兼知名学者、诗人、书法家的空海（774-835）于 830 年编成，内容参考其留学中国后带回日本的古代中国辞典《玉篇》。《玉篇》由中国南朝时代的顾野王编著而成，然而原稿早已不复存在。

<繁体字>

篆隸萬象名義

《篆隸萬象名義》是日本現存最古老的漢字辭典。高山寺所收藏的文本編纂於 830 年至 1114 年間，是現存唯一的手抄本，對研究學者而言更是極為珍貴的資料。辭典由真言密宗開山祖師兼知名學者、詩人、書法家的空海（774-835）於 830 年編成，內容參考其留學中國後帶回日本的古代中國辭典《玉篇》。《玉篇》由中國南朝時代的顧野王編著而成，然而原稿已不復存在。

<日本語仮訳>

篆隸万象名義

「篆隸万象名義」は現存する日本最古の漢字辞書である。高山寺が所有している文書は830年から1114年の間に編纂され、唯一現存する写本であり、研究者にとって極めて貴重なものとなっている。辞書は真言密教の開祖であり、著名な学者、詩人、書家でもあった空海(774-835)により830年に完成し、空海が中国への留学後に日本に持ち帰った古代中国の辞書『玉篇』に基づいている。『玉篇』は中国南朝時代の顧野王が編集したもので、残念なことに、原本はもう存在しない。

<简体字>

木雕狗儿

此雕塑曾为明惠（1173-1232）所有之物。他自幼尊重并喜爱动物，更深信过世的双亲可转世重生为动物。明惠尤其疼爱小狗，他的著作《梦记》中即提到自己时常梦到小狗，因此常将与小狗等身大的雕塑放于身边。据传雕像出自日本知名雕刻家湛庆（1173-1256）之手。

<繁体字>

木雕狗兒

這尊雕像曾是明惠（1173-1232）所有之物。他自幼尊重並喜愛動物，更深信過世的父母可轉世重生為動物。明惠尤其喜愛小狗，他的著作《夢記》中即提到自己時常夢到小狗，因此常將與小狗等身大的雕塑放於身邊。據傳雕像作者應為日本知名雕刻家湛慶（1173-1256）。

<日本語仮訳>

木彫りの狗児

この彫刻はかつて明恵(1173-1232)のものであった。彼は幼い頃から動物を敬愛し、亡くなった両親が動物として生まれ変わると信じていた。彼は特に子犬を愛し、彼の夢記から、彼がしばしば子犬の夢を見ていたことが分かっている。明恵はこの等身大の像を常に脇に置いていたとされている。日本の有名な彫師である湛慶(1173-1256)の作とされている。

<簡体字>

敕额

高山寺于 1206 年奉天皇敕许而创建。后鸟羽天皇（1180-1239）亲题御笔匾额，并赐予建寺所需的土地。敕额上的汉字“日出先照高山”取自《华严经》其中一节，意为“日出东方，当首照高峰之巅”。高山寺意为“高山上的寺院”，寺院名称即源自华严宗内容。目前敕额高挂于石水院的南侧。

<繁体字>

敕額

高山寺於 1206 年奉天皇敕許而建。後鳥羽天皇（1180-1239）親題御筆匾額，並賜予建寺所需的土地。敕額上的漢字「日出先照高山」取自《華嚴經》其中一節，意為「日出東方，當首照高峰之巔」。高山寺意為「高山上的寺院」，寺名由來即是源自華嚴宗內容。目前敕額高掛於石水院的南側。

<日本語仮訳>

勅額

高山寺は 1206 年に天皇の勅許により創建された。後鳥羽天皇(1180-1239)は自らが記した勅額をもって土地をこの目的のために利用可能とした。この勅額には「朝日が昇って最初に照らされるのは高い山の頂きである（日出先照高山）」という華嚴経の一節が含まれている。高山寺の意は「高い山にある寺院」で、その名称は華嚴宗（中国語：Huayan; Flower Garland）礎であるこの言葉に由来している。勅額は現在、石水院の南側に掛けられている。

<简体字>

阿留边几夜宇和

明惠（1173-1232）书写的这份木简中，记录了他丰富的修行生活习惯及各种规则，内容极为详尽，可看出明惠为人遵规明礼、恪守规则。题名“阿留边几夜宇和”以日语发音即“如其所是，然其所然”之意。

木简分为三大部，第一部主要规定僧侣冥想、诵经、研习佛经等日常活动的时间；第二部记录寺院书阁的礼法；第三部则叙述佛堂中的行为规范。

<繁体字>

阿留邊幾夜宇和

這份木簡由明惠（1173-1232）所作，記錄了他豐富的修行生活習慣及各種規則，內容極為詳細，從中可看出明惠為人遵規明禮、恪守規則。題名「阿留邊幾夜宇和」以日語發音即「如其所是，然其所然」之意。

木簡分為三大部，第一部主要規定僧侶冥想、誦經、研習佛經等日常活動的時間；第二部記錄寺院書閣的禮法；第三部則敘述佛堂中的行為規範。

<日本語仮訳>

阿留辺幾夜宇和

明恵(1173-1232)が書いたこの木簡には様々な修行生活の習慣や決まり事が記されている。木簡は事細かに記載されており、礼儀作法としきたりを厳守する明恵の姿勢を反映している。題名の「阿留辺幾夜宇和」は、「あるべきようにあれ」という意味である。

三つのセクションの第一部では、瞑想、読経、経典研究など、僧侶が毎日行うことをいつ行うべきかが定められている。第二部では寺院の書齋における作法、第三部では仏堂で何をすべきかを述べている。

<簡体字>

白光神像

白光神源于印度，象征雪与山——尤其是喜马拉雅山脉。此白光神像身体几乎全白，富有纯洁及山顶白雪的意象，是高山寺的主要守护神之一。此神像创作于镰仓时代（1185-1333），据传出自日本知名雕刻家湛庆（1173-1256）的手笔。

<繁体字>

白光神像

白光神起源於印度，象徵雪與山，尤其是喜馬拉雅山脈。此白光神像身體幾乎全白，富有純潔及山頂白雪的意象，是高山寺的主要守護神之一。此神像創作於鎌倉時代（1185-1333），據說出自日本知名雕刻家湛慶（1173-1256）之手。

<日本語仮訳>

白光神像

白光神は、雪と山、特にヒマラヤを象徴するインドを起源とする神である。この白光神像は、純潔さと冠雪の峰のイメージを呼び覚ますようにほぼ全体が白く塗られている。白光神は高山寺の主要な守護神の一つとして祀られている。この像は鎌倉時代(1185-1333)のもので、日本の有名な彫師である湛慶(1173-1256)の作と伝えられている。

<簡体字>

善财童子像

善财童子（梵语：Sudhana）是寻求“善知识”智慧的菩萨，其学佛之旅记载于早期的佛教书籍中。高山寺开山祖师明惠（1173-1232）被善财童子的旅程故事深深感动，渴望自己有朝一日亦能巡拜印度。

此木雕以明惠住处中的原雕像为范本重制而成，刻画出善财童子向前跨步的姿态，仿佛欲踏上全新旅程。

<繁体字>

善財童子像

善財童子（梵語：Sudhana）是尋求「善知識」智慧的菩薩，其學佛之旅記載於早期的佛教書籍中。高山寺開山祖師明惠（1173-1232）被善財童子的旅程故事深深感動，渴望自己有朝一日能巡拜印度。

此木雕以明惠住處中的原雕像為藍本重製而成，刻畫出善財童子向前跨步的姿態，仿佛慾踏上全新旅程。

<日本語仮訳>

善財童子像

善哉童子（サンスクリット語：Sudhana）は善知識の智慧を求めた菩薩であった。彼の旅路は初期の仏教書に記されている。高山寺の開祖である明恵(1173-1232)はインドへの巡礼を熱望し、善財童子の旅の物語に感化された。

この木像は、善財童子が新たな旅に出ようとしているかのように一歩前に踏み出した姿を表している。この像は明恵が自邸に保管していたという像を基にしている。

<簡体字>

御庙

御庙是高山寺开山祖师明惠（1173-1232）的墓地，高山寺的历代住持也皆葬于此。

御庙内矗立的五轮塔，是日本华严宗与真言密宗的象征，左侧是建于镰仓时代（1185-1333）的三重宝篋印塔，小小的如法经塔则立于一旁。

入口附近的石碑上刻有明惠遗训“阿留边几夜宇和”，以日语发音即为“如其所是，然其所然”之意。

<繁体字>

御廟

御廟是高山寺開山祖師明惠（1173-1232）的墓地，高山寺歷代住持也皆葬於此。

御廟內矗立的五輪塔象徵著日本華嚴宗與真言密宗，左側是建於鎌倉時代（1185-1333）的三重寶篋印塔，小小的如法經塔則立於一旁。

入口附近的石碑上刻有明惠遺訓「阿留邊幾夜宇和」，以日語發音即為「如其所是，然其所然」之意。

<日本語仮訳>

御廟

この御廟は高山寺の開祖明恵(1173-1232)の墓所である。高山寺の歴代住職もここに埋葬されている。

御廟の内部には、日本における華嚴宗と真言密教の象徴である五輪塔がある。御廟の左端には鎌倉時代(1185-1333)建立の三重宝篋印塔が立つ。その隣には、如法経塔という小さな塔がある。

入口近くの石碑には、明恵の遺訓である「あるべきようにあれ」という意味の「阿留辺幾夜宇和」が刻まれている。

<简体字>

春日明神神社

高山寺的春日明神神社奉祀春日大明神，该神祇是日本古都奈良春日大社中四神的总称。神道教的神社存于佛教寺院境内，现在看来或许难以置信，不过这也反映出高山寺开山祖师明惠（1173-1232）的宗教观。

明惠将华严宗与真言密宗教义结合，并追随当时原生神祇与佛教神祇一视同仁的思想。他甚为崇敬春日大社，时常前往参拜。据说他对春日大明神敬畏无比，甚至放弃长年以来巡拜印度的梦想，只因春日大明神如此劝告。

过去日本时常出现宗教融合的现象，无数佛教寺院皆与神社互有关联。同样，许多神道教神祇亦被解释为佛教的化身。高山寺的石水院中，也曾奉祀春日大明神和住吉明神。

前述“神佛习合”思想长年盛行，直至明治时代（1868-1912）初期，随着明治维新期间相关新政的颁布，二者从此分离。

<繁体字>

春日明神神社

高山寺的春日明神神社奉祀著春日大明神，該神祇是日本古都奈良春日大社中四神的總稱。神道教的神社立於佛教寺院境內，今日看來或許不可思議，不過這也反映出高山寺開山祖師明惠（1173-1232）的宗教觀。

明惠追隨當時原生神祇與佛教神祇一視同仁的思想，將華嚴宗與真言密宗教義相互融合。他甚為崇敬春日大社，時常前往參拜。據信他對春日大明神敬畏無比，甚至放棄長年以來巡拜印度的夢想，只因春日大明神如此勸告。

日本曾經時常出現宗教融合的現象，無數佛教寺院皆與神社互有關聯。同樣，許多神道教神祇亦被解釋為佛教的化身。高山寺的石水院中，也曾奉祀春日大明神和住吉明神。

前述「神佛習合」思想長年盛行，直至明治時代（1868-1912）初期，隨著明治維新期間相關新政的頒布，二者自此分離。

<日本語仮訳>

春日明神神社

高山寺の春日明神神社は、日本の古都奈良の春日大社に祀られている四神の総称、春日大明神を祀る神社である。仏教寺院の境内にある神社は今日では珍しいように見えるかもしれないが、これは高山寺の開祖、明恵(1173-1232)の宗教信仰を反映している。

明恵は華嚴宗と真言密教の教えを組み合わせ、土着の神々を仏教の神々と同一視する当時の思想に追随した。明恵は春日大社を敬愛しており、頻繁に参詣した。長年の念願であったインド巡礼を行わないようにとの春日大明神の忠告を聞き入れるほど、彼の春日大明神への畏敬の念は非常に強かったと言われている。

かつて日本では宗教的慣行の融合が広がりを見せており、多くの仏教寺院は神社と結びついていた。同様に、神道の多くの神々は仏教の化身と解釈されていた。実際、高山寺の石水院でも春日大明神・住吉明神の祭神が祀られていたことがある。

この習合行為は、新しい法令によって二つの宗教が分離される明治時代（1868-1912）の初めまで日本で続いた。これらの法体制は明治維新に伴って導入された。

<简体字>

明惠冥想之地

高山寺开山祖师明惠（1173-1232）因热爱大自然而广为人知。他时常在野外冥想，而非屋内。明惠圆寂后，后人在他钟爱的几处冥想地点建立石碑，现仍可瞻仰。

明惠尤爱高山寺后方山上一株分为两杈的老松，以及一旁的岩石。他将二者分别称为“绳床树”（绳椅之树）及“定心石”（内心安定之石）。寺院中的石水院堂内，一幅明惠的知名肖像画中，只见他在野生动物的环绕下，静坐于松树上冥想。此外，明惠生前常造访的简朴草庵华宫殿旧址以及石水院旧址等地亦建有石碑。

明惠潜心 40 年完成的著作《梦记》中，记述了他野外冥想的地点及修行内容。这部著作在学术界亦颇受瞩目，据说对明惠的根本思想影响深远。

<繁体字>

明惠冥想之地

高山寺開山祖師明惠（1173-1232）因熱愛大自然而廣為人知。他時常在野外冥想，而非屋內。明惠圓寂後，後人在他鍾愛的幾處冥想地點建立石碑，現仍可瞻仰。

明惠尤其鐘愛高山寺後方山上一株分為兩杈的老松及一旁的岩石。他將二者分別稱為「繩床樹」（繩椅之樹）及「定心石」（內心安定之石）。寺院中的石水院堂內展示有一幅明惠的知名肖像畫，只見他在野生動物的環繞下，靜坐於松樹上冥想。此外，明惠生前常造訪的簡樸草庵華宮殿舊址以及石水院舊址等地亦建有石碑。

明惠潛心 40 年完成的著作《夢記》中，記述了他野外冥想的地點及修行內容。這部著作在學術界亦頗受矚目，據信對明惠的根本思想影響深遠。

<日本語仮訳>

明恵の瞑想の場所

高山寺の開祖明恵(1173-1232)は自然を愛したことで知られている。彼は寺院の建物内ではなく、屋外で頻繁に瞑想していた。明恵の没後、彼のお気に入りの瞑想場所のいくつかには石碑が建てられ、現在も見ることができる。

明恵は高山寺の背後の山の上にあった、二股に分かれた松の木とその傍の岩を特に好んだ。彼はその二つを「縄床樹」(縄の座の木)、「定心石」(心穏やかな岩)と呼んだ。寺院にある石水院の堂内に展示されている明恵の有名な肖像画は、野生動物に囲まれて松の木の上で瞑想している明恵の姿が描かれている。石碑は明恵が頻繁に訪れていた簡素な庵、華宮殿の跡地と元々石水院があった場所にも建てられている。

明恵の屋外での瞑想の場と修行については、約 40 年にわたって綴られた彼の夢記に記されている。学術的関心の対象であるこの記録は明恵の根本思想に多大な影響を与えたとされる。

<简体字>

收藏库

收藏库是一座 3 层水泥建筑，库内保管着高山寺的无数贵重古物，包括佛经、卷轴、各种著作等，共计超过 12,000 件典籍皆藏于此。平安时代（794-1185）因文学和艺术而名扬古今，其后镰仓时代（1185-1333）佛教更在日本国内快速兴起，收藏库中不少古物皆来自这段时期。1981 年，库中所有藏品被日本政府统一指定为“重要文化财”，相关学者亦给予极高的评价。

为保持古物的最佳状态，目前收藏库仅向学者开放。

<繁体字>

收藏庫

收藏庫是一座 3 層水泥建築，庫內保管有高山寺的眾多貴重古物，包括佛經、卷軸、各種著作等，共計超過 12,000 件典籍收藏於此。平安時代（794-1185）因文學和藝術而聞名，其後鎌倉時代（1185-1333）佛教更在日本國內快速興起，收藏庫中不少古物皆來自這段時期。1981 年，庫中所有藏品被日本政府統一指定為「重要文化財」，相關學者亦給予極高的評價。

為保持古物的最佳狀態，收藏庫現僅向學者開放。

<日本語仮訳>

収蔵庫

収蔵庫は、高山寺の貴重な遺物を多く保管する 3 階建てのコンクリート造りの建物である。収蔵庫では経典や巻物、各種の著作物など 12,000 点以上の典籍を収蔵している。芸術や文学で有名な平安時代(794-1185)や、仏教が急速に国内に広まった鎌倉時代(1185-1333)のものが多い。庫内の収蔵品は 1981 年に国の重要文化財に一括指定され、研究者からも高く評価されている。

遺物を最良な状態で保管するために、この建物は学者に限って公開されている。

<简体字>

茶园

约 800 年前，明惠将茶籽播种于高山寺附近。高山寺以茶文化传统而受人称颂，至今仍保留小块茶园，茶叶产量虽不多，每年 5 月仍小有收获。高山寺拥有日本首座茶园，现今立有一座“日本最古之茶园”的石碑，以兹纪念。

禅僧荣西（1141-1215）结束中国之旅时，将茶籽带回日本并赠与明惠一部分，随后明惠将其种于高山寺附近。当时茶被视作提神饮品，以防僧侣因长时间冥想而打盹。

明惠在日本的茶文化历史中功不可没。受其影响，距高山寺东南方约 30 公里的宇治得以实现大规模茶叶栽培。当今的宇治仍是日本屈指可数的茶叶产地，因肥沃的土壤及良好的气候而为人所知。如今，宇治茶农于每年 11 月 8 日造访高山寺，进献当年的头茶。届时开山堂会举行献茶仪式，亦是敬拜堂内明惠上人（上人即智德兼备的僧侣）坐像的宝贵良机。

<繁体字>

茶園

約 800 年前，明惠將茶籽播種於高山寺附近。高山寺以茶文化傳統而受人稱頌，至今仍保留小塊茶園，茶葉產量雖不多，卻總能於每年 5 月迎來小小的收穫。高山寺擁有日本首座茶園，現今立有一座「日本最古之茶園」的石碑，以茲紀念。

禪僧榮西（1141-1215）結束中國之旅後，將茶籽帶回日本並贈與明惠一部分，隨後明惠將其種於高山寺附近。當時茶被當作提神飲品，防止僧侶長時間冥想時打盹。

明惠在日本的茶文化歷史中貢獻卓越。受其影響，距高山寺東南方約 30 公里的宇治得以實現大規模茶葉栽培。如今的宇治仍是日本屈指可數的茶葉產地，因肥沃的土壤及良好的氣候而廣為人知。如今，宇治茶農於每年 11 月 8 日造訪高山寺，並進獻當年的頭茶。屆時開山堂會舉行獻茶儀式，亦是敬拜堂內明惠上人（上人即智德兼備的僧侶）坐像的寶貴良機。

<日本語仮訳>

茶園

800 年ほど前、明恵は高山寺近くに茶の種を植えた。高山寺は茶の伝統を称え今なお小さな茶畑を保有しており、毎年 5 月には僅かではあるが収穫を行っている。高山寺は日本で初めて茶が作られた場所として知られ、同茶園には「日本最古之茶園」の碑が立っている。

中国を旅した後、禅僧の栄西(1141-1215)は茶の種を日本に持ち帰った。彼は明恵に一部を与え、明恵はそれを高山寺近くで栽培した。当時、茶は僧侶が長時間の瞑想をする際に眠らないようにする目的で使われていた。

明恵は日本の茶の歴史において重要な役割を果たした。彼の茶の栽培活動は最終的に高山寺の南東約 30 キロにある宇治での大規模な栽培につながった。宇治は現在でも日本有数の茶の産地で、肥沃な土壌と良好な天候で知られている。宇治の茶の生産者は毎年 11 月 8 日に高山寺を訪れ、その年の春の初摘み（新茶）を献上する。開山堂で行われるその献茶式は、堂内の明恵上人座像を拝する数少ない機会でもある。

<簡体字>

佛足石

释迦牟尼为佛教始祖，是具有历史意义的佛陀，至公元 1 世纪左右为止，针对他的直接描写皆被视作禁忌。当时世人认为他的肖像过于神圣，无法以艺术形式呈现，因此常用带有释迦牟尼足迹的石板“佛足石”证明其存在。佛足石是表现佛陀形态的最古老方式，分布于亚洲各地。

高山寺的佛足石雕于江户时代（1603-1867），足迹中刻画各种佛教符号，包含代表幸运的双鱼纹、象征力量的金刚杵、具有历史意义的佛陀与教义，以及表现顿悟之路的千辐轮宝等。

<繁体字>

佛足石

釋迦牟尼為佛教始祖，是具有歷史意義的佛陀，至西元 1 世紀左右為止，針對佛陀的直接描寫皆被視作禁忌。當時觀點認為祂的肖像過於神聖，無法用藝術形式呈現，因此常用帶有釋迦牟尼足蹟的石板「佛足石」證明其存在。佛足石是表現佛陀形態最古老的方式，分佈於亞洲各地。

高山寺的佛足石雕於江戶時代（1603-1867），足跡中刻畫各種佛教符號，包含代表幸運的雙魚紋、象徵力量的金剛杵、具有歷史意義的佛陀與教義，以及表現頓悟之路的千輻輪寶等。

<日本語仮訳>

仏足石

歴史的な仏であり仏教の開祖である釈迦牟尼の直接的な描写は、紀元 1 世紀頃までタブー視されていた。彼の肖像はあまりに神聖すぎるため、芸術で表現することはできないと考えられていた。代わりとして、その存在は「仏足石」という彼の足跡がついた石板の形で伝えられることが多かった。仏足石は仏の姿を表現した最古の方法で、アジア各地で見られる。

高山寺の仏足石は江戸時代(1603-1867)に彫られたものである。その足跡にはさまざまな仏教のシンボルが刻まれている。これには、幸運の双魚紋、力の金剛杵、歴史的な仏とその教え、悟りへの道を表す千輻輪宝が含まれる。

<简体字>

高山寺的姊妹教会

意大利阿西西的圣方济各教会曾接受教宗若望·保禄二世祝福，于 1986 年成为高山寺的姊妹教会。二者虽为不同宗教却结为姊妹，实属少见。

两大宗教的中心人物分别为圣方济各（1182-1226）和明惠（1173-1232），两者无论是个人层面还是精神层面，均有诸多共通之处。他们皆爱好孤独修行，不喜繁华俗世，并尊崇大自然。高山寺收藏的画作中，明惠在树上冥想，周遭鸟儿缭绕；而圣方济各教会的画作中，则可看见圣方济各为鸟儿传教的模样。

这两位素未谋面、国度相异的男性，人生际遇竟如此相似。高山寺与阿西西的圣方济各教会之间缔结姊妹关系，亦是向二人表达最高敬意。

<繁体字>

高山寺的姊妹教會

義大利阿西西的聖方濟各教會曾接受教宗若望·保祿二世祝福，於1986年成為高山寺的姊妹教會。二者宗教不同卻結為姊妹，實屬罕見。

兩大宗教的主要人物分別為聖方濟各（1182-1226）和明惠（1173-1232），二者無論是個人層面還是精神層面，均有諸多共通之處。他們皆愛好孤獨修行，拒絕繁華俗世，並尊崇大自然。高山寺收藏的畫作中，明惠在樹上冥想，周遭小鳥繚繞；而聖方濟各教會的畫作中，則有聖方濟各為小鳥傳教的畫面。

這兩位從未謀面、國度相異的男性，人生際遇卻如此相似。高山寺與阿西西的聖方濟各教會之間締結姊妹關係，亦是向二人表達最高敬意。

<日本語仮訳>

高山寺の姉妹教会

イタリアのアッシジにある聖フランチェスコ教会は、教皇ヨハネ・パウロ二世の祝福を受けて 1986 年に高山寺の姉妹教会となったが、異なる宗教を代表する二つの宗派がこんなに結び付くのは珍しいことである。

それぞれの主要人物である聖フランシスコ(1182-1226)と明恵(1173-1232)は、個人としてもその精神性においても共通点が多いとされている。二人とも孤独な修行を好み、世俗的な繁栄を拒絶し、自然を尊んだ。高山寺は、明恵の頭上を鳥が飛び彼が木の上で瞑想している絵を所蔵しており、聖フランチェスコ教会は、鳥に説教する聖フランシスコの絵を所蔵している。

高山寺とアッシジの聖フランチェスコ教会との繋がりは、遠く離れた地に生を受けながら、奇しくも似通った人生を送った二人の男性に敬意を表したものである。

<簡体字>

茶室遗香庵

高山寺开山祖师明惠（1173-1232）是日本茶叶栽培的先驱。他使用荣西（1141-1215）禅师从中国带回日本的茶籽，种植于高山寺附近的茶田。目前高山寺在距离遗香庵稍远处仍保留有茶园。

遗香庵茶室于 1931 年为纪念明惠圆寂 700 周年而建，同时亦为称颂他在日本茶历史上的卓越贡献。传统茶室遗香庵建造之际，有多达 100 余名日本茶道家向明惠致敬并捐资。

遗香庵现不对外开放。

<繁体字>

茶室遺香庵

高山寺開山祖師明惠（1173-1232）是日本茶葉栽培的先驅。他使用榮西（1141-1215）禪師從中國帶回日本的茶籽，種植於高山寺附近的茶田。目前高山寺在距離遺香庵稍遠處仍保留有茶園。

遺香庵茶室於 1931 年為紀念明惠圓寂 700 週年而建，同時亦為稱頌他在日本茶歷史上的卓越貢獻。傳統茶室遺香庵建造之時，有多達 100 餘位日本茶道家向明惠致敬並捐資。

遺香庵現不對外開放。

<日本語仮訳>

茶室「遺香庵」

高山寺の開祖明恵(1173-1232)は、日本での茶の栽培の先駆者であった。明恵は、栄西(1141-1215)禅師が中国から日本に持ち帰った茶の種を使い、高山寺近くの茶畑で栽培を始めた。高山寺は遺香庵から少し離れた場所で今なお茶畑を維持している。

遺香庵茶室は明恵の没後 700 年を記念し、日本の茶の歴史に対する彼の優れた貢献を称えて 1931 年に建立された。伝統的な茶室である遺香庵の建築にあたり、全国の 100 人以上の茶道家が明恵に敬意を表して寄付を行った。

茶室は一般には公開されていない。

<簡体字>

富冈铁斋之作

富冈铁斋（1837-1924）是生于京都的画家、书法家、学者，他的晚年几乎在高山寺度过。寺院境内可欣赏他的两件作品，分别为刻有“梅尾山 高山寺”字样的石碑，以及题写“石水院”的书法匾额。

铁斋的作品深受日本及中国传统绘画风格影响，他生前更于 1907 年被任命为明治天皇（1852-1912）的御用画家。

<繁体字>

富岡鐵齋之作

富岡鐵齋（1837-1924）是生於京都的畫家、書法家、學者，他的晚年幾乎在高山寺度過。寺院境內可欣賞他的兩件作品，一件是刻有「梅尾山 高山寺」字樣的石碑，另一件是題有「石水院」的書法匾額。

鐵齋的作品深受日本及中國傳統繪畫風格影響，他生前更於 1907 年獲任為明治天皇（1852-1912）的御用畫家。

<日本語仮訳>

富岡鉄斎の作品

富岡鉄斎(1837-1924)は、京都出身の画家、書家、学者である。彼は余生の多くを高山寺で過ごした。寺院の境内では、彼の「拇尾山 高山寺」という言葉が刻まれた石碑と、「石水院」と書かれた書の二つの作品を見ることができる。

鉄斎は日本や中国の伝統的な絵画様式の影響を受けており、1907 年には明治天皇(1852-1912)の御用絵師に任命された。

<简体字>

原子弹爆炸遗址

原子弹爆炸遗址是 1945 年 8 月 6 日广岛遭受原子弹袭击后残留下的最大型建筑之一。它距离爆炸中心仅 160 米，更是附近屈指可数的幸存建筑。原子弹几乎在它正上方爆炸，产生了每平方米 35 吨的压力和每秒 440 米的冲击波。整座建筑被烈焰层层包裹，基本摧毁殆尽，在场人员全部当场罹难，然而它正中央的钢制穹顶和穹顶下方厚厚的混凝土墙却残存了下来，至今仍保持着当时的状态。

扭曲变形的钢铁穹顶、焦黑变色的混凝土墙与周围葱郁的绿地形成了鲜明的对比，令人难忘。绕行原子弹爆炸遗址一圈仅需几分钟，但若要想追溯这座残骸向世人静诉曾经的悲剧，一个多小时便转瞬即逝。

原子弹爆炸遗址位于和平纪念公园东北角。爆炸发生前，这一带曾是广岛市内最繁华的地段之一，与现在的景致大不相同。这座建筑过去是一处政府机关，名为“广岛县产业奖励馆”。该馆于 1915 年开业，由捷克建筑师简·莱泽尔（1880-1925）担纲设计，在历史给这座建筑蒙上一层阴影之前，因其罕见的欧式建筑风格而享有盛名。遥想昔日，在近尺的元安川上应该也能看到这座穹顶建筑的倒影。

自 1945 年 8 月起，这座建筑的残骸称作“原子弹爆炸遗址”，当初人们可自由进入参观。1996 年，广岛市政府正式决定保留这座建筑，並在此后一直维缮着其现有状态。1996 年，原子弹爆炸遗址被联合国教科文组织列为世界遗产。

<繁体字>

原子彈爆炸遺址

原子彈爆炸遺址是 1945 年 8 月 6 日廣島遭受原子彈轟炸之後僅存的最大型建築之一，距離爆炸中心僅 160 公尺，也是附近屈指可數的倖存建築。原子彈幾乎是在穹頂的正上方發生爆炸，產生了每平方公尺 35 噸的壓力和每秒 440 公尺的衝擊波。由於建築被烈焰層層包圍，整座建築幾乎被摧毀殆盡，館內的人全部當場罹難。只有正中央的鋼製穹頂和穹頂下方厚實的混凝土牆殘存了下來，至今仍保持著當時的面貌。

扭曲變形的鋼鐵穹頂和因衝擊波而明顯變色的水泥牆，這些原子彈轟炸後遺留下的痕跡與周圍的茂盛的綠地形成了鮮明對比，令人難忘。繞行原子彈爆炸遺址一圈，僅需幾分鐘。但是，當我們試圖通過荒廢的遺跡，追溯它曾默默承受的悲劇時，一個多小時便轉眼即逝。

原子彈爆炸遺址位於和平紀念公園東北角。爆炸發生前，其周圍的景致與現在大不相同。當時，這一帶曾是廣島市內最繁華的地段之一。這座建築曾是一處政府機關——廣島縣產業獎勵館。該館於 1915 年開幕，由捷克建築師簡·萊澤爾（1880-1925）擔綱設計。在歷史給這座建築蒙上一層陰影之前，作為一座罕見的西式建築，在當時極富盛名。遙想昔日，在近在咫尺的元安川上同樣能看到這座穹頂建築的倒影。

自 1945 年 8 月起，這座建築的殘骸稱作「原子彈爆炸遺址」，遊客可自由進入參觀。1996 年，廣島市政府正式決定保留這座建築，並且不遺餘力地持續進行修繕以保持原始樣貌。1996 年，原子彈爆炸遺址被聯合國教科文組織列為世界遺產。

<日本語仮訳>

原爆ドーム

原爆ドームは 1945 年 8 月 6 日の広島への原爆投下の後に崩れず残った最大の建造物の一つであり、爆心地からほんの 160m の場所に残存する数少ない建造物です。爆発は原爆ドームのほぼ真上で起こり、1 m³あたり 35 トンの圧力と毎秒 440mの爆風を引き起こしました。建物は炎に包まれ、ほとんどが破壊されたため、中にいた人々は即死しました。にもかかわらず、中央のドーム構造の鉄骨とその下の厚いコンクリートの壁は、荒廃した形ではあるものの共に残り、今日もその姿を留めています。

建物のドームのねじ曲がった鋼鉄や爆風で変色したことがはっきりと分かる下部のコンクリートの壁と、建物を取り囲んでいる青々と茂る緑地のコントラストはとても印象的です。原爆ドームの周囲は歩けばほんの数分ですが、荒廃の跡が無言で証言する悲劇をたどろうとすると、1 時間かそれ以上はすぐに経ってしまいます。

爆弾が落とされた当時、平和記念公園の北東の隅にある原爆ドームの周辺は今とはずいぶん様子が異なっていました。このあたりは市の中でも最もにぎやかな繁華街のひとつで、当時この場所には政府機関が置かれており、広島県産業奨励館と呼ばれていました。1915 年に開館したこの建物は、チェコ人の建築家、ヤン・レツル（1880-1925）によって設計されました。歴史がこの建物に暗い陰を落とす前も、珍しい洋風建築の一つとして当時から地元で有名でした。今日と同じく、すぐ近くの元安川にドームの姿が映っていたことでしょう。

1945 年 8 月以後、この建物の残骸は原爆ドームとして知られるようになり、人々は自由に出入りしてきました。1996 年にこの建物を保存することが正式に決まり、それ以降、今の姿をとどめるような工事が行われてきました。1996 年、原爆ドームはユネスコ世界遺産に指定されました。

<简体字>

广岛和平纪念资料馆

广岛和平纪念资料馆，是广岛市内规模最大的原子弹爆炸纪念设施。这里生动详细地介绍了那场发生于 1945 年 8 月 6 日的悲惨事件及其后遗症。广岛和平纪念资料馆由著名建筑师丹下健三（1913-2005）设计，此外他还担纲了广岛市内另外几座与原子弹爆炸有关的纪念馆。该馆于 1955 年开业，2006 年被指定为日本重要文化财，这是二战后日本建筑首次荣膺此项殊荣。

该资料馆由和平纪念公园内两座相邻的大型建筑组成。若是初次到访，推荐从主馆参观。这里展示了原子弹爆炸后留下的无数遗物，旨在让生活在现代的人们与罹难者感同身受。主馆于 2019 年春经大规模装修后重新开业，展示效果得到了极大提升。东馆则主要通过各种媒介来开展和平教育。

“地球和平监视钟”伫立在主馆入口，钟面下方显示着两行电子数字，分别为史上首次成为原子弹爆炸牺牲者的广岛在惨剧发生之后所经历的天数，以及地球某处最近一次核试验后所经历的天数。

进入资料馆后，参观者首先要经过一条狭窄、幽暗的走廊。走廊里排列了主题各异的巨幅黑白照片，有缠着绷带的少女，也有从高空俯视的原子弹爆炸时形成的蘑菇云。这是新增的展区，采用了封闭、压抑的设计来表达死难者们无处可逃的绝望。

往前是一个较开阔的展区，这里的展示重点从“物”转向“人”，按照年代顺序详细介绍广岛在原子弹爆炸后的经历。大量的照片、遗留品和借助幸存者的记忆描绘的插画，详尽描述了原子弹的爆炸、之后的火灾旋风、持续不断的黑雨，将当时因尚不了解新型炸弹的实际情况而混乱不已的数天乃至数周展现在人们面前，并揭露了爆炸后遗留长达数十年、跨越数代人的核辐射影响。遗物中，有被烧到扭曲变形的儿童三轮车，还有距离爆炸中心 240 米处的银行建筑的一部分，上面印着在瞬间被烧成灰烬的死难者被猛烈的热量汽化后烙印在石阶上的“影子”。

参观和平纪念资料馆或许是一次非常沉重的体验，但也是每个人都应该亲历一次的体验。

<繁体字>

廣島和平紀念資料館

廣島和平紀念資料館是廣島市與原子彈轟炸有關的最大型博物館。館內詳細介紹了發生於 1945 年 8 月 6 日的悲慘事件及後遺症。廣島和平紀念資料館由著名建築師丹下健三 (1913-2005) 設計，此外，他還設計了廣島市內另外幾座與原子彈轟炸有關的紀念館。資料館於 1955 年開業，2006 年被列為日本重要文化財。這也是二戰後日本建築首次獲此殊榮。

該資料館由和平紀念公園內兩座相鄰的大型建築組成。若是初次到訪的旅客，推薦您從參主館參觀，這裡展示著原子彈轟炸後遺留的文物，館方竭盡所能地讓生活在現代的人們能對廣島的罹難者感同身受。主館在 2019 年春天完成大規模整修後重新開館，展示效果得到了極大提升。東館則專注於通過各種媒介來推廣和平教育。

「地球和平監視鐘」佇立主館入口，鐘面下方顯示的兩行數字分別是史上首次成為原子彈轟炸犧牲者的廣島在慘劇發生之後經過的天數，以及地球上某個地方最近的一次核試驗距離現在的天數。

進入資料館後，參觀者會先要經過一條狹窄、幽暗的走廊。走廊里展示主題迥異的巨幅黑白照片，有纏著繃帶的少女，也有從高空俯瞰的原子彈爆炸形成的蘑菇雲。這是新的展區，採用了較封閉、壓抑的設計，是為了傳遞罹難者無處可逃的絕望。

往前走是一個較開闊的展區，這裡的展示重點從「物」轉移到「人」，按照年代順序詳細介紹了廣島原子彈轟炸的歷史。大量的照片、文物和根據倖存者的記憶描繪的插畫，將原子彈轟炸，及其之後產生的漫天大火、旋風、持續不斷的黑雨……將當時地面上由於尚不瞭解新型炸彈的實際情況而一片混亂的數天乃至數周展現到人們面前，並揭露了轟炸後遺留長達數十年、跨越數代人的核輻射影響。遺物中，除了被燒到扭曲變形的幼兒三輪車外，還有距離爆炸中心約 240 公尺的銀行建築的一部分，上面印著在爆炸的瞬間，罹難者被燒成灰燼，而後被猛烈的熱量汽化後變成了石階上的「影子」。

參觀和平紀念資料館或許是一次非常沉重的體驗，但也是每個人有生之年都該親歷一次的體驗。

<日本語仮訳>

広島平和記念資料館

広島平和記念資料館は原爆に関連する市の最大の博物館です。ここでは 1945 年 8 月 6 日に起きた悲惨な出来事とその後遺症について詳細な、感情に訴えるような説明がされています。有名な建築家、丹下健三（1913-2005）が設計した市内のいくつかの記念館の一つである広島平和記念資料館は 1955 年にオープンし、2006 年には日本の重要文化財に指定されました。戦後の建築物がこの栄誉を受けたのは初めてのことでした。

資料館は平和記念公園内の二つの広大な隣接する建物で構成されています。本館は初めての来館者にお勧めです。ここには原爆投下当時の数えきれないほどの遺品が展示されており、広島原爆の犠牲者の体験が、現代の人々にできるだけ具体的に理解できるように工夫されています。一方、東館は様々な媒体を通じた平和教育に重点を置いています。本館は 2019 年の春に大規模な改装を終えて再オープンし、多数の展示品が一層効果的に展示されています。

本館のロビーにある「地球平和監視時計」は、広島が世界で最初の核兵器使用の犠牲になってから経過した日数を示し、合わせて地球のどこかで最後に核実験が行われてからの日数も表示されています。

資料館に入ると来館者はまず細い、照明を抑えた廊下を通ります。そこには包帯を巻いた少女から上空から見た原爆のきのこ雲まで、大小さまざまなテーマの巨大な白黒写真が並んでいます。新しく加わったこのコーナーは、犠牲者たちが感じた閉じ込められたような感覚や絶望感が伝わるようにと閉塞感のある設計になっています。

さらに進んだ先の広い展示エリアでは、広島原爆の体験を年代順に詳しく説明し、その焦点は物から人へと移っていきます。爆弾そのもの、その後の火災旋風、黒い雨、新型爆弾の実態が地上ではまだ知られていなかった混乱した数日間、数週間、じわじわと何十年にもわたり世代間に受け継がれる放射能の影響などが、写真や生き残った人々の記憶に基づいて描かれたイラスト、おびただしい遺品を通して語られています。遺品の中には幼児の持ち物だった熱でねじれた三輪車のほか、爆心地から約 240m 離れた銀行から持ち込まれた、一瞬にして焼かれ灰となった犠牲者の「影」が猛烈な熱によって石段に焼き付けられた建物の一部などがあります。

平和記念資料館への訪問は非常に辛い体験になるかもしれませんが、それは誰もが経験すべきことでもあります。

<简体字>

峠三吉诗碑

在和平纪念公园内，有一座为纪念峠三吉（1917-1953）而建造的朴素纪念碑。这位年轻的诗人在 1945 年 8 月 6 日经历了原子弹爆炸后深受触动，开始用他有力的诗句向外界传达遇难者的窘境。此外，他还是一位全力推动反核与和平运动的活动家，他将焦点瞄准了导致各国冲突的社会和政治问题，因此备受世人关注。

爆炸发生时，28 岁的峠三吉正在广岛市翠町附近的家中，距离爆炸中心 3 公里。峠三吉是一位天主教徒，受西欧和日本的诗人作家影响，当时的他已经创作了数千首作品。

《原爆诗集》是他的第一部与原子弹爆炸有关的诗集，于 1951 年病中出版。同年，这本诗集作为日本参加在柏林举办的世界青年和平节的一部作品，引起了全世界的关注。

在战争刚结束后的几年里，峠三吉的作品所描写的有关原子弹轰炸及其影响的内容是极为宝贵的信息来源，因为在当时的日本，这类信息要受到占领军的严格审查。之后十年间，朝鲜战争爆发，时任美国总统哈里·杜鲁门（1884-1972）曾表示，不排除再次使用核武器的可能。峠三吉闻讯一再高声疾呼，带动有志者反核。1953 年，峠三吉在广岛疗养院去世，享年 36 岁。

<繁体字>

峠三吉詩碑

在和平紀念公園內，有一座為紀念峠三吉（1917-1953）而建造的樸素紀念碑。這位年輕詩人在 1945 年 8 月 6 日經歷了原子彈轟炸後深受觸動，開始以他有力的詩句向外界傳達遇難者的窘境。此外，備受外界關注的他還堅持不懈地推動反核與和平運動，且致力於導致各國衝突的社會和政治問題。

爆炸發生時，當時 28 歲的峠三吉正在距離爆炸中心 3 千公尺的廣島市翠町附近的家中。峠三吉是一位天主教徒，受西歐、日本的詩人及作家的影響，那時他已經創作了數千首作品。《原爆詩集》是他的第一部與原子彈轟炸有關的詩集，於 1951 年患病中出版。同年，這本詩集作為日本參加在柏林舉辦的世界青年和平節的作品之一，引起了全世界的關注。

在戰爭剛結束後的幾年內，峠三吉的作品所描寫的內容對於有關原子彈轟炸及其影響是極為寶貴的資訊來源。因為在當時的日本，這類資訊是要受到佔領軍的嚴格審查。接下來的十年，當時的美國總統哈利·杜魯門（1884-1972）曾在韓戰中表示，不排除再次使用核武器的可能性。峠三吉聞訊一直高聲疾呼反核，並致力於推動和平運動。1953 年，峠三吉在廣島療養院去世，年僅 36 歲。

<日本語仮訳>

峠三吉詩碑

平和記念公園内に、峠三吉（1917-1953）に捧げた簡素な記念碑があります。この若い詩人は 1945 年 8 月 6 日の原爆体験に突き動かされ、犠牲者の窮状を力強く伝える詩を書くようになりました。また、たゆみなく声を大にして反核や平和運動を推進する活動家として、国々を紛争に導く社会的、政治的問題に光を当て注目された人物でもありました。

原爆が投下されたとき、当時 28 歳だった峠は爆心地から 3km 離れた広島市の翠町付近の自宅にいました。カトリック教徒だった峠は西欧や日本の詩人や作家の影響を受け、その頃にすでに数千の作品を書いていました。原爆に関連した彼の最初の詩集である『原爆詩集』は、彼が入院中であった 1951 年に出版されました。同年、この詩集はベルリン世界青年平和祭への日本からの出品作品の一つとして世界的な注目を集めました。

戦争直後の数年間、峠が書いた内容は原爆投下やその影響についての貴重な情報源でした。当時はそういった情報は日本では占領軍によって厳重に検閲されていたからです。その後 10 年間、米国の大統領、ハリー・トルーマン（1884-1972）が核兵器の再使用を除外しようとしなかった朝鮮戦争中、彼は特に声高に主張を繰り上げました。峠は 1953 年に広島療養所で亡くなりました、36 歳でした。

<简体字>

国立广岛追悼原爆死难者和平纪念馆

国立广岛追悼原爆死难者和平纪念馆于 2002 年竣工，整座建筑笼罩在一片庄严肃穆的氛围中。在这里，参观者将了解到原子弹爆炸所带来的无法估量的痛苦，和由此造成的巨大损失，并体会到原子弹爆炸导致的悲剧有何等的深重。同时，它也是一个让罹难者家属缅怀他们的祖先以及深爱的亲人们的地方。

这座建筑由日本知名建筑师丹下健三（1913-2005）担纲设计。从地面上看，它的外观似乎只是以弧形围墙构成，围墙正面有一个大型窗口，从那里可以看到位于其内部中央的喷水池。

纪念和平与追悼死难者的空间建在该馆的地下层，通过一条仿佛能穿越时空、带人追溯至 1945 年 8 月那天的弧形坡道进入。追悼空间的墙上，播放着以爆炸中心为视点、360 度环顾被摧毁后的街市影像。影像中所使用瓷砖数量达 14 万块，与外界估算的 1945 年年底广岛因原子弹爆炸而罹难的人数相同，借此以示对每一位死难者的哀悼。全景影像下方，根据距离爆炸中心的远近，分别标注了被轰炸时广岛市 226 个地区名称。

追悼空间的屋顶由 12 根木柱支撑，屋顶中央建有艺术喷水池的上半部分，从外墙的开口处往里看时可以看到它的玻璃造型，喷水池的下半部分则矗立在其下方追悼空间的正中央。上下两个部分都是形似钟表的表盘，盘面指示的时间正是原子弹爆炸的时刻——上午 8 点 15 分。请勿碰触池中流淌的清水，它旨在悼念那些在轰炸后为寻找水源而逝去的灵魂。

跨越两层的追悼空间周围，有一个特别展示区。在此可以体验原子弹轰炸场景，也可以观看死难者亲属的口述视频。此外，还设有收藏了原子弹轰炸体验录（配有中文等多国语言翻译）的图书馆和遇难者信息展示区。信息展示区实行电脑化管理，12 个大型屏幕上显示着数千名死难者的姓名和遗像，并可通过搜索姓名来查询了解每一位死难者。

<繁体字>

國立廣島追悼原爆死難者和平祈念館

國立廣島追悼原爆死難者和平祈念館於 2002 年竣工，整座建築籠罩在一片莊嚴肅穆的氛圍中。在這裡，參觀者將體會到原子彈轟炸所帶來的無法估量的痛苦，以及由此造成的巨大損失，並瞭解到原子彈轟炸所造成的悲劇是何等的深重。同時，它也是一個讓罹難者家屬緬懷他們的祖先以及深愛的親人們的地方。

該建築由日本知名建築師丹下健三（1913-2005）擔綱設計。從地面上看，它的外觀似乎只是以弧形的圍牆夠成，正面有一個開口處，從那裡可以看到位於其內部中央的噴水池。

建築物內部的地下室是和平紀念與罹難者追悼空間，可以透過一條彷彿能回到過去，追溯至 1945 年 8 月的弧形坡道進入。追悼空間的牆上，播放著以爆炸中心為視角、360 度環顧被摧毀後的街道景象。影片中使用了 14 萬塊瓷磚，與外界估算的 1945 年在廣島原子彈轟炸中罹難的人數相同，以悼念每一位罹難者。在全景影片的下方，根據距離爆炸中心的遠近，分別標示了原子彈轟炸時廣島市 226 個地區名稱。

追悼空間屋頂由 12 根木柱支撐，屋頂正中央有噴水池的上半部分，從外牆外透過開口處可以看到他的玻璃造型，噴水池的下半部分則矗立在下方追悼空間的正中央。上下兩部分都形似一個鐘錶的錶盤，指示的時間是原子彈轟炸的時刻——上午 8 點 15 分。請勿觸碰池中流淌的清水，它旨在悼念那些在轟炸後為尋找水源而逝去的靈魂。

在跨越兩層的追悼空間周圍，有一個特別展示區。在此可以體驗原子彈轟炸場景，也可以觀看罹難者親屬的口述影片。此外，還設有收藏著原子彈轟炸體驗錄（配有中文等多國語言翻譯）的圖書館和罹難者相關資訊展示區。資訊展示區實行電腦化管理，12 個大型螢幕上展示著數千罹難者的姓名和遺像，並可通過搜索姓名來查詢瞭解每一位罹難者。

<日本語仮訳>

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

2002 年に完成した威厳ある雰囲気のある広島原爆死没者追悼平和祈念館では、爆撃が与えた測り知れない痛みと損失が思考の中心に据えられるような体験が得られます。祈念館は原爆投下もたらした悲劇がいかにおきなものであったかを来館者に伝え、その一方で、死没者の家族がその祖先や愛する人たちの苦しみに想いを馳せることのできる場所でもあります。

有名な日本人建築家、丹下健三（1913-2005）が設計した建物は、地上から見ると円形の壁だけでできているように見えます。正面は開口部が一つくり抜かれているだけで、そこからは中央の噴水のオブジェの上部が見えます。

建物内の地下にある平和記念・死没者追悼空間には、1945 年 8 月へと時間をさかのぼるかのようなスロープを通して入ります。壁には、爆心地から見えたであろう爆撃で破壊された街の映像が 360 度にわたって映し出されています。映像には 1945 年末までに亡くなったと推定される広島原爆犠牲者と同数の 14 万個のタイルが用いられており、その一人ひとりを追悼しています。パノラマ映像の下には、原爆投下当時の市を構成していた 226 の地域の名が、爆心地からの距離に応じた位置にそれぞれ据えられています。

12 本の木製の柱が屋根を支え、屋根の中央には地上の開口部から見えた噴水のオブジェのガラス製の上部が配されています。下の部分は真下の、追悼空間の中央に立っています。上部と下部のどちらも、爆弾が落とされた午前 8 時 15 分を指した時計の文字盤のような形をしています。ここに流れている水は原爆投下の直後、水を求めて亡くなった死者の魂を追悼するものであり、触れてはいけません。

2 つの階にまたがる追悼空間の周辺には特別展示コーナーがあり、原爆を体験したり、愛する人を亡くした人々の証言ビデオを視聴できたり、体験記（中国語を含む多言語翻訳あり）を収蔵しているライブラリー、犠牲者の情報展示コーナーもあります。情報展示コーナーはコンピューター化されており、12 の大きな動画スクリーンには、何千人もの原爆犠牲者の名前や遺影が映し出され、個々の犠牲者を名前で検索できるようになっています。

<简体字>

广岛安徒生面包坊

安徒生面包坊诞生于广岛，是日本最人气的高端西点品牌之一。自开业起，它烘制的点心就一直很受欢迎。安徒生面包坊的历史始于本通商店街的一座建筑，而这座建筑曾遭受过 1945 年 8 月的原子弹轰炸。这里最初是原三井银行的广岛分行，建于 1925 年。威严的文艺复兴风格设计，让它很快成为当地的地标性建筑。采用古希腊圆柱砌成、让人印象深刻的正门入口，以及拱形的阳台窗户等，都是其典型特征。外墙采用冈山县产的石材，内壁则为意大利产的大理石。这座建筑所采用的钢筋混凝土结构，虽然如今已是建筑业常识，但在当时十分罕见。

1943 年，这座建筑因银行合并成为了帝国银行广岛分行。1945 年 8 月原子弹被投下时，距离爆炸中心仅有 360 米的整座建筑被大火烧毁，且爆炸冲击波对这栋建筑同样造成了极为严重的破坏，面朝爆炸中心的西墙几乎全部坍塌。

1950 年，经过大规模复建，帝国银行再次入驻这里。之后又有多家银行曾迁入此处。1967 年，这座建筑被当地的高木面包公司收购，并创立了安徒生面包坊。该公司创建人高木俊介曾在欧洲留学，深为丹麦风味的烘培点心倾倒，于是构思并创建了这个品牌。现在，安徒生面包坊已经家喻户晓，总店也多次翻修。2016 年，这座建筑再次进行了大规模的修整，并已于 2020 年 8 月重新开业。

<繁体字>

廣島安徒生烘焙坊

安徒生烘焙坊創立於廣島，是日本最受歡迎的高端烘焙品牌之一。這家店的烘焙點心自開店以來就很受歡迎。安徒生烘焙的歷史始於「本通商業街」的一座建築，而這座建築曾遭受過 1945 年 8 月的原子彈轟炸。它建於 1925 年，最初是原三井銀行的廣島分行，憑藉高貴的文藝復興風格設計，使它很快成為當地的地標。採用古希臘圓柱砌成、讓人印象深刻的正門入口，以及拱形的陽臺窗戶等，都是其典型特徵。外牆採用岡山縣產的石材，內牆採用的則是來自義大利的大理石。這座建築採用的是混凝土結構，雖然如今已經相當普遍，但在當時十分罕見。

1943 年，這座建築因銀行合併成為了帝國銀行廣島分行。1945 年 8 月原子彈轟炸時，由於距離爆炸中心僅有 360 公尺，整座建築被悉數燒毀。爆炸衝擊波造成了極為嚴重的破壞，西側牆壁因面向爆炸中心，幾乎全部坍塌。

1950 年經過了大規模的重建，帝國銀行於重新遷回此地。此後，多家銀行都曾駐點於此。1967 年，這座建築被當地的高木麵包公司收購，並創建了安徒生烘焙坊。創始人高木俊介在歐洲留學期間，深深為丹麥風味的烘焙點心傾倒，於是構思並創建了這個品牌。現在，安徒生烘焙坊已經家喻戶曉，總店也歷經多次翻修。2016 年開始，這座建築進行了大規模的修整，並於 2020 年 8 月重新開業。

<日本語仮訳>

広島アンデルセン

広島で生まれたアンデルセンは、日本で最も愛されている高級ベーカリー・ブランドの一つであり、焼き菓子は昔から人気があります。アンデルセンの歴史は本通り商店街の建物から始まりますが、この建物には 1945 年 8 月の原爆投下に関わる歴史があります。当初、旧三井銀行の広島支店として 1925 年に建設されたこの建物は、威厳のあるルネッサンス風のデザインですぐに地元のランドマーク的な存在となりました。ドーリス式の円柱が印象的な正面入り口や、アーチ型のベランダの窓などが特徴で、壁は岡山県産の石で作られ、内壁はイタリア産の大理石を使用していました。建物は、今日では日本の建築に欠かせないものですが、当時は目新しかった鉄筋コンクリートに支えられていました。

1943 年に建物は合併により帝国銀行広島支店となりました。1945 年 8 月に原爆が投下されたとき、爆心地からわずか 360m のところにあったこの建物は全焼し、爆風により深刻な被害を受けました。爆心地に面した西側の壁のほとんどは崩れ落ちてしまいました。

その後大規模な再建が行われ、1950 年に帝国銀行はこの建物に戻りました。それ以降複数の銀行がこの建物を使用しましたが、1967 年に地元のタカキ・ベーカリーによって買収されました。アンデルセン・ベーカリーはこの年に、ヨーロッパ留学中にデンマーク風のペストリーに魅了された創業者、高木俊介の構想に基づいて誕生しました。アンデルセン・ベーカリーの名前は誰もがよく知るようになり、本店は何度か大々的に改装されました。2016 年より、大規模な改装工事を行っていましたが、2020 年 8 月に再オープンしました。

<简体字>

福屋八丁堀店

1938年，福屋百货店首次在广岛市中心的中央大街开业，好评如潮。当时这种摩登八层建筑非常罕见，不管是由钢筋混凝土所塑的大胆的外观，还是把舒适性和便利性追求到极致的内装都让人为之倾倒。特别是整幢大楼都安装有空调设备，这在当时也极其稀少。但是不久之后，日本挺进二战。战争行将结束之际，曾经一派繁华的百货店谢客结业，大楼被日本军方征用。

福屋八丁堀店位于距离原子弹爆炸中心 710 米处，在 1945 年 8 月 6 日的那场火灾中几乎毁于一旦。然而，建筑外侧的骨架却经受住了爆炸冲击波。在原子弹爆炸后的数天又或数周之后，这家昔日欣欣向荣的百货大楼开始成为一大紧急救助站。1951 年，福屋八丁堀店终于恢复营业，并于日本一跃成为经济大国的 1960-1970 年代经济高速增长时期再度繁荣。此后，该店又经历了几次大规模的改建，1972 年彻底更换了外墙。时至今日，福屋八丁堀店仍在原址营业。

<繁体字>

福屋八丁堀店

1938年，福屋百貨店首次在廣島市中心的中央大街開幕時，備受各界好評。當時這幢新潮的八層建築非常罕見，無論是其大膽的鋼筋混凝土外觀，亦或是追求極致的舒適與便利性的裝潢都讓人為之傾倒。特別是整幢大樓都安裝有空調設備，這在當時是非常少見的。然而，不久之後日本參與了二戰，戰爭即將結束之際，曾經一派繁華的百貨店停止營業，大樓被日本軍方徵用。

福屋八丁堀店位於距離原子彈爆炸中心 710 公尺處，在 1945 年 8 月 6 日的那場火災中幾乎被夷為平地。然而，建築外表的骨架卻承受住了爆炸衝擊波。在原子彈襲擊後的數天或數周之內，這家昔日欣欣向榮的百貨大樓開始作為緊急救助站。1951年，福屋八丁堀店終於恢復營業，並在日本一躍成為經濟大國的 1960-1970 年代經濟高速增長時期，重現了繁榮的景象。此後，該店又經歷了幾次大規模的改建，1972年徹底更換了外牆。時至今日，福屋八丁堀店仍在原址持續營業。

<日本語仮訳>

福屋八丁堀店

福屋百貨店は市の中心部、中央通りに初めてオープンした 1938 年当時、広島で大いに評判になりました。当時としては珍しいモダンな 8 階建ての建物で、大胆な鉄骨鉄筋コンクリートの正面や、快適さや利便性の極みを追求した内装を見たいと願う人々を魅了しました。例えば全館に配された空調設備など、当時としては非常に珍しかったのです。しかし、まもなく日本は第二次世界大戦に突入し、戦争の終わりごろにはかつて栄えた百貨店は閉店し、建物は日本軍に徴用されました。

原爆の爆心地から 710m のところに位置する福屋八丁堀店は、1945 年 8 月 6 日の火災でほぼ完全に破壊されました。しかし、建物の外側の骨組みは爆風に耐え、原爆投下から数日、数週間経つと、かつて栄えた百貨店は緊急救援所として使用され始めました。福屋八丁堀店は 1951 年についに営業を再開し、日本が経済大国となった 1960 年代から 1970 年代にかけての高度経済成長期に繁栄を遂げました。大規模な改築工事を何度か経て、1972 年には外壁は完全に取り換えられ、福屋は現在も同じ場所で営業を続けています。

<简体字>

缩景园

缩景园是广岛有名的日式庭园。几个世纪以来，这座庭园一直与当地的历史密不可分，在共同经历过 1945 年发生在这个城市的悲剧后，两者的联系更加紧密。有心者不难发现原子弹爆炸留下的累累伤痕，但缩景园的壮丽美景却并未因此受到丝毫影响。相反，这些令人悲痛的痕迹在无形之中愈发衬托出其自然之美。

这座庭园曾归属当时统治广岛地区的浅野家，于 1620 年由茶道家兼浅野家家老（家臣统领）上田宗箇（1563-1650）负责建造，其规模跟一个棒球场不相上下。缩景园顾名思义，就是一处“浓缩各种景致的庭园”，其造园理念是让山川静谧之美在步行范围内得到极致的体现。

缩景园是一座典型的日本“回游式庭园”（周游式庭园）。园内正中央有一个濯缨池，虽是人工建造，但形态极为自然。池中散布着大小 14 座小岛（一座石拱桥横跨池面，其左右各有 7 座小岛），它们代表了附近濑户内海的岛屿。园内还有小桥、溪谷、茶室、凉亭等景致，精巧地布置在濯缨池四周。

从 1783 年到 1830 年，庭园进行了大规模的整修，只有超然居及其周围的景观依旧保留了上田宗箇的原始设计。1945 年 8 月 6 日，广岛遭到原子弹轰炸，缩景园遭受了毁灭性的破坏，除石桥以外的所有建筑都被摧毁。二战结束之后，缩景园才又获重建。

缩景园的外围可以看到原子弹爆炸留下的痕迹，其中包括轰炸后广岛仅存的 161 棵树中的 3 棵。有一棵是银杏，据说触摸它的人能获得其部分生命力。而幸存树木中最大的一棵松树，就位于紧邻缩景园东侧的猿猴川附近。这里还有一座原子弹爆炸死难者慰灵碑，因有照片证明爆炸发生后，曾有部分罹难者被埋葬在缩景园内简易墓地里，故在此立碑以示悼念。

缩景园一年中会举办多种多样的活动，比如茶会、祭典和“菰卷”（一种防治树木害虫的传统仪式）等。

<繁体字>

縮景園

縮景園是廣島有名的日式庭園。幾個世紀以來，這座庭園一直與當地的歷史密不可分，尤其是經歷過 1945 年發生在這個城市的悲劇後，兩者的聯繫更加密切。有心者會發現原子彈轟炸帶來的累累傷痕，但縮景園的壯麗美景卻並未因此而受到絲毫損傷，反而這些令人悲痛的痕跡在無形之中愈發襯托其自然的美感。

這座庭園曾歸屬於當時統治廣島地區的淺野家，於 1620 年由其家老(家臣統領)兼茶道家上田宗箇 (1563-1650) 建造，規模大約跟一個棒球場相仿。縮景園究其命名就是「濃縮各種景色的庭園」，其造景理念是讓山川靜謐之美在步行範圍內得到極致的體現。

縮景園是一座典型的日本「巡遊式庭園」(周遊式庭園)。園內正中央有一個濯池，雖是人工建造，但形態極為自然。池中散佈著大大小小 14 座小島(一座石拱橋橫跨池面，其左右各有 7 座小島)，它們代表的是附近瀨戶內海的島嶼。園內還有小橋、溪谷、茶室、涼亭等景致，精巧地分佈在濯纓池四周。

從 1783 年到 1830 年，庭園進行了大規模的整修，只有超然居及其周圍的景致依舊保留了上田宗箇的原始設計。1945 年 8 月 6 日，廣島遭到原子彈轟炸，縮景園遭受了毀滅性的破壞，除石橋以外的所有建築都被摧毀。二戰結束後，縮景園才獲得重建。

縮景園的周圍可以看到原子彈轟炸造成的痕跡，其中包含轟炸後廣島僅存的 161 棵樹中的 3 棵。有一棵是銀杏，據說觸摸它的人能獲得其部分生命力。而倖存樹木中最大的是——一棵松樹，位於緊鄰縮景園東側的猿猴川附近。在這條河的附近，還有一座原子彈轟炸罹難者慰靈碑，因有照片證明爆炸發生後，曾有部分罹難者被埋葬在縮景園內簡易墓地裡，故在此立碑以示悼念。

縮景園一年中會舉辦多種活動，比如茶會、祭典和「菰卷」(一種防治樹木害蟲的傳統儀式)等。

<日本語仮訳>

縮景園

縮景園は、広島にある有名な日本庭園です。同園は何世紀も前から、そして街が最も苦しんだ 1945 年の出来事を通して、地元の歴史と深い関わりを持ってきました。見るべきところを知る人なら、原子爆弾の傷跡を見つけることができるでしょう。ですがそれらは、縮景園の壮麗さを年間通してまったく損なうことはありません。それどころか、広島が体験した痛ましい原爆の跡が、自然の美しさをどことなく際立たせてさえいます。

この庭園は当時この地域を治めていた浅野家が 1620 年に創設した庭園で、その家老であり茶人の上田宗箇（1563-1650）によって作庭されました。縮景園の名前は「風景を凝縮した庭園」という意味で、静かな山と川の景色を、いかに歩ける範囲で美しく表現しているかを示しています。その規模は、おおよそ野球のスタジアムほどです。

縮景園は、「回遊式庭園（周遊型の庭園）」として知られる典型的な日本庭園です。園の中央には、人工ながらも自然な濯纓池があります。その中には大小 14 の小島（湖にかかるアーチ型の石橋の左右に 7 つずつ）が点在し、近隣の瀬戸内海の島々を表しています。この湖を取り巻く形で、庭園内には橋や渓谷、茶室、東屋などが入念に配置されています。

1783 年から 1830 年にかけて、大規模な改修が実施されました。上田の原案のまま残っているのは超然居とその周囲の景色だけです。1945 年 8 月 6 日の原子爆弾による攻撃は石橋を除くあらゆる建物を破壊し、縮景園に壊滅的な損害をもたらしました。破壊された建造物が再建されたのは、戦後のことです。

縮景園を囲む外周りには、原子爆弾の傷跡を見ることができます。それには、爆撃の後の大火災を生き残ったとして広島で 161 本のみ確認された被曝樹のうち、3 本が含まれます。1 本はイチヨウで、触れる人にその生命力の一部を与えられているとされています。被曝樹の中で最も大きなもう 1 本は、縮景園の東側に隣接する猿猴川近くの松の木です。この川の近くには、原爆犠牲者の慰霊碑もあります。爆撃後に庭園内の簡易墓地に遺体が埋葬されたことを示す写真が見つかったことを受け、その碑が建造されました。

縮景園では茶会やおまつり、菰巻きなど、一年を通して様々な行事が開催されます。

<简体字>

广岛县立美术馆

广岛县立美术馆坐落于缩景园旁，是日本西部地区首屈一指的专业美术馆。

自 1968 年开业以来，美术馆共收藏了 5000 多件作品。除了勒内·马格里特、马克斯·恩斯特、M.C.埃舍尔、乔治·德·基里科等多位 20 世纪艺术大师的名作之外，也不乏与广岛渊源颇深的艺术家的作品，其中包括用绘画表达自身痛苦经历的本地艺术家、原子弹爆炸幸存者平山郁夫（1930-2009），还有建造了广岛和平纪念公园内“动员学徒慰灵塔”的雕塑家圆锷胜三（1905-2003）。此外，美术馆还注重收藏日本画，以及亚洲各国的传统艺术和手工艺品。

众多的馆藏作品，在各类主题展中轮流展出。美术馆举办的主题展，从统治广岛长达 200 多年的浅野家《武士服饰用品》到西班牙的超现实主义，内容丰富，题材广泛。各类特展期间，还同时举办适合年幼儿童参加的讲习班。

美术馆于 1996 年进行了改建，它典雅精致的现代风格与毗邻的缩景园风格愈发和谐统一。从美术馆的一楼餐厅和三楼茶室可以眺望缩景园的美景。

<繁体字>

廣島縣立美術館

廣島縣立美術館坐落於縮景園旁，是日本西部地區首屈一指的美術館。

自 1968 年開館以來，累積收藏 5000 餘件作品。除了勒內·馬格裡特（René Magritte）、馬克斯·恩斯特（Max Ernst）、M.C.埃舍爾（M.C. Escher）、喬治·德·基裡科（Giorgio de Chirico）等多位 20 世紀大師的作品。也不乏與廣島具有深厚淵源的藝術家，其中包括用繪畫表達自身痛苦經歷的當地藝術家暨原子彈轟炸倖存者平山郁夫(1930-2009)，以及在廣島和平紀念公園建造「動員學徒慰靈塔」的雕塑家圓鍔勝三(1905-2003)。此外，美術館亦致力於收藏日本畫，以及來自亞洲各國的傳統藝術和手工藝品。

館藏內容主題包羅萬象，在各類主題展覽中輪流展示。美術館舉辦的主題展，從統治廣島長達 200 多年的淺野家《武士服飾用品》到西班牙的超現實主義，內容豐富、題材廣泛。各類特展期間，還同時舉辦讓小朋友們參加的講習班。

該館於 1996 年進行改建，它典雅精緻的現代風格與毗鄰的縮景園風格愈發和諧統一。另從美術館的一樓餐廳和三樓茶室可以眺望縮景園的美景。

<日本語仮訳>

広島県立美術館

縮景園の隣に位置する広島県立美術館は、西日本でも屈指の美術館です。

1968年の開館以来集められた5,000を超える所蔵作品が、特別展示プログラムのテーマに沿って交代で公開されています。広島を200年以上統治した浅野家の「侍の装身具」やスペインのシュールレアリスムのような多様なテーマに取り組んでおり、ルネ・マグリット、マックス・エルンスト、M.C.エッシャー、ジョルジョ・デ・キリコといった20世紀の巨匠作品を含むコレクションが展示されています。また、日本画だけでなく、アジア各国の伝統工芸品のコレクションにも力を入れています。一方、広島にゆかりのあるアーティスト作品も多数所蔵しています。同館に作品が収められている地元アーティストに名を連ねるのは、原爆生存者でありその痛ましい体験を絵画で表現した平山郁夫（1930-2009）、そして広島平和記念公園内にある動員学徒慰霊塔を作成した彫刻家の圓鋸勝三（1905-2003）です。また、特別展などの開催とあわせて、お子様とご参加いただけるワークショップなどが開催されています。

同館は、隣接する縮景園との調和を高めるため、1996年に洗練された現代的デザインへと改築されました。同館1階のレストランと3階のティールームからは、縮景園の美しい景色を眺めることができます。

<简体字>

世界和平纪念圣堂（圣母升天大教堂）

世界和平纪念圣堂于 1954 年建成，是日本现代建筑的典范，并已被指定为国家级重要文化财。这座大教堂是所有宗教信仰徒祈祷世界和平、悼念广岛原子弹爆炸和二战中的死难者的场所，也是天主教徒的礼拜场所。这座圣堂的设计十分罕见，它将日本的象征主义与西洋元素融合在一起，非常具有观赏价值。

世界和平纪念圣堂的根源，始于二战前的一个由侨居广岛的德国教徒们举办的小型天主教集会。他们的教堂在原子弹爆炸中被炸毁，但幸存下来的神父们由祭司雨果·拉萨尔（Hugo Lassalle）（1898-1990）带领，冒着爆炸余波的危险在附近的缩景园内救治伤员。战争结束后，拉萨尔神父决定建造一座具有特殊意义的大教堂，用以推广和平、追悼原子弹爆炸死难者的亡灵以及帮助这座城市重焕活力。为获取援助，他还访问了罗马和美国。通过不懈努力，他终于购得一块颇大的土地，他所在的教会举办了大教堂设计招标大赛。最终，日本建筑师村野藤吾（1891-1984）获胜中标，担任了大教堂的设计师。

1950 年圣堂破土动工，历时 4 年，在 1954 年的 8 月 6 日——一个具有非常重大意义的日子竣工。大教堂的设计整体上简洁明了、温馨且沉稳，却又让人心生敬畏。有心者会发现大教堂外有一座日式小桥，通往大教堂正门的道路入口处伫立着形似神社鸟居的高大木门。大教堂屋顶没有十字架，取而代之的是一只极具象征意义的凤凰。

大教堂内部也使用了多种日本元素装饰，有垂挂于天顶的莲花灯（以表达对佛教教徒

捐献者的感谢) ，还有以松、竹、梅为主题的窗户。大教堂内背负金色十字架的基督画像更是彰显着令人无法忽视的存在感。

<繁体字>

世界和平紀念聖堂（聖母升天大教堂）

世界和平紀念聖堂於 1954 年建成，為日本現代建築的典範，並已被指定為日本重要文化財。這座大教堂是任何宗教信仰徒祈禱世界和平、悼念在廣島原子彈轟炸和第二次世界大戰中的罹難者的場所，同時也是天主教徒的禮拜場所。這座大教堂的設計十分罕見，它將日本的象徵主義與西方元素深度融合在一起，非常具有觀賞價值。

世界和平紀念聖堂起源於二戰前僑居廣島的德國人所舉辦的一個小型天主教集會。雖然教堂在原子彈轟炸中被炸毀，但倖存的神父們在祭司雨果·拉薩爾（Hugo Lassalle）（1898-1990）的帶領下，冒著爆炸餘波的危險在附近的縮景園收治傷者。戰爭結束後，拉薩爾神父決定建造一座真正具有特殊意義的大教堂，用以推廣和平、緬懷和祭奠原子彈轟炸罹難者的亡靈以及恢復這座城市的活力。為獲得援助，他訪問了羅馬和美國。努力不懈的他最終購得一塊土地，他所在的教會舉辦了一個大教堂設計招標競賽。最終，日本建築師村野藤吾（1891-1984）贏得比賽並負責設計。

1950 年大教堂破土動工，歷時 4 年，在 1954 年的 8 月 6 日——一個具有非常重大意義的日子竣工。大教堂的設計整體上簡潔明瞭、溫暖素淨，卻又讓人心生敬畏。有心的參觀者會發現大教堂外有一座日式小橋，通往大教堂正門的道路入口處聳立著一扇高大的木門。木製大門的靈感來源於神社的鳥居。大教堂頂部捨棄十字架，取而代之的是一隻象徵浴火重生的鳳凰。

大教堂內部也有很多典型的日本元素，包括蓮花燈（以表達對佛教徒捐獻者的感謝），以及以松、竹、梅為主題的窗戶等等。背負金色十字架的基督像，在禮拜堂中顯得存在感十足。

<日本語仮訳>

世界平和記念聖堂（聖母被昇天の聖堂）

現代建築の優れた例である世界平和記念聖堂は 1954 年に完成し、重要文化財に指定されています。この聖堂は、あらゆる宗派の人々が世界平和のために祈り、広島原爆と第二次世界大戦の犠牲者を追悼するための場として、またカトリック教徒の礼拝の場として建設されました。日本の象徴主義と西洋の要素の興味深い融合が見られる聖堂デザインは、一見の価値があります。

世界平和記念聖堂のルーツは、第二次世界大戦前にこの地域で活動していたドイツ人の小さなカトリック集会です。その教会堂は原爆で破壊されてしまいますが、フーゴ・ラッサール（1898-1990）司祭率いる神父たちは攻撃直後の余波の中、近くの縮景園で怪我人の手当てをしました。ラッサール司祭は終戦後平和のために尽くし、犠牲者の追憶と慰霊、そして街を活気付けるため、真に特別な大聖堂の建築を決意しました。彼はそのプロジェクトへの支援を得るため、ローマと米国を訪れます。最終的に司祭はかなり大きな敷地を購入でき、その後彼の教会はプロジェクトのデザインコンペを開催しました。その結果、建築家の村野藤吾（1891-1984）がコンペを勝ち抜き設計を担当することになりました。

建築は 1950 年に始まり、作業が完了したのは 4 年後の 8 月 6 日、大変重い意味合いを持つ日でした。この聖堂のデザインはシンプルかつ明瞭で、温もりと落ち着きがあり、畏敬の念を抱かせるものです。目利きの訪問者であれば、外にある日本風の橋や、聖堂入り口へと続く道の入り口に立つ高い木製の門に中に入る前に気づくでしょう。木製の門は、神社の鳥居に着想を得たものです。頭上には一般的な十字の代わりに、極めて象徴的な鳳凰が屋根の上に据えられています。

内部に顕著な日本的要素としては、ハスの花の形をしたランプ（仏教徒の寄進者に対する感謝の意を示すもの）や、竹、松、梅のモチーフを取り入れた窓などがあります。金の十字を背負うキリスト像が、聖堂の中でひととき存在感を放っています。

<简体字>

广岛城

广岛城，又名“鲤城”，其历史可以追溯到 16 世纪后半期。这座要塞是让广岛最终发展为一座城市的基础，由曾统治该区域绝大部分土地的武将毛利辉元（1553-1625）建造。由于一马平川的地方既方便筑城又易于防守，因而选择了太田川三角洲的平地作为筑城地点。

广岛城建于 1589 年至 1599 年，拥有坚固的石墙、天守阁和三条护城河（现仅存一条）。天守阁屹立于城堡的最高处，城廓外的城下町（围绕当地政治中心发展起来的城镇）也在同时期建成。自 1591 年起，毛利辉元以此城为据点，统治着包括今天的广岛县、岛根县、山口县，以及冈山县和鸟取县部分地区在内的 9 个地区。

1600 年，“关原之战”爆发。以此为契机，日本在德川幕府的统治下实现了全国统一，并一直持续到 1867 年。在关原之战中败北的毛利辉元被迫离开了他建造的广岛城，取而代之的是安艺国和备后国的大名福岛正则（1561-1624）。然而 1619 年，在没有得到幕府许可的情况下，因其擅自对遭到洪水破坏的城堡进行修缮，福岛正则被贬为平民。此后，浅野家入主广岛城，从此开启了对当地长达十二代的统治，直到德川幕府覆灭和封建制度废除。广岛城后来还曾被日本帝国军作为军用设施征用。1931 年，最初的天守阁被指定为日本国宝。

二战即将结束之际，日本军队在广岛城驻扎以防同盟国入侵。1945 年 8 月 6 日，城堡在原子弹爆炸中倒塌。调查显示，有可能是爆炸冲击波破坏了低层的柱子，进而导致整体结构坍塌。现在，使用混凝土复建的天守阁替代了原来的木造天守阁，并成为一座博物馆，主要展示明治时代（1868-1912）以前广岛的历史文化遗产。这里还有一个体验区，参观者可以身着铠甲、阵羽织（穿在铠甲之外的无袖外罩）、裱（江户时代的礼服）等古装摄影留念。

天守阁虽于 1958 年复原，但城墙内至今仍有 3 棵在原子弹爆炸中幸存下的树木，记录着历史留下的痕迹。

<繁体字>

廣島城

廣島城又稱「鯉城」，其歷史可以追溯到 16 世紀後半期。這座要塞讓廣島最終發展成為一座城市的基礎，由統治著該區域絕大部分土地的有力武將毛利輝元（1553-1625）建造。由於在平地既方便築城又易於防守，因而選擇了太田川三角洲作為築城地點。

廣島城建於 1589 年至 1599 年，擁有堅固的石牆、天守閣和三條護城河（現僅存一條）。天守閣屹立在城堡的最高處，城廓外的城下町（圍繞當地政治中心發展起來的城鎮）也在同時期建成。自 1591 年起，毛利輝元以此為據點統治大片土地，包括今天的廣島縣、島根縣、山口縣，以及岡山縣和鳥取縣部分地區在內的 9 個區域。

1600 年，「關原之戰」爆發。以此為契機，日本在德川幕府的統治下實現了全國統一，這種狀態一直持續到 1867 年。在關原之戰中敗北的毛利輝元被迫離開他建造的廣島城，取而代之的是安藝國和備後國的大名福島正則（1561-1624）。然而，1619 年，在沒有得到幕府許可的情況下，因為擅自對遭到洪水破壞的城堡進行修繕，福島正則被貶為平民。此後，淺野家入主廣島城，從此開啟對當地長達十二代的統治，直到德川幕府垮臺和封建制度廢除。廣島城後來還曾被日本帝國軍方徵用為軍用設施。1931 年，最初的天守閣被指定為日本國寶。

二戰即將結束之際，日本軍隊在廣島城駐紮以防範同盟國入侵。1945 年 8 月 6 日，城堡在原子彈轟炸中倒塌。調查顯示，可能是爆炸衝擊波破壞了底層的柱子，進而導致整體結構發生坍塌。現在，混凝土重建的天守閣取代了木造天守閣，並成為一座博物館，主要展示明治時代（1868-1912）以前廣島的歷史文化遺產。這裡還有一個體驗區，參觀者可以穿著鎧甲、陣羽織（穿在鎧甲之外的無袖外罩）、袴（江戶時代的禮服）等古裝拍攝紀念照。

雖天守閣於 1958 年修復，但城牆內至今仍有 3 棵在原子彈轟炸中倖存下來的樹木，記錄著歷史的痕跡。

<日本語仮訳>

広島城

広島城には、16 世紀後半まで遡る歴史があります。最終的に広島を市へと育てたきっかけとなるその要塞は、毛利輝元（1553-1625）によって築られました。毛利は当時、この地域の大半を治めた有力武将です。建築も防御も比較的容易だったことから、太田川三角州の平地が築城場所として選ばれました。

頑丈な石垣、天守閣、三重の堀（残存するのはそのうち 1 つのみ）を持つ広島城は、1589 年から 1599 年の間に建設されました。その頂上には堂々とした天守閣が立ち、同時に城下町が築られました。輝元は 1591 年からここを本拠地とし、今日の広島県、島根県、山口県、そして岡山県と鳥取県の一部を構成する 9 つの地方を統治しました。この城には、「鯉城（りじょう）」の別名が付けられています。

1600 年の関ヶ原の戦いは、1867 年まで徳川幕府の下に日本が統一するきっかけとなりました。合戦の後、輝元は彼の建てた城からの退去を余儀なくされます。その後、安芸と備後の大名として福島正則（1561-1624）が広島城に入りました。しかし 1619 年、幕府の許可を得ることなく洪水によって破損した城を修繕したために、彼は改易されてしまいます。その後は、徳川統治の終わりと封建制度の廃止まで、浅野家が 12 代に渡ってこの城を拠点に当地を治めました。そして広島城は、日本帝国軍施設となります。1931 年には、元々の天守閣が国宝に指定されました。

第二次世界大戦の終わりにかけて、連合国の侵略を想定して広島城には軍隊が駐屯しました。1945 年 8 月 6 日、原爆によって城は倒壊してしまいます。調査によると、低層部の柱が爆風によって破壊されたため、残りの構造が崩壊したのではと推測されています。現在、木製の元の天守閣の代わりにコンクリート製の天守閣が復元され、明治時代（1868-1912）以前の広島の歴史の遺物を主に展示する博物館となっています。よろいかぶとや陣羽織、かみしもなどの時代衣装を身に着けて記念撮影ができる体験コーナーもあります。

復元が完成したのは 1958 年のことですが、城壁内には今も原爆を生き延びた 3 本の被曝樹木が残されています。

<简体字>

广岛美术馆

广岛美术馆坐落于广岛城正南方的中央公园内，在日本现代建筑中极具代表性。这里收藏着全世界最著名的艺术家们的作品。该馆的主题是“为了爱与和平”，代表了广岛市民为原子弹爆炸死难者祈福以及祈祷广岛市永久和平的心愿。

从外部看，美术馆无窗的圆形外墙上只有一个低调的入口，看起来非常迷你简约。而内部则呈现沉稳高雅的风格。

主楼大厅的上方仿照原子弹爆炸遗址设计呈圆弧状。大厅周围的四个小展厅，用以轮流展示馆内永久藏品中的珍品佳作。馆藏涵盖以莫奈、雷诺阿、德加等法国印象派画家为代表的现代欧洲绘画名作，以及明治时期（1868-1912）到最近几十年的日本油画。

设置在分馆的其他四个展厅还举办不同主题的特展。特展不仅展示本馆藏品，也展出国内其他美术馆的珍品。从代表 20 世纪的艺术家、景观设计师野口勇（1904-1988），到比阿特丽克斯·波特创造的人见人爱的形象——彼得兔，主题特展的内容极其丰富。

移步至本馆高雅的 Café Jardin 咖啡馆，还可欣赏环绕四周的一片绿色和花园里星星点点的雕塑。

<繁体字>

廣島美術館

廣島美術館坐落在廣島城正南方的中央公園內，在日本現代建築中極具代表性。這裡收藏著全世界最著名藝術家們的作品。該館以「為了愛與和平」為主題，表達了廣島市民為原子彈轟炸罹難者祈福以及祈禱廣島市永久和平的心願。

從外面看，美術館無窗的圓形外牆只有一個低調的入口，使其結構看起來非常迷你、簡約。內部則呈現出一種沉穩高雅的風格。

主樓大廳的天花板仿照原子彈爆炸遺址設計成圓弧狀。大廳周圍的四個小展廳，用於輪流展示館內永久收藏中的名作佳品。館藏作品涵蓋莫內、雷諾瓦、德加等法國印象派畫家為代表的現代歐洲繪畫名作，以及明治時期（1868-1912）到最近幾十年的日本油畫。

設置在分館的其他四個展廳還舉辦不同主題的特展。特展不僅展出本館藏品，亦展出其他美術館的藏品。從代表 20 世紀的藝術家暨景觀設計師野口勇（1904-1988）到碧雅翠絲·波特創造的人見人愛的形象——彼得兔，特展的內容相當豐富。

移步至本館高雅的 Café Jardin 咖啡館，還可欣賞環繞四周的綠地和花園裡零星分佈的雕塑。

<日本語仮訳>

ひろしま美術館

広島城のちょうど南側、市の中央公園にあるひろしま美術館は、現代建築のランドマーク的存在です。ここには、世界で最も有名なアーティストによる作品が収蔵されています。美術館のテーマとなっている「愛とやすらぎのために」は、原爆犠牲者のための祈りと広島市の不変の安寧への願いが込められています。

外から見ると、円形構造の窓のないファサードには控えめな入り口があるのみで、その構造はミニマルに映ります。内部には落ち着いた気品が漂います。

ドーム状の天井を持つ本館ホールは、原爆ドームに似せて設計されたものです。その周囲の 4 つの展示室を利用して、名作ぞろいの永久コレクションから選んだ作品を、定期的に内容を更新しながら展示しています。所蔵作品は、特にモネ、ルノワール、ドガなどのフランス印象派を中心とした現代ヨーロッパ絵画、そして明治時代（1868-1912）からここ数十年にかけての日本の油絵を網羅しています。別館に設けられている他 4 つの展示室では、テーマ別の特別展示プログラムが開催されます。ここでは、同館の所蔵品や他の優れた国内美術館の所蔵品が展示されています。過去の展示会では、20 世紀を象徴するアーティストであり景観設計家のイサム・ノグチ（1904-1988）から、ビートルクス・ポターの生んだ愛すべきキャラクターであるピーターラビットまで、様々なテーマを取り上げてきました。

同館の洗練されたカフェ・ジャルダンに足を運べば、周囲の緑と彫刻の点在する敷地を眺めることができます。

<简体字>

埃德蒙·布伦登诗碑

这座伏书青铜碑是为纪念埃德蒙·布伦登（1896-1974）而建。布伦登是一位与日本渊源颇深的英国诗人，同时也是和平主义者。一战期间，他曾在英国陆军服役过两年。在法国北部的索姆河战场上的恐怖体验，对他的作品风格产生了极大的影响，并促使他成为了一名热忱的反战主义者。战后，布伦登前往牛津大学学习，在其职业生涯中，曾 6 次获得诺贝尔文学奖提名。

布伦登第一次访日是在 1924 年，当时他作为教授受聘于东京帝国大学（现东京大学）讲授英国文学。1947 年，成为英国文化使节团一员的他再次访问东京，并开始创作以日本为主题的诗歌。1948 年，布伦登又因在现在的广岛大学讲授莎士比亚而造访广岛。第二年，他出版了一首名为《A Song for August 6, 1949》（献给 1949 年 8 月 6 日之诗）的诗作。

这首诗于 1975 年被时任广岛大学文学部部长的榊井迪夫重新发现，之后，在广岛日英文化协会的支持下，建造了埃德蒙·布伦登诗碑。这座纪念碑位于广岛市立中央图书馆的北侧，上面刻有英文原版和日文译文两种语言的《A Song for August 6, 1949》。

<繁体字>

埃德蒙·布倫登詩碑

這座伏書青銅碑是為了紀念埃德蒙·布倫登（1896-1974）而建。布倫登是一位與日本淵源頗深的英國詩人暨和平主義者。一戰期間，他曾在英國陸軍服役兩年。在法國北部的索姆河戰場上體驗到了戰爭的恐懼，對他的作品風格產生了極大的影響，促使他成為一名熱忱的反戰主義者。戰後，布倫登就讀於牛津大學，並在其職業生涯中曾 6 次獲得諾貝爾文學獎提名。

布倫登第一次訪問日本是在 1924 年，當時他受聘為東京帝國大學（現東京大學）英國文學教授。1947 年，他作為英國文化使節團的一員，再次訪問東京，並開始以日本為主題創作詩歌。1948 年，布倫登在因為在現今廣島大學開設莎士比亞相關課程，再次造訪廣島。1949 年，他出版了一首名為《A Song for August 6, 1949》（獻給 1949 年 8 月 6 日之詩）的詩。

這首詩於 1975 年被時任廣島大學文學部部長的柘井迪夫重新發現。隨後在廣島日英文化協會的支持下，建造了埃德蒙·布倫登詩碑。這座紀念碑位於廣島市立中央圖書館的北側，上面刻有英文原版和日文譯文兩種語言的《A Song for August 6, 1949》。

<日本語仮訳>

エドモンド・ブランデン詩碑

エドモンド・ブランデン（1896-1974）は、日本に深い関わりを持つ英国の詩人であり平和主義者です。伏せた本の形をしたブロンズ製の碑は、彼を記念して建てられました。第一次世界大戦中、ブランデンはイギリス陸軍に2年間従軍しました。フランス北部のソンムのような戦場で経験した戦争の恐怖はその後の彼の作風に影響を与え、彼は熱心な反戦論者となりました。戦後にブランデンはオックスフォード大学で学び、現役中に6度ノーベル文学賞にノミネートされています。

ブランデンが最初に日本を訪れたのは1924年で、東京帝国大学（現在の東京大学）で英文学を教える教授として勤めるためでした。1947年に英国の文化使節団の一員として再び東京を訪れ、その詩の中でも日本を主題として取り上げるようになりました。1948年、現在の広島大学でシェイクスピアについて講義するためにブランデンは広島を訪れます。その翌年に出版したのが、「A Song for August 6, 1949（1949年、8月6日に捧げる詩）」と題された詩です。

この詩は、広島大学文学部長だった榎井迪夫氏によって1975年に再発見されました。そして広島日英文化協会の支援のもと、エドモンド・ブランデン詩碑が作られました。広島市立中央図書館のすぐ北に設置されたこの碑には、「A Song for August 6, 1949」が原文の英語と日本語訳両方で刻まれています。

<简体字>

栗原贞子诗碑

栗原贞子（1913-2005）是一位享有盛誉的诗人和作家，也是一名原子弹爆炸幸存者。在二战后的数年间，她不断为同样幸免于难的人们发出雄辩之声。在其有生之年，她始终是一位反对不宽容、政治镇压和核武器扩散的活动家。1945年8月6日上午8点15分原子弹轰炸发生时，这位意气风发的诗人正在距离爆炸中心仅4公里的家中。1946年3月，距离二战结束尚不满一年时，栗原贞子就发表了以原子弹爆炸为主题的代表诗作，描述了她自身遭受轰炸的经历。

这首诗名为《且容我给你新生》，于原子弹爆炸后数周内创作。它深切地告诉世人，即使在最悲惨的情况下，希望依旧灿烂。这首诗描写了在满是伤者的防空洞中，一位助产士为了接生婴儿而不辞辛劳，甚至献出了自己生命（现实中获救）的故事，取材于发生在广岛储蓄分所地下室中的真实事件。栗原女士享年92岁。在她的诗碑上，镌刻着日文原版的《且容我给你新生》，以及储蓄分所屋顶上被爆炸冲击波烧焦的砖瓦。

<繁体字>

栗原貞子詩碑

栗原貞子（1913-2005）是一位享有盛譽的詩人和作家，也是一名原子彈轟炸倖存者。在二戰後的數年間，她不斷為同樣倖免於難的人們發出雄辯之聲。在其有生之年，她始終是一位反對不寬容、政治鎮壓和核武器擴散的社會活動家。1945年8月6日上午8點15分原子彈轟炸發生時，這位意氣風發的詩人正在距離爆炸中心僅4千公尺的家中。1946年3月，戰爭結束未滿一年，栗原女士發表了她以原子彈轟炸為主題的代表作，描述了她自身遭受轟炸的經歷。

這首詩名為《且容我給你新生》，是在原子彈轟炸後的數周內創作的。它深切地告訴世人，即使在最悲慘的情況下，希望依舊燦爛。這首詩描寫了在滿是傷者的防空洞中，一位助產士為了接生嬰兒而不辭辛勞，甚至獻出自己生命（現實中獲救）的故事，取材於發生在廣島儲蓄分所地下室中的真實事件。栗原女士享年92歲。在她的詩碑上，鐫刻著日文原版的《且容我給你新生》，以及儲蓄分所屋頂上被爆炸衝擊波燒焦的磚瓦。

<日本語仮訳>

栗原貞子詩碑

栗原貞子（1913-2005）は、第二次世界大戦後の数年間に彼女と同じ原爆生存者に雄弁な声を与えたとして知られる、高い評価を受けた詩人であり作家です。彼女はその死の間際まで、不寛容、弾圧、そして核兵器拡散に反対し続けた活動家でした。1945年8月6日の午前8時15分に爆弾が投下された当時、この意欲的な詩人がいたのは爆心地からわずか4kmの場所にあった自宅でした。終戦後1年に満たない1946年の3月、栗原は後に、広島原爆体験を描いたものとして最も有名となる詩を発表しました。

原爆投下から数週間のうち書かれた『生ましめんかな』と題されたこの詩は、最も悲惨な状況下でさえ希望がいかに輝くのかを、感動的に伝えています。自らの命を犠牲にして疲労から死に至りながらも、怪我をした被害者たちが避難した防空壕の中で赤子を取り上げた助産師について書かれたこの詩は、広島貯金支局地下室で起こった実際の出来事を題材にしたものです（実際には助産師は助かりました）。92歳まで生きた栗原の詩碑には、その建物の屋上の爆風で焦げたタイル、そして日本語原文の「生ましめんかな」が共に刻み込まれています。

<简体字>

Mazda Zoom-Zoom 体育场

(简介)

体育能够治疗人们的伤痛，帮助人们解决争端。广岛市职业棒球队“广岛鲤鱼队”就是对这句话的最为真实的见证。支持鲤鱼队的广岛市民，应该比世界上任何运动的粉丝更为热情。今天，一提到“广岛”这个名字，会让人想起 1945 年 8 月 6 日发生的原子弹爆炸悲剧，也会让人联想到棒球运动。一个几乎被美国夷为平地、经历了人类历史中最黑暗的一页的城市，却对起源于美国的体育运动抱有如此巨大的热情。这一事实让人们重新燃起人类终能战胜仇恨的希望。Mazda Zoom-Zoom 体育场，正是鲤鱼队球迷们宣泄热情的大本营。

(正文)

这支广岛的著名棒球队成立于二战后不久。1949 年，作为战后复兴活动的一环，部分当地居民和多个商业机构决定组建一支职业棒球队，并为它出资修建一个棒球场。这支棒球队被命名为“广岛鲤鱼队”。队名有两大由来：其一是因为流经广岛市的太田川里栖息着大量的鲤鱼；其二是广岛城又名“鲤城”。然而成立之初，这支球队由于缺乏财力雄厚的赞助商，在引进实力新球员的过程中困难重重，导致 1950 年和 1951 年连续两年在日本职业棒球联盟中，排名垫底。

为此，有人提议解散球队或与其他球队合并，但这些方案并没有得到广岛市民的认可。尽管成绩惨不忍睹，但广岛市民给予了鲤鱼队最大的理解与关怀。1952 年，在球队生死存亡的关头，鲤鱼队的成绩略有改善，球队因此得以留存。1957 年，鲤鱼队的新主球场——广岛市民球场落成。1968 年，东洋工业即之后的汽车制造商 Mazda（马自达）公司成为鲤鱼队的企业赞助商。因此渊源，鲤鱼队与 Mazda 公司，及其创业者松田家族之间，一直保持着密切的关系。现在 Mazda 仍是球队的最大股东之一。

1975 年，鲤鱼队与美国人 Joe Lutz 签约，成为第一支聘请外籍教练的日本棒球队。同年，球队首次获得联赛冠军。1978 年，鲤鱼队成为史上首支一个赛季击出 200 多支本垒打的球队，在日本棒球史上名垂青史。直到 1990 年代初期，鲤鱼队都表现出色，但在此之后的几十年里，成绩逐步低迷。然而，无论鲤鱼队是打破纪录的冠军，还是走投无路的败将，广岛市民对鲤鱼队的热爱都丝毫没有动摇。近年来，球队的情况再次好转。2016

年，鲤鱼队赢得了自 1991 年以来的第二次联盟冠军，并在 2017 年和 2018 年蝉联两年冠军。

自 2009 年起，Mazda Zoom-Zoom 这座集先进技术和复古魅力于一身的体育场取代旧市民球场，成为了鲤鱼队的新主球场。如要前往，从广岛车站向东南方向步行约 15 分钟即可到达。如果是有比赛的日子，即便初次造访也无需任何导航，只要跟随一身红色球衣的球迷即可。联赛期间（3 月-10 月），每周最多有 6 场比赛在此举行。

<繁体字>

Mazda Zoom-Zoom 體育場

(簡介)

體育能夠治療人們的傷痛，幫助人們解決爭端。廣島市職業棒球隊——廣島鯉魚隊就是對這句話的最佳見證。支援鯉魚隊的廣島市民，應該比世界上任何運動的粉絲更加熱情。今天，一提到「廣島」這個名字，會讓人想起 1945 年 8 月 6 日發生的原子彈轟炸悲劇，也會讓人聯想到棒球運動。一個幾乎被美國夷為平地、經歷了人類歷史中最黑暗的一頁的城市，卻對起源於美國的體育運動抱有如此巨大的熱情。這一事實讓人們重新抱起人類終能戰勝仇恨的希望。Mazda Zoom-Zoom，正是鯉魚隊球迷們抒發對故鄉和棒球之愛的主球場。

(正文)

廣島的著名棒球隊成立於二戰結束後不久。1949 年，作為戰後復興活動的一環，部分當地居民和多個商業機構決定組建一支職業棒球隊，並為它出資修建一個棒球場。這支棒球隊被命名為「廣島鯉魚隊」。隊名有兩大由來：其一是因為流經廣島市的太田川里棲息著大量的鯉魚；其二是廣島城又名「鯉城」。然而成立之初，這支球隊由於缺乏財力雄厚的贊助商，在引進新球員的過程中困難重重，導致 1950 年和 1951 年連續兩年在日本職業棒球聯盟中，排名最後。

為此，有人提議解散球隊或與其他球隊合併，但這些方案並沒有得到廣島市民的認可。儘管成績慘不忍睹，但廣島市民給予鯉魚隊最大的理解與關懷。1952 年，在球隊生死存亡的關頭，鯉魚隊的成績略有改善，球隊因此得以留存。1957 年，鯉魚隊的新主球場——廣島市民球場落成。1968 年，東洋工業即之後的汽車製造商 Mazda（馬自達）公司成為鯉魚隊的企業贊助商。因此緣故，鯉魚隊與 Mazda 公司，及其創立者松田家族之間，一直保持著密切的關係。現在 Mazda 仍是球隊的最大股東之一。

1975 年，鯉魚隊與美國人 Joe Lutz 簽約，成為第一支聘請外籍教練的日本棒球隊。同年，球隊首次獲得聯賽冠軍。1978 年，鯉魚隊成為史上首支一個賽季擊出 200 多支全壘打的球隊，在日本棒球史上名垂青史。直到 1990 年代初期，鯉魚隊都表現出色，但在此之後的幾十年裡，成績逐步低迷。然而，無論鯉魚隊是打破紀錄的冠軍，還是走投無路的敗將，廣島市民對鯉魚隊的熱愛絲毫沒有動搖。近年來，球隊的情況再次好轉。2016 年，鯉魚隊贏得了自 1991 年以來的第二次中央聯盟冠軍，隨後 2017 年和 2018 年連續兩年蟬

聯冠軍。

自 2009 年起，Mazda Zoom-Zoom 這座集先進技術和復古魅力於一身的體育場取代舊市民球場，成為了鯉魚隊的新主球場。如要前往，從廣島車站向東南方向步行約 15 分鐘即可到達。如果是有比賽的日子，即便初次造訪也無需任何導航，只要跟隨一身紅色球衣的球迷即可。聯賽期間（3 月-10 月），每周最多有 6 場比賽在此舉行。

<日本語仮訳>

Mazda Zoom-Zoom スタジアム

(はじめに)

広島市のプロ野球チームである広島カーブは、スポーツが人々の傷を癒し、確執を乗り越える後押しができるという可能性の証です。愛するカーブを応援する広島の人々は、世界のどんなスポーツファンよりも熱心だといえます。実際のところ今日の日本人にとっては、「広島」という名前は 1945 年 8 月 6 日の悲劇と同じくらい、野球というスポーツを思い起こさせます。歴史に最も暗い影を落とした、アメリカ合衆国によって壊滅させられた都市が、アメリカ生まれのスポーツにこれほどの情熱を持っているという事実は、人類が最後には憎しみに打ち勝てるという希望を与えてくれます。カーブファンの熱意のホームベースは、Mazda Zoom-Zoom スタジアムにあります。

(本文)

広島の名高い野球チームの始まりは、戦後すぐの時代でした。1949 年、地元住民の一団と複数の事業所が、回復と復興の一環としてプロ球団を設立し、その球場に出資することを決めたのです。同球団は広島カーブと名付けられました。これは一つに、市を流れる太田川に生息する大量の鯉（カーブ）に由来し、またもう一つには、「鯉城」の別名を持つ広島城にもちなんだ名前でした。不運にも資金力のあるスポンサーに恵まれなかったカーブは、新しい選手の獲得に苦戦し、1950 年と 1951 年にはリーグ最下位となってしまいます。

球団解散、あるいは他球団と合併の話が持ち上がったものの、そういった方針は広島市民の理解は得られませんでした。悲惨な成績にも関わらず、市民はカーブを温かく受け入れていたのです。チーム力を上げざるを得ない状況で 1952 年のカーブの成績はわずかに改善し、チームは存続することができました。1957 年に完成した広島市民球場はカーブの新しいホーム球場となり、そして 1968 年、ついに東洋工業が法人スポンサーに付きます。同社は後に、自動車メーカーのマツダへと発展した会社です。マツダのカーブとの関係性は、同社を創立した松田家と共に今日まで続いています。マツダは、球団の筆頭株主の 1 つです。

カーブは 1975 年にアメリカ人のジョー・ルーツと契約し、外国人監督を雇った初の日本球団となりました。その同年に球団は初のリーグ戦優勝を成し遂げ、そして 1978 年には、1 シーズンで 200 以上のホームランを放った史上初の球団として、日本野球史にその名を残しました。カーブは 1990 年代初期まで好成績を残し、その後数十年成績は低迷しました。しかしながら、カーブが記録破りのチャンピオンであっても、追い詰められた負け犬であっても、市民のカーブに対する愛は揺らぐことはありませんでした。現在再び、状況は好転してきています。2016 年、同球団は 1991 年以来初めてリーグのペナントを制覇し、そして 2017 年と 2018 年にも連続でチャンピオンとなりました。

広島駅から南東に徒歩約 15 分の位置にある Mazda Zoom-Zoom スタジアムは、2009 年以

来カープのホームスタジアムとなっています。試合のある日は、赤一色のファンの海の中をたどればいいので、同スタジアムへの道案内は実質不要です。Mazda Zoom-Zoom スタジアムは、以前の市民球場の代わりに建設されました。極めて現代的な施設である一方で、その建物はレトロな魅力も持ち合わせています。リーグ戦のシーズン中には（3月～10月）、毎週最大6試合がこのスタジアムで開催されます。

<简体字>

山阳文德殿（纪念堂）

这座建筑虽然规模不大，但它将西方建筑与日本建筑融为一体的独特风格，却让人饶有兴致。尽管距离爆炸中心仅 1820 米，但它幸免于倒塌。其钟楼顶部巍然耸立的九层佛塔，虽在爆炸中扭曲变形，但旧貌犹存。山阳文德殿建在广岛市南部比治山山麓、与多闻院相邻。调查显示，这座山的土壤中仍残留“经历过”被原子弹轰炸的痕迹（现已完全达到安全标准）。山阳文德殿内也有两棵在爆炸中烧焦的樱花树。

这座建筑于 1931 年为纪念著名儒学家、广岛武家继承人赖山阳（1780-1832）逝世 100 周年而建。屋顶采用日式瓦片，墙壁则受欧洲建筑影响采用坚固的钢筋混凝土建造。正因如此，它经受住了那场发生在 1945 年 8 月 6 日的灾难。当时，这座建筑曾被用作市政府保管户籍文件的紧急设施。有目击者称，在原子弹冲击波下，这些成堆的公文虽然四处飞散，却不知何故竟毫发无损。山阳文德殿现在已经不再使用，也不对公众开放，只作为纪念堂保存。

<繁体字>

山陽文德殿（紀念堂）

這座建築雖然規模不大，但它將西方建築與日本建築融為一體的獨特風格，卻讓人饒有興致。儘管距離爆炸中心僅有 1820 公尺，但倖免於倒塌。其鐘樓頂部巍然的九層佛塔，雖被爆炸中扭曲變形，但至今仍保持其原樣。山陽文德殿建在廣島市南部比治山山麓、與多聞院相鄰。調查顯示，這座山的土壤中仍有「經歷過」原子彈轟炸的痕跡（現在已經完全達到安全標準），山陽文德殿里也有兩棵在爆炸中燒焦的櫻花樹。

這座建築是 1931 年為紀念著名儒學家、廣島武家繼承人賴山陽（1780-1832）逝世 100 周年而建。屋頂採用日式瓦片，牆壁則採用是深受歐洲建築影響的鋼筋混凝土結構。正因如此，它承受住了那場發生在 1945 年 8 月 6 日的災難。當時，這座建築被用作市政府保管戶籍文件的緊急設施。有目擊者表示，在原子彈衝擊波的衝擊下，這些堆積成山的檔案雖四處飛散，卻不知何故竟毫髮無損。山陽文德殿現在已經不再使用，也不對公眾開放，但仍作為紀念堂予以維護保留。

<日本語仮訳>

山陽文徳殿（記念堂）

この建物はその大きさこそ控えめですが、西洋建築と日本建築の融合が興味深く、爆心地からわずか 1,820 メートルの位置にあるにもかかわらず原爆の後も倒壊を免れました。建物の鐘楼からそびえ立つ仏教様式の九輪は爆風の熱で歪んでしまいましたが、そのままの状態です。山陽文徳殿は、市南部の比治山の麓、多聞院の隣に建っています。調査ではこの山の土壌には未だ原子爆弾を「経験した」痕跡が含まれていることが明らかになっており（現在は全く安全です）、山陽文徳殿にも爆発で焼け焦げた 2 本の桜の木があります。

この建物は 1931 年、著名な儒学者で広島に居た武家の跡取りであった、頼山陽（1780-1832）の没後 100 年を記念して建設されました。日本式の瓦張りの屋根は、ヨーロッパの影響を受けた頑強な鉄筋コンクリートの壁で支えられており、それにより、1945 年 8 月 6 日の惨禍にも耐えきることができたと考えられます。この建物は原爆投下当時、市役所の戸籍書類の緊急保管施設として利用されていました。目撃者の証言によると、これらの書類の山は原爆の衝撃波によって散乱しましたが、何故か無傷のままだったということです。山陽文徳殿は現在使用されておらず、一般公開もされていませんが、記念堂として維持されています。

<简体字>

多闻院与钟楼

这座佛教寺院的钟楼位于原子弹爆炸中心以东 1750 米处，在幸免于全塌的木造建筑中，距离爆炸中心点最近。多闻院的正门和主建筑之一的毘沙门堂被原子弹冲击波摧毁，正殿和僧房也遭到重创。钟楼的木质房梁虽然被撕裂、屋顶也遭破坏，但终还屹立不倒。原子弹投下时，塔上是没有钟的。这是由于当时青铜于十分贵重，寺内原有的巨型青铜铸钟已被军方征收。

1949 年 8 月 5 日，在被爆者家属的努力下，钟楼迎来了新钟揭幕典礼。新钟名叫“和平之钟”，在铸造材料中使用了一部分从爆炸中心附近土壤中采集的沙子。大钟的表面刻有佛教大慈大悲的观音菩萨悬浮于广岛市上空的浮雕，以及“*No More Hiroshimas*”（广岛不再）和其他一些意义深远的碑文。如今钟楼的屋顶已然更换，寺院也得以重建，今后将努力永世保存。和平之钟每天于原子弹爆炸时刻上午 8 点 15 分准时敲响，深沉悠长的钟声寄托了广岛市民对原子弹爆炸死难者灵魂的祈福，以及期待人类有朝一日终将实现世界和平的美好心愿。

<繁体字>

多聞院與鐘樓

這座佛教寺院的鐘樓位於原子彈爆炸中心以東 1750 公尺處，是未被摧毀的木造建築中，距離爆炸中心最近的一座。多聞院的正門和主要建築物之一的毘（女一）沙門堂被爆炸衝擊波摧毀，正殿和僧房也受到重創。鐘樓的木製房梁被撕裂，屋頂雖也遭到了破壞，但終還屹立不搖。原子彈投下時，塔上是沒有鐘的。這是由於當時青銅十分貴重，寺內原有的巨型青銅鑄鐘已被軍方徵收。

1949 年 8 月 5 日，在原子彈轟炸罹難者家屬的努力下，鐘樓迎來新鐘揭幕。新鐘名叫「和平之鐘」，在鑄造材料中使用了一部分從爆炸中心附近土壤中採集的沙，其表面刻有佛教大慈大悲的觀音菩薩懸浮在廣島市上空的浮雕，以及「No More Hiroshimas」（廣島不再）和其他意義深遠的碑文。如今鐘樓的屋頂已然更換，寺院也得以重建，今後將努力永世保存。和平之鐘每天於原子彈轟炸時刻上午 8 點 15 分準時敲響，深沉悠長的鐘聲寄託了廣島市民對原子彈轟炸罹難者靈魂的祈福，以及期待人類有朝一日終將實現世界和平的美好心願。

<日本語仮訳>

多聞院と鐘楼

この仏教寺院の鐘楼は、原爆の爆心地の東 1,750 メートルに位置し、全壊を免れた木造建築の中で爆心地から最も近くにある建物です。多聞院の山門と主要な建造物のひとつである毘沙門堂は爆風によって倒壊し、本堂や庫裡もひどく損傷しましたが、鐘楼は、木製の梁が引き裂かれ屋根が破壊されたにもかかわらず、何とか建っていました。原爆投下当時、塔に鐘は設置されていませんでした。青銅は貴重であったため、巨大な鐘は軍当局により押収されていたからです。

1949 年 8 月 5 日、被爆者の家族の働きかけにより、新たな鐘が除幕されました。平和の鐘として知られるこの鐘は、爆心地に近い土壌から採取した砂を一部使って鑄造されており、広島市上空に浮かぶ仏教における慈悲の菩薩である観音様のレリーフと「No More Hiroshimas」の碑文が刻まれています。その他にも、いくつかの意味深い碑文が施されています。鐘楼の屋根は取り替えられ、寺院自体も再建されており、これらを永久に保存するのがこれからの目的です。鐘は毎日、原爆投下時刻の午前 8 時 15 分に鳴らされます。その深い音色には、爆弾により失われた多くの魂への心からの祈りと、人類がいつの日か世界平和を達成することへの願いが込められています。

<简体字>

广岛市现代美术馆

广岛市现代美术馆（广岛 MOCA），是日本首个专为当代美术而设立的公立美术馆。这座美术馆于 1989 年开业，坐落在绿意盎然的丘陵地带、比治山公园内，是广岛市展示现代美术的代表性场馆。在这里不仅能欣赏到最前沿的艺术，还可眺望美丽街景。这座建筑由建筑师黑川纪章（1934-2007）担纲设计，低调地反映了文明的演变与美术馆自身的开拓者精神。顺着斜坡从地表逐渐往上直至中央处的圆形构造，建筑材料也随之从天然材质转换为人工材质，使建筑与周围的环境和谐融为一体。

MOCA 所办展会，除了馆内藏品的常规展览，也有以探索国内外艺术的最新趋势为目的的个展和团展等特别展示，形式多样。以馆内藏品为主的展览中，主要展出安迪·沃霍尔、杉本博司、伊夫·克莱因等世界级艺术家的名作，以及众多以广岛原子弹爆炸经历为主题的作品。冈本敦生于 1996 年创作的《Earth Call Hiroshima》（地球呼叫广岛）是 MOCA 馆内的常设展品之一。访客在此拨打某个电话号码后，可以听到自己的声音在山壑间回荡。而如果从世界上的任何地方拨打这个电话号码，就能听到来自广岛的“声音”。

<繁体字>

廣島市現代美術館

廣島市現代美術館（廣島 MOCA）是日本首個專為當代美術設立的公立美術館。這座美術館於 1989 年開幕，坐落在綠意盎然，地處山丘的比治山公園內，是廣島市展示現代美術的代表性場館。在這裡不僅能欣賞到最前衛的藝術，還可以一飽一覽無遺的街景。這座建築由建築師黑川紀章（1934-2007）擔綱設計，低調地反映出文明的演變與美術館自身的開拓者精神。順著斜坡從地面逐漸往上直至中央的圓形結構，建築材料也隨之從天然材質轉換為人工材質，從而使建築與周圍的環境和諧的融為一體。

在 MOCA 舉辦的展覽活動，除了館內藏品的常規展覽，也有以探索國內外藝術的最新趨勢為目的的個展和團體展等多樣的特展。以館內藏品為主的展覽中，主要展出安迪·沃荷、杉本博司、伊夫·克萊因等世界級藝術家的作品，以及眾多以廣島原子彈轟炸經歷為主題的作品。岡本敦生於 1996 年創作的《Earth Call Hiroshima》（地球呼叫廣島）是 MOCA 場館內的常設展覽之一。訪客可以在此任意撥打某個電話號碼，可以聽到自己的聲音在半山腰回蕩。如果從世界上的任何地方撥打這個電話號碼，就能聽到來自廣島的「聲音」。

<日本語仮訳>

広島市現代美術館

広島市現代美術館（広島 MOCA）は、市における現代美術表現を代表する場所であり、日本初の現代美術に特化した公立美術館です。1989年にオープンしたこの美術館は、丘陵にある緑豊かな比治山公園内にある印象的な建物です。最先端の芸術だけでなく眼下に一望できる街の景色も楽しめます。建築家の黒川紀章（1934-2007）が手掛けた建物のデザインには、文明の進化と美術館自身の開拓者精神がさりげなく映し出されています。中央の円形構造に向かってスロープを上るにつれて、使用される素材は自然物から人工物へ進化し、建物は周囲と調和しています。

MOCA のプログラムでは、常設コレクションの作品をテーマにした展示と、国内外のアートの最新動向を探るソロやグループでの展示などの多様な特別展の両方が行われています。コレクションを元にした展示では、アンディ・ウォーホル、杉本博司、イヴ・クラインなど世界的アーティストの作品や、広島の被曝体験にインスパイアされた作品が多く展示されています。MOCA 敷地内の常設展示の 1 つに、岡本敦生の『Earth Call Hiroshima（地球電話—広島）』（1996年）があります。訪問客がある電話番号に電話をかけると、丘の中腹に響き渡る自分の声を聞くことができます。逆に世界中のどこからでもその電話番号に電話をかけると、広島「音」を聞くことができます。

<简体字>

广岛陆军服装分厂

这四座大型仓库是一个规模更加宏大的建筑群遗址，位于广岛市南部、距离原子弹爆炸中心 2.7 公里处，二战期间曾是日本帝国陆军制造、修理、储存和分发军服的基地。这些仓库建于 1913 年，每座长 94 米，是日本早期西式红砖建筑的代表性建筑，比著名的东京车站拥有的红砖外观还要早一年完工。由于日本地震活动频繁，仓库的红砖墙里侧用钢筋混凝土予以加固。因距离爆炸中心尚远，这些建筑在 1945 年 8 月 6 日原子弹爆炸后依然幸存，但屋顶和房屋配件都遭到了严重破坏。除了最东侧的建筑以外，其他三座仓库仍保留着轰炸中碳化、凹陷或受损的铁门。

在原子弹爆炸后的数天到数周，这里曾是临时救护设施。但由于当时医疗用品短缺，且很少有人知道炸弹是原子弹这一信息，很多在这里接受治疗的人随即离世。战争结束后，这些建筑先后被当作学校、运输公司的仓库，以及学生宿舍使用。

如要参观建筑内部，请提前预约。

<繁体字>

廣島陸軍服裝分廠

這四座大型倉庫是一個規模更加宏大的建築群遺跡，位於廣島市南面、距離原子彈爆炸中心 2.7 公里處，二戰期間曾是日本帝國陸軍製造、修理、儲存和分發軍服的後備基。這些倉庫建於 1913 年，每座長 94 公尺，是日本早期西式紅磚建築的代表性建築，比著名的東京車站的紅磚結構外觀還要早一年完工。由於日本地震活動頻繁，倉庫的紅磚牆裡運用鋼筋混凝土加固。因與爆炸中心距離尚遠，這些建築在 1945 年 8 月 6 日原子彈轟炸後依然倖存，但屋頂和房屋配件都遭到了嚴重破壞。除了最東邊的建築以外，其他三座倉庫至今仍保留著在轟炸中燒焦、凹陷或受損的鐵制大門。

在原子彈轟炸後的數天到數周，這裡曾是臨時救護設施。但由於當時醫療用品短缺，且很少有人知道炸彈是原子彈這一信息，很多在這裡接受治療的人隨即離世。戰爭結束後，這些建築相繼被當作學校、運輸公司的倉庫、以及學生宿舍等。

如要參觀建築物內部，請您提前預約。

<日本語仮訳>

広島陸軍被服支廠

広島市の南、原子爆弾の爆心地から 2.7 キロメートルの場所に位置するこれらの 4 棟の大きな倉庫は、第二次世界大戦中に日本帝国陸軍の軍服を製造、修理、保管、配布するための拠点として使用された、さらに広大な建物群の遺構です。1913 年に建設されたこれらの倉庫はそれぞれ長さが 94 メートルあり、日本における初期の西洋式赤レンガ建築の代表的な建物です。有名な東京駅の赤レンガ造りの外観が作られる 1 年前に完成しました。ただし、日本では地震活動が多いため、倉庫の赤レンガの外観の裏には鉄筋コンクリートの壁が隠されています。爆心地からの距離があったため、1945 年 8 月 6 日の原爆投下後も建物は存続しましたが、屋根は取り付け部品と共に大きな被害を受けました。最東端にある建物を除き、焼け焦げたり、へこんだり、損傷を受けたりした外部の鉄製扉が今なお残っています。

原爆直後の数日から数週間間に、これらの建物は臨時的な救護施設として使用されました。しかし、医療用品も少なく、爆弾が原子爆弾だという情報も不足していたため、ここで治療を受けた人々の多くはすぐに亡くなっていました。終戦後、これらの建物は、学校、運送会社の倉庫、学生寮などとして使用され続けてきました。予約すれば建物の内部の見学が可能です。

<简体字>

原子弹爆炸遗址

原子弹爆炸遗址是原子弹轰炸后幸存下来的最大建筑物之一，距离爆炸中心仅 160 米。

这座建筑于 1915 年建成，由捷克建筑师简·莱泽尔（1880-1925）担纲设计。作为当时的广岛县产业奖励馆，因其欧式的建筑风格，曾广受赞誉并成为广岛的地标性建筑。今天，人们在元安川上依旧能看到它的倒影。

原子弹几乎在穹顶的正上方爆炸，绝大部分建筑物都被摧毁，馆内的人全部当场罹难。然而这座穹顶建筑的钢架，连同钢架下面厚厚的一部分混凝土墙，却奇迹般地存留下来。尽管这些扭曲、碳化的残骸至今仍屹立在原地，但曾经让漫步河畔的人们赞叹不已的巍然风姿，已不复存在。

二战后，这座建筑开始被称作“原子弹爆炸遗址”。最初，普通民众可以自由出入其内，瞻仰破损的穹顶。1966年，广岛市决定保存遗址，让它成为一座无声见证了核战争恐怖的纪念碑。

之后，广岛市一直定期对原子弹爆炸遗址实施必要的修缮，以确保安全。1996年，原子弹爆炸遗址被列入世界遗产。

<繁体字>

原子彈爆炸遺址

原子彈爆炸遺址是原子彈轟炸後僅存的最大建築物之一，距離爆炸中心 160 公尺的地方。

這座建築於 1915 年建成，由捷克建築師簡·萊澤爾（Jan Letzel）（1880-1925）擔綱設計。作為當時廣島縣產業獎勵館，因其歐式的建築風格，受到廣泛讚譽並成為當地地標。今天，人們在元安川上依舊能看到它的倒影。

原子彈幾乎在穹頂的正上方爆炸，絕大部分建築物都被摧毀，館內的人全部當場罹難。然而這座穹頂建築的鋼架及其下面厚實的部分混凝土牆，卻奇跡般地遺留下來。儘管這些扭曲、碳化的殘骸至今仍屹立在原地，但曾經讓漫步在河畔的人們讚嘆不已的巍然風姿，早已不在。

二戰後，這座建築開始被稱作「原子彈爆炸遺址」。最初，社會大眾可以自由走動於建築物內部，仰望破損的穹頂。1966 年，廣島市決定保留該遺址，讓其成為一座無聲見證了核戰爭恐怖的紀念碑。

之後，廣島市對這座建築物定期進行必要的修繕工程，以保證安全。1996 年，原子彈爆炸被列入世界遺產。

<日本語仮訳>

原爆ドーム

原爆投下後も残った最大の建造物の一つである広島原爆ドームは、爆心地から 160 メートルの場所に位置しています。チェコの建築家ヤン・レツル（1880-1925）によって設計され、1915 年に広島県産業奨励館として完成したこの建物は、ヨーロッパスタイルの建築物として称賛された地元のランドマークでした。建物の影が元安川に映る様子は、現在でも見ることができます。

原子爆弾はほぼ真上で爆発し、建物の大部分を破壊し、館内にいた人は全て即死しました。しかし、このドームの鋼鉄製の骨格は、その下の厚いコンクリートの壁の一部と共に、何とか生き残りました。ねじれて炭化したこれらの残骸は現在も残っており、かつて川沿いを散歩する人々を魅了した堂然とした建物の面影からはかけ離れています。

第二次世界大戦後、この建造物は原爆ドームとして知られるようになり、当初は一般の人々が内部の壊れたドームの真下を自由に歩き回ることができました。その後、1966 年に広島市は核戦争の恐怖の無言の証人という役割を担う記念碑として、この場所を保存することに決めました。

この建造物が安全に立ち続けるために必要な工事が行われ、1996 年に世界遺産に登録されました。

<简体字>

广岛和平纪念资料馆

广岛和平纪念资料馆，是广岛市内规模最大的原子弹爆炸纪念设施。于 1955 年建成开馆，由著名建筑师丹下健三（1913-2005）担纲设计，2006 年被指定为日本国家级重要文化财。

资料馆由位于和平纪念公园内的两座相邻的建筑——主馆和东馆组成。主馆内收藏了大量原子弹爆炸罹难者的遗物，东馆则通过各种媒介着重开展和平教育。近几年，主馆进行了大规模的装修，其藏品越发震撼人心。

参观者需先通过一条狭窄而昏暗的走廊，才能进入主馆的宽阔展厅。走廊里陈列了如脸缠绷带的女孩、从高空俯瞰爆炸时产生的蘑菇云等各种巨幅照片。这个新设置的展区，之所以如此设计，是为了能让参观者形象体会、真实感受死难者的困惑与痛苦。

之后的展厅，展示重点从“物”转向“人”，深入介绍广岛的原子弹爆炸体验。通过展示照片或借助幸存者的记忆绘成的图画等各类展品，让参观者了解到原子弹给广岛市民造成的创伤与后遗症迄今尚未治愈。死难者遗物中还有一辆被烧得漆黑、扭曲变形的儿童三轮车。最为打动人心的非纸鹤莫属，它们也是资料馆内最小的展品之一。一位叫佐佐木禎子（1943-1955）的少女，因遭受核辐射突发白血病，她在离世前的病床上，折下了这些纸鹤。

<繁体字>

廣島和平紀念資料館

廣島和平紀念資料館是廣島市內規模最大的原子彈轟炸紀念設施。於 1955 年建成開幕，由著名建築師丹下健三（1913-2005）擔綱設計，2006 年被指定為日本重要文化財。

資料館由和平紀念公園內兩座相鄰的建築組成——主館和東館。主館內收藏著大量原子彈轟炸罹難者遺物，東館則通過各種媒介來開展和平教育。近幾年，主館進行了大規模的整修，其藏品展示時更能觸動人心。

參觀者需先通過一條狹窄而昏暗的走廊，才能進入到主館的寬闊展廳。走廊里陳列了如纏繞繃帶的女孩、從高空俯瞰原子彈轟炸所產生的蘑菇雲等各種巨幅照片。這個新設置的展區，其設計概念是為了讓參觀者形象體會、真實感受罹難者內心的痛楚和困惑。

之後的展廳，展示重點從「物」轉移到「人」，深入探討廣島的原子彈轟炸經歷。通過照片或借助倖存者的記憶描繪的圖畫等各種文物，讓參觀者了解到原子彈對廣島市民造成的創傷及後遺症迄今尚未被治癒。遺物中還有一輛被燒焦、扭曲變形的兒童三輪車。最為打動人心的非紙鶴莫屬，它們是資料館內最小的展品之一。一位叫佐佐木禎子（1943-1955）的少女，因遭受核輻射而患上白血病，她在離世前的病床上，摺下這些紙鶴。

<日本語仮訳>

広島平和記念資料館

広島平和記念資料館は、原爆に関する広島最大の施設です。著名な建築家の丹下健三（1913-2005）により設計されたこの資料館は 1955 年に開館し、2006 年には日本の重要文化財に指定されました。

資料館は平和記念公園内にある 2 つの隣接する建物から構成されています。本館には原爆当時の膨大な遺品が収蔵されており、東館は様々なメディアを通じた平和教育に焦点を当てています。本館は近年大規模な改装が行われ、そのコレクションはさらに力強く心を打ちます。

来館者は、包帯を巻いた小さな女の子から上空から見た原爆のキノコ雲まで、大型の様々な写真が並ぶ狭く薄暗い廊下を通過して本館の広大な展示室に入ります。この新しく追加された空間は、爆弾の犠牲者が感じたであろう、捕らわれているような感覚が伝わるよう設計されています。

次の一連の部屋では、物から人に焦点を移していくことで、広島への被爆体験を深く語りかけます。現在でも広島の人々に影響を与え続けている原爆と後遺症について、写真や生存者の記憶に基づいたイラスト、その他様々な物を通して説明されています。遺品の中にはひしゃげ焼け焦げた子供用の三輪車などもありますが、特に心を動かされるのは、展示品の中で最も小さいもののひとつである小さな折り鶴です。これは、放射線への被曝による白血病のため病床で死を待っていた地元の少女、佐々木禎子（1943-1955）が折ったものです。

<简体字>

和平纪念公园

广岛和平纪念公园，位于原子弹爆炸遗址以南、两条河流交汇的狭长三角洲地带，宛如一座漂浮于繁华都市中心的绿岛。人们造访这块占地 120000 多平方米静谧之地，是为了悼念在世界第一颗原子弹轰炸中罹难的人们，亦通过周围的自然环境，重新领悟生命的宝贵。

渡过紧邻元安川东岸、原子弹爆炸遗址南侧的一座桥，就能巡游大半个公园。1945 年被原子弹投掷以前，这一带曾是广岛的商业中心之一。1949 年，走上复兴之路的广岛市，决定不仅要重建该区域，更要将其打造成一个能让人们悼念与反思的场所。

公园自建成开放以来，历经数十年的发展，建造了众多纪念性建筑。从著名建筑师丹下健三（1913-2005）担纲设计的和平纪念资料馆，到为了悼念被动员的学生、死伤的韩国人及其他著名人物而建造的小型雕像，规模大小各异。

这些纪念碑均在徒步可达范围内，每座纪念碑后都有一个不尽相同的悲惨的故事。而给游客印象最深的莫过于“原子弹爆炸死难者慰灵碑”。这座混凝土碑塔建于 1952 年，也是出自丹下健三之手。他受到古代粘土摆件“埴轮”（陶俑）的启发创作了此件作品，意在为逝者的灵魂提供一个栖息之所。任何人都可向慰灵碑自由献花。

<繁体字>

和平紀念公園

廣島和平紀念公園，位於原子彈爆炸遺址原爆穹頂以南、兩條河流交匯的狹長三角洲地帶，宛如一座漂浮於繁華市中心的綠色小島。人們造訪這塊佔地 120000 多平方公尺的靜謐之地，是為了悼念在世界第一顆原子彈轟炸中失去的無數生命，亦可透過周圍的自然環境，重新領悟到生命的寶貴。

渡過緊鄰元安川東、原子彈爆炸遺址南側有一座橋，就能遊玩大半個公園。1945 年原子彈轟炸發生以前，這一帶曾是廣島的商業中心之一。1949 年，復甦中的廣島市決定不僅要重建該區域，更要將其打造成一個進行追悼和深刻反思的場所。

公園自創建以來，歷經數十年的發展，建設了許多紀念建築。從著名建築師丹下健三（1913-2005）擔綱設計的和平紀念資料館，到為了悼念被動員的學生、死傷的韓國人及其他著名人物而建造的小型雕像，規模大小各異。

這些紀念碑彼此間相距較近，步行即可抵達。每座紀念碑都有各自的悲慘故事。而給遊客印象最深刻的莫過於「原子彈轟炸死難者慰靈碑」。這座混凝土建築建於 1952 年，也出自丹下健三之手。他受到古代泥塑「埴輪」（陶俑）的啟發創作的此件作品，意在為逝者的靈魂提供一個棲息之所。任何人都可向慰靈碑自由獻花。

<日本語仮訳>

平和記念公園

原爆ドームから南に延びる広島平和記念公園は、主に2つの川の間にある細長い土地に位置し、街の真ん中にある緑の島のように感じられます。120,000平方メートル以上の広さを誇るこの静謐な場所では、世界初の核攻撃で失われた多くの命を追悼すると共に、周りの自然により生命の尊さを再確認することができます。

元安川の東岸沿いにある原爆ドームのすぐ南には橋があり、そこから公園の大部分が位置する一角に入ることができます。1945年の原爆以前は、この区域は広島の商業の中心地のひとつでした。1949年、復興の最中にあった広島は、この区域を単に再建するのではなく、追悼と熟考の場とする決定を下しました。

公園には創設されてから数十年にわたり、数多くのモニュメントが建設されてきました。その中には、著名な建築家の丹下健三（1913-2005）が設計した平和記念資料館や、動員された学生、死傷した韓国人、その他著名な人物に捧げられた小さめの彫像まで、さまざまな規模のものがあります。

これらの記念碑は互いに徒歩圏内にあり、それぞれが独自の痛ましさを抱えています。多くの訪問客にとって最も印象的なのは、原爆死没者慰霊碑です。この1952年に建てられたコンクリート建築もまた、丹下健三のデザインで、古代の粘土の置物（埴輪）に触発され、故人の魂にすみかを提供することを意図しています。なお、慰霊碑には、どなたでも自由に献花していただけます。

<简体字>

严岛神社

背靠葱郁弥山，耸立于宫岛海湾中的红色鸟居——很多人都会对严岛神社极具象征意义的形象记忆深刻。即便在图片中曾经相识，但只要身临其境，就会不由自主地对其产生敬畏之心。1996年，这座神社被列为世界文化遗产。

严岛神社是一个大型神社建筑群，包括37栋建筑组成的总神社，以及海岸两侧19栋建筑组成的分神社。其中，多座建筑被日本政府指定为国宝或重要文化财。相传神社始建于公元593年，武将平清盛自1168年开始全面修建以后，正殿又被翻新，而鸟居和拱桥则于16世纪后期由毛利家重建。“严岛”意为“斋戒（奉神）之岛”，代表了人们数世纪以来对神的栖身之地——宫岛的敬仰之心。神社供奉着天照大御神与素盞鸣尊在高天原用剑玉进行占卜时出现的众神，自古以来他们就被尊奉为维护皇室的安泰、保卫国家安宁以及航海安全的守护神。

潮汐涨退于严岛神社及鸟居下方，这是日本独树一帜的设计构造。涨潮时，整座神社宛如漂浮于海面；退潮时，周围的海滩上会出现三个池塘，亮如“明镜”，使严岛神社展现出同样迷人却又截然不同的韵味，此时游客可步行至鸟居门前。

<繁体字>

嚴島神社

背靠蔥鬱彌山，聳立於宮島海灣中的紅色鳥居——很多人對這一極具象徵意義的形象記憶深刻。即使在圖片曾經相識，但只要身歷其境，就會不由自主地對其產生敬畏之心。1996年，這座神社被列為世界文化遺產。

嚴島神社是一大型神社建築群，包括 37 棟建築組成的總神社，以及海岸兩側 19 棟建築組成的分神社。其中，多座建築被日本政府指定為國寶或重要文化財。相傳神社始建於西元 593 年，武將平清盛自 1168 年開始全面修建之後，正殿又被翻新，而鳥居和拱橋則為 16 世紀後期由毛利家重建。「嚴島」意為「齋戒（奉神）之島」，反映了人們數世紀以來對神祇的棲身之地——宮島的敬仰之心。神社供奉著天照大御神與素盞鳴尊在高天原用劍玉進行占卜時出現的眾神，自古以來牠們就被尊奉為維護皇室安泰、保衛國家安寧以及航海安全的守護神。

潮汐漲退於嚴島神社及鳥居之下，這是日本獨特的設計構造。漲潮時，整座神社宛若漂浮於海面上；退潮時，周圍的海灘上會出現三個水池，亮如「明鏡」，使嚴島神社又展現出同樣迷人卻又截然不同的韻味，此時遊客可步行至鳥居門前。

<日本語仮訳>

厳島神社

この神社を訪れる人の多くは、緑の生茂る弥山を背景に宮島沖の水の中にそびえる赤い鳥居の象徴的なイメージに覚えがあるのではないのでしょうか。それでも本物の神社を目の当たりにすると、写真で知っている人であっても畏敬の念を抱きます。この神社は、1996年に世界遺産に指定されました。

厳島は 37 棟の建物からなる本社（境内）と、海岸の両側にある 19 棟の建物を持つ摂末社を合わせた神社の集合であり、その多くは国宝・重要文化財に指定されています。厳島はもともと西暦 593 年に建設されたと言われており、武将の平清盛が 1168 年からさらに神社を整備しました。本殿は後に改装され、鳥居と反橋も 16 世紀後半に毛利家によって再建されました。厳島は「斎く（いつく＝神に仕える）島」を意味し、宮島そのものが何世紀にもわたって神の住まう所として崇拝されてきたことを反映しています。御祭神は天照大御神（あまてらすおおみかみ）と素盞鳴尊（すさのおのみこと）が高天原（たかまのはら）で剣玉の御誓（うけい）をされた時に御出現になった神々で、御皇室の安泰や国家鎮護、また海上の守護神として古くから崇信を受けてきました。

厳島とその鳥居はその下を波が寄せては返す造りで、これは日本独特のものです。満潮時には、この神社全体が水面に浮かんでいるように見えます。干潮時には厳島はまた趣の異なる、しかし同様に魅惑的な姿を見せます。周囲の浜辺に池が 3 つ現れて「鏡」のような役割を果たします。また、訪問客は鳥居のすぐそばまで歩いて行くことが可能になります。

<简体字>

广岛市环境局中工厂

现代城市中的垃圾都是如何处理的？这座新颖时尚、洁净明亮，几乎静寂无声的焚化设施，颠覆了人们对这个问题的固有成见。广岛市环境局中工厂于 2004 年竣工，是为了纪念 1945 年原子弹爆炸 50 周年而建造的一系列建筑中的一座，由参与过纽约现代美术馆翻新工作的日本建筑师谷口吉生（1937-）担纲设计。广岛有一条无形的“线”，这条线从原子弹爆炸遗址开始，穿过谷口吉生的恩师、著名建筑师丹下健三（1913-2005）设计的几座建筑，最后到达中工厂。

这座垃圾焚化场建于填海地带，可将广岛湾尽收眼底。不过，最佳摄影点当属一条名为“ECORIUM”（由“ecology”和“atrium”组合而成的新造词）的木制栈道，它从一个巨大空间内穿过，两侧皆是各种银光闪烁的垃圾处理设备和点缀其间的树木。中工厂堪称是运用计算机管理、实现高效管理的典范，不仅安静，还将人工操作减少到了极限。

徒步至通道尽头，即可把广岛湾一览无遗。如果想进一步了解中工厂的运作方式，只要提前预约，即会有专人引领参观。访客可以从上俯瞰焚化垃圾的全过程：收集车驶入场内后，将垃圾投入巨大储存槽中，再用如巨型起重机般的机械吊臂将垃圾混合后焚烧。此外，访客还能听取关于中工厂环保运作方式的详细介绍，例如如何利用焚化时产生的蒸气发电，并为场内其他设备供电。

<繁体字>

廣島市環境局中工廠

現代城市中的垃圾都是如何處理的？這座時尚新穎、整潔明亮，亦幾乎寂靜的焚化設施，顛覆了人們對這個問題的固有成見。廣島市環境局中工廠於 2004 年竣工，是為了紀念 1945 年原子彈轟炸 50 周年而建造的一系列建築之一，由曾參與過紐約現代美術館翻新工作的日本建築師谷口吉生（1937-）擔綱設計。廣島有一條無形的「線」，這條線從原子彈爆炸遺址開始，穿過谷口吉生的恩師、著名建築師丹下健三（1913-2005）設計的幾座建築，最後到達中工廠。

這座垃圾焚化爐建設在海埔新生地上，可將廣島灣盡收眼底。不過，最佳拍照地點當數一條名為「ECORIUM」（由「ecology」和「atrium」組合而成的新造詞）的木製棧道，它從一個巨大空間中穿過，兩側滿是各種銀色光亮的垃圾處理設備和點綴其間的樹木。中工廠是運用資訊管理樹立高效管理的典範，安靜又最大限度地減少了人工操作。

徒步至通道盡頭，即可徜徉欣賞整個廣島灣。如果想進一步瞭解中工廠的運作方式，只要提前預約，會有專人進行解說。訪客可以從上觀看垃圾焚化的整個過程：垃圾車駛入焚化爐後，將垃圾投進一個巨大的儲存槽中，再用一個如巨型起重機的機械手臂將垃圾混合後焚燒。訪客還能聽取關於中工廠運作方式的詳細解說，例如如何利用焚燒產生的蒸氣發電，並為廠內其他設備提供電力。

<日本語仮訳>

広島市環境局中工場

スタイリッシュで染みひとつないクリーンさで、穏やかと言ってもいいほど静かな中焼却施設は、現代の都市部でゴミがどのように処理されるかという先入観に挑むものです。1945 年の原爆から 50 年の節目を刻む一連の建物のひとつとして 2004 年に完成したこの工場は、ニューヨーク近代美術館の改築も手掛けた建築家、谷口吉生（1937-）が設計を担当しました。この施設は、原爆ドームから始まり、谷口の恩師である有名な建築家丹下健三（1913-2005）のデザインによるいくつかの建造物を通る、見えない「線」の末端に位置しています。

広島湾を見晴らす海辺の埋め立て地に立つ中焼却施設の中で最も写真映えるのは、エコリウム（「エコロジー」と「アトリウム」を組み合わせた造語）です。この栈橋のような木製の通路は、輝きを放つ処理設備で埋め尽くされた、木々が点在する巨大な空間の真ん中を通り抜けます。コンピューター管理された効率性の模範のようなこの工場は、静かで、人の活動も最小限に抑えられています。

通路の先まで進めば湾を見渡す広々とした眺めを楽しむことができ、工場の機能についてもっと知りたい場合は、ガイドツアーも利用できます。訪れた人々は、ゴミ収集車が入ってきて積み荷を巨大な穴に入れるのを上から眺めることができます。穴の中でゴミは、巨大なクレーンのような装置で混ぜ合わされてから焼却されます。また、環境に配慮した工場のオペレーションについても説明を受けることができます。たとえば、焼却で発生する蒸気は、機械を動かす電力に使われます。

<简体字>

广岛鲜花节

广岛鲜花节每年于日本法定假日 5 月黄金周举行，为期三天。活动期间，广岛市和平大道上就成了鲜花、音乐、舞蹈、巡游的海洋，还有各种颂扬和平的活动。鲜花节每年大约有 100 多万人参观，是广岛县最大的年度盛事之一。

每年鲜花节，广岛和平纪念公园南侧都会设置一座巨型的“花之塔”，其设计从当地居民的应征方案中甄选。活动期间，100 米宽的和平大道禁止车辆通行，街面上会搭建数十个活动舞台和展示看台。鲜花节的节目每年也不尽相同，从和太鼓到墨西哥马利亚奇乐队、巴西桑巴舞表演，包罗万象，应有尽有。此外，各式各样的看台和小摊会展示或现售本地的艺术品、工艺品及其美食。

位于和平纪念资料馆旁的“康乃馨舞台”，是鲜花节的主会场，用于举办大型表演。现代版“YOSAKOI 舞蹈”（又称“夜来舞”）和“神乐”（将戏剧与舞蹈华美交融、具有数百年历史的日本传统表演艺术）等精彩绝伦的表演都会在此上演。

活动首日举行的嘉年华式“花之巡游”是鲜花节的一大亮点。充满国际色彩的巡游队伍，从和平大道与宝町的交叉口附近出发，一路行进到和平纪念公园。巡游者从“花节皇后”到哈雷摩托车队，形式五花八门，令人眼花缭乱。

<繁体字>

廣島花卉節

廣島花卉節每年於日本國定假日——五月黃金周舉行，為期三天。活動期間，廣島市和平大道上就被鮮花、音樂、舞蹈、遊行隊伍和其他倡導和平的活動所佈滿。花卉節每年大約吸引 100 多萬人參觀，是廣島縣最大的年度盛事之一。

每年花卉節，在廣島和平紀念公園的南側會設置一座巨型的「花之塔」，其設計從當地居民的徵選方案中選拔出來。花卉節期間，寬 100 公尺的和平大道會禁止車輛通行，街道上會設置數十個活動舞臺和展示看臺。花卉節的節目每年都不盡相同，從日本太鼓演奏到墨西哥馬里亞奇樂隊、巴西森巴舞，包羅萬象，應有盡有。此外，各式各樣的看臺和小攤販也會展示或現售當地的藝術品、手工藝品和美食。

和平紀念資料館旁邊設立的「康乃馨舞臺」是花卉節舉辦大型表演的主要舞臺。現代版「YOSAKOI 舞蹈」（又稱「夜來舞」）和「神樂」（將戲劇與舞蹈華麗融合、具有數百年歷史的日本傳統藝術表演）等精彩絕倫的表演都會在這裡上演。

花卉節首日舉行的「花之巡遊」是花卉節的重頭戲。充滿國際色彩的遊行隊伍從和平大道與寶町的交叉路口附近開始，一路遊行至和平紀念公園。遊行參加者從「花節皇后」到哈雷摩托車隊，遊行隊伍可謂百花齊放。

<日本語仮訳>

フラワーフェスティバル

毎年、国民の休日である 5 月のゴールデンウィーク中の 3 日間にわたって開催されるひろしまフラワーフェスティバルの期間中、広島市平和大通りは花、音楽、ダンス、パレード、そして平和や積極的な活動を讃えるさまざまな催し物であふれ返ります。広島県最大の年中行事のひとつであるこのフェスティバルには、優に 100 万人を超える人々が訪れます。

毎年地元住民の応募のなかからデザインが選ばれる巨大な「花の塔」が広島平和記念公園の南側に設置され、幅 100 メートルの平和大通りは、フェスティバル中は交通が遮断され、何十ものイベントステージや展示スタンドが開設されます。フェスティバルのプログラムは毎年変わりますが、和太鼓の演奏からメキシコのマリアッチ楽団やブラジルのサンバの踊りまで、何でもありです。一方、さまざまなスタンドや屋台が地元のアートや工芸品、食べ物などを紹介しています。

平和記念資料館の隣に設置されるカーネーションステージがフェスティバルの中心で、大きなショーが開催される会場です。現代のよさこい踊りや、何世紀もの歴史をもつ演劇と舞をドラマチックに組み合わせた神楽など、刺激的なパフォーマンスがここで見られます。

初日に開催されるカーニバル式の花の総合パレードが、フェスティバルのハイライトです。平和大通りと宝町の交差点付近から始まり、国際色豊かな行列が平和記念公園まで進んでいきます。参加者は、「フラワーフェスティバルクイーン」からハーレーダビッドソンに乗ったバイカーたちまでさまざまです。

<簡体字>

缩景园

缩景园是一座静谧且极富韵味的日式庭园，始建于 1620 年。当时，统治广岛地区长达 300 多年的广岛藩主浅野家，委托著名茶道大师兼武士的上田宗箇（1563-1650）在与今日广岛棒球体育场大小相仿的空间内，设计一座将山川景致“浓缩于园内”（“缩景园”名称由来）的庭院。

位于缩景园中央的池塘占据了庭园很大一部分，虽为人工建造，却极其自然。一座石拱桥横跨池塘两岸，石拱桥两侧各配置了 7 座形状大小各异的岛屿，共计 14 座，它们代表濑户内海诸岛。石拱桥旁常常聚集着色彩艳丽、纹样夸张的鲤鱼，因为它们知道人们经常会往这里投食。乌龟在鲤鱼旁边悠然自得地游来游去，偶尔也会尝试爬上干燥的地面。在这里还能看到螃蟹踩着碎步走来走去。各种鸟儿也在庭院里栖息，有以此为家的飞雀，也有来此过冬的候鸟。

缩景园内巧妙地配置了溪谷、小桥、茶室和凉亭等景致，令人赏心悦目。环游小道旁的小竹林和梅园相映成趣，也很有观赏价值。

缩景园在原子弹爆炸中严重受损，石桥以外的所有建筑都化为废墟，只有 3 棵树侥幸存活。包括茅草屋顶的茶室“明月亭”在内，所有建筑都是二战后重建。

<繁体字>

縮景園

縮景園是一座靜謐而又極富韻味的日式庭園，始建於 1620 年。當時，統治廣島地區長達 300 多年的廣島藩主淺野家，委託著名茶道家兼武士的上田宗箇（1563-1650）在與今日廣島棒球場大小相仿的空間內，設計一座將山川景緻「濃縮於庭園」（「縮景園」名稱的含義）。

位於縮景園中央的池塘佔據了庭園很大一部分，雖是人工建造的，卻顯得極其自然。一座石拱橋橫跨池塘兩岸，石拱橋兩側各自設置了 7 座大小各異的島嶼，總計 14 座，它們象徵著瀨戶內海的諸島。石拱橋的兩邊常常聚集著色彩豔麗、紋樣誇張的鯉魚，因為它們知道人們經常會往這裡投餵飼料。烏龜在鯉魚旁邊悠哉地游來游去，偶爾也會嘗試爬上乾燥的地面。在這裡還能看到螃蟹邁著小碎步爬來爬去。各種各樣的鳥棲息在庭園內，有以此為家的鳥，也有來此過冬的候鳥。

縮景園內巧妙佈置著溪谷、小橋、茶室和涼亭等景緻，園內環遊小徑旁的小竹林和梅園等景點，也很值得觀賞。

縮景園在原子彈轟炸中嚴重受損。石拱橋以外的建築全部化為烏有，只有 3 棵樹僥倖存活。包括茅草屋頂的茶室「明月亭」在內，所有建築都是二戰後重建。

<日本語仮訳>

縮景園

静かで趣ある日本庭園である縮景園が最初に造られたのは、1620年です。この地域を300年以上統治した浅野家が、名高い茶人でもあった武士の上田宗箇（1563-1650）に、現在の広島野球スタジアムほどのスペースに山や川の景色を盛り込んだ、「景色を縮小した庭（「縮景園」の名称の意味）」の設計を依頼しました。

人工でありながら極めて自然な池が縮景園の中央を広く占めており、アーチ型の石橋を渡ってその池を渡ることができます。大きさがさまざまな14の島が橋の両側にそれぞれ7つずつ点在していますが、これは瀬戸内海の島を表しています。カラフルで大胆な模様の鯉が、人がよく餌を水のなかに投げ入れてくれるところだと知って橋のそばまで集まってきます。亀が鯉の傍らをゆったりと泳いだり、時折乾いた陸地へと上がってみたりしています。ちょこちょこ歩き回る蟹も見られ、さまざまな種類の鳥たちの中には庭園に棲みついているものもいれば、季節の渡り鳥もいます。

庭園には、谷、橋、茶室、あずまやなど、訪れた人々が楽しめる景色が優雅に配置してあります。縮景園を周遊する道沿いにある、小さな竹藪や梅園なども見どころです。

縮景園は原爆で激しい損傷を受けました。石橋以外の建造物はすべて破壊され、生き残ったのは3本の木だけでした。茅葺屋根の茶室である明月亭を含むすべての建物は、戦後に建て直されたものです。

<简体字>

放河灯

“放河灯”——把纸灯笼放入河中任其漂流。这种久传于日本各地的习俗活动，通常在 8 月中旬的盂兰盆节期间举行，因为人们相信，祖先的灵魂会在此时返回故里。而放河灯，就是为了寄托对逝者的思念。放河灯的习俗古来有之，而广岛的放河灯活动，始于 1947 年，其目的在于为二战中丧生的数百万日本人安魂。

广岛是全球首个遭受原子弹轰炸的城市，相当大比例的市民因此丧生。所以，广岛市的放河灯活动意义特别，并且它已成为日本规模最大的活动之一。此项活动，每年于盂兰盆节一周前的 8 月 6 日（原子弹爆炸日）举行。到此祈愿的既有本地居民也有访客。当天约有 8000 盏五彩斑斓的灯笼漂浮在元安川上，载着世人向往和平的心愿，从原子弹爆炸遗址前缓缓漂过。人们站在横跨于元安川的桥上眺望璀璨迷人的河灯，心中祈愿广岛悲剧不再重演。

放河灯活动于下午 6 点至晚上 9 点举行。游客如要参加，可在早上 6 点半至晚上 8 点间，赶赴桥两侧的临时接待篷购买河灯。

<繁体字>

放河燈

「放河燈」——把紙燈籠放在河面上任其漂流。這種久傳於日本各地的習俗，通常在 8 月中旬的盂蘭盆節期間舉行，因為人們相信祖先的靈魂會在此時返回家鄉，而放河燈就是為了寄託對逝者的思念。放河燈的習俗自古有之，然而廣島放河燈活動始於 1947 年，是為了安撫在第二次世界大戰中喪生的數百萬日本人的靈魂。

廣島是世界上首個遭受原子彈轟炸的城市，有相當大比例的市民因此喪生。所以，廣島市的放河燈儀式意義特別，並已成為日本規模最大的活動之一。它於盂蘭盆節一周前的 8 月 6 日（原子彈轟炸日）舉行。本地人及遊客向約 8000 盞五彩斑斕的燈籠許下和平的願望。河燈帶著世人的心願漂流在元安川上，緩緩流過原子彈爆炸遺址前。人們站在橫跨元安川的橋上眺望璀璨迷人的河燈，心中祈願廣島悲劇不再重演。

放河燈儀式於下午 6 點至晚上 9 點舉行。遊客如要參加，可在早上 6 點半至晚上 8 點間到兩側的接待帳篷處購買河燈。

<日本語仮訳>

とうろう流し

とうろう流しは、紙でできた灯籠を川に浮かべる行事です。日本各地で開催される行事で、通常は亡くなった先祖の霊が故郷へ帰ってくるとされる 8 月中旬のお盆の時期に行われます。とうろう流しの風習そのものは大昔に遡りますが、広島のとろう流しは、第二次世界大戦で命を落とした何百万人もの日本人への鎮魂として 1947 年に始まりました。

世界で初めて原爆を経験し、相当な割合の市民が亡くなった広島の歴史を考えれば、広島市のとろう流しの行事には特別な意味があり、日本最大規模の行事のひとつになっています。この行事は原爆の日に合わせて、お盆の約 1 週間前の 8 月 6 日に行われます。カラフルなものも多いおよそ 8000 個の灯籠に、地元住民も訪問者も平和への祈りをしたためます。それらは元安川に浮かべられてゆっくりと流れ、原爆ドームの前を通り過ぎます。元安川に架かる橋からこのような景色を眺める人々は、心が深く打たれ、目が魅了され、広島の経験を世界のどこにも繰り返さないとの願いを捧げ続けます。

とうろう流しの行事開催時間は午後 6 時から午後 9 時までです。観光で訪れた人が自分の灯籠を浮かべたい場合には、橋の両サイドにある受付テントで午前 6 時半から午後 8 時まで購入することができます。

<简体字>

广岛神乐

“神乐”是一种将戏剧与舞蹈华美交融的表演艺术，其人物角色有鬼怪、武士以及普通百姓。日本自古以来就相信，拥有伟大力量的神灵掌管着一切。因而，村庄要实现繁荣兴旺，就要向神灵表示隆重的感谢。而这种敬神谢神的习俗，就是神乐的起源。

每年秋收时节，人们身着色彩艳丽的服装，头戴表情丰富的面具，通过表演神乐来感谢诸神赐予人们五谷丰登。一般认为，神乐是日本最古老的一种表演艺术。它与日本本土宗教“神道”一起传播到日本各地。至今，在日本很多地方仍流传着当地特有的神乐和故事，绵延传承了几个世纪。

从古至今，广岛一直是日本神乐最为盛行的地区之一。现在，在广岛县活跃着将近300个神乐团，他们表演与本地有关的舞蹈和故事。其中，有讲述败北的氏族首领们为了复仇而化身为蜘蛛恶鬼的《土蜘蛛》，还有象征洪水的八头大蛇威胁要破坏村中农田的《八岐大蛇》等剧目。广岛县民文化中心和 YMCA 国际文化中心等场馆会定期举办神乐演出。

<繁体字>

廣島神樂

「神樂」是一種將戲劇與舞蹈華麗融合的表演藝術，其人物角色有妖怪、武士以及平民百姓。日本自古以來就相信，擁有偉大力量的神明掌管著一切。因而，村莊要實現繁榮興旺，就要向神靈表示隆重的感謝。而隆重表示感恩的習俗，就是神樂的起源。

每年秋收時節，人們身穿色彩豔麗的服裝，頭戴表情豐富的面具，通過表演神樂來感謝諸神賜予人們五穀豐收。被視為日本最古老傳統藝術的神樂，與日本本土宗教「神道」一起，傳播到日本全國各地。至今，在日本很多地方仍流傳著當地特有的神樂和故事，綿延傳承了幾個世紀。

從古至今，廣島一直是日本神樂最為興旺繁盛的地方之一。現在，在廣島縣活躍著將近 300 個神樂團，他們表演與各地方有關的舞蹈和故事。其中，有講述了敗北的氏族首領們為了復仇而變成蜘蛛惡鬼的《土蜘蛛》，還有象徵著洪水的八頭大蛇威脅要破壞村中田地的《八岐大蛇》等劇目。廣島縣民文化中心和 YMCA 國際文化中心等場館會定期舉辦神樂演出。

<日本語仮訳>

広島神楽

神楽は、演劇と舞とを非常にドラマチックに組み合わせたもので、鬼や、侍、一般の百姓が出てきます。その起源は、日本では昔から、力をもつ偉大な神々がすべてを支配していると信じられ、そのため村が繁栄するには大いなる感謝を示す必要があるとされたことに由来します。

神楽は、鮮やかな衣装と表情豊かな面を着け、毎年秋の収穫時期にそれらの神々に穀物の豊穰を感謝するために演じられます。日本最古の芸能とされる神楽は、日本古来の神道とともに国中に広がり、さまざまな地域には今でもその地ならではの神楽や物語があり、何世紀にもわたって受け継がれています。

広島は昔から日本で最も神楽が栄えた場所のひとつでした。今日、広島県では約 300 の神楽団が活動しており、各地域にちなんだ舞や物語を演じています。そのなかには敗れた氏族の長たちが復讐に燃える蜘蛛のような鬼と化した話の『土蜘蛛』や、洪水を象徴した八つの頭を持つ大蛇が村の田んぼを破壊すると脅す『八岐大蛇』などがあります。神楽の定期公演は、広島県民文化センターや YMCA 国際文化センターなどの会場で見ることができます。

<简体字>

广岛城

广岛城，又称“鲤城”，这座高高耸立的城堡建于 1589 年至 1599 年间。城堡与城下町（围绕当地政治中心发展起来的城镇），为广岛发展成为一个繁荣昌盛的工业城市打下了坚实的基础。让人心生敬畏的石砌城墙、天守阁、三条护城河（现仅存一条），均由著名武将毛利辉元（1553-1625）所建，当时他统治着包括广岛市在内、现本州西部的大部分地区。之所以选在太田川的三角洲地带筑城，是因为无论建造还是防御，平地都更为有利。

1600 年，毛利辉元在决定日本统一的关键战役“关原合战”中战败，被迫离开自己的领地。之后，广岛城易主至浅野家名下。在武士阶层统治的德川幕府时代宣告终结、1868 年明治维新后日本步入“近代化”之前，广岛城一直为浅野家所有。进入 20 世纪，这座城堡成为当时大日本帝国军队的主要设施。原来的天守阁在 1931 年被指定为国宝。二战末期，为了防备同盟国的袭击，日本军队曾驻扎于此。

1945 年，原子弹摧毁了原本是木结构的城堡。1958 年，天守阁用混凝土重建。现在它是一座博物馆，主要展出近代以前的工艺品，还举办试穿武士铠甲等体验活动。从天守阁上举目远眺，可将广岛美景一览无遗。

<繁体字>

廣島城

廣島城又稱「鯉城」，這座高聳的城堡建於 1589 年至 1599 年。城堡與城下町（圍繞當地政治中心發展起來的城鎮），為廣島城發展成為一個繁榮昌盛的工業城市打下了堅實的基礎。讓人心生敬畏的城牆、天守閣、三條護城河（現僅存一條），均由著名武將毛利輝元（1553-1625）所建，當時他統治著包括廣島市在內、現在本州西部的大部分地區。築城所在地之所以選在太田川的三角洲地帶，是因為無論築城還是防禦，平地都更為有利。

1600 年，毛利輝元在決定日本統一的關鍵戰役「關原合戰」中戰敗，被迫離開自己的領地廣島城。不久之後，廣島城就易主至淺野家名下。在武士階層統治的德川幕府時代宣告終結、1868 年明治維新後日本步入「現代化」之前，廣島城一直為淺野家所有。進入 20 世紀，這座城堡成為當時大日本帝國軍隊的主要設施。原來的天守閣在 1931 年被指定為國寶。二戰末期，為了防備同盟國的襲擊，日本軍隊曾在此駐紮。

1945 年，原子彈摧毀了原本木結構的城堡。1958 年，天守閣用混凝土重建。現在它成了一座博物館，主要展出近代以前的工藝品，還開設了武士盔甲試穿等體驗活動。從視野開闊的天守閣居高遠眺，能看到廣島絕佳景色之一。

<日本語仮訳>

広島城

「鯉城」という別名で呼ばれるこのそびえ立つ城は、1589年から1599年にかけて築城されました。城はその城下町とともに、産業都市として繁栄する広島の礎を築きました。畏敬の念を誘う城の石垣、天守閣、三重の堀（現存するのはひとつのみ）は、広島市を含む現在の中国地方の大部分を占める地域を統治していた有力武将の毛利輝元（1553-1625）が築いたものです。太田川のデルタ地帯にある城の立地は、平地のほうが築城にも防御にも比較的都合がよいとの理由で選ばれました。

輝元は、日本の統一へとつながる1600年の関ヶ原の合戦後、自らの牙城を去ることを余儀なくされました。広島城はやがて浅野家に渡り、武士が統治する徳川時代が終わりを告げ、1868年の明治維新後に日本の「近代化」が始まるまで、浅野家が所有し続けました。20世紀に入り、城は当時の大日本帝国軍の主要施設となりました。元々の天守閣は1931年に国宝に指定され、第二次世界大戦末期には、連合国の襲撃に備えてここに軍が駐留しました。

1945年の原爆で木造の城は破壊されてしまいます。1958年に天守閣がコンクリートで再建され、現在では主に近代以前の工芸品を展示したり、武士の甲冑を身に着けるなどの体験型アクティビティを提供したりする博物館となっています。天守閣からの広大な眺めは、広島で見られる素晴らしい景色のひとつです。

<简体字>

广岛什锦烧

“什锦烧”，日语意为“按照自己的喜好烹饪”。这种美食用小麦粉在铁板上煎烤而成，可饭可菜，在日本全国都十分受欢迎。除口味浓郁外，其最大的魅力在于朴实的餐厅、炙热的铁板，以及和朋友轮番操作的乐趣。提及什锦烧，很容易让人联想到关西，但其实受战后复兴时期的影响，它在广岛也尤为受到人们的喜爱。

广岛的什锦烧店，不下千家。既有独立型店铺，也有汇集多家什锦烧店于一处的市集。比如“什锦烧之村”就是一家专为什锦烧摊位开设的三层商铺，里面荡漾着 20 世纪 60 年代的怀旧氛围。

广岛的什锦烧与其他地方的风格有所不同。它并不将所有材料全部混在一起，而是以薄薄的面糊打底，再把肉、海鲜、鸡蛋、面条、蔬菜等食材放在上面逐层摞叠起来，且广岛什锦烧中的卷心菜要比其他地方叠得更高。不过什锦烧犹如其名，自己动手制作时，不必在意规范，自由操作即可。

什锦烧这种“自由”的烹饪法，起源于二战后广岛市民开始重建家园时一种叫“一钱洋食”的平民小吃，即“只花一文钱就能吃到的西点”。最初它是孩子们常吃的零食，慢慢演变成了任何食材都能完美搭配、全年龄层均喜爱的美食，遂被起名为“什锦烧”。与之搭配的特调酱汁也随即研发问世，广岛的大街小巷开始涌现出大批主要由战争遗孀经营的什锦烧摊位和小餐馆，它们对当地的经济复兴发挥了重要的作用。

<繁体字>

廣島什錦燒

「什錦燒」,日語本意為「按照自己的喜好料理」。這種美食用麵粉在鐵板上煎烤而成的,可飯可菜,在日本全國都十分受歡迎。除了濃郁的味道,其最大的魅力在於樸實的餐廳、炙熱的鐵板,以及和朋友輪番操作的樂趣。什錦燒很容易讓人聯想到關西,但其實受戰後復興時期的影響,它在廣島也受到人們的喜愛。

廣島的什錦燒店超過一千家。除了獨立店鋪外,也有匯集各家什錦燒於一地的市集,如「什錦燒之村」,3層樓全被什錦燒店家佔據,頗有一種20世紀60年代的古早懷舊氛圍。

廣島的什錦燒與其他地方的風格有所不同。它並不將所有材料全部混在一起,而是以薄薄的麵糊打底,再將肉、海鮮、雞蛋、麵條、蔬菜等食材放逐層疊加,口感層次分明,且廣島什錦燒中的高麗菜要比其他地方堆得更高。當然,什錦燒猶如其名,不受束縛,材料自由搭配。

什錦燒這種「自由」的烹飪法,源於二戰後廣島市民重建家園時的食物,原名「一錢洋食」的平民小吃,意為“只花一文錢就能吃到的西點”。最初這是孩子們常吃的零食,慢慢成為任何食材都能完美搭配、全年齡層均喜愛的美食,遂被取名為「什錦燒」,與之搭配的特調醬汁也隨後研發問世。廣島的大街小巷開始如雨後春筍般出現主要由戰爭遺孀經營的什錦燒攤位和小餐館,對當地的經濟復甦發揮了重要的作用。

<日本語仮訳>

広島お好み焼き

文字通り「好きなように焼いたもの」を意味するお好み焼きは、味わい深い、小麦粉を鉄板の上で焼いて作られた、日本中で人気のある料理です。その魅力を大きく占めるのは、その濃厚な味のほかに、気取らないレストランに集まって熱く焼けた鉄板の上で代わる代わる焼き上がっていく楽しさです。お好み焼きは関西を連想させる料理でもありますが、戦後の復興と密接に結びついている広島では、特別に愛されています。

広島にあるお好み焼き店の数は軽く 1000 軒を超え、独立型の店舗もあれば、お好み村（「お好み焼きの村」）のように店が集まっているところもあります。その 3 階建ての建物は 1960 年代のような雰囲気醸し、お好み焼きの屋台だけで成り立っています。

広島のお好み焼きはほかの地域のスタイルとは異なり、すべてを混ぜ合わせるのではなく、薄い生地をベースとしてその上に具材を層にして積み重ねます。肉、魚介類、卵、麺、野菜などが主な材料で、キャベツを他の種類のお好み焼きに比べてはるかに高く積み上げます。これら基本的な特徴はさておき、その料理名が示すように、食べる人は好きなものを何でも自由に加えればいいのです。

お好み焼きに対するこの「自由」なやり方は、広島市民が終戦直後に生活を立て直そうとしていた時期に食べていたものが起源となっています。元は一銭洋食（「ワンコインの西洋食」）という名で子供たちが昔からおやつに食べていたものが変化し、手に入る食材を何でも使ってすべての年代の人々に食される料理になったのです。そしてそれはお好み焼きと呼ばれるようになり、間もなくそれに合う特別なソースが作られました。主に戦争未亡人たちが経営するお好み焼きの屋台や小さなレストランが街のあちこちに現れ、地元の経済復興の重要な役割を担ったのです。

<简体字>

广岛牡蛎

广岛牡蛎，因其个大饱满、口感鲜嫩而备受青睐。大约 500 年前，广岛就开始养殖牡蛎，现在它已成为该地区饮食文化的核心。与日本国内及国外其他地区不同，广岛牡蛎多用于烹调后食用，而非生食。历经几个世纪，广岛人民研究出了花样繁多的本地特色食谱，或烤、或炸、或炖……这些烹饪方法，赋予了牡蛎各种全新的味道与口感，所以即便是儿童或不喜生食海鲜的人也能接受。

广岛牡蛎之所以个大味美，与广岛的地理条件和养殖技术密切相关。通常牡蛎的养殖周期为一年，但广岛牡蛎则需要花费一年半甚至两年的时间悉心养殖。在广岛湾的浅滩上设有近万只浮筏，因多条流经此处的河流为广岛湾带来源源不断的养分，牡蛎在这里可以摄取无穷无尽的浮游生物为食。此外，辽阔的广岛湾适合大规模养殖牡蛎，且湾内波平浪静，浮筏不会逐波漂走。

每年的1月、2月是广岛牡蛎的最佳品尝期，直到3到4月期间，味道依旧十分鲜美。美味的牡蛎既可成为一顿丰盛晚餐的亮点，也是一味制作广岛风味什锦烧中至高的食材。

<繁体字>

廣島牡蠣

廣島牡蠣（蚶），因其豐富的口感及較大較飽滿的尺寸而備受喜愛。在距今大約 500 年前廣島就開始養殖牡蠣，牡蠣是廣島地區的飲食文化核心。與日本國內及國外其他地區不同的是，廣島牡蠣主要是烹調後食用，而不是生食，此與台灣的特色小吃如「蚵爹」、「蚵仔煎」類似。因此，幾個世紀以來，或燒、或烤、或炸、或燉……人們研究出了花樣繁多的本地特色食譜。正是這些烹飪方法給牡蠣帶來了各種全新的味道和口感，讓孩子們以及不愛生食魚貝類的人們也能輕鬆接受。

廣島的牡蠣大顆且美味，這與廣島的地理條件與養殖技術密切相關。通常牡蠣的培育時間為一年，但廣島牡蠣則需要一年半到兩年。在廣島灣的淺灘上設置有近萬隻牡蠣養殖木筏，多條流經此處的河流為廣島灣帶來了豐富的養分，牡蠣在這裡能夠攝取源源不斷的浮游生物。廣闊的廣島灣適合大規模養殖牡蠣，且灣內波平浪靜，使得木筏不被潮流沖走。

每年的 1 月和 2 月是廣島牡蠣的最佳品嚐時節，即便是 3 到 4 月期間，味道也依然鮮美。牡蠣既是一頓豐盛晚餐的亮點，也是一味製作廣島風味什錦燒的美味食材。

<日本語仮訳>

広島牡蠣

広島牡蠣（台湾では「蚶」とも言う）は、その豊かな味わいと平均より大きなサイズとで珍重されています。広島では500年近く前から養殖が行われており、この地域の食文化の中心となっています。日本国内や海外の他の地域とは異なり、広島牡蠣は生よりも主に調理して食べられてきたため、焼いたり揚げたり煮込んだり（台湾の「蚶爹」や「蚶仔煎」などに似ている）など、何世紀にもわたってさまざまな地元レシピが考案されてきました。これらの料理法が牡蠣にさまざまな新しい味や食感をもたらし、子供たちや生の魚介が苦手な人々にも受け入れられるようになったのです。

広島牡蠣の大きさや味が優れているのは、地理的特徴と養殖技術の組み合わせの賜物です。ここでは通常の1年ではなく、1年半から2年かけて辛抱強く育てられる牡蠣もあります。複数の川が広島湾に絶えず栄養分を供給しており、その湾の浅瀬に牡蠣を取り付けた筏が1万近く設置され、そこで成長する牡蠣たちは絶え間なくプランクトンにありつくことができます。広大な面積を誇る湾がこの規模での養殖を可能にしている一方で、小さく穏やかな波のおかげで、筏を安全にその場に留めておけるのです。

広島牡蠣は毎年1月と2月が旬ですが、3月から4月にかけても非常に美味しいとされています。その牡蠣は充実したディナーの目玉ですが、広島風お好み焼きの美味しい食材にもなります。

<简体字>

广岛土特产

广岛拥有很多有名的地方特产和饮品，其中大多都得益于广岛独特的气候和自然环境。比如广岛牡蛎、柠檬，以及其他柑橘类水果加工食品，它们都是极受欢迎的观光伴手礼。此外，还有著名的广岛风味什锦烧等乡土料理。

位于本通商店街的“梦广场”（此处备有各种满载旅游信息、含中文等多国语言的免费指南手册），是选购伴手礼的好地方，里面广岛产的美食和饮品琳琅满目。在“梦广场”及市内其他商店出售的特产中，使用香橙制作的黄油蛋糕特别人气。香橙是一种原产于亚洲的柑橘类水果，广岛及周边地区也是其优质产地。

在众多与广岛渊源颇深的食物里，有一种名叫“八朔”的柑橘类水果，酸味极强。这种水果最初发现于广岛县内的某座寺庙里，随后得到广泛种植。有一种名为“八朔大福”的日式点心，就是以八朔为馅的糯米团子。广岛名优特产里面，还有一款发源于宫岛的“红叶馒头”，外皮是枫叶形状的蛋糕，里面为红豆沙馅。

不喜甜食的人可选择可直接食用的鱿鱼天妇罗，或各类什锦烧风味的美食。还有油炸小吃“炸内脏”，香脆可口，与啤酒乃为绝配。清酒首推在广岛本地酒中最负盛名的“贺茂鹤”，2014年美国前总统巴拉克·奥巴马访问日本时，曾与日本前首相安倍晋三对饮过这款清酒。

<繁体字>

廣島特產

廣島擁有許多有名的當地特產和飲品，其中大多都得益於廣島獨特的氣候和自然環境。比如廣島產的牡蠣、檸檬，以及其他柑橘類水果加工食品，它們都是極受歡迎的觀光伴手禮。此外，還有著名的廣島風味什錦燒等本土料理。

位於本通商業街的「夢廣場」（此處備有各種免費的旅遊指南，上面列有豐富的旅遊資訊，配有中文等多國語言。）是選購伴手禮的好去處，裡面廣島產的美食和飲品琳琅滿目。在「夢廣場」及市內其他商店出售的特產中，最受歡迎的產品之一是用香橙製作的奶油蛋糕。香橙是原產於亞洲的柑橘類水果，在廣島周邊地區長勢尤其旺盛。

在眾多與廣島淵源頗深的食物里，有一種名叫「八朔」的柑橘類水果，酸味極為強烈。這種水果最初發現於廣島縣內的某座寺廟裡，隨後得到廣泛種植。有一種名為「八朔大福」的日式點心，就是將八朔加工成餡料，然後再用柔軟的糯米團將其包裹。廣島名特產裡面，還有一款發源於宮島的「紅葉饅頭」，它是在楓葉形狀的蛋糕內加入紅豆沙餡做成。

不喜甜食的人可以選擇可直接食用的魷魚天婦羅或各種什錦燒風味的美食。還有油炸小吃「炸內臟」，香脆可口，十分適合佐與啤酒。清酒首推在廣島本地酒中最負盛名的「賀茂鶴」。2014年，美國前總統巴拉克·歐巴馬訪問日本時，曾與日本前首相安倍晉三共飲過這款酒。

<日本語仮訳>

広島のお土産

広島には地元ならではのさまざまな食べ物や飲み物の名産品があり、お土産として人気です。その多くは、地元産の牡蠣、レモンや他の柑橘類を使った加工食品など、広島の気候と自然の恵みから生まれたものです。その他にも、有名な広島風お好み焼きなど、この土地で生まれた郷土料理もあります。

本通りの商店街にある「夢ぷらざ」では、広島産の食べ物や飲み物が種類豊富に取り揃えられています。（もちろん豊富な観光情報が載った様々な無料のパンフレットも揃っており、中国語など多言語のパンフレットもあります。）この施設や市内の他のお店でも売られているお土産の中では、柚子を使ったバターケーキが人気です。柚子はアジア原産の柑橘類で、広島周辺では特によく育ちます。

広島にゆかりの深い食べ物には、はっさくという酸味が強いオレンジのような果実があります。広島県内のお寺で発見されて広まった果物で、餡に加工して柔らかいお餅で包んだお菓子がはっさく大福として売られています。広島名産のお菓子には、もみじ饅頭もあります。宮島が発祥のお菓子で、モミジの葉の形のケーキに小豆餡が入っています。

辛党におすすめのお土産には、そのまま食べられるイカの天ぷらなど、お好み焼き風味のものが色々あります。せんじ揚げはホルモンを油で揚げたコリコリした食感のスナックで、ビールのおつまみとして人気です。日本酒では、広島の地酒の中でも最高峰が賀茂鶴です。2014年にバラク・オバマ前アメリカ大統領が来日した際、安倍晋三首相と共に楽しんだことでも有名なお酒です。

<简体字>

广岛本地酒

广岛被誉为日本三大酒乡之一，是著名的清酒产地。广岛清酒味道丰满、品种繁多，因此受到很高的赞誉。2014年美国前总统巴拉克·奥巴马访问日本时，与日本前首相安倍晋三对饮的便是广岛产的本地酒。

然而，广岛清酒迄今为止的发展道路并不平坦。尽管广岛拥有肥沃的土壤、温暖的气候、纯净的水源和空气这些酿造清酒所需的几乎所有的自然条件，但传统酿酒法一般使用的是硬水，而广岛的水则是软水。直到1898年，广岛酿酒师三浦仙三郎（1847-1908）研发出了用软水酿造清酒的工艺，这才开启了广岛本地酒绚烂的历史。甚至有爱酒人士认为它比其他地方采用硬水酿造的清酒有过之而无不及。三浦仙三郎研发的具有划时代意义的工艺，逐渐在广岛的酿酒师中传播普及，又经不断改良，使得广岛本地酒的声誉越来越高，终获“吟酿酒”之美誉。为了纪念三浦仙三郎的功绩，在广岛县东部的榊山八幡神社里立有他的铜像。

广岛本地酒虽然都是采用了三浦仙三郎研发的工艺酿造，但各个品牌都有自己特有的风格，有的辛辣，有的甘甜，还有的能品尝到一股浓香。初尝广岛本地酒当首推享有盛名、广受喜爱的“加茂鹤大吟醸”，日本前首相安倍晋三招待美国前总统奥巴马时，请他品尝的就是这款清酒。

<繁体字>

廣島本地酒

廣島被譽為日本三大酒鄉之一，是著名的清酒產地。當地產的清酒味道醇厚豐滿、種類豐富，獲得了極高讚譽。2014年美國前總統巴拉克·歐巴馬訪問日本時，與日本前首相安倍晉三對飲的酒也是廣島的本地酒。

然而，廣島酒這一傲人成績得來也實屬不易。儘管廣島擁有釀造清酒所需的幾乎所有的自然條件——肥沃的土壤、溫暖的氣候、乾淨的水和空氣，但傳統的釀酒過程中使用的是硬水，而廣島的水則是軟水。直到1898年，廣島本地的釀酒家三浦仙三郎（1847-1908）研發出了用軟水釀造清酒的工藝，才開啟了今日廣島本地酒光輝的歷史篇章。採用這種工藝釀造的清酒，其味道不僅不亞於其他地方用硬水釀造的酒，甚至還有愛酒者認為它更美味。三浦仙三郎研發的具有劃時代意義的工藝，在廣島的釀酒廠中廣泛普及，經過不斷改良，廣島本地酒的聲譽越來越高，遂被譽為「吟釀酒」。為了紀念三浦仙三郎的功績，在廣島縣東部的榊山八幡神社立有他的銅像。

廣島本地酒雖都是採用三浦仙三郎研發的工藝釀造而成，但不同品牌的清酒都有其獨特的風味，有的辛辣，有的香甜，還有的能品嚐到一股濃香。作為廣島本地酒的入門級品牌，首推富有盛名、廣受喜愛的「加茂鶴大吟釀」，日本前首相安倍晉三與美國前總統歐巴馬就曾共飲此酒。

<日本語仮訳>

広島の地酒

広島は日本の三大酒どころの一つに数えられるほど有名な日本酒の産地で、豊かな風味を持つ様々な地酒が高い評価を得ています。2014年にバラク・オバマ前アメリカ大統領が来日した際、安倍晋三首相と飲み交わしたお酒も、広島の地酒でした。

とはいえ、ここに至るまでには困難もありました。広島には、おいしい米を育む豊かな土壌、温暖な気候、綺麗な水と空気という、日本酒の醸造に必要な自然の恵みのほとんどが揃っています。しかし、伝統的な酒造りでは硬水が使われるところ、広島の水は軟水なのです。1898年、地元の酒造家の三浦仙三郎（1847-1908）が軟水で日本酒を作る手法を開発し、現在の優れた広島の地酒の歴史が始まりました。この醸造法により、他の土地の硬水で造った酒にも負けないどころか、より美味しいという愛好家もいるほどの日本酒が造れるようになったのです。三浦の考案した画期的な手法は広島酒造家の間に広まり、さらに改良を重ねることで産み出された酒は次第に高い評価を得、吟醸酒と呼ばれるようになりました。広島県東部の榊山八幡神社には、三浦の功績を称える銅像があります。

広島地酒は三浦の考案した手法で作られていますが、辛口から甘口、さらには深い香りが楽しめるものなど、銘柄によって独特の個性があります。広島地酒の入門としておすすめの銘柄は加茂鶴大吟醸です。安倍首相とオバマ全大統領が飲んだことでも有名なこの醸造酒は、手に入りやすく広く親しまれています。

<简体字>

纸鹤塔

纸鹤塔建于 2016 年，是广岛市一个全新的时尚旅游景点。从这里能够将原子弹爆炸遗址和广岛市的美景一览无余。正如其名，整座建筑以纸鹤为主题，而纸鹤寄托了广岛市民对原子弹爆炸死难者的哀悼之念。和祈愿未来和平的纸鹤一样，纸鹤塔亦是广岛市走向未来的象征。

沿着螺旋状的楼梯往上，走到尽头就会看到设计精美的“广岛之丘”瞭望台。瞭望台宽敞的空间内用天然木材做成地板，地板在广岛之丘上平缓的铺展开去，给人时尚且惬意的感觉。瞭望台周围采用无窗玻璃式设计，让游客可以在清爽怡人的微风里，尽情欣赏眼前绵延的城市风景和远处的葱郁群山。天气晴朗的时候，还能看到 22 公里外的世界文化遗产——宫岛。夜幕降临时，从这里眺望的夜景也异常美丽。

游客还可以在位于广岛之丘下方、12 楼的纸鹤广场参加各种数字体验活动。在体验完比自身还大的电子虚拟折纸后，也不妨实际折一只纸鹤。工作坊内的多语种网络 APP，可用多国语言介绍纸鹤的折法，因此即便完全没有折纸经验也不用担心。折完后，可以把寄托了对和平祈愿的纸鹤投到透明的“纸鹤之壁”中，纸鹤飘落至地面不断向上堆积。游客在一楼能看到开馆以来投入的纸鹤总量。此外，一楼还有咖啡厅和售卖广岛特产的商店。

外国游客只要出示护照，就能够享受门票打折等优惠。请务必提前确认营业时间。

<繁体字>

紙鶴塔

紙鶴塔建成於 2016 年，是廣島市一個全新的時尚旅遊勝地。從塔上眺望，能夠將原子彈爆炸遺址和廣島市的絕美景色一覽無遺。正如其名，整座建築以紙鶴為主題，而紙鶴寄託了廣島市民對原子彈轟炸罹難者的哀悼之意。和祈願未來和平的紙鶴一樣，紙鶴塔亦是廣島市走向未來的象徵。

沿著螺旋狀的樓梯往上走，走到盡頭就會看到設計精美的「廣島之丘」瞭望台。瞭望台寬敞的空間裡使用天然木材作為地板，地板在廣島之丘上平緩的鋪展開去，時尚愜意。它是一個開放式觀景平臺，採用無窗玻璃式設計，讓遊客在清爽怡人的微風裡，能盡情欣賞到眼前綿延的城市和遠處的群山風景。天氣晴朗的時候，還能看到 22 公里以外的世界文化遺產——宮島。夜幕降臨時，這裡的夜景也異常美麗。

紙鶴廣場位於廣島之丘下方的第 12 樓，遊客可以在這裡參加各種數位體驗活動。在體驗過比自身都大的數碼虛擬折紙後，不訪試著自己折一隻紙鶴。工作坊內設置的多國語言 APP，會向大家介紹紙鶴的折法。即便沒有任何摺紙經驗也不用擔心。摺好後，可以將寄託和平的紙鶴投到透明的「紙鶴之壁」中，紙鶴飄落到地面不斷向上堆積。遊客在一樓能看到從紙鶴塔開館到現在投入的紙鶴總量。此外，一樓設有咖啡廳和購買廣島伴手禮的商店。

外國遊客只要出示護照，就能夠享受門票打折等優惠。前往時務必提前查詢開放時間。

<日本語仮訳>

おりづるタワー

2016年に建てられたおりづるタワーは、広島のお洒落な新しい観光名所です。原爆ドームと広島市の素晴らしい景色を一望できるこの建物は、その名の通り折り紙の鶴がテーマになっています。折り鶴は、広島の人々の原爆の犠牲者に対する祈りのシンボルです。平和な未来を願うという意味もある折り鶴のように、おりづるタワーも未来に向かう広島市の象徴なのです。

らせん状の階段を上ってゆくと、おりづるタワー最上階には美しいデザインの展望デッキ「ひろしまの丘」があります。ひろしまの丘の緩やかに傾斜した広いデッキの床には天然木が使われており、現代的でありながら心休まる空間です。窓ガラスのない設計のため、外からは爽やかな風が吹き込み、眼下に広がる都市と遠くの山々の風景を楽しめます。晴れた日には、22km先の世界遺産、宮島が見えることもあります。夜景も非常に綺麗です。

ひろしまの丘の下にある12階のおりづる広場では、様々なデジタルアクティビティの体験ができます。デジタルの折り紙でできた自分自身よりも大きいアバターを作るなどの体験をした後は、自分で折り紙の鶴を折ってみましょう。ワークスペースでは、多言語対応のおりづるの折り方を紹介するwebアプリも用意されているため、折紙を折ったことがない方も、安心してお楽しみいただけます。平和への静かな祈りを込めて折った折り鶴は、「おりづるの壁」の中に投入できます。透明なこの壁に投入された折り鶴は、地上の高さまで落ちて積み重なっていきます。おりづるタワーの開館から現在までに投入された折り鶴の数は1階に表示されています。1階には他にも、カフェや広島のお土産が買えるショップもあります。

外国人はパスポートを提示するだけで、チケットの割引などの特典があります。なお、営業時間は事前にご確認ください。

<简体字>

袋町小学

袋町小学位于距原子弹爆炸中心东南方向 460 米处，它在日本遭受原子弹袭击后的救援活动中，发挥了极其重要的作用。现在，袋町小学是一座和平资料馆，里面保存着在原子弹爆炸后的残骸里发现的各种力证受害状况的资料，其中还包括幸存者们竭尽全力写下的留言。通过亲眼目睹这些实实在在的遗物，能切身感受到全球最初遭受原子弹攻击的国民的痛苦。

袋町小学于 1876 年在现址上兴建，校舍采用的是当时常见的木结构。西校舍（现在的和平资料馆）于 1937 年扩建。建校之初的老校舍被原子弹彻底摧毁，但新建的西校舍为钢筋混凝土建筑，其外壳并没有坍塌。当时，大部分小学生都被疏散到了外地，但仍有部分学生留在广岛。原子弹投掷的那天，袋町小学约有 160 名学生在校上课，幸存者仅寥寥数人，还有 16 名教职员工也不幸罹难。

正是得益于当时的最新建筑西校舍的保护，3 名儿童才能够幸免于难。原子弹投下的瞬间，这 3 名儿童待在至今仍然存在的西校舍内侧，之后移动到了地下室（现在地下 3 米的地方）。在此之前，其中一人正打着赤脚在室外玩耍，因被命令穿鞋才跑进校舍，转眼间，原子弹投下。

原子弹爆炸的第二天，出于救护幸存者的迫切需要，袋町小学成为临时救助站。当时，红十字国际委员会的派遣员、瑞士籍医生马塞尔·朱诺（1904-1961）来到日本，对救助站的工作做出了重大贡献。朱诺医生马不停蹄地忙于灾民救治。在袋町，他每天治疗近百名患者。为了表彰其卓越的功绩，在和平资料馆外立有朱诺医生的肖像浮雕。

袋町小学于 1946 年 6 月重新恢复上课，当时有 37 名学生和 3 名教师在校。西校舍在经过修复以后的数年里，一直都在使用。但鉴于其过于老化，决定在保留部分建筑的前提下进行重建。1999 年，地方政府职员在剥去墙壁上的灰泥时，发现了幸存者手写的留言。此后，在校舍的其他地方也发现了同样的留言，于是建筑物保护计划得以进一步推进，并在此建立了一个独立的资料馆。

<繁体字>

袋町小學

袋町小學位於距原子彈爆炸中心東南方向 460 公尺處。它在日本遭受原子彈襲擊後的救援活動中，發揮了極其重要的作用。現在，它是一座和平資料館，裡面保存著從殘骸裡發現的各種證明原子彈轟炸受害狀況的資料，其中包括遭受原子彈襲擊後的倖存者們拼盡全力寫下的留言。通過親眼目睹這些實實在在的遺物，能切身感受到世界上第一個遭受原子彈攻擊的國家民眾的痛苦。

袋町小學於 1876 年在現址上興建，校舍採用的是當時常見的木造結構。西校舍（現為和平資料館），則建於 1937 年。建校之初的校舍被原子彈徹底摧毀，但因新建的西校舍為鋼筋混凝土建築，其外牆並沒有坍塌。當時，大部分小學生都被疏散到了外地，但仍有一部分學生留在廣島。原子彈轟炸那天，袋町小學當時約有 160 名學生在校上課，倖存者寥寥可數。此外，該校還有 16 名教職員工遇難。

正是得益於當時的最新建築西校舍的保護，3 名兒童才能夠倖免於難。原子彈投下的瞬間，這 3 名兒童待在至今仍保留的西校舍內側，之後移動到了地下室（現在地下 3 公尺的地方）。在此之前，其中一人正打著赤腳在室外玩耍，因被命令穿鞋才跑進校舍，轉眼間，原子彈落下。

原子彈轟炸的第二天，出於救護倖存者的迫切需要，袋町小學成為臨時救助站。當時，國際紅十字會的派遣員、瑞士籍醫生馬塞爾·朱諾（1904-1961）來到日本，對救助站的工作做出了重大貢獻。朱諾醫生馬不停蹄地忙於災民救治。在袋町，他每天要治療近百名患者。為了表彰其卓越的功績，在和平資料館外立有朱諾醫生的肖像浮雕。

袋町小學於 1946 年 6 月恢復上課，當時有 37 名學生和 3 名教師在校。西校舍在經過修復後數年裡，一直都在使用。但鑒於過度老化，決定在保留部分建築的前提下進行重建。1999 年，地方政府職員在鏟去牆壁上的灰泥時，發現了原子彈轟炸倖存者手寫的留言。此後，在校舍的其他地方也發現了同樣的留言，因此建築物保護計劃得以推進，並建立了一個獨立的資料館。

<日本語仮訳>

袋町小学校

爆心地から南東に460mの場所にある袋町小学校は、原爆投下直後の救護活動で重要な役割を果たした場所です。現在は平和資料館になっており、原爆による破壊の跡から見つかった数々の被爆資料が保存されています。その中には、原爆投下直後の日々に生存者たちが必死の思いで書き記した伝言も含まれています。こうした遺物の実物に触れることで、世界最初の核による攻撃を受けた人々の痛ましい状況に思いを寄せることができるでしょう。

袋町小学校は、1876年に現在と同じ場所で開校しました。校舎は当時の主流だった木造の建物でした。現在平和資料館として使用されている西側の校舎は、1937年に増築されたものです。開校当初の校舎は原爆で完全に破壊されましたが、新しかった西校舎の鉄筋コンクリートの建物は外殻が崩れずに残りました。原爆投下当時、小学校に通う年代の子供たちはほとんどが広島県外に疎開していました。しかし、まだ残っていた児童もあり、袋町小学校には約160名の児童が通っていましたが、生存者はわずか数名でした。また、同校では教職員16名も犠牲になっています。

生き残った児童3人の命を守ったのは、当時の最新の建築だった西校舎の建物でした。原爆投下の瞬間、この3人は西校舎の中でも現在まで残っている内側にあたる部分にいて、その後地下室（現在地下3mの場所）に移動したといいます。1人はその直前に屋外で裸足で遊んでいたところ、靴を履くように言われて建物の中に入った時に原爆が投下されました。

原爆投下の翌日、袋町小学校は生存者の救護の必要に迫られて、臨時の救護所になりました。当時赤十字国際委員会の派遣員として日本にいたスイスの医師、マルセル・ジュノー（1904-1961）は、この救護所の活動に大きく貢献しました。ジュノーは休むことなく被災者の救護にあたり、袋町で1日に100人近い患者を治療していました。その功績を称えて、平和資料館の外にはジュノー医師の肖像のレリーフが設置されています。

袋町小学校で授業が再開されたのは1946年6月で、当時通っていたのは児童37名と教員3名でした。西校舎は修復されてその後何年も使われていましたが、老朽化が限界に達したため、一部を保存して建て替えられることになりました。1999年という近年になって、自治体職員が壁の漆喰を剥がしたところ、原爆を生き延びた人々の手書きの伝言が発見されました。さらに建物の他の場所でも伝言が見つかったことから、建物の保存の計画を発展させ、独立した資料館が作られることになったのです。

<简体字>

本川小学

本川小学位于元安川河畔，与原子弹爆炸遗址隔江相望，现在是“和平资料馆”。这所小学距离爆炸中心仅 410 米，是广岛地区最靠近原子弹爆炸中心的学校。该校于 1928 年建成，当时是广岛市内第一座钢筋混凝土结构的三层建筑，也是广岛第一座钢筋混凝土结构的校舍。

1945 年 8 月 6 日是广岛学校的上课日。上午 8 点 15 分，原子弹投下。除钢筋混凝土外墙和地下室以外，本川小学的全部校舍都被夷为平地。校长、10 名教职员工以及大约 400 名儿童不幸遇难。直到今天，没有人知道他们临终前最后一刻是什么模样，人们只能猜测，正因为原子弹投下时还没有开始上课，所以大多数孩子才会聚在校园里玩耍。

据悉，这所学校的幸存者只有一名教师和一名儿童。那名幸免于难的儿童后来这样描述当时的情景：当时她在校舍大门的内侧，在听到一声巨大的响声之后，周围的一切都笼罩在一片漆黑之中。当她走到外面的校园里时，只看见太阳从漆黑的天空中散发出微弱的光芒，在校舍外的同学被原子弹爆炸所释放的热辐射能量瞬间烧成灰烬。

1946 年 2 月，本川小学重新开课。起初，它还是一个临时安置学校。这里有一张非常打动人心的照片，拍摄于 1947 年，在附近只剩下骨架的原子弹爆炸遗址的背景下，活力四射的孩子们重返校园，开心玩耍。

小学部分旧校舍被保存下来，并于 1988 年作为本川小学和平资料馆对外开放。曾经的三层建筑物只剩下一层和地下室。目前，保存这一建筑遗骸的工作还在持续中。在建筑内墙上依旧能寻到 1945 年 8 月 6 日那天留下的黑色煤烟与斑斑创痕。资料馆内陈列有被烧毁的电话总机台，以及原子弹爆炸遗址阳台柱子被烧得焦黑的碎片等展品。另还有一组大型模型非常引人注目，它再现了当时市内的惨状，模型上方的红色火球是原子弹投掷点（此模型曾在广岛和平纪念资料馆展出）。

<繁体字>

本川小學

本川小學位於元安川河畔，與原子彈爆炸遺址隔江相望，現在被用作「和平資料館」。這所小學距離爆炸中心只有 410 公尺，是廣島地區距離爆炸中心最近的學校。該校於 1928 年建成，當時是廣島市內第一座鋼筋混凝土結構的三層建築，也是廣島第一座鋼筋混凝土結構的校舍。

1945 年 8 月 6 日是廣島學校的上課日。上午 8 點 15 分，原子彈投下。除鋼筋混凝土外牆和地下室以外，本川小學的全部校舍都被夷為平地。校長、10 名教職員工以及大約 400 名兒童不幸遇難。直到今天，沒有人知道他們臨終前最後一刻是什麼模樣，人們只能猜測，正因為當時還沒有開始上課，才會有很多兒童在校園裡玩耍。

根據了解，這所學校的倖存者只有一名教師和一名兒童。那名倖存的兒童後來這樣描述當時的情景：當時她在校舍大門的內側，在聽到一聲巨大的響聲之後，周圍的一切都被籠罩在了一片漆黑之中。當她走到外面的校園時，就看見太陽從漆黑的天空中散發出微弱的光芒，在校舍外的同學被原子彈爆炸所釋放的熱輻射能量瞬間燒成灰燼。

1946 年 2 月，本川小學重新開課。起初，它還是一個臨時安置學校。這裡有一張非常打動人心的照片，拍攝於 1947 年，在附近只剩下骨架的原子彈爆炸遺址的背景下，活力四射的孩子們再次在校園裡開心地玩耍。

小學部分舊校舍被保存下來，並於 1988 年作為本川小學和平資料館對外開放。曾經的三層建築物只剩下一層和地下室。目前，保存這一建築遺骸的工作仍持續進行中。在建築內牆上依舊能看到 1945 年 8 月 6 日那天產生的黑色煤煙和創痕。資料館內陳列有被燒毀的電話機台、原子彈爆炸遺址陽臺柱子被燒得焦黑的碎片等展品。另還有一組大型模型非常引人注目，它再現了當時市內的慘狀，模型上方的紅色火球是原子彈投擲點（此模型曾在廣島和平紀念資料館展出）。

<日本語仮訳>

本川小学校

本川小学校は原爆ドームから元安川を挟んだ向かい側に位置し、現在は平和資料館として使用されています。爆心地からわずか 410m と、広島で最も爆心地に近かった学校です。1928 年の完成当時は、広島市内で最初の鉄筋コンクリート 3 階建ての建物であり、鉄筋コンクリートの校舎も広島ではここが初めてでした。

1945 年 8 月 6 日は、広島では学校の授業がある平日でした。午前 8 時 15 分に原爆が投下され、本川小学校の校舎は鉄筋コンクリートの外壁と地下室を除く全てが完全に破壊されました。校長、10 名の教職員、約 400 名の児童たちが犠牲となり、現在に至るまで彼らの最期の様子を知る人はいません。ただ、授業が始まる前の時間だったことから、原爆投下当時は多くの児童が校庭で遊んでいたと考えられています。

この学校での生存者は、教員 1 名と児童 1 名のみだったとされています。生き残った児童は後に当時のことを証言し、彼女は校舎の玄関の内側にいて、とてつもなく大きな音が聞こえた後、周りの全てが真っ暗闇に包まれたと話しました。外の校庭に出て行くと黒くなった空から太陽の光が薄く射しており、外にいた級友は核爆発による熱放射で一瞬にして灰になっていたといいます。

本川小学校で授業が再開されたのは 1946 年 2 月。最初はまだ仮設の教室でした。1947 年、骨組みだけになった近くの原爆ドームを背景に、再び元気に校庭で遊んでいる子供たちを写した、胸を打つような写真が残っています。

元の校舎の一部は保存され、1988 年に本川小学校平和資料館として開館しました。かつて 3 階建てだった建物は 1 階と地下のみの姿になり、この遺構を保存する取り組みは現在も続いています。建物内部の壁には 1945 年 8 月 6 日についた黒い煤が残り、多くの傷跡が見られます。展示品には焼けた電話交換台や原爆ドームのバルコニー柱の黒焦げになった破片などがあり、中でも破壊された市内を再現した大規模な模型が目を引きまします。模型の上の赤い火の玉は原子爆弾が爆発した位置を示すものです。（この模型は、以前は広島平和記念資料館に展示されていたものです。）

<简体字>

什锦烧体验教室——OKOSTA

什锦烧是二战后流传于广岛地区的一种用小麦粉在铁板上煎烤而成的美食，也是广岛最具代表性的乡土料理。想要领略广岛风味什锦烧的独特魅力，最佳选择是去广岛市的OKOSTA（什锦烧体验工作室）自己亲手制作即可。在这里，可以愉快轻松地体验正宗的广岛什锦烧。这家专业什锦烧料理教室兼餐厅，由该行业的专家 Otafuku Sauce 公司运营。Otafuku Sauce 最先研发出了什锦烧专用的酱料，是一家在日本家喻户晓的广岛企业。

什锦烧体验的主角，是一块跟台球桌差不多大小的巨型铁板。一块铁板四周可容纳 10 人（体验需提前预约），同样的铁板在整个设施内共有 4 块，所以最多同时能容下 40 人。在穿上围裙，戴上厨师帽后，一位热心的工作人员（可英语交流）将用通俗易懂的方式教授如何制作什锦烧。一般的店铺只是把做好的什锦烧放在铁板上让顾客享用，而在这里，从把打底面糊放在铁板上做成圆形薄饼这一步骤开始，可全程体验。

做好面饼之后，再把肉、面条、鸡蛋、蔬菜等食材逐层摞叠。这种料理方法，特别是堆积如山的卷心菜，是广岛风味什锦烧的一大特色（例如大阪，需要把食材和面糊搅拌后再煎烤）。自己亲手制作好什锦烧后，只需刷上 Otafuku Sauce 研制的美味酱料，就可在巨型铁板上直接享用。

<繁体字>

什錦燒體驗 OKOSTA

什錦燒是二戰後流傳於廣島地區的一款用麵粉在鐵板上煎烤而成的美食，也是廣島最具代表性的本土料理。想要領略廣島風味什錦燒的獨特魅力，最佳選擇是去廣島市的 OKOSTA（什錦燒體驗工作室）自己親手製作即可，您可在此愉快輕鬆地體驗正宗的廣島什錦燒。這家專業的什錦燒料理教室兼餐廳，由什錦燒行業的專家 Otafuku Sauce 經營。Otafuku Sauce 最先研發出了什錦燒專用的醬料，是一家在日本家喻戶曉的廣島企業。

什錦燒體驗的主角，是一塊跟撞球桌差不多大小的巨型鐵板。一塊鐵板四周最多可容納 10 人體驗（需提前預約），同樣的鐵板在整個設施內共有 4 塊，可同時容納 40 人。當您穿上圍裙，戴上廚師帽後，一位熱心的工作人員（可英語交流）會用淺顯易懂的方式教授您如何製作什錦燒。一般的店鋪只是將做好的什錦燒放在鐵板上讓顧客享用，在這裡，從把鋪底的麵糊放在鐵板上做成圓形薄餅這一步驟開始，全程都可自己動手做。

在做好薄餅之後，還要把肉、麵條、雞蛋、蔬菜等配料層層堆疊在上面。這種料理方式，特別是堆積如山的高麗菜絲，是廣島風味什錦燒的一大特色（比如大阪風味的特點就是，將配料與麵糊攪拌後再煎烤）。自己親手製作好什錦燒後，您只需刷上 Otafuku Sauce 研製的美味醬料，就可在巨型鐵板上立即享用。

<日本語仮訳>

お好み焼き体験 OKOSTA-オコスタ-

お好み焼きは、戦後の広島で小麦粉を鉄板の上で焼いて作られた料理で、広島を象徴するソウルフードです。広島風お好み焼きのユニークな魅力を味わうなら、広島市のオコスタ（お好み焼き体験スタジオ）で自分で作ってみるのが一番です。ここはお好み焼きのエキスパートであるオタフクソースが運営する施設で、本格的ながら気軽に体験できる、お好み焼き専門の料理教室&レストランです。始めてお好み焼き専用のソースを開発したオタフクは、日本中の家庭でおなじみの広島の企業です。

楽しい体験の中心は、ビリヤード台ほどのサイズの巨大な鉄板。一度に最大で 10 人が参加できます（体験には事前予約が必要です）。同じ鉄板が施設内に 4 つあり、全部合わせてオコスタの定員は 40 人です。シェフのエプロンと帽子を身に着いたら、熱心なスタッフ（英語対応可能）が作り方をわかりやすく教えてくれます。調理されたお好み焼きが鉄板の上に出されて食べるだけの普通の店とは違い、ここでは土台となる生地を鉄板に丸く落とすところから自分で作ることができます。

土台の次は、肉や麺、卵、野菜などの具をどんどん重ねていきます。この構造と山盛りのキャベツが、広島風お好み焼き独特の特徴です。例えば大阪風のお好み焼きでは、具は焼く前に生地に混ぜます。自分の手で完成させたお好み焼きは、オタフクの美味しいソースをかけて、巨大な鉄板から直接食べられます。

<简体字>

长崎的吉利支丹文化历史

圣方济各·沙勿略于 1549 年赴日，同时将基督教传入日本。基督教曾于日本盛极一时，然而 1587 年，丰臣秀吉下令将天主教神父驱逐出境，随后德川幕府采取持续施压的立场，最终对基督教实行了长达约 260 年的全面禁教。

长崎是日本基督教信仰的中心，甚至被冠以“日本的罗马”之称。负责取缔“吉利支丹”的核心官员正是“长崎奉行”。当时从吉利支丹身上没收的圣画、圣器等，皆存放于长崎奉行所的“宗门藏”（宗教物品储藏室）中，并受严格管理。

<繁体字>

長崎的吉利支丹文化歷史

1549年，聖方濟各·沙勿略赴日，同時將基督教傳入日本。基督教曾於日本盛極一時，然而1587年，豐臣秀吉下令驅逐天主教神父，隨後德川幕府採取持續施壓的立場，最終對基督教實行了長達約260年的全面禁教。

長崎是日本基督教信仰的中心，甚至被冠以「日本的羅馬」之稱。負責取締「吉利支丹」的核心官員正是「長崎奉行」。當時從吉利支丹身上沒收的聖畫、聖器等，皆存放於長崎奉行所的「宗門藏（宗教物品儲藏室）」，並受嚴格管理。

<日本語仮訳>

長崎のキリシタン文化の歴史

日本におけるキリスト教の宣教は、1549年のフランシスコ・ザビエルの来日とともに始まりました。キリスト教は一時隆盛を誇りましたが、1587年の豊臣秀吉によるカトリックの神父の追放令の後、徳川幕府は次第に弾圧的な姿勢をとるようになり、ついにはその後約260年にわたって続くこととなったキリスト教の全面禁止が敷かれました。

長崎は、日本におけるキリスト教信仰の中心地で、「日本のローマ」と称されるほどでした。そのため、日本のキリシタンと呼ばれるキリスト教信徒の取り締まりにおいて中心的な役目を担ったのは長崎奉行でした。キリシタンから没収した聖画や信心具等は、ここ長崎奉行所の宗門蔵くまで厳重に管理されました。

<简体字>

世界文化遗产：长崎和天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产

无传教士环境下发展出的独有宗教传统

——世界遗产与“构成资产”之价值

“长崎与天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产”遗产群，是日本潜伏吉利支丹所留下的传统遗迹。纵然当时有将传教士驱逐出境的禁令，潜伏吉利支丹仍选择与神道、佛教等日本传统宗教和睦共存，且与整个社会保持接触，同时借此秘密维持着自身的信仰。此处介绍的世界遗产由 12 处相关资产构成，涉及内容包括：（1）传教士被逐出日本、吉利支丹开始潜伏的缘由；（2）吉利支丹暗中坚守信仰，同时维持社群关系的方式；（3）基督教信仰因吉利支丹与传教士的重新接触而复兴。基督教于“地理大发现”时代首度传入亚洲，范围涵盖位于东亚的日本。彼时日本的传教活动以长崎地区最为兴盛，因此下列 12 处“构成资产”皆分布于长崎之半岛及其离岛。

何谓“世界遗产”

世界遗产，意指大自然或人类创造出的历史无价之宝，其价值无可取代。每项遗产隶属全球所有国家，国际社会应致力于维护及传承。世界遗产分为三大类别：分别是“文化遗产”，包括具有显著普遍价值的纪念物、建筑群以及遗迹；“自然遗产”，包括具有显著普遍价值的地形地质、生态系统以及濒危动植物物种生态区；“复合遗产”，即兼具文化遗产及自然遗产双重定义的遗产。目前全球已有超过 1,100 项世界遗产，其中大部分属于世界文化遗产。

1 原城迹

这里是“岛原-天草起义”的主战场遗址。由于吉利支丹在此战中落败，日后只能被迫在摸索中秘密发展其独有的信仰方式。

2 平户的圣地与春日村落（春日村落与安满岳）

3 平户的圣地与春日村落（中江之岛）

早在基督教普及开来之前，这一区域就已将受人信奉的山岳，以及吉利支丹殉教的岛屿奉为朝拜对象，以秘密延续信仰。

（摄影：日暮雄一）

(摄影：日暮雄一)

4 天草的崎村落

此村落居民将生活中的日用品替代圣器，从而秘密实践信仰。

(摄影：日暮雄一)

5 外海的出津村落

此一潜伏吉利支丹的村落中，居民通过暗中参拜基督教的圣画，从而实践信仰。

6 外海的大野村落

此地区的居民秘密将自己的信仰对象供奉于当地神社，从而实践信仰。

(摄影：日暮雄一)

7 黑岛村落

此村落的居民移居至平户藩的牧场旧址，通过开发来维持社群关系。

8 野崎岛村落旧址

吉利支丹移居至这座曾是神道圣地的岛屿，从而维持社群关系。

(摄影：日暮雄一)

9 头岛村落

头岛原本是用于隔离天花患者的岛屿。日后移居此处的吉利支丹成功维持了社群关系。

10 久贺岛村落

此村落的居民遵从五岛藩的移居政策，来到这片未经开拓的土地，并成功维持了社群关系。

11 奈留岛的江上村落（江上天主堂及其周边）

此村落于禁教时期形成。基督教解禁后落成的教堂，象征吉利支丹终结潜伏时代。

12 大浦天主堂

潜伏吉利支丹曾在此处与法国传教士相接触，即史称“信徒发现”事件的地点。该事件成为吉利支丹结束地下信徒生活的转折点。

<繁体字>

世界文化遺產：長崎和天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產

無傳教士環境下發展出的獨有宗教傳統

——世界遺產與「構成資產」之價值

遺產群「長崎與天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產」，是日本潛伏吉利支丹所留下的傳統遺跡。儘管當時有將傳教士驅逐出境的禁令，潛伏吉利支丹仍選擇與神道、佛教等日本傳統宗教和諧共存，且與整個社會保持接觸，同時秘密維持著自身的信仰。此處介紹的世界遺產由12處相關資產構成，涉及內容包括：（1）傳教士被逐出日本、吉利支丹開始潛伏的緣由；（2）吉利支丹秘密堅守信仰，同時維持社群關係的方式；（3）基督教信仰因吉利支丹與傳教士的重新接觸而復興。基督教於「地理大發現」時代首度傳入亞洲，範圍涵蓋位於東亞的日本。當時日本的傳教活動以長崎地區最為興盛，因此下列12處「構成資產」皆分布於長崎的半島及其離島。

何謂「世界遺產」

世界遺產，意指大自然或人類創造出的歷史珍寶，其價值無可替代。每項遺產隸屬全球所有國家，國際社會應致力維護及傳承。世界遺產分為三大類別：分別是「文化遺產」，包括具有顯著普遍價值的紀念物、建築群以及遺跡；「自然遺產」，包括具有顯著普遍價值的地形地質、生態系統以及瀕危動植物物種生態區；以及「複合遺產」，即兼具文化遺產及自然遺產雙重定義的遺產。目前全球已有超過1,100項世界遺產，其中大部分屬於世界文化遺產。

1 原城跡

這裡是「島原-天草起義」的主戰場遺址。由於吉利支丹在此敗戰，日後只能被迫在摸索中秘密發展其獨有的信仰方式。

2 平戶的聖地與春日聚落（春日聚落與安滿岳）

3 平戶的聖地與春日聚落（中江之島）

早在基督教傳開前，這一區域就已將受人信奉的山岳，以及吉利支丹殉教的島嶼奉為朝拜對象，以秘密延續信仰。

（攝影：日暮雄一）

(攝影：日暮雄一)

4 天草的崎津聚落

此聚落居民將生活中的日用品替代聖器，秘密實踐信仰。

(攝影：日暮雄一)

5 外海的出津聚落

此一潛伏吉利支丹的聚落中，居民通過暗中參拜基督教的聖畫，以實踐信仰。

6 外海的大野聚落

此地區的居民秘密將自己的信仰對象供奉於當地神社，以實踐信仰。

(攝影：日暮雄一)

7 黑島聚落

此聚落的居民移居至平戶藩的牧場舊址，通過開發來維持社群關係。

8 野崎島聚落舊址

吉利支丹移居至這座曾是神道聖地的島嶼，從而維持社群關係。

(攝影：日暮雄一)

9 頭島聚落

頭島本是用來隔離天花患者的島嶼。日後移居此處的吉利支丹成功維持了社群關係。

10 久賀島聚落

此聚落的居民遵從五島藩的移居政策，來到這片未經開拓的土地，成功維持了社群關係。

11 奈留島的江上聚落（江上天主堂及其周邊）

此聚落於禁教時期形成。基督教解禁後落成的教堂，象徵著吉利支丹潛伏時代的終結。

12 大浦天主堂

潛伏吉利支丹曾在此處與法國傳教士接觸，即史稱「信徒發現」事件的地點。該事件成為吉利支丹結束地下信徒生活的轉折點。

<日本語仮訳>

世界文化遺産：長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

宣教師不在の中で発展した独自の宗教的伝統

一この世界遺産と構成資産の価値

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、日本の潜伏キリシタンの伝統の証である遺産群です。宣教師を国外に追放したキリスト教禁止令にも関わらず、潜伏キリシタンは神道や仏教などの日本の伝統的宗教や一般社会と関わりながら彼らの宗教を維持しました。この世界遺産は（１）宣教師が国外に追放されキリシタンが潜伏することになったきっかけ、（２）キリシタンがひそかに信仰を実践し共同体を維持するためにとった戦略、そして（３）宣教師との再接触をきっかけにキリスト教信仰が復活した転機、に関連する 12 の構成資産から成ります。大航海時代に初めてアジアに伝えられたキリスト教は、同時期にアジアの東端に位置する日本にも伝わりました。日本での宣教活動は長崎地方でもっとも集中的に行われたため、この 12 の構成資産はこの地方の半島や離島に点在しています。

世界遺産とは何か

世界遺産とは、自然、あるいは人類によって生み出されたかけがえのない過去からの宝物です。その遺産は世界のすべての国々に帰属しており、国際社会はこの遺産を未来へと伝えていくことを決めました。世界遺産は三つのカテゴリに分類されています。文化遺産のカテゴリには、顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡が含まれます。自然遺産は、顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、絶滅のおそれのある動植物の生息・生育地などです。複合遺産は、文化遺産と自然遺産の両方の定義を兼ね備えているものです。世界遺産の登録件数は 1,100 件を超えており、そのほとんどが世界文化遺産に分類されています。

1 原城跡

「島原・天草一揆」の主戦場跡。ここでの敗戦により、キリシタンは潜伏し密かに独自の信仰の方法を模索することを余儀なくされた。

2 平戸の聖地と春日集落（春日集落と安満岳）

3 平戸の聖地と春日集落（中江ノ島）

これらの共同体はキリスト教が伝わる以前から信仰されていた山やキリシタンが殉教した島を拝むことによってひそかに信仰を実践した。

（写真：日暮雄一）

（写真：日暮雄一）

4 天草の^{しまつ}崎津集落

この集落の人々は、身近なものを信心具として代用することによってひそかに信仰を実践した。

(写真：日暮雄一)

5 外海の出津集落

この潜伏キリシタンの集落では、キリスト教由来の聖画をひそかに拝むことによって信仰を実践した。

6 外海の大野集落

この地域の人々は、在来の神社にひそかにまつた自らの信仰対象を拝むことによって信仰を実践した。

(写真：日暮雄一)

7 黒島の集落

この集落の住民は、平戸藩の牧場跡に移住し、開拓することによって共同体を維持した。

8 野崎島の集落跡

キリシタンは、神道の聖地であった島に移住することによって共同体を維持した。

(写真：日暮雄一)

9 頭ヶ島の集落

頭ヶ島は、もともと天然痘患者を隔離するために使われていた。島に移住したキリシタンは共同体を維持することができた。

10 久賀島の集落

これらの集落の住民は、五島藩の移住政策に従って未開拓地に移住することによって共同体を維持することができた。

11 奈留島の江上集落（江上天主堂とその周辺）

この集落は禁教期に形成された。キリスト教解禁後に建てられた教会堂は、潜伏キリシタンの時代が終わったことを可視的に表すもの。

12 大浦天主堂

キリシタンの潜伏が終わるきっかけとなった、潜伏キリシタンがフランス人宣教師に接触した「信徒発見」と呼ばれる出来事が起こった場所。

<简体字>

以长崎为中心的吉利支丹相关年表

基督教的传入与繁荣

1549 年（天文 18 年）

耶稣会传教士圣方济各·沙勿略将基督教传入日本

【图片 01】 《圣方济各像》（神戸市立博物馆）

1550 年（天文 19 年）

圣方济各·沙勿略于平户开始传教

1562 年（永禄 5 年）

大村纯忠于横濑浦（现西海市）开港

1563 年（永禄 6 年）

岛原半岛的传教活动日渐兴盛

大村纯忠接受洗礼，成为首位吉利支丹大名

【图片 02】 收录于《日本殉教精华》的大村纯忠像

1566 年（永禄 9 年）

路尔斯·德·阿尔梅达及其他外国传教士受邀至五岛传教

1569 年（永禄 12 年）

长崎首座教堂“诸圣教堂”落成

1570 年（元龟元年）

大村纯忠决意开港长崎

1571 年（元龟 2 年）

首艘葡萄牙船自长崎入港

1580 年（天正 8 年）

神学校建立于安土及有马（现南岛原市），神学院建立于丰后

大村纯忠将长崎的六个町（日本的市街区画）以及茂木（现长崎市）赠与耶稣会

1585 年（天正 13 年）

四名天正遣欧少年使节晋见罗马教廷额我略十三世

【图片 03】 天正遣欧少年使节、Augsburg NeueZeyttung（京都大学附属图书馆）

打压吉利支丹

1587 年（天正 15 年）

丰臣秀吉下令将基督教神父驱逐出境（伴天连追放令）

【图片 04】 《伴天连追放令》（松浦史料博物馆）

1588 年（天正 16 年）

丰臣秀吉将长崎、茂木、浦上纳入幕府的直辖领地

1590 年（天正 18 年）

天正遣欧少年使节返日，将西洋的活版印刷机等一并带回

1593 年（文禄 2 年）

方济各会传教士伯多禄·包蒂斯塔·布拉斯奎兹赴日，开始替方济各会传教

1596 年（庆长元年）

浦户发生西班牙加利恩帆船遇难的“圣菲利浦号事件”

1597 年（庆长元年）

日本二十六圣人（包含传教士与一般信徒）遭处决而殉教

1601 年（庆长 6 年）

于长崎海岬设立的日本主教区大神学校，首度诞生两名日本籍祭司

1602 年（庆长 7 年）

道明会及圣奥古斯丁修道会的传教士赴日

1603 年（庆长 8 年）

《こんちりさんのりやく》（Konchirisan no ryaku）（彻底的痛悔・抄）编成

【图片 05】 《痛悔的恩惠》抄本（长崎历史民俗资料馆）

1605 年（庆长 10 年）

“长崎代官”（地方官）以浦上村北部作为交换，将大村属地——长崎村纳入将军直辖领地

1612 年（庆长 17 年）

冈本大八事件

幕府下令所辖之领地内禁止基督教

1613 年（庆长 18 年）

伊达政宗任命支仓常长为赴欧使节

1614 年（庆长 19 年）

日本全国颁布基督教禁教令

1614 年（庆长 19 年）

传教士被逐出日本（其后传教士曾数度尝试潜入日本）

教会等基督教相关设施遭到破坏

1616 年（元和 2 年）

除中国船之外，所有外国商船仅可停靠于平户、长崎

1619 年（元和 5 年）

长崎开始检举悬赏活动，鼓励检举吉利支丹

京都大殉教（52 名信徒遭处决）

1622 年（元和 8 年）

元和大殉教（55 名传教士与修道士遭处决）

1623 年（元和 9 年）

江户大殉教（50 名传教士与信徒遭处决）

马尼拉的道明会、方济各会、圣奥古斯丁修道会一同潜入日本

1624 年（宽永元年）

政府禁止西班牙船驶入日本

1626 年（宽永 3 年）

“长崎奉行·河内守”——水野守信下令长崎居民弃教

1627 年（宽永 4 年）

岛原半岛领主松仓重政开始于云仙地狱拷问吉利支丹

1628 年（宽永 5 年）

政府导入“踏绘”仪式，即践踏基督教相关圣画

1629 年（宽永 6 年）—

“长崎奉行·采女正”——竹中重义加强对长崎吉利支丹的镇压

1633 年（宽永 10 年）

奉书船（获准进行海外贸易的船只）以外的船只被禁止驶入日本海域。未取得许可的日本船亦不得驶往海外

耶稣会传教士克里斯多夫·费雷拉弃教

1634 年（宽永 11 年）

《巴斯蒂安历》（教会历）编成

1635 年（宽永 12 年）

日本人被全面禁止前往外国，而居住外国者也被禁止返日

大名与旗本（将军的直属家臣）受命依“寺请制度”于领地内实施严格的宗教清查

1636 年（宽永 13 年）

长崎的人工岛“出岛”落成，葡萄牙人被迫移居此地

【图片 06】 川原庆贺《出岛图》（长崎历史文化博物馆）

1637 年（宽永 14 年）—

岛原-天草起义爆发，起义军占领原城（但于隔年遭攻陷）

1638 年（宽永 15 年）

全国开始检举悬赏银制度，鼓励检举吉利支丹

1639 年（宽永 16 年）

葡萄牙船被全面禁止驶入日本

1640 年（宽永 17 年）

“大目付・筑后守”——井上政重受命担任宗教清查之负责人

1641 年（宽永 18 年）

荷兰东印度公司的商馆从平户迁至出岛

1642 年（宽永 19 年）

耶稣会传教士安东尼奥·鲁比诺神父潜入日本，次年马尔克斯神父紧随其后

1644 年（正保元年）

最后一位传教士小西曼西奥于京都殉教

1657 年（明历 3 年）—

大村藩发生大规模吉利支丹检举事件，逾 400 人遭处决

以外海为中心开展活动的传教士巴斯蒂安遭处决

1660 年（万治 3 年）—

丰后发生大规模检举事件

1661 年（宽文元年）—

浓尾发生大规模检举事件

<繁体字>

以長崎為中心的吉利支丹相關年表

基督教傳入日本及流行

1549年（天文18年）

耶穌會傳教士聖方濟各·沙勿略將基督教傳入日本

【圖片01】 《聖方濟各像》（神戶市立博物館）

1550年（天文19年）

聖方濟各·沙勿略於平戶開始傳教

1562年（永祿5年）

大村純忠於橫瀨浦（現今西海市）開港

1563年（永祿6年）

島原半島的傳教活動日漸興盛

大村純忠接受洗禮，成為首位吉利支丹大名

【圖片02】 《日本殉教精華》收錄之大村純忠像

1566年（永祿9年）

路爾斯·德·阿爾梅達及其他外國傳教士受邀至五島傳教

1569年（永祿12年）

長崎首座教堂「諸聖教堂」落成

1570年（元龜元年）

大村純忠決意開港長崎

1571年（元龜2年）

首艘葡萄牙船自長崎入港

1580年（天正8年）

於安土及有馬（現南島原市）成立神學校，於豐後成立神學院

大村純忠將長崎的六個町（日本的市街區畫）以及茂木（現長崎市）贈與耶穌會

1585年（天正13年）

四名天正遣歐少年使節晉見羅馬教廷額我略十三世

【圖片03】 天正遣歐少年使節、Augsburg NeueZeyttung（京都大學附屬圖書館）

打壓吉利支丹

1587年（天正15年）

豐臣秀吉下令驅逐基督教神父（伴天連追放令）

【圖片04】 《伴天連追放令》（松浦史料博物館）

1588年（天正16年）

豐臣秀吉將長崎、茂木、浦上納入幕府的直轄領地

1590年（天正18年）

天正遣歐少年使節返日，將西洋的活版印刷機等一併帶回

1593年（文祿2年）

方濟各會傳教士伯多祿·包蒂斯塔·布拉斯奎茲赴日，開始為方濟各會傳教

1596年（慶長元年）

浦戶發生西班牙加利恩帆船遇難的「聖菲利浦號事件」

1597年（慶長元年）

日本二十六聖人（傳教士與一般信徒）遭處死而殉教

1601年（慶長6年）

於長崎海岬設立的日本主教區大神學校，首度誕生兩名日本籍祭司

1602年（慶長7年）

道明會及聖奧古斯丁修道會的傳教士赴日

1603年（慶長8年）

《こんちりさんのりやく》（Konchirisan no ryaku）（徹底的痛悔・抄）編成

【圖片05】 《痛悔的恩惠》抄本（長崎歷史民俗資料館）

1605年（慶長10年）

「長崎代官（地方官）」以浦上村北部作為交換，將大村屬地——長崎村納入將軍直轄領地

1612年（慶長17年）

岡本大八事件

幕府下令所轄之領地內禁止基督教

1613年（慶長18年）

伊達政宗任命支倉常長為赴歐使節

1614年（慶長19年）

日本全國發布基督教禁教令

1614年（慶長19年）

傳教士被驅逐出日本（其後傳教士曾數度嘗試潛入日本）

教會等基督教相關設施遭到破壞

1616年（元和2年）

除中國船之外，所有外國商船僅可停靠於平戶、長崎

1619年（元和5年）

長崎開始舉報懸賞活動，鼓勵舉發吉利支丹

京都大殉教（52名信徒遭處死）

1622年（元和8年）

元和大殉教（55名傳教士與修士遭處死）

1623年（元和9年）

江戶大殉教（50名傳教士與信徒遭處死）

馬尼拉的道明會、方濟各會、聖奧古斯丁修道會一同潛入日本

1624年（寬永元年）

政府禁止西班牙船駛入日本

1626年（寬永3年）

「長崎奉行・河內守」——水野守信下令長崎居民棄教

1627年（寬永4年）

島原半島領主松倉重政開始於雲仙地獄拷問吉利支丹

1628年（寬永5年）

政府導入「踏繪」儀式，即踐踏基督教相關聖畫

1629年（寬永6年）—

「長崎奉行・采女正」——竹中重義加強對長崎吉利支丹的打壓

1633年（寬永10年）

禁止奉書船（獲准進行海外貿易的船隻）以外的船隻駛入日本海域。未取得許可的日本船亦不得駛往海外

耶穌會傳教士克里斯多夫·費雷拉棄教

1634年（寬永11年）

《巴斯蒂安曆》（教會曆）編成

1635年（寬永12年）

全面禁止日本人前往外國，且居住外國者禁止返日

大名與旗本（將軍的直屬家臣）受命依「寺請制度」於領地內實施嚴格的宗教清查

1636年（寬永13年）

長崎的人工島「出島」落成，葡萄牙人被迫移居該地

【圖片06】 川原慶賀《出島圖》（長崎歷史文化博物館）

1637年（寬永14年）—

島原-天草起義爆發，起義軍占領原城（隔年遭攻陷）

1638年（寬永15年）

全國開始舉報懸賞銀制度，鼓勵舉發吉利支丹

1639年（寬永16年）

全面禁止葡萄牙船駛入日本

1640年（寬永17年）

「大目付・筑後守」——井上政重受命擔任宗教清查之負責人

1641年（寬永18年）

荷蘭東印度公司的商館從平戶遷至出島

1642年（寬永19年）

耶穌會傳教士安東尼奧·魯比諾神父潛入日本，次年馬爾克斯神父緊隨其後

1644年（正保元年）

最後一位傳教士小西曼西奧於京都殉教

1657年（明曆3年）—

大村藩發生大規模吉利支丹舉報事件，逾400人遭處死

以外海為中心開展活動的傳教士巴斯蒂安遭處死

1660年（萬治3年）—

豐後發生大規模舉報事件

1661年（寬文元年）—

濃尾發生大規模舉報事件

<日本語仮訳>

長崎を中心とするキリシタン関連年表

キリスト教の伝来と繁栄

1549年（天文18）

イエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を伝える

【画像01】《聖ザビエル像》（神戸市立博物館）

1550年（天文19）

フランシスコ・ザビエルが平戸で布教を開始する

1562年（永禄5）

大村純忠が横瀬浦（現西海市）を開港する

1563年（永禄6）

島原半島で布教が進められる

大村純忠が受洗し、初のキリシタン大名となる

【画像02】『日本殉教精華』所収の大村純忠像

1566年（永禄9）

ルイス・デ・アルメイダやその他の外国人宣教師が布教のため五島に招かれる

1569年（永禄12）

長崎で最初の教会トードス・オス・サントス教会（諸聖人教会）が建立される

1570年（元亀1）

大村純忠が長崎の開港を取り決める

1571年（元亀2）

最初のポルトガル船が長崎に入港する

1580年（天正8）

安土と有馬（現南島原市）にセミナリオ、豊後にコレジオが設立される

大村純忠がイエズス会に長崎の六ヶ町および茂木（現長崎市）を寄進

1585 年（天正 13）

四人の天正遣欧少年使節がローマ教皇グレゴリウス 13 世に謁見する

【画像 03】 天正遣欧少年使節、Augsburg NeueZeyttung（京都大学附属図書館）

キリシタンの弾圧

1587 年（天正 15）

豊臣秀吉がキリスト教の神父の追放令（伴天連追放令）を発布する

【画像 04】 「伴天連追放令」（松浦史料博物館）

1588 年（天正 16）

豊臣秀吉が長崎・茂木・浦上を幕府の直轄領にする

1590 年（天正 18）

天正遣欧少年使節が帰国し、西洋の活版印刷機等を持ち帰る

1593 年（文禄 2）

フランシスコ会宣教師ペドロ・パウティスタが来日し、同会の日本における布教が始まる

1596 年（慶長 1）

浦戸でスペインのガレオン船が難破するサン・フェリペ号事件が起こる

1597 年（慶長 1）

日本二十六聖人（宣教師と一般の信徒）が処刑され殉教する

1601 年（慶長 6）

長崎の岬に設けられた日本司教区大神学校で日本人初の司祭 2 名が叙階される

1602 年（慶長 7）

ドミニコ会とアウグスチノ会の宣教師が来日する

1603 年（慶長 8）

『こんちりさんのりやく』（完全なる痛悔・抄）が編纂される

【画像 05】 『こんちりさんのりやく』写本（長崎歴史民俗資料館）

1605 年（慶長 10）

長崎代官が大村領長崎村を将軍の直轄地とし、浦上村北部を替地とする

1612 年（慶長 17）

岡本大八事件

幕府領内でのキリスト教の禁止命令が出される

1613年（慶長18）

伊達政宗が支倉常長を使節として遣欧する

1614年（慶長19）

全国にキリスト教禁教令が発布される

1614年（慶長19）

宣教師が国外追放される（以降、宣教師の日本潜入が度々試みられる）
教会等のキリスト教関連施設が破壊される

1616年（元和2）

唐船を除く外国商船寄港地が平戸・長崎に限定される

1619年（元和5）

長崎で懸賞訴人によるキリシタン摘発が開始される
京都の大殉教（信徒52名の処刑）

1622年（元和8）

元和の大殉教（宣教師と同宿（伝道士）55名の処刑）

1623年（元和9）

江戸の大殉教（宣教師と信徒50名の処刑）
マニラのドミニコ会・フランシスコ会・アウグスチノ会が合同で日本に潜入する

1624年（寛永1）

スペイン船の日本来航が禁止される

1626年（寛永3）

長崎奉行水野河内守守信が長崎住民に棄教を命令する

1627年（寛永4）

島原半島の領主松倉重政が雲仙地獄でのキリシタンの拷問を開始する

1628年（寛永5）

キリスト教由来の絵を踏ませる「踏絵」が導入される

1629年（寛永6）～

長崎奉行竹中采女正重義が長崎のキリシタン弾圧を強化する

1633年（寛永10）

奉書船（海外貿易を許可された船）以外の船による日本の海域への侵入が禁止される。未許可の日本船の海外渡航が禁じられる。

イエズス会宣教師クリストファン・フェレイラが棄教する

1634年（寛永11）

「バスチャンの日繰り」（教会暦）が編纂される

1635年（寛永12）

日本人の海外渡航と海外在住者の帰国が全面的に禁止される

大名と旗本（将軍の直属の家臣）は寺請制度に基づく領内の厳重な宗門改めを実施するよう命じられる

1636年（寛永13）

長崎に人工島である出島が完成し、ポルトガル人は出島に移ることを要求される

【画像06】川原慶賀《出島図》（長崎歴史文化博物館）

1637年（寛永14）～

島原・天草一揆が勃発し、一揆軍が原城に籠城する（翌年陥落）

1638年（寛永15）

全国で訴人懸賞銀制度によるキリシタン摘発が開始される

1639年（寛永16）

ポルトガル船の来航が全面的に禁止される

1640年（寛永17）

大目付井上筑後守政重が宗門改の責任者に任ぜられる

1641年（寛永18）

オランダ東インド会社の商館が平戸から出島に移される

1642年（寛永19）

イエズスの会宣教師アントニオ・ルビノー神父が日本に潜入し、翌年マルケス神父もそれに続く

1644年（正保1）

宣教師小西マンショが京都で殉教する

1657年（明暦3）～

大村藩の大規模キリシタンの摘発「郡崩れ」で400名以上が処刑される
外海を中心に活動していた伝道士バスチャンが処刑される

1660年（万治3）～

豊後崩れ

1661年（寛文1）～

濃尾崩れ

<简体字>

地下信仰时代

1669 年（宽文 9 年）

“长崎奉行・权右卫门”河野通定下令，命铸造师萩原佑佐制作 20 块黄铜“踏绘”（供踩踏用的画板）

1708 年（宝永 5 年）

耶稣会传教士约翰・巴提斯塔・西多契神父潜入日本

1797 年（宽政 9 年）

大村藩与五岛藩缔结协定，下令多余人口迁移，外海的潜伏吉利支丹因此移居至五岛列岛

【图片 07】相传为外海吉利支丹登陆的地点——六方之滨（五岛市）

1790 年（宽政 2 年）—

浦上首次发生大规模检举事件（被山里村的“庄屋”（村长）检举而遭捕的 19 人后因证据不足而获释）

1805 年（文化 2 年）

天草发生大规模检举事件（最初逾 5,000 人被捕，经核实被捕者实则信仰异宗，最终因清白无辜而免罪获释）

1838 年（天保 9 年）

罗马教廷委托巴黎外方传教会赴日传教

1839 年（天保 10 年）或 1842 年（天保 13 年）

浦上发生第二次大规模检举事件（“帐方”（吉利支丹组织的最高负责人）被密告后遭捕，最后获释）

1846 年（弘化 3 年）

巴黎外方传教会的传教士狄铎・福尔卡德神父搭乘的法国军舰停泊于长崎附近海面，但并未获准登陆日本

1853 年（嘉永 6 年）

美国东印度舰队司令官马修·佩里于浦贺入港，要求日本开港通商

1854 年（嘉永 7 年）

幕府与美国签订《神奈川条约》

1856 年（安政 3 年）—

浦上发生第三次大规模检举事件，帐方吉藏等吉利支丹被密告后入狱、遭拷问
此事件被当作“异宗一件”处理

1858 年（安政 4 年）

长崎奉行下令废除踏绘仪式

1858 年（安政 5 年）

日本与五国（美国、英国、法国、荷兰、俄国）签订《安政五国条约》

1862 年（文久元年）

巴黎外方传教会的传教士普鲁登丝·吉拉尔于横滨建立天主堂

1862 年（文久 2 年）

长崎的外国人居留地建立新教教会

罗马将日本二十六圣人列圣（正式承认其成为基督宗教圣人的宗教仪式）

1863 年（文久 2·3 年）

巴黎外方传教会的传教士路易·菲雷神父与贝尔纳·珀蒂让神父相继抵达长崎

1865 年（元治 2 年）

大浦天主堂举行献堂式

信徒发现

1865 年（元治 2 年）

浦上村的潜伏吉利支丹于大浦天主堂主动表明信仰（史称“信徒发现”）

【图片 08】圣母玛利亚像（大浦天主堂）

1867 年（庆应 3 年）—

浦上发生第四次大规模检举事件（“长崎奉行・石见守”——德永昌新袭击浦上的秘密教会）

1868 年（明治元年）

浦上吉利支丹 114 名重要人物被流放至萩、津和野、福山三藩
从流放至返乡的整个过程被称作“旅程”

1868 年（明治元年）—

久贺岛的“牢屋之窄”事件引发日后的五岛大规模检举事件

1870 年（明治 3 年）

3,394 名浦上吉利支丹被流放至 20 藩的 22 个地点。
英、美、法、德大使团要求返还浦上吉利支丹

1871 年（明治 4 年）

岩仓大使团前往西洋各国，后被各国要求开放宗教自由

1873 年（明治 6 年）

吉利支丹禁制的公告被撤除
2,911 名浦上吉利支丹得以返还（613 人于流放期间死亡）

1889 年（明治 22 年）

《大日本帝国宪法》准许宗教自由

1906 年（明治 39 年）

长崎奉行所保存多年的吉利支丹相关遗物于帝室博物馆对公众开放

1930 年（昭和 5 年）

方济各住院会传教士马希连・国柏修道士前往长崎

1945 年（昭和 20 年）

浦上天主堂遭原子弹炸毁

1953 年（昭和 28 年）

大浦天主堂被指定为国宝

1962 年（昭和 37 年）

日本二十六圣人纪念馆与纪念碑揭幕

1977 年（昭和 52 年）

旧长崎奉行所的遗留物被指定为“重要文化财”，其中不乏吉利支丹相关物品

1981 年（昭和 56 年）

罗马教廷若望·保禄二世造访长崎

2008 年（平成 20 年）

长崎市举行日本首次宣福礼

（追封对象为殉教于江户时代的 188 名信徒，包含首名造访耶路撒冷的日本人彼得·岐部）

2018 年（平成 30 年）

“长崎与天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产”登录为世界文化遗产

<繁体字>

地下信仰時代

1669年（寬文9年）

「長崎奉行・權右衛門」——河野通定下令鑄造師萩原祐佐製作20塊黃銅「踏繪（用於踩踏的畫板）」

1708年（寶永5年）

耶穌會傳教士約翰・巴提斯塔・西多契神父潛入日本

1797年（寬政9年）

大村藩與五島藩締結協定，下令多餘人口遷移，外海的潛伏吉利支丹因此移居五島列島

【圖片07】據傳為外海吉利支丹登陸地點的六方之濱（五島市）

1790年（寬政2年）—

浦上首次發生大規模舉報事件（被山里村的「庄屋（村長）」舉發而遭捕的19人後因證據不足而獲釋）

1805年（文化2年）

天草發生大規模舉報事件（最初逾5,000人被捕，經核實被捕者實則信仰異宗，最終因清白無罪而獲釋）

1838年（天保9年）

羅馬教廷委託巴黎外方傳教會赴日傳教

1839年（天保10年） 或1842年（天保13年）

浦上發生第二次大規模舉報事件（「帳方（吉利支丹組織的最高負責人）」被密告後遭捕，最後獲釋）

1846年（弘化3年）

巴黎外方傳教會的傳教士狄鐸・福爾卡德神父搭乘的法國軍艦停泊於長崎附近海面，但並未被獲准登陸日本

1853年（嘉永6年）

美國東印度艦隊司令官馬修·佩里於浦賀入港，要求日本開港以進行貿易

1854年（嘉永7年）

幕府與美國締結《神奈川條約》

1856年（安政3年）—

浦上發生第三次大規模舉報事件，帳方吉藏等吉利支丹被密告後入獄、遭拷問
此事件被當作「異宗一件」處理

1858年（安政4年）

長崎奉行下令廢除踏繪儀式

1858年（安政5年）

日本與五國簽訂《安政五國條約》（美國、英國、法國、荷蘭、俄國）

1862年（文久元年）

巴黎外方傳教會的傳教士普魯登絲·吉拉爾於橫濱建立天主堂

1862年（文久2年）

長崎的外國人居留地建立新教教會

羅馬將日本二十六聖人列聖（正式承認其成為基督宗教聖人的宗教儀式）

1863年（文久2・3年）

巴黎外方傳教會的傳教士路易·菲雷神父與貝爾納·珀蒂讓神父相繼抵達長崎

1865年（元治2年）

大浦天主堂舉行獻堂式

信徒發現

1865年（元治2年）

浦上村的潛伏吉利支丹於大浦天主堂主動表明信仰（史稱「信徒發現」）

【圖片08】聖母瑪利亞像（大浦天主堂）

1867年（慶應3年）—

浦上發生第四次大規模舉報事件（「長崎奉行・石見守」——德永昌新襲擊浦上的秘密教會）

1868年（明治元年）

浦上吉利支丹114名主要人物被流放至萩、津和野、福山三藩
從流放至返鄉的整個過程被稱作「旅程」

1868年（明治元年）—

久賀島的「牢屋之窄」事件引發日後的五島大規模舉報事件

1870年（明治3年）

3,394名浦上吉利支丹被流放至20藩的22個地點。

英、美、法、德大使團要求返還浦上吉利支丹

1871年（明治4年）

岩倉大使團前往西洋各國，後被各國要求開放自由信教

1873年（明治6年）

吉利支丹禁制的公告被撤除

2,911名浦上吉利支丹得以返還（流放期間613人死亡）

1889年（明治22年）

《大日本帝國憲法》准許自由信教

1906年（明治39年）

長崎奉行所保存多年的吉利支丹相關遺物於帝室博物館對外公開

1930年（昭和5年）

方濟各住院會傳教士馬希連・國柏修士前往長崎

1945年（昭和20年）

浦上天主堂遭原子彈炸毀

1953年（昭和28年）

大浦天主堂被指定為國寶

1962年（昭和37年）

日本二十六聖人紀念館與紀念碑揭幕

1977年（昭和52年）

舊長崎奉行所的遺留物被指定為「重要文化財」，其中不乏吉利支丹相關物品

1981年（昭和56年）

羅馬教廷若望・保祿二世造訪長崎

2008年（平成20年）

長崎市舉行日本首次宣福禮

（追封對象為188名於江戶時代殉教的信徒，包含首名造訪耶路撒冷的日本人彼得・岐部）

2018年（平成30年）

「長崎與天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產」登錄為世界文化遺產

<日本語仮訳>

潜伏の時代

1669 年（寛文 9）

長崎奉行河野権右衛門通定が鋳物師萩原祐佐に真鍮製の踏絵 20 枚を製作させる

1708 年（宝永 5）

イエズス会宣教師ジョバンニ・シドッチ神父が日本に潜入する

1797 年（寛政 9）

大村藩と五島藩との間に余剰人口を移住させる協定が成立した結果、外海の潜伏キリシタンが五島列島に移住する

【画像 07】外海のキリシタンが上陸したと伝えられる六方の浜（五島市）

1790 年（寛政 2）～

浦上一番崩れ（山里村庄屋の訴えにより捕縛された 19 名は証拠不十分で放免される）

1805 年（文化 2）

天草崩れ（5,000 名以上が捕縛されるも最終的に異宗信仰の心得違いとして放免される）

1838 年

ローマ教皇庁が日本での宣教をパリ外国宣教会に託す

1839 年（天保 10） もしくは 1842 年（天保 13）

浦上二番崩れ（密告により帳方などが捕縛されるも放免される）

1846 年（弘化 3）

パリ外国宣教会宣教師テオドール・フォルカード神父が乗船したフランス艦が長崎沖に停泊する。上陸は許可されなかった

1853 年（嘉永 6）

アメリカ東インド艦隊司令長官マシュー・ペリーが浦賀に来航し、貿易のために日本の港を開港するよう求める

1854 年（嘉永 7）

幕府と米国間で日米和親条約が締結される

1856年（安政3）～

密告により帳方の吉蔵をはじめとするキリシタンが投獄、拷問された浦上三番崩れが起こる
この事件は異宗一件として処理される

1858年（安政4）

長崎奉行が踏絵廃止を命令する

1858年（安政5）

安政五カ国条約が締結される（米国、英国、フランス、オランダ、ロシア）

1862年（文久1）

パリ外国宣教会宣教師ブリュダンス・ジラルが横浜に天主堂を建立する

1862年（文久2）

長崎の外国人居留地にプロテスタントの教会が建設される

ローマで日本二十六聖人が列聖される

1863年（文久2・3）

パリ外国宣教会の宣教師レイ・フューレ神父とベルナル・プティジャン神父が相次いで長崎に到着する

1865年（元治2）

大浦天主堂の献堂式が行われる

信徒発見

1865年（元治2）

大浦天主堂で浦上村の潜伏キリシタンが信仰を告白する（信徒発見）

【画像08】聖母マリア像（大浦天主堂）

1867年（慶応3）～

浦上四番崩れ（長崎奉行徳永石見守昌新が浦上の秘密教会を襲撃する）

1868年（明治1）

浦上キリシタンの中心人物114名が萩・津和野・福山の3藩に流配される

流配から帰郷までの一連の流れは「旅」と呼ばれる

1868年（明治1）～

久賀島の「牢屋の窄」事件を皮切りに五島崩れが始まる

1870年（明治3）

浦上キリシタン3,394名が20藩22箇所に流配される。
英米仏独公使団が浦上キリシタンの帰還を要求する

1871年（明治4）

岩倉使節団が西洋諸国に出発し、渡航の先々で信教の自由化を求められる

1873年（明治6）

キリシタン禁制の高札が撤去される
浦上キリシタン2,911名が帰還する（流配中、613名が死亡）

1889年（明治22）

大日本帝国憲法により信教の自由が認められる

1906年（明治39）

長崎奉行所旧蔵キリシタン関係遺物が帝室博物館で一般公開される

1930年（昭和5）

コンベンツアル聖フランシスコ修道会宣教師マキシミアノ・マリア・コルベ修道士が長崎に来る

1945年（昭和20）

原子爆弾により浦上天主堂が倒壊する

1953年（昭和28）

大浦天主堂が国宝に指定される

1962年（昭和37）

日本二十六聖人記念館と記念碑が公開される

1977年（昭和52）

その多くがキリシタン関連であった旧長崎奉行所の遺品が重要文化財に指定される

1981年（昭和56）

ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世が長崎を訪問する

2008年（平成20）

日本で初めての列福式が長崎市で行われる

（日本人で初めてエルサレムを訪れたペトロ岐部他 187 名を含む江戸時代に殉教した信徒 188 名が対象とされた）

2018 年（平成 30）

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録される

<简体字>

长崎奉行所保管多年的潜伏吉利支丹相关遗物

明治时代之前，基督教的相关物品皆被严加保管于长崎奉行所的“宗门藏”（宗教物品储藏室）中，如今的长崎历史文化博物馆正是修建于其旧址之上。“宗门藏”的保管品包括为了检举吉利支丹而迫使其践踏的“踏绘”、传教士带入日本的圣画，以及于浦上第三次及第四次大规模检举中没收的物品等。1867年，浦上发生第四次大规模检举事件，而信徒遭到流放后，身上配戴的圣器亦被没收并送还长崎县。

1874年，相关文物从长崎县移送至东京，最初由明治政府的教部省管理，其后接连辗转于内务省社寺局、管理博物馆的博物局、农商务省等相关部门，最终由日后管辖博物馆的宫内省接手。1906年，在帝室博物馆的第5回特别展“嘉永以前西洋输入品及参考品”中，吉利支丹的相关遗物首次向公众公开。二战后，所有吉利支丹的遗物皆被移交至东京国立博物馆，并于1977年被指定为日本的“国家重要文化财”。

吉利支丹相关遗物的分类

1879年12月，吉利支丹的相关遗物从内务省社寺局转交内务省博物局管理。其中部分载明了相关来历，部分则无相关记录。

1. “原长崎奉行所宗门藏保管”
2. “1856年保管于长崎奉行所”
3. “1867年没收自长崎浦上村吉利支丹”
4. “没收自长崎浦上村”

东京国立博物馆将载有上述来历的文物归纳为“长崎奉行所旧藏”，其余来历不明的文物则归为“接管自内务省社寺局”。1977年，被分类为“长崎奉行所旧藏”的文物几乎皆被指定为日本“国家重要文化财”。

东京国立博物馆的遗物藏品除了来自长崎，亦包含京都福知山及福井的吉利支丹相关遗物。

<繁体字>

長崎奉行所保留多年的潛伏吉利支丹相關遺物

明治時代以前，基督教的相關物品皆被嚴密保管於長崎奉行所的「宗門藏（宗教物品儲藏室）」中，如今的長崎歷史文化博物館正是修建於其舊址之上。「宗門藏」的保管品包括為了舉發吉利支丹而逼迫其踐踏的「踏繪」、傳教士帶入日本的聖畫，以及於浦上第三次及第四次大規模舉報中沒收的物品等。1867年，浦上發生第四次大規模舉報事件，而信徒遭流放後，身上配戴的聖器亦被沒收並送回長崎縣。

1874年，相關文物從長崎縣移送至東京，最初由明治政府的教部省管理，其後接連輾轉於內務省社寺局、管理博物館的博物局、農商務省等，最終由日後管轄博物館的宮內省接手。1906年，帝室博物館的第5回特別展「嘉永以前西洋輸入品及參考品」中，吉利支丹的相關遺物首次向大眾公開。第二次世界大戰後，所有吉利支丹的遺物皆被移交至東京國立博物館，並於1977年指定為日本「國家重要文化財」。

吉利支丹相關遺物的分類

1879年12月，吉利支丹的相關遺物從內務省社寺局轉交內務省博物局管理。其中部分載明相關來歷，部分則無相關紀錄。

1. 「原長崎奉行所宗門藏保管」
2. 「1856年保管於長崎奉行所」
3. 「1867年沒收自長崎浦上村吉利支丹」
4. 「沒收自長崎浦上村」

東京國立博物館將載有上述來歷的文物歸為「長崎奉行所舊藏」，其餘來歷不明的文物則歸為「接管自內務省社寺局」。1977年，被分類為「長崎奉行所舊藏」的文物幾乎皆被指定為日本「國家重要文化財」。

東京國立博物館的藏品除了來自長崎的遺物外，亦包含京都福知山及福井的吉利支丹相關遺物。

<日本語仮訳>

長崎奉行所旧蔵潜伏キリシタン関係遺物について

明治が始まるまで、キリスト教に関わるものは、現在長崎歴史文化博物館が建っている場所にあった長崎奉行所の「宗門蔵」で厳重に管理されていました。そこには、キリシタンを摘発するために信者に踏ませる「踏絵」や宣教師たちが日本に持ちこんだ聖画、浦上三番崩れ・浦上四番崩れの際の没収品などが収められていました。1867年の浦上四番崩れでは、流配先でも信徒が身につけていた信心具が没収され、長崎県に送り返されました。

1874年、これらの資料は、長崎県から東京に移され、最初に明治政府の教部省で管理された後、内務省社寺局、博物館を管轄する同博物局、農商務省の各所を転々とし、最終的に博物館を管轄することになった宮内省に落ち着きました。キリシタン関係遺物は、1906年の帝室博物館の第5回特別展「嘉永以前西洋輸入品及参考品」において初めて一般公開されました。第二次世界大戦後、キリシタン関係遺物一式は東京国立博物館に移管されました。キリシタン関係遺物は1977年に国の重要文化財に指定されました。

キリシタン関係遺物の分類

キリシタン関係遺物は、1879年12月に内務省社寺局から内務省博物局に引き継がれました。その中には台帳に来歴が記載されている資料と来歴が記載されていない資料とがありました。

1. 「もと長崎奉行所宗門蔵保管」
2. 「1856年長崎奉行所に収納」
3. 「1867年長崎浦上村切支丹より収納」
4. 「長崎浦上村にて収納」

そこで、東京国立博物館では上記のとおり来歴が記されているものを「長崎奉行所旧蔵」とし、来歴が不明のものは「内務省社寺局から引継ぎ」と分類することとしました。1977年に、「長崎奉行所旧蔵」に分類された資料のほとんどが国の重要文化財に指定されました。

東京国立博物館には、長崎にゆかりのある遺物の他に、京都福知山や福井のキリシタンに関する遺物も収蔵されています。

<简体字>

1. “吉利支丹”受难之始：丰臣秀吉至德川幕府初期

丰臣秀吉与伴天连追放令

1549年，耶稣会传教士圣方济各·沙勿略赴日，基督教就此于日本萌芽。新宗教在日本飞速盛行，然而当时渴望一统日本的丰臣秀吉，在毫无征兆的情况下，于1587年颁布了将基督教神父驱逐出境的命令——伴天连追放令，并禁止民众信仰基督教。1588年，丰臣秀吉将长崎、茂木、浦上三地划为直辖领地，而这三地曾被大村纯忠、其子大村喜前，以及有马晴信赠予耶稣会。

1596年，西班牙船“圣菲利普号”漂流至日本。当时有谣传称，基督教四处传教，实则为了日后的武力侵略布局。听信于此的丰臣秀吉于1597年2月在长崎西坂处决26名天主教徒（该事件后被称作“日本二十六圣人之殉教”，死者包含方济各会与耶稣会的传教士及信徒）。然而，鉴于之后丰臣秀吉仍然持续保持着对欧洲商贸往来的积极态度，造成禁教令未能彻底实施，因此禁教后尚有不少传教士暗中继续传教。

德川幕府与禁教令

丰臣秀吉于1598年离世。1603年，身为秀吉后继者的德川家康开启了江户幕府，他最初亦为了商贸而容忍基督教的存在，此一做法与丰臣秀吉无异。从此日本基督教徒持续增加，巅峰时期甚至超过30万人。

1610年1月，有马晴信向葡萄牙船“慈悲圣母号”发起攻击。之后的1612年更是发生了与吉利支丹大名相关的阴谋事件（冈本大八事件等）。德川家康于1605年退位，后继的第二代将军德川秀忠因前述种种事由在处理基督教问题上更加谨慎。1612年，德川秀忠针对江户及京都等幕府的直辖领地颁布禁教令；随后的1614年，日本全国全面禁止信仰基督教。从此，日本的基督教徒便步入了一段漫长的受难岁月，直至约260年后禁教令解除为止。

(图片说明)

(图 1)

大村纯忠是首位吉利支丹大名，就任期间曾准许长崎开港。1571年，共两艘葡萄牙船入港。

摘自 Cardim《日本殉教精华》1646年初版·1650年刊行本

(长崎历史文化博物馆)

(图 2)

1597 年，日本二十六圣人于长崎西坂殉教。殉教者于 1862 年被封圣。
《日本的殉教者们》1628 年
(长崎历史文化博物馆)

(图 3)

耶稣会的传教士（左侧着黑衣者）与方济各会传教士（左侧着灰衣者）。
狩野内膳《南蛮屏风》局部
桃山时代（1573-1615）
重要文化财
(神戸市立博物馆藏)

<繁体字>

1. 「吉利支丹」受難之始：豐臣秀吉至德川幕府初期

豐臣秀吉與伴天連追放令

1549年，耶穌會傳教士聖方濟各·沙勿略赴日，基督教就此於日本萌芽。新宗教在日本飛速盛行，然而當時渴望一統日本的豐臣秀吉，於1587年毫無預兆地頒布了驅逐基督教神父的指令（伴天連追放令），並禁止民眾信仰基督教。1588年，豐臣秀吉將長崎、茂木、浦上三地劃為直轄領地，而這三地曾經被大村純忠、其子大村喜前，以及有馬晴信贈予耶穌會。

1596年，西班牙船「聖菲利普號」漂流至日本。據當時謠傳，基督教四處傳教，其實是為了日後的武力侵略布局。為此豐臣秀吉於1597年2月在長崎西坂處死26名天主教徒（此事件後被稱作「日本二十六聖人之殉教」，遭處死者包含方濟各會及耶穌會的傳教士及信徒）。然而，鑑於之後豐臣秀吉持續保持對歐洲商貿往來的積極態度，造成禁教令未能徹底實施，因此禁教後尚有不少傳教士暗中繼續傳教。

德川幕府與禁教令

豐臣秀吉於1598年離世。1603年，身為秀吉後繼者的德川家康開啟了江戶幕府，他最初亦為了貿易而容忍基督教的存在，此一做法與豐臣秀吉無異。由此日本基督教徒持續增加，巔峰時期甚至超過30萬人。

1610年1月，有馬晴信向葡萄牙船「慈悲聖母號」發動攻擊。其後的1612年更是發生了與吉利支丹大名相關的陰謀事件（岡本大八事件等）。德川家康於1605年退位，後繼的第二代將軍德川秀忠因前述種種事由在處理基督教問題上更加慎重。1612年，德川秀忠針對江戶及京都等幕府的直轄領地頒布禁教令；之後1614年日本全國皆禁止信仰基督教。從此，日本的基督教徒便步入了一段漫長的受難歲月，直至約260年後禁教令解除為止。

（圖片說明）

（圖1）

大村純忠是首位吉利支丹大名，就任期間准許長崎開港。1571年，兩艘葡萄牙船入港。
摘自Cardim《日本殉教精華》1646年初版・1650年刊行本

（長崎歷史文化博物館）

（圖2）

1597年，於長崎西坂殉教的日本二十六聖人。殉教者於1862年被封聖。
《日本的殉教者們》1628年
(長崎歷史文化博物館)

(圖3)

耶穌會的傳教士（左側著黑衣者）與方濟各會傳教士（左側著灰衣者）。
狩野內膳《南蠻屏風》局部
桃山時代（1573-1615）
重要文化財
(神戶市立博物館藏)

<日本語仮訳>

1.キリシタンの受難のはじまり：豊臣秀吉から徳川幕府初期まで

豊臣秀吉と伴天連追放令

日本におけるキリスト教の宣教は、1549年のイエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルの来日とともに始まりました。この新しい宗教は急激に広がりましたが、当時日本統一を目指していた豊臣秀吉は、1587年、前触れなくキリスト教の神父の追放令（伴天連追放令）を發布し、キリスト教の信仰を禁止しました。1588年には、秀吉は大村純忠とその息子大村喜前および有馬晴信がイエズス会に寄進していた長崎・茂木・浦上を直轄領としました。

1596年のスペイン船サン・フェリーペ号の漂着により、キリスト教の布教は武力による侵略の布石であるという噂がたち、これを発端として、1597年2月、秀吉はカトリック信徒26名を長崎の西坂で処刑しました（この事件は日本二十六聖人の殉教として知られており、処刑された信徒の中にはフランシスコ会とイエズス会の宣教師や信徒がいました）。しかし、秀吉はヨーロッパとの貿易の継続には積極的だったため、この禁教令は不徹底なものとなり、禁教後も宣教活動は続けられました。

徳川幕府と禁教令

秀吉は1598年に没します。1603年に江戸幕府を開いた秀吉の後継者である徳川家康も、当初は秀吉と同様貿易のためにキリスト教を容認していました。その結果、日本のキリスト教信徒数は増加し続け、最も多い時期には30万人以上の信徒がいました。

1610年1月の有馬晴信によるポルトガル船ノサ・セニョーラ・ダ・グラサ号への攻撃や、その結果起こった1612年のキリシタン大名をめぐる陰謀（岡本大八事件など）を契機として、1605年に引退した徳川家康の後を継いだ二代将軍秀忠は、キリスト教をより深刻にとらえるようになりました。1612年、秀忠は幕府の直轄領である江戸や京都等に禁教令を發布し、その後1614年には日本全国でキリスト教の信仰を禁じました。こうして日本のキリスト教信徒は、キリスト教が解禁される約260年後まで続く受難の時代に突入しました。

（キャプション）

（図 1）

大村純忠は最初のキリシタン大名。長崎開港を許可し、1571年にポルトガル船2隻が入港した。カルディム『日本殉教精華』1646年初版・1650年刊より
（長崎歴史文化博物館）

（図 2）

1597年に長崎の西坂で殉教した日本二十六聖人。殉教者たちは1862年に列聖された。《日本の殉教者たち》1628年
（長崎歴史文化博物館）

(図 3)

イエズス会の宣教師（左の黒衣の人物）とフランシスコ会の宣教師（左の灰色の衣の人物）の姿。

狩野内膳《南蛮屏風》部分

桃山時代（1573–1615）

重要文化財

（神戸市立博物館蔵）

<简体字>

2. “长崎奉行”之重任：将吉利支丹斩草除根

驱逐传教士出境、摧毁教堂

1614 年，“幕府上使·骏河守”——山口直友被派遣至长崎。他与“第四代长崎奉行·左兵卫”——长谷川藤广一同，摧毁了曾位处长崎历史文化博物馆一地的“山之圣玛利亚教堂”，以及位于县政府旧址的“圣母升天教堂”等 11 座教堂。他们还将传教士及高山右近等较有权势的信徒集中于长崎，并流放至澳门及马尼拉。

吉利支丹遭斩草除根

“第五代长崎奉行·权六”——长谷川藤正上任后，将针对基督教势力的镇压变得更为严苛。1620 年，Misericordia（慈悲组）教堂与医院等亦遭其毁坏。1622 年，平山常陈的御朱印船遭英国舰队擒获，并被拖航至平户，当中竟有两名企图潜入日本的传教士。此一事件成为导火索，造成 55 名天主教徒被处以火刑及斩首，史称“元和大殉教”。遭处死者包含被收监在大村的铃田牢与 Kurusu 町牢中的、以卡洛斯·斯皮诺拉神父为首的传教士及藏匿传教士的信徒，而其中更不乏孩童。

“第六代长崎奉行·河内守”——水野守信上任于 1626 年。他奉将军之命，加强镇压吉利支丹。若民众告发传教士及信徒，可获赏银 100 枚；1628 年更导入了践踏圣画的“踏绘”仪式，目的为验明可疑人士是否为基督教徒。此外，若拒绝改信其他宗教，不仅会被逐出家门，更会惨遭浸入云仙地狱的热泉中进行拷问的酷刑，此为仿效岛原藩主松仓重政的刑罚方式。

“第七代长崎奉行·采女正”——竹中重义于 1629 年上任之际，被寄予厚望，同样奉命加强对吉利支丹的检举。他不仅将过去的云仙地狱拷问法变得更加残忍，甚至想出将活人投进大锅、处以烹煮之刑的狠毒惩罚。由于长崎奉行发明的种种暴虐酷刑，迫使几乎所有身为吉利支丹的长崎民众纷纷忍痛弃教或殉教。

(图 1)

于云仙地狱进行拷问的场景

Arnoldus Montanus 《日本遣使纪行》（1750 年版）

<繁體字>

2. 「長崎奉行」之重任：將吉利支丹斬草除根

驅逐傳教士出境、破壞教堂

1614年，「幕府上使・駿河守」——山口直友被派遣至長崎。他與「第四代長崎奉行・左兵衛」——長谷川藤廣一同，破壞了從前位處長崎歷史文化博物館一地的「山之聖瑪利亞教堂」，以及位於縣政府舊址的「聖母升天教堂」等11座教堂。他們還將傳教士及高山右近等較有權勢的信徒集中於長崎，並流放至澳門及馬尼拉。

吉利支丹遭斬草除根

「第五代長崎奉行・權六」——長谷川藤正上任後，針對基督教勢力的鎮壓更為嚴苛。1620年，Misericordia（慈悲組）教堂與醫院等亦遭其毀壞。1622年，平山常陳的御朱印船遭英國艦隊擒獲，並被拖航到平戶，當中竟有兩名企圖潛入日本的傳教士。此一事件成為導火線，造成55名天主教徒被處以火刑及斬首，史稱「元和大殉教」。遭處死者包含被收監在大村的鈴田牢與Kurusu町牢中的、以卡洛斯・斯皮諾拉神父為首的傳教士及藏匿傳教士的信徒，而其中更不乏孩童。

「第六代長崎奉行・河內守」——水野守信於1626年上任。他奉將軍之命，加強鎮壓吉利支丹。若民眾告發傳教士及信徒，可獲賞銀100枚；1628年更導入了踐踏聖畫的「踏繪」儀式，目的為驗明可疑人士是否為基督教徒。此外，若拒絕改信其他宗教，不僅會被逐出家門，更會慘遭浸入雲仙地獄的熱泉中進行拷問，此為仿效島原藩主松倉重政的刑罰方式。

「第七代長崎奉行・采女正」——竹中重義於1629年上任之際，被寄予厚望，同樣奉命加強對吉利支丹的舉發。他不僅將過去的雲仙地獄拷問法變得更加殘忍，甚至想出將活人投進大鍋處以烹煮之刑的狠毒懲罰。由於長崎奉行發明的種種暴虐酷刑，迫使幾乎所有身為吉利支丹的長崎民眾紛紛忍痛棄教或殉教。

（圖1）

於雲仙地獄進行拷問的場景

Arnoldus Montanus 《日本遣使紀行》（1750年版）

<日本語仮訳>

2.長崎奉行が受けたキリシタン根絶の特命 宣教師の国外追放と教会の破壊

1614年、幕府上使山口駿河守直友が長崎に派遣されました。彼は、第4代長崎奉行長谷川左兵衛藤広とともに、現在の長崎歴史文化博物館の場所にあった山のサンタ・マリア教会や、旧県庁舎跡地の場所にあった被昇天の聖母教会など、11の教会を破壊しました。宣教師や高山右近などの有力な信徒は長崎に集められ、そこからマカオとマニラに国外追放されました。

キリシタン根絶へ

第5代長崎奉行長谷川権六藤正はさらに弾圧に力を注ぎ、1620年、長崎に残っていたミゼリコルディア（慈悲の組）の教会や病院等を破壊しました。1622年、イギリス艦隊の船に拿捕され平戸に曳航されてきた平山常陳の御朱印船中に、日本に潜入しようとした宣教師2人が見つかりました。この事件が引き金となり、55名のカトリック信者が火刑や斬首に処された元和の大殉教が起きました。処刑されたのは、大村の^{ますた}鈴田牢とクルス町の牢に収容されていたカルロ・スピノラ神父をはじめとする宣教師や、宣教師を匿っていた信者たちで、その中には子どもたちも含まれていました。

第6代長崎奉行水野河内守守信は、1626年に就任しました。将軍からキリシタン根絶の厳命を受けた水野は弾圧を強化しました。また、宣教師や信徒を密告した者に銀100枚を与え、1628年からは信徒を調べるために聖画等を踏ませる「絵踏み」を始めました。さらに、転宗を拒否する者に対して家から追い出しただけでなく、島原藩主松倉重政に倣って雲仙地獄での熱湯責めを行って人々を拷問しました。

第7代長崎奉行竹中采女正重義が1629年に着任した際は、さらなるキリシタン舉報が強く期待されました。彼は雲仙地獄での拷問をより残忍にただけでなく、人々を生きたまま大釜で煮るといった新たな過酷な責め苦を考案しました。長崎奉行によるこれらの残忍な拷問により、ほとんどがキリシタンであった長崎の住民は、棄教または殉教を余儀なくされました。

(図1)

雲仙地獄での拷問の様子

モンタヌス『日本遣使紀行』（1750年版）

<简体字>

岛原-天草起义及对葡萄牙船只的禁航

由于岛原藩主松仓重政及其子胜家实施苛政，加之饥荒肆虐，导致“岛原-天草起义”于 1637 年爆发。率领这一起义的是吉利支丹“庄屋”（相当于现今的村长）们，他们曾经是吉利支丹大名的家臣，于禁教后归农。

当时约有超过两万名起义军揭竿而起，固守在岛原的原城内。幕府军则有 12 万人，身后更有荷兰船只的支援。战争持续了四个月，起义军惨遭镇压，几乎全军覆没。幕府从一开始便将起义祸源归咎于吉利支丹起义军，日后对吉利支丹的打压更是不遗余力。

1639 年，为避免更多传教士偷渡入国，幕府全面禁止葡萄牙船入港日本，并宣布只与荷兰进行贸易，将其他欧洲人拒之门外。1641 年，荷兰商馆受命从平户迁至长崎出岛。日本这一对外贸易政策连同禁教措施，持续了两个多世纪，直至 19 世纪后半叶才告终。

导入“人别帐”（户籍）

“寺方门徒帐”是一份记录了被强制改宗，成为寺院“檀家”（施主）的居民名单。据推测，史上第一本寺方门徒帐诞生于 1616 年的长崎。现存最古老的户籍帐簿可追溯至 1634 年。其后更导入了“在户籍帐簿上为完成踏绘仪式者盖章认证”这一颇具宗教意味的制度，使“宗门改”（宗教调查）及“寺请制度”（民众必须成为檀家，归属寺院，进而证明自己非吉利支丹的制度）就此扎根。

检举潜伏吉利支丹

尽管当时日本已实施严格的禁教政策，但仍有许多传教士尝试潜入日本。然而这些传教士最后悉数被捕，无一幸免，除部分选择弃教外，几乎全员殉教。1644 年，最后一名传教士小西曼西奥殉教，日本的吉利支丹从此在失去传教士的指引下，独自摸索前行。

1657 年，在吉利支丹几乎均遭处决或被迫改宗之时，大村藩内却发现了吉利支丹的存在。“第 17 代长崎奉行·与兵卫”——黑川正直举发 608 人，并将其中 411 名斩首。

(图 1)

《圣体秘迹图指物》

(天草四郎阵中旗) 1637 年

(天草市立天草吉利支丹馆)

(图2)

《踏绘》局部

出自菲利普·法兰兹·冯·西博德《日本》 19世纪

长崎历史文化博物馆藏

<繁体字>

島原-天草起義及對葡萄牙船隻的禁航

1637年，由於島原藩主松倉重政及其子勝家實施暴政，加之饑荒肆虐，導致「島原-天草起義」爆發。率領這一起義的是吉利支丹「庄屋（相當於現今的村長）」們，他們曾是吉利支丹大名的家臣，於禁教後成為農民。

當時約有超過兩萬名起義軍揭竿而起，固守在島原的原城內。幕府軍則有12萬人，身後更有荷蘭船隻的支援。戰爭持續了四個月，起義軍慘遭鎮壓，幾乎全軍覆沒。幕府從一開始便將起義禍源歸咎於吉利支丹起義軍，日後對吉利支丹的打壓更是不遺餘力。

1639年，為避免更多傳教士偷渡入國，幕府全面禁止葡萄牙船入港日本，並宣布只與荷蘭進行貿易，將其他歐洲人拒之門外。1641年，荷蘭商館受命從平戶遷至長崎出島。其後日本這一對外貿易政策連同禁教措施，持續了兩個多世紀，直至19世紀後半才告終。

導入「人別帳（戶籍）」

「寺方門徒帳」是一份名單，記錄了被強制改宗，成為寺院「檀家（施主）」的居民。據推測，史上第一本寺方門徒帳誕生於1616年的長崎。現存最古老的戶籍帳簿可追溯至1634年。其後更導入了在戶籍帳簿上為完成踏繪儀式者蓋章認證這一頗具宗教意味的制度，使「宗門改（宗教調查）」及「寺請制度（民眾必須成為檀家，歸屬寺院，進而證明自己非吉利支丹的制度）」就此紮根。

舉報潛伏吉利支丹

即使當時日本已實施嚴格的禁教政策，仍有許多傳教士嘗試潛入日本。然而這些傳教士最後悉數被捕，無一倖免，除部分選擇棄教外，幾乎全員殉教。1644年，最後一位傳教士小西曼西奧殉教，日本的吉利支丹從此在失去傳教士的指引下，獨自前行。

1657年，在吉利支丹幾乎均遭處死或被迫改宗之時，大村藩內卻發現了吉利支丹的存在。「第17代長崎奉行・與兵衛」——黑川正直舉發608人，將其中411名斬首。

（圖 1）

《聖體秘蹟圖指物》

（天草四郎陣中旗）1637年

（天草市立天草吉利支丹館）

(圖 2)

《踏繪》局部

出自菲利普·法蘭茲·馮·西博德《日本》 19世紀

長崎歷史文化博物館藏

<日本語仮訳>

島原の乱とポルトガル船の来航禁止

1637年、島原藩主松倉重政およびその息子勝家の苛政と飢饉をきっかけとして、島原の乱が勃発しました。この一揆を率いたのは、かつてのキリシタン大名の旧家臣で禁教後に農民となっていたキリシタンの庄屋たちでした。

島原の原城に立て籠もった一揆軍は2万人以上でした。幕府軍の兵は12万人で、オランダ船にも支援されていました。4ヶ月間の戦いの末、一揆勢はほぼ全員が殺され鎮圧されました。この蜂起を当初からキリシタンの一揆と位置づけていた幕府は、以降、キリシタンの弾圧を一層強化しました。

1639年、新たな宣教師が国内に潜入するのを防ぐため、幕府は全ポルトガル船の日本への入港を禁止し、ヨーロッパ人の中ではオランダ人のみと交易を行うことを決めました。1641年には平戸から長崎の出島にオランダ商館を移動させました。以降、この日本の対外貿易政策は、禁教政策とともに19世紀後半までの2世紀以上にわたって継続することになります。

人別帳（戸籍）の導入

「寺方門徒帳」は、転宗を強いて寺の檀家とさせた住民を記帳したものです。最初の寺方門徒帳は、1616年に長崎で作られたとされています。現存する最も古い戸籍帳簿は1634年のものです。その後、絵踏みを済ませた人には印を押すという宗教的な要素が戸籍帳簿に導入され、宗門改や寺請制度が定着していきました。

潜伏キリシタンの摘発

このような厳しい禁教下でも、多くの宣教師が日本潜入を試みました。しかし、宣教師たちは最終的に全員捕えられ、ほとんどが殉教しましたが、中には棄教するものもいました。1644年、最後の宣教師小西マンショが殉教し、日本のキリシタンは彼らを教え導く宣教師が不在の状態に取り残されました。

1657年、ほとんどのキリシタンが処刑されるか改宗させられていた中、大村藩内でキリシタンの存在が発覚しました。第17代長崎奉行の黒川与兵衛正直は、608名を擧報し、そのうち411名を斬首しました。

(図1)

《聖体秘蹟図指物》

(天草四郎陣中旗) 1637年

(天草市立天草キリシタン館)

(図2)

《踏絵》一部

フィリップ・フランツ・バルタザール・フォン・シーボルト『日本』より 19 世紀
長崎歴史文化博物館蔵

<簡体字>

3.260 年的緘黙——于禁教政策下秘密坚守信仰的潜伏吉利支丹

何谓“潜伏吉利支丹”

潜伏吉利支丹，指 1614 年起基督教被禁止的两个半世纪期间，仍秘密坚守信仰的日本信徒。由于大村藩推行移居政策，吉利支丹从外海地区陆续移居至五岛列岛及黑岛等离岛，潜伏吉利支丹的村落随即形成。该政策的实施持续到 18 世纪末为止。据推测，当时以九州西部为据点，存在约 3 万名潜伏吉利支丹，他们熬过禁教时代，坚守信仰，并努力传承至下一世代。

信仰组织的形成与传承背景

早在尚未禁教的年代，信徒一度持续增加，传教士意识到布教所需人数不足，遂任命数名日本人为信仰指导者，从而自行打造出一个可坚持信仰基督教的组织。这一组织包括进行医疗及济贫活动的“慈悲组 (Misericordia)”，以及维持并加强信徒虔诚心的“信心会 (Confraria)”。在没有传教士的环境下，这些组织是潜伏吉利支丹内心信仰的一大支柱。潜伏吉利支丹在管理祈祷及吉利支丹日历的“帐方”、经手洗礼的“水方”、负责传道的“闻役”等领导人的带领下，得以长年持续进行秘密祷告及礼拜。

<繁体字>

3. 沉默的260年——於禁教政策下秘密堅守信仰的潛伏吉利支丹

何謂「潛伏吉利支丹」

潛伏吉利支丹是指，1614年起基督教被禁止的兩個半世紀期間，仍秘密堅守信仰的日本信徒。由於大村藩推行移居政策，吉利支丹從外海地區陸續移居至五島列島及黑島等離島，潛伏吉利支丹的聚落隨即形成。該項政策的實施到18世紀末為止。根據推測，當時以九州西部為中心，存在約3萬名潛伏吉利支丹，他們熬過禁教時代，堅守信仰，並努力傳承至下一世代。

信仰組織的形成與傳承背景

早在尚未禁教的時代，由於信徒持續增加，傳教士意識到布教所需人數不足，因而任命數名日本人為信仰指導者，自行打造出一個可堅持信仰基督教的組織。這一組織包括進行醫療及濟貧活動的「慈悲組（Misericordia）」，以及維持並加強信徒虔誠心的「信心會（Confraria）」。在沒有傳教士的環境下，這些組織是潛伏吉利支丹內心信仰的一大支柱。潛伏吉利支丹在管理祈禱及吉利支丹日曆的「帳方」、經手洗禮的「水方」、負責傳道的「聞役」等領導人的帶領下，得以長年持續進行秘密禱告及禮拜。

<日本語仮訳>

3.沈黙の 260 年：禁教下で信仰を密かに守り続けた潜伏キリシタン

潜伏キリシタンとは

潜伏キリシタンとは、キリスト教が禁じられていた 1614 年から約 2 世紀半の間、ひそかに信仰を守りつづけた日本の信徒の呼び名です。大村藩が推進した移住政策の結果、18 世紀末までにキリシタンは外海地区から五島列島や黒島などの離島部へ移住し、そこで潜伏キリシタン集落を形成しました。禁教時代を耐え抜いて信仰を維持し次世代へ継承し続けたキリシタンは、九州西部を中心におよそ 3 万人存在していたと推定されています。

信仰組織の形成と継承の背景

まだ信徒の数が増え続けていた禁教前、宣教師たちは布教に必要な宣教師の人数が不足していることを認識していました。彼らは、数名の日本人を信仰指導者として選び、自らの力でキリスト教を信仰し続けていくことが可能な組織をつくりました。この信仰組織には、医療や救貧等の活動を行う「慈悲（ミゼリコルディア）の組」と、信徒たちの信仰の維持と強化のための「信心会（コンフラリア）」がありました。宣教師不在の中で、潜伏キリシタンの信仰を支えたこれらの組織の存在は非常に重要でした。潜伏キリシタンは、祈りとキリシタン暦を司る「帳方」、洗礼を授ける「水方」、伝道を行った「聞役」と称される指導者たちの下で、ひそかに祈り、信仰儀礼を行いました。

<简体字>

基督教信仰传承

在领导者的率领下，浦上、外海、五岛列岛的吉利支丹遵循着巴斯蒂安历（于 1634 年配合日本旧历编成的教会历），一同庆祝节日、按日断食，以及进行洗礼及送葬等仪式。《こんちりさんのりやく》（Konchirisan no ryaku）编纂于 1603 年，用于教导信徒在无法向传教士告解时如何获得上帝恩赦，此外还有讲述圣经故事的《天地始之事》（成书于 1829 年前）等不少有关宗教教义的书籍仍保存至今。

外海地区还流传着以传授教会历而知名的日本传教士——巴斯蒂安所留下的四则预言。分别是①七个世代后，吾子之灵魂将获得救赎，不再受苦；②“听罪司祭”将搭乘巨大黑船前来，令信徒每周都可告解；③无论未来身在何方，人人皆可高唱吉利支丹赞美诗；④若在外与异教徒相遇，对方会为你让路。耐人寻味的是，历经七个世代，这则预言于 1659 年巴斯蒂安殉教后约 230 年后得以成真。

异宗一件（浦上大规模检举事件）

潜伏吉利支丹的信仰形态因地区而异，唯有致力隐藏信徒身份这点完全一致。与此同时，幕府方面并不处罚未表明信仰的潜伏吉利支丹，而是几乎采取默许的态度。正是基于这种微妙的平衡，潜伏吉利支丹方可与神道教及佛教等日本既有宗教共存，久而久之，其传统才得以延续并传承下来。

浦上曾居住着众多潜伏吉利支丹，18 世纪末以来，不少人被密告而屡遭取缔。不过他们的罪状并非以吉利支丹的身份，而是凭更笼统的“异教徒”之名义遭惩处。

比如 1790 年，庄屋（相当于现今的村长）高谷永左卫门向长崎奉行所告发浦上村山里的 19 名村民有吉利支丹之嫌。但为了避免事态升级，他们并未被正式认定为吉利支丹。此事件被称为“浦上第一次大规模检举事件”。1839 年，浦上发生第二次大规模检举事件，虽详情不明，但检举与释放的过程似乎与第一次无异。

然而进入 1856 年，浦上再次发生第三次大规模检举事件。城之越的医师片冈舜民父子，以及身为帐方的吉藏等浦上的潜伏吉利支丹领袖们被密告后，相继遭到逮捕和严刑拷问，不少人为此死于牢中。尽管如此，此事最终却只被轻描淡写地归为所谓的“异宗一件”。

当浦上发生第三次大规模检举事件之际，负责调查帐方吉藏的“第 113 代长崎奉行·骏河守”——冈部长常，保留了当时潜伏吉利支丹信仰生活的详细记录。浦上家家户户藏匿的白瓷玛利亚观音及金属制“依纳爵”（耶稣会创始人依纳爵·罗耀拉）等雕像均在此

时被没收。

(图 1)

《雪之圣玛利亚》（来自外海）

17 世纪初

（日本二十六圣人纪念馆）

(图 2)

《玛利亚观音》

17 世纪左右

（禅宗曹洞宗 天福寺）

相传，1856年第三次大规模检举事件发生之际，浦上的吉利支丹将此雕像移至深堀领榎山的天福寺以保安全。而对于吉利支丹的信仰，天福寺则采取默许态度。

<繁体字>

基督教信仰傳承

浦上、外海、五島列島的吉利支丹在領導者的率領下，遵循巴斯蒂安曆（於1634年配合日本舊曆編成的教會曆）一同慶祝節日、按日斷食，以及實施洗禮及送葬等儀式。不少有關宗教教義的書籍仍保存至今，例如編纂於1603年，教導信徒在無法向傳教士告解時如何獲得上帝恩赦的《こんちりさんのりやく》（Konchirisan no ryaku），以及講述聖經故事的《天地始之事》（成書於1829年前）等。

不僅如此，在外海地區，流傳著以傳授教會曆而知名的日本傳教士——巴斯蒂安所留下的四則預言。分別是①七個世代後，吾子之靈魂將獲得救贖，不再受苦；②「聽罪司祭」將搭乘巨大黑船前來，令信徒每週都可告解；③未來無論身在何處，人人皆可高唱吉利支丹讚美詩；④若在外遇見異教徒，對方會為你讓路。耐人尋味的是，歷經七個世代，這則預言於1659年巴斯蒂安殉教後約230年後得以成真。

異宗一件（浦上大規模舉報事件）

潛伏吉利支丹的信仰型態因地區而異，唯有致力隱藏信徒身分這點完全一致。與此同時，幕府方面並不處罰未表明信仰的潛伏吉利支丹，而是採取幾乎默認的態度。正是基於這種微妙的平衡，潛伏吉利支丹方與神道教及佛教等日本既有宗教共存，久而久之，其傳統才得以延續並傳承下來。

浦上曾居住著眾多潛伏吉利支丹，18世紀末以來，不少人被密告而屢遭取締。不過他們的罪狀並非以吉利支丹的身份，而是憑更籠統的「異教徒」之名義遭懲處。

比如1790年，庄屋（相當於現今的村長）高谷永左衛門向長崎奉行所告發浦上村山里的19名村民有吉利支丹之嫌。不過為了避免事態升級，他們並未被正式認定為吉利支丹。此事件稱為「浦上第一次大規模舉報事件」。1839年，浦上發生第二次大規模舉報事件，雖詳情不明，但舉報與釋放的過程似乎與第一次無異。

然而到了1856年，浦上發生第三次大規模舉報事件。城之越的醫師片岡舜民父子，以及身為帳方的吉藏等浦上的潛伏吉利支丹領袖們被密告後，陸續遭到逮捕和嚴刑拷問，不少人因此死於牢中。儘管如此，此事最終卻只被輕描淡寫地歸為所謂的「異宗一件」。

當浦上發生第三次大規模舉報事件之際，負責調查帳方吉藏的「第113代長崎奉行・駿河守」——岡部長常，留下了當時潛伏吉利支丹信仰生活的詳細記錄。浦上家家戶戶藏匿的白瓷瑪利亞觀音及金屬製「依納爵」（耶穌會創始人依納爵·羅耀拉）等雕像均在此時被沒收。

(圖 1)

《雪之聖瑪利亞》 (來自外海)

17世紀初期

(日本二十六聖人紀念館)

(圖 2)

《瑪利亞觀音》

17世紀左右

(禪宗曹洞宗天福寺)

相傳 1856 年，第三次大規模舉報事件發生之時，浦上的吉利支丹將此雕像移至深堀領檜山的天福寺以保安全。而對於吉利支丹的信仰，天福寺則採取默認態度。

<日本語仮訳>

キリスト教信仰の継承

浦上や外海、五島列島のキリシタンは、指導者のもとでバスチャンの日繰り（日本の旧暦に合わせて 1634 年に編纂された教会暦）に従って祝日をともに祝い、断食の日を守り、洗礼や葬送などの儀礼を行いました。1603 年にまとめられた宣教師への告解ができないときどのように神の赦しを得るかを伝える『こんちりさんのりやく』や、聖書の物語を伝える『天地始之事』（1829 年以前に成立）等の数々の教理書が継承されました。

それらに加え、外海地区では日繰りを伝えたことで知られる日本人伝道士バスチャンが残した 4 つの予言が伝承されました。その予言とは、①7 代後、わが子とみなすものたちの靈魂は苦しみから救われる、②コンヘソーロ（聴罪司祭）が大きな黒船にのってやって来て、毎週コンヒサン（告白）ができるようになる、③どこでも大声でキリシタンの歌を歌って歩ける時代が来る、④道でゼンチヨ（教外者）に出会うと、先方が道を譲るようになる、というものでした。興味深いことに、この予言は 1659 年のバスチャンの殉教からちょうど 7 代、約 230 年後に現実のものとなりました。

異宗一件（浦上崩れ）

潜伏キリシタンの信仰形態は地域によって異なっていましたが、潜伏キリシタンであることが発覚しないよう秘匿する決意は共通していました。同時に、幕府側は潜伏キリシタン自身が信仰を表明しない限り処罰を行わないという黙認の姿勢をとっていました。神道や仏教などの日本の既存の宗教や地域社会と共生するというこの微妙な均衡を背景に、潜伏キリシタンの伝統は受け継がれていきました。

浦上には多くの潜伏キリシタンが住んでおり、18 世紀末以降彼らは密告によってたびたび取り締まりの対象となりました。しかし、潜伏キリシタンはキリシタンとしてではなく、より大まかな枠組みにおける異宗の信徒として処罰されました。

例えば、1790 年、庄屋高谷永左衛門が浦上村山里の村民 19 名を、キリシタンの疑いがあるとして長崎奉行所に訴えました。しかし、深刻な事態となるのを回避するために、彼らは公式にキリシタンであると認定されませんでした。（この事件は浦上一番崩れと呼ばれています。）詳細は不明であるものの、1839 年に起こった浦上二番崩れでも同様の検挙と釈放がなされたようです。

ただし、1856 年の浦上三番崩れでは、密告によって、城の越の医師であった片岡舜民父子や帳方であった吉蔵などの浦上の潜伏キリシタンの指導者たちが次々に捕縛されました。厳しい尋問によって、彼らの多くが牢で亡くなりました。しかし、最終的には、この件も「異宗一件」として処理されました。

この浦上三番崩れの際に、帳方の吉蔵を取り調べた第 113 代長崎奉行岡部駿河守長常は、当時の潜伏キリシタンの信仰生活の詳細な記録を残しました。浦上の家々に秘蔵されていた白磁のマリア観音や金属製の「イナツシヨ」（イエズス会創設者イグナチオ・デ・ロヨラ）等の像も多数没収されました。

（図 1）

《雪のサンタ・マリア》（外海伝来）

17世紀初期

（日本二十六聖人記念館）

（図2）

《マリア観音》

17世紀頃

（禅宗曹洞宗天福寺）

1856年の浦上三番崩れの際、浦上のキリシタンがこの像を深堀領檜山の天福寺に避難させたと伝えられています。天福時はキリシタン信仰を黙認していました。

<简体字>

4. 信徒发现——“圣玛利亚像在何处？”

日本开港及传教士回归

1854年，通过美军将领佩里，德川幕府与美国签订《神奈川条约》，使日本朝开港迈出第一步。1859年，包括长崎在内的五座港口相继开港，并于长崎划设了外国人居留地。

当时正积极进入东亚地区传教的罗马教廷，一直寻求着重新在日本传教的良机。1838年，活跃于越南及中国的巴黎外方传教会，接下了此一重任。横滨开港后，在琉球待命的巴黎外方传教会神父普鲁登丝·吉拉尔以法国大使口译的身份赴日。1863年，路易·菲雷神父与贝尔纳·珀蒂让神父相继抵达长崎。

大浦天主堂的建造与信徒发现

吉拉尔神父于1862年建立横滨天主堂后，菲雷神父与珀蒂让神父也紧随其后，开始在长崎着手兴建大浦天主堂，并于1865年2月举行了献堂式。表面上大浦天主堂是为居留长崎的外国人而建，但神父赴日的首要目的，却是为了寻找长崎的潜伏吉利支丹。

这载入青史的一天不久便终于来临。1865年3月17日，十多名浦上潜伏吉利支丹一同来到大浦天主堂。这天正是他们向珀蒂让神父告解的日子。珀蒂让神父对当时的记录如下：

“一位年约四五十岁的女性靠近我的身边，她手抚胸口，如是说道：‘此处的我们，内心与您无异。（中略）请问圣玛利亚像在何处？’听闻圣母之名，我立即确信不疑——日本的吉利支丹子孙，此刻便真真切切地立于我的面前。”

（1865年3月18日 珀蒂让书简）

在长达约两个半世纪的禁教、打压中，史称“信徒发现”（日文：信徒発見）的此一事件可谓戏剧性十足，更使欧洲人震惊——因为他们原本认为经过幕府数年的无情镇压，日本信徒早已消灭殆尽。

珀蒂让神父与潜伏吉利支丹的首次接触便成为了历史的转折点。日后，当地潜伏吉利支丹中有人重归天主教，有人持续以“潜伏吉利支丹”的身分进行地下信仰，也有人选择改宗佛教或神道教。

（左）大浦天主堂设计图，据说是菲雷神父绘制而成

1864年左右

(巴黎外方传教会)

(右) 上野彦马摄

《大浦天主堂》

1865 年左右

(江崎龟甲店)

正面挂有“天主堂”字样，以便日本人理解。

《大浦天主堂内吉利支丹之信仰告白》

出自 1926 年 AimeVillion 的《日本圣人鲜血遗书》

<繁体字>

4. 信徒發現：「聖瑪利亞像在何處？」

日本開港及傳教士回歸

德川幕府透過美軍將領佩里，於1854年與美國簽訂《神奈川條約》，日本由此朝開港邁出第一步。1859年，包括長崎在內的五座港口相繼開港，並於長崎劃設了外國人居留地。

當時正積極潛入東亞地區傳教的羅馬教廷，一直尋求著重新在日本傳教的良機。1838年，活躍於越南及中國的巴黎外方傳教會，接下了此一重任。橫濱開港後，在琉球待命的巴黎外方傳教會神父普魯登絲·吉拉爾以法國大使口譯的身份赴日。1863年，路易·菲雷神父與貝爾納·珀蒂讓神父相繼抵達長崎。

大浦天主堂的建造與信徒的發現

吉拉爾神父於1862年建立橫濱天主堂後，菲雷神父與珀蒂讓神父也開始在長崎著手興建大浦天主堂，並於1865年2月舉行了獻堂式。表面上大浦天主堂是為居留長崎的外國人而建，然而神父赴日的最主要目的則是為了尋找長崎的潛伏吉利支丹。

這載入史冊的一天不久便終於來臨。1865年3月17日，十多名浦上潛伏吉利支丹一同來到大浦天主堂。這天正是他們向珀蒂讓神父告解的日子。珀蒂讓神父對當時的紀錄如下：

「一名年約四五十歲的女性靠近我的身邊，她手撫胸口，如是說道：『此處的我們，內心與您無異。（中略）請問聖瑪利亞像在何處？』聽聞聖母之名，我立即深信不疑——日本的吉利支丹子孫，此刻便確確實實在我眼前。」

（1865年3月18日 珀蒂讓書簡）

在長達約兩個半世紀的禁教、打壓中，被稱為「信徒發現（日文：信徒発見）」的此一事件可謂戲劇性十足，更使歐洲人震驚，因為他們原本認為經過幕府數年的無情鎮壓，日本信徒早已消滅殆盡。

珀蒂讓神父與潛伏吉利支丹的首次接觸便成為歷史的轉折點。日後，當地潛伏吉利支丹中有人重歸天主教，有人持續以「潛伏吉利支丹」的身分進行地下信仰，也有人選擇改宗佛教或神道教。

（左）大浦天主堂設計圖，據說是菲雷神父繪製而成

1864年左右

（巴黎外方傳教會）

(右) 上野彥馬攝

《大浦天主堂》

1865年左右

(江崎龜甲店)

正面掛有「天主堂」字樣，以便日本人理解。

《大浦天主堂內吉利支丹之信仰告白》

出自 1926 年 AimeVillion 的《日本聖人鮮血遺書》

<日本語仮訳>

4. 信徒発見：「サンタ・マリアの御像はどこ？」

日本の開港と宣教師の再来

1854年、徳川幕府はペリー提督を介してアメリカ合衆国との間に和親条約を結び、日本は開港への一歩を踏み出しました。1859年から長崎を含む5港を順次開港し、長崎には外国人居留地が設置されました。

当時東アジアでの布教を積極的に進めていたローマ教皇庁は、日本で宣教を再開する機会を模索していました。そして、1838年当時既にベトナムや中国で盛んに活動を行っていたパリ外国宣教会にこの任務を命じました。横浜が開港すると、琉球で待機していた同会のプリュダンス・ジラル神父がフランス公使の通訳として来日しました。1863年には、ルイ・フューレ神父が長崎に到着し、ベルナル・プティジャン神父もすぐにそれに続きました。

大浦天主堂の建設と信徒発見

ジラル神父が1862年に横浜天主堂建設を建設した後、フューレ神父とプティジャン神父は長崎にて大浦天主堂の建設に着手し、1865年2月に献堂式が執り行なわれました。大浦天主堂は、表向きは居留地に住む外国人のためのものでしたが、神父らの来日の最大の目的は長崎の潜伏キリシタンを見つけ出すことでした。

その日はすぐにやってきました。1865年3月17日、浦上の潜伏キリシタン十数名の集団が大浦天主堂を訪れました。この日こそ彼らがプティジャン神父に信仰を告白した日でした。プティジャン神父はこの出来事を以下のように記しています。

「40歳ないし50歳くらいの女性が私のすぐそばに来て、胸に手をあてて言いました。『ここにいる私たちの心は皆、あなたと同じです。(中略) サンタ・マリアの御像はどこにあるのですか？』聖母の御名を耳にし、私はもう少しも疑いませんでした。私は確実に、日本のキリシタンの子孫を目の前にしているのだということを」

(1865年3月18日付 プティジャン書簡)

およそ2世紀半にわたる禁教・弾圧がまだ続いていたさなかで起こったこの劇的な事件は、「信徒発見」と呼ばれています。この出来事は、何年にもわたる幕府による容赦のない弾圧によって日本の信徒は一掃されてしまったと考えていたヨーロッパの人々を驚かせました。

この最初の接触は転機となりました。この地方の潜伏キリシタンたちは、従来のカトリックへ復帰する者、これまでの信仰形態を続ける「かくれキリシタン」、そして仏教や神道へ転宗する者などにわかれていきました。

(左) フューレ神父が描いたと考えられる大浦天主堂の設計図

1864年頃

(パリ外国宣教会)

(右) 上野彦馬撮影

《大浦天主堂》

1865 年頃

(江崎ベッ甲店)

正面には日本人にもわかるよう「天主堂」の文字が掲げられた。

《大浦天主堂でのクリシタンの信仰告白》

ヴィリヨン『日本聖人鮮血遺書』 1926 年より

<简体字>

5.最后的大检举：“浦上第四次大规模检举事件”与长崎各地的吉利支丹镇压行动 巴黎外方传教会的秘密传教活动

“信徒发现”事件后不久，以浦上村为首的五岛列岛等长崎各地吉利支丹村落的领导人，成功躲过长崎奉行所的监视，造访了大浦天主堂。与此同时，法国传教士也暗中前往各村落传教。特别是在有众多潜伏吉利支丹居住的浦上村，陆续建起了圣玛利亚堂、圣若瑟堂、圣塔克拉拉堂，以及圣方济各·沙勿略堂等四座秘密教堂。

浦上第四次大规模检举事件

1867年，浦上村相继发生多起吉利支丹未经檀那寺（布施的寺院）——即圣德寺僧侣之手便私自安葬死者的案例。当地的潜伏吉利支丹最终不得不主动向庄屋（现今的村长）表明自身信仰。由于吉利支丹尚存的事实昭然若揭，密探便随之展开调查，并将详情呈报给江户当局。

1867年6月，“第125代长崎奉行·石见守”——德永昌亲率170名部下闯入秘密教会，逮捕了以高木仙右卫门为首的68人。之后被捕者持续增加，银铛入狱者均遭受了严刑拷问。针对这一事件，以普鲁士为代表的多国领事向奉行所提出严正抗议，法国大使甚至亲自出面，与德川幕府最后一任将军德川庆喜交涉。最终吉利支丹虽仍处于严控之下，却至少得以释放。

大规模镇压

受到严厉处置的并不仅限于浦上村的吉利支丹。幕府末期至明治时代（1868-1912）初期，外海及五岛列岛等各地吉利支丹社群亦遭受打压，被捕者更惨遭虐待拷问（五岛的镇压被称作“五岛大规模举报事件”）。江户幕府虽被明治政府取代，但全面禁止基督教这一方针仍一如既往。1868年11月，年号改为明治元年，五岛列岛的久高岛发生了一起恶名昭彰的事件。约200名吉利支丹被密集关押在仅20平方米的“牢屋之窄”中长达八个月，并遭残忍拷问。幽禁期间，42人不幸身亡。英国大使听闻这些惨无人道的打压事件后，于1870年造访五岛，亲自调查实情。

“旅程”——全村流放罪

1868年，新上任的九州镇抚总督——泽宣嘉，与其部下井上馨一同前往长崎。在对浦上吉利支丹的调查告一段落后，他们制作了一份报告书。在以这份报告书为依据而举行的

御前会议（天皇临席决定重要国策的会议）上，浦上吉利支丹全村被判处流放罪。外派长崎的太政官参议木户孝允，遂将 114 名主要人士流放至萩、津和野、福山藩等地。此一处分震惊西洋各国，不久甚至演变成严重的外交问题。

纵使英国、法国、美国提出了严正抗议，1870 年 1 月，仍有 700 名男性及其家眷遭致流放。共计 3,394 名浦上吉利支丹被流放至 20 处藩地，并于各地被迫改宗，遭受拷问，充作苦力。尽管各国再三要求明治政府释放信徒及改善待遇，却一概遭到无视。长达五年的苦难时光，于日后被称作“旅程”。在痛苦不堪的“旅程”中，许多信徒咬牙坚守着信仰。最终共计 613 人死于流放地，仅 2,911 人得以返回浦上。

（图 1）

幕府末期的浦上村山里略图

（图 2）

（左）高木仙右卫门肖像

（个人收藏）

（右）政府密探所记录的高木仙右卫门宅邸内之圣若瑟堂平面图

（长崎历史文化博物馆）

某夜，“第 126 代长崎奉行·伊豆守”——河津佑邦将入狱中的高木仙右卫门传唤至立山公所（现今长崎历史文化博物馆所在地）的大厅，劝其改宗，但意志坚定的仙右卫门自始至终断然拒绝。

（长崎历史文化博物馆）

（图 3）

楠原的吉利支丹牢

（三井乐教会资料馆）

1868 年的吉利支丹镇压行动中，在五岛列岛其中的福江岛上，有 33 名吉利支丹被监禁于此。

（图 4）

1868 年及 1869 年，吉利支丹被流放的地点

两组数字分别为 1868 年及 1869 年的流放人数。（）内的数字为死亡人数。

<繁體字>

5.最後的大舉報：「浦上第四次大規模舉報事件」與長崎各地的吉利支丹鎮壓行動 巴黎外方傳教會的秘密傳教活動

「信徒發現」事件後不久，以浦上村為首的五島列島等長崎各地吉利支丹聚落的領導人，成功躲過長崎奉行所的監視，造訪了大浦天主堂。與此同時，法國傳教士也暗中前往各聚落傳教。特別是在有眾多潛伏吉利支丹居住的浦上村，建起了聖瑪利亞堂、聖若瑟堂、聖塔克拉拉堂，以及聖方濟各·沙勿略堂等四座秘密教堂。

浦上第四次大規模舉報事件

1867年，浦上村相繼發生多起吉利支丹未經檀那寺（布施的寺院）——即聖德寺僧侶之手便私自安葬死者的案例。當地的潛伏吉利支丹最終不得不主動向庄屋（現今的村長）表明自身信仰。隨著吉利支丹尚存的事實昭然若揭，密探便隨之展開調查，並將詳情呈報給江戶當局。

1867年6月，「第125代長崎奉行·石見守」——德永昌親親率170名部下闖入秘密教會，逮捕了以高木仙右衛門為首的68人。之後被捕者持續增加，銀鐐入獄者遭受嚴刑拷問。針對這一事件，以普魯士為代表的多國領事向奉行所提出嚴正抗議。另一方面，法國大使親自與德川幕府最後一任將軍德川慶喜交涉。最終吉利支丹雖仍處於嚴控之下，卻至少得以釋放。

大規模鎮壓

受到嚴厲處置的並不僅限於浦上村的吉利支丹。幕府末期至明治時代（1868-1912）初期，外海及五島列島等各地吉利支丹社群亦受到打壓，被捕者更慘遭虐待拷問（五島的鎮壓被稱作「五島大規模舉報事件」）。江戶幕府雖被明治政府取代，但全面禁止基督教這一方針仍一如既往。年號改為明治元年的1868年11月，五島列島的久高島發生了一起惡名昭彰的事件。約200名吉利支丹被集中關押在僅20平方公尺的「牢屋之窄」中長達八個月，並受殘忍拷問。幽禁期間，42人不幸身亡。英國大使聽聞這些慘無人道的打壓事件後，於1870年造訪五島，親自調查實情。

「旅程」——全村流放罪

1868年，新上任的九州鎮撫總督——澤宣嘉，與其部下井上馨一同前往長崎。在對浦上吉利支丹的調查告一段落後，他們製作了一份報告書。在以這份報告書為依據而舉行的

御前會議（天皇臨席決定重要國策的會議）上，浦上吉利支丹全村被判處流放罪。外派長崎的太政官參議木戶孝允，遂將 114 名主要人士流放至萩、津和野、福山藩等地。此一處分震驚西洋各國，不久甚至演變成嚴重的外交問題。

即使英國、法國、美國提出了嚴正抗議，1870 年 1 月，依舊有 700 名男性及其家眷遭致流放。浦上吉利支丹共計 3,394 名，被流放至 20 處藩地，並於各地被迫改宗，遭受拷問，充作苦力。儘管各國再三要求明治政府釋放信徒及改善待遇，卻一概被無視。長達五年的苦難時光，於日後被稱作「旅程」。在痛苦不堪的「旅程」中，許多信徒咬牙堅守著信仰。最終 613 人死於流放地，僅 2,911 人得以返回浦上。

（圖 1）

幕府末期的浦上村山里略圖

（圖 2）

（左）高木仙右衛門肖像

（個人收藏）

（右）政府密探所記錄的高木仙右衛門宅邸內之聖若瑟堂平面圖

（長崎歷史文化博物館）

某夜，「第 126 代長崎奉行・伊豆守」——河津祐邦將入獄中的高木仙右衛門傳喚至立山公所（現今長崎歷史文化博物館所在地）的大廳，勸其改宗，但意志堅定的仙右衛門自始至終斷然拒絕。

（長崎歷史文化博物館）

（圖 3）

楠原的吉利支丹牢

（三井樂教會資料館）

1868 年的吉利支丹鎮壓行動中，在五島列島的福江島上，有 33 名吉利支丹被監禁於此。

（圖 4）

1868 年及 1869 年，吉利支丹被流放的地點

兩組數字分別為 1868 年及 1869 年的流放人數。（）內的數字為死亡人數。

<日本語仮訳>

5.最後の大量報：「浦上四番崩れ」と長崎各地でのキリシタン弾圧

パリ外国宣教会による秘かな布教活動

信徒発見直後から、長崎奉行所の監視の目を潜り抜け、浦上村をはじめ五島列島等長崎各地のキリシタン集落の指導者が大浦天主堂を訪れました。また、フランス人宣教師達も各集落を密かに訪れて布教活動を行ないました。特に多数の潜伏キリシタンがいた浦上村には、聖マリア堂、聖ヨゼフ堂、サンタ・クララ堂、聖フランシスコ・ザベリオ堂の四つの秘密教会堂が設けられました。

浦上四番崩れ

1867年、浦上村のキリシタンが、檀那寺である聖徳寺の僧侶の手を経ずに死者を葬ることが相次ぎました。このことがきっかけとなり、最終的に地元の潜伏キリシタンが庄屋に対して自らの信仰を表明する事態となりました。キリシタンの存在が表面化すると、密偵による調査がなされ、その情報は江戸に報告されました。

1867年6月、第125代長崎奉行徳永石見守昌親は、170人の部下を秘密教会堂に突入させ、指導的立場にあった高木仙右衛門をはじめとした68人を捕縛しました。その後も捕縛者は増え、投獄された者には厳しい拷問が加えられました。この事件に対しプロシア領事をはじめ各国領事が奉行所に早速抗議しました。一方、フランス公使が徳川幕府最後の将軍徳川慶喜と直接交渉にあたった結果、キリシタンたちは厳しい監視の下に置かれ続けたとはいえ、牢から出ることができました。

大規模な弾圧

厳しく扱われたのは、浦上村のキリシタンだけではありませんでした。幕末から明治時代（1868-1912）の初期にかけて、外海や五島列島等各地のキリシタン共同体は弾圧を受け、捕らえられたものには激しい拷問が加えられました（五島での弾圧は五島崩れと呼ばれています）。江戸幕府が明治政府に変わった後も、徹底的なキリスト教の禁止は変わりませんでした。年号が明治となった最初の年の1868年11月、五島列島の久高島で、特に悪名高い事件が起こりました。「牢屋の窄」と呼ばれる20平米ほどの空間に約200人のキリシタンが8ヵ月にわたって密集状態で閉じ込められ、激しい拷問を受けました。このうち42人が幽閉中に亡くなりました。このような非道な弾圧について知ったイギリス公使は、1870年に五島を訪れ、実態調査に乗り出しました。

「旅」：一村流罪

1868年、新しく九州鎮撫総督に着任した沢宣嘉は、部下の井上馨とともに長崎に到着しました。彼らは浦上キリシタンの取調べを行い、報告書を作成しました。この報告をもとに行われた御前会議により、浦上キリシタン全村総流罪の処分が下されました。長崎に派遣された太政官参議の木戸孝允は、中心人物114名を萩・津和野・福山藩に流配しました。この浦上村のキリシタンへの処分は、西洋諸国に衝撃を与え、やがて深刻な外交問題へと発展しました。

イギリスやフランス、アメリカの激しい抗議にも関わらず、1870年1月には男子700人とその家族までもが流配されました。あわせて3,394名の浦上キリシタンが20藩に配流されました。流配されたキリシタンたちは各地で改宗を迫られ、拷問されたり重労働を強いられられました。明治政府に対する各国からの繰り返しの帰還要求や待遇改善要求は無視されました。この約5年に及ぶ苦難は「旅」として知られています。この苦難の中でも多くの信徒が信仰を守りぬきました。流配先で613人が亡くなり、浦上に戻ることができたのは2,911人だけでした。

(図1)

幕末頃の浦上村山里略図

(図2)

(左) 高木仙右衛門肖像

(個人蔵)

(右) 政府の密偵が記録した高木仙右衛門の屋敷内の聖ヨゼフ堂平面図

(長崎歴史文化博物館)

ある夜、第126代長崎奉行河津伊豆守祐邦がは、入牢中の高木仙右衛門を立山役所（現在長崎歴史文化博物館が建つ場所にあった）の大広間に呼び出し、改宗するよう説得した。仙右衛門は断固拒否の姿勢を貫いた。

(長崎歴史文化博物館)

(図3)

楠原の切支丹牢

(三井楽教会資料館)

1868年のキリシタン弾圧では、五島列島の福江島にあるこの家に33人のキリシタンが押し込められた。

(図4)

1868と1869年にキリシタンが流配された場所

最初の数字は1868年、二番目の数字は1869年の流配人数を指す。()内の数字は死亡者数。

<简体字>

6. 基督教解禁——终获宗教自由

西欧各国提出抗议

1871年，明治政府将外务大臣岩仓具视任命为全权大使，并将其派往国外，就修改日本与西洋各国签订的不平等条约进行交涉。然而因日本对浦上吉利支丹的残忍无道，以及当时仍持续大规模逮捕外海及长崎湾周边的吉利支丹等行径，导致岩仓在多国遭受严厉谴责，并被要求赋予民众信仰的自由。1873年2月24日，明治政府最终颁布了太政官布告第68号，禁制吉利支丹的告示牌也随之被撤除。

浦上信徒与宗教自由

1873年3月14日，政府下令撤回流放惩处，返还被遣送至相关各县的浦上吉利支丹。至此，1,930人在历经五年流罪后，守得云开见月明，终得以回归浦上。1889年，《大日本帝国宪法》（又称《明治宪法》）颁布，其中第28条规定：“日本臣民如未妨害安宁秩序且未违反臣民义务，享有信仰之自由”，从此宗教信仰自由终于获得了国家的保障。

恢复传教与兴建教堂

在巴黎外方传教会传教士再度积极传教的助推下，回归天主教的信徒备受鼓舞，纷纷着手在隐匿多年的村落兴建教堂，以证明其对信仰传承的坚守。初期的教堂均相当简朴，但由于许多传教士的建筑设计技术优异，如浦上及外海的多罗神父及五岛列岛的佩卢神父，因此兴建的教堂亦日渐富丽堂皇。他们还将自己的建筑技术传授给外海的川原一族及五岛的铁川与助等日本人。铁川与助毕生致力于设计及兴建教堂，总数超过30座之多。

开展福祉事业

1874年7月，长崎港外的伊王岛发生痢疾，疫情蔓延至外海、浦上一带。隔月，荫之尾岛更是天花肆虐。这段期间由多罗神父负责医治病患，与此同时，结束“旅程”后回到浦上的岩永 Maki（十字会创设人）等许多年轻男女也不遗余力提供了帮助。

当中的妇女日后开始着手抚养孤儿，并在外国神父们的指导下，成立了“女部屋”（日后的浦上十字会）等社群。这些社群活动不禁让人联想起过去的“慈悲组（Misericordia）”，其范围扩展至外海、五岛列岛、平户、黑岛等地。各社群通过不懈钻研，还积极向保育、医疗活动、女性独立等领域进军。

(图片说明)

(图 1)

1873 年，明治政府撤除建于 1868 年的告示牌。

(长崎历史文化博物馆)

(图 2)

浦上天主堂兴建于高谷庄屋宅邸旧址。

(1937 年左右)

1895 年，在皮耶·福莱诺神父的指导下，兴建工程开始。据说部分石像是神父亲自雕成，然而神父在 1925 年建筑落成前却早已离世。1945 年，建筑因原爆而毁于一旦。

(长崎历史文化博物馆)

(图 3)

设置于外海的女性专用职业训练设施（现为旧出津救助院）

(天启玛利亚修道会)

<繁体字>

6. 基督教解禁——終獲宗教自由

西歐各國提出抗議

1871年，明治政府任命外務大臣岩倉具視為全權大使，並將其派至國外，就修改日本與西洋各國簽訂的不平等條約進行交涉。然而因日本對浦上吉利支丹的殘忍無道，以及當時仍持續大規模逮捕外海及長崎灣周邊的吉利支丹等行徑，造成岩倉在多國遭受嚴厲譴責，並被要求應賦予民眾信仰的自由。1873年2月24日，明治政府最終發布了太政官布告第68號，禁制吉利支丹的告示牌也隨之被撤除。

浦上信徒與信仰自由

1873年3月14日，政府下令撤回流放懲處，返還被遣送至相關各縣的浦上吉利支丹。至此，1,930人在歷經五年流罪後，守得雲開見月明，終得以回歸浦上。1889年，《大日本帝國憲法》（又稱《明治憲法》）頒布，其中第28條規定：「日本臣民如未妨害安寧秩序且未違反臣民義務，享有信仰之自由」，從此宗教信仰自由最終獲得了國家的保障。

恢復傳教與興建教堂

在巴黎外方傳教會傳教士再度積極傳教的助推下，回歸天主教的信徒備受鼓舞，紛紛著手在隱匿多年的聚落興建教堂，以證明其對信仰傳承的堅守。初期的教堂均相當簡樸，不過因許多傳教士的建築設計技術優異，如浦上及外海的多羅神父及五島列島的佩盧神父，因此興建的教堂亦日漸富麗堂皇。他們還將自己的建築技術傳授給外海的川原一族及五島的鐵川與助等日本人。鐵川與助畢生致力於設計及興建教堂，總數超過30座之多。

展開福利事業

1874年7月，長崎港外的伊王島發生痢疾，疫情蔓延至外海、浦上一帶。隔月，蔭之尾島更是天花肆虐。這段期間，多羅神父負責醫治病患，與此同時，結束「旅程」後回到浦上的岩永Maki（十字會創設人）等許多年輕男女也不遺餘力提供了幫助。

當中的婦女日後開始著手撫養孤兒，並在外國神父們的指導下，成立了「女部屋（日後的浦上十字會）」等社群。這些社群活動不禁讓人聯想起過去的「慈悲組（Misericordia）」，其範圍擴展至外海、五島列島、平戶、黑島等地。通過不懈鑽研，各社群還積極向保育、醫療活動、女性獨立等領域進軍。

(圖片說明)

(圖1)

1873年，明治政府撤除建於1868年的告示牌。

(長崎歷史文化博物館)

(圖2)

浦上天主堂興建於高谷庄屋宅邸舊址。

(1937年左右)

1895年，在皮耶·福萊諾神父的指導下，興建工程開始。據說部分石像是神父親自雕成，然而神父在1925年建築落成前卻早已離世。1945年，建築因原爆而毀於一旦。

(長崎歷史文化博物館)

(圖3)

設置於外海的女性專用職業訓練設施 (現為舊出津救助院)

(天啓瑪利亞修道會)

<日本語仮訳>

6. キリスト教の解禁：信教の自由獲得へ

西欧諸国からの抗議

1871年、明治政府は外務卿岩倉具視を全権大使に任命し、西洋諸国と結んだ不平等条約改正の交渉を行うという特別任務を与えて海外に派遣しました。しかし、岩倉は訪れた先々で浦上キリシタンへの非人道的行為や当時進行中だった外海と長崎湾周辺におけるキリシタンの大規模な捕縛などについて厳しく非難され、信仰の自由を認めるよう迫られました。1873年2月24日、明治政府はついに太政官布告第68号を發布し、これをもってキリシタン禁制の高札が撤去されました。

浦上信徒と信教の自由

同年3月14日には、関係各県に流配されていた浦上のキリシタンを帰還させる命令が出されました。これにより、5年の流刑を経て、1,930人が浦上に帰ることができました。1889年に発布された大日本帝国憲法（明治憲法）では、第28条に「日本臣民ハ安寧秩序ヲ妨ケス、及臣民タルノ義務ニ背カサル限りニ於テ信教ノ自由ヲ有ス」と定められました。こうして、国によって信教の自由が保障されることになりました。

再布教と教会堂の建設

パリ外国宣教会の宣教師の積極的な再布教に後押しされ、カトリックへ復帰した信徒達は、信仰継承の証として、各自が長い間潜伏してきた集落に教会堂を建設し始めました。初期の教会堂は大変簡素なものでした。しかし、浦上と外海のド・ロ神父や五島列島のペリュ神父など、建築設計技術に長けた宣教師が多いため、次第により華やかな教会堂が建てられるようになりました。また、これらの宣教師たちは、自分たちの持つ建築技術を外海の川原一族や五島の鉄川与助などの日本人に引き継ぎました。鉄川与助はその後生涯で30以上の教会堂を設計・建設しました。

福祉事業の開始

1874年7月、長崎港外の伊王島で赤痢が発生し、外海・浦上一帯まで蔓延しました。翌月には蔭ノ尾島で天然痘が発生しました。ド・ロ神父はこれらの伝染病の患者を治療し、「旅」から浦上に帰村した岩永マキ（十字会の創設者）をはじめとする多くの献身的な若い男女が協力しました。

その後女性たちは、孤児の養育に着手し、外国人神父らの指導のもとに「女部屋（後の浦上十字会）」等と呼ばれる共同体がかたちづけられました。このかつての「ミゼリコルディア（慈悲の組）」を思わせるような活動は、外海、五島列島、平戸、黒島等にも広がり、研鑽をとおして各地で保育や医療活動、女性の自立等の分野に進出しました。

（キャプション）

(図 1)

1873 年、明治政府は、1868 年に立てた高札を撤去した。

(長崎歴史文化博物館)

(図 2)

浦上天主堂は高谷庄屋敷跡に建設された。

(1937 年頃)

ピエール・フレノー神父の指導により 1895 年に建築が開始された。石像の一部も自ら彫り上げたと伝えられる神父は、1925 年に建物完成が完成するよりずっと前に亡くなった。建物は 1945 年、原爆により倒壊した。

(長崎歴史文化博物館)

(図 3)

外海に設けられた女性のための職業訓練施設 (現・旧出津救助院)

(お告げの MARIA 修道会)

<简体字>

7. 隐匿吉利支丹——坚守潜伏吉利支丹信仰形态的人们

“潜伏吉利支丹”及“隐匿吉利支丹”

19 世纪后半叶，大部分的潜伏吉利支丹选择回归天主教。不过亦有一些人选择继续贯彻禁教潜伏期的信仰对象及各种仪式（其中一部分至今仍存在）。这些人区别于德川幕府时代的“潜伏吉利支丹”，被称为“隐匿吉利支丹”。除此之外，也有人选择改信佛教或神道教，并皈依檀那寺等在禁教期间默认为吉利支丹信仰的寺院。

系统与组织

世代传承的吉利支丹信仰组织及仪式，皆拥有各自的当地特色，大致可分为两大系统：“平户、生月”系统，以及“外海、五岛、长崎”系统。

传教阶段的信仰组织中，分为“慈悲组 (Misericordia)”与“信心会 (Confraria)”两种。当中负责管理组织的共有三种职位：保护神像及执行仪式的“帐方”或称“亲父役”、实施洗礼的“水方”或称“叔父役”，以及协办活动兼联络及会计的“闻役”或称“役中”。

近年因社会变化及高龄化等因素，维持隐匿吉利支丹信仰形态的社群急遽减少。据估计，隐匿吉利支丹的人口于昭和初期（1926-1946）约有三万人以上，然而这一数字在 1999 年却骤减至约 1,000 至 1,500 人。信仰存续的地区亦在缩减，目前仅剩生月岛、外海地区、部分五岛列岛等。

祈祷与信仰对象

在举行仪式时，隐匿吉利支丹会吟唱信徒于隐匿期间口耳相传的“Oratio（祈祷文）”。被称为“宝物”及“纳户神”的“御神体”（神灵寄宿之物体、也是信徒崇拜的对象），包括饰板、勋章、玫瑰念珠等物件，或是源自吉利支丹时代，亦或是于 19 世纪中期由传教士再度赴日时带入。外海、五岛地区的玛利亚观音世代传承，生月地区则有被称为“御挂绘”的圣画流传至今。

(图 1)

“隐匿吉利支丹”的仪式

1904-1905 年左右

《史料写真集生月》渡边库辅收藏

(长崎历史文化博物馆)

(图 2)

位于生月岛与平户岛间的中江之岛被奉为圣地，多位拥有洗礼名“胡安 (Juan)”的殉教者于 1622 年及 1624 年曾在此被处决。后人深信正是他们的在天之灵赋予了岛屿灵力，因此岛上的圣水亦被称作“圣胡安大人之御水”。

1904-1905 年左右

《史料写真集生月》渡边库辅收藏

(长崎历史文化博物馆)

(图 3)

外海的枯松神社，奉祀着据说为巴斯蒂安导师的圣约翰 (St. John)。附近有一片吉利支丹墓地，以及一块名为“祈祷之岩”的巨石，禁教时期的吉利支丹便是在这里记诵“Oratio (祈祷文)”。

<繁体字>

7. 隱匿吉利支丹——堅守潛伏吉利支丹信仰型態的一群人

「潛伏吉利支丹」及「隱匿吉利支丹」

19世紀後半，大部分的潛伏吉利支丹選擇回歸天主教。不過亦有群體選擇繼續貫徹禁教潛伏期的信仰對象及各種儀禮（其中一部分至今尚存）。這些人與德川幕府時代的「潛伏吉利支丹」有所區別，被稱為「隱匿吉利支丹」。除此之外，也有人皈依檀那寺等在禁教期間默認吉利支丹信仰的寺院，選擇改信佛教或神道教。

系統與組織

許多世代傳承的吉利支丹信仰組織及儀式，皆擁有各自的在地特色，大致可分為兩大系統：「平戶、生月」系統，以及「外海、五島、長崎」系統。

傳教階段的信仰組織中，分為「慈悲組（Misericordia）」與「信心會（Confraria）」兩種。當中負責管理組織的共有三種職位：保護神像及執行儀式的「帳方」或稱「親父役」、實施洗禮的「水方」或稱「叔父役」，以及協辦活動兼聯絡及會計的「聞役」或稱「役中」。

近年因社會變化及高齡化等因素，維持隱匿吉利支丹信仰型態的社群急遽減少。據估計，隱匿吉利支丹的人口於昭和（1926-1946）初期約有三萬人以上，然而這一數字在1999年卻驟減至約1,000~1,500人。信仰存續的地區亦在縮減，目前僅剩生月島、外海地區、部分五島列島等。

祈禱與信仰對象

隱匿吉利支丹舉行儀式時，會吟唱信徒於隱匿時期口耳相傳的「Oratio（祈禱文）」。被稱為「寶物」及「納戶神」的「御神體（神靈寄宿之物體、也是信徒崇拜的對象）」，包括飾板、勳章、玫瑰念珠等物件，或是源自吉利支丹時代，或是於19世紀中期由傳教士再度赴日時帶入。外海、五島地區的瑪利亞觀音世代傳承，生月地區則有被稱為「御掛繪」的聖畫流傳至今。

（圖 1）

「隱匿吉利支丹」的儀式

1904-1905年左右

《史料寫真集生月》渡邊庫輔收藏

(長崎歷史文化博物館)

(圖 2)

位於生月島與平戶島之間的中江之島被奉為聖地，多位擁有洗禮名「胡安 (Juan)」的殉教者於1622年及1624年在此被處死。後人相信正是他們的在天之靈賦予了島嶼靈力，因此島上的聖水亦被稱為「聖胡安大人之御水」。

1904-1905年左右

《史料寫真集生月》渡邊庫輔收藏

(長崎歷史文化博物館)

(圖 3)

外海的枯松神社，奉祀著據信為巴斯蒂安導師的聖約翰 (St. John)。附近有一片吉利支丹墓地，以及一塊名為「祈禱之岩」的巨石，禁教時期的吉利支丹便是在這裡記誦「Oratio (祈禱文)」。

<日本語仮訳>

7. かくれキリシタン：潜伏キリシタンの信仰形態を守りつづける人々

「潜伏キリシタン」と「かくれキリシタン」

19 世紀後半に、ほとんどの潜伏キリシタンがカトリックへと復帰しました。しかし、禁教中の潜伏期からの信仰対象や儀礼を貫き通す集団もありました（その一部は今なお存在しています）。これらの人々は、徳川幕府の時代の潜伏キリシタンと区別して、「かくれキリシタン」と称されています。ほかに、禁教期にキリシタン信仰を黙認してくれた檀那寺等に帰依し、仏教や神道に改宗する人々もありました。

系統と組織

受け継がれてきたキリシタンの信仰組織や儀式には地域ごとの特色がみられます。それらは平戸・生月系と、外海・五島・長崎系の二つの大きな系統に分類されています。

信仰組織には、初期の宣教期に組織された「慈悲の組（ミゼリコルディア）」と「信心会（コンフラリア）」の二種類があります。これらの組織は、聖像を守り儀式を執り行う「帳方」または「オヤジ役」、洗礼を受ける「水方」または「オジ役」、そして行事の補佐や連絡・会計係を務める「聞役」または「役中」の三役によって統括されていました。

近年、社会の変化や高齢化等により、かくれキリシタンの信仰形態を守る共同体の数は急激に減少しています。隠れキリシタンの人口は、昭和（1926-1946）の初期には推定 3 万人以上とされていましたが、1999 年には約 1,000～1,500 人まで急落しました。信仰が存続している地域も縮小し、現在では生月島、外海地区、五島列島の一部のみとなっています。

祈りと信仰の対象

かくれキリシタンの行事の際、信徒は潜伏期を通じて口伝されてきた祈り「オラシヨ」を唱えます。宝物や納戸神などと称される御神体には、キリシタン時代から伝わる、または 19 世紀半ばに宣教師が再来した後に渡されたプラケットやメダイ、ロザリオなどがあります。外海・五島地方では代々マリア観音が受け継がれており、生月では「御掛け絵」と呼ばれる聖画等が継承されています。

（図 1）

「かくれキリシタン」の儀式

1904～1905 年頃

「史料写真集生月」渡辺庫輔収集

（長崎歴史文化博物館）

（図 2）

生月島と平戸島との間に位置する中江ノ島は聖地とされ、1622 年および 1624 年に複数のジュワンという洗礼名を持った殉教者が処刑された場所。御魂が宿っており霊力があるされるこの島から採

れる御水は「サンジュワン様の御水」と称される。

1904～1905 年頃

「史料写真集生月」渡辺庫輔収集

(長崎歴史文化博物館)

(図3)

バスチャンの師と考えられているサン・ジワン (St. John) は外海の枯松神社に祀られている。付近にはキリシタン墓地と禁教期にキリシタンがオラショを記憶した場所である「祈りの岩」と呼ばれる大岩がある。

<简体字>

外海的出津村落

秘密朝拜圣画，实践信仰的村落

外海出津村落之价值

外海的出津村落，是潜伏吉利支丹通过朝拜特定物品以实践信仰的四大村落之一。

禁教时期，出津村落的潜伏吉利支丹在隐藏自身信仰的同时，秘密对基督教的圣画进行朝拜，依照教理书及教会历法所示的生活方式来实践信仰。

此地区亦有许多潜伏吉利支丹移居至五岛列岛，继而将社群扩展至长崎的离岛。

解禁后，潜伏吉利支丹阶段性地回归了天主教。新教堂于俯视村落的高台上建成，象征他们的“潜伏”终于宣告终结。

(照片说明)

出津教会与旧出津救助院

(第二排右侧)

潜伏吉利支丹的墓地

根据 1862 年的画作所示，出津村落的墓地是以社群作为划分方式。禁教时期的墓碑并非石塔，而是用当地产的结晶片岩堆积而成。据传潜伏吉利支丹的埋葬方式为“头部朝南，屈膝卧棺”。日后，野中墓地的挖掘调查证实了此一传言。

1 小田平墓地

2 菖蒲田墓地

3 野中墓地

4 畑杭墓地

(池田勉摄影)

(第三排右侧)

圣画像

出津村落内藏匿着各式各样的神圣物品，当时的信徒以此秘密祈祷供奉。其中有一块据传是 16 世纪源自欧洲的青铜大勋章《无原罪的饰板》（目前藏于多罗神父纪念馆），上面刻有圣母玛利亚；而隶属庄屋（相当于现今的村长）的铜制仙人像“依纳爵大人”

（藏于外海历史民俗资料馆），其描绘对象为耶稣会创始人依纳爵·罗耀拉；除此之外还不乏画作，如《圣米迦勒》及《十五玄义》等。1867年，针对是否回归天主教，潜伏吉利支丹之间产生分歧，并为此在《圣米迦勒》及《十五玄义》的所有权上产生争执。

圣米迦勒图

十五玄义图

（长崎历史文化博物馆）

*两幅圣画原出自出津教堂，后移交至浦上教会，在 1945 年的原爆中遭烧毁。目前仅存烧毁前留下的临摹作品。

外海的出津村落——范围与要素

外海的出津村落位于汇入角力滩的出津川流域。

此村落拥有以下史迹：

- 在禁教期间，潜伏吉利支丹为了秘密祈祷而藏匿圣画的宅邸旧址
- 潜伏吉利支丹之墓地
- 于禁教期管辖村落的代官所旧址（现为旧出津救助院）
- “信徒发现”后，尚未解除禁教令之时，法国传教士登陆的海滩
- 基督教解禁后立即兴建的临时教堂旧址
- 象征潜伏吉利支丹时代终结的教堂

（地图标题）

出津村落内的史迹

<繁体字>

外海的出津聚落

秘密朝拜聖畫，實踐信仰的聚落

外海出津聚落之價值

外海的出津聚落，是潛伏吉利支丹通過朝拜特定物品以實踐信仰的四大聚落之一。

禁教時期，出津聚落的潛伏吉利支丹在隱藏自身信仰的同時，秘密朝拜基督教的聖畫，依照教理書及教會曆法的生活方式來實踐信仰。

此地區亦有許多潛伏吉利支丹移居至五島列島，繼而將社群擴展至長崎的離島。

解禁後，潛伏吉利支丹階段性地回歸天主教。新教堂於俯視村落的高台上落成，象徵他們的「潛伏」也隨之告終。

(照片說明)

出津教會與舊出津救助院

(第二排右側)

潛伏吉利支丹的墓地

根據1862年的畫作顯示，出津聚落的墓地是以社群作為劃分方式。禁教時期的墓碑並非石塔，而是用當地產的結晶片岩堆積而成。據傳潛伏吉利支丹的埋葬方式為「頭部朝南，屈膝臥棺」。日後，野中墓地的挖掘調查證實了此一傳言。

1 小田平墓地

2 菖蒲田墓地

3 野中墓地

4 畑杭墓地

(池田勉攝影)

(第三排右側)

聖畫像

出津聚落內藏匿著各式各樣的神聖物品，當時的信徒以此秘密祈禱供奉。其中有一塊據傳是16世紀源自歐洲的青銅大勳章《無原罪的飾板》（目前藏於多羅神父紀念館），上面刻有聖母瑪利亞；而隸屬庄屋（相當於現今的村長）的銅製仙人像「依納爵大人」（藏

於外海歷史民俗資料館），其描繪對象為耶穌會創始人依納爵·羅耀拉；除此之外，還不乏大量畫作，如《聖米迦勒》及《十五玄義》等。1867年，針對是否回歸天主教，潛伏吉利支丹之間產生分歧，為此在《聖米迦勒》及《十五玄義》的所有權上發生爭執。

聖米迦勒圖

十五玄義圖

（長崎歷史文化博物館）

*兩幅聖畫原出自出津教堂，後移交至浦上教會，在1945年的原爆中遭燒燬。目前僅存燒燬前留下的臨摹作品。

外海的出津聚落——範圍與要素

外海的出津聚落位於匯入角力灘的出津川流域。

此聚落擁有下列史跡。

- 潛伏吉利支丹在禁教期間為了秘密祈禱而藏匿聖畫的宅邸舊址
- 潛伏吉利支丹的墓地
- 於禁教期管轄聚落的代官所舊址（目前為舊出津救助院）
- 「信徒發現」後，尚未解除禁教令之時，法國傳教士登陸的海灘
- 基督教解禁後立即興建的臨時教堂舊址
- 象徵潛伏吉利支丹時代告終的教堂

（地圖標題）

出津聚落內的史跡

<日本語仮訳>

外海の出津集落

聖画をひそかに拝むことによって信仰を実践した集落

外海の出津集落の価値

外海の出津集落は、潜伏キリシタンが何を拝むことによって信仰を実践したのかを示す 4 つの集落のうちの一つです。

禁教期の出津集落の潜伏キリシタンは、自分たちの信仰を隠しながらキリスト教由来の聖画像をひそかに拝み、教理書や教会暦をよりどころとした暮らし方をするによって信仰を実践しました。

また、この地域から多くの潜伏キリシタンが五島列島に移住したことで、彼らの共同体が長崎の離島部へと広がりました。

解禁後、潜伏キリシタンは段階的にカトリックに復帰しました。集落を望む高台に建てられた教会堂は、彼らの「潜伏」が終わりを迎えたことを象徴しています。

(写真キャプション)

出津教会と日出津救助院

(二段目右側)

潜伏キリシタンの墓地

1862 年の絵図により出津集落の墓地がコミュニティごとに作られていることが分かります。禁教期の墓は石塔ではなく当地で産出される結晶片岩を積み上げたものでした。潜伏キリシタンの埋葬方法は「頭を南に向けて、膝を曲げて寝かせる寝棺」と言い伝えられています。野中墓地の発掘調査では、この言い伝えの正しさが明らかになりました。

1 小田平墓地

2 菖蒲田墓地

3 野中墓地

4 畑杭墓地

(池田勉撮影)

(三段目右側)

聖画像

出津集落内には、様々な神聖な品が秘匿され、密かに祈りが捧げられていました。その中には、16 世紀にヨーロッパから伝わったとされる聖母マリアをかたどった青銅製の大型メダル「無原罪のプラケット」(現在はド・ロ神父記念館蔵)をはじめ、庄屋が所有していた銅製の仙人像をイエズス会創始者のイグナティウス・ロヨラに見立てた「イナツヨさま」(外海歴史民俗資料館蔵)、「聖ミカエル」及び「十五玄義」など数多くの絵画があります。1867 年にはカトリックに復帰するか否かについて潜伏キリシタン

の間で意見が分かれ、「聖ミカエル」及び「十五玄義」の所有をめぐる争いが起こりました。

聖ミカエル図

十五玄義図

(長崎歴史文化博物館)

*この2点の聖画は出津教会堂から浦上教会へとわたり、1945年の原爆により焼失しました。焼失する前に模写した絵が残されています。

外海の出津集落：範囲と要素

外海の出津集落は、角力灘に注ぐ出津川の流域に位置しています。

この集落には、次の史跡があります。

- ・潜伏キリシタンが禁教期に密かに祈りを捧げるために聖画像を隠していた屋敷の跡
- ・潜伏キリシタンの墓地
- ・禁教期に集落を管轄した代官所の跡（現在の旧出津救助院）
- ・「信徒発見」後まだ禁教が解けない時期にフランス人宣教師が上陸した浜辺
- ・キリスト教の解禁直後に建てられた仮の聖堂跡
- ・潜伏キリシタンの時代が終焉したことを象徴する教会堂

(地図タイトル)

出津集落内の史跡

<简体字>

外海的大野村落

秘密朝拜神社中供奉的信仰对象借此实践信仰的村落

外海大野村落之价值

外海的大野村落，是潜伏吉利支丹通过朝拜特定物品以实践信仰的四大村落之一。

禁教期间，大野村落的潜伏吉利支丹平时以佛教徒或村落内神社的氏子（同一地区信奉同一氏神的信徒）自居，实则将自己的信仰对象暗中供奉于神社中，由此来实践信仰。

此地区有大量的潜伏吉利支丹移居至五岛列岛等地，其社群甚至拓展至长崎的离岛。

解禁后，潜伏吉利支丹回归天主教，并前往外海出津村落的出津教堂进行礼拜。之后，大野村落也着手兴建属于当地的教堂，潜伏时代从此宣告终结。

潜伏吉利支丹潜心祈祷的三座神社

根据 1671 年重建及迁宫的记录不难推测出，大野神社在禁教期间始终存在于村落中。入口处的鸟居建成于 1835 年。因大野神社供奉着整个村落的守护神，故而在大野村落的三座神社中等级最高。神主由历代庄屋（现今的村长）担任。大多数居民都被登记为大野神社的氏子，可见大野村落的潜伏吉利支丹亦刻意伪装成了神道教信徒。潜伏吉利支丹还曾在更感亲民的门神社与辻神社祈祷过。

门神社原本就供奉着众多神灵，1637 年“岛原-天草起义”时逃至大野的吉利支丹——本田敏光便是其中一位。

1681 年至 1861 年期间，大村藩的调查记录中，记载了有关辻神社的描述。辻村落（于基督教被禁时就存在的村落）的村民世代守护着这座神社。这原本是一座祭祀古时自然信仰“山神”的神社，潜伏吉利支丹在此将自身的信仰对象与神社内供奉的神灵相重叠，一并献上祈祷。

潜伏吉利支丹墓地

大野村落的居民逝世后均被安葬于公共墓地。但即便在基督教解禁后，庄屋（现今的村长）及官员仍拒绝让那些表明回归天主教者在公共墓地下葬，新墓地由此于离村落稍远的位置应运而生。新墓地曾出土十字架、勋章、玫瑰念珠的金属配件等。

（图片说明）

大野神社

门神社

辻神社

隐匿吉利支丹的积石墓

外海的大野村落——范围与要素

外海的大野村落距离出津西北方约 3 公里，地处一片陡坡之上，面对着角力滩，向西可远眺大野岳。

此村落坐落着三座神社（大野神社、门神社、辻神社）、一块潜伏吉利支丹墓地，以及一座象征潜伏吉利支丹时代告终的教堂。

<繁体字>

外海的大野聚落

秘密朝拜神社中供奉的信仰對象 藉此實踐信仰的聚落

外海大野聚落之價值

外海的大野聚落，是潛伏吉利支丹透過朝拜特定物品以實踐信仰的四大聚落之一。

禁教期間，大野聚落的潛伏吉利支丹平時以佛教徒或聚落內神社的氏子（同一地區信奉同一氏神的信徒）自居，實則將自己的信仰對象悄悄供奉於神社中，以此來實踐信仰。

此地區有大量的潛伏吉利支丹移居至五島列島等地，其社群甚至擴展到長崎的離島。

解禁後，潛伏吉利支丹回歸天主教，並前往外海出津聚落的出津教堂進行禮拜。其後，大野聚落也著手興建屬於當地的教堂，從此潛伏時代宣告終結。

潛伏吉利支丹潛心祈禱的三座神社

根據大野神社於1671年重建及遷宮的紀錄，不難推測出其在禁教期間始終存在於聚落中。入口處的鳥居於1835年建成。因大野神社供奉著整個聚落的守護神，故在大野聚落的三座神社中等級最高。神主由歷代庄屋（現今的村長）擔任。大多數居民都被登記為大野神社的氏子，可見大野聚落的潛伏吉利支丹亦刻意偽裝成了神道教信徒。潛伏吉利支丹還曾在更感親民的門神社與辻神社祈禱過。

門神社原本就供奉著眾多神明，1637年「島原-天草起義」時逃至大野的吉利支丹——本田敏光便是其中一位。

1681年至1861年期間，大村藩的調查紀錄中，記載了有關辻神社的描述。辻聚落（於基督教被禁時就存在的聚落）的居民世代代守護著這座神社。這原本是一座祭祀古時自然信仰「山神」的神社，潛伏吉利支丹在此將自身的信仰對象與神社內供奉的神靈相重疊，一併獻上祈禱。

潛伏吉利支丹墓地

大野聚落的居民逝世後均被葬於公共墓地。然而即使在基督教解禁後，庄屋（現今的村長）及官員仍拒絕讓那些表明回歸天主教者在公共墓地下葬，由此新墓地便於離聚落稍遠的位置應運而生。新墓地曾出土十字架、勳章、玫瑰念珠的金屬配件等。

（圖片說明）

大野神社

門神社

辻神社

隱匿吉利支丹的積石墓

外海的大野聚落——範圍與要素

外海的大野聚落距離出津西北方約3公里，地處一片陡坡之上，面對角力灘，向西可遠眺大野岳。

此聚落坐落著三座神社（大野神社、門神社、辻神社）、一塊潛伏吉利支丹墓地，以及一座象徵潛伏吉利支丹時代告終的教堂。

<日本語仮訳>

外海の大野集落

神社にひそかにまつた自らの信仰対象を拝むことによって信仰を実践した集落

外海の大野集落の価値

外海の大野集落は、潜伏キリシタンが何を拝むことによって信仰を実践したのかを示す 4 つの集落のうちの一つです。

禁教期の大野集落の潜伏キリシタンは、表向きは仏教徒や集落内の神社の氏子となり、同時に神社に自分たちの信仰対象をひそかにまつて拝むことによって信仰を実践し続けました。

この地域から多くの潜伏キリシタンが五島列島などの離島部へと移住したことで、彼らの共同体が長崎の離島部へと広がりました。

解禁後はカトリックに復帰し、外海の出津集落にある出津教会堂に通っていました。その後、大野集落にも独自の教会堂が建てられ、彼らの潜伏期は終わりを迎えました。

潜伏キリシタンが祈りをささげた 3 つの神社

大野神社は、1671 年に再興、遷宮がなされたと記録があることから分かるように禁教期を通じて集落に存在した神社です。入口の鳥居は、1835 年に建立されました。大野集落の 3 つの神社の中でも、大野神社は集落全体の守り神を祀っていたため最も社格が高く、代々庄屋が神主を務めていました。集落民の大多数は大野神社の氏子として記帳されており、大野集落の潜伏キリシタンも神道の信者を装っていたことが伺えます。また、潜伏キリシタンは、より身近な存在であった門神社と辻神社でも祈りを捧げました。

門神社にはもともと様々な神が祀られていました。その中に 1637 年の島原・天草一揆の際に大野に逃れてきた本田敏光というキリシタンも含まれていました。

1681 年から 1861 年までの大村藩の調査記録に辻神社のことが書かれています。辻部落（キリスト教が禁止された時から存在した部落）の人々が代々この神社を守ってきました。古来の自然信仰に基づく山の神を祀った神社ですが、潜伏キリシタンはその祭神を自分たちの信仰対象と重ねて祈りを捧げました。

潜伏キリシタンの墓地

大野集落の住民は共同墓地に埋葬されました。しかし、解禁後でも、表立ってカトリックへの復帰を表明したものは、庄屋や役人から共同墓地への埋葬の権利が与えられなかったため、集落から離れた場所に新たに墓地が設けられました。その墓地からは十字架やメダイ、ロザリオ金具が出土しています。

(キャプション)

大野神社

門神社

辻神社

かくれキリシタンの積石墓

外海の大野集落：範囲と要素

外海の大野集落は出津の北西約 3 キロメートルの場所に位置しており、西に大野岳を望む角力灘に面した急傾斜地の上にあります。

この集落には、3つの神社（大野神社・門神社・辻神社）、潜伏キリシタンの墓地、そして潜伏キリシタンの時代が終焉したことを象徴する教会堂があります。

<简体字>

平户的圣地与村落

平户的基督教

1550年，长崎县平户市平户港，
迎来了首艘来日的葡萄牙船。

西洋文化，就此随葡萄牙人传入日本。

建有荷兰商馆的街道上，
尚有一丝当时的贸易情怀。

彼时的日本与西方往来频繁，贸易兴盛。
然而进入平户的却不仅仅是商品。

基督教也随之传入。

传教士圣方济各·沙勿略，为传教而造访平户。

第25代平户藩主松浦隆信，认为传教有助于贸易，
因此应允耶稣会传教士进行相关活动。

此外，松浦隆信还准许家臣笼手田安经，
以及其弟——一部勘解由改信基督教。

二人皆是虔诚的基督徒，
曾劝说领地内的居民一同改信基督教。

平户，就此成为
日本第一片基督教蓬勃发展之地。

然而，这段繁荣并未持续太久。

1587年，一统天下的丰臣秀吉，
颁布《伴天连追放令》，将基督教神父驱逐出境。

平户藩主松浦隆信，
却仍对基督教采取相当宽容的态度。

然而，1599年松浦隆信逝世后，
打压平户基督教的行为日趋严重。

不止平户，整个长崎，乃至全日本的吉利支丹
接二连三遭到处决。

名为“潜伏吉利支丹”的群体，表面上信奉佛教及神道教，
暗中却坚守着基督教信仰。

这里再现了潜伏吉利支丹实践信仰时的场景。
房间里摆着神龛，起居室里放着佛坛……

……不过，在不起眼的储藏室中，
却装饰着吉利支丹的信仰圣器。

这些是关于基督教圣画的挂轴，
以及一种起源于鞭子的驱邪净化之工具。

这些瓶中盛放的是圣水。

潜伏吉利支丹不仅供奉这些物品，
还会咏唱名为“Oratio”的吉利支丹祈祷文。

在没有传教士的约250年间，
信仰被秘密地代代相传。

幕府末期，日本开放国度，
外国神父得以重启天主教的传教活动。

1873 年，基督教终于解禁。

许多潜伏吉利支丹重返天主教的怀抱，
重新开始宗教活动，兴建教堂。

不过，也有吉利支丹选择不回归天主教，
继续维持禁教时期的古老信仰方式。

这些人被称为“隐匿吉利支丹”，保有着特殊的信仰。
他们没有属于自己的教会，也同时信仰佛教和神道教。

平户的基督教与隐匿吉利支丹，
是值得全世界了解的重要历史。

吉利支丹在失去传教士的 250 年里，
未曾放弃信仰，而是一同坚守并加以传承。

吉利支丹的历史弥足珍贵，
是无可比拟的一段传奇。

随着出生率的降低、社会结构的变化，
隐匿吉利支丹的人口正急速减少。

平户的基督教历史充满坎坷，却蕴含深意。

坚守禁教时期古老的信仰形式，
以及基督教复兴后，天主教信徒兴建的教会等

恰恰印证了信仰与宗教的重要性。

先人相传至今的历史与文化，
从今以后，理应由我们继续承袭与发扬。

<繁体字>

平戶的聖地與聚落

平戶的基督教

1550年，長崎縣平戶市平戶港，
迎接了首艘來日的葡萄牙船。

西洋文化，就此隨葡萄牙人傳入日本。

建有荷蘭商館的街道上，
尚有一絲當時的貿易情懷。

彼時的日本與西方往來頻繁，貿易興盛。
然而進入平戶的卻不僅僅是商品。

基督教也隨之傳入。

傳教士聖方濟各·沙勿略，為傳教而造訪平戶。

第25代平戶藩主松浦隆信，認為傳教有助於貿易，
於是應允耶穌會傳教士進行相關活動。

此外，松浦隆信還准許家臣籠手田安經，
以及其弟——一部勘解由改信基督教。

二人皆是虔誠的基督徒，
曾勸說領地內的居民一同改信基督教。

平戶，就此成為
日本第一片基督教蓬勃發展的土地。

然而，這段繁榮並未持續太久。

1587年，一統天下的豐臣秀吉，
發布《伴天連追放令》，將基督教神父驅逐出境。

平戶藩主松浦隆信，
卻對基督教採取相當寬容的態度。

然而，1599年松浦隆信過世後，
打壓平戶基督教的行為日趨嚴重。

不止平戶，整個長崎，乃至全日本的吉利支丹
接二連三遭到處死。

名為「潛伏吉利支丹」的群體，表面上信奉佛教及神道教，
暗中卻堅守著基督教信仰。

這裡再現了潛伏吉利支丹實踐信仰時的場景。
房間裡擺放著神龕，起居室裡放著佛壇……

……不過，在不起眼的儲藏室中，
卻裝飾著吉利支丹的信仰聖器。

這些是關於基督教聖畫的掛軸，
以及一種起源於鞭子的驅邪淨化之工具。

這些瓶中裝的是聖水。

潛伏吉利支丹不但供奉這些物品，
也會詠唱名為「Oratio」的吉利支丹祈禱文。

約250年來，在沒有傳教士的情形下，
信仰被秘密地代代相傳。

幕府末期，日本開放國度，
外國神父得以重啟天主教的傳教活動。

1873年，基督教終於解禁。

許多潛伏吉利支丹重返天主教的懷抱，
重新開始宗教活動，興建教堂。

不過，也有吉利支丹選擇不回歸天主教，
繼續維持禁教時期的古老信仰方式。

這些人保有著特殊的信仰，被稱為「隱匿吉利支丹」。
他們沒有屬於自己的教會，也同時信仰佛教和神道教。

平戶的基督教與隱匿吉利支丹，
是值得全世界了解的重要歷史。

吉利支丹在失去傳教士的250年裡，
未曾放棄信仰，而是一同堅守並傳承。

吉利支丹的歷史彌足珍貴，
是無與倫比的一段故事。

由於出生率的降低、社會結構的變化，
隱匿吉利支丹的人口正急遽減少。

平戶的基督教歷史充滿動盪，卻蘊含了許多意義。

堅守禁教時期古老的信仰形式，
以及基督教復興後，天主教信徒興建的教會等

恰恰表明了信仰與宗教的重要性。

先人相傳至今的歷史與文化，
接下來應由我們繼續承襲與發揚。

<日本語仮訳>

平戸の聖地と集落

平戸のキリスト教

1550年、長崎県平戸市平戸港に、
日本で最初のポルトガル船が入港しました。

ポルトガル人たちは、西洋の文化をもたらしました。

オランダ商館が建つ町並みは
交易のロマンを感じさせます。

西洋との交易が盛んに行われました。
平戸にもたらされたものは品物だけではありませんでした。

キリスト教も伝来したのです。

宣教師フランシスコ・ザビエルは、布教活動を行うため平戸を訪れました。

これが貿易の助けになると考えた 25 代平戸藩主松浦隆信は、
イエズス会宣教師の布教活動を認めました。

また、松浦隆信は家臣の籠手田安経と
その弟、一部勘解由がキリスト教に改宗することを認めました。

敬虔なキリシタンとして、二人は領地に住む人々に対して
キリスト教に改宗するよう説得しました。

こうして平戸は日本において最初に
キリスト教が繁栄した場所になりました。

しかし、その繁栄は長くは続きませんでした。

1587年、天下統一を果たした豊臣秀吉は、
キリスト教の神父を国外に追放する「伴天連追放令」を出します。

平戸藩主松浦隆信は
キリスト教に寛容でした。

しかし、1599年に松浦隆信が没すると、
次第に平戸のキリスト教弾圧は本格化していきます。

平戸のみならず、長崎全域、さらに日本中で
クリシタンが次々と処刑されていきました。

潜伏クリシタンと呼ばれる人々は、表面上は仏教や神道を受け入れつつ、
密かにキリスト教の信仰を守り続けました。

こちらは潜伏クリシタンの信仰の様子を再現したものです。
座敷に神棚、茶の間に仏壇が置いてありますが、．．

．．． 人目につかないよう、納戸に
クリシタンの信仰具を飾っていたのです。

これらは、キリスト教の聖画をもとに描かれた掛け軸と
鞭を起源とする祓い清めるための道具です

これらの瓶には聖水が入っています。

潜伏クリシタンは、このような品々を信仰の対象として祀り、
「オラショ」というクリシタンの祈りの言葉を唱えました。

約 250 年にわたって、宣教師不在の中、
信仰は親から子へと脈々と密やかに継承されました。

幕末に日本が開国すると、
外国人神父がカトリックの布教を再開しました。

1873 年、ついにキリスト教が解禁されます。

多くの潜伏クリシタンがカトリックに戻りました。
宗教活動は再開され、教会堂が建てられました。

クリシタンのなかにはカトリックに復帰しなかった人々もいました。
彼らは禁教当時の古い信仰形態を継続しました。

このような人々とその信仰は「かくれクリシタン」と呼ばれます。
かくれクリシタンは教会をもたず、仏教・神道も信仰します。

平戸のキリスト教と隠れクリシタンの歴史について
世の中の人々に知ってもらうのは重要です。

クリシタンは宣教師が不在の 250 年間、
信仰を絶やさず、守り、継承してきました。

クリシタンの歴史は、
大変貴重で稀にみる、比類なき物語です。

出生率の低下や社会構造の変化などにより
かくれクリシタンの数は激減しています。

平戸における激動のキリスト教の歴史は、多くのことを伝えています。

禁教当時の古い信仰形態を続けるかくれクリシタンの文化、
キリスト教復興後のカトリック信者が建てた教会など、

あらゆるものが信仰と宗教の重要性を指し示しています。

こうした先祖が守り伝えてきた歴史や文化を、
今度は私たちが次世代へ伝承していく必要があります。

<简体字>

平户的圣地与村落

春日村落与基督教

这座不甚高耸的山，名为丸尾山。

过去，这里曾葬着隐匿吉利支丹，
并竖起了十字架作为墓碑。

现在这里则有小小的石头祠堂一座，
静静地守望着人们的生活。

春日位于长崎县平户西岸的一个村落。
隐匿吉利支丹的信仰，在此世代传承。

春日的基督教历史，最早可追溯至约 460 年前。

春日村落是日本最早传入基督教的地区之一，
这里的居民，曾一同改信了基督教。

然而此后，基督教却被禁止。

村落居民表面上接纳佛教与神道教，
私底下仍继续信仰着基督教。

禁教令解除后，
人们继续维持着之前的信仰形式。

春日村民身为隐匿吉利支丹，将信仰世代传承。

时至今日，春日仍有家庭会将基督教圣器

当作神体供奉。

他们会把这些圣器摆放于储藏室或是神龛。

春日的风景美不胜收。

自古以来，春日村落的居民
习惯信奉山峦或河川等大自然的事物。

平户的最高峰——安满岳，便是信仰之一。

在茂密的森林中，漫步石头小径，
便可看见一座石头祠堂。

当地隐匿基督信徒所吟咏的“Oratio”中，
也有提及这座祠堂，称之为“安满岳的内殿”。

中江之岛位于距春日近海两公里处，
同为春日的圣地之一。

在基督教被禁止的时代，许多吉利支丹曾在此被处决。
隐匿吉利支丹汲取岛上之水，当作圣水崇拜。

现今的春日村落，并无基督教的教堂。

禁教时代，春日居民习惯通过祭拜中江之岛及吉利支丹的圣器，
来进行信仰仪式。

此外，他们还信仰安满岳及河神，
会在神社及佛寺举行仪式。

如今，春日村落里隐匿吉利支丹的信仰组织，已消失殆尽。

不过，对于供奉在储藏室的“纳户神”，以及各处圣地居民们依然视若珍宝，守护至今。

当时与基督教同时受居民信奉的安满岳，以及安满岳的神社与石碑，同样留存至今。

曾经，这片美景中蕴含了众人的祈祷之声。

这些未曾消失的信仰痕迹，也可谓是长年累月生活于此的居民，用心创造出的一种奇迹。

<繁體字>

平戶的聖地與村落

春日聚落與基督教

這座不甚高聳的山，名叫丸尾山。

過去，這裡曾葬著隱匿吉利支丹，
並豎起了十字架作為墓碑。

現在這裡則有小小的石頭祠堂一座，
靜靜地守護著人們的生活。

春日 is 位於長崎縣平戶西岸的一個聚落。
隱匿吉利支丹的信仰，在此世代傳承。

春日的基督教歷史，最早可以追溯至約460年前。

春日聚落是日本最早傳入基督教的地區之一，
這裡的居民，一同改信了基督教。

然而，基督教之後卻被禁止。

聚落居民表面上接納佛教與神道教，
私底下仍繼續信仰著基督教。

禁教令解除後，
人們繼續維持著之前的信仰形式。

春日村民身為隱匿吉利支丹，將信仰世代傳承。

時至今日，春日仍有家庭會將基督教聖器

當作神體供奉。

他們會把這些聖器擺放於儲藏室或是神龕。

春日的風景美不勝收。

自古以來，春日聚落的居民
習慣信奉山巒或河川等大自然的事物。

平戶的最高峰——安滿岳，便是其中之一。

在茂密的森林中，走過石頭小徑，
便可看見一座石頭祠堂。

當地隱匿基督信徒所詠唱的「Oratio」中，
也有提及這座祠堂，稱之為「安滿岳的內殿」。

距離春日近海兩公里處的中江之島，
也是春日的聖地之一。

在基督教被禁止的時代，許多吉利支丹曾在此被處死。
隱匿吉利支丹汲取島上之水，當作聖水崇拜。

現在的春日聚落，並沒有基督教的教堂。

禁教時代，春日居民習慣透過祭拜中江之島及吉利支丹的聖器，
來進行信仰儀式。

此外，他們還信仰安滿岳及河神，
會在神社及佛寺舉行儀式。

如今，春日聚落裡隱匿吉利支丹的信仰組織，已消失殆盡。

不過，對於供奉在儲藏室的「納戶神」，以及各處聖地居民們依然視若珍寶，守護至今。

當時與基督教同時受居民信奉的安滿岳，以及安滿岳的神社與石碑，也留存至今。

過去，這片美景中蘊含了眾人的祈禱之聲。

這些未曾消失的信仰痕跡，也可說是經年累月在此生活的居民，用心創造出一種奇跡。

<日本語仮訳>

平戸の聖地と集落

春日集落とキリスト教

この小高い山は丸尾山です。

かつて、ここにはかくれキリシタンの死者が埋葬され、
墓標として十字架が立てられていました。

今は小さな石の祠が立てられており、
ひっそりと人々の生活を見守っています。

春日は長崎県平戸の西岸にある集落です。
ここではかくれキリシタンの信仰が継承されてきました。

春日におけるキリスト教の歴史は、約 460 年前にさかのぼります。

春日集落は日本において最初にキリスト教が布教された地域のひとつで、
住民は一斉にキリスト教に改宗しました。

しかし、後にキリスト教は禁止されます。

集落の人々は、表向きには仏教や神道を受け入れつつ、
密かにキリスト教の信仰を継続しました。

禁教が解かれた後も

人々はそれまでの信仰形態を維持し続けました。

彼らはかくれキリシタンとしての信仰を代々継承したのです。

現在でも、春日にはキリスト教に由来する信仰具などを
ご神体として祀っている家があります。

それらの信仰具は納戸や神棚に置かれています。

春日は美しい景観が広がる場所です。

古くから春日集落の人々は、
山や川など自然の中の物を信仰してきました。

平戸で最も高い山である安満岳もそのひとつです。

うっそうとした森の石道を歩くと、
石の祠が姿を現します。

この祠は、地元のかくれキリシタン信者が唱える「オラシヨ」の中にも現れ、
「安満岳の奥の院様」と呼ばれています。

春日の沖合約 2 キロの場所にある
中江ノ島も春日の聖地のひとつです。

キリスト教が禁じられた時代、多くのキリシタンがここで処刑されました。
かくれキリシタンはこの島の水を汲んで聖水としてあがめました。

今日の春日集落には、キリスト教の教会堂はありません。

禁教時代、春日の人々は
中江ノ島やキリシタンの信仰具を祀り信仰の儀式を行いました。

また、安満岳や川の神を信仰し、
神社やお寺で儀式を行いました。

現在、春日集落におけるかくれキリシタンの組織的な信仰は絶え果ててしまいました。

しかし、「納戸神」や聖地は
今でも大切に守られています。

キリスト教と並行して信仰された
安満岳、および安満岳の神社と碑も残されています。

かつてこの景色全体に人々の祈りが息づいていました。

信仰の跡が残されていることは、

長い年月、この場所で暮らしてきた人々の心が生み出した一種の奇跡といえます。

<简体字>

平户的圣地与村落

春日村落

长崎县的平户岛西岸，有一处小小的村落。

名为“春日”。

饱满的稻穗随风摇曳，
将翠绿化为一片金黄。

平户岛的最高峰安满岳，山脊蜿蜒，

环抱着波浪般起伏的梯田，尽显春日迷人的魅力。

自从基督教降临此地，
这片梯田便一直陪伴着居民的生活与信仰。

现在，稻米的种植依然在持续。

这里的美景随着四季更替，
被评选为“重要文化景观”。

“我刚嫁来春日的时候，
就曾被这片水田美景深深震撼！”

虽然有些人可能会认为日本到处都有梯田，
根本不值一提，

但我还是感到十分震撼呢！”

“因为有梯田，游客才会来这里到处游玩。
如果我刚巧在外面，他们一定会来询问各种问题。”

“怎么这么美！实在太惊人了！
游客总会这么说。”

“丸尾山可是有很多游客的哟！”

我边开车下山边朝游客招手，
他们还挥手回应我呢！”

森林丰茂的安满岳流水潺潺，
汨汨清泉浸润着春日梯田。

水，是春日生活中不可或缺的一部分。
居民与水，相依相存。

“耕种梯田所用的水，
全是安满岳的山泉水哟！”

“因为有安满岳，才有我们的生活。”

“不管是这边，还是那边的村落，
大家用的水，全是引自安满岳。

只要有安满岳的水，想做什么都没问题！”

“我刚刚去钓鱼了。一共钓到了 10 条呢！”

“我常常邀请父母来家里。
一起做菜，一起吃饭，

饭菜总是一上桌就被吃个精光！”

父亲来时总是满心欢喜，还不是为了美食嘛！”

让更多的人了解春日村落的历史与景观，
现在，当地正致力于举办各项活动。

这是“梯田散步”。

可在欣赏梯田景致的同时，了解春日村落的种种。

解说员一边介绍春日村落的景点，一边引领大家游览。

下面，就来介绍几个景点吧！

这是“降灾石”。

背后有个骇人听闻的传说。

据说不小心碰到它的人，可能会招来恶运。

若不慎触碰降灾石，得赶紧在上面放块小石子。

如此一来，便能逢凶化吉，消灾解厄。

这块石头形似一名站立之人，名叫“人形岩”。

尽管看上去摇摇欲坠，

但“人形岩”已经屹立了上百年，未曾倾倒。

漫步在梯田，可以感受大自然、历史，
以及当地居民的温情。

更能体味春日村落

丰富的自然与多彩的文化。

诚挚欢迎您前来感受这片美景，与自然共游，
浸沐在信仰的历史长河，尽情想象！

<繁体字>

平戶的聖地與聚落

春日聚落

長崎縣的平戶島西岸，有一個小小的聚落。

名為「春日」。

飽滿的稻穗隨風搖曳，
將原先的翠綠搖成一片金黃。

平戶島的最高峰安滿岳山脊蜿蜒，

環抱著波浪般起伏的梯田，盡顯春日的迷人魅力。

自基督教傳入此處以來，
這片梯田始終陪伴著居民的生活與信仰。

現在，稻米的種植依然持續進行著。

這裡的美景隨著四季變換，
被評選為「重要文化景觀」。

「我剛嫁來春日的時候，
被這片水田美景深深震撼！

雖然有些人可能會認為日本到處都有梯田，
根本不值得一提，

但我還是覺得好驚艷呢！」

「因為這片梯田，觀光客才來會來這裡四處遊逛。
如果我剛好在外面，他們定會來詢問各種問題。」

「怎麼這麼美！實在太驚人了！
觀光客總會這麼說。」

「丸尾山可是有很多觀光客的喔！

我邊開車下山邊朝觀光客招手，
然後他們也揮手回應我呢！」

森林豐茂的安滿岳流水潺潺，
汨汨清泉浸潤著春日梯田。

水，是春日生活中不可或缺的一部分。
居民與水，共存共榮。

「耕種梯田所用的水，
全是安滿岳的山泉水喔！

因為有安滿岳，才有我們的生活。」

「不管是這裡，還是那裡的聚落，
大家用的水，全是引自安滿岳。

只要有安滿岳的水，想做什麼都沒問題！」

「我剛剛去釣了魚。一共釣到了10條呢！」

「我常常邀請父母來家裡。
一起做飯，一起吃飯，

飯菜總是一上桌就被吃個精光！

父親來訪時總是滿心歡喜，當然是為了美食囉！」

為讓更多的人了解春日聚落的歷史與景觀，
現在，當地正致力舉辦各種活動。

這是「梯田散步」。
可在欣賞梯田景致的同時，了解春日聚落的種種。

解說員邊介紹春日聚落的景點，邊引領大家遊覽。

以下，就來介紹幾個景點吧！

這是「降災石」。
背後有個駭人聽聞的傳說。

據說不小心碰到它的人，可能會招來惡運。

若不慎觸碰降災石，得趕快在上面放塊小石頭。
如此便能逢凶化吉，消災解厄。

這塊石頭形似人站立之姿，名叫「人形岩」。

儘管看起來搖搖欲墜，
但「人形岩」已經屹立了上百年，不曾傾倒。

漫步在梯田，可以感受大自然、歷史，
以及當地居民的溫情。

更能親炙春日聚落
豐富的自然與多彩的文化。

誠摯歡迎您前來享受這片美景，與自然共遊，
徜徉於信仰的歷史長河，讓想像自由翱翔！

<日本語仮訳>

平戸の聖地と集落

春日集落

長崎県の平戸島の西岸に小さな集落があります。

その名を春日といいます。

たわわに実る稲穂が揺れ、
緑色から黄金色に染まります。

平戸島で一番高い安満岳から伸びる尾根に囲まれた、

波打つ美しい棚田は春日の魅力のひとつです。

この棚田は、最初にキリスト教が布教されたときから今日に至るまで、
住民の暮らしと信仰を支えてきました。

現在も米作りが行われています。

四季折々の美しい景観から、
重要文化的景観として選定されました。

「春日集落にはじめてお嫁に来たとき、
水田の景色にびっくりしました。

日本中に棚田はあるから、
たいしたことないよって言う人もいるけど、

私はびっくりしたなあって思いましたね」

「観光客は田んぼがあるから、あっちへ行ったりこっちへ行ったりします。
外にいたら、観光客がいろんなことを聞きに来たりします。」

「なんてきれいな。本当に素敵！」

観光客はいつもそう言います」

「丸尾山に観光客がいっぱいたんですよ。

私は車で下りながらずっと手を振りました。
そしたら観光客の方も手を振り返してくれました」

春日の棚田は、豊かな森に囲まれた
安満岳から流れ出る水を利用しています。

水は春日には欠かせない生活の一部です。
住人は、水と共に生活を営んできました。

「棚田なんかも耕作する水は、
全部安満岳からの湧水ですもんね。

私たちの生活は安満岳からで成り立っているんです。」

「こっちの部落も、そっちの部落も
安満岳から引いている水を使っています。

安満岳の水があれば何でも出来ます」

「魚釣りに行きました。10匹釣りました」

「私の実家の父親や母親を事あるごとに呼ぶんです。
ご飯を炊いて一緒に食べるんですけど、

あつという間にご飯が無くなってしまふんです。
父はうちに来ると美味しいもんが食べれると喜ぶんです」

現在、春日集落の歴史や景観を知ってもらおうと、
様々な活動が行われています。

こちらは、「棚田ウォーク」。
棚田を眺めながら春日集落が学べます。

ガイドに春日集落の見どころを解説してもらいながら巡ります。

いくつか見どころをご紹介します。

こちらは、「たたる石」。
恐ろしい伝説があります。

うっかり触ってしまうとたたられてしまいます。

誤って触ってしまったら、岩の上に小石を乗せましょう。
そうすれば大丈夫です。

どこか人の立ち姿にも見える「人形岩」。

何百年も倒れずに立ったままです。
今にも落ちてきそうですが。

この棚田ウォークでは、自然や歴史、
そして人々の温かさを感じることができます。

豊かな自然と多様な文化を感じることができる
春日集落。

この景色を肌で感じ、自然と共に生きる暮らしや信仰の歴史に
思いを馳せてみましょう。

<简体字>

游览平户基督教相关遗产

推荐自驾行程

(中央上方文章)

基督教于 1550 年传入平户，随后历经三个时代，分别为：“传入与繁荣”“禁教与潜伏”“解禁与复兴”。在生月岛，隐匿吉利支丹的传统文化至今依然在世代传承。

何谓“潜伏吉利支丹”与“隐匿吉利支丹”？

在禁教时代，秘密坚持信仰者，被称为“潜伏吉利支丹”。禁教令解除后，仍选择维持在长期潜伏中所发展出的信仰形态者，被称为“隐匿吉利支丹”。

(左下方文章)

所需时间

行程合计时间包含各设施的参观时间。

参观田平天主堂

教堂是祈祷之地，参观时应遵守参观礼仪，心存敬意，保持安静。教堂可能会因弥撒、葬礼等活动而谢绝参观，或无法一次性接待众多访客，如欲参观，请事先联系。

联系方式：长崎与天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产联系中心

TEL：095-823-7650

<http://kyoukaigun.jp/en/>

Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region Information Center

<繁体字>

遊覽平戶基督教相關遺產

推薦自駕行程

(中央上方文章)

1550年，基督教傳入平戶，隨後歷經三個時代，分別為：「傳入與流行」「禁教與潛伏」「解禁與復興」。隱匿吉利支丹的傳統文化，至今仍於生月島世代傳承。

何謂「潛伏吉利支丹」與「隱匿吉利支丹」？

禁教時代秘密堅持信仰者，稱之為「潛伏吉利支丹」。禁教令解除後，仍選擇維持在長期潛伏中所發展出的信仰型態者，稱之為「隱匿吉利支丹」。

(左下文章)

所需時間

行程合計時間包含各設施的參觀時間。

參觀田平天主堂

教堂是祈禱的場所，參觀時應遵守參觀禮儀，保持敬意，安靜不喧鬧。教堂可能會因彌撒、葬禮等活動而謝絕參觀，或無法一次接待眾多訪客，如欲參觀，請預先聯絡。

聯絡方式：長崎與天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產聯絡中心

TEL：095-823-7650

<http://kyoukaigun.jp/en/>

Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region Information Center

<日本語仮訳>

**平戸のキリスト教関連遺産を巡る
おすすめドライブコース**

(中央上の文章)

キリスト教は、1550年に平戸に伝えられました。その後、「伝来と繁栄」「禁教と潜伏」、「解禁と復興」という三つの時代をたどりました。生月島ではかくれキリシタンの伝統文化が今も受け継がれています。

「潜伏キリシタン」と「かくれキリシタン」とは？

禁教時代に密かに信仰を続けた人々は「潜伏キリシタン」と呼ばれます。禁教が解かれた後も長年の潜伏期の間に関展した信仰形態を継続した人々は「かくれキリシタン」と呼ばれます。

(左下の文章)

所要時間について

コースの合計時間には、各施設の見学時間が含まれます。

田平天主堂の見学について

教会堂は祈りの場です。見学マナーを守り、敬意を払いつつ静かにお過ごしくたさい。教会行事（ミサ、葬儀等）により見学できない場合や一度に多くの見学者を受け入れられない場合もあるため、見学を希望される際には事前連絡をお願いします。

お問合せ:長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター

TEL:095-823-7650

<http://kyoukaigun.jp/en/>

Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region Information Center

<简体字>

(标题要素)

基督教的传入与繁荣时代

在潜伏吉利支丹村落观赏绝美风景、体验传统文化

生月岛

2 小时 30 分钟行程

5.博物馆“岛之馆”

生月町南免 4289-1

馆内展示着生月岛潜伏吉利支丹社群的相关史料及影片，内容丰富。生月岛及平户岛西部的传统文化世代相承，游客可在此学习相关知识。

驱车 5 分钟

6.嘉斯帕·西玄可之墓

这座巨大十字架旨在纪念殉教于此的嘉斯帕·西玄可（1556-1609）。十字架的后方有一座石砌的小墓地，人称“嘉斯帕大人之墓”。

请尽情欣赏眺望台上的美景。

7.中江之岛

隐匿吉利支丹将中江之岛视为圣地，并会汲取岩石渗水，当作圣水供奉。此岛被列入世界文化遗产名录，但一般不对外开放。

驱车 5 分钟

8.山田教堂

生月町山田免 440-2

山田教堂由法国传教士尚·冯索·马太神父与 17 名信徒于 1912 年兴建。建筑年代久远，在市内现存的教堂中，筑龄仅次于宝龟教堂。进入教堂，可欣赏由蝴蝶翅膀拼凑成的

粘贴画。

驱车 10 分钟

9.烧山

其名意为“燃烧之山”，由于当初教堂被焚、或是遭到杀害的吉利支丹遗体被埋在坑中举行火葬，故得此名。如今此地设有一座大堂，供隐匿吉利支丹举办活动。

驱车加步行 30 分钟

10.芦竹

过去曾有一户潜伏吉利支丹家庭躲藏在海岸的芦竹丛中，却因孩子被人发现，最终全家惨遭处死。时至今日，信徒们仍会于每年 1 月 16 日举行相关追悼仪式。

(左手边的文字方块(PART 2))

平户岛西岸约 2 小时行程

5.博物馆“岛之馆”

生月町南免 4289-1

馆内展示着生月岛潜伏吉利支丹社群的相关史料及影片，内容丰富。生月岛及平户岛西部的传统文化世代相承，游客可在此学习相关知识。

驱车 5 分钟

11.春日村落与安满岳

16 世纪，春日村落的居民在传教士的影响下改宗，进入禁教期后，他们虽信奉佛教，同时仍坚持基督教信仰。当时的居民会在家中秘密朝拜“纳户神”。

驱车 15 分钟

12.吉利支丹资料馆

大石胁町 1502-1

馆内主要展示根狮子村落的潜伏吉利支丹相关史料。通过史料，可了解当地居民朝拜

“纳户神”的习惯，并将信仰世代传承。

步行 1 分钟

13.Ushiwaki（日文：ウシワキ，取自地名“大石胁”的谐音）之森

此地曾发掘出吉利支丹时代的墓地，日后成为根狮子村落中口耳相传的殉教圣地，人称 Ushiwaki。

（右侧栏目）

（标题要素）

传入与繁荣时代

遥想基督教传入日本的地理大发现时代

约 2 小时行程

1.平户荷兰商馆

大久保町 2477

此仓库最初建于 1639 年，是商馆中最大的建筑。在禁教时代，由于建筑外部标有公历年号，因此被幕府下令毁坏。（目前的建筑是 2011 年复原的成果）

步行 5 分钟

2.圣方济各·沙勿略纪念碑

此纪念碑位于平户荷兰商馆后山高台上的崎方公园。从公园眺目远望，可将市中心及平户濑户的景色尽收眼底。

步行 5 分钟

3.松浦史料博物馆

镜川町 12

此博物馆原本为平户藩主松浦家族的旧邸，历史久远，曾是各国要人出入的场所。馆内陈列着众多珍贵史料。

步行 10 分钟

3.平户沙勿略纪念教堂

镜川町 259-1

教堂以圣方济各·沙勿略命名，是平户港的地标性建筑。其附近有寺院并存，东西宗教交融的景致尤为出名。

(内侧右下方的文章)

(标题要素)

89 分钟行程

安满岳

平户最高峰

享受轻松徒步之旅

(文字方块)

(P)安满岳停车场

从停车场步行至山顶，单程约需 30 分钟。步道平整舒适，易于行走。停车场设有卫生间可供使用。

徒步开始

参道漫步

这条由石块铺设的参道长约 250 米，历史悠久，曾出现于江户时代的画作中。路面不平，请注意脚下。

步行 30 分钟

山顶景致

行经安满岳山顶神社旁，即可享受绝佳美景。举目远眺，可将生月岛及春日村落、五岛列岛方向的景色尽收眼底。（请与崖边保持足够距离）

(偏右下方)

(标题要素)

解禁与复兴时代

约 2 小时行程

探寻象征基督教复兴的华美教堂

14. 纽差教堂

纽差町 1039

纽差教堂采用钢筋混凝土结构，1929 年兴建于明治时代以后平户的传教据点之上。因此纽差教堂亦是该县最重要的教堂之一。

驱车 10 分钟

15. 马太神父墓地

马太神父曾担任众多教堂的司铎，如纽差教堂、宝龟教堂等。他于 1921 年去世，安葬于田崎之丘的外国人墓地。

驱车 15 分钟

16. 宝龟教堂

宝龟町 1170

在马太神父的指导及监工下，宝龟教堂于 1898 年落成，是平户现存最古老的教堂。建筑风格极具特色，正面采用红砖砌成，而会堂部分则为木造。

驱车 20 分钟

17. 田平天主堂

田平町小手田免 10

1918 年举行献堂式的田平天主堂以红砖砌成，内外设计优美，具有高度的历史及建筑价值，被指定为日本“国家重要文化财”。

※除上述教堂之外，市内亦有许多其他教堂。

<繁体字>

(標題要素)

基督教的傳入與流行時代

於潛伏吉利支丹聚落觀賞風景、體驗傳統文化

生月島

2小時30分鐘行程

5.博物館「島之館」

生月町南免4289-1

館內展示著生月島潛伏吉利支丹社群的相關史料及影片，內容豐富。遊客可在此學習世代傳承於生月島及平戶島西部的傳統文化。

開車5分鐘

6.嘉斯帕·西玄可之墓

此處的巨大十字架旨在紀念於該地殉教的嘉斯帕·西玄可（1556-1609）。十字架的後方有一塊石砌的小小墓地，人稱「嘉斯帕大人之墓」。

眺望台上風景優美，請您切莫錯過。

7.中江之島

隱匿吉利支丹將中江之島視為聖地，並會汲取岩石滲水，當作聖水供奉。此島被列入世界文化遺產名錄，但不對外開放。

開車5分鐘

8.山田教堂

生月町山田免440-2

法國傳教士尚·馮索·馬太神父與17名信徒於1912年興建了山田教堂。建築年代久遠，在市內現存的教堂中，築齡僅次於寶龜教堂。進入教堂，可欣賞蝴蝶翅膀構成的拼貼藝術。

開車 10 分鐘

9.燒山

其名意為「燃燒之山」，由於當初教堂遭焚燒，或是被殺害的吉利支丹遺體被埋在坑中舉行火葬，故得此名。如今此地設有一座祠堂，供隱匿吉利支丹舉辦活動。

開車加步行30分鐘

10.蘆竹

過去曾有一潛伏吉利支丹家庭藏匿在海岸的蘆竹叢中，卻因孩子被人發現，全家慘遭處死。時至今日，信徒們仍會於每年1月16日舉行相關追悼儀式。

(左手邊的文字方塊(PART 2))

平戶島西岸約2小時行程

5.博物館「島之館」

生月町南免4289-1

館內展示著生月島潛伏吉利支丹社群的相關史料及影片，內容豐富。遊客可在此學習世代傳承於生月島及平戶島西部的傳統文化。

開車5分鐘

11.春日聚落與安滿岳

16世紀，春日聚落的居民在傳教士的影響下改宗，進入禁教期後，他們雖信奉佛教，同時仍堅守基督信仰。當時的居民會在家中秘密朝拜「納戶神」。

開車15分鐘

12.吉利支丹資料館

大石脇町1502-1

館內主要展示根獅子聚落的潛伏吉利支丹相關史料。透過史料，可了解該地居民朝拜「納戶神」的習俗，並將信仰世代傳承。

步行1分鐘

13.Ushiwaki (日文: ウシワキ, 取自地名「大石脇」的諧音) 之森

此地曾發掘出吉利支丹時代的墓地，日後成為根獅子聚落中口耳相傳的殉教聖地，人稱 Ushiwaki。

(右側欄位)

(標題要素)

傳入與流行時代

遙想基督教傳入日本的地理大發現時代

約2小時行程

1.平戶荷蘭商館

大久保町2477

此倉庫興建於1639年，是商館中最大的建築。由於建築外標有西曆年號，於禁教時代遭幕府下令破壞。（目前的建築是2011年復原的成果）

步行5分鐘

2.聖方濟各·沙勿略紀念碑

此紀念碑位於平戶荷蘭商館後山高台上的崎方公園。若從公園眺望，便可將市中心及平戶瀨戶的景色盡收眼底。

步行5分鐘

3.松浦史料博物館

鏡川町 12

此博物館是平戶藩主松浦家的舊邸，舊時曾是各國要人出入的場所。館內陳列著許多珍貴史料。

步行10分鐘

3.平戶沙勿略紀念教堂

鏡川町259-1

教堂以聖方濟各·沙勿略命名，是平戶港的重要地標。其附近有寺院並存，東西宗教交融的景致尤為出名。

(內側右下方的文章)

(標題要素)

89分鐘行程

安滿岳

平戶最高的山岳

享受輕鬆行山之樂

(文字方塊)

(P)安滿岳停車場

從停車場步行至山頂，單程約需30分鐘。步道建設完善，走起來輕鬆舒適。停車場設有化妝室可供使用。

開始行山

參詣道漫步

這條石砌參詣道長約250公尺，歷史悠久，曾出現於江戶時代的畫作中。路面並不算非常平整，還請多留意腳下。

步行30分鐘

山頂景致

行經安滿岳山頂神社旁，即能享受絕佳美景。舉目遠眺，可將生月島及春日聚落、五島列島方向的景色盡收眼底。（請與崖邊保持充分距離）

(偏右下方)

(標題要素)

解禁與復興時代

約2小時行程

走訪象徵基督教復興的華美教堂

14.紐差教堂

紐差町1039

紐差教堂的建材採用鋼筋混凝土，1929年興建於明治時代以後平戶的傳教據點之上。因此紐差教堂亦是該縣最重要的教堂之一。

開車10分鐘

15.馬太神父墓地

馬太神父曾於眾多教堂擔任司鐸，如紐差教堂、寶龜教堂等。他於1921年過世，安葬於田崎之丘的外國人墓地。

開車15分鐘

16.寶龜教堂

寶龜町1170

在馬太神父的指導及監工下，寶龜教堂於1898年落成，是平戶現存的最古老教堂。建築正面採用紅磚砌成，會堂部分則為木造，極具特色。

開車20分鐘

17.田平天主堂

田平町小手田免10

1918年舉行獻堂式的田平天主堂以紅磚砌成，內外設計優美，具有極高的歷史及建築價值，被指定為日本「國家重要文化財」。

※除上述教堂之外，市內亦有許多其他教堂。

<日本語仮訳>

(タイトル要素)

キリスト教の伝来と繁栄の時代

潜伏キリシタン集落の風景や伝統文化に触れる

生月島

2 時間 30 分コース

5. 博物館「島の館」

生月町南免 4289-1

生月島の潜伏キリシタンの共同体に関する豊富な史料や映像が展示されています。生月島や平戸島西部で代々継承されてきた伝統文化について学べる博物館です。

車で 5 分

6. ガスパル西玄可の墓

この地で殉教したガスパル西玄可（1556-1609）を記念して建てられた巨大な十字架があります。十字架の裏手には「ガスパル様の墓」と呼ばれる石積みの小さな墓地があります。

展望台からの眺めをお楽しみ下さい。

7. 中江ノ島

かくれキリシタンは中江ノ島を聖地としており、岩からしみ出す水を採取して聖水としていました。この島は世界文化遺産に登録されていますが、一般には公開されていません。

車で 5 分

8. 山田教会

生月町山田免 440-2

フランス人宣教師ジャン・フランソワ・マタラ神父と 17 人の信者によって 1912 年に建てられた、市内に現存する教会堂としては宝亀教会に次いで古い建物です。内部には蝶の羽のコラージュがあります。

車で 10 分

9. 焼山

「燃える山」を意味する名は、ここで教会堂が燃やされたこと、あるいは殺されたキリシタンが穴に埋め込まれ火をつけられたことに由来するとされます。現在はかくれキリシタンが行事を行う御堂が建っています。

車と徒歩で 30 分

10. ダンジク様

潜伏キリシタン家族が海岸のダンジク（暖竹）の茂みに隠れていたところ、子どもが見つかってしまい、一家全員が処刑されました。現在も毎年 1 月 16 日に信者による追悼の行事が行われています。

（左手のボックス (PART 2)）

平戸島西岸約 2 時間コース

5. 博物館「島の館」

生月町南免 4289-1

生月島の潜伏キリシタンの共同体に関する豊富な史料や映像が展示されています。生月島や平戸島西部で代々継承されてきた伝統文化について学べる博物館です。

車で 5 分

11. 春日集落と安満岳

16 世紀に宣教師によって改宗された後、春日集落の人々は禁教期にも仏教と並行してキリシタン信仰を維持しました。人々は、家屋内で「納戸神」を密かに拝みました。

車で 15 分

12. 切支丹資料館

大石脇町 1502-1

主に根獅子集落の潜伏キリシタンに関連する史料を展示しています。「納戸神」を崇拝しながら信仰を継承してきたことが分かります。

徒歩 1 分

13. ウシワキの森

キリシタン時代の墓地が発掘された場所です。ウシワキ様として根獅子集落に語り継がれる殉教聖地となっています。

(右手のコラム)

(タイトル要素)

伝来と繁栄の時代

キリスト教が伝えられた大航海時代に思いを馳せる

約 2 時間コース

1. 平戸オランダ商館

大久保町 2477

1639 年に建てられたこの倉庫は商館最大の建物でした。禁教時代に幕府は建物の外観に西暦年号がついていることを理由に破壊を命じました。(現在の建物は 2011 年に復元されたものです)

徒歩 5 分

2. フランシスコ・ザビエル記念碑

この記念碑は平戸オランダ商館の裏山の高台に位置する崎方公園にあります。公園からは、市街地や平戸瀬戸が一望できます。

徒歩 5 分

3. 松浦史料博物館

鏡川町 12

平戸藩主松浦氏の旧邸宅だったこの博物館は、かつて各国の要人が出入りした歴史ある場所です。貴重な史料が数多く展示されています。

徒歩 10 分

3. 平戸ザビエル記念教会

鏡川町 259-1

フランシスコ・ザビエルの名を冠したこの教会堂は、平戸港のランドマークです。寺院と教会が重なって見える風景としても有名です。

(内側右下の文章)

(タイトル要素)

89 分コース

安満岳

平戸で最も高い山

軽いトレッキングを楽しみましょう

(ボックス)

(P) 安満岳駐車場

駐車場から山頂まで片道約 30 分です。歩道が整備されているので歩きやすいです。駐車場ではトイレが利用できます。

トレッキングスタート

参道を歩く

250m に渡って敷かれたこの歴史ある石造りの参道は、江戸時代の絵図などにも描かれています。足元が不安定なので注意してください。

徒歩 30 分

山頂からの景色

安満岳山頂の神社の脇を抜け、絶景を楽しみましょう。生月島や春日集落を眼下に、五島列島方面が一望できます。(崖からは十分な距離をとってください)

(右寄りの下)

(タイトル要素)

解禁と復興の時代

約 2 時間コース

キリスト教の復興を象徴する美しい教会堂を巡る

14. 紐差教会

紐差町 1039

この鉄筋コンクリート造の教会堂は、1929 年、明治以降平戸における布教の拠点となった場所に建てられました。そのため、紐差協会は県内で最も重要な教会堂のひとつです。

車で 10 分

15. マタラ神父墓地

マタラ神父は、紐差教会・宝亀教会をはじめとする多くの教会の司祭をつとめました。1921 年に亡くなり、田崎の丘の外国人墓地に埋葬されました。

車で 15 分

16. 宝亀教会

宝亀町 1170

マタラ神父が指導監督して建設を行った 1898 年に建てられた平戸に現存する最古の教会堂です。正面がレンガ造、会堂部が木造という特徴的な建築物です。

車で 20 分

17. 田平天主堂

田平町小手田免 10

1918 年に献堂されたこのレンガ造の教会堂は、内観・外観ともに美しく、歴史的・建築的に高い価値を持ちます。田平天主堂は国の重要文化財に指定されています。

※他にも市内には、たくさんの教会堂があります。

<简体字>

游览平户的世界遗产

平户巡游地图

(漫画页)

(绿色标题)

长崎地区的潜伏吉利支丹相关遗产

平户的基督教历史

传入与繁荣时代

1.于西之都“平户”开始传教

1550年，平户在频繁的海外贸易中，迎来日本首艘葡萄牙船入港。群雄割据、战火不断的日本战国时代，此刻也即将终结。同年，圣方济各·沙勿略传教士抵达平户，开始传教，随后在此处建造天门寺教堂。

传入与繁荣时代

2.基督教盛行，教堂落成

当时，身为大名的松浦隆信（1529-1599）负责统治平户藩。基于有利于贸易等原因，松浦隆信同意其家臣“笼手田安经”与其弟“一部勘解由”改信基督教。

1558年及1565年，笼手田兄弟管辖的生月岛及平户岛西海岸地区居民改信基督教，使该地区成为日本首个基督教盛行之地。随着基督教在日本的传播，基督教及基督徒也有了“吉利支丹”的称号。

禁教与秘密传承时代

3.基督教开始遭到镇压

终结战国时代继而统一日本的丰臣秀吉（1537-1598），于1587年下令将基督教神父逐出日本。1599年，长年对基督教采取宽容态度的松浦隆信逝世，其家臣中的信徒“笼手田安经”与“一部勘解由”也被逐出领地，平户地区的基督教自此便开始受到真正意义上的镇压。

禁教与秘密传承时代

4.开始潜伏

平户的教堂及十字架至此遭到大量破坏，当地的吉利支丹表面上接纳寺院与神社，实则继续秘密地坚守着基督教信仰，因而有“潜伏吉利支丹”的称号。他们供奉“纳户神”（藏于储藏室的神明），吟咏吉利支丹的祈祷文“Oratio”，以此世代传承信仰。

解禁与复苏时代 其一

5. 维持秘密传承的各种仪式

禁教令解除后，仍有一群人继续维持禁教时期所保留的信仰形态，这一群体即被称作“隐匿吉利支丹”。他们祭祀曾在此保护信仰的先祖，并将先祖殉教的地点视为圣地。

与现今的日本天主教宗派中的基督教徒不同，隐匿吉利支丹并没有专属于自己的教堂。他们同时信仰佛教和神道教，这种独有的信仰形态，从禁教时代一直传承至今。仔细观察这一信仰形态中的吉利支丹信仰部分，可看出 16 世纪后期至 17 世纪初期的基督教原型仍保持至今。

解禁与复苏时代 其二

6. 回归基督教

1853 年，美军将领佩里渡航来日，日本的锁国时期就此终结。1865 年，一群潜伏吉利支丹造访建于长崎外国人居留地的大浦天主堂。日本信徒在长期的打压中，仍默默坚守信仰的事实，就此公诸天下。

1873 年，明治政府撤除禁止吉利支丹的告示牌。随着天主教神父前往各地传教，潜伏吉利支丹终得以公开自己的信仰，并纷纷在村落兴建教堂。

<繁體字>

遊覽平戶的世界遺產

平戶巡遊地圖

(漫畫頁)

(綠色標題)

長崎地區的潛伏吉利支丹相關遺產

平戶的基督教歷史

傳入與流行時代

1.於西之都「平戶」開始傳教

1550年，平戶在頻繁與外國進行貿易的同時，迎來日本首艘葡萄牙船進港。群雄割據、戰火不斷的日本戰國時代，此刻也即將劃下句點。同年，聖方濟各·沙勿略傳教士來到平戶，開始傳教。（日後天門寺教堂即建於此地）

傳入與流行時代

2.基督教盛行，教堂落成

當時松浦隆信（1529-1599）身為大名，負責統治平戶藩。基於有利於貿易等理由，松浦隆信同意其家臣「籠手田安經」與其弟「一部勘解由」改信基督教。

1558年及1565年，籠手田兄弟管轄的生月島及平戶島西海岸地區居民改信基督教，使該地區成為日本首片基督教盛行的土地。隨著基督教在日本漸漸傳開，基督教及基督徒也有了「吉利支丹」的稱號。

禁教與秘密傳承時代

3.基督教開始遭到打壓

終結戰國時代繼而統一日本的豐臣秀吉（1537-1598），於1587年下令將基督教神父驅逐出日本。1599年，長年對基督教採取寬容態度的松浦隆信過世，其家臣「籠手田安經」與「一部勘解由」被逐出領地。平戶地區的基督教自此便開始受到真正意義上的打壓。

禁教與秘密傳承時代

4.開始潛伏

平戶的教堂及十字架至此遭到大量破壞，當地的吉利支丹表面上接納寺院與神社，實

則繼續悄悄地信仰基督教，因而有了「潛伏吉利支丹」的稱號。他們供奉「納戶神（藏於儲藏室的神明）」，詠唱吉利支丹的祈禱文「Oratio」，以此世代傳承信仰。

解禁與復甦時代 其一

5.維持秘密傳承的各種儀式

禁教令解除後，仍有一群人繼續維持禁教時期所保留的信仰型態。他們祭祀曾在此保護信仰的先祖，並將先祖殉教的地點視為聖地，被稱作「隱匿吉利支丹」。

隱匿吉利支丹有別於現今的日本天主教宗派基督徒，並沒有專屬於自己的教堂。他們同時信仰佛教和神道教，這種獨有的信仰型態，傳承自禁教時代。仔細觀察此一信仰型態中的吉利支丹信仰部分，可窺探出16世紀後期至17世紀初期的基督教原型仍保持至今。

解禁與復甦時代 其二

6.回歸基督教

1853年，美軍將領佩里赴日，日本的鎖國時期也隨之劃下句點。1865年，一群潛伏吉利支丹造訪建於長崎外國人居留地的大浦天主堂。日本信徒長年受打壓期間，仍默默堅守信仰的事實，就此公諸天下。

1873年，明治政府撤除禁止吉利支丹的告示牌。隨著天主教神父前往各地傳教，潛伏吉利支丹終得以公開自己的信仰，並開始在各聚落興建教堂。

<日本語仮訳>

平戸の世界遺産を巡る

平戸周遊マップ

(漫画のページ)

(グリーンタイトル)

長崎地方の潜伏キリシタン関連遺産

平戸におけるキリスト教の歴史

伝来と繁栄の時代

1. 西の都「平戸」で布教が始まる

1550年、すでに海外との交易が盛んだった平戸の港に日本で初めてポルトガル船が入港しました。当時の日本は、各地の戦国武将が領地を広げようと互いに争っていた戦国時代が終わりに近づいていたころでした。同じ年、宣教師フランシスコ・ザビエルが平戸を訪れ、布教を始めました。(後に天門寺という教会堂がここに建てられました)

伝来と繁栄の時代

2. キリスト教が広がり、教会堂が建てられる

当時、松浦隆信(1529-1599)が大名として平戸藩を治めていました。松浦隆信は交易の役に立つかもしれないと考え、家臣の籠手田安経とその弟一部勘解由がキリスト教に改宗することを許しました。

1558年と1565年、籠手田兄弟の管轄領であった生月島および平戸島西海岸地域の住民はキリスト教に改宗し、この地域は日本で最初にキリスト教が栄えた場所となりました。キリスト教が広まるとともに、キリスト教とその信者は、どちらも同じ「キリシタン」という語で呼ばれました。

禁教と密かな継承の時代

3. キリスト教の弾圧が始まる

戦国時代を終わらせるため、全国統一を進めていた豊臣秀吉(1537-1598)は、1587年にキリスト教の神父を国外に追放する法令を出しました。しかし、平戸で本格的に弾圧が始まったのは、1599年にそれまでキリスト教に寛容であった松浦隆信が亡くなり、信徒であった家臣の籠手田安経と一部勘解由が領地を追われてからでした。

禁教と密かな継承の時代

4. 潜伏が始まる

それまで平戸にあった教会堂や十字架は破壊されました。表向きにはお寺や神社を受け入れつつ、キリシタンの信仰も密かに守り続ける地元のキリシタンは、「潜伏キリシタン」と呼ばれ始めました。彼ら

は「納戸神（納戸に隠された神様）」を祀って、「オラシヨ」というキリシタンの祈りの言葉を唱えながら、信仰を代々受け継いでいきました。

解禁と復帰の時代 その1

5. 密かに継承された行事を続ける

禁教が解かれたあとも、禁教時代に密かに守ってきた信仰の形態を継続した人たちがいました。かくれキリシタンと呼ばれる彼らは、この地で信仰を守って亡くなった祖先を崇拝し、祖先が殉教した場所を聖地として扱いました。

今日の日本のカトリック宗派のキリスト教徒とは異なり、かくれキリシタンは自分たちの教会を持っていません。代わりに、かくれキリシタンは禁教時代と変わらず、仏教や神道を並行して信仰する独自の信仰形態を実践し続けています。この信仰のキリシタン信仰に関わる部分に注目すると、16 世紀後期から 17 世紀初期のキリスト教の原型が保持されていることが分かります。

解禁と復帰の時代 その2

6.キリスト教への復帰

1853 年のペリー提督の来航で、日本の鎖国は終わりを迎えました。1865 年、長崎の外国人居留地に建てられた大浦天主堂に、潜伏キリシタンの一団が訪れたことで、日本の信徒たちが長い弾圧の時代を通してキリスト教の信仰を守り続けた事が世界に知られました。

1873 年、明治政府はキリシタン禁制の高札を撤廃しました。カトリックの神父が各地で布教を行った結果、潜伏キリシタンたちは信仰を明らかにし、集落に教会堂を建て始めました。

<简体字>

(左侧文字框 – 右侧文字框)

战国时代 (1467-1600) 明治时代 (1868-1912)

(左侧图片说明 1)

鞭笞

日语的“ペニテンシア”源自葡萄牙语的“Penitencia”，原指苦行时所用的鞭笞。日本的吉利支丹将此鞭笞视为一种圣器供奉。

(左侧图片说明 2)

水瓶

“水瓶”即陶瓷壶，专用于保存从中江之岛等圣地汲取的圣水。信徒洒圣水时，会使用一种名为“izuppo”（日语：イズッポ）的木棒。

(左侧文字框)

归返

“归返”是指将逝者之魂送往“paraíso”（天堂）时进行的送葬仪式。

(双头藩主松浦氏)

基督教，没问题！

贸易，当然更不是问题！

(修道士故事的文字框)

平户拥有多种多样的基督教文化遗产群。除了诸多教堂之外，还有与在潜伏期殉教的吉利支丹相关的圣地。

<繁体字>

(左側文字框-右側文字框)

戰國時代 (1467-1600) 明治時代 (1868-1912)

(左側圖片說明 1)

鞭答

日語的「ペニテンシア」源自葡萄牙語的「Penitencia」，意指苦行時所用的鞭答。日本的吉利支丹將此鞭答當作一種聖器供奉。

(左側圖片說明 2)

水瓶

「水瓶」即陶瓷壺，專門用於保存從中江之島等聖地汲取的聖水。信徒灑聖水時，會使用一種名為「izuppo (日語: イズッポ)」的木棒。

(左側文字框)

歸返

「歸返」是指將逝者之魂送往「paraíso (天堂)」時進行的送葬儀式。

(雙頭的藩主松浦氏)

基督教，沒問題！

貿易，當然更不是問題！

(修士故事的文字框)

平戶擁有各式基督教文化遺產群。除了諸多教堂之外，還有與殉教於潛伏期的吉利支丹有關的聖地。

<日本語仮訳>

(左のバブル – 右のバブル)

戦国時代 (1467-1600) 明治時代 (1868-1912)

(左のキャプション 1)

オテンペンシャ

ポルトガル語のペニテンシア (Penitencia)を語源とするこのオテンペンシャは、もとは苦行に用いられる鞭でした。日本のキリシタンはこれを信仰具のひとつとして祀っていました。

(左のキャプション 2)

お水瓶

お水瓶は中江ノ島をはじめとする聖地で汲んだ聖水を保存するために使われた陶磁器の壺です。聖水を撒くためにイズツポと呼ばれる木の棒が用いられました。

(左のバブル)

戻し

戻しは死者の魂をパライズ(天国)に送るために行われた葬送の儀式を指します。

(双頭の藩主松浦氏)

キリスト教 OK!

交易もっと OK!

(修道士の話のバブル)

平戸には様々なキリスト教文化遺産群があります。数多くの教会堂のほか、潜伏期に殉教したキリシタンに関連する聖地などがあります。

<简体字>

鞭答

一件

长 40cm

江戸时代 (推测)

春日村落私人收藏

日语“オテンペンシャ”源自葡萄牙语“penitencia”，意指“告解”（认罪与忏悔）与苦行时所使用的鞭答。该文物由 46 条绳子组成，绑成一束，绳端带有十字形金属。日本的鞭答有别于一般认知，其象征意义强于实用性。在 2012 年实施的访问调查中，受访者将此文物称为“祛病之绳”。春日村落的居民还将主持洗礼仪式者称为“水役”。二战前，某位化名“T”者便身负该职。在春日，鞭答用来轻轻鞭打病人，以驱除病痛。

<繁体字>

鞭答

一件

長40cm

江戸時代（推測）

春日聚落私人收藏

日語「オテンペンシャ」源自葡萄牙語「penitencia」，意指告解與苦行時所使用的鞭答。該文物將 46 條繩子捆成一束，並於前端裝上十字形金屬後製成。日本的「鞭答」有別於一般認知，其象徵意義比起實用性更為顯著。在 2012 年實施的訪問調查中，敘述者稱此文物為「祛病之繩」。而在春日聚落進行洗禮者稱為「水役」。第二次世界大戰前，某位化名「T」者便身負該職。在春日，「鞭答」用來輕打病患，以驅除病痛。

<日本語仮訳>

オテンペンシャ

一個

長四十 (cm)

江戸時代 (推定)

春日集落個人蔵

オテンペンシャはポルトガル語の penitencia がなまったもので、告解と荒行のために使われる鞭を指す。この資料は四十六本の紐を束ねて先端に十字型の金属をつけて作られたもの。日本においては用途が異なり、象徴的な意味合いが強い。2012 年に実施されたヒアリングの際、話者は本資料を「病を祓う紐」と呼んでいた。春日集落では洗礼を行う役をお水役と称する。第二次世界大戦前は T 氏がこの役を務めていた。春日においては、オテンペンシャは病人をやさしく叩いて病を祓うのに使われた。

<简体字>

签牌

一套 (16 张)

长 7cm 宽 5cm 厚 0.5cm

江户时代 (推测)

春日村落私人收藏

这套小签牌，曾是春日村落的两个吉利支丹讲会（信仰组织）之一的所有物。春日村落的吉利支丹讲会习惯于轮流保管并供奉签牌，用以举行仪式。此文物被称为“神明大人”（日语：お神様），16 张为一组，装于布袋之内。签牌上的图案依据《玫瑰经》的“十五端奥迹”绘成，展示出圣母玛利亚与耶稣基督的毕生事迹。16 张签牌中，有 15 张可根据上面的图案归为三类，各自反映着“欢喜”“苦痛”“荣福”三种场景中的一种。

而第 16 张签牌名为“母亲大人”，绘有布袋图案（“母亲”之日语发音“おふくろ”与“布袋”相同）。该签牌代表圣母玛利亚，在整套签牌中等级最高。

<繁体字>

籤牌

一套 (16張)

縱7cm 橫5cm 厚0.5cm

江戸時代 (推測)

春日聚落私人收藏

這套小籤牌，曾是春日聚落的兩個吉利支丹講會（信仰組織）之一的所有物。春日聚落的吉利支丹講會習慣於輪流管理、供奉籤牌，用以進行儀式。此文物被稱為「神明大人（日語：お神様）」，16張為一組，裝於布袋之內。籤牌上的畫作依據《玫瑰經》的「十五端奧蹟」繪成，顯示聖母瑪利亞與耶穌基督的畢生功績。15張籤牌均標有相關記號，所繪畫作分為三類，各自反映「歡喜」「苦痛」「榮福」三種場景中的一種。

第 16 張籤牌名為「母親大人」，繪有一個布袋（「母親」之日語發音「おふくろ」與「布袋」相同）。該籤牌代表聖母瑪利亞，在整套籤牌中等級最高。

<日本語仮訳>

お札

一式（十六枚）

縦 7cm 横 5cm 厚さ 0.5cm

江戸時代（推定）

春日集落個人蔵

この小さなお札一式は、春日集落にあったふたつのキリシタン講（信仰組織）のうちのひとつが所有していた。春日集落のキリシタン講は順番でお札を預かって祀り、行事を行った。本資料は「お神様（お札）」と呼ばれ、十六枚が一組で布袋に入られている。十五玄義をもとに描かれた絵柄は聖母マリアとキリストの生涯における出来事を示している。絵柄はそれぞれ喜び、苦しみ、栄光の三つの場面のどれかに分類される。15 枚のお札はこの分類を反映しており、それぞれ三種類に分けられる記号が付いている。

16 枚目のおふくろ様という札には袋の絵が描かれている（日本語の「袋（ふくろ）」の発音は母親を意味する「おふくろ」と同じ）。この札は聖母マリアにあたり、親札だという。

<简体字>

护身符

一套

长（各）1.8 cm、宽 1.8 cm

时代不明

吉利支丹资料馆寄存品

“まぶり”是日语“御守”的别称，即护身符，这种小型吊饰在日本的神社寺院几乎随处可见。制作时需将和纸折为正方形，然后剪成十字状。此护身符来自附近的饭良村落，当时被居民用来供奉死者，或是混入饲料喂养生病的牛，当作一种治疗方式。其他村落也有类似的护身符，被用于各种仪式之中。

番号 NO : 033-024③

<繁体字>

護身符

一套

縱（各）1.8 cm、橫1.8 cm

時代不明

吉利支丹資料館寄存品

日語「まぶり」是「御守（日本大部分神社寺院皆可見到的小型吊飾）」的別稱，製作時將和紙摺為正方形，之後剪成十字狀。此「護身符」來自周邊的飯良聚落。當時被居民用來供奉死者，或是混入飼料，餵食健康狀況不佳的牛隻，當作一種治療方式。其他聚落也有相同的「護身符」，被用於各種儀式之中。

<日本語仮訳>

まぶり(おまぶり)

一式

縦(各) 1.8 cm、横 1.8 cm

時代不明

切支丹資料館寄託品

「まぶり」は「お守(日本のほとんどの寺社で見られる類の小さな飾り)」の別の呼び方。正方形に和紙を折り、十字を切り出す。この「まぶり」は付近の飯良集落のもの。死者への供え物としたり、体調が悪い牛に治療として飼料と共に食べさせたりした。他集落にも同様の「まぶり」があり、様々な行事に用いられた。

<简体字>

挂画《受胎告知》

一卷 纸·木

长 49 厘米、宽 28 厘米

时代不明

岛之馆

此幅挂画为生月岛馆浦某民家所拥有。画作描绘了大天使加百列向圣母玛利亚告知其即将受孕，并诞下耶稣的场景。构图上方绘有云朵，云朵之上是即将成为耶稣父亲的神明。构图下方呈现坐姿的是圣母玛利亚与天使加百列，玛利亚的怀中则绘有幼子耶稣。不过当时的玛利亚根本未曾受孕，又何谈诞下圣子。故该画作或许并非最初版本，而是在长年的多轮临摹中另行补笔，添上幼子耶稣后，方有如此面貌。圣母的发型是江户时代（1603-1868）初期流行的式样。从这一传统场景的呈现中，不难观察到三项特征：圣母乳房的描绘手法鲜明大胆；天使加百列的羽毛质感逼真写实；整体画面色彩丰富。

圣母子像（春日）

圣母子像

此圣母子像是春日村落“隐匿吉利支丹”世代供奉的对象。雕像与勋章等其他圣器一同被收藏于名为“紧闭之箱”的木箱中，目前仍安置于神坛之上。

<繁体字>

掛畫《受胎告知》

一卷 紙・木

縱49公分、橫28公分

時代不明

島之館

此幅掛軸為生月島館浦某民家所有。畫作描繪了大天使加百列向聖母瑪利亞傳訊，告知她即將受孕，並誕下耶穌的場景。畫作上方繪有雲朵，雲朵上是即將成為耶穌父親的神。畫作下方有呈坐姿的聖母瑪利亞與天使加百列，瑪利亞的懷中則繪有幼子耶穌。但當時的瑪利亞根本尚未受孕，又何談誕下聖子。故該畫作可能並非最初版本，而是在長年的多次臨摹中另外補筆，添加了幼子耶穌，方有如此面貌。聖母的髮型是江戶時代（1603-1868）初期流行的樣式。從此一傳統場景的表現中，可觀察到三項特徵：聖母乳房的描繪方式相當袒露；天使加百列的羽毛質感極為寫實；整體畫面色彩豐富。

聖母子像（春日）

聖母子像

春日聚落的「隱匿吉利支丹」將此聖母子像世代供奉。雕像與勳章等其他聖器一同被收藏於名為「緊閉之箱」的木箱中，目前仍安置在神壇之上。

<日本語仮訳>

お掛け絵「受胎告知」

一巻 紙・木

縦 49 cm、横 28 cm

時代不明

島の館

生月島館浦のある家が所有する掛け軸。大天使ガブリエルが聖母マリアにキリストの懐妊を告げる受胎告知の場面を描く。構図の上部には雲上に父なる神がいる。絵の下部には聖母と天使ガブリエルが座っている。マリアの懐に本来まだ産まれるどころか懐胎すらしていない幼子イエスが描かれているのは、もとの絵画ではありえない。長年の間に何度も模写されるうち、幼子イエスが描き加えられた可能性がある。聖母は江戸時代（1603-1868）初期に流行した髪型をしている。この伝統的な場面の表現は、聖母の乳房があらわに描かれていること、天使ガブリエルの羽根が極めて写実的であること、そして豊かな色彩が用いられていることの三点で特徴的である。

聖母子像（春日）

聖母子像

この聖母子は春日集落のかくれキリシタンに代々拝まれてきた。像は「開けず箱」と呼ばれる木箱にメダルなど他の信仰具とともに入れられており、現在も神棚に置かれている。

<简体字>

移居头岛的潜伏吉利支丹

移居头岛北部白滨海岸的潜伏吉利支丹，曾采用砌石技术，在海岸至山区的斜坡上开垦农耕用地。他们种植的主要作物为薯类。随着时间的推移，居民开始大范围移居岛内，如南海岸的田尻、西海岸的滨泊等，并发展村落及农田。潜伏吉利支丹在表面上装作附近中通岛佛教寺院的信徒，实则在潜伏吉利支丹社群指导者的引领下，秘密维持着自身的信仰。

(图片说明与来源注明)

1967 年的白滨海岸

长崎大学白滨遗迹发掘调查小组

<繁体字>

移居頭島的潛伏吉利支丹

潛伏吉利支丹移居頭島北部白濱海岸後，曾採用砌石技術，在海岸至山區的斜坡上開拓農耕用地。他們種植的主要品種為薯類。隨著時移境遷，居民開始移居至島內各地，如南海岸的田尻、西海岸的濱泊等，並發展聚落及農地。潛伏吉利支丹表面上裝作附近中通島佛教寺院的信徒，實則在潛伏吉利支丹社群指導者的引領下，秘密維持著自己的信仰。

(圖片說明與來源註明)

白濱海岸1967年

長崎大學白濱遺跡發掘調查小組

<日本語仮訳>

頭ヶ島に移住した潜伏キリシタン

頭ヶ島北部白浜海岸へと移住した潜伏キリシタンは、海岸から山域にかけての斜面に石積技術を駆使して耕作地を開拓しました。彼らはイモ作を主体とする農業を営んでいました。時間の経過とともに、南海岸の田尻や西海岸の浜泊など島内に広く移住し、集落や農地を展開していきました。潜伏キリシタンは、表向きは近くの中通島にある仏教寺院の信徒を装う一方、潜伏キリシタンの共同体の指導者のもと、ひそかに自らの信仰を続けました。

(キャプション&クレジット)

白浜海岸 1967 年

長崎大学白浜遺跡発掘調査チーム

<简体字>

潜伏吉利支丹回归天主教

“信徒发现”事件发生于 1865 年，当时，一群潜伏吉利支丹来到长崎的大浦天主堂，向传教士公开坦露自己的信仰。这一事件导致其他地区的潜伏吉利支丹也随之前往大浦天主堂，与传教士进行秘密接触。此时，上五岛的潜伏吉利支丹指导者公开自己隐藏多年的信仰，并请求派遣传教士前往上五岛。由于传教士的到来，以头岛为首的各地潜伏吉利支丹，最终纷纷选择回归天主教。

1867 年，上五岛地区的潜伏吉利支丹领袖——Domingo 森松次郎移居头岛，其父是在外海地区负责洗礼仪式的“水方”。松次郎定居于岛内的白滨，并将居所作为临时教堂，用来迎接来自大浦天主堂的传教士。1887 年，一座木造教堂于松次郎家附近建成，并使用至 1914 年。

(图片说明与来源注明)

- 潜伏吉利支丹的指导者 Domingo 森松次郎宅邸兼传教所
- 如今的头岛天主堂
- 白滨村落海岸附近的墓地，用于安葬回归天主教者

<繁体字>

潛伏吉利支丹回歸天主教

1865年，一群潛伏吉利支丹來到長崎的大浦天主堂，向傳教士公開表明自己的信仰——史稱「信徒發現」事件。此一事件引發其他地區的潛伏吉利支丹也隨之與大浦天主堂的傳教士進行秘密接觸。此時，上五島的潛伏吉利支丹指導者公開自己長年隱藏的信仰，並尋求派遣傳教士前往上五島。由於傳教士的到來，包括頭島在內的各地潛伏吉利支丹，最後紛紛選擇回歸天主教。

1867年，一名上五島地區的潛伏吉利支丹領袖——Domingo森松次郎移居頭島，其父是在外海地區負責進行洗禮的「水方」。松次郎定居於島內的白濱，並將自宅當作臨時教堂，用以迎接來自大浦天主堂的傳教士。1887年，一座木造教堂於松次郎家附近建成，並使用至1914年。

(圖片說明與來源註明)

- 潛伏吉利支丹的指導者Domingo森松次郎宅邸兼傳道所
- 現今的頭島天主堂
- 白濱聚落海岸附近的墓地，用於安葬回歸天主教者

<日本語仮訳>

潜伏キリシタンのカトリックへの復帰

1865 年、長崎の大浦天主堂で潜伏キリシタンが宣教師に信仰を告白した「信徒発見」とよばれる出来事が起こりました。この出来事は、他の地域の潜伏キリシタンもひそかに大浦天主堂の宣教師と接触するきっかけとなりました。上五島の潜伏キリシタンの指導者たちは、長く隠し続けてきた自らの信仰を告白するとともに、宣教師の上五島派遣を要請しました。宣教師の到来により、頭ヶ島をはじめとする各地の潜伏キリシタンがカトリックへと復帰しました。

1867 年、外海地域で「水方」という洗礼を行う役を務めた人物を父に持つ、上五島地域の潜伏キリシタンの頭目であったドミンゴ森松次郎が頭ヶ島へと移住しました。松次郎は島内の白浜に居を構えて仮の聖堂とし、大浦天主堂から訪れた宣教師はこの場所で迎えられました。1887 年に彼の家の近くに建てられた木造教会堂は、1914 年まで使用されました。

(キャプション&クレジット)

- ・潜伏キリシタンの指導者ドミンゴ森松次郎居宅兼伝道所
- ・現在の頭ヶ島天主堂
- ・白浜集落の海岸近くにあるカトリックに復帰した人々の墓地

<简体字>

受头岛的一名神父——大崎八重之托，头岛教堂开工于1910年。工程曾两度中断，前后用时将近十年，最终于1919年完工。该建筑由参与过多座教堂建设工程的铁川与助设计，建材则采用当地的砂岩。

砂岩通常质地较软，但此地采掘的砂岩不仅坚硬，且品质极佳，是不易受风化而损坏的优质建材。长崎及当地的石匠负责砌墙及加工，而当地信徒则参与了搬运及堆石工作。

教堂墙壁表面粗糙不平，这是由于建筑采用将砂岩方石水平交叠的方式，为使石块紧密契合，才刻意将石面加工得不平整。这一设计令建筑外观产生强烈的明暗对比，看起来更加强劲有力、井然有序。

教堂楼顶有一座八角形圆顶小屋，正是铁川与助在设计中热衷运用的元素。其实当初的建设规划中并未包含小屋，而是在接近完工时才另行增建，因而便产生了一种失衡之感——譬如前方窗户位置与小屋过于接近，或是伦巴第带装饰并未延续至小屋等。

(图片说明)

十字架

圆拱型屋顶

伦巴第带

玫瑰窗

齿状装饰

拱心石

拱

粗石砌的石墙

石阶

Domingo 松次郎宅邸旧址之碑

扶壁

狭路

地下通风口

(#184 (第二部分))

- 挑高天花板
- 由悬臂托梁与双桁架支撑的挑高天花板

- 双桁架

- 悬臂托梁

• 天主堂的内部设计采用了许多花卉图案。据推测，这些白花可能是山茶花，亦可能是玫瑰，然而设计者的本意早已不得而知。

- 圣体灯

- 玛利亚像

- 昔日的祭坛

- 圣柜

- 若瑟像

- 告解室

- 无柱构造

- 苦路

- 现在的祭坛

- 有别于粗犷豪放的外观，建筑内部点缀的花卉图案充满温和气息，整体空间细腻优美。

<繁体字>

在頭島的一名神父——大崎八重的委託之下，頭島教堂的建設於1910年開工。工程曾兩度中斷，花費了將近十年，最終於1919年落成。由曾參與許多教堂建設工程的鐵川與助負責整體設計，建材則採用當地的砂岩。

相較於質地柔軟的普通砂岩，此地採掘的砂岩不但堅硬，而且品質極高，是不易被風化和損壞的優質建材。長崎及當地的石工負責砌牆及加工，而當地信徒亦參與了搬運及堆石的工作。

教堂牆壁表面質地粗糙，這是由於建築採用將砂岩方石水平交疊的方式，為使石塊緊密吻合，才刻意將石面加工得不平整。此一設計令建築外觀明暗對比強烈，看起來更加強勁有力、井然有序。

樓頂的小屋，則蓋上了鐵川與助愛用的八角形圓頂。其實當初的建設計畫中並未包含小屋，而是在接近完工時才另外增建，因此也產生了許多失衡的特徵：例如前方窗戶位置與小屋過於接近，或是倫巴底帶裝飾並未延續至小屋等。

(圖片說明)

十字架

圓拱型屋頂

倫巴底帶

玫瑰窗

齒狀裝飾

拱心石

拱

粗石砌的石牆

石階

Domingo松次郎宅邸舊址之碑

扶壁

狹路

地下通風口

(#184 (第二部分))

• 挑高天花板

- 由懸臂托梁與雙桁架支撐的挑高天花板
- 雙桁架
- 懸臂托梁
- 天主堂的內部設計採用了許多花卉圖案。根據推測，這些白花或許是山茶花，亦或許是玫瑰，然而設計者的本意早已不得而知。
- 聖體燈
- 瑪利亞像
- 昔日的祭壇
- 聖櫃
- 若瑟像
- 告解室
- 無柱構造
- 苦路
- 現在的祭壇
- 有別於粗獷豪放的外觀，建築內部點綴的花卉圖案充滿溫和氣息，整體空間細膩優美。

<日本語仮訳>

頭ヶ島教会堂は 1910 年、大崎八重という地元の神父の発注により着工されました。2 度の中断をはさみ、10 年近くかかって 1919 年に完成しました。設計は多くの教会建築を手がけた鉄川與助で、建設には地元の砂岩が使われました。

砂岩は通常軟らかいのが特徴ですが、この地域で採れる砂岩は非常に質が高く硬いため、建物には風化による損傷がほとんどみられません。長崎や地元の石工が石壁の積み上げや加工を担い、運搬や石積みには地元信者も参加しました。

教会堂の壁面は、ざらざらした仕上げになっています。砂岩の切石ブロックは水平に積み上げられており、意図的に目地まわりが深く咬み合うように粗く整形されています。これにより、深い陰影が生まれ、より力強く、整然として見えます。

塔屋には鉄川與助が好んで用いた八角形のドーム屋根が乗っています。当初は塔をつける計画ではなかったのですが、完成間際に塔屋が設けられました。そのため、前面の窓の位置が塔屋に近すぎたり、帯飾りが塔屋に続いていなかったりといった不整合が生じています。

(キャプション)

十字架

ドーム型屋根

ロンバルディア帯

円花窓

デインティル（歯飾り）

キーストーン

アーチ

ルスティカ積みの石壁

石階

ドミンゴ松次郎居宅跡の碑

バットレス（控壁）

犬走り

床下換気口

(#184 (パート2))

・折上天井

・跳ね出し梁と二重トラスで支えられた折上天井

・二重トラス

・跳ね出し梁

・天主堂の内部にはたくさんの花模様が使われています。白い花はツバキであるともバラであるともいわ

れますが、当時の人たちが何に見立てて刻んだのかは分かりません。

- ・聖体ランプ
- ・マリア像
- ・昔の祭壇
- ・聖櫃
- ・ヨゼフ像
- ・告解部屋
- ・柱のない構造
- ・十字架の道行
- ・現在の祭壇
- ・荒々しく勇壮な外観とは対照的に、内部は花模様で飾られた優しい雰囲気の内装空間となっています。

<简体字>

(#185 (第二部分))

头岛的开拓指导者——前田仪太夫

1858年，中通岛有川村落的佛教徒前田仪太夫，为了开拓而移居头岛，并将北部的福浦地区作为据点，成为该岛的开拓先锋。和头岛其他地方相比，福浦风力相对较弱，河川的水量虽少，却也算坐拥航道，便于船只靠岸，因此可谓是岛内最佳的居住之地。移居之后，仪太夫立即着手于海岸附近兴建宅邸。该海岸的后方坐落有神社，日后他又于邻接神社处修建了家族墓地。

1859年，为了开垦土地，仪太夫招募数个家族从中通岛移居头岛。这些移居者实为潜伏吉利支丹，过去曾因大村落与五岛藩的协定，从外海移居至中通岛。在中通岛上，他们表面上装作佛教徒，同时避免与真正的佛教徒原住民发生摩擦。之后，他们认为无人的头岛更适合居住，遂再次搬迁。据此推想，与身为佛教徒的仪太夫保持步调一致，或许也有助于他们掩饰自身是吉利支丹的事实。

(图片说明)

前田仪太夫的墓地

※墓地为私人所有，请勿擅入。

#186

刻于前田仪太夫墓碑上的《头岛由来记》

仪太夫的墓碑上，四面中有三面刻有文章，其题为《头岛由来记》。内容包括开拓时的状况、历史、人口、户数等，是头岛历史中弥足珍贵的重要史料。

<繁体字>

(#185 (第二部分))

頭島的開拓指導者前田儀太夫

1858年，中通島有川聚落的佛教徒前田儀太夫，為了開拓而移居頭島，以北部的福浦地區作為活動據點，成為島嶼最早的開拓者。相較於頭島其他地點，福浦風勢相對較弱，河川的水量雖少，卻也算坐擁航道，船隻易於靠岸，可謂島內最佳的宜居之地。儀太夫立即著手，於海岸附近興建宅邸。該海岸的後方坐落有神社，日後他亦於鄰接神社處蓋起了家族墓地。

1859年，儀太夫招募數個中通島家族前來頭島，一齊開墾土地。這些移居者實則是潛伏吉利支丹，過去曾因大村藩與五島藩的協定，而從外海移居至中通島。居住此地期間，他們表面上扮作佛教徒，同時避免與真正的佛教徒原住民產生摩擦。日後，他們認為無人的頭島更適合居住，遂再次搬遷。據此推想，與身為佛教徒的儀太夫一同行動，或許也有助於他們掩飾自己是吉利支丹的事實。

(圖片說明)

前田儀太夫之墓地

※墓地為私人所有，請勿任意進入。

#186

刻於前田儀太夫墓碑上的《頭島由來記》

儀太夫的墓碑上，四面中有三面篆刻著文章，其題為《頭島由來記》。內容記述開拓時的狀況、歷史、人口、戶數等，是頭島歷史中不可或缺的重要史料。

<日本語仮訳>

(#185 (パート2))

頭ヶ島の開拓指導者前田儀太夫

頭ヶ島の最初の入植者は、1858 年に開拓を目的に中通島の有川集落から移住してきた仏教徒の前田儀太夫でした。彼は北部の福浦地区を拠点としました。福浦は、頭ヶ島のなかでは比較的風の当たりが弱く、水量は少ないながらも川が流れ、船を着岸させやすいなど、島内では最も住みやすい場所でした。儀太夫は、すぐ裏手に神社がある海岸の近くに住居を構えます。後年には神社に隣接する場所に一族の墓地も作りました。

1859 年には、開拓のために儀太夫が募った数家族が中通島から頭ヶ島へと移住してきました。この移住者たちは、大村藩と五島藩との協定により外海から中通島へと移住していた潜伏キリシタンでした。彼らは、中通島で、表向きは仏教徒を装いながら仏教徒の先住者たちとの軋轢を避けて暮らしていましたが、無人島である頭ヶ島を安住の地と考え再び移住したのでした。仏教徒である儀太夫と行動を共にすることも、キリシタンであることをカモフラージュするのに好都合だったと考えられます。

(キャプション)

前田儀太夫の墓地

※墓地は個人所有のため立ち入りはご遠慮ください。

#186

前田儀太夫の墓碑に刻まれた「頭ヶ島由来記」

儀太夫の墓碑の 4 面中 3 面には、「頭ヶ島由来記」と題された文章が刻まれています。この文章には、入植時の状況やその歴史、人口や戸数などが記されており、頭ヶ島の歴史の重要な史料となっています。

<简体字>

(载有多项文化财说明的页面)

精彩看点

高岛、黑岛

高岛远见哨岗旧址

1640年，平户藩在高岛兴建了此哨岗。当时德川幕府已实行锁国政策，一旦站岗者发现外国船只，将立即通报。岗哨还配有五支火绳枪，以应对紧急情况。

原属于竹边家族的长屋（下级武士的住宅）仍保留至今。

宫之本遗址

宫之本遗址横跨绳文时代（始于公元前 13000 年）、弥生时代、古坟时代（迄于公元 538 年），约有六千年历史。

两千年前的弥生时代遗址规模庞大（东西宽 60 米，南北长 260 米），墓地出土了 40 余具埋葬人骨。当地居民耕种时，曾多次发现人骨。依照传统推测，这些遗骨应属于被流放到岛屿的罪人。岛民将这些骨头集中至一处供奉，并称其为“遗骨大人”（日语：おこつさま）。

其他史迹等

志贺神社：此处立有一座纪念碑，旨在纪念一头于大正时代（1912-1926）搁浅海滩的鲸鱼。

番岳：原是哨岗的站岗者负责点燃烽火之处。至今仍留有二战时使用的炮台。

<繁体字>

(載有多項文化財說明的頁面)

精彩看點

高島、黑島

高島遠見崗哨舊址

1640年，平戶藩在高島興建了此崗哨。當時德川幕府已實行鎖國政策，因此一旦站崗者發現外國船隻，將立即通報。崗哨還配備了五挺鐵砲，以防萬一。

原屬於竹邊家的長屋（下級武士的住宅）仍保留至今。

宮之本遺址

宮之本遺址橫跨繩文時代（始於西元前13000年）、彌生時代、古墳時代（迄於西元538年），約有六千年历史。

兩千年前的彌生時代遺址規模龐大（東西長達60公尺，南北縱跨260公尺），墓地出土了超過40具埋葬人骨。當地居民耕田時，也曾數度發現人骨。依照傳統推測，這些遺骨應屬於被流放至島嶼的罪人。島民將這些骨頭集中至一處供奉，並稱其為「遺骨大人（日語：おこつさま）」。

其他史跡等

志賀神社：此處立有一座紀念碑，旨在緬懷一頭於大正時代（1912-1926）擱淺海灘的鯨魚。

番岳：原是崗哨的站崗者負責燃點烽火之處。至今仍留有第二次世界大戰時使用的砲台。

<日本語仮訳>

(複数の文化財の説明があるページ)

みどころ

高島・黒島

高島遠見番所跡

1640 年、平戸藩は高島にこの番所を設置しました。徳川幕府の鎖国政策が導入された後に建てられたこの番所は、異国船等を発見し、迅速に通報する役割を担っていました。番所には、有事のため鉄砲 5 挺が装備されていました。

竹邊家の一部だった長屋（下級武士の住宅）が今も残っています。

宮の本遺跡

宮の本遺跡は、縄文・弥生・古墳時代（紀元前 13,000 年-538 年）にまたがる約 6 千年前の遺跡です。

2 千年前の弥生時代の遺構は、大規模なもの（東西に 60m、南北に 260m）で、墓地からは 40 体以上の埋葬人骨が出土しました。地域の人が田畑を耕していると、度々人骨が出てきます。伝統的に、これらの骨は島に流されてきた流罪人の遺骨と考えられています。島の人々は、この骨を一ヶ所に集めて、「おこつさま」として祀っています。

その他の史跡等

志賀神社：大正時代（1912-1926）に浜にうちあがった鯨の記念碑があります。

番岳：もとは、番所の見張り番が狼煙を上げた所です。第 2 次世界大戦の時の砲台が残っています。

<简体字>

黑岛天主堂（国家重要文化财）

黑岛天主堂落成于 1902 年，由法国神父马尔芒设计及指导。通过当地天主教徒的捐款捐工，这座局部木造的红砖教堂终得以建成。当时此教会的规模相当庞大，拥有三层构造（连廊、第三层拱廊、天窗），亦对日后的日本教堂建筑形式产生了影响。教堂内保留着许多当时的备用品，如马尔芒神父亲自制作的宣经台等。除了举行宗教仪式的时段外，教堂通常情况下会对外开放。

串之滨岩脉（长崎县天然纪念物）

地下熔岩流入岩盘的裂缝冷却后硬化，随后，柔软的岩盘又被岸边的海浪冲刷殆尽，坚固的熔岩便呈现出城墙般的突出外型。

串之滨岩脉总长超过 300 米，规模居长崎县之首。它拥有火山性的地质构造，游客可近距离观察这一大自然奇观。动身前往时请留意天气状况，推荐您选择退潮时段参观。

根谷的茶梅（佐世保市天然纪念物）

这株茶梅高达 10 米，树干周长 180 厘米，推测树龄高达 250 年，是长崎最大的巨树之一。茶梅每年皆会绽放出白色花朵（为黑岛潜伏吉利支丹的象征之一）。1800 年左右，潜伏吉利支丹移居黑岛时，该树果实所产出的油对他们的生活起到了莫大的帮助。

信仰复活之地 出口家

目前黑岛的人口约 470 人，其中约八成是天主教徒。大部分居民的祖先，皆是来自西彼杵半岛外海地区的潜伏吉利支丹。1862 年，为居住于长崎的外国人修建大浦天主堂后，黑岛居民出口大吉与其子一同前往长崎，公开自己身为信徒的事实。本岛其余潜伏吉利支丹也紧随其后，陆续回归天主教。而外国神父曾于禁教期间赴岛，并在出口父子家举行了弥撒仪式。因而此处成为黑岛天主教历史上的重要地点。

其他史迹等

黑岛神社的原生林、本村的机关办公遗址、兴禅寺。

<繁体字>

黑島天主堂（國家重要文化財）

在法國神父馬爾芒的設計及指導下，黑島天主堂於1902年落成。透過當地天主教徒的捐款及勞動，這座局部木造的紅磚教堂才得以完工。當時此教會的規模甚是宏大，擁有三層構造（連廊、第三層拱廊、天窗），亦對日後的日本教堂建築形式產生影響。教堂內保留著許多當時的備品，如馬爾芒神父親自製作的讀經台等。除了進行宗教儀式時外，教堂通常情況下對公眾開放。

串之濱岩脈（長崎縣天然記念物）

地下熔岩流入岩盤的裂縫冷卻後硬化，接著，柔軟的岩盤又被岸邊的海浪沖刷殆盡，於是堅固的熔岩便化作城牆般的突出外型。

串之濱岩脈總長超過300公尺，規模居長崎縣之首。其擁有火山性的地質構造，遊客可近距離觀察這一大自然奇觀。觀賞以退潮時為佳，動身前往時請您留意天氣狀況。

根谷的茶梅（佐世保市天然記念物）

這株茶梅高達10公尺，樹幹周長180公分，推測樹齡高達250年，是長崎最巨的古樹之一。茶梅每年皆會綻放出白色花朵（為黑島潛伏吉利支丹的象徵之一）。1800年左右，潛伏吉利支丹移居黑島時，該樹果實所產出的油則對他們的生活起到了極大的幫助。

信仰復活之地 出口家

目前黑島的人口約470人，其中約八成是天主教徒。大部分居民的祖先，皆是來自西彼杵半島外海地區的潛伏吉利支丹。1862年，為居住於長崎的外國人而建造的大浦天主堂落成之後，黑島居民出口大吉與其子一同前往長崎，公開自己身為信徒的事實。其本島其餘潛伏吉利支丹紛紛步其後程，陸續回歸天主教。而外國神父曾於禁教期間赴島，並於出口父子家進行了彌撒。因而此處成為黑島天主教歷史上的重要地點。

其他史跡等

黑島神社的原生林、本村的公所遺址、興禪寺。

<日本語仮訳>

黒島天主堂（国重要文化財）

フランス人マルマン神父の設計と指導のもと 1902 年に完成した黒島天主堂は、一部木造の煉瓦造の教会堂です。地元のカトリック信徒の献金と労働奉仕により建てられました。当時としては非常に規模が大きく、三層構造（アーケード、トリフォルウム、クリアストーリー）をもち、後の日本の教会建築に影響を与えました。教会内には、マルマン神父手作りの説教壇など当時の備品も多く残されています。宗教儀礼の時以外は、一般に公開されています。

串ノ浜岩脈（長崎県天然記念物）

この岩脈は地下の溶岩が岩盤の裂け目に入って冷え固まり、海岸の波で柔らかい岩盤が除かれ、固い溶岩がまるで防壁のように突出したものです。

総全長 300m 以上もあるこの岩脈は長崎県最大の規模を誇ります。火山性の地質構造を間近に見ることができる自然の造形です。気象条件に注意し、見学は潮が引いたときを選んでください。

根谷のサザンカ（佐世保市天然記念物）

高さ 10m 以上、幹回り 1 m80cm、そして推定樹齢 250 年のこのサザンカは、長崎県最大級の巨木です。毎年、白い花（黒島潜伏キリシタンのシンボルのひとつ）を咲かせます。実から採れる油は、1800 年頃に黒島に移り住んだ潜伏キリシタンの生活の一部を支えました。

信仰復活の地 出口家

黒島の現在の人口約 470 人のうち約 8 割はカトリック信徒です。彼らのほとんどは、西彼杵半島の外海地方から移住した潜伏キリシタンの子孫です。1862 年、長崎に居住している外国人のために大浦天主堂ができると、黒島の出口大吉とその息子は長崎に出向いて信徒であることを打ち明けました。その後、黒島の潜伏キリシタンは続々とカトリックに復帰しました。禁教令が続くなか、外国人神父が来島し、出口親子の家でミサが行われました。そのため、ここは黒島のカトリックの歴史上、重要な場所となっています。

その他の史跡等

黒島神社の原生林、本村の役所跡、興禅寺。

<简体字>

2011年9月，整座黑岛被评选为“重要文化景观”。

黑岛居民在当时严苛的岛屿自然环境中，巧妙利用雀榕等植物及地形，孕育出与大自然共生共存的智慧。岛民在红土地上耕种，捕捞海产，并不忘感恩及敬拜岛屿的恩赐。

黑岛独特的自然景观，以及当地人艰苦的生活情景，孕育出独一无二的黑岛文化。

尤其是地图上⑥附近，可看到当时居民从沿海向内陆开拓，以传统方式利用土地，这些痕迹至今仍保留完好。

<繁体字>

2011年9月，整座黑島被評選為「重要文化景觀」。

黑島的居民在當時嚴苛的島嶼自然條件中，巧妙利用雀榕等植物及地形，萌發出與大自然共存的智慧。島民耕種紅土，捕撈海產，並不忘感恩及敬拜島嶼的恩賜。

黑島獨有的自然景觀，以及當地人艱辛的生活情景，締造出獨具特色的黑島文化。

尤其是地圖上⑥附近，可觀察到當時居民從沿海向內陸開拓的足跡，其採用傳統方式開墾土地的痕跡仍保留完好。

<日本語仮訳>

2011年9月、黒島全島が重要文化的景観に選定されました。

黒島の人々は、時に厳しい島の自然に接する中で、アコウ等の植物や地形を巧みに利用し、自然と共存する知恵を生み出しました。赤土を耕し、海産物を採り、島の恵みに感謝と折りを捧げました。

黒島の景観は、そうした島独特の自然やここに暮らす人々の苦勞の多い暮らしに裏打ちされた、黒島独自の文化を映し出しています。

特に地図の⑥付近では、海から内陸に向かって開拓を進めた、伝統的な土地利用の様子が良く残されています。

<简体字>

1.黑岛神社原生林

黑岛唯一的原生林。保留有大量绳文时代（公元前 13000-公元前 300 年）阔叶树的照叶林。

2.兴禅寺、机关办公遗址

岛屿的机关办公地，位于最早建成的村落“本村”中。1803年，隶属于曹洞宗的兴禅寺落成，并以此作为平户前津吉的长泉寺末寺。机关办公遗址目前已改建为公园，仅有石墙部分残存下来。

3.天主教共同墓地

此天主教共同墓地现今仍在使用的。黑岛天主堂建设工程的指挥者约瑟夫·费南多·马尔芒神父亦长眠于此。

4.巨大的雀榕树

雀榕隶属于桑科，为温暖地带植物，生长得极为迅速，在黑岛被用作防风林。虽然黑岛各地均有野生雀榕，但位于根谷的这棵巨树尤为值得观赏。

5.洞窟式炮台遗址

保留于古里地区的这座炮台遗址是为日本准备本土决战而建，完工于第二次世界大战即将结束的 1945 年。炮口朝向本土而非外海。

（地图上的备注（宣传单中央））

据说此处曾装卸过天主堂的建材。

东海的惊涛骇浪雕刻出长崎鼻及小崎鼻的峭壁绝景，由此处即可将其尽收眼底。

茶梅

天主教共同墓地

黑岛天主堂

女瀬鼻
女瀬
串之濱岩脉（县天然記念物）
蕨
长崎鼻
番岳
黑岛港
本村
名切
田代
公民馆黑岛支所
名切滨
东堂平
古里
白木鼻
信仰复活之地
日数
根谷
根谷的茶梅（市天然記念物）
根谷之鼻

<繁体字>

1.黑島神社原生林

黑島唯一的原生林。保留有許多繩文時代（西元前13000-西元前300年）闊葉樹的照葉林。

2.興禪寺、公所遺址

島嶼的公所，位於最早建成的聚落「本村」中。1803年，曹洞宗興禪寺落成，為平戶前津吉的長泉寺末寺。公所遺址目前已改建為公園，僅有石牆部分殘存下來。

3.天主教共同墓地

此天主教共同墓地現今仍在使用的。黑島天主堂建設工程的領導人約瑟夫·費南多·馬爾芒神父亦長眠於此。

4.巨大的雀榕樹

雀榕隸屬於桑科，為暖地型植物，生長極為迅速，在黑島被用作防風林。雖然黑島各地都有野生雀榕，不過位於根谷的這棵巨樹尤為值得一賞。

5.洞窟式砲台遺址

保留於古里地區的這座砲台遺址是為日本準備本土決戰而建，完工於第二次世界大戰即將結束的1945年。砲口朝向本土而非外海。

（地圖上的備註（宣傳單中央））

據信此處曾裝卸過天主堂的建材。

東海的惡浪消蝕出長崎鼻及小崎鼻的峭壁絕景，從此處即可將其盡收眼底。

茶梅

天主教共同墓地

黑島天主堂

女瀨鼻

女瀨

串之濱岩脈（縣天然記念物）

蕨

長崎鼻

番岳

黑島港

本村

名切

田代

公民館黑島支所

名切濱

東堂平

古里

白木鼻

信仰復活之地

日數

根谷

根谷的茶梅（市天然記念物）

根谷之鼻

<日本語仮訳>

1. 黒島神社原生林

黒島唯一の原生林です。縄文時代（13,000–300 BCE）の広葉樹が多く残る照葉樹林です。

2. 興禅寺・役所跡

島で最初につくられた集落である本村には役所が置かれました。1803年には平戸の前津吉にある長泉寺の末寺として曹洞宗の興禅寺が建立されました。役所跡は現在公園となり、石垣を残すのみとなっています。

3. カトリック共同墓地

現在も埋葬が行われているカトリックの共同墓地です。黒島天主堂の建設を指揮したジョセフ・フェルナンド・マルマン神父もここに眠っています。

4. アコウの巨木

暖地系の植物でクワ科に属する樹木です。アコウは成長が早く、黒島では防風林として利用されていました。アコウは黒島各地に自生していますが、根谷にあるこの巨木は一見の価値があります。

5. 洞窟式砲台跡

古里地区に残る砲台跡は、第二次世界大戦終戦間近の1945年に本土決戦に備えて築かれました。外洋ではなく本土側に向けて造られています。

（地図上のメモ（リーフ中央））

ここから天主堂を造る資材を荷揚げしたといわれています。

東シナ海の荒波によって削られた、長崎鼻や小崎鼻の断崖絶壁を一望できる絶景ポイントです。

サザンカ

カトリック共同墓地

黒島天主堂

女瀬鼻

女瀬

串ノ浜岩脈（県天然記念物）

蕨

長崎鼻

番岳
黒島港
本村
名切
田代
公民館黒島支所
名切浜
東堂平
古里
白木鼻
信仰復活の地
日数
根谷
根谷のサザンカ（市天然記念物）
根谷ノ鼻

<简体字>

黑岛特产

黑岛豆腐

黑岛豆腐用海水代替一般盐卤凝固而成，质地比一般豆腐硬，风味也别具一格，且不易煮烂，因而适合用在火锅料理中。

Fukure 馒头

一种日式豆沙馅馒头，表皮由面粉制作，朴实无华。蒸馒头时，下方会垫上圆锥菝蕨的叶片。

※豆腐与日式馒头皆是喜庆活动时的餐点，由岛上的妇女团体制作。

御影石

九十九岛中，仅黑岛才可产出此种闪长岩，一般用以制作墓碑等。

(宣传单右侧)

高岛特产

高岛竹轮（鱼肉泥制成的管状烧烤料理）以狗母鱼为原料，采用手工方式蒸成。

番岳的烽火台遗址

高岛远见哨岗的烽火台，在二战中曾是炮台，如今已成为公园。

(地图上的地点)

高岛港

番岳

高岛远见哨岗遗址

志贺神社

高岛园地

宫之本遗址

(图片说明)

遗骨大人与宫之本遗址

前往各地点所需时间

(从黑岛港步行)

兴禅寺、机关办公遗址 15 分钟

洞窟式炮台遗址 20 分钟

黑岛天主堂 25 分钟

天主教共同墓地 25 分钟

根谷的茶梅 35 分钟

串之滨岩脉 40 分钟

展望处 35 分钟

信仰复活之地 45 分钟

(2015 年制作)

<繁体字>

黑島特產

黑島豆腐

黑島豆腐用海水代替一般鹽滷凝固而成，質地比一般豆腐硬，風味也別具一格，不易煮爛，因而適合用在火鍋料理中。

Fukure饅頭

是一種以麵粉製作，外皮包裹紅豆餡的日式豆沙饅頭，相當質樸美味。蒸饅頭時，下方會墊上菝葜葉片。

※豆腐與日式饅頭皆是喜慶活動時的餐點，由島上的婦女團體製作。

御影石

九十九島中，僅黑島才可產出此種閃長岩，用以製作墓碑等。

(宣傳單右側)

高島特產

高島竹輪（管狀魚肉泥製成的燒烤料理）以狗母魚為原料，採取手工方式蒸煮而成。

番岳的烽火台遺址

高島遠見崗哨的烽火台，在第二次世界大戰中曾是砲台，如今已成為公園。

(地圖上的地點)

高島港

番岳

高島遠見崗哨遺址

志賀神社

高島園地

宮之本遺址

(圖片說明)

遺骨大人與宮之本遺址

前往各地點所需時間

(從黑島港步行)

興禪寺、公所遺址 15分鐘

洞窟式砲台遺址 20分鐘

黑島天主堂 25分鐘

天主教共同墓地 25分鐘

根谷的茶梅 35分鐘

串之濱岩脈 40分鐘

展望處 35分鐘

信仰復活之地 45分鐘

(2015 年製作)

<日本語仮訳>

黒島の特産品

黒島豆腐

黒島豆腐は海水のニガリで固めてあるので、普通の豆腐より硬く、風味も独特です。煮崩れしにくいので鍋物などに合います。

ふくれ饅頭

小麦粉で作った生地であんを包んだ素朴な饅頭。サツマサンキライ (カカラ)の葉を敷いて蒸します。

※豆腐と饅頭はいずれも、祝い事があると島の婦人会が作ります。

ミカゲ石

九十九島では黒島のみに産出する閃緑石。墓石などに利用されてきました。

(リーフ右手)

高島の特産品

高島ちくわ (チューブ状の魚のすり身を焼いたもの)、エソを原料にして手づくりで蒸して作ります。

番岳の狼煙台跡

高島遠見番所の狼煙台は、第 2 次世界大戦では砲台として使われました。今では公園になっています。

(地図上の場所)

高島港

番岳

高島遠見番所跡

志賀神社

高島園地

宮の本遺跡

(写真キャプション)

おこつさま (骨様) と宮の本遺跡

各所への所要時間

(黒島港から徒歩で)

興禅寺・役所跡 15分
洞窟式砲台跡 20分
黒島天主堂 25分
カトリック共同墓地 25分
根谷のサザンカ 35分
串ノ浜岩脈 40分
眺望ポイント 35分
信仰復活の地 45分

(2015年作成)

<简体字>

(黑岛小手册封面)

世界文化遗产

长崎与天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产

黑岛的村落

(右方的大标题)

长崎与天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产

(右方的摘录 (页面中央))

无传教士期间所发展出的日本独有宗教传统

(上方右侧的粗体字前言)

长崎与天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产为一处遗产群，反映出潜伏吉利支丹的传统
文化印迹。当时的基督教曾被严令禁止，传教士也被逐出日本。即便如此，潜伏吉利支丹
仍坚守信仰。他们通过与神道教、佛教等日本传统宗教及一般社会交流，成功隐藏了自己
的信仰。

(上方左侧的照片)

外海

移居

移居

移居

移居

12 项构成资产的位置图及潜伏吉利支丹从外海地区移居的路径图

(正文)

1. 传教士离去，吉利支丹开始潜伏

1549年，基督教由耶稣会传教士圣方济各·沙勿略传入日本。其后传教士陆续赴日活动，更有大名为了在外国贸易中获利而成为吉利支丹，并保护传教士，新宗教从而在日本

全国传播开来。长崎地区的民众长年接受传教士的亲自指导，他们成立名为“组”的信仰社群，以指导者为中心，于各村落维持并实践信仰。

然而，丰臣秀吉于 1587 年下令将基督教神父驱逐出境；1614 年，德川幕府更是下令全面禁止基督教，并将日本的教堂悉数摧毁，同时将所有传教士逐出日本。过去积极接纳基督教的吉利支丹大名等领导阶级只能改信佛教，秘密潜入日本的传教士及藏匿他们的信徒也在遭受严刑拷问后被处决。检举吉利支丹民众的方针，更是越发强硬。

1637 年，禁教令及藩主施行的打压政策日益严苛，岛原藩的吉利支丹不堪忍受，终于揭竿而起。起义军占领了**原城遗址**^①，演变为日后的“岛原-天草起义”。该事件令德川幕府大为震惊，遂决定禁止葡萄牙船只入港，以减少传教士潜入日本的可能性，同时开始实施锁国政策。1644 年，最后一名传教士殉教。此后，日本的基督教徒不得已在没有传教士引领的情况下，自行摸索维持信仰的方式。

II. 潜伏吉利支丹的传统，就此而生

虽然失去了传教士，但日本国内仍有潜伏吉利支丹存在。他们努力躲避着严苛的检举，一边维持正常的社会生活，一边秘密坚守着信仰。17 世纪后半叶，各地的潜伏吉利支丹陆续遭到大规模逮捕。由于被检举及镇压，日本几乎所有地区的潜伏吉利支丹村落均道尽途穷。

不过，在基督教刚传入日本时，传教活动最为密集的长崎地区，境况则有所不同。18 世纪后，长崎吉利支丹秘密维持着社群，并独自摸索实践信仰的方式。居民暗自供奉各自村落的信仰对象，其中包括：山峦及岛屿（**平户的圣地与村落**^{②③}）、与生活及产业息息相关的日常物品（**天草的崎津村落**^④）、神圣画像（**外海的出津村落**^⑤）、神社（**外海的大野村落**）等。他们的仪式及供奉对象皆与日本传统宗教相似，由此发展出独自の信仰形态。

吉利支丹成功潜伏了长达 250 年的岁月，其主因是只要不公开自己的信仰，幕府便采取“无密告便不处罚”的默许态度。潜伏吉利支丹的地下生活与社会的默许态度形成绝妙的平衡，在这样的背景下，潜伏吉利支丹的传统文化应运而生。

<繁体字>

(黑島小手冊封面)

世界文化遺產

長崎與天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產

黑島的聚落

(右方的大標題)

長崎與天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產

(右方的摘錄 (頁面中央))

無傳教士期間所發展出的日本獨有宗教傳統

(上方右側的粗體字前言)

長崎與天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產為一處遺產群，反映出潛伏吉利支丹的傳統文化痕跡。當時的基督教曾遭嚴令禁止，傳教士也被逐出日本。即使如此，潛伏吉利支丹仍然未曾放棄信仰，而是透過與神道教、佛教等日本傳統宗教及一般社會交流，成功隱藏了自己的信仰。

(上方左側的照片)

外海

移居

移居

移居

移居

12項構成資產的位置圖及潛伏吉利支丹從外海地區移居的路徑圖

(正文)

1. 傳教士離去，吉利支丹開始潛伏

1549年，耶穌會傳教士聖方濟各·沙勿略將基督教傳入日本。其後傳教士陸續赴日活動，更有大名為在外國貿易中獲利而成為吉利支丹，並保護傳教士，使得新宗教開始流行

於日本全境。長崎地區的民眾長年接受傳教士的親自指導，且成立了名為「組」的信仰社群，以指導者為中心，於各聚落維持並實踐信仰。

然而好景不常，1587年，豐臣秀吉下令驅逐基督教神父；1614年，德川幕府更是全面禁止基督教，將日本的教堂破壞殆盡，所有傳教士被迫遷離日本。曾經積極接納基督教的吉利支丹大名等領導階級只能改信佛教，偷偷潛入日本的傳教士及藏匿他們的信徒也均在遭受嚴刑拷問後被處死。舉發吉利支丹民眾的方針，更是越來越強硬。

1637年，禁教令及藩主施行的打壓政策日益嚴厲，島原藩的吉利支丹終於不堪忍受，揭竿而起，起義占領**原城遺址**①，繼而演變為日後的「島原-天草起義」。此一事件讓德川幕府大為震撼，決定禁止葡萄牙船隻入港，以減少傳教士潛入日本的可能性，同時啟動鎖國政策。1644年，最後一名傳教士殉教。此後，日本的基督教徒不得不在缺少傳教士引領的境況下，自行摸索維持信仰的方式。

II. 潛伏吉利支丹的傳統，就此而生

即使失去了傳教士，潛伏吉利支丹仍存在於日本。他們盡力躲避嚴厲的舉報，一邊維持正常的社會生活，一邊秘密堅守著信仰。17世紀後半，各地的潛伏吉利支丹陸續遭到大規模逮捕。由於被舉報及鎮壓，幾乎所有地區的潛伏吉利支丹聚落均道盡途窮。

不過，在基督教剛傳入日本時，傳教士最為集中的長崎地區，境況則有所不同。18世紀後，長崎吉利支丹悄悄維持社群，並獨自摸索實踐信仰的方式。居民秘密供奉各自聚落的信仰對象，其中包括：山巒及島嶼（**平戶的聖地與聚落**②③）、與生活及生業息息相關的日常物品（**天草的崎津聚落**④）、聖畫（**外海的出津聚落**⑤）、神社（**外海的大野聚落**）等。他們的儀式及供奉對象皆類似日本傳統宗教，逐漸發展出獨自的信仰型態。

時光荏苒，吉利支丹成功潛伏了長達 250 年，究其主因則是只要不公開自己的信仰，幕府即採取「無密告便不處罰」的默認態度。潛伏吉利支丹的地下生活與社會的默認態度形成絕妙的平衡，在此種背景下進而孕育出潛伏吉利支丹的傳統文化。

<日本語仮訳>

(黒島パンフレット表紙)

世界文化遺産

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

黒島の集落

(右の大見出し)

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

(右の抜粋 (ページ中央))

宣教師不在の中ではぐまれた日本独自の宗教的伝統

(上部右手の太字導入部)

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産は、潜伏キリシタンの伝統のあかしである遺産群です。潜伏キリシタンは、キリスト教が禁止され、宣教師が追放された時期においても信仰を貫きました。彼らは神道や仏教などの日本の伝統的宗教や一般社会と関わることによって信仰を隠し通すことができました。

(上部左手の写真)

外海

移住

移住

移住

移住

12 の構成資産の位置図および潜伏キリシタンの外海地域からの移住経路図

(本文)

I. 宣教師が去り、キリシタンの潜伏が始まる

1549 年、イエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が日本に伝えられました。その後、続いて来日した宣教師たちの活動や、南蛮貿易の利益を求めて改宗したキリシタン大名の保護に後押しされ、この新しい宗教は全国に広まりました。長崎地方の民衆は宣教師からの直接的な指導を長く受けました。「組」と呼ばれる信仰の共同体がつくられ、それぞれの集落で指導者を中心に信仰が維持、実践されました。

しかし、1587 年豊臣秀吉はキリスト教神父の追放令を發布、その後 1614 年に徳川幕府がキ

リスト教の完全禁止令を出し、日本の教会堂はすべて破壊され、宣教師は国外へ追放されました。かつてキリスト教を積極的に取り入れたキリシタン大名などの支配階級は仏教へと改宗し、ひそかに潜入する宣教師や彼らをかまくらった信徒には過酷な拷問が加えられ処刑されました。一般民衆に向けたキリシタン摘発は次第に強化されていきました。

1637年、禁教が深まり藩主の圧政が強まる中、島原藩のキリシタンが蜂起して**原城跡①**に立てこもった「島原・天草一揆」が起こりました。これに衝撃を受けた徳川幕府は、宣教師の潜入の可能性のあるポルトガル船の入港を禁止し、鎖国政策をとりました。1644年に最後の宣教師が殉教すると、日本のキリスト教信徒は宣教師の導きなしで信仰を続けていかなければならなくなりました。

II. 潜伏キリシタンの伝統が育まれる

宣教師との接触が絶たれた後も、潜伏キリシタンは日本中に存在しました。彼らは厳しい摘発をかいくぐり、社会的には普通に生活しながらひそかに信仰を続けました。17世紀後半、各地で潜伏キリシタンの大規模な捕縛が相次いで起こりました。潜伏キリシタンたちは摘発され、弾圧されて、日本のほとんどの地域で潜伏キリシタン集落が途絶えていきました。

しかし、キリスト教の伝来期に最も集中的に宣教が行われた長崎地方においては事情が異なりました。18世紀以降も長崎のキリシタンは共同体をひそかに維持し、独自に信仰を実践する方法を模索していきました。それぞれの集落は独自の対象をひそかに拝みました。その中には山や島(**平戸の聖地と集落②③**)、生活・生業に根ざした身近なもの(**天草の崎津集落④**)、聖画像(**外海の出津集落⑤**)、神社(**外海の大野集落**)などがありました。彼らの儀式や信仰対象はいずれも日本の伝統的宗教で使われるものとよく似ており、独自の信仰形態が形成されていきました。

250年にわたってキリシタンが潜伏できた一因は、取り締まりを行う幕府の側に、本人が信仰を表明しない限り密告も処罰もしないという黙認の姿勢があったことでした。潜伏キリシタンによる秘匿と社会的な黙認との絶妙な均衡を背景に、潜伏キリシタンの伝統が育まれました。

<简体字>

世界文化遗产的 12 项构成资产

潜伏的缘由

①原城遗址

“岛原-天草起义”的主战场

供奉对象

②平户的圣地与村落（春日村落与安满岳）

以“山峦”为供奉对象

③平户的圣地与村落（中江之岛）

以“岛屿”（曾是殉教地）为供奉对象

④天草的崎津村落

以“鲍鱼壳等日常物品”为供奉对象

⑤外海的出津村落

以“玛利亚像等神圣画像”为供奉对象

⑥ 外海的大野村落

以“神社”为供奉对象

潜伏吉利支丹维持信仰的移居之地

⑦黑岛的村落

于平户藩的牧场遗址发展村落

⑧野崎岛的村落遗址

于神道教的圣地发展村落

⑨头岛的村落

于隔离病人的地点发展村落

⑩久贺岛的村落

于岛屿未开拓的土地发展村落

反映潜伏时代终结的教堂典型案例

⑪奈留岛的江上村落（江上天主堂与其周边）

发生“信徒发现”事件，成为重大转机的地点

⑫大浦天主堂

<繁体字>

世界文化遺產的12項構成資產

潛伏的緣由

①原城遺址

「島原-天草起義」的主戰場

供奉對象

②平戶的聖地與聚落（春日聚落與安滿岳）

以「山巒」為供奉對象

③平戶的聖地與聚落（中江之島）

以「島嶼（過去曾是殉教地）」為供奉對象

④天草的崎津聚落

以「鮑魚殼等日常物品」為供奉對象

⑤外海的出津聚落

以「瑪利亞像等聖畫」為供奉對象

⑥外海的大野聚落

以「神社」為供奉對象

潛伏吉利支丹移居何種地區以維持信仰

⑦黑島的聚落

於平戶藩的牧場遺址發展聚落

⑧野崎島的聚落遺址

於神道教的聖地發展聚落

⑨頭島的聚落

於隔離病人的地點發展聚落

⑩久賀島的聚落

於島嶼未開拓的土地發展聚落

反映潛伏時代告終的教堂典型案例

⑪奈留島的江上聚落（江上天主堂與其周邊）

發生「信徒發現」事件，成為重大轉機的地點

⑫大浦天主堂

<日本語仮訳>

世界文化遺産の 12 の構成資産

潜伏のきっかけ

- ① 原城跡
「島原・天草一揆」の主戦場

信仰対象

- ② 平戸の聖地と集落 (春日集落と安満岳)
「山」が信仰の対象
- ③ 平戸の聖地と集落 (中江ノ島)
「島(かつての殉教地)」が信仰の対象
- ④ 天草の崎津集落
「アワビ貝など身の回りのもの」が信仰の対象
- ⑤ 外海の出津集落
「マリア像などの聖画像」が信仰の対象
- ⑥ 外海の大野集落
「神社」が信仰の対象

潜伏キリシタンはどのような場所に移住して信仰を続けたのか

- ⑦ 黒島の集落
平戸藩の牧場跡地で集落を形成
- ⑧ 野崎島の集落跡
神道の聖地で集落を形成
- ⑨ 頭ヶ島の集落
病人が隔離されていた場所で集落を形成
- ⑩ 久賀島の集落
島の未開拓地で集落を形成

潜伏時代の終焉を示す教会堂の典型例

- ⑪ 奈留島の江上集落 (江上天主堂とその周辺)

「信徒発見」が起こり重大な転機となった場所

- ⑫ 大浦天主堂

<简体字>

III. 维持及扩大潜伏吉利支丹社群

18 世纪末，因隶属于大村藩西彼杵半岛西岸外海地区的人口增加，居民开始大规模移居五岛列岛等地。移居的开拓者中，不乏大量潜伏吉利支丹。

潜伏吉利支丹逐渐意识到，若想维护自身的生存之道，就必须与现实社会及宗教进行和解，而移居地的选择即是基于这一想法。比如为利用平户藩的牧场遗址而需重新开发的**黑岛**⑦、神道教的圣地**野崎岛**⑧、隔离天花病人的**头岛**⑨，以及因五岛藩政策而未曾开发的**久贺岛**⑩等，皆是移居地之选。

IV. 与传教士重新接触——结束潜伏

1854 年，美国及西欧各国纷纷要求江户幕府敞开国门，而幕府也为贸易考量就此开放下田及函馆港口。随后长崎亦开港，传教士随后赴日，并为居住在当地的西洋人建造**大浦天主堂**⑫。天主堂建成后，一名来自浦上村的女性潜伏吉利支丹随即前往大浦天主堂，向神父公开自己秘密维持多年的信仰。这一震撼社会的事件史称“信徒发现”，长崎地区的潜伏吉利支丹也因此迎来转机。

之后，众多潜伏吉利支丹相继公开信仰，政府再次强化打压，令潜伏吉利支丹的村落接连发生大规模检举事件，反招致西洋各国的严正抗议，为此明治政府于 1873 年解除了对基督教的禁令。

潜伏吉利支丹中，有人决定放弃禁教期的信仰形态，转而在新来的传教士指导下入教。而部分拒绝传教士指导的信徒，则以“**隐匿吉利支丹**”的身份，继续维持曾经的信仰形态。另外也有人改信神道教或佛教。

曾经的潜伏吉利支丹，最终也开始在自己的村落兴建简朴教堂，如**奈留岛的江上天主堂**⑪便是一例。这些教堂预示着天主教信仰活动的复苏，同时也象征长达两个半世纪的禁教期——孕育出长崎地区独自信仰形态“**潜伏时代**”之终结。

(第 3 页下方标题)

长崎地区的基督教历史

I. 开端

1549 年 圣方济各·沙勿略将基督教传入日本

1614 年 全国发布基督教禁教令

1637 年 岛原-天草起义爆发

II. 潜伏吉利支丹传统的发展

1641年 幕府确立海禁体制

1644年 国内最后的传教士殉教

1700年 为避免暴露身份，吉利支丹选择以秘密方式继续维持信仰。从而孕育出以“隐匿”为基础的信仰形态

信徒供奉山峦及岛屿、神圣画像、神社、贝壳及其他日常物品

III. 维持及扩展传统

1797年 信徒开始从外海地区移居五岛列岛

外海地区的潜伏吉利支丹为了秘密维持自身的信仰，选择移居到可与传统社会及宗教共存的地区。

黑岛的村落、野崎岛的村落、头岛的村落、久贺岛的村落

1859年 长崎对荷兰船、中国船以外的外国船舶也开放入港

IV. 变迁及尾声

1865年 潜伏吉利支丹公开信仰，史称“信徒发现”

1873年 基督教解禁

1918年 江上天主堂建成

潜伏吉利支丹的传统文化迎来尾声

<繁體字>

III.維持及擴展潛伏吉利支丹社群

18世紀末，由於隸屬大村藩的西彼杵半島西岸外海地區人口增加，居民開始大規模移居五島列島等地。移居的開拓者中，包含許多潛伏吉利支丹。

潛伏吉利支丹漸漸認識到，他們必須與既存的社會及宗教進行妥協，方能保護自己的生活方式，移居地的選擇同樣基於此一想法。比如為利用平戶藩的牧場遺址而需重新開發的**黑島**⑦、神道教的聖地**野崎島**⑧、隔離天花病患的**頭島**⑨，以及因五島藩政策而未曾開發的**久賀島**⑩等，皆是移居地之選。

IV.與傳教士重新接觸——結束潛伏

1854年，在以美國為首西方各國接連的開國要求下，江戶幕府開放了下田及函館港口以利於貿易。其後傳教士進入開港後的長崎，並為居住在當地的西洋人興建**大浦天主堂**⑫。天主堂落成後，一名來自浦上村的女性潛伏吉利支丹隨即前往大浦天主堂，向神父公開自己秘密維持多年的信仰。此一震撼社會的事件被稱為「信徒發現」，也讓長崎地區的潛伏吉利支丹迎來轉機。

其後許多潛伏吉利支丹相繼表明信仰，政府再次強化鎮壓，令潛伏吉利支丹的聚落陸續發生大規模舉報事件。然而該項政策卻導致西洋各國嚴正抗議，明治政府因此於1873年解除對基督教的禁令。

潛伏吉利支丹中，有人決定拋棄禁教期的信仰型態，在新來的傳教士指導下入教。而部分拒絕傳教士指導的信徒，則以「隱匿吉利支丹」的身份，繼續維持過往的信仰型態。另外也有人改信神道教或佛教。

曾是潛伏吉利支丹的信徒，最終亦開始在自己的聚落興建簡樸教堂，如**奈留島的江上天主堂**⑪便是一例。這些教堂代表著天主教信仰活動的復甦，同時也象徵著長達兩個半世紀的禁教期——孕育出長崎地區獨自信仰型態的「潛伏時代」告終。

(第3頁下方標題)

長崎地區的基督教歷史

I.開端

1549年 聖方濟各·沙勿略將基督教傳入日本

1614年 全國發布基督教禁教令

1637年 島原-天草起義爆發

II. 潛伏吉利支丹傳統的發展

1641年 幕府確立海禁體制

1644年 國內最後的傳教士殉教

1700年 吉利支丹選擇以秘密方式繼續維持信仰。為避免身份暴露，信仰型態以「隱匿」為基本宗旨

信徒供奉山巒及島嶼、聖畫、神社、貝殼及其他日常物品

III. 維持及擴展傳統

1797年 信徒開始從外海地區移居五島列島

外海地區的潛伏吉利支丹為了秘密維持自己的信仰，選擇移居到可與傳統社會及宗教共存的地區。

黑島的聚落、野崎島的聚落、頭島的聚落、久賀島的聚落

1859年 長崎對荷蘭船、中國船以外的外國船也開放入港

IV. 變遷及尾聲

1865年 潛伏吉利支丹公開信仰，史稱「信徒發現」

1873年 基督教解禁

1918年 江上天主堂落成

潛伏吉利支丹的傳統文化迎來尾聲

<日本語仮訳>

III. 潜伏キリシタンの共同体の維持・拡大

18 世紀の終わりになると、大村藩に属する西彼杵半島西岸の外海地域で人口が増加したため、五島列島などへの大規模移住が行われました。開拓移住者の中には多くの潜伏キリシタンが含まれていました。

潜伏キリシタンは、自分たちの生き方を守るためには既存の社会や宗教との折り合いをつけなければならないと悟っており、それに基づいて移住先を選択しました。例えば、平戸藩の牧場の跡地利用のため再開発の必要があった黒島⑦や神道の聖地である野崎島⑧のほか、天然痘の病人の隔離場所として使われていた頭ヶ島⑨、五島藩の政策に沿って未開発地であった久賀島⑩などが移住地として選ばれました。

IV. 宣教師との再接触—潜伏が終わる

1854 年、アメリカをはじめとする西欧諸国からの相次ぐ開国の要求を受け、江戸幕府は下田と函館を貿易のために開港しました。次いで開港した長崎へと入った宣教師は、居留地に住む西洋人のために大浦天主堂⑫を建てました。天主堂が完成した直後、ひそかに信仰を続けてきた浦上村の潜伏キリシタンの女性が大浦天主堂の神父に信仰を告白しました。「信徒発見」と呼ばれるこの衝撃的な出来事により、長崎地方の潜伏キリシタンは転機を迎えました。

このあと多くの潜伏キリシタンが信仰を表明したため、再び弾圧が強化され、潜伏キリシタンの集落では大規模な摘発が相次ぎました。これが逆に西洋諸国からの強い抗議を招くことになり、明治政府は 1873 年にキリスト教を解禁しました。

潜伏キリシタンの中には、禁教期を通して育んできた信仰形態を捨て、新たにやってきた宣教師の指導下に入ることを決めた者もいました。一方、宣教師の指導下に入ることを拒んだ者は、かくれキリシタンとして引き続き自分たちの信仰形態にとどまりました。また、神道や仏教へと改宗する者もいました。

やがて、かつての潜伏キリシタンは奈留島の江上天主堂⑬のように、自分たちの集落に素朴な教会堂を建て始めました。これらの教会堂は、カトリックの信仰活動が復活したこと、そして長崎地方の独自の信仰形態を育んだ 2 世紀半にわたる禁教下での潜伏時代がついに終わりを迎えたことの二つを象徴していました。

(3 ページ下部の見出し)

長崎地方のキリスト教の歴史

I 始まり

- 1549 年 フランシスコ・ザビエルにより日本にキリスト教が伝来
- 1614 年 全国にキリスト教禁教令発布
- 1637 年 島原・天草一揆勃発

II. 潜伏キリシタンの伝統の形成

1641年 幕府が海禁体制を確立

1644年 国内で最後の宣教師が殉教

1700年 キリシタンは、潜伏して信仰を続けることを選択。信仰が発覚しないよう「秘匿」を基本とする信仰形態を育む

山や島、聖画像、神社、貝やその他の身の回りのものを崇拜

III. 伝統の維持・拡大

1797年 外海地域から五島列島などへ移住開始

外海地域の潜伏キリシタンは密かに自らの信仰を続けるため、伝統的な社会や宗教との共存が可能な移住先を選ぶ

黒島の集落、野崎島の集落、頭ヶ島の集落、久賀島の集落

1859年 オランダ船・中国船以外の外国船にも長崎が開港される

IV. 変容と終焉

1865年 潜伏キリシタンが信仰を告白「信徒発見」

1873年 キリスト教が解禁

1918年 江上天主堂が完成 -

潜伏キリシタンの伝統の終焉

<简体字>

(页面右方标题)

黑岛的村落

通过开拓及移居至平户藩牧场遗址的再开发地区，成功维持信仰的社群

(页面最上方的文章)

自白：“黑岛有 600 名潜伏吉利支丹”

“信徒发现”仅两个月后的冒死自白

(正文)

移居平户藩的牧场遗址

黑岛是位于佐世保西侧海上的小岛，周长约 2 公里。黑岛之名首次出现于 13 世纪左右的文献史料中。据悉，岛屿北部于 14 世纪左右形成本村村落。

17 世纪，平户藩于黑岛设置了养育马匹的牧场。但由于农田的必要性日渐大于马匹养殖，牧场于 19 世纪初被废止。为了重新开发牧场旧址，平户藩开始鼓励开拓者移居岛屿。到 19 世纪中叶为止，从外海地区等地移居至黑岛的开拓者，共计发展出七个新村落。这些开拓者中，不乏大量潜伏吉利支丹，而七个村落中，有六个（日数、根谷、名切、田代、蕨、东堂平）是潜伏吉利支丹的村落。

据说潜伏吉利支丹应是认为与原住民较易共存，遂选择移居黑岛。而结果也正是如此，其移居黑岛后，成功维持了自身的信仰体系。

与现实社会及宗教共生

移居黑岛的潜伏吉利支丹因隶属于本村村落的兴禅寺，故可在表面上装作是佛教徒。

黑岛的潜伏吉利支丹每年都会被迫在本村村落的村长宅邸进行“踏绘”（践踏耶稣基督及圣母玛利亚像）仪式，以证明自己并非基督教徒。即便在这般境况下，他们仍秘密在兴禅寺的本堂，将送子观音当作圣母玛利亚像供奉，并称其为“玛利亚观音”。他们平时装作参拜佛寺，实则是向玛利亚观音，即圣母玛利亚祷告。

黑岛的墓地，明显反映出当地潜伏吉利支丹假扮佛教徒，同时维持自我信仰的事实。此处的墓碑方向（一般应是正面朝西，然而此处却是朝东）与埋葬方式与佛教传统迥然相异，呈现出独特样貌。

<繁体字>

(頁面右方標題)

黑島的聚落

透過開拓及移居至平戶藩牧場遺址的再開發地區，成功維持信仰的社群

(頁面最上方的文章)

自白：「黑島有600名潛伏吉利支丹」

「信徒發現」僅兩個月後的冒死自白

(正文)

移居平戶藩的牧場遺址

黑島是位於佐世保西側海上的小島，周長約2公里。黑島之名首次出現於13世紀左右的文獻史料中。據悉，島嶼北部於14世紀左右發展出本村聚落。

17世紀，平戶藩於黑島興建了養育馬匹的牧場。而農田的必要性日漸大於馬匹，牧場隨即於19世紀初被廢止。為了重新開發牧場舊址，平戶藩開始招攬開拓者移居島嶼。至19世紀中期為止，自外海地區等地移居至黑島的開拓者，共計發展出七個新聚落。這些開拓者之中，亦包含眾多潛伏吉利支丹，而七個聚落中，有六個（日敷、根谷、名切、田代、蕨、東堂平）是潛伏吉利支丹的聚落。

據信潛伏吉利支丹應是認為與原住民較易共存，遂選擇移居黑島。而結果也如其所預想，移居黑島後，便成功維持了自己的信仰體系。

與既存社會及宗教共生

移居黑島的潛伏吉利支丹隸屬於本村聚落的興禪寺，藉此於表面上裝作佛教徒。

黑島的潛伏吉利支丹每年皆會被迫在本村聚落的村長宅邸進行「踏繪（踐踏耶穌基督及聖母瑪利亞像）」儀式，以證明自己並非信徒。即使環境如此嚴苛，他們仍暗自於興禪寺的本堂，將送子觀音視作聖母瑪利亞像供奉，並稱其為「瑪利亞觀音」。他們平日裝作參拜佛寺，實則是向瑪利亞觀音，即所謂的聖母瑪利亞禱告。

黑島的墓地，明顯反映出當地潛伏吉利支丹假扮佛教徒，同時維持自我信仰的事實。此處的墓碑方向（一般應是正面朝西，然而此處卻是朝東）與埋葬方式與佛教傳統截然不同，呈現出獨特樣貌。

<日本語仮訳>

(ページ右のタイトル)

黒島の集落

平戸藩の牧場跡の再開発地に開拓移住することによって信仰を維持した共同体

(ページ最上部の文章)

告白：「黒島には 600 人の潜伏キリシタンがいます」

「信徒発見」からたった 2 ヶ月後の命懸けの告白

(本文)

平戸藩の牧場跡への移住

黒島は佐世保の西の海上に浮かぶ周囲約 2 キロメートルの小島です。黒島の名称は 13 世紀頃の文献史料に初めて登場し、14 世紀頃には島の北部に本村集落が形成されていたことが分かっています。

17 世紀になると、黒島には平戸藩の馬を育てる牧場が設置されました。しかし、馬よりも田畑の必要性が増したことにより、牧場は 19 世紀初頭に廃止されました。平戸藩は牧場跡の再開発のため、開拓民の誘致政策を進めました。外海地域などから黒島へと移住した開拓民は、19 世紀中頃までに新たに 7 つの集落を島内に形成しました。これら開拓民の中には多くの潜伏キリシタンが含まれており、新しく形成された 7 つの集落のうち、6 つ(日数・根谷・名切・田代・蕨・東堂平)が潜伏キリシタン集落でした。

潜伏キリシタンは、先住民と共存できる可能性が高いという理由から黒島を選んだと考えられています。目論見通り、彼らは黒島において移住と信仰体系の維持に成功しました。

既存社会・宗教との共生

黒島に移住した潜伏キリシタンたちは、本村集落の興禅寺に所属することで表向きは仏教徒として振る舞っていました。

黒島では毎年、潜伏キリシタンは本村集落の庄屋屋敷で、信者でないことを証明するために絵踏(キリストや聖母マリアの像を踏むこと)を強いられました。そのような中でも、彼らは興禅寺の本堂に、子抱観音を聖母マリア像に見立てた「マリア観音」をひそかに祀ることができていました。仏寺への参拝を装いつつ、実際にはマリア観音、つまり聖母マリアに祈りをささげていたのです。

この島の墓地は、黒島の潜伏キリシタンが表向きは仏教徒を装いつつ、自らの信仰を継続したことをよく表しています。墓地は、墓石の向き(通常は正面を西に向けて建てられるが東を向いている)や埋葬の方法という点で、仏式とは全く異なる独特の様相を呈しています。

<简体字>

冒死自白与潜伏告终

1865年，“信徒发现”一事很快便传至黑岛。岛上部分信徒为确认此事，便秘密前往长崎。他们在大浦天主堂向传教士自白信仰，并告知黑岛亦有多达 600 名潜伏吉利支丹。这是“信徒发现”仅两个月后的事件，当时禁教令尚未解除，此次自白可谓是冒死之举。

传教士就此开始对黑岛信徒进行指导。1872年，即基督教解禁的前一年，黑岛的所有潜伏吉利支丹皆回归天主教。

回归之初，岛上有两处地点被作为临时教堂，潜伏时代的指导者宅邸即是其一。随着建造新教堂的时机日益成熟，1879年，首座黑岛教堂落成。其地点设于岛中央，便于各村落的所有村民前往。日后信徒增加，重建教堂的计划也随之问世。1902年，一座由信徒义务及自费建成的黑岛天主堂竣工。此堂如今仍会每周举行祈祷会，以求赎清当年进行“踏绘”的罪过，禁教期的记忆因而延续至今。

整座黑岛皆是世界文化遗产

黑岛上分布着六个源于 19 世纪移居至此的潜伏吉利支丹村落。指导者的宅邸遗址、墓地、农地等几乎与当年无异。此外，供潜伏吉利支丹秘密供奉玛利亚观音的兴禅寺、曾进行踏绘仪式的村长宅邸遗址，以及基督教解禁后落成的首座教堂遗址，目前也仍保持完好状态。

信徒的移居点，将当时潜伏吉利支丹的心思表露无遗：与移居地的社会及宗教共存，同时维持自我的信仰及组织。此八个村落反映出二者关系，而包括八个村落在内的黑岛全岛更是“长崎和天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产”的构成遗产之一。

<繁体字>

冒死自白與潛伏告終

1865年，「信徒發現」一事很快便傳到了黑島。島上部分信徒慾親自了解事實，便暗自前往長崎。他們在大浦天主堂向傳教士自白信仰，並告知黑島亦存在多達600名潛伏吉利支丹。「信徒發現」僅兩個月後的該事件，發生於禁教令尚未解除之時，在當時說是冒死之舉亦不為過。

傳教士就此開始指導黑島信徒。1872年，即基督教解禁的前一年，黑島的所有潛伏吉利支丹皆回歸天主教。

回歸之初，島上有兩處地點被作為臨時教堂，潛伏時代的指導者宅邸即是其一。隨著時間流轉，建造新教堂的時機日漸成熟，1879年，初代黑島教堂落成。教堂地點位於島中央，便於各聚落的所有村民前往。隨著信徒人數的增加，重建教堂的計畫也隨之問世。透過信徒的勞動及負擔費用，如今的黑島天主堂得以於1902年竣工。黑島天主堂現在仍會每週舉行祈禱會，以求贖清當時進行「踏繪」的罪過，禁教期的記憶因而保留至今。

整座黑島皆是世界文化遺產

黑島上分佈著六個源於19世紀移居至此的潛伏吉利支丹聚落。指導者的宅邸遺址、墓地、農地等幾乎與當時無異。此外，供潛伏吉利支丹暗自供奉瑪利亞觀音的興禪寺、曾進行踏繪儀式的村長宅邸遺址，以及基督教解禁後落成的初代教堂遺址，目前也仍然維持完好狀態。

信徒的移居地點，將當時潛伏吉利支丹的心思表露無遺：與移居地的社會及宗教共存，同時維持自我的信仰及組織。此八個聚落反映出二者關係，而包括八個聚落在內的黑島全島更是「長崎和天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產」的構成遺產之一。

<日本語仮訳>

命懸けの告白と潜伏の終わり

1865 年の「信徒発見」の知らせはすぐに黒島にも届きました。島の一部の信徒たちは、何が起きているのか確かめるため、ひそかに長崎に渡りました。大浦天主堂で彼らは宣教師に信仰を告白し、黒島にも 600 人の潜伏キリシタンがいることを告げました。これは「信徒発見」からわずか 2 カ月後のことで、禁教令がまだ解けていない中での命懸けの告白でした。

宣教師は彼らに新たな指導を受け、1872 年のキリスト教解禁の一年前に黒島の潜伏キリシタンは全員カトリックへと復帰しました。

復帰の当初は、潜伏時代の指導者の屋敷など島内の 2 カ所が仮の聖堂とされました。やがて新たな教会堂建造の機運が高まり、1879 年に初代の黒島教会堂が建設されました。教会堂は各集落から訪れやすい島の中央に建てられました。信徒の増加に伴い、教会堂の建て替えが計画されました。信徒の労働奉仕と費用負担により、1902 年に現在の黒島天主堂が完成しました。黒島天主堂では、今なお当時の絵踏を贖罪する祈りが毎週さげられ、禁教期の記憶が伝えられています。

黒島全体が世界文化遺産

黒島には 19 世紀に移住した潜伏キリシタンに起源を持つ 6 つの集落が分布しています。指導者の屋敷跡、墓地、農地などがほとんど変わることなく残されています。また、潜伏キリシタンがひそかにマリア観音に祈りをささげた興禅寺や絵踏が行われた庄屋屋敷跡、キリスト教解禁後に建てられた初代の教会堂跡も良好な保存状態にあります。

これらの場所は、移住することにより、移住先の社会・宗教とも共生しつつ、自らの信仰や組織を維持しようとした潜伏キリシタンの戦略を色濃く表しています。禁教期の潜伏キリシタンと仏教徒との関係を示す 8 つの集落を含む黒島全域が世界文化遺産である長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の構成遺産となっています。

<简体字>

(右方的大标题)

黑岛的精彩历史看点

本村村落、村长宅邸遗址、兴禅寺

(文字方块 1)

本村从 14 世纪延续至今，是黑岛史上最为悠久的佛教村落。岛上的佛教徒不过度干涉日后到来的潜伏吉利支丹，并努力维持共存关系。上方照片的公园是村长宅邸遗址，当时曾在此进行“踏绘”仪式。

兴禅寺紧邻公园，是潜伏吉利支丹装作佛教徒，将观音菩萨（玛利亚观音）当成圣母玛利亚像供奉的地点。

(图片说明)

兴禅寺的玛利亚观音（现已不复存在）

(对话框)

梵钟上刻有曾参与捐款的潜伏吉利支丹姓名，可见潜伏吉利支丹与兴禅寺之间关系密切。

(图片说明)

本村村落

村长宅邸遗址

兴禅寺的梵钟

(文字方块 2)

蕨村落

黑岛南部的蕨、田代一带，设有平户藩的牧马场。牧场于 1802 年废除后，政府鼓励民众前往该地开拓遗址。许多外海等地区的潜伏吉利支丹遂移居黑岛，于海岸附近的斜坡兴建住宅，秘密维持自己的信仰。时至今日，蕨村落仍保留着海岸、防风林、住家、农田排成一列的昔日风景。

(文字方块 3)

潜伏吉利支丹的墓地（仕切牧墓地）

在 19 世纪 80 年代天主教共同墓地建成前，仕切牧墓地一直是蕨村落潜伏吉利支丹的安息之所。黑岛佛教徒的墓碑正面朝西，然而这块墓地中，亦有正面朝东的墓碑，加之其中并无近代碑石，由此推测这些应是潜伏吉利支丹的墓碑。

（图片说明）

东

西

*私人用地，禁止入内

（文字方块 4）

潜伏吉利支丹的指导者宅邸遗址

此处是出口家的宅邸遗址，该家族在黑岛潜伏吉利支丹社群中历代担任指导者。在距基督教解禁仅有一年的 1872 年，黑岛信徒曾秘密邀请神父赴岛，并在此举行首度弥撒仪式。宅邸成为基督教解禁后的临时教堂，一直使用至 1879 年岛屿中心建起首座教堂为止。此处于日后立起石碑，彰显其为信仰复兴之地，後成为黑岛的圣地之一。

<繁体字>

(右方的大標題)

黑島的精彩歷史看點

本村聚落、村長宅邸遺址、興禪寺

(文字方塊 1)

本村自14世紀延續至今，是黑島歷史上最為悠久的佛教聚落。島上的佛教徒不過度干涉日後遷來的潛伏吉利支丹，並努力維持共存關係。上方照片的公園是村長宅邸遺址，當時曾在此進行「踏繪」儀式。

興禪寺位於公園隔壁，是潛伏吉利支丹裝作佛教徒，將觀音菩薩（瑪利亞觀音）當成聖母瑪利亞像供奉的地點。

(圖片說明)

興禪寺的瑪利亞觀音（現已不復存在）

(對話框)

梵鐘上刻有曾參與捐款的潛伏吉利支丹姓名，不難看出潛伏吉利支丹與興禪寺之間關係密切。

(圖片說明)

本村聚落

村長宅邸遺址

興禪寺的梵鐘

(文字方塊 2)

蕨聚落

黑島南部的蕨、田代一帶，設有平戶藩的牧馬場。牧場於1802年廢除後，政府鼓勵人們前往開拓遺址。許多外海等地區的潛伏吉利支丹遂移居黑島，於海岸附近的斜坡建起住宅，秘密維持自己的信仰。時至今日，蕨聚落仍保留著海岸、防風林、住家、農田排列成行的昔日風景。

(文字方塊 3)

潛伏吉利支丹的墓地（仕切牧墓地）

在1880年代天主教共同墓地落成前，仕切牧墓地一直是蕨聚落潛伏吉利支丹的安息之所。黑島佛教徒的墓碑正面朝西，而這塊墓地中，亦存在正面朝東的墓碑，加之並無近代碑石，由可此推測這些墓碑應屬於潛伏吉利支丹。

（圖片說明）

東

西

*私人用地，禁止進入

（文字方塊 4）

潛伏吉利支丹的指導者宅邸遺址

此處是出口家的宅邸遺址，該家族在黑島潛伏吉利支丹社群中歷代擔任指導者。1872年是基督教解禁的前一年，同年黑島信徒曾秘密邀請神父赴島，並在此進行首度彌撒。宅邸成為基督教解禁後的臨時教堂，持續使用至 1879 年島嶼中心建起最初的教堂為止。日後此處立起了石碑，成為黑島的聖地之一，以彰顯其為信仰復興之地。

<日本語仮訳>

(右手の大見出し)

黒島の歴史のみどころ

本村集落・庄屋敷跡・興禅寺

(ボックス 1)

本村は 14 世紀頃から続く、黒島で最も古い仏教集落です。島の仏教徒は後から来た潜伏キリシタンに過度に干渉しないようにして共存に努めました。上の写真の公園は宗教画を踏ませる「絵踏」が行われていた庄屋敷跡です。

公園に隣接する興禅寺は、潜伏キリシタンが仏教徒を装ってマリア像に見立てた観音菩薩(マリア観音)に祈りを捧げた場所です。

(キャプション)

興禅寺のマリア観音 (現存しません)

(吹き出し)

寄進者として潜伏キリシタンの名前が梵鐘に刻まれており、潜伏キリシタンと興禅寺の密接な関係がうかがえます。

(キャプション)

本村集落

庄屋敷跡

興禅寺の梵鐘

(ボックス 2)

蕨集落

黒島南部の蕨・田代一帯には平戸藩の馬牧場がありました。1802 年に牧場は廃止され、跡地への開拓移住が奨励されました。この島には外海地域などから多くの潜伏キリシタンが移住し、海岸近くの斜面に家を立て、ひそかに信仰を続けました。蕨集落では、海岸から防風林、住居、畑と一列に並び当時の風景が今も残されています。

(ボックス 3)

潜伏キリシタンの墓地 (仕切牧墓地)

仕切牧墓地は、1880 年代にカトリック共同墓地ができるまで使われていた蕨集落の潜伏キリシタンの墓地です。黒島の仏教徒の墓は墓石の正面を西に向けて建ててあります。しかし、この墓地には東に向けて建てられた墓もあります。東向きの墓の中には近代に建てられた墓がないことから、潜伏キ

リシタンの墓と考えられています。

(キャプション)

東

西

*敷地内は立ち入り禁止

(ボックス 4)

潜伏キリシタンの指導者屋敷跡

この場所は黒島の潜伏キリシタンの共同体で代々指導者を務めた出口家の屋敷跡です。解禁前年の1872年、黒島の信徒たちはひそかに島に神父を招き、ここで初のミサが行われました。屋敷はキリスト教解禁後仮の聖堂となり、1879年に島の中心に最初の教会堂が建てられるまで使われていました。黒島の聖地の一つとして石碑が建てられ、信仰復活の地として顕彰されています。

<简体字>

(文字方块 5)

5. 第一代黑岛教堂遗址

经亚伯特·佩卢神父的构思设计，黑岛最初的教堂于 1879 年建成。教堂选择建于岛屿中心，以便于信徒聚集。目前的黑岛天主堂是在同一地点建成的第二代建筑。教堂内仍保留有首座教堂的诸多痕迹：如第一代的主祭坛是目前的副祭坛，而第一代的圣坛则被改造为唱经台的扶手等。

<繁体字>

(文字方塊 5)

5.初代黑島教堂遺址

經亞伯特·佩盧神父的構思設計，黑島最初的教堂於 1879 年落成。教堂選擇建於島嶼中心，以便於信徒前往。目前的黑島天主堂為第二代，地點與初代相同。教堂內仍保留著許多初代教堂的痕跡：如初代的主祭壇是目前的副祭壇，而初代的聖壇則被改造為唱經台的扶手等。

<日本語仮訳>

(ボックス 5)

5. 初代黒島教会堂跡

1879 年、アルベルト・ペルー神父の設計により建てられた黒島で最初の教会堂の建設場所には、信徒の集まりやすさを考慮し、島の中心部が選ばれました。現在の黒島天主堂は同じ場所に建てられた二代目です。脇祭壇には初代の主祭壇が、楽廊の手すりには初代の聖体拝領台が転用されるなど、初代教会堂の名残を留めています。

<简体字>

(C) 黑岛大导览／内页／体验

黑岛体验导览

1. 与向导一同岛屿漫步

与岛上的向导一同徒步游览黑岛的知名景点。

一日行程

黑岛港→黑岛神社→河童冢→兴禅寺→蕨眺望所→黑岛天主堂→天主教共同墓地→黑岛港（含午餐等休息时间，合计约3小时30分钟）

半日行程

黑岛港→黑岛神社→黑岛天主堂→黑岛港（约1小时20分钟）

2. 体验制作 Fukure 馒头

Fukure 馒头是一种红豆馅传统点心，深得黑岛居民喜爱。快来向岛上的女性居民学习其制作方式吧。

所需时间：约3小时

费用：2千日圆/人

人数：5-20人

3. 体验制作黑岛豆腐

黑岛豆腐是用海水代替盐卤制作的独特豆腐。

所需时间：约4小时

费用：3千日圆/人

人数：2-10人

※如欲参加上述1、2、3项活动，最晚请于预定日期的七天前电话联系黑岛观光协会，或

是通过官网 <https://kuroshimakanko.com/>的咨询页面报名。集合及解散地点均为黑岛迎宾屋。

※如欲了解详情，请登入官网 <https://kuroshimakanko.com/>查看。关于岛屿的餐饮、住宿，欢迎随时咨询。

黑岛体验导览咨询方式

黑岛观光协会（TEL:0956-56-2311）

佐世保观光信息中心（JR 佐世保站内）

<繁体字>

(C) 黑島大導覽／內頁／體驗

黑島體驗導覽

1.與導覽員一同島嶼漫步

與島上的導覽員一同徒步遊覽黑島的知名景點。

一日行程

黑島港→黑島神社→河童塚→興禪寺→蕨眺望所→黑島天主堂→天主教共同墓地→黑島港
(含午餐等休息時間，合計約3小時30分鐘)

半日行程

黑島港→黑島神社→黑島天主堂→黑島港 (約1小時20分鐘)

2. 體驗製作Fukure饅頭

Fukure饅頭是包紅豆餡的傳統點心，深受黑島居民喜愛。來一同向島上的女性居民學習製作方式吧。

所需時間：約3小時

費用：2千日圓/人

人數：5-20人

3. 體驗製作黑島豆腐

黑島豆腐是用海水代替鹽滷製作的獨特豆腐。

所需時間：約4小時

費用：3千日圓/人

人數：2-10人

※如欲參加上述1、2、3項活動，最晚需於預定日期的七天前電洽黑島觀光協會，或是填

寫官網<https://kuroshimakanko.com/>的聯絡表單。集合及解散地點均為黑島迎賓屋。

※如欲了解詳情，請登入官網<https://kuroshimakanko.com/>查看。關於島嶼的餐飲、住宿，歡迎隨時洽詢。

黑島體驗導覽的洽詢方式

黑島觀光協會（TEL:0956-56-2311）

佐世保觀光資訊中心（JR 佐世保站內）

<日本語仮訳>

(C) 黒島大ガイド／裏ページ／体験

黒島体験ガイド

1. ガイドと行く島歩き

黒島の名所を島のガイドさんと一緒に徒歩で巡ります。

1 日コース

黒島港→黒島神社→かっぱ塚→興禅寺→蕨展望所→黒島天主堂→カトリック共同墓地→黒島港（昼食等の休憩を含み約 3 時間 30 分）

半日コース

黒島港→黒島神社→黒島天主堂→黒島港（約 1 時間 20 分）

2. ふくれ饅頭作り

餡子を詰めたふくれ饅頭は黒島で愛される伝統料理です。島の女性から作り方を学びましょう。

所要時間:約 3 時間

料金:2 千円/人

定員:5~20 人

3. 黒島豆腐作り

黒島豆腐は、にがりの代わりに海水を使用して作る独特の豆腐です

所要時間:約 4 時間

料金:3 千円/人

定員:2~10 人

※1、2、3 とも、希望日の 7 日前までに、黒島観光協会に電話かウェブサイト <https://kuroshimakanko.com/> のお問い合わせフォームで申し込んでください。集合・解散はいずれも黒島ウェルカムハウスとなります。

※詳しい内容は、ウェブサイト <https://kuroshimakanko.com/> をご覧ください。島の食事や宿泊などについてもお気軽にお問い合わせください。

黒島体験ガイドのお問い合わせ

黒島観光協会（TEL:0956-56-2311）

佐世保観光情報センター（JR 佐世保駅構内）

<简体字>

Oratio 故事：日本的基督教历史

日本的基督教发展分为三个阶段——传入与繁荣、禁教与潜伏、解禁与复兴。在长达四个世纪的岁月中，这些信徒究竟是采取何种方式度过的呢？以下这些故事，述说了他们的人生与信仰。

Oratio 故事（1）

基督教传入与繁荣

基督教构筑起日本与欧洲交流的桥樑

15 世纪中叶，葡萄牙开始在全球扩张势力。15 世纪末，其为了寻求新的贸易据点而将触角伸向亚洲，步入 16 世纪中叶，更将范围扩展至东南亚。

耶稣会（经罗马教宗保禄三世认可后，于 1540 年创立）奉葡萄牙国王之命，派遣传教士前往印度。其任务是以耶稣会的据点果阿邦（印度的一邦）为中心，展开传教活动。其中一名传教士圣方济各·沙勿略在另一处葡萄牙贸易据点马六甲，偶遇了一位日本人。沙勿略与其交谈之后，决定赴日本传教，并于 1549 年登陆鹿儿岛。自此，日本同欧洲便开始以基督教为中心展开交流。

（插图：庄司好孝）

<繁体字>

Oratio故事：日本的基督教歷史

日本的基督教發展分為三個階段——傳入與流行、禁教與潛伏、解禁與復興。在長達四個世紀的時光裡，這些信徒究竟是以何種方式度過的呢？以下這些故事，述說了他們的人生及信仰。

Oratio故事（1）

基督教傳入與流行

基督教構築起日本與歐洲交流的橋樑

15世紀中期，葡萄牙開始在全球擴張勢力。15世紀末，他們為了尋求新的貿易據點而將觸角伸向亞洲，進入16世紀中葉，更將範圍擴展至東南亞。

耶穌會（經羅馬教宗保祿三世認可後，於1540年創立）奉葡萄牙國王之命，派遣傳教士前往印度。其任務是以耶穌會的據點果阿邦（印度的一邦）為中心，進行傳教活動。而其中一名傳教士聖方濟各·沙勿略在另一處葡萄牙貿易據點馬六甲，偶然遇見了一名日本人。沙勿略與這名日本人對談後，決定前往日本傳教，並於1549年登陸鹿兒島。自此，日本與歐洲便開始以基督教為中心進行交流。

（插圖：庄司好孝）

<日本語仮訳>

おらしょ物語：日本におけるキリスト教の歴史

日本におけるキリスト教は、伝来と繁栄、禁教と潜伏、解禁と復興という 3 つの時代を歩んできました。4 世紀にわたるその歴史のなかで、信徒たちはそれぞれの時代をどのように生きてきたのでしょうか。これは、彼らと彼らの信仰の物語です。

おらしょ物語（1）

キリスト教の伝来と繁栄

キリスト教を通じて日本とヨーロッパの交流が始まる

15 世紀中頃、ポルトガルは世界に勢力を拡大し始め、15 世紀の終わりまでには新たな貿易の拠点を求めてアジアに進出し、16 世紀半ばに東南アジアに到達しました。

イエズス会（ローマ教皇パウロ 3 世の承認をうけて 1540 年に創立）は、ポルトガル国王の要請を受けて宣教師をインドに派遣します。宣教師らの任務は、イエズス会のゴアの拠点を中心に布教活動を開始することでした。イエズス会の宣教師の一人であったフランシスコ・ザビエルは、別のポルトガルの貿易拠点マラッカでひとりの日本人と偶然出会います。ザビエルは、その日本人との会話をもとに日本での布教を決意し、1549 年、鹿児島に上陸しました。これがキリスト教を中心とした日本とヨーロッパの交流の始まりだったのです。

（挿画：庄司好孝）

<简体字>

基督教于平户、长崎、有马广泛传播

圣方济各·沙勿略登陆鹿儿岛后前往京城（现京都），沿途于平户及山口传教，并赢得了众多信徒的追随。之后，其他传教士也陆续赴日，推广基督教。

1550年，葡萄牙船只停靠平户，日本及葡萄牙以此为契机，开始进行“南蛮贸易”。在葡萄牙对东亚地区开展的贸易中，日本的门户设在长崎。随着大量葡萄牙船舶入港，耶稣会传教士也随船上的货物一同陆续抵达日本。基督教就此经由平户、长崎、有马等贸易港口传播至其他地区。

面对与东方迥然相异的西洋文化，当时的居民兴趣浓厚，且在学习基督教教理的过程中，更加深了对宗教的理解。

（插图：庄司好孝）

<繁体字>

基督教於平戶、長崎、有馬廣泛传播

聖方濟各·沙勿略登陸鹿兒島後，隨即前往京城（現在的京都），途中於平戶及山口傳教，贏得眾多信徒的追隨。隨著日後其他傳教士的陸續赴日，使基督教更為普及。

1550年，葡萄牙船隻停靠平戶，日本和葡萄牙藉此契機，啟動所謂的「南蠻貿易」。在葡萄牙對東亞地區開展的貿易中，長崎堪稱「日本的門戶」。隨著眾多葡萄牙船舶入港，耶穌會傳教士也跟隨船上的貨物一同陸續抵達日本。至此基督教經平戶、長崎、有馬等貿易港口擴展至其他地區。

面對與東方截然不同的西洋文化，當時的居民表現得興致盎然，透過學習基督教教理，也使他們對宗教的理解更加深入。

（插圖：庄司好孝）

<日本語仮訳>

平戸、長崎、有馬にキリスト教が広まる

フランシスコ・ザビエルは、上陸した鹿児島から京（現在の京都）に向かいます。その途中、平戸や山口で布教を行い、多くの信徒を獲得しました。その後、ザビエルに続いて宣教師が次々と日本を訪れ、キリスト教を広めていきました。

1550年、ポルトガル船が平戸に来航したのをきっかけに、南蛮貿易とも呼ばれる日本・ポルトガル間の貿易が始まりました。長崎地方は日本における東アジア貿易の玄関口だったため、数多くのポルトガル船が入港するようになり、積み荷とともにイエズス会の宣教師たちが次々に来日しました。こうしてキリスト教は平戸、長崎、有馬のような貿易港から他の地域に広まっていったのです。

人々は東洋とはまったく異なる西洋文化に強い興味を抱き、キリスト教の教理を学ぶうちに、彼らの宗教についての理解を深めていきました。

（挿画：庄司好孝）

<简体字>

有马——繁荣发展的传教之地

当时的日本被划分为众多领地，由各地领主“大名”负责统治。在九州地区，为了从贸易中获利而接纳传教士的大名不在少数，其中不乏大名成为虔诚基督徒的事例。改信基督教且支援传教士传教的大名称之为“吉利支丹大名”。九州最知名的吉利支丹大名有四人，分别为大村纯忠、有马晴信、大友宗麟、小西行长。

亚历山德罗·范礼纳诺神父是负责视察亚洲传教活动的耶稣会视察员，他于 1579 年首度赴日，遇见了长崎地区的大名有马晴信。范礼纳诺随后在有马家的居城“日野江城”为有马晴信进行洗礼。1587 年，丰臣秀吉颁布《伴天连追放令》（限制基督教传播的相关禁令），但有马晴信仍积极接纳传教士，使有马地区成为繁荣的基督教传教据点。

当时许多吉利支丹大名领地的居民皆仿效领主，一同改信基督教，长崎地区的教堂如雨后春笋般拔地而起。有马、长崎、浦上、天草等地纷纷开设神学校及神学院，欧洲的绘画、音乐、印刷技术等文化亦随之盛行。

（插图：庄司好孝）

<繁体字>

有馬，基督教的一大傳教據點

當時的日本劃分為眾多領地，由各地領主「大名」負責管轄。在九州地區，為了貿易利益而接納傳教士的大名不在少數，其中亦有大名因此成為虔誠的基督徒。改信基督教且支援傳教士傳教的大名被稱為「吉利支丹大名」。九州最知名的吉利支丹大名有四人，分別為大村純忠、有馬晴信、大友宗麟、小西行長。

亞歷山德羅·范禮納諾神父是負責視察亞洲傳教活動的耶穌會視察員，其於1579年首度赴日時，與長崎地區的大名有馬晴信相遇。范禮納諾隨後在有馬家的居城「日野江城」為有馬晴信進行洗禮。即使豐臣秀吉於1587年實施《伴天連追放令》之後，有馬晴信仍積極接納傳教士，令有馬地區成為一大基督教傳教據點。

當時許多吉利支丹大名領地的居民皆仿效領主，一同改信基督教，長崎地區也因此興建了不少教堂。有馬、長崎、浦上、天草等地紛紛開設神學校及神學院，歐洲的繪畫、音樂、印刷技術等文化亦隨之盛行。

(插圖：庄司好孝)

<日本語仮訳>

有馬がキリスト教宣教の拠点として栄える

当時、日本は大名と呼ばれる領主が治めるたくさんの領地に分かれていました。九州地方の多くの大名は貿易の利益を求めて宣教師を受け入れ、中にはキリスト教の敬虔な信者となった大名もいました。キリスト教に改宗し、宣教師たちの布教活動を支援した大名は「キリシタン大名」と呼ばれます。九州のキリシタン大名で最もよく知られているのは、大村純忠、有馬晴信、大友宗麟、小西行長の四人です。

アジアでの布教活動を監督するイエズス会の巡察師だったアレックスandro・ヴァリニャーノ神父は、1579年に初めて来日した際、有馬晴信という長崎地方の大名と出会います。ヴァリニャーノは晴信に有馬氏の居城である日野江城で洗礼を授けました。有馬晴信は、1587年に豊臣秀吉が「伴天連追放令」を出した後でさえも積極的に宣教師を受け入れ、有馬地方はキリスト教宣教の拠点として栄えました。

キリシタン大名の領地では領主にならって多くの領民が改宗し、長崎地方には多くの教会堂が建てられました。有馬や長崎、浦上、天草にはセミナリオやコレジオが開かれ、絵画や音楽、印刷技術などのヨーロッパ文化が広まっていったのです。

(挿画：庄司好孝)

<簡体字>

四名天正遣欧使节晋见罗马教宗

耶稣会视察员亚历山德罗·范礼纳诺提议向欧洲派遣日本使节。1582年，四名曾在有马神学校学习的少年以“天正遣欧使节”的身份自长崎出发，途经澳门、果阿邦、好望角，最终抵达里斯本。随后，他们晋见了西班牙国王腓力二世，以及额我略十三世、西斯笃五世两名罗马教宗。

1571年后，靠港的葡萄牙船舶带来商机，长崎因而成为贸易据点，许多欧洲商人及传教士也纷纷定居于此。1580年，耶稣会收下吉利支丹大名大村纯忠捐赠的大礼——长崎，并统治其长达七年之久。在此期间，长崎市中心新建起超过十座教堂。

(插图：庄司好孝)

<繁体字>

四名天正遣歐使節晉見羅馬教宗

耶穌會視察員亞歷山德羅·范禮納諾提議派遣日本使節赴歐。四名曾在有馬神學校學習的少年，於1582年以「天正遣歐使節」的身份從長崎出發，途經澳門、果阿邦、好望角，最後抵達里斯本。日後，他們晉見了西班牙國王腓力二世，以及額我略十三世、西斯篤五世兩名羅馬教宗。

1571年後，葡萄牙船舶入港帶來商機，長崎因而成為貿易據點，許多歐洲商人及傳教士也相繼定居於此。1580年，吉利支丹大名大村純忠將長崎捐贈給耶穌會，其後長崎接受耶穌會統治長達七年時光。這一期間，教會在長崎市中心興建了超過十座教堂。

(插圖：庄司好孝)

<日本語仮訳>

四人の天正遣欧使節がローマ教皇に謁見する

イエズス会の巡察師アレッサンドロ・ヴァリニャーノが日本からヨーロッパに使節を送ることを発案し、1582年に有馬のセミナリオで学んでいた四人の少年たちからなる天正遣欧使節が長崎を出発します。マカオ、ゴア、喜望峰を経由した後、使節はついにリスボンに到着し、スペイン国王フィリップ 2 世および二人のローマ教皇、グレゴリウス 13 世とシクストゥス 5 世に謁見しました。

1571 年以降、ポルトガル船の入港がもたらした貿易の機会によって通商の拠点となっていた長崎には、多くのヨーロッパの商人や宣教師たちが在住していました。1580 年、キリシタン大名大村純忠は長崎をイエズス会に寄進し、イエズス会はその後 7 年間長崎を統治しました。この間、長崎の町を中心に 10 を超える教会堂が建設されました。

(挿画：庄司好孝)

<简体字>

成立组织传播新信仰

当时传教士吸收信徒的方式，是先向当地大名宣讲教义，劝其改宗，进而借助大名之力，令其家臣及领地居民一同改信基督教。若是大名不愿改宗，传教士便会献上从欧洲带来的各式礼品，以此获取在其领地内传教的许可。

在九州、山口、畿内（京城附近诸国）地区传教的传教士们，从其活动的村落及城镇中选出数名颇具威望者，充当信仰指导者。如此一来便可形成组织，使当地民众在缺乏传教士的情形下，仍可凭一己之力坚守信仰。这一地域性组织称为“慈悲组”。纵然 1587 年丰臣秀吉下令驱逐基督教神父，“慈悲组”却依然继续存留。此外在有马、大村、天草地区，为了维持及强化信仰，名为“信心会”的组织也应运而生。

基于积极的传教成效，范礼纳诺将日本耶稣会从印度果阿邦的传教区中分离而出，定为准教省，并划分为三个教区：“下（现有马与长崎）”、“丰后（现别府与大分）”以及“都（现京都）”。根据这一制度，耶稣会除了推进传教活动外，还会根据日本的政治与社会形势，于每年制作详细报告，上呈罗马耶稣会本部。

（插图：庄司好孝）

<繁体字>

成立組織傳播新信仰

當時傳教士吸收信徒的方式，是先說服當地大名改宗，進而借助大名的力量，令其家臣及領地居民也一同改信基督教。若是大名不願改宗，傳教士便會獻上從歐洲帶來的各種禮品，以此獲准在其領地內傳教。

於九州、山口、畿內（京城附近諸國）地區傳教的傳教士，從其活動的聚落及城市中選出數名頗具權勢者，作為信仰指導者。如此一來即可成立組織，讓當地居民在沒有傳教士的情況下，仍可自力維持信仰。該地區性組織名為「慈悲組」，縱然1587年豐臣秀吉下令驅逐基督教神父，「慈悲組」卻仍得以繼續存在。此外在有馬、大村、天草地區，亦出現了維持及強化信仰的組織「信心會（Confraria）」。

基於積極傳教的成果，范禮納諾將日本耶穌會從印度果阿邦的傳教區中獨立出來，定為準教省，並劃分成三個教區：「下（現在的有馬與長崎）」、「豐後（現在的別府與大分）」以及「都（現在的京都）」。

由於此制度的實施，耶穌會除了推進傳教活動外，亦會統整日本的政治與社會情勢，於每年製作詳細報告，上呈羅馬耶穌會總部。

（插圖：庄司好孝）

<日本語仮訳>

新たな信仰を広めるための組織づくり

宣教師たちは信徒を獲得するため、まずその地の大名に教えを説いて改宗させたのち、彼らを介してその家臣と領民を集団で改宗させるという方法をとりました。大名が改宗に応じない場合は、ヨーロッパから持ってきた品々を贈ることによって領内での宣教の許可を得ていました。

九州、山口、畿内（京に近い国々）地方で布教していた宣教師たちは、説教を行った村や町の有力者のなかから数名の信仰指導者を選びました。そうすることにより、宣教師がいなくても自分たちの力で信仰を続けていくことが可能な組織がつくることができました。この地域組織は慈悲の組と呼ばれ、1587年に豊臣秀吉がキリスト教の神父の追放を発令したあとも存続しました。さらに有馬、大村、天草の地域には、信仰の維持や強化のためにコンフリリア（信心会）と呼ばれる組織もつくられました。

このような積極的な活動の成果をふまえ、ヴァリニャーノは日本イエズス会をゴアの布教区から独立させて、「下（現在の有馬と長崎）」、「豊後（現在の別府と大分）」、「都（現在の京都）」の三教区に分かれた準管区としました。この制度によって、イエズス会は日本のキリスト教布教の進展だけでなく、日本の政治や社会についても詳しい報告書をまとめて毎年ローマのイエズス会本部に送ることができました。

（挿画：庄司好孝）

<简体字>

禁教令发布，岛原-天草起义爆发

1587年，拥有实权的日本统治者丰臣秀吉下达驱逐基督教神父、限制基督教传教的命令，同时将大村纯忠于1580年捐赠给耶稣会的长崎没收，改为其直辖领地。1597年，包括六名外国修道士在内，共计26名信徒在长崎西坂被处决，即日后广为人知的“日本二十六圣人”。不过为了维持与欧洲的通商往来，丰臣秀吉并未彻底禁止基督教，传教士也因此得以继续传教。

1598年，丰臣秀吉逝世，随后基督教徒开始渐增。其继任者、开设江户幕府的德川家康，起初为了贸易而允许基督教留存。据推测，日本基督教徒于全盛期甚至超过30万人。

然而1614年，德川家康确立江户幕府的封建体制之际，颁布了基督教的禁教令。传教士被驱逐至澳门、马尼拉等地，教堂也遭到破坏。迫于严苛的镇压政策，许多信徒纷纷弃教。不过，即便传教士离开日本之后，仍有一群人在暗中坚守信仰。

这样的境况已足够严峻，加之大名的苛政及连年饥荒，令岛原与天草的人们再也不堪忍受。1637年，当地民众发动起义（史称“岛原-天草起义”）。起义军最后的战场位于原城，面对12万幕府大军，两万余名起义军殊死抗争，最终却被幕府军尽数歼灭，原城也彻底毁于战火。原城遗址曾出土大量吉利支丹起义军携带的勳章及十字架等物。幕府原本便将吉利支丹等同于逆贼对待，岛原-天草起义后，打压政策相较过去更为苛刻，日本基督教就此跌入更为黑暗的时代。

（插图：庄司好孝）

<繁體字>

禁教令發布，島原-天草起義爆發

1587年，日本的實際領導者豐臣秀吉驅逐基督教神父，並發布限制基督教傳教的命令，同時將大村純忠於1580年捐贈給耶穌會的長崎沒收，改為其直轄領地。1597年，包含六名外國修士在內，共26名信徒在長崎西坂被處死，他們即是日後廣為人知的「日本二十六聖人」。不過為了維持與歐洲的貿易往來，豐臣秀吉並未徹底禁止基督教，傳教士也因此得以繼續傳教。

豐臣秀吉於1598年逝世後，基督教徒開始增加。身為豐臣秀吉後繼者的德川家康建立了江戶幕府，他最初亦為了貿易而允許基督教存在。據推測，日本基督教徒於全盛期甚至超過30萬人之多。

然而到了1614年，德川家康確立了江戶幕府的封建體制，並發布基督教的禁教令。傳教士被驅逐至澳門、馬尼拉等地，教堂也遭到破壞。迫於嚴苛的打壓政策，許多信徒更是紛紛棄教。不過，即便傳教士離開日本之後，仍有一群人在暗中堅守信仰。

這樣的境況已相當嚴酷，加之有名的苛政及饑荒，令島原與天草的人們再也無法忍受。他們於1637年起義（史稱「島原-天草起義」）。起義軍最後的戰場位於原城，面對12萬幕府大軍，兩萬余名起義軍殊死抵抗，但最終被幕府軍盡數殲滅，原城也徹底毀於戰火。原城遺址曾出土大量吉利支丹起義軍攜帶的勳章及十字架等物。幕府原本便將吉利支丹與逆賊劃上等號，島原-天草起義後，打壓政策也比以往更加嚴厲，日本基督教就此進入更加黑暗的時代。

（插圖：庄司好孝）

<日本語仮訳>

禁教令の発布と島原・天草一揆の勃発

1587年、事実上の日本の支配者だった豊臣秀吉は、キリスト教の神父を追放しキリスト教の布教を制限する命令を発布すると同時に、大村純忠が1580年にイエズス会に寄進した長崎を没収して直轄地としました。そして1597年、長崎の西坂で外国人修道士6人を含む信徒26人を処刑します。この時殺された人々は現在「日本二十六聖人」として知られています。しかし、秀吉のヨーロッパとの貿易を継続したいという思いからこの禁教は徹底されることがなく、その後も宣教師による布教活動は続けられました。

1598年に秀吉が死んだ後、キリスト教の信徒数は増加し始めます。秀吉の後継者であり江戸幕府を開いた徳川家康も、当初は貿易を継続するためにキリスト教を容認していました。日本全体で最盛期には30万人を超えるキリスト教信徒がいたとされています。

しかし、1614年、家康は江戸幕府の封建体制を確立に際してキリスト教の禁教令を発布します。宣教師はマカオやマニラへ追放され、教会は破壊された上、厳しい弾圧によって多くの信徒が棄教しました。しかし、宣教師が日本を去った後も密かに信仰を続けた人々もいました。

このような状況の中、1637年、大名の苛政と飢きをきっかけに、島原と天草の人々が島原・天草一揆を起こします。一揆の最後の戦場となった原城では、2万人以上の一揆軍勢が兵力12万の幕府軍の攻撃に対抗しますが、最終的に幕府軍は一揆軍を全滅させ、原城を徹底的に破壊しました。原城跡からは、一揆勢のキリシタンたちが所持していたメダイや十字架などが数多く出土しています。この蜂起を当初からキリシタン一揆と位置づけていた幕府は、その後弾圧をいっそう強化し、日本におけるキリスト教はさらに厳しい時代を迎えることとなったのです。

(挿画：庄司好孝)

<简体字>

即使被迫改信佛教，仍有多数潜伏吉利支丹维持信仰

岛原-天草起义使幕府大为震惊。1639 年，幕府全面禁止葡萄牙船舶停靠日本，并实施锁国政策。平户的荷兰商馆也被迁至长崎的人工岛“出岛”，不过由于与天主教对立，荷兰的新教徒随即取代葡萄牙人，成为日本的新贸易对象。

1617 年至 1644 年期间，共有 75 名传教士及超过 1000 名日本吉利支丹被处决。幕府的镇压日益严苛，甚至要求人们“踏绘”，即践踏神圣画像及勋章等基督教圣器，借此肃清吉利支丹。除此之外，信徒亦被强迫改信佛教，并记录在“宗门改帐”（宗教调查簿）之中，由寺院管理。即使如此，仍有许多基督徒秘密坚守基督教信仰。

在严峻的禁教环境下，1642 年及 1643 年秘密潜入日本的 10 名传教士被捕。1644 年，随着滞留于日本的最后一名传教士小西曼西奥殉教，由沙勿略开启的传教士与日本人交流活动就此中断。然而，在潜伏吉利支丹的秘密传承下，沙勿略点燃的宗教之火未曾熄灭，欧洲的影响力也持续遗留于此。

（插图：庄司好孝）

年表

- 1543 葡萄牙将火绳枪传入日本。日本与欧洲文化首次交流
- 1549 圣方济各·沙勿略于鹿儿岛登陆
- 1550 首艘葡萄牙船入港平户，开启“南蛮贸易”。基督教传入长崎
- 1563 大村纯忠于横濑浦接受洗礼
- 1571 长崎开港
- 1579 亚历山德罗·范礼纳诺赴日
- 1580 长崎成为耶稣会领地
- 1580 有马晴信于日野江城接受洗礼
- 1580 有马地区兴建神学校
- 1582 天正遣欧使节从长崎出发
- 1584 天正遣欧使节晋见西班牙国王
- 1584 有马晴信捐赠浦上村给耶稣会
- 1585 天正遣欧使节晋见两名罗马教宗

- 1587 《伴天连追放令》颁布
- 1597 包含六名外国修道士在内，共 26 名信徒殉教
- 1603 江户幕府建立
- 1614 江户幕府颁布基督教禁教令
- 1637 岛原-天草起义爆发
- 1644 最后的传教士殉教。日本国内自此无神父

<繁体字>

縱然被迫改信佛教，仍有多數潛伏吉利支丹維持信仰

島原-天草起義震驚了幕府，遂於1639年全面禁止葡萄牙船隻停靠日本，並實施鎖國策略。平戶的荷蘭商館也被遷至長崎的人工島「出島」，不過由於與天主教對立，荷蘭的新教徒隨即取代了葡萄牙人，成為日本的新貿易夥伴。

1617年至1644年期間，共有75名傳教士與超過1000名日本吉利支丹被處死。幕府的打壓日益嚴苛，甚至要求人們踐踏聖畫及勳章等聖器（此一儀式稱為「踏繪」），藉以清查吉利支丹。除此之外，信徒亦被強迫改信佛教，記錄在「宗門改帳（宗教調查簿）」之中，由寺院管理。即便如此，仍有許多基督徒秘密堅守基督教信仰。

在嚴峻的禁教環境中，1642年及1643年秘密入國的10名傳教士遭捕。隨著留在日本的最後一名傳教士小西曼西奧於1644年殉教，由沙勿略起頭的傳教士與日本人交流活動就此告終。然而透過秘密傳承信仰的潛伏吉利支丹，沙勿略傳入的宗教之火並未熄滅，相反歐洲的影響力卻持續遺留於此。

（插圖：庄司好孝）

年表

- 1543 葡萄牙將火繩槍傳入日本。日本與歐洲文化首次交流
- 1549 聖方濟各·沙勿略登陸鹿兒島
- 1550 首艘葡萄牙船入港平戶，為「南蠻貿易」之始。基督教傳入長崎
- 1563 大村純忠於橫瀨浦受洗
- 1571 長崎開港
- 1579 亞歷山德羅·范禮納諾赴日
- 1580 長崎成為耶穌會領地
- 1580 有馬晴信於日野江城受洗
- 1580 有馬地區興建神學校
- 1582 天正遣歐使節從長崎出發
- 1584 天正遣歐使節晉見西班牙國王
- 1584 有馬晴信捐贈浦上村給耶穌會
- 1585 天正遣歐使節晉見兩名羅馬教宗

- 1587 《伴天連追放令》發布
- 1597 包含六名外國修士在內，共 26 名信徒殉教
- 1603 江戶幕府成立
- 1614 江戶幕府發布基督教禁教令
- 1637 島原-天草起義爆發
- 1644 最後的傳教士殉教。日本國內從此無神父

<日本語仮訳>

仏教への改宗を強要されても多くの潜伏キリシタンは信仰を維持する

島原・天草一揆は幕府に衝撃を与えました。1639年、幕府はポルトガル船の日本への来航を完全に禁止し、鎖国政策に乗り出します。平戸にあったオランダ商館は長崎の出島という人工の島に移されたものの、カトリックと対立していたプロテスタントのオランダ人が、ポルトガル人に代わって日本の貿易相手となりました。

1617年から1644年までに75人の宣教師と1,000人以上の日本人キリシタンが処刑されました。弾圧は一段と厳しくなり、幕府は聖画像やメダイなどの信心具を踏ませて（この習慣は絵踏と呼ばれる）キリシタンの摘発に努めました。さらに、信徒を仏教へ改宗させて宗門改帳に記載するなど寺院の管理下に置きました。それでもなお、多くの信徒がひそかにキリスト教の信仰を守り通したのです。

厳しい禁教下、1642年と1643年には日本に密入国した10人の宣教師が捕らわれます。日本に残された最後の宣教師とされる小西マンショが1644年に殉教し、ザビエルに始まった宣教師と日本人の交流によるキリスト教宣教はついに途絶えてしまいました。しかし、潜伏キリシタンのひそかな信仰の継承によって、ザビエルが灯した明かりは決して消えることはなく、ヨーロッパの影響は残され続けたのです。

（挿画：庄司好孝）

年表

- 1543** ポルトガルより鉄砲伝来。日本とヨーロッパの文化が初めて接触
- 1549** フランシスコ・ザビエル鹿児島に上陸
- 1550** 平戸に最初のポルトガル船来航し、南蛮貿易が始まる。長崎地方にキリスト教伝来
- 1563** 大村純忠が横瀬浦で洗礼を受ける
- 1571** 長崎開港
- 1579** アレッサンドロ・ヴァリニャーノ来日
- 1580** 長崎がイエズス会領となる
- 1580** 有馬晴信が日野江城にて洗礼を受ける
- 1580** 有馬にセミナリヨ開設
- 1582** 天正遣欧使節、長崎出発
- 1584** 天正遣欧使節がスペイン国王に謁見
- 1584** 有馬晴信が浦上村をイエズス会に寄進
- 1585** 天正遣欧使節が2人のローマ教皇に謁見
- 1587** 伴天連追放令発布
- 1597** 外国人修道士6名を含む信徒26名が殉教

- 1603** 江戸幕府が開かれる
- 1614** 江戸幕府によるキリスト教禁教令発布
- 1637** 島原・天草一揆勃発
- 1644** 最後の宣教師が殉教。日本国内に神父が不在となる

<简体字>

禁教与秘密传承信仰

传统与地区社会的习惯孕育出日本特有的信仰形态

尽管遭受严厉镇压，直至 17 世纪中叶，潜伏吉利支丹依然存在于日本各地。然而，到了 17 世纪 50 年代与 60 年代，幕府于郡（长崎）、丰后（大分）、浓尾（岐阜、爱知）实施了一系列清查与处决吉利支丹的行动，使大部分潜伏吉利支丹仅残存于长崎地区。

在指导者的引领下，潜伏吉利支丹按照教会日历的吉凶日进行洗礼及送葬等活动。由于没有教堂，他们只能秘密聚集于指导者“帐方”及“水方”的家中进行祷告及仪式，并对祖先的殉教地及墓地进行朝拜。

在信徒日复一日的守护下，这一信仰逐渐受到日本传统的影响。譬如 16 世纪传入的拉丁语及葡萄牙语的祈祷词（Oratio）发音受到信徒口音的影响；在世代传承中，部分祈祷文及仪式也受到民间信仰的影响而发生变化。

（插图：庄司好孝）

<繁体字>

禁教與秘密傳承信仰

傳統與地區社會的習慣發展出日本特有的信仰型態

儘管遭受嚴厲打壓，直至17世紀中期，潛伏吉利支丹仍存在於日本全國各地。然而到了1650年代與60年代，幕府於郡（長崎）、豐後（大分）、濃尾（岐阜、愛知）實行了一連串清查與處死吉利支丹的行動，使大部分潛伏吉利支丹僅殘存於長崎地區。

在指導者的引領下，潛伏吉利支丹依據教會曆的宜忌日進行洗禮及送葬等活動。由於沒有教堂，他們只能秘密聚集於指導者「帳方」及「水方」的家中進行禱告及儀式，並對祖先的殉教地及墓地進行朝拜。

在信徒的默默守護下，此一信仰也逐漸受到日本傳統文化影響。如16世紀傳入的拉丁語及葡萄牙語的祈禱詞（Oratio）發音便受到信徒的口音影響；在世代傳承中，部分祈禱文及儀式也受民間信仰陶染而產生變化。

（插圖：庄司好孝）

<日本語仮訳>

禁教と密かな信仰の継承

伝統と地域社会の慣習から生まれた日本特有の信仰の形

厳しい弾圧にも関わらず、潜伏キリシタンは 17 世紀中頃まで全国各地に存在していました。しかし、1650 年代と 60 年代の郡（長崎）、豊後（大分）、濃尾（岐阜・愛知）で実施された一連のキリシタンの摘発と処刑により、潜伏キリシタンは主として長崎地方にのこるのみとなりました。

潜伏キリシタンは指導者の下で教会歴の祝い日や忌み日に従って洗礼や葬送などの儀礼を行っていました。教会堂を持たなかった彼らはひそかに「帳方」や「水方」などと呼ばれる指導者の家に集まって祈りや儀式を行い、先祖の殉教地や墓地を崇拝しました。

この信仰は、守り続けられている間に次第に日本の伝統の影響を受けるようになります。16 世紀に伝わったラテン語とポルトガル語の祈りの言葉（オラショ）は発音がなまり、一部の祈りの言葉や儀式は代々受け継がれる間に民間信仰の影響を受けて変化していきました。

（挿画：庄司好孝）

<简体字>

潜伏吉利支丹村落在五岛列岛形成

一位名叫巴斯蒂安的日本传教士作出的预言，自 17 世纪 30 年代起传遍长崎外海地区。预言中提到，“七代后神父降临，信仰公开之日终将到来”。除此之外，当时信徒亦将神父不在时的告解指南，以及关于旧约圣经的教理书《天地始之事》的内容口耳相传。这些传统反映出基督教与日本文化间发展出的共生关系，更述说了信仰世代传承的轨迹。

18 世纪末，大村藩外海地区的农民们应五岛藩的要求，移居五岛列岛。由于移民中存在大量潜伏吉利支丹，因此《天地始之事》也随之传入五岛列岛。携家带口的移居者，纷纷在狭窄的山坡开垦荒地，五岛各地的潜伏吉利支丹村落逐渐形成。

在基督教传入初期，因信徒曾接受过传教士的详细指导，故长崎地区的潜伏吉利支丹具备以组织性方式传承信仰的成熟条件。

(插图：庄司好孝)

年表

1797 居民开始从外海地区移居离岛

<繁体字>

五島列島發展出潛伏吉利支丹聚落

一位名叫巴斯蒂安的日本傳教士作出的預言，於1630年代起傳遍長崎外海地區。預言中提到「七代後神父將至，人們能公開信仰的日子終將到來」。除此之外，當時信徒亦將神父不在時的告解指南，以及關於舊約聖經的教理書《天地始之事》的內容口耳相傳。這些傳統反映出基督教與日本文化間發展出的共生關係，更述說了信仰世代傳承的軌跡。

18世紀末，大村藩外海地區的農民遵從五島藩的要求，移居五島列島。由於不乏潛伏吉利支丹，《天地始之事》也隨之傳入五島列島。攜同全家一併移居者，紛紛開墾狹隘山巒的斜坡，於五島各地發展出潛伏吉利支丹的聚落。

由於傳教士在基督教傳入初期曾詳細指導信徒，長崎地區的潛伏吉利支丹具備以組織性方式傳承信仰的成熟條件。

(插圖：庄司好孝)

年表

1797 居民開始從外海地區移居離島

<日本語仮訳>

五島列島に潜伏キリシタンの集落が形成される

1630年代から、バスチャンという日本人伝道士の予言が長崎の外海地方全域に伝わっていました。予言の中には「7代たてば神父が現れ、信仰を公にする日が来る」というものがありました。他にも、神父がいない場合の告解の手引書や旧約聖書についての教理書「天地始之事」の内容が口伝で受け継がれていました。このような伝統は、キリスト教と日本文化の間で発展した共生関係、そして信仰がどのようにして代々受け継がれたかを物語っています。

18世紀の終わりごろ、大村藩の外海地方の農民たちは五島藩の要請により五島列島へ移住しました。その多くは潜伏キリシタンだったため、この移住により「天地始之事」も五島列島へと伝わりました。家族単位で移住した人々は、狭隘な山の斜面を開墾し、五島各地に潜伏キリシタンの集落を形成していきました。

キリスト教の伝来初期に宣教師に詳細な指導を受けたことにより、長崎地方の潜伏キリシタンには組織的に信仰を継承する条件が整っていたのです。

(挿画：庄司好孝)

年表

1797 外海地方から離島への移住が始まる

<简体字>

打开国门与“信徒发现”

基督教解禁与复兴

乘开国之机，传播天主教，兴建新教堂

历经法国大革命和拿破仑战争造成的动荡及脱离宗教等形势，天主教在法国复兴的浪潮也日益高涨。1838年，当时已在越南及中国活动的巴黎外方传教会受罗马教廷委托，前往日本重新传教。1844年，传教士暂居于日本附近的琉球诸岛（现冲绳），等待进入日本的时机。

进入19世纪后，工业革命促使西方列强向海外扩张。1854年，在美国的施压下，日本放弃锁国政策。1858年，日本与西方各国签订通商条约，并于1859年开放函馆、神奈川以及长崎的港口。

1859年，巴黎外方传教会的普鲁登丝·吉拉尔神父赴日，担任法国大使的口译工作。1863年，路易·菲雷神父从横滨前往长崎，六个月后，贝尔纳·珀蒂让神父相继抵达。伴随着日本国门的开放，罗马教宗庇护十世将1597年在长崎被处死的26名殉教者列为圣人。之后长崎传教活动再度开启，新教堂的建设计划也随即展开。

（插图：庄司好孝）

<繁体字>

開國與「信徒發現」

基督教解禁與復甦

乘開國之機，傳播天主教，興建新教堂

經歷了法國大革命和拿破崙戰爭造成的動盪以及脫離宗教的潮流，天主教在法國復甦的聲浪也逐漸高漲。1838年，當時已在越南及中國活動的巴黎外方傳教會受命羅馬教廷，前往日本再傳教。1844年，傳教士停泊於日本附近的琉球諸島（現今的沖繩），等待進入日本的時機。

進入19世紀後，工業革命促使西方列強向外擴張。1854年，在美國的施壓下，日本放棄鎖國政策。1858年，日本與西方各國簽訂通商條約，並於1859年相繼開放函館、神奈川以及長崎的港口。

1859年，巴黎外方傳教會的普魯登絲·吉拉爾神父赴日，擔任法國大使的口譯工作。1863年，路易·菲雷神父從橫濱前往長崎，六個月後，貝爾納·珀蒂讓神父相繼抵達。伴隨著日本的國門開放，羅馬教宗庇護十世將1597年在長崎被處死的26名殉教者尊為聖人。隨著長崎傳教活動的重啟，新教堂的建設計畫也得以逐一跟進。

（插圖：庄司好孝）

<日本語仮訳>

開国と「信徒発見」

キリスト教の解禁と再興

開国を機に始まったカトリックの宣教と新たな教会堂の建設

フランス革命やナポレオン戦争による混乱や宗教からの脱却の流れを経て、フランスではカトリック復興の気運が高まっていました。1838 年、ローマ教皇庁は当時既にベトナムや中国で活動を行っていたパリ外国宣教会に日本での再宣教を委託しました。1844 年には日本に近い琉球の島々（現在の沖縄）に宣教師が滞在し、日本への入国の機会をうかがっていました。

19 世紀になると、産業革命に後押しされ、西洋列強の世界進出が拡大します。1854 年、日本はアメリカの圧力により鎖国政策を放棄しました。1858 年には西洋諸国と通商条約を締結し、1859 年には函館、神奈川、長崎の港が開かれました。

1859 年、パリ外国宣教会のプリュダンス・ジラル神父が当初フランス公使の通訳として来日します。1863 年、レイ・フューレ神父が横浜から長崎に入り、その 6 か月後にはベルナル・プティジャン神父もその後を追います。開国をきっかけに、ローマ教皇ピウス 10 世は 1597 年に長崎で処刑された 26 人の殉教者を列聖しました。長崎での宣教が再開され、新たな教会堂建設計画が始まりました。

（挿画：庄司好孝）

<简体字>

禁教背景下发生的“信徒发现”事件

1864年12月，历经艰辛抵达长崎的传教士在面朝大浦长崎湾的外人居留地，兴建了全新教堂。它被正式命名为“日本二十六圣人殉教者圣堂”，面对着殉教地点。由于当时尚未允许向日本人传教，传教士的活动对象仅限居留地的西方人。不过他们返回日本的最大目的，则是为了找寻长崎的潜伏吉利支丹。

1865年3月17日，浦上约15名男女来到大浦天主堂，向珀蒂让神父自白信仰。据神父翌日写下的信中记述，当中一名女子走近他说道：“我们的内心与您无异。”接着更是询问道：“请问圣母玛利亚像在何处？”——由于当时基督教已被禁止长达两个半世纪之久，欧洲人认为在严苛的镇压下，日本信徒早已消失，因此这起“信徒发现”事件令其大为震撼。

事件发生后，长崎各地的吉利支丹村落的领导人随即陆续拜访大浦天主堂，接受传教士指导，并将内容传达给各地村落居民。通过这种组织性方式，日本的天主教逐渐得以复兴。

(插图：庄司好孝)

<繁体字>

禁教下發生的「信徒發現」事件

1864年12月，抵達長崎的傳教士在面朝大浦長崎灣的外國人居留地，興建全新的教堂，並為其正式取名「日本二十六聖人殉教者聖堂」。而該教堂面對著殉教之地。由於當時尚未允許向日本人傳教，傳教士僅能為居留地的西方人服務。然而他們返回日本的真正目的，實則是為尋找長崎的潛伏吉利支丹。

1865年3月17日，約15名浦上的男女來到大浦天主堂，向珀蒂讓神父自白信仰。據神父隔日寫下的信中記述，當中一名女子走向他後說道：「我們的內心與您無異。」接著更是詢問：「請問聖母瑪利亞像在何處？」——由於當時基督教已被禁止長達兩個半世紀之久，歐洲人認為在嚴苛的打壓下，在日本早已無信徒，因此這起「信徒發現」事件可謂極為震撼。

事件發生後不久，長崎各地吉利支丹聚落的領導人陸續拜訪大浦天主堂，接受傳教士指導，並將內容傳達給各處聚落居民。透過此種組織性方式，日本的天主教得以重振勢力。

(插圖：庄司好孝)

<日本語仮訳>

禁教下で起こった『信徒発見』

1864年12月、長崎にやってきた宣教師たちは大浦の長崎湾に面した外国人居留地に教会堂を完成させました。この天主堂は、正式には「日本二十六聖人殉教者聖堂」と名づけられ、殉教地に向けて建てられました。当時はまだ日本人への宣教は認められていなかったため、宣教師たちは居留地に住む西洋人のために活動を行っていました。しかし、彼らが日本に戻ってきた最大の目的は長崎の潜伏キリシタンを探しだすことだったのです。

1865年3月17日、浦上の男女約15名が大浦天主堂を訪れ、プティジャン神父に信仰を告白しました。神父が次の日に書いた手紙によると、集団の中の女性のひとりが神父のそばに近寄り、「我らのむね、あなたのむねと同じ」と言い、「サンタ・マリアの御像はどこ」と尋ねたそうです。当時、キリスト教はまだ2世紀半にもおよぶ禁教下にありました。しかし、この『信徒発見』と呼ばれる出来事は、弾圧によって日本には信徒がいなくなったと考えていたヨーロッパの人々に衝撃を与えました。

この出来事の直後から大浦天主堂には長崎各地のキリシタン集落から指導者が相次いで訪れ、宣教師の指導を受けてそれぞれの集落へ伝えました。日本におけるカトリックの組織的な復興はこうして進行していったのです。

(挿画：庄司好孝)

<簡体字>

废除禁教令复兴天主教

“信徒发现”事件对日后的历史产生深远影响。由于当时日本仍处于禁教期，该事件导致政府的镇压政策更为严苛，迫害信徒的行动甚至持续至 1868 年明治维新以后。包括最早自白信仰的浦上村吉利支丹在内，整片五岛列岛的村落皆被清查。最终共计约 3400 名浦上村吉利支丹被流放至西日本的 20 个藩，且被迫改信神道教。

然而，由于西方各国对镇压政策的严正抗议，1873 年，明治政府最终撤除禁制基督教的告示牌。长年潜伏的信徒终得重见天日，重新接受传教士洗礼，回归天主教。传教士亦细心指导潜伏吉利支丹的领导人，并将其居所当作临时教堂，供信徒进行祷告。在信徒的齐心协力下，各村落纷纷建起各式各样的简朴教堂。

(插图：庄司好孝)

<繁體字>

禁教令廢除與天主教復興

「信徒發現」對日後的歷史造成了重大影響。由於當時日本仍處於禁教時期，該事件致使政府的打壓政策更加嚴苛，迫害信徒的行動甚至持續至1868年明治維新以後。囊括最早自白信仰的浦上村吉利支丹在內，整個五島列島的聚落均遭清查。最終共計約3400名浦上村吉利支丹遭流放至西日本的20藩，且被迫改信神道教。

但由於西方各國對打壓政策提出嚴正抗議，1873年，明治政府終於撤除禁制基督教的告示牌。長年潛伏的信徒終於守得雲開見日出，並重新接受傳教士洗禮，回歸天主教。傳教士亦細心指導潛伏吉利支丹的領導人，並將其住所當作臨時教堂，供信徒進行禱告。透過信徒的齊心協力，各聚落相繼建起各式簡樸教堂。

(插圖：庄司好孝)

<日本語仮訳>

禁教令の撤廃とカトリックの復興

信徒発見は、その後の歴史に大きな影響を及ぼしました。当時日本ではまだ禁教が続いていたため、この出来事は政府の信徒に対する弾圧的な姿勢を強化させ、1868年の明治維新後でさえ迫害は続きました。信仰を最初に告白した浦上村のキリシタンに加え、五島列島の集落が摘発の対象となりました。最終的に、浦上村のキリシタン累計約 3,400 人が西日本の 20 藩に分かれて配流され、神道への改宗を強制されたのです。

しかし、信徒への弾圧に対する西洋諸国の強い抗議により、1873年、明治政府はついにキリスト教禁止の高札を撤廃しました。潜伏していた信徒たちは日の下に出られるようになり、改めて宣教師から洗礼を受けてカトリックに復帰しました。宣教師たちは潜伏キリシタンの指導者たちに適切なキリスト教の教育を授け、彼らの住まいを教会堂の代わりに祈りの場としました。信徒の協力のもと、各地の集落に素朴で多様なデザインの教会堂が次々と建設されました。

(挿画：庄司好孝)

<简体字>

日西合璧的教堂

初期的教堂由欧洲传教士指导、日本工匠建造，样式极为简朴。随着日本工匠逐渐掌握要诀，他们开始自行与地方民众合作，融合日本与西洋技术及材料，建造出简单却又不失质感的出色教堂。教堂外观基本上采用欧式风格及构思，内部则充满日式传统民宅特色，设计充分考虑到日本人的生活习惯。譬如信徒可于门前脱鞋，席坐于地板或榻榻米上祷告。

尽管大多数潜伏吉利支丹回归天主教的怀抱，却不乏个别信徒选择传承潜伏时代的独有信仰模式。这些信徒被称作“隐匿吉利支丹”，至今仍存在于长崎。

年表

- 1854 日美签订《神奈川条约》，并允诺开国通商
- 1858 缔结《日美修好通商条约》
- 1865 大浦天主堂举行献堂式
- 1865 信徒发现
- 1867 浦上发生第四次大规模检举事件
- 1873 明治政府撤除禁制基督教的告示牌

<繁体字>

和洋折衷（融合日本風格和西洋風格）的教堂

初期的教堂樣式相當簡樸，由歐洲傳教士指導、日本工匠建造。伴隨日本工匠逐漸掌握要訣，他們開始自行與地方民眾合作，融合日本與西洋技術及材料，打造出簡單卻又不失質感的出眾教堂。教堂外觀整體採用歐洲風格及構思，內部則發揚日本傳統民宅特色，設計符合日本人的生活習慣。比如信徒可於玄關脫鞋，禱告時則能席坐於地板或榻榻米之上。

儘管大多數潛伏吉利支丹回歸天主教的懷抱，卻也有部分信徒選擇傳承潛伏時代的獨有信仰模式。這些信徒至今仍存在於長崎，並有「隱匿吉利支丹」之稱。

年表

- 1854 日美簽訂《神奈川條約》，並允諾開國通商
- 1858 締結《日美修好通商條約》
- 1865 大浦天主堂舉行獻堂式
- 1865 信徒發現
- 1867 浦上發生第四次大規模舉報事件
- 1873 明治政府撤除禁制基督教的告示牌

<日本語仮訳>

和洋折衷の教会堂

初期の教会堂は、ヨーロッパ人宣教師の指導のもと日本の大工たちによって建設された簡素なものでした。しかし、やがて日本人の大工が十分なノウハウを得ると、自らの力と地域の人々の協力によって日本と西洋の技術や材料を組み合わせた素朴ながらも優れた教会堂を作ることができるようになりました。教会堂の外観はヨーロッパの様式や意匠を基本とし、内部は日本の伝統的な民家建築の特色を活かして日本的な習慣に合うよう設計されました。例えば、人々は入口で靴を脱ぎ、床や畳に座って祈りを捧げました。

潜伏していたキリシタンのほとんどがカトリックへと復帰する一方で、潜伏時代の独自の信仰儀礼を守り伝える人々もいました。このような人々は今なお長崎地方に存在しており、「かくれキリシタン」と呼ばれています。

年表

- 1854** 日米和親条約調印。貿易のため開国を約束する
- 1858** 日米修好通商条約を締結
- 1865** 大浦天主堂献堂
- 1865** 信徒発見
- 1867** 浦上四番崩れ
- 1873** 明治政府がキリスト教禁止の高札を撤廃

<简体字>

玉陵概要

玉陵是现存规模最大最古老的破风墓（琉球特有的墓葬形式，外观仿民居宅邸，屋顶多为三角形）。陵墓内有东、中、西 3 座墓室，保存着琉球王国第二尚氏王朝历代国王的遗骨，据说直至二战前夕仍有守墓人在御番所当值看守。玉陵因其文化意义深远，于 2000 年 12 月以“琉球王国之城迹及相关遗产群”名义列入世界遗产名录；于 2018 年 12 月 25 日被国家指定为冲绳首座建筑物类国宝。

玉陵始建于 1501 年，是第二尚氏王朝第三代国王尚真王，为保存其父尚圆王遗骨而下令所建陵墓。此后数百年间（1470 年至 1879 年），琉球历代国王 19 人及其王室遗骨均被保存在玉陵内。因此，玉陵被琉球人奉为守护神之庙，成为琉球王权及王室权力的象征。

琉球人修建陵墓，讲究因地制宜，玉陵也毫不例外。石灰岩山崖下原有座天然洞窟，经挖掘扩大后建成东、中、西 3 座墓室，并模仿琉球宫殿造型，将石灰岩加以精雕细琢，横梁门扉等处细腻逼真。墓室门前，造有石壁，石壁上方设有栏杆，上刻石狮、莲花、瑞龙等图案。墓室顶部，模仿粗厚的木质瓦片，铺设深灰色泥瓦，偶尔有天然岩壁裸露在外，也被巧妙融入建筑之中，浑然一体。观其墙色，陵墓上下原涂有一层白灰泥，崭新亮丽；现在，墙体已渐渐染上灰色，饶有一番韵味与质感。此外，石狮雕刻是琉球由来已久的传统，陵内还有 3 座石狮蹲踞其中，日夜守护。

东侧墓室（面朝陵墓，左手边墓室）里放置的骨瓮，纹饰精美，纳有国王及王妃遗骨；西侧墓室（右手边墓室）里的骨瓮保存有其他王室的遗骨；中央墓室则用于暂时安放遗体，等待洗骨仪式的开始。

进入玉陵前，需穿过前、中二庭。二庭入口均为狭窄石拱造型，门扉左右两扇一宽一窄，为子母双开门。前庭开阔，为泥质地面；中庭则用褪色变白的珊瑚碎片铺地，里面有一座建于 1501 年的石碑孑然耸立，上面书写着何等人氏方可入葬陵墓。而庭院外侧，原有 1748 年建造的番所（供守墓人居住）两间，后来惨遭毁坏，直至 2003 年 3 月，其中一间才得以修复重建。在 1945 年爆发的冲绳岛战役中，玉陵曾一度毁于美国海军炮火之中，

其中东侧墓室毁坏尤为严重。此后，人们用相同的材料精心修复，于 1977 年竣工，前后历时 3 年。

<繁体字>

玉陵概要

玉陵是現存規模最大最古老的破風墓（琉球特有的墓葬形式，外觀仿民居宅邸，屋頂多為三角形）。陵墓內有東、中、西 3 座墓室，保存著琉球王國第二尚氏王朝歷代國王的遺骨，據說直至二戰前夕仍有守墓人在御番所當值看守。玉陵因其文化意義深遠，於 2000 年 12 月以「琉球王國之城跡及相關遺產群」名義列入世界遺產名錄；於 2018 年 12 月 25 日被國家指定為沖繩首座建築物類國寶。

玉陵興建於 1501 年，是第二尚氏王朝第三代國王尚真王，為保存其父尚圓王遺骨而下令所建陵墓。此後數百年間（1470 年至 1879 年），琉球歷代國王 19 人及其王室遺骨均被保存在玉陵內。因此，玉陵被琉球人奉為守護神之廟，成為琉球王權及王室權力的象徵。

琉球人修建陵墓，講究因地制宜，玉陵也毫不例外。石灰岩山崖下原有座天然洞窟，經挖掘擴大後建成東、中、西 3 座墓室，並模仿琉球宮殿造型，將石灰岩加以精雕細琢，橫梁門扉等處細膩逼真。墓室門前，造有石壁，石壁上方設有欄杆，上刻石獅、蓮花、瑞龍等圖案。墓室頂部，模仿粗重的木質瓦片，鋪設有深灰色泥瓦，偶爾有天然岩壁裸露在外，也被巧妙融入建築之中，渾然天成。觀其牆色，陵墓上下原塗有一層白灰泥，嶄新亮麗；現在，牆體已漸漸染上灰色，饒有一番韻味與質感。此外，石獅雕刻是琉球由來已久的傳統，陵內還有 3 座石獅蹲踞其中，日夜守護。

東側墓室（面向陵墓時左側的墓室）裡放置的骨甕，紋樣精美，納有國王及王妃遺骨；西側墓室（右側墓室）裡的骨甕保存有其他王室的遺骨；中央墓室則用於暫時安放遺體，等待洗骨儀式的開始。

進入玉陵前，需穿過前、中二庭。二庭入口均為狹窄石拱造型，門扉左右兩扇一寬一窄，為子母雙開門。前庭開闊，為泥質地面；中庭則用褪色變白的珊瑚碎片鋪地，裡面有一座建於 1501 年的石碑孑然聳立，上面書寫著何等人氏方可入葬陵墓。而庭院外側，原有 1748 年建造的番所（供守墓人居住）兩間，後來慘遭毀壞，直至 2003 年 3 月，其中一間才得以修復重建。在 1945 年爆發的沖繩島戰役中，玉陵曾一度毀於美國海軍炮火之中，其中東側墓室毀壞尤為嚴重。此後，人們用相同的材料精心修復，於 1977 年竣工，前後歷時 3 年。

<日本語訳>

陵墓・玉陵（たまうどうん）概要

2000年12月に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録された玉陵は、琉球王国の第二尚氏の歴代国王が葬られている墓です。東室、中室、西室の3つの墓室があり、第二次世界大戦前までは墓守が番をしていたという御番所があります。現存最古かつ最大の破風墓を中心とする規模壮大な王陵であり、深い文化的意義を有する玉陵は、2018年12月25日に沖縄県内で初めて建造物として国宝に指定されました。

玉陵は1470年から1879年に在位した歴代琉球国王19人と王族の遺骨が安置されている陵墓で、第二尚氏王朝の第三代尚真王が1501年にその父である尚圓王の遺骨を納めるために創建しました。先祖の墓を守護神の廟として崇拝する琉球人にとって、玉陵は琉球列島における王の主権を体現し、王府の力を象徴するものとされてきました。

自然の地形と調和した墓を建設する伝統に従って、玉陵の3つの墓室は、石灰岩の崖下にあった天然の洞窟の岩盤を徐々に掘り広げることによってつくられました。美しく整形された琉球石灰岩で作られた建物外観の意匠は、琉球の宮殿の建築様式に基づいており、本来は木製の垂木や扉などの部分を忠実に再現した石の細工で装飾されています。墓の前の石垣には、獅子、蓮、龍などの彫刻がほどこされた欄干がついています。屋根は、厚い木のこけら板を模した濃い灰色の瓦で覆われています。天然の岩の崖肌の一部が残されており、建物のデザインに組み込まれています。琉球の伝統的な石彫刻の例である石の獅子（シーサー）が三体、台座に乗って墓を守っています。元々はきらめく白い漆喰が塗られていた建物の外見は、現在では多様な質感を持つ馴染みの良い魅力的な灰色です。

東の墓室（陵墓に向かって左側）は、繊細な装飾が施された石棺に納められた王と王妃の遺骨を納めるための部屋で、西側の墓室（右側）は他の王族のための部屋でした。中央の墓室は、死者の骨を洗骨する儀式の前に一時的に遺体を安置する場所でした。

玉陵に入るには、土で舗装された広い前庭と、自然に白くなった枝状サンゴのかけらが敷き詰められた中庭を通ります。これらの庭には、意図的に左右の幅が不ぞろいにしてある両開きの扉がついた狭いアーチ型の石の入り口があります。中庭には、誰を陵墓に埋葬してよいか記された1501年に建てられた石碑があります。その外側にはもともと1748年に建てられた2つの番所がありました。そのうち1つのみが2003年に3月に再建されています。玉陵は、1945年の沖縄の戦いでアメリカ海軍の砲弾の直撃を受け、特に東の墓室が大きく損壊しました。建築時と同じ材料を使いながら3年間かけて慎重に行われた修復は、1977年に完了しました。

<简体字>

尚氏王朝 琉球盛世

15 世纪初，第一尚氏王朝统一琉球王国；1470 年，政权更迭，被第二尚氏王朝取而代之；1879 年，第二尚氏王朝落下帷幕。至此，尚氏王朝前后统治琉球王国长达 410 年以上，成为琉球王国的末代王朝。纵观尚氏王朝，其命运与冲绳历史一样，满是跌宕起伏、波折动荡。琉球王国四周有中国、日本本土、韩国等强国环列，每逢风云变幻之际，只能随之兴盛、步其衰落。15 世纪初期，各诸侯国之间纷争不断，出现了三国鼎立之势，史称“三山时代”。与此同时，琉球内部中央集权逐步强化，直至 1429 年，第一尚氏才终结纷乱局面，开创了统一王朝并建都首里城。

1469 年，第一尚氏王朝末代国王尚德因政变被迫退位，尚圆经推举即位，由此第二尚氏王朝诞生。尚圆为农民出身，原名“金丸”，因其才能出类拔萃而备受提拔。他在位虽只有短短数年，却利用其人格魅力、领导才能及统治者的远见卓识，广纳良言、改弦易辙，不仅制定了更为高效的官僚制度，更为后世开创盛世奠定了基础，可谓政治贡献卓绝。其子尚真即位后，便下令建造玉陵以彰显其父功绩。

尚圆驾崩后其兄继位，称尚宣威王。但尚圆之女——王室最高神女“闻得大君”得到神旨宣称应由尚圆之子尚真继位。因此，尚宣威王即位仅半年便禅位于尚真，且王室之内竟不见异议。由此可知琉球王国时期沟通神灵的女性其影响力之巨大。

尚真于 1477 年即位直至 1526 年，其统治期间被称为“中山黄金时代”，亦是琉球王国的鼎盛时期。他在政治经济上，子承父志、力促变革，加强中央集权，并巩固首里城在文化经济上的核心地位；在建筑上，吸收中国式样之美并扩大首里城规模，下令建造石碑、寺院宅邸、庭园桥梁；在对外贸易上，完善那霸港口建设，大力拓展海域通商；在艺术文化上，开创了百花盛开的繁荣景象。

此外，尚真还注意到女祭司在政治上不容忽视的作用。因此颁布新规，宣布各村女祭司皆须由国王及“闻得大君”任命，听从并传达国王旨意。

1526 年尚真去世，其统治时间长达 50 年之久，之后直至 1879 年第二尚氏王朝灭亡，琉球王国再未出现如此和平繁荣、文明璀璨之盛世。1609 年，琉球王国被德川幕府萨摩藩攻陷，由此进入了“一国两属”，即同时附属于日本及中国的时期，但国王仍持有统治权

力。1920年，末代琉球国王尚泰之子尚典入葬玉陵，成为长眠玉陵的末代王室成员，但尚氏血脉仍绵延至今。

<繁体字>

尚氏王朝 琉球盛世

15 世紀初，第一尚氏王朝統一琉球王國；1470 年，政權更替，被第二尚氏王朝取而代之；1879 年，第二尚氏王朝步入終結。至此，尚氏王朝前後統治琉球王國長達 410 年以上，成為琉球王國的末代王朝。縱觀尚氏王朝，其命運與沖繩歷史一樣，滿是跌宕起伏、波折動盪。琉球王國四周有中國、日本本土、韓國等強國環伺，只能隨周遭形勢起落。15 世紀初期，各諸侯國之間紛爭不斷，出現了三國鼎立之勢，史稱「三山時代」。與此同時，琉球內部中央集權逐步強化，直至 1429 年，第一尚氏才結束紛亂局面，開創了統一王朝並建都首里城。

1469 年，第一尚氏王朝末代國王尚德因政變被迫退位，尚圓經推舉即位，由此第二尚氏王朝誕生。尚圓為農民出身，原名「金丸」，因其才能出類拔萃而備受提拔。他在位期間只有短短數年，但因擁有人格魅力、領導才能及統治者的遠見卓識，廣納良言、改弦易轍，不僅制定了更為高效的官僚制度，更為後世開創盛世奠定了基礎，政治貢獻良多。其子尚真即位後，便下令建造玉陵以彰顯其父功績。

尚圓去世後其兄繼位，稱尚宣威王。但尚圓之女——王室最高神女「聞得大君」得到神旨宣稱應由尚圓之子尚真繼位。因此，尚宣威王即位僅半年便讓位於尚真，且王室之內竟不見異議。由此可知琉球王國時期溝通神靈的女性其影響力之巨大。

尚真於 1477 年即位直至 1526 年，其統治期間被稱為「中山黃金時代」，亦是琉球王國的黃金時代。他在政治經濟上，子承父志、力促變革，加強中央集權，並鞏固首里城在文化經濟上的中心地位；在建築上，吸收中國風格之美並擴大首里城規模，下令建造石碑、寺院宅邸、庭園橋樑；在對外貿易上，改善那霸港口建設，大力擴展海上貿易；在藝術文化上，開創了百花盛開的繁榮景象。

此外，尚真還注意到女祭司在政治上不容忽視的作用。因此頒布新規，宣佈各村女祭司皆須由國王及「聞得大君」任命，聽從並傳達國王旨意。

1526 年尚真去世，其統治時間長達 50 年之久，其後直至 1879 年第二尚氏王朝滅亡，琉球王國再未出現如此和平繁榮、文明璀璨之盛世。1609 年，琉球王國被德川幕府薩摩藩攻陷，由此進入了「一國兩屬」，即同時附屬於日本及中國的時期，但國王仍持有統治權力。1920 年，末代琉球國王尚泰之子尚典入葬玉陵，成為長眠玉陵的最後王室成員，但尚氏血脈仍延續至今。

<日本語訳>

尚王朝の栄華

琉球王国は、15世紀初頭に第一尚氏が統一し、その後1470年に第二尚氏による新王朝に代わってから1879年までの410年以上にわたって琉球王国を統治した、琉球最後の王朝です。沖縄そのものの歴史と同様、この王朝は激動の歴史をたどりました。王国を取り巻く中国・日本本土・韓国などの強国の影響に翻弄され、琉球王国は繁栄と凋落の時代を経験しました。同時に、琉球国内でも徐々に中央集権が進んでいました。多くの独立した国々の争いが続いた初期、15世紀の三山時代と呼ばれる三大勢力の時代を経て、1429年、第一尚氏のもとに首里城を中心とした統一王国が創設されました。

第一尚氏の最後の王、尚徳は1469年にクーデターによって廃位されます。クーデターによって、尚圓が王として選出され、第二尚氏王統が誕生しました。尚圓は農民の出身で俗称を金丸（かなまる）と言い、自身の才覚によって台頭した人物でした。王位に就いていたのは短い期間でしたが、彼は王府に重要な制度的転換をもたらしました。それまでは個々のカリスマ性とリーダーシップが政治的な成功に最も重要な要素であると考えられていましたが、尚圓は支配階級の多様な知識と能力を活用し、ともに意思決定することで、王府を効率的な官僚制に変えました。このことは、父に敬意を表して玉陵を建設した息子の尚真が、政治的・経済的に大きな躍進を遂げる土台となりました。

1477年から1526年という長きにわたり王位に就いた尚真ですが、当初尚圓の後を継いだ伯父にあたる尚宣威がたった半年で退位したため、代わりに即位したという経緯がありました。これには、尚圓の娘で王府の最高神女だった「聞得大君」が、尚真こそ王位を継ぐべきであるという神託を受けたと宣言したという背景がありました。それを王府がそのまま受け入れたことは、王国における女性の霊的指導者の計り知れない影響力の大きさを物語っています。

尚真の統治した期間は、「中山の黄金時代」と言われており、これはそのまま琉球王国の黄金時代でもあります。彼の統治下、王国は長い平和と繁栄の時代を謳歌しました。彼は父が始めた行政と経済の再編成を引き継ぎ、中央集権化を推し進めることで、文化と経済の中心地としての首里の重要性を強化しました。また、彼は多くの記念碑や寺院、大邸宅、庭園、橋の建設に加え、中国様式による首里城の拡大と美化を指揮し、奨励しました。さらに、那覇の港のインフラを改善し、王国の国際貿易は大幅に拡大しました。文芸文化も花開きました。

ノロ（女性祭司）の政治的な重要性を認識していた尚真は、各地の村のノロが、王と最高位の神女である聞得大君によって任命される制度を制定し、ノロが王の意向を反映するようにしました。

尚真は50年間統治した後、1526年に死去しました。その後の歴代の後継者は、1879年までほぼ4世紀にわたって第二尚氏を継承しましたが、誰も尚真ほどの平和、繁栄、文化的功績を成し遂げることはできませんでした。1609年、琉球王国は徳川幕府下の薩摩藩によって征服され、日本と中国に両属する体制となったものの、王は権威を保ち続けました。琉球王国の最後の王である尚泰の息子、尚典が1920年に玉陵に埋葬され、この陵墓に眠る最後の王族となりましたが、尚家の血統は今日も続いています。

<简体字>

王室骨瓮及琉球墓葬

玉陵——琉球王室陵墓，其保存王室遗骨方法，可让人一窥琉球群岛传统墓葬独特之处。琉球人出于民间信仰，尤为注重逝者遗骨，并以庄严仪式将其清洗、保存，国王及王室则愈加重视——因为琉球人深信，王室之魂可佑其子民，护其国运。在传统葬法中，最先一环为“风葬”，其目的在于令尸骨自然腐烂分解。在筑造陵墓风习普及之前，尸骨常被置于屋外或洞窟之中，至今仍有部分边境地区沿袭此类做法。直至国外（主要是中国）传来陵墓建筑后，才出现了如玉陵中用于“风葬”的独特墓室。

待遗体化作白骨后，还需进行“洗骨”仪式，寓意“净化”，此为二次葬。将白骨残存肉块剔除后，需用美酒清洗，再纳入石制或陶制棺槨中。玉陵中，此环节由女性家眷担任，另配男性一名。但男性只需下令指示，略作仪式以示象征，随后便可离去。

“厨子”——王室骨瓮，造型似缩小版“御殿型”宅邸宫殿。骨瓮外周饰以精美浮雕及彩绘，瓮盖仿瓦顶屋脊造型。尚圆王及其女、另有身份未明者一名，其骨瓮均由辉绿岩（火成岩一种，颜色较暗）雕刻而成。此后直至 1712 年，其间骨瓮均改用琉球石灰岩，瓮上饰有佛教守护神地藏菩萨及其他佛教纹样，并刻有铭文。18 世纪中叶，陶制骨瓮兴起，精雕细琢，颜色也渐趋丰富多彩，时至今日仍广受冲绳人喜爱。除此之外，另有若干骨瓮，因其造型独特，圆身锥盖，形似和尚头，故被称为“和尚头型”。

进入 20 世纪，因卫生清洁问题，冲绳二次葬习俗逐渐减少，如今与日本各地一样，普遍实施火葬。

<繁体字>

王室骨甕及琉球墓葬

玉陵是琉球王室陵墓，其保存王室遺骨方法，可讓人一窺琉球群島傳統墓葬獨特之處。琉球人出於民間信仰，特別注重逝者遺骨，並以莊嚴儀式將其清洗、保存，國王及王室則更為重視——因為琉球人深信，王室之魂可保佑百姓，護其國運。在傳統葬法中，最先一環為「風葬」，其目的在於令屍骨自然腐爛分解。在築造陵墓風習普及之前，屍骨常被置於屋外或洞窟之中，至今仍有部分邊境地區沿襲此類做法。直至國外（主要是中國）傳來陵墓建築後，才出現了如玉陵中用於「風葬」的獨特墓室。

待遺體化作白骨後，還需舉行「洗骨」儀式，寓意「淨化」，此為二次葬。將白骨殘存肉塊剔除後，需用美酒清洗，再納入石製或陶製棺槨中。玉陵中，此環節由女性家眷擔任，另配男性一名。但男性只需下令指示，略作儀式以示象徵，隨後便可離開。

「廚子」指王室骨甕，造型似縮小版「御殿型」宅邸宮殿。骨甕外周飾以精美浮雕及彩繪，甕蓋仿瓦頂屋脊造型。尚圓王及其女、另有一人身份不詳，其骨甕均由輝綠岩（火成岩一種，顏色較暗）雕刻而成。此後直至 1712 年，其間骨甕均改用琉球石灰岩，甕上飾有佛教守護神地藏菩薩及其他佛教紋樣，並刻有銘文。18 世紀中葉，陶製骨甕興起，精雕細琢，顏色也漸趨豐富多彩，時至今日仍廣受沖繩人喜愛。除此之外，另有部分骨甕外型獨特，為圓身錐蓋，形似和尚頭，故被稱為「和尚頭型」。

進入 20 世紀，因衛生清潔問題，沖繩二次葬習俗逐漸減少，如今與日本各地一樣，普遍實行火葬。

<日本語訳>

王家の石棺と琉球の葬法

琉球諸島に特有の伝統的な葬法を如実に示すのが、玉陵における王族の遺骸の保存方法です。琉球の土着信仰では、尊厳ある儀式に則って故人の骨を清め、保存することを非常に重要視しています。これは、その魂が国全体を守るとされている王および王族の場合特に当てはまります。この葬法では、まず遺骸を自然に分解させる「風葬」という方法がとられます。墓陵を建てるのが一般的になる以前は、通常遺骸は屋外または洞窟に放置されていました。この風習は一部の辺境ではまだ続いています。主に中国から伝わった墓陵建築の導入に伴い、墓陵にはこの葬法を目的とする、玉陵に見られるような特別な墓室が設けられるようになりました。

遺骸が十分に分解されると、「骨の浄化」を意味する「洗骨」と呼ばれる再埋葬の儀式が行われます。骨から残った肉を取り除いた後、酒で洗い、石や陶器製の棺の中に慎重に納められます。玉陵では、この役目は家族内の女性に委ねられましたが、作業の指示をするのは男性ひとりでした。この男性は形式的な身振りをひとつするだけで、その場を後にすることが多かったと言われています。

厨子（王族の石棺）は通常、御殿型（うどうんがた）と呼ばれる家屋や宮殿のミニチュアの形状をしています。これらには手の込んだレリーフと色付きの装飾がほどこされており、蓋は瓦屋根の形です。尚圓王とその娘、そして未だ身分の判明しない人物 1 名の骨壺は暗い色の火成岩である輝緑岩から彫り出されています。その後、1712 年まで骨壺には琉球石灰岩が使われました。これらの骨壺には、地藏菩薩と呼ばれる仏教の守護神の姿やその他の仏教装飾、そして銘が描かれていました。18 世紀半ばには、細かな彫刻のレリーフで装飾され、豊かな彩色が施された陶製の骨壺が使われるようになりました。同様の骨壺は、今日でも沖縄諸島全域で好んで使用されています。玉陵にある王族の骨壺のいくつかは、丸い瓶の上に円錐形の蓋が付いた形をしており、その見た目が坊主頭に似ていることから、坊主型（ボージャ型）と呼ばれています。

20 世紀に入り、衛生上の懸念から沖縄では再埋葬の風習は控えられてきました。現在では、日本の他の地域と同様、故人の遺体は通常火葬されます。

<簡体字>

东之御番所 西之御番所

玉陵中央门东西两侧，曾设有御番所一对。御番所展现了琉球典型的住宅结构：以红瓦铺设屋顶；屋檐下装有可拆卸式木板，用以遮风挡雨；木板内侧设有廊道；廊道往里，有榻榻米式房间、厨房等生活起居所需空间，多处可见日本本岛特色。此外，地面设计也不乏巧思，琉球石灰岩筑地基，其间镂空，通风清爽。

依史料记载，御番所始建于 1748 年，统治者从名门望族中选出男性二名，以任守墓护卫之职。据称，其中一名守墓人，直至二战前夕仍长住于西之御番所。另据记载，1901 年，琉球王国末代国王尚泰，入葬玉陵时，御番所仍作为等候室供僧侣、亲眷所用。

东之御番所，于 2003 年借助原守墓人所绘建筑布局、相片、残存构造，才得以原样重建。而西之御番所，2000 年至 2001 年虽经勘察，却未找到其地基遗存痕迹。

<繁体字>

東之御番所 西之御番所

玉陵中央門東西兩側，曾各設有一處御番所。御番所展現了琉球典型的住宅結構：以紅瓦鋪設屋頂；屋簷下裝有可拆卸式木板，用以遮風擋雨；木板內側設有廊道；廊道往裡，有榻榻米式房間、廚房等生活起居所需空間，多處可見日本本島特色。此外，為保持通風涼爽，建築下方的琉球石灰岩築地基更充滿巧思。

依史料記載，御番所興建於 1748 年，統治者從名門望族中選出男性二名，以任守墓護衛之職。據稱，其中一名守墓人，直至二戰前夕仍長住於西之御番所。另據記載，1901 年，琉球王國末代國王尚泰，入葬玉陵時，御番所仍作為等候室供僧侶、親眷所用。

東之御番所，於 2003 年借助原守墓人所繪建築佈局、相片、殘存構造，才得以原樣重建。而西之御番所，2000 年至 2001 年雖經勘察，卻未找到其地基遺存痕跡。

<日本語訳>

東の御番所、西の御番所

玉陵にはもともと、陵墓の中央門の東と西に位置する一対の御番所がありました。御番所は、琉球家屋の主要な特徴を示しています。赤瓦の屋根、木のよろい戸を閉めれば完全に雨風を避けられる家を囲むベランダ（縁側）、畳の部屋の配置、台所をはじめとする生活に必要な機能を持つ空間など、その特徴の一部は日本本土から伝わりました。御番所は、床下に涼しい空気を循環させるために、巧みに築かれた琉球石灰岩の基礎の上に建てられています。

史料によると、御番所は 1748 年に建てられ、二人の男性が番人として任命されました。番人は名家から選ばれ、敷地の監督者として務めました。番人の一人は、第二次世界大戦が始まるまで西御番所に住んでいました。記録によると、御番所は、1901 年に琉球王国の最後の王である尚泰の葬儀が行われた際、僧侶や近親者の控え室として使われました。

現在の東の御番所は、2003 年に正確に復元されたものです。元の居住者が作成した建物の見取り図、および写真と遺構に基づいて建てられました。2000 年から 2001 年にかけて行われた調査では、西御番所の基礎部分の痕跡は見つかりませんでした。

<簡体字>

玉陵石碑

玉陵石碑建于 1501 年玉陵落成之时，至今仍立于东侧墓室前方的中庭内。其所用石材为辉绿岩，原产中国，质地淡绿。但经日晒雨淋，现已呈深灰色并覆满青苔。碑身刻有日语平假名，以琉球方言及日本古文记有以下内容：尚真王及参与建陵的子女 8 人姓名；入葬玉陵所需资格及训言，破此训者将惨遭不幸的告诫。碑首处，刻有太阳升至中央，两侧凤凰展翅，四周祥云齐聚的瑞祥之画。

在中国，凤凰为“百鸟之王”，现于祥和盛世，代表皇室尊贵权力。而昔日，琉球王室视太阳为国王的象征；凤凰则因寓意国泰民安、和平繁荣，被视为最高神女“闻得大君”的象征。此外，在中国及日本艺术作品中，凤凰若成对出现，则常以尾羽不同来区分雌雄，象征宇宙阴阳。但玉陵碑上所刻凤凰，受琉球独特文化的影响，其尾部形状别无二致。

<繁体字>

玉陵石碑

玉陵石碑建於 1501 年玉陵落成時，至今仍立於東側墓室前方的中庭內。其所用石材為輝綠岩，原產中國，質地淡綠。但經日曬雨淋，現已呈深灰色並覆滿青苔。碑身刻有日語平假名，以琉球方言及日本古文記有下述內容：尚真王及參與建陵的子女 8 人姓名；入葬玉陵所需資格及訓言，破此訓者將慘遭不幸的告誡。碑首處，刻有太陽升至中央，兩側鳳凰展翅，四周祥雲齊聚的瑞祥之畫。

在中國，鳳凰為「百鳥之王」，代表皇室尊貴權力及祥和盛世。而昔日，琉球王室視太陽為國王的象徵；鳳凰則因寓意國泰民安、和平繁榮，被視為最高神女「聞得大君」的象徵。此外，在中國及日本藝術作品中，鳳凰若成對出現，則常以尾羽不同來區分雌雄，象徵宇宙陰陽。但玉陵碑上所刻鳳凰，受琉球獨特文化的影響，其尾部形狀別無二致。

<日本語訳>

玉陵碑

玉陵碑は、1501年に王家の陵墓である玉陵が完成したときに建てられた石碑です。この石碑は今でも東の墓室前の中庭に立っています。石碑は中国産の輝緑岩で作られており、もとはわずかに緑がかった色合いをしていましたが、風雨に晒され、現在では濃い灰色になり苔に覆われています。碑文は、琉球王府の方言と正式な日本語の文言の両方を書き表すことができる日本語の平仮名で記されており、尚真王と陵墓の建設に関わった息子・娘8人の名前が並べられています。また、碑文には玉陵に埋葬することが許される対象についての規則も記されており、破れば祟るとも書かれています。注目すべき特徴は、石碑の上部にある象徴的な彫刻画で、縁起が良いとされる一对の鳳凰と太陽、雲の意匠が刻まれています。

当時の琉球王府の伝統では、太陽は王を象徴し、平和で繁栄した統治時代に現れるとされていた鳳凰は最高位の神女である聞得大神を象徴していました。これは中国の皇室の伝統とも結びついています。中国では、「鳳凰」は伝説のなかの「百鳥の王」であり、皇室の高貴と権力、世の中の喜祥と平和のシンボルとされています。中国と日本の美術作品において一对の鳳凰が描かれる際は、異なる形状の尾羽で雄と雌を区別して描かれていました。雌雄一对の鳳凰は、宇宙の陰と陽を象徴します。玉陵碑の鳳凰たちはそのような異なる特徴を持っておらず、このモチーフに対する琉球独自の解釈であると考えられます。

<简体字>

琉球庭园——识名园

琉球王室最大的离宫——识名园，是现存为数不多的琉球庭园之一。因其庭园设计、地形地貌及花卉草木独具特色，在日本庭园文化中有着不可忽视的地位。冲绳虽常年如夏，但识名园设计精巧，四季分明——春季，池塘东侧，梅花初绽幽香；夏季，池中岛屿及清泉边上，有紫藤垂挂；秋季，池边桔梗悄然盛开。

识名园始建于 1799 年，位于首里城南边高地，向下俯瞰，乡间农舍美景如画。又因其靠近首里城，往返方便，是以被用作王室及外宾的休闲之所。另一方面，纵观历史，琉球王国长期从属于中国及日本，因此出于外交考虑，识名园在设计之初，便在接待中国使节一事上备加留意。1800 年，正是在此接待了为册封尚温王远道而来的中国使节——正副册封使赵文楷、李鼎元。

识名园兼具中日两国风格。整体布局设计上，模仿日本回游式古典庭园，植以四时花木、缀以自然风光，远景甚美，宜举目远眺；而重要细节之处，则多仿中国式样。借此，识名园形成了独特的琉球庭园风格——环池而建，四周细节错落有致，两国风格融汇其中。因此，若要全面体验琉球文化，识名园不失为一个好地方。

1945 年，识名园在冲绳岛战役中几近被夷为平地，之后自 1975 年开始大规模重建，耗时 20 年之久方才完工。1992 年，琉球王国末代国王尚泰（1843-1901）曾孙——尚裕（1918-1997）将此园赠与那霸市。2000 年 3 月 30 日，识名园被指定为国家级“特别名胜”，并于同年被列入联合国教科文组织世界遗产名录。

<繁体字>

琉球庭園——識名園

琉球王室最大的離宮——識名園，是現存為數不多的琉球庭園之一。因其庭園設計、地形地貌及花卉草木獨具特色，在日本庭園文化中有著不可忽視的地位。沖繩雖常年如夏，但識名園設計巧妙，四季分明——春季，池塘東側，梅花初綻幽香；夏季，池中島嶼及清泉邊上，有紫藤垂掛；秋季，池邊桔梗悄然盛開。

識名園始建於 1799 年，位於首里城南邊高地，向下俯瞰，農園風景美麗怡人。又因其靠近首里城，往返方便，是以被用作王室及外賓的休閒之所。同時縱觀歷史，琉球王國長期從屬於中國及日本，因此出於外交考慮，當初設計識名園時，便在接待中國使節一事上備加留心。1800 年，正是在此接待了為冊封尚溫王遠道而來的中國使節——正副冊封使趙文楷、李鼎元。

識名園兼具中日兩國的建築風格。整體佈局設計上，模仿日本回游式古典庭園，植以四時花木、綴以自然風光，遠景動人，適合舉目遠眺；而重要細節之處，則多仿中國樣式。藉此，識名園形成了獨特的琉球庭園風格——環池而建，四周細節錯落有致，兩國風格融匯其中。因此，若要全面體驗琉球文化，識名園不失為一個好去處。

1945 年，識名園在沖繩島戰役中幾乎被夷為平地，之後自 1975 年開始大規模重建，耗時 20 年才完工。1992 年，琉球王國末代國王尚泰（1843-1901）曾孫——尚裕（1918-1997）將此園贈與那霸市。2000 年 3 月 30 日，識名園被指定為國家級「特別名勝」，並於同年獲列入聯合國教科文組織世界遺產名錄。

<日本語訳>

識名園（しきなえん）：琉球庭園

琉球王家最大の別邸である識名園は、数少ない現存する琉球庭園のひとつであり、その独特の設計、地形、植生から日本庭園文化において重要な地位を占めています。春は池の東の梅林に花が咲いてその香りが漂い、夏には中島や泉のほとりの藤、秋には池のほとりの桔梗（ききょう）が美しい花を咲かせ、「常夏（とこなつ）」の沖縄にあって、四季の移ろいも楽しめるよう、巧みな配慮がなされています。

識名園は、1799年に首里城の南にある美しい田舎の村を見下ろす高台に王室の別荘として建てられました。首里城から近く頻りに訪れることができる場所にあるため、王族や外国からの賓客の保養地として利用されていました。琉球はその歴史の大部分において、中国および日本と従属関係にありました。それぞれの関係には外交上の特定要件があり、識名園は中国皇帝からの使節の受け入れを念頭に置いて設計されました。1800年に尚温王冊封（さっぽう）のため訪れた正使（せいし）趙文楷、副使（ふくし）李鼎元（りていげん）を招いています。

この庭には、日本と中国両方の特徴が見られます。全体的な設計は伝統的な日本庭園の影響を受けています。遠くの風景が景観に組み込まれた回遊式の庭には、四季折々の植物や自然の風情を鑑賞できる眺めの良い場所が巧みに配されています。一方、いくつかの重要な要素は中国の様式に由来します。このように両国の特徴を取り入れた識名園は、全体の要素をつなぎ合わせる美しい池を中心とする、琉球独特の庭園として設計されています。識名園を訪れると、いろんな意味で琉球の縮図を体験できます。

識名園は1945年の沖縄戦の際に完全に破壊されました。1975年に20年に及ぶ大規模な修復工事が始まり、1992年に琉球王国の最後の王尚泰（1843-1901）のひ孫、尚裕（1918-1997）が那覇市にこの庭園を寄贈しました。識名園は、2000年3月30日に国指定「特別名勝」となり、同じ年にユネスコの世界遺産にも登録されました。

<簡体字>

正门

识名园正门为瓦顶样式设计，在琉球王国时期，仅王室进出及中国使节出席典礼时方可使用。此门规格尊贵，称之为“屋门”式样，多见于名门贵族宅邸。其外观，琉球红瓦作顶，涂以白灰泥；罗汉松木质坚实，用于制门，造型精致；另有门柱四根，傍墙而建，与琉球石灰岩墙壁相靠相撑。每当贵客乘轿到访，则有仆人在前高声喊令，敞开大门，并以庄重礼仪迎客入园。

<繁体字>

正門

識名園正門採用瓦頂樣式設計，在琉球王國時期，僅王室進出及中國使節出席典禮時方可使用。此門規格尊貴，稱之為「屋門」樣式，多見於名門貴族宅邸。其外觀，琉球紅瓦作頂，塗以白灰泥；羅漢松木質堅實，用於製門，造型精緻；另有四根倚牆而建的門柱，與琉球石灰岩牆壁相俛。每逢貴客乘轎造訪，隨從即會在前高聲下令開門，並以莊重禮儀迎客入內。

<日本語訳>

正門

琉球王国の時代、識名園の瓦屋根の正門は、王族が通る時と中国からの使節を式典に案内する時のみ使われました。門は屋門(ヤージョウ)と呼ばれる地位の高い一族の居宅に見られる様式です。丈夫なイヌマキの木を用いた精巧な造りで、四本の支柱が巧みに加工された琉球石灰岩の壁に組み込まれています。屋根は白い漆喰で装飾された赤い琉球瓦です。高貴な来訪者を運ぶ駕籠の前を従者が走り、大声で開門を命じることで、尊厳を持って客人を招き入れられるよう配慮したとされています。

<简体字>

育德泉

正门处的碎石小路曲径通幽，沿路行进，途中有珊瑚石灰岩砌成的半圆石壁，下为天然淡水泉育德泉。与冲绳众多圣泉一样，人们相信此处泉水拥有神秘之力。泉水清澈，泉中的珍贵物种淡水红藻被评为“天然纪念物”，还有螃蟹等栖息其中。泉边有两座石碑，一座为“育德泉碑”，碑文为 1800 年中国册封正使赵文楷所写；另一座刻有“甘醴延龄”字样，为 1838 年册封正使林鸿年挥毫写就。据说识名园选建于此，正是因为此处有育德泉，可引天然水源入池。继续前进，行至尽头处便是御殿。其间小路依旧蜿蜒，只是路旁多了两道石壁。起初一段由六角形石块堆砌而成，严丝合缝，但越往前，石壁堆砌越显自然无序，偶尔可见植物长于缝隙之中——这段小径如同在暗示游人，前方风景将别有洞天。

<繁体字>

育德泉

正門處有碎石小路，曲徑通幽，沿路行進，途中有珊瑚石灰岩砌成的半圓石壁，下為天然淡水泉育德泉。與沖繩眾多聖泉一樣，人們相信此處泉水擁有神秘之力。泉水清澈，其中的珍貴物種淡水紅藻被指定為「天然記念物」，還有螃蟹等棲息。泉邊有石碑兩座，一座為「育德泉碑」，碑文為 1800 年中國冊封正使趙文楷所寫；另一座刻有「甘醴延齡」字樣，為 1838 年冊封正使林鴻年揮毫寫就。據說正是因為此處有育德泉，可引天然水源入池，識名園才選建於此。繼續前進，行至盡頭處便是御殿。其間小路依舊蜿蜒，只是路旁多了兩道石壁。起初一段由六角形石塊堆砌而成，嚴絲合縫，但越往前，石壁堆砌越顯自然無序，偶爾可見植物長於縫隙之中——這段小路如同在暗示旅人，前方風景將別有洞天。

<日本語訳>

育徳泉（いくとくせん）

そもそも識名園がこの場所に造られたのは、池を満たして水を供給する育徳泉と呼ばれる天然の淡水泉がこの地にあったからでした。沖縄のあちこちにある数多くの神聖な泉と同様、この泉には神の力が宿っているとされています。正門から伸びる巧みな曲線が美しい石畳の道を進むと、精巧に加工されたサンゴ石灰岩を半円形に積んだ隙間に囲まれた泉にたどり着きます。今なお透明度の高いこの泉には天然記念物に指定されたシマチリスジノリという水草やカニなどの生物が生息しています。2つの石碑に育徳泉を称える碑文が刻まれています。「育徳泉碑」の碑文は1800年に訪れた中国の冊封使（正使）の趙文楷、「甘醴延齡」の碑文は1838年に訪れた中国の正使の林鴻年によって揮毫されたものです。泉から御殿に至る美しく曲がりくねった道の石垣は、丁寧に成形された不規則な六角形の石が緻密に積まれた洗練された様式から、隙間に入り込んだ植物が生い茂っている未加工の石が自然に並ぶ部分へとさりげなく移行します。この道は、訪問者が日常世界の境界を越える心の準備をさせてくれます。

<简体字>

御殿

御殿采用“平屋造”形式，虽名为宫殿，但观其大小特征，称乡间豪华宅邸，似更贴切。御殿共设房屋 15 间，前为会客室，由此远眺，庭园碧池尽收眼底；往里走，有寝室、更衣间、厨房、浴室等起居空间，此布局为高等府邸典型结构。观其建筑，罗汉松制内外墙壁；外有上翻窗，镶有合页，白天撑起，可庇荫采光兼通风；屋顶赤瓦涂以白灰泥，多处可见琉球民宅特色。而室内陈设，如榻榻米（灯心草所编铺垫）、障子（半透明和纸制成的推拉式门窗）、床间（和式壁龛，常设于重要房间内，饰以插花、挂轴）、屋梁装饰等，都源自日本。

20 世纪初，御殿曾两次扩建，现有翼廊若干，与阴凉木制廊道相接。由此处抬目四望，庭院内风和日丽，宁静祥和。至于木材，庭园内御殿及其他建筑所用之材多为罗汉松，当地称之为“cyagi”。罗汉松质地坚硬，且随之生长，渐趋盘虬之势。御殿檐下所用立柱即为此木，不施雕琢，天然独特。此类木材，由于近树根一端更为耐水，故常将此端向下，立于基石之上。1992 年，重修御殿时，因冲绳罗汉松短缺，曾从九州运至此处。

<繁体字>

御殿

御殿採用「平屋造」形式，雖名為宮殿，但觀其大小特徵，稱鄉間豪宅，似更顯貼切。御殿共設房間 15 間，前為會客間，由此遠眺，庭園碧池盡收眼底；往裡走，有寢室、更衣間、廚房、浴室等起居空間，此佈局為高等府邸典型結構。觀其建築，羅漢松制內外牆壁；外有上翻窗，鑲有合頁，白天撐起，可庇蔭採光兼通風；屋頂赤瓦塗以白灰泥，多處可見琉球民宅特色。而室內擺設，如榻榻米（燈心草所編鋪墊）、障子（半透明和紙製成的推拉式門窗）、床間（和式凹間，常設於重要房間內，飾以插花、掛軸）、屋梁裝飾等，都源自日本。

20 世紀初，御殿曾擴建兩次，現有數座翼廊，與陰涼木製廊道相接。靜觀四周，庭院內風和日麗，靜謐祥和。庭園內御殿及其他建築所用之材多為羅漢松，當地稱之為「cyagi」。羅漢松質地堅硬，且隨之生長，漸趨盤虯之勢。御殿簷下所用立柱即為此木，不特別加工，保持天然獨特。此類木材，因其近樹根一端更為耐水，故常將此端向下，立於基石之上。1992 年，重修御殿時，因沖繩羅漢松短缺，曾從九州運至此處。

<日本語訳>

御殿 (うどうん)

平屋造りの御殿は厳密には宮殿ですが、その大きさと特徴から、田舎の大別荘といったほうが良いかもしれません。全部で 15 の部屋がある御殿には、庭園の池の景色が一望できる格式ある応接間があり、奥には睡眠、着替え、料理、入浴などの生活に関わる部屋があります。これらは、高級邸宅に典型的な造りです。イヌマキの木で仕上げられた外装と内装の壁面、および、日陰を作りつつ光と風を通すために上方に跳ね上がる「跳ね上げ戸」と呼ばれる蝶番のついた大きな戸、白い漆喰の装飾がほどこされた赤瓦の屋根は、琉球の民家に典型的に見られます。内装の多くの要素、たとえば、畳（イグサを織って作ったマット）、障子（半透明の和紙のスライド式目隠し）、床の間（重要な部屋の壁に沿って設置された装飾的な空間）、そして装飾的な屋台骨が見える構造は日本に由来するものです。

御殿は 20 世紀初頭に 2 回増築され、現在は自由に配置された複数の袖が、涼しい板張りの廊下でつながっています。落ち着いた内庭は、光と風をもたらします。識名園の御殿とその他の建物は、チャギとも呼ばれるイヌマキの木で作られています。この丈夫で硬い木は、成長するにつれてねじれていきますが、御殿の軒下の外柱にはそれが自然の状態で使用されており、この特徴がうまく活かされています。この木は、根元の方がより耐水性が高いとされており、地面の基礎石の上に設置する際は、そちらを下にします。沖縄ではイヌマキが不足するようになったため、1992 年の改修時には九州から運ばれました。

<简体字>

石桥与庭园特色

识名园内，景色自然葱郁、沁人心脾，曾是王室休闲游玩之地。与日本庭园一样，园内小径随地形或起或伏、弯曲别致，沿途走去，有四时花木和远处山景悦人耳目；还可乘上小船，泛舟池上；或渡过石桥来到岛上，在亭内远眺美景，稍事休憩。湖中央有小岛一座，林木茂盛，两侧各接中式拱形石桥一座，下可通船。一侧石桥由珊瑚石灰岩制成，优雅美观；另一侧石桥则是由海边风化后的岩石堆砌而成，朴素且别有一番风趣。此外，六角堂所在的另一座小岛上还有一道小小石桥，精致细巧，只需几步即可跨过。

带有深檐的六角堂是园内第二座小亭，为仿中国式样的木质结构亭台，檐角向外伸展便于揽风入内。其瓦顶与御殿等处的赤色琉球瓦不同，为中国传统建筑所用的墨色瓦顶。此外，池边有一处窄窄的石渠，池水溢出，则顺着小渠流入一旁的山涧，清爽凉快。据说小渠下方，曾有一座八角亭台。池边另一端，有一石造浅滩，可在此登船游玩或停泊靠岸；也可用于停放暂时空置的船只。往高处走，地势最高处有一座建于大正年间（1912-1926）的六角形亭台——劝耕台，这是园内第三座亭台。在此处极目远眺，可一览冲绳南部的宽阔农场、乡间农舍和绵延山丘。据说在亭台未建之前，王室会在中国使团临近回国之际在此搭起帐篷。一是为了让使节们放松休闲，二是因为此处视野开阔，一望无际甚至看不到海边，以此可显示琉球王国国土的宽广辽阔。

为促进传统艺术的传承和文化财产的保护，识名园会在每年 11 月及 12 月的周日举办“识名园友游会”，吸引人们入园游玩。

<繁体字>

石橋與庭園特徵

識名園景色蔥蔥鬱鬱、沁人心脾，過去是王室成員休憩之處。一如日本庭園，園內小徑隨地形或起或伏、彎曲別緻，沿途走去，有四時花木和遠處山景悅人耳目；還可以乘上小船，泛舟池上；或渡過石橋來到島上，在亭內遠眺美景，稍事休息。湖中央有小島一座，綠意盎然，兩側各接中式拱形石橋一座，下方可通船。一側石橋由珊瑚石灰岩製成，優雅美觀；另一側石橋則是由海邊風化後的岩石堆砌而成，樸素之中別有風趣。此外，六角堂所在的另一座小島上也有一道小小石橋，精緻細巧，只需幾步即可跨過。

帶有深簷的六角堂是園內第二座小亭，為仿中國式樣的木質結構涼亭，簷角向外伸展，便於通風。其瓦頂與御殿等處的赤色琉球瓦不同，為中國傳統建築所用的黑色瓦頂。此外，池邊有一處窄窄的石渠，溢出的池水則順著小渠流入一旁的山澗，清爽涼快。據說小渠下方，曾有一座八角涼亭。池邊另一端，有一石造淺灘，可在此登船遊玩或停泊靠岸；也可用於停放暫時船隻。往高處走，地勢最高處有一座建於大正年間（1912-1926）的六角形涼亭——勸耕台，這是園內第三座涼亭。在此處放眼望去，可一覽沖繩南部的寬敞農園、鄉間農舍和延綿山丘。據說在涼亭未建之前，王室會在中國使節團臨近回國之際在此搭起帳篷。一是為了讓使節放鬆休憩，二是因為此處視野開闊，一望無際甚至看不到海邊，以此展示琉球王國國土的寬廣遼闊。

為促進傳承傳統藝術及保護文化財產，識名園於每年 11 月及 12 月的週日舉辦「識名園友遊會」，吸引眾多遊客入園遊玩。

<日本語訳>

石橋と庭園の特徴

識名園は、美しい自然に囲まれた屋外の癒しと娯楽の場所でした。その設計に影響を与えた日本庭園と同様に、訪問者は移り行く季節の中で植物や花、遠くの山腹を鑑賞しながら地形に沿った起伏のある道を回遊し、小舟に乗り、橋を渡った先にある浮島のあずまやで、景色を堪能しながら一服することができます。中央にある木々が茂る島に続く最も大きなアーチ型の石橋二つは中国風のデザインで、舟が下を通れるようになっています。サンゴ石灰岩で作られた片方の石橋は改まった外観をしており、海岸から運ばれてきた風化した岩で作られたもう片方は素朴な見た目をしています。六角堂が立つ島に続く三番目の石橋にも巧みな加工がほどこされています。この橋はミニチュアと呼べるほど小さく数歩で渡ることができます。

この場所にある二つ目のあずまやである木造の六角堂も、中国の建築様式を模して作られています。深いひさしがついている六角堂は、完全に開いて風を入れることができます。御殿などの建物に見られる赤い琉球瓦とは異なり、この建物には伝統的な中国の黒い瓦を模して真っ黒な屋根瓦が使われています。池から溢れた水を日陰の涼しい谷間に放出する狭い石造りの滝口の下には、かつては八角形の建物がありました。池の片方の端にある石造りの船架である舟揚場は、小舟が出入りするところであり、舟を使用していないときに保管するための場所でもあります。庭の三つ目のあずまやは、庭の一番高い見晴らし台である勸耕台にあります。この六角形のあずまやは大正時代（1912-1926）にこの場所に建てられました。あずまやが建てられる前の勸耕台には、中国からの使節が訪問の終盤に休憩するための天幕が張られていました。沖縄南部に広がる農場、村、丘の広大な景色を見せることで、海が見えないほど琉球王国は広大な国であると思わせるためだったと言われています。

識名園では毎年11月～12月中の日曜日に「識名園友遊会」が開催されます。識名園友遊会とは、伝統芸能の継承や文化財の保護などを目的に識名園で開催されている毎年恒例のイベントです。

<简体字>

奉公人居所

识名园内，所设“奉公人”（即侍从仆人）专用空间，亦小巧精致。如“通用门”，专为侍从出入所用，造型与正门相似，虽简单朴素，却不失美观。再如“番屋”小间，位于正门及琉球传统建筑式样的御殿附近，布局巧妙，专供御殿护卫所用。观其布局，最接近入口处的房间为“诘所”——护卫需在此听候命令；里间作起居室，木窗紧闭，设有廊道；旁侧建有瓦顶小屋。紧靠御殿门入口处设有“驾笼屋”。所谓“驾笼”，即王亲贵族用以彰显尊贵身份的出行工具——类似中国轿子，待轿子在殿前停下，便拾阶而上，无需踩到泥地。“驾笼屋”除放置及维修轿子外，还供轿夫稍作休息之用。

<繁体字>

奉公人居處

識名園內，所設「奉公人」（即侍從僕人）專用空間，亦小巧精緻。如「通用門」，專為僕人出入所用，造型與正門相似，雖簡單樸素，卻不失美觀。再如「番屋」小間，位於正門及琉球傳統建築式樣的御殿附近，佈局巧妙，專供御殿護衛所用。觀其佈局，最接近入口處的房間為「詰所」——護衛需在此聽候命令；深處房間作起居室，木窗緊閉，設有廊道；旁側建有瓦頂小屋。緊靠御殿門入口處設有「駕籠屋」。所謂「駕籠」，即王親貴族用以彰顯尊貴身份的外出工具，類似中國轎子，待轎子在殿前停下，便拾階而上，無需踩到泥地。「駕籠屋」除放置及維修轎子外，還供轎夫稍作休息之用。

<日本語訳>

奉公人用の住居

識名園では、奉公人が使うための空間でさえ美しく、巧みに設計されていました。通用門は正門に似た形をしており、非常に優美ですが、装飾は小さくより簡素です。通用門は、庭園で働く人たちのための出入口でした。小ぶりの造りの番屋が、正門と御殿の近くに絶妙に配置されています。番屋は、伝統的な琉球の建築様式を用いて建てられた御殿の番人のための小さく機能的な住居です。建物の入り口に最も近い手前の部屋は詰所で、奥の部屋は住居スペースになっており、木戸で閉じられた長い板張りの廊下があります。隣には瓦屋根の小さな離れが建てられています。御殿の入り口のすぐそばには駕籠屋があります。王族や他の位の高い人々は、人が肩に担いで運ぶ乗り物「駕籠」を威厳のある移動手段として使用していました。通常彼らは御殿の出入り口まで運ばれていたため、足を地面に触れさせずとも石の上り段に降りることができました。駕籠屋は、駕籠の手入れをするための場所として、また、担ぎ手の休憩所として使用されていました。

<簡体字>

园比屋武御岳石门

园比屋武御岳石门，位于森林入口处，为 1519 年第二尚氏王朝第三代国王尚真下令所建，以守卫森林入口。此座森林，由最高神女“闻得大君”所管辖，自古以来便镇守一方，庇佑琉球百姓，因此被奉作琉球王国的神圣森林之一，时至今日，仍有各种重要仪式在此举行。园比屋武御岳石门建筑，不仅效仿琉球木造御殿造型，精雕细琢，还融汇有日本、中国建筑原理及样式，形成独特风格。另外，其所用建材多为当地特有材料，如主体结构及屋顶，用琉球珊瑚石灰岩；细节之处多用砂岩，细腻美观；门扉则用木材制成。园比屋武御岳石门与首里其他历史建筑一样，在二战冲绳岛战役中曾惨遭破坏，后经精心补救，才得以恢复原貌，至今仍被当地人奉为信仰。而神圣森林，因二战结束后学校扩建、道路增修，面积被迫缩小，已不见往日之壮观。

<繁体字>

園比屋武御嶽石門

園比屋武御嶽石門位於森林入口，為 1519 年第二尚氏王朝第三代國王尚真下令所建，以保佑出入森林平安。此座森林，由最高神女「聞得大君」管轄，自古以來便鎮守一方，保庇琉球百姓，因此被奉作琉球王國的神聖森林之一，現代仍會在此舉行各種重要儀式。園比屋武御嶽石門建築，不僅效仿琉球木造御殿造型，精雕細琢，還揉合日本、中國建築原理及樣式，形成獨特風格。另外，其所用建材多為當地特有材料，如主體結構及屋頂，用琉球珊瑚石灰岩；細節處多用砂岩，細膩美觀；門扉則用木材製成。園比屋武御嶽石門與首里其他歷史建築一樣，在二戰沖繩島戰役中曾慘遭破壞，後經精心修補，才得以恢復原貌，至今仍被當地人奉為信仰。而神聖森林，因二戰結束後擴建學校與道路，面積被迫縮小，已不見往日壯觀。

<日本語訳>

園比屋武御嶽石門（そのひゃんうたきいしもん）

園比屋武御嶽石門は、琉球王国で最も重要な神聖な森のひとつへの入り口を守るため、1519年に第二尚氏の第三代王尚真によって建立されました。この森は古くから琉球の人々の鎮守の森としての役割を担ってきました。最高位の神女である聞得大君が管轄していたこの場所は、今日に至るまで重要な儀式の場として残されています。琉球の木造の御殿を模した繊細な彫刻が施されている園比屋武御嶽石門は、日本と中国から伝わった建築の原理原則やデザインを独自に組み合わせています。それに手が加えられ、地域固有の材料で表現されています。主な構造部材と屋根には琉球サンゴ石灰岩、細部の大部分にはきめの細かい砂岩が使われています。扉は木製です。首里の他の歴史的建造物と同様、この門は第二次世界大戦中の沖縄戦で損壊しましたが、その後丁寧に修復されました。戦後、神聖な森は学校や道路の建設のために縮小され、かつての壮大さを失いましたが、園比屋武御嶽石門は今でも重要な信仰の対象です。

琉球大事年表 / 琉球大事年表 / 琉球年表

Page 1

公历	琉球 国王	年号 日本	年号 中国	大事记	时代 日本	朝代 中国
公曆	琉球 國王	年號 日本	年號 中國	大事記	時代 日本	朝代 中國
西曆	琉球 国王	年号 日本	年号 中国	記事	時代 日本	時代 中国
1187	舜天 1	文治 3年	淳熙 14年	舜天灭利勇，成为琉球开国君王。定都中山，建国殿。	平安时代 (794-1185)	南宋
1187	舜天 1	文治 3年	淳熙 14年	舜天滅利勇，成為首代琉球國王。定都中山，建造國殿。	平安時代 (794-1185)	南宋
1187	舜天 1	文治 3年	淳熙 14年	舜天、利勇を亡ぼし初代琉球国王となる。城都を中山に定め、国殿を創建した。	平安時代 (794-1185)	南宋
1260	英祖 1	文应 元年	景定 元年	英祖即位。定居伊祖城，后迁至浦添城。	1192年 (鎌倉時代 初期)	南宋
1260	英祖 1	文應 元年	景定 元年	英祖即位。定居伊祖城，隨後遷至浦添城。	1192年 (鎌倉時代 初期)	南宋
1260	英祖 1	文応 元年	景定 1年	英祖、王位に就く。当初伊祖城を居城としたが、のちに浦添城に移る。	1192年 (鎌倉時代 初期)	南宋
1265	英祖 6	文永 元年	咸淳 元年	僧人禅鑑赴琉球。英祖王于浦添城建极乐寺，佛教开始传入琉球。	鎌倉時代 (1185-1333)	1271 元
1265	英祖 6	文永 元年	咸淳 元年	僧人禪鑑赴琉球。英祖王於浦添城建造極樂寺，佛教開始傳入琉球。	鎌倉時代 (1185-1333)	1271 元
1265	英祖 6	文永 元年	咸淳 1年	仏僧禪鑑が来琉。英祖王が浦添に極樂寺を創建し、これが琉球における仏教の始まりとされる。	鎌倉時代 (1185-1333)	1271 元
1299	英祖 40	正安	大德	英祖王驾崩，葬于浦添极乐寺。	1336年	元

		元年	3年		(南北朝時代初期)	
1299	英祖 40	正安元年	大徳3年	英祖王逝世，葬於浦添極樂寺。	1336年 (南北朝時代初期)	元
1299	英祖 40	正安元年	大徳3年	英祖王が没し、浦添の極樂寺に葬られる。	1336年 (南北朝時代初期)	元
1350	察度 1	観应元年 正平5年	至正10年	察度即位。	南北朝時代 (1336-1392)	1368 明
1350	察度 1	観應元年 正平5年	至正10年	察度即位。	南北朝時代 (1336-1392)	1368 明
1350	察度 1	観応元年 正平5年	至正10年	察度、王位に就く。	南北朝時代 (1336-1392)	1368 明
1372	察度 23	应安5年 文中元年	洪武5年	明太祖（洪武帝）授予琉球印綬，納琉球為朝貢國。察度王遣其弟入明進貢。	南北朝時代 (1336-1392)	明
1372	察度 23	應安5年 文中元年	洪武5年	明太祖（洪武帝）授予琉球印綬，納琉球為朝貢國。察度王遣其弟入明進貢。	南北朝時代 (1336-1392)	明
1372	察度 23	応安5年 文中元年	洪武5年	明の太祖（洪武帝）が琉球に印綬を授け、琉球を朝貢国とする。察度王は弟を明に派遣する。	南北朝時代 (1336-1392)	明
1392	察度 43	元中 [?]9年	洪武25年	察度王建高楼。同年，明太祖（洪武帝）賜三十六姓（日後的久米村土族）。	1392年 (室町時代初期)	明

1392	察度 43	元中 [?]9 年	洪武 25 年	察度王建造高樓。同年，明太祖（洪武帝）賜三十六姓（日後的久米村土族）。	1392 年 （室町時代 初期）	明
1392	察度 43	元中 [?]9 年	洪武 25 年	察度王、高樓を建造する。この年、明の太祖（洪武帝）より三十六姓を賜る（のちの久米村土族）。	1392 年 （室町時代 初期）	明
1406	尚思紹 1	应永 13 年	永乐 4 年	尚思紹即位，第一尚氏王朝開始。	室町時代 （1336-1573）	明
1406	尚思紹 1	應永 13 年	永樂 4 年	尚思紹即位，第一尚氏王朝開始。	室町時代 （1336-1573）	明
1406	尚思紹 1	応永 13 年	永樂 4 年	尚思紹が王位に就き、第一尚氏王統が始まる。	室町時代 （1336-1573）	明
1420	尚思紹 15	应永 27 年	永乐 18 年	护佐丸修筑座喜味城，后迁离山田城。	室町時代 （1336-1573）	明
1420	尚思紹 15	應永 27 年	永樂 18 年	護佐丸修築座喜味城，隨後遷離山田城。	室町時代 （1336-1573）	明
1420	尚思紹 15	応永 27 年	永樂 18 年	護佐丸が座喜味城を築城し、山田城より移る。	室町時代 （1336-1573）	明
1427	尚巴志 6	应永 34 年	宣德 2 年	沖縄現存最古の文字資料石碑——“安国山樹華木之記碑”落成。同時期，龍潭建成。	室町時代 （1336-1573）	明
1427	尚巴志 6	應永 34 年	宣德 2 年	沖縄現存最古の文字資料石碑——「安國山樹華木之記碑」落成。同時期，龍潭建成。	室町時代 （1336-1573）	明
1427	尚巴志 6	応永 34 年	宣德 2 年	沖縄に現存する最古の文字資料である石碑「安国山樹華木之記碑」が建立される。この時、龍潭が造成される。	室町時代 （1336-1573）	明
1428	尚巴志 7	正长 元年	宣德 3 年	建中山門。	室町時代 （1336-1573）	明
1428	尚巴志 7	正長 元年	宣德 3 年	建造中山門。	室町時代 （1336-1573）	明
1428	尚巴志 7	正長 元年	宣德 3 年	中山門が創建される。	室町時代 （1336-1573）	明
1429	尚巴志 8	永享 元年	宣德 4 年	尚巴志統一三山。	室町時代 （1336-1573）	明

1429	尚巴志 8	永享 元年	宣德 4年	尚巴志統一三山。	室町時代 (1336-1573)	明
1429	尚巴志 8	永享 元年	宣德 4年	尚巴志、三山を統一する。	室町時代 (1336-1573)	明
1433	尚巴志 12	永享 5年	宣德 8年	明朝皇帝为开启对日通商，遣使者柴山赴琉球，建“千佛灵阁”。	室町時代 (1336-1573)	明
1433	尚巴志 12	永享 5年	宣德 8年	明朝皇帝為開啟對日貿易，派遣使者柴山赴琉球，建造「千佛靈閣」。	室町時代 (1336-1573)	明
1433	尚巴志 12	永享 5年	宣德 8年	明の皇帝の使者である柴山が日本との交易を開始するため来琉し、「千仏靈閣」を建てる。	室町時代 (1336-1573)	明
1440	尚忠1	永享 12年	正統 5年	护佐丸筑外城墙，扩建中城城。	室町時代 (1336-1573)	明
1440	尚忠1	永享 12年	正統 5年	護佐丸築造外城牆，擴建中城城。	室町時代 (1336-1573)	明
1440	尚忠1	永享 12年	正統 5年	護佐丸、中城城を拡張し外郭を造築する。	室町時代 (1336-1573)	明
1451	尚金福 2	宝德 3年	景泰 2年	筑长虹堤，建长寿寺。造冲宫与末吉宫以祭祀天照大神。	室町時代 (1336-1573)	明
1451	尚金福 2	寶德 3年	景泰 2年	修築長虹堤與長壽寺。建造冲宮與末吉宮以祭祀天照大神。	室町時代 (1336-1573)	明
1451	尚金福 2	宝德 3年	景泰 2年	長虹堤が築造される。長壽寺が創建される。冲宮と末吉宮が建立され、天照大神が祀られる。	室町時代 (1336-1573)	明
1450	尚泰久 1	享德 3年	景泰 5年	首里城焚毀于志鲁布里之乱。	室町時代 (1336-1573)	明
1450	尚泰久 1	享德 3年	景泰 5年	首里城焚毀於志魯布里之亂。	室町時代 (1336-1573)	明
1450	尚泰久 1	享德 3年	景泰 5年	志魯・布里の乱により首里城が炎上する。	室町時代 (1336-1573)	明

Page 2

公历	琉球国 王	年号 日本	年号 中国	大事记	时代 日本	朝代 中国
----	----------	----------	----------	-----	----------	----------

公曆	琉球國王	年號 日本	年號 中國	大事記	時代 日本	朝代 中國
西曆	琉球國王	年号 日本	年号 中国	記事	時代 日本	時代 中国
1458	尚泰久 5	长禄 2年	天顺2 年	首里城正殿悬挂“万国津梁之钟”。	室町时代 (1336-1573)	明
1458	尚泰久 5	長祿 2年	天順2 年	首里城正殿懸掛「萬國津梁之鐘」。	室町時代 (1336-1573)	明
1458	尚泰久 5	長祿 2年	天順 2年	首里城正殿に「万国津梁の鐘」がかけられる。	室町時代 (1336-1573)	明
1459	尚泰久 6	长禄 3年	天顺 3年	(临济宗) 建天界寺。	室町时代 (1336-1573)	明
1459	尚泰久 6	長祿 3年	天順 3年	(臨濟宗) 建造天界寺。	室町時代 (1336-1573)	明
1459	尚泰久 6	長祿 3年	天順 3年	天界寺（臨濟宗）が創建される。	室町時代 (1336-1573)	明
1470	尚圓1	文明 2年	成化 6年	尚圓即位，第二尚氏王朝开始。	室町时代 (1336-1573)	明
1470	尚圓1	文明 2年	成化 6年	尚圓即位，第二尚氏王朝開始。	室町時代 (1336-1573)	明
1470	尚圓1	文明 2年	成化 6年	尚圓が王位に就き、第二尚氏王統が始まる。	室町時代 (1336-1573)	明
1475	尚圓6	文明 7年	成化 11年	尚圓王建崇元寺、天王寺、龙福寺（原极乐寺）。	室町时代 (1336-1573)	明
1475	尚圓6	文明 7年	成化 11年	尚圓王建造崇元寺、天王寺、龍福寺（原極樂寺）。	室町時代 (1336-1573)	明
1475	尚圓6	文明 7年	成化 11年	尚圓王、崇元寺を建てる。天王寺、龍福寺（もと極樂寺）も創建される。	室町時代 (1336-1573)	明
1492	尚真 16	明应元 年	弘治 5年	尚真王建圆觉寺。三年后，招请京都南禅寺僧侶任开山住持。	室町时代 (1336-1573)	明
1492	尚真 16	明應 元年	弘治 5年	尚真王建造圓覺寺。三年後，聘京都南禪寺僧侶任開山住持。	室町時代 (1336-1573)	明

1492	尚真 16	明応 元年	弘治5 年	尚真王、円覚寺を建立する。3年後、京都・南禅寺の僧が開山住持として招聘される。	室町時代 (1336-1573)	明
1501	尚真 25	文亀 元年	弘治 14年	尚真建玉陵。	室町時代 (1336-1573)	明
1501	尚真 25	文龜 元年	弘治 14年	尚真建造玉陵。	室町時代 (1336-1573)	明
1501	尚真 25	文龜 元年	弘治 14年	尚真、玉陵を築造する。	室町時代 (1336-1573)	明
1502	尚真 26	文亀 2年	弘治 15年	建辯才天堂。架天女橋至辯才天堂。	室町時代 (1336-1573)	明
1502	尚真 26	文龜 2年	弘治 15年	建辯才天堂。架天女橋至辯才天堂。	室町時代 (1336-1573)	明
1502	尚真 26	文龜 2年	弘治 15年	弁財天堂が建立される。弁財天堂に至る天女橋がかけられる。	室町時代 (1336-1573)	明
1519	尚真 43	永正 16年	正徳 14年	建園比家武御岳石門、弁岳（弁之御岳）石門。	室町時代 (1336-1573)	明
1519	尚真 43	永正 16年	正徳 14年	建造園比家武御嶽石門、弁嶽（弁之御嶽）石門。	室町時代 (1336-1573)	明
1519	尚真 43	永正 16年	正徳 14年	園比家武御嶽石門・弁ヶ嶽（弁之御嶽）石門が建立される。	室町時代 (1336-1573)	明
1522	尚真 46	大永 2年	嘉靖 元年	架设真玉橋。	室町時代 (1336-1573)	明
1522	尚真 46	大永 2年	嘉靖 元年	架設真玉橋。	室町時代 (1336-1573)	明
1522	尚真 46	大永 2年	嘉靖 1年	真玉橋が架けられる。	室町時代 (1336-1573)	明
1547	尚清 21	天文 16年	嘉靖 26年	首里城守礼門建成。	室町時代 (1336-1573)	明
1547	尚清 21	天文 16年	嘉靖 26年	首里城守禮門建成。	室町時代 (1336-1573)	明
1547	尚清 21	天文 16年	嘉靖 26年	このころまでに首里城の守礼門が建立される。	室町時代 (1336-1573)	明
1554	尚清 28	天文 23年	嘉靖 33年	先后于那霸港以南建屋良座森城，以北建三重城。	室町時代 (1336-1573)	明

1554	尚清 28	天文 23年	嘉靖 33年	先後於那霸港以南建造屋良座森城，以北建造三重城。	室町時代 (1336-1573)	明
1554	尚清 28	天文 23年	嘉靖 33年	三重城が那霸港の北に築造される。南にはこれ以前に屋良座森城が築造されていた。	室町時代 (1336-1573)	明

公历	琉球 国王	年号 日本	年号 中国	大事记	时代 日本	朝代 中国
公曆	琉球 國王	年號 日本	年號 中國	大事記	時代 日本	朝代 中國
西曆	琉球 国王	年号 日本	年号 中国	記事	時代 日本	時代 中国
1609	尚宁 21	庆长 14年	万历 37年	萨摩藩（岛津氏）进攻琉球。 今归仁城失守，首里辩才天堂 及其它一些纪念碑被焚毁。	1603年 (江戸時代 初期)	明
1609	尚寧 21	慶長 14年	萬曆 37年	薩摩藩（島津氏）進攻琉球。 今歸仁城失守，首里辯才天堂 及其它一些紀念碑被焚毀。	1603年 (江戸時代 初期)	明
1609	尚寧 21	慶長 14年	萬曆 37年	薩摩藩（島津氏）による琉球 侵攻。今歸仁城が攻め落とされ、 首里の弁財天堂やその他の記念 碑が焼失する。	1603年 (江戸時代 初期)	明
1620	尚宁 32	元和 6年	万历 48年	尚宁王驾崩，葬于浦添极乐山 (浦添极乐陵)。	江戸時代 (1603-1868)	明
1620	尚寧 32	元和 6年	萬曆 48年	尚寧王逝世，葬於浦添極樂山 (浦添極樂陵)。	江戸時代 (1603-1868)	明
1620	尚寧 32	元和 6年	萬曆 48年	尚寧王没し、浦添の極樂山 (浦添ようどれ) に葬られる。	江戸時代 (1603-1868)	明
1624	尚丰 4	宽永 元年	天启 4年	建山川玉陵。	江戸時代 (1603-1868)	明
1624	尚豐 4	寬永 元年	天啟 4年	建造山川玉陵。	江戸時代 (1603-1868)	明
1624	尚豐 4	寬永 元年	天啓 4年	山川陵（山川の玉陵）が建造 される。	江戸時代 (1603-1868)	明
1639	尚丰 19	宽永 16年	崇祯 12年	建中城御殿。	江戸時代 (1603-1868)	明
1639	尚豐 19	寬永 16年	崇禎 12年	建造中城御殿。	江戸時代 (1603-1868)	明

1639	尚豊 19	寛永 16年	崇禎 12年	中城御殿が創建される。	江戸時代 (1603-1868)	明
1660	尚質 13	万治 3年	順治 17年	首里城正殿失火焚毀。	江戸時代 (1603-1868)	清
1660	尚質 13	萬治 3年	順治 17年	首里城正殿失火焚毀。	江戸時代 (1603-1868)	清
1660	尚質 13	万治 3年	順治 17年	首里城正殿が焼失する。	江戸時代 (1603-1868)	清
1661	尚質 14	寛文 元年	順治 18年	慈恩寺橋移迁至龙潭北岸沿岸道路，更名为“世持桥”。	江戸時代 (1603-1868)	清
1661	尚質 14	寛文 元年	順治 18年	慈恩寺橋改遷至龍潭北岸沿岸道路，更名为「世持橋」。	江戸時代 (1603-1868)	清
1661	尚質 14	寛文 元年	順治 18年	龍潭の北岸沿い道路に慈恩寺橋を移設し、世持橋と改名される。	江戸時代 (1603-1868)	清
1671	尚質3	寛永 11年	康熙 10年	重建首里城正殿，改筑瓦頂。	江戸時代 (1603-1868)	清
1671	尚質3	寛永 11年	康熙 10年	重建首里城正殿，改築瓦頂。	江戸時代 (1603-1868)	清
1671	尚質3	寛永 11年	康熙 10年	首里城正殿が再建される。この時、瓦葺きとなる。	江戸時代 (1603-1868)	清
1674	尚貞6	延宝 2年	康熙 13年	建久米村至聖廟（孔子廟）。	江戸時代 (1603-1868)	清
1674	尚貞6	延寶 2年	康熙 13年	建造久米村至聖廟（孔廟）。	江戸時代 (1603-1868)	清
1674	尚貞6	延宝 2年	康熙 13年	久米村に至聖廟（孔子廟）が創建される。	江戸時代 (1603-1868)	清
1677	尚貞9	延宝 5年	康熙 16年	建东苑（御茶屋御殿）。改建金城桥为石桥。	江戸時代 (1603-1868)	清
1677	尚貞9	延寶 5年	康熙 16年	建造東苑（御茶屋御殿）。改建金城橋為石橋。	江戸時代 (1603-1868)	清
1677	尚貞9	延宝 5年	康熙 16年	東苑（御茶屋御殿）が建造される。金城橋が石橋に改修される。	江戸時代 (1603-1868)	清

1682	尚貞 14	天和 2年	康熙 21年	崇元寺改筑瓦頂。統合眾陶窯（知花、首里寶口、湧田各窯）于壺屋。立龍柱于首里城正殿正前方。	江戸時代 (1603-1868)	清
1682	尚貞 14	天和 2年	康熙 21年	崇元寺改築瓦頂。統合眾陶窯（知花、首里寶口、湧田各窯）於壺屋。立龍柱於首里城正殿正前方。	江戸時代 (1603-1868)	清
1682	尚貞 14	天和 2年	康熙 21年	崇元寺が瓦葺きとなる。陶窯が壺屋に統合される（知花・首里寶口・湧田の各窯）。首里城正殿の正面に龍柱が設置される。	江戸時代 (1603-1868)	清
1687	尚貞 19	貞享 4年	康熙 26年	改建伊是名玉陵。	江戸時代 (1603-1868)	清
1687	尚貞 19	貞享 4年	康熙 26年	改建伊是名玉陵。	江戸時代 (1603-1868)	清
1687	尚貞 19	貞享 4年	康熙 26年	伊是名玉陵が改修される。	江戸時代 (1603-1868)	清
1708	尚貞 40	宝永 5年	康熙 47年	改建真玉橋为石桥。	江戸時代 (1603-1868)	清
1708	尚貞 40	寶永 5年	康熙 47年	改建真玉橋為石橋。	江戸時代 (1603-1868)	清
1708	尚貞 40	宝永 5年	康熙 47年	真玉橋が石橋に改修される。	江戸時代 (1603-1868)	清
1709	尚貞 41	宝永 6年	康熙 48年	首里城南殿、北殿失火焚毀。	江戸時代 (1603-1868)	清
1709	尚貞 41	寶永 6年	康熙 48年	首里城南殿、北殿失火焚毀。	江戸時代 (1603-1868)	清
1709	尚貞 41	宝永 6年	康熙 48年	首里城南殿・北殿が火災により焼失。	江戸時代 (1603-1868)	清

公历	琉球 国王	年号 日本	年号 中国	大事记	时代 日本	朝代 中国
公曆	琉球 國王	年號 日本	年號 中國	大事記	時代 日本	朝代 中國
西曆	琉球 国王	年号 日本	年号 中国	記事	時代 日本	時代 中国
1712	尚益 3	正徳 2年	康熙 51年	重建首里城。	江戸時代 (1603-1868)	清
1712	尚益 3	正徳 2年	康熙 51年	重建首里城。	江戸時代 (1603-1868)	清
1712	尚益 3	正徳 2年	康熙 51年	首里城が再建される。	江戸時代 (1603-1868)	清
1713	尚敬 1	正徳 3年	康熙 52年	正義大夫毛文哲、通事蔡温为首里城、崇元寺、玉陵观测风水。	江戸時代 (1603-1868)	清
1713	尚敬 1	正徳 3年	康熙 52年	正義大夫毛文哲、通事蔡温为首里城、崇元寺、玉陵观测风水。	江戸時代 (1603-1868)	清
1713	尚敬 1	正徳 3年	康熙 52年	正義大夫の毛文哲・通事の蔡温、首里城・崇元寺・玉陵の風水を見分する。	江戸時代 (1603-1868)	清
1738	尚敬 26	元文 3年	乾隆 3年	玉陵四周围建竹柵。	江戸時代 (1603-1868)	清
1738	尚敬 26	元文 3年	乾隆 3年	玉陵四周围建竹柵。	江戸時代 (1603-1868)	清
1738	尚敬 26	元文 3年	乾隆 3年	玉陵の周圍に竹柵が張り巡らされる。	江戸時代 (1603-1868)	清
1748	尚敬 36	寛延 元年	乾隆 13年	玉陵正門東西兩側首建御番所。	江戸時代 (1603-1868)	清
1748	尚敬 36	寛延 元年	乾隆 13年	玉陵正門東西兩側首建御番所。	江戸時代 (1603-1868)	清
1748	尚敬 36	寛延 元年	乾隆 13年	玉陵の正門の東と西に、御番所が初めて建立される。	江戸時代 (1603-1868)	清

1799	尚温 5	寛政 10 年	嘉庆 3 年	识名园建园。	江戸时代 (1603-1868)	清
1799	尚温 5	寛政 10 年	嘉慶 3 年	識名園建園。	江戸時代 (1603-1868)	清
1799	尚温 5	寛政 10 年	嘉慶 3 年	識名園が造園される。	江戸時代 (1603-1868)	清

公历	琉球 国王	年号 日本	年号 中国	大事记	时代 日本	朝代 中国
公曆	琉球 國王	年號 日本	年號 中國	大事記	時代 日本	朝代 中國
西曆	琉球 国王	年号 日本	年号 中国	記事	時代 日本	時代 中国
1837	尚育 3	天保 8 年	道光 17 年	建首里孔子庙（首里圣庙）。	江戸時代 (1603-1868)	清
1837	尚育 3	天保 8 年	道光 17 年	建造首里孔廟（首里聖廟）。	江戸時代 (1603-1868)	清
1837	尚育 3	天保 8 年	道光 17 年	首里に孔子廟（首里聖廟）が創建される。	江戸時代 (1603-1868)	清
1846	尚德 12	弘化 3 年	道光 26 年	首里城正殿大规模改造。	江戸時代 (1603-1868)	清
1846	尚德 12	弘化 3 年	道光 26 年	首里城正殿大規模改造。	江戸時代 (1603-1868)	清
1846	尚德 12	弘化 3 年	道光 26 年	首里城正殿が大々的に改修される。	江戸時代 (1603-1868)	清
1868	尚泰 21	明治 元年	同治 7 年	派風水師赴清朝研习改建玉陵之法。之后陆续修缮玉陵各处。	1868 年 (明治時代 初期)	清
1868	尚泰 21	明治 元年	同治 7 年	派風水師赴清朝研習改建玉陵之法。之後陸續修繕玉陵各處。	1868 年 (明治時代 初期)	清
1868	尚泰 21	明治 元年	同治 7 年	玉陵を改修する方法を学ばせるため、風水師を清（中国）に派遣する。これより玉陵の各所が修理される。	1868 年 (明治時代 初期)	清
1875	尚泰 28	明治 8 年	光緒 元年	中城御殿迁至大中村。	明治時代 (1868-1912)	清
1875	尚泰 28	明治 8 年	光緒 元年	中城御殿遷至大中村。	明治時代 (1868-1912)	清

1875	尚泰 28	明治 8年	光緒 1年	中城御殿が大中村へ移転する。	明治時代 (1868-1912)	清
1879	尚泰 32	明治 12年	光緒 5年	明治政府废除 1872 年设立的琉球藩，改为冲绳县。	明治时代 (1868-1912)	清
1879	尚泰 32	明治 12年	光緒 5年	明治政府廢除 1872 年設立的琉球藩，改為沖繩縣。	明治時代 (1868-1912)	清
1879	尚泰 32	明治 12年	光緒 5年	1872 年に設置された琉球藩が明治政府により廃され、沖縄県となる。	明治時代 (1868-1912)	清